港湾空港課
-5.2.10
受付

受付No.（事務局記載欄）	1

『鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア』
応募申請書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（[redacted]）		住所	[redacted]	
性別	男	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・30代・40代・ 50代・60代・70代・ 80代以上	電話 番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名　　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			可　・　否		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム（e（いー）申請）」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付 No.（事務局記載欄）	

「鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア」
応募様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

鹿児島港本港区エリアに、空飛ぶタクシーの離着陸エリアを設置して頂きたい

設置を要望する理由３点

① 将来的に空飛ぶタクシーを鹿児島港本港区エリアに導入することで、鹿児島市内、桜島、県内各観光スポット、種子島・屋久島・奄美大島などの各種離島との往来が出来るようになると、鹿児島港本港区エリアの利活用につながり、一番効率的に空飛ぶタクシーを利活用出来る為。

② 桜島の火山爆発や地震などの大災害時に、空飛ぶタクシーを鹿児島港本港区エリアに設置することで、緊急避難が必要な際に大いに役立つ為。

③ 高齢化社会が今後より深刻化していくなかで、高齢者の方の移動手段の一つとして、空飛ぶタクシーを導入することで、介護が必要な高齢者の役に立つ為

港湾空港課
-5.2.10
受付

受付 No.（事務局記載欄）	2

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」
応募申請書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（　地元民　　）		住所	県外、国外１０年滞在	
性別	男	年代 （○で囲む）	50 代	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	－　　－ （担当者名　　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			否		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町 10 番 1 号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム（e（いー）申請）」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付 No.（事務局記載欄）	

「鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア」
応募様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

テーマパークのような映画撮影の際は補助できそうな明治村、江戸村、出島
せめて中央駅の観覧車みたいなランドマークを。
官民で出資。

福岡ももちみたく砂浜をつくり人口ビーチとお店。七ツ島、天保山砂浜もうない。
現実的。

してほしくない。
桜島見て足湯で完了。
マンション病院やめてくれ。
プロチームよわいのにサッカー場ありすぎ。散歩もできない。
体育館は与次郎県庁裏でしょ。
コンサート会場は電車の駅の近くにしてくれ。谷山とか？山（〇〇団地）にケーブル電車でも通して山につくるとか。団地空き家問題も解決かも。

港湾空港課
-5.2.10
受付

受付No.（事務局記載欄）	3

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」
応募申請書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（[redacted]）		住所	[redacted]	
性別	女性	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・30代・**40代**・ 50代・60代・70代・ 80代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名　　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			可　・　**否**		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム（e（いー）申請）」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付 No.（事務局記載欄）	

「鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア」
応募様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

東京都の天王洲にある T.Y.HARBOR のような海に近い平屋のレストランがほしいです。

※任意様式に記載して頂いても構いません。

港湾空港課
-5.2.10
受付

受付 No.（事務局記載欄）	4

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	[redacted]		住所	[redacted]	
性別	男	年代 （○で囲む）	40代	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名　　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			可		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム(e(いー)申請)」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付 No.（事務局記載欄）	

「鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア」
応募様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

ニュース等で拝見し応募させていただきます。
みてますと、非常に責任のなすり合いにしか見えてなりません。
もう少し、県と市が寄り添い合い、スムーズな協議ができますことをまず期待します。
場所が本港区エリアしかないと決まったのであれば
県と市が歩み寄り一緒になって協議されては如何でしょうか？
そうしないといつまで経ってもこの話は終わらないように思います。



受付 No.（事務局記載欄）	5

『鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア』
応募申込書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	[redacted]		住所	[redacted]	
性別	男	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・30代・40代・ 50代・(60代)・70代・ 80代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名：本人）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			可　・　(否)		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL：099-286-3665　FAX：099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム（e（いー）申請）」
URL：https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付 No.（事務局記載欄）	

「鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア」
応募様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

まったく新しいアイデアを募るより、
①以前あった「ドルフィンポートの復活」を果たす方が、観光客にとっても地元民にとっても、喜ばしいしエリアが生み出す経済効果も高いと思います。

②また、ウォータフロントパークには、鹿児島 Jazz フェス、鹿児島ミュージックフェスなどの野外コンサートを開けるよう、天文館公園にあるような屋根付きステージを設ける。

③住吉町 15 番街区には遊べる施設も備えた新しい宿泊施設を設け、飽和状態でこれ以上は発展しないであろう天文館の客をこちらに引き寄せる。

④美術館 メルヘン館 博物館 鶴丸城門なども含めもっと広いエリアを視野にいれた総合文化的商業エリアにしたらいいと思います。

以上です。

※任意様式に記載して頂いても構いません。

港湾空港課
-5.2.10
受付

受付No.（事務局記載欄）	6

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」
応募様式

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（[redacted]） [redacted]		住所	[redacted]	
性別	男	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・30代・㊵・50代・60代・70代・80代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名　　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			否		

※ 次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※ 応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※ 応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※ 応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※ 提出された資料については，返却いたしません。
※ プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※ 次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※ 募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム(e(いー)申請)」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付No.（事務局記載欄）	

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」
提出様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

青少年のためにスケボーパークとストリートダンスができる場所を作ってほしいです。
若者が楽しめる街を若者のための街づくりをお願いします。
東京の真似じゃなく独自の世界観で世界中から人が集まる鹿児島を希望します

※任意様式に記載して頂いても構いません。

港湾空港課
-5.2.10
受付

受付No.（事務局記載欄）	7

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募申請書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（[redacted]）		住所	[redacted]	
性別	男	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・20代・30代・40代・50代・60代・70代・80代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名　　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			可　・　否		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム（e（い一）申請）」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付 No.（事務局記載欄）	

「鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア」
応募様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

鹿児島港本港区エリアのアイディア：サッカースタジアム建設

①鹿児島にサッカースタジアムが必要な理由
・現在の白波スタジアムは、陸上競技など他のスポーツでも使われるため、スケジュール問題などが発生している
・鹿児島ユナイテッドFCの試合では、毎試合5000人近くの集客がある（鹿児島で毎回ここまで集客できているイベントは他にない）
.鹿児島はサッカーが盛ん

②サッカースタジアムを本港区に建設したほうが良い理由
・世界で唯一の"火山が近くで見れるサッカー専用スタジアム"となる
・天文館が比較的近く、試合前後で天文館に立ち寄ることができることで、天文館エリアの活性化にもつながる（県外からの方も天文館で鹿児島の食を堪能しやすくなる）
・現在寂しくなっている本港区エリアを活性化させるには、集客が見込め、人が集まるサッカー観戦に焦点をあてるべき（本港区は素晴らしい場所なので、沢山の人が訪れる場所になってほしい）
・サッカー観戦の際はスタジアム外も多くの人が歩くため、客観的に見ても、本港区エリアが盛り上がっているように見える

③サッカースタジアムと併設して設備すると良いと思うもの
・温泉（サウナスパ等でも良い）→鹿児島市にはこれといったスパが無い。温泉、サウナが盛んな県として寂しい部分。私もサウナは好きで温泉によく行くが、温泉は毎日相当な来客がある。そこで、「回数券買ったら、サッカー観戦チケットサービス」など連携できるものがあれば、本港区を盛り上げる起爆剤となる可能性もある。
・「コワーキングスペース付きカフェ」→カフェの人気はずっと続いており、ロケーションの良い本港区に併設すれば、日ごろから人が集まる。また、本港区エリアはオフィス街も比較的近いため、コワーキングスペースがあれば、平日も利用客が訪れる可能性が高い。
さらに、特有のメニューなどを作ることで、県外からも話題が出る可能性が高い。（サッカー観戦は県外からの来客も多いため）
・「スポーツジム」→スポーツ観戦に来る方は、スポーツをするのが好きな方も多い。よって、シナジー効果が得られる。

・「ビアガーデンのできる場所」→これも鹿児島から減っているもののーつ。本港区のロケーションを活かすのであれば、ビアガーデンも併設するもののーつのアイディア。サッカー観戦後に祝勝会をするもよし、普段から忘年会等で利用するも良し。最近、グランピングの人気も高いことから、外での食事も楽しめる場所があると良いかもしれない。

④最後に
今、鹿児島で一番の盛り上がりを見せているのは「サッカー観戦」です。
鹿児島で、サッカー観戦の集客が少なくなる可能性は低いです。それは、鹿児島には築かれてきた”サッカー文化”があるからです。鹿児島県民は鹿児島から生まれたサッカーのスーパースターたちに誇りを持っています。その”サッカー文化”をこれからも築き続けていくために「サッカースタジアム」には大きな存在意義があります。
また、鹿児島の子供たちに〝夢を与える場所を創る〟という意味でもサッカースタジアムは建設する価値があるように思います。
ホテル等の建設もあると思いますが、今鹿児島に新しい風を吹かせるには新要素である、「サッカースタジアム建設」ではないでしょうか。

港湾空港課
-5.2.10
受付

受付 No.（事務局記載欄）	
	4

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」

応募申請書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（[redacted]）		住所	[redacted]	
性別	男	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・30代・40代・ 50代・60代・70代・ 80代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名　　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			可　・　否		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム（e（いー）申請）」
URL：https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付 No.（事務局記載欄）	

「鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア」
応募様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。



秋田港北防波堤へ釣りに行こう！上州屋秋田外旭川店が人気海釣り施設を ...

表示

www.johshuya.co.jp · 640×480

画像は著作権で保護されている場合があります。



ニュースの「つぼ」：秋田港北防波堤の釣り場開放｜秋田魁新報電子版

表示

www.sakigake.jp 320×230

画像は著作権で保護されている場合があります。

秋田港釣り（北）防波堤は国土交通省の"釣り文化振興モデル港"に指定された、有料の海釣り施設

人が集まるためには家族で集まれるイベント、場所が求められると私は考えています。

上記のように入場料や年間パスポートを発行し通行料金で資金確保をし、釣りやお食事のテナント募集の際には、釣竿レンタル、餌、魚を捌いてくれるサービス、お魚捌き体験釣った魚の買取りやお食事処、バーベキュー施設など動線ができている思い出サービスが提供できるかと思います。

漁業組合と県との連携：インスタクター、釣り体験サービス、解体ショーなど。

土日・祝日開催なので平日でも人通りが絶えない鹿児島一の築地のような海産物施設。

思い出に残る愛される場所になるようにご祈願しております。

※任意様式に記載して頂いても構いません。

(1)

港湾空港課
-5.2.10
受付

受付No.（事務局記載欄）	9

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」
応募申請書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（[redacted]） [redacted]		住所	[redacted]	
性別	男	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・30代・40代・ 50代・60代・○70代・ 80代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名　　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			可　　・　　○否		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム（e(いー)申請）」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

2023. 2.10 17:00 P. 1

受付No.（事務局記載欄）	9

「鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア」
応募様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

７４才のロートル故、各アイデアはこれからの若い人達に纏めさせるべきとの思いがありますが、私なりの構想を是非鹿児島県に伝えたく申し上げたいと存じます。

「ドルフィンポート跡地について」

現在の鹿児島県の案で是非進めて頂きたい。鹿児島のシンボル桜島と海を絶対に生かすべきです。その為には体育館的な箱ものは後方へ前方のスペースはウォーターフロントとし市民及び観光客などへ広場として絶対残してもらいたいですね。

同地にサッカースタジアム構想を鹿児島市は描いている様ですが、何としても辞めるべきです。此のことは個人的に下鶴市長へも手紙で断念すべきと申し上げました。色々理由付けの回答が届きましたが、私は県案を推し進めるべきと思っています。

その県案に付け加える事が出来るならば、体育館と広場の間にドルフィンポート的な１Ｆ建てで飲食店、土産店、観光物産展等がテナントとして入れる建物を組み入れるスペースは取れないものでしょうか。

「サッカースタジアム」

これは鹿児島市の案件ではありますが、私案として現競技場にスタンドを増設出来ないだろうかと思っています。その際柱を立てなければいけないでしょうが、空間をテナントに利用できないだろうか。サッカーに関して必要な期間は年間３０日前後と聞いています。最小限のコストで最大限の効率が見込めるのではないかと思うのですが。

難しいようであれば、農業大学跡を活用出来るようにすればいいのでは。

競技場、駐車場のスペースは確保できるのではないでしょうか。サブグランドとして近くにフレスポもあり、谷山地区の活性化にもなるでしょう。宿泊施設が少ないと言われているが、開発が決まれば必ずやホテル等増えるのではないでしょうか。交通の不便さも言われていますが、インターチェンジは近いし、谷山電停から谷山駅経由でシャトルバスを運行すればいいのではないだろうか。

何故鹿児島市がここまでこだわるのか判りませんが、絶対必要といわれてる必要日数が年間 30 日位の設備を一等地に造るのはもったいないと思われて仕方ない。尚、アウトドアとしては海辺故に風は強いし、降灰は多いし条件は悪い様に思うのですが…

それと建設費用も土地代、設備代等当初費用を明確にし、その他重要な維持管理費です。活用頻度と照らし合わせ市県民に知らせるべきと思います。

最後に前知事時代もありましたが、一応県民の意見を聞きます、聞きましたとのパフォーマンス的な事ではなく塩田県政では意見集約をされ上位何点か発表された方が良いと思いますが如何でしょうか。

2/10 (2)

港湾空港課
-5.2.10
受付

受付No.（事務局記載欄）	/0

[redacted]

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（　　） とくめい	住所	
性別	女	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・30代・40代・ 50代・60代・70代・ 80代以上
電話番号 （団体の場合は連絡先名も記載）	ー　ー （担当者名　　）		
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）	可　・　否		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム(e-(いー)申請)」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

愛知県にある
碧南スケートボードパークを鹿児島の本港区に作ってはどうでしょうか？

若者に　ここでやっちゃダメって言うよりも
きちんと場所を与えたほうがマナーは守れるはず

海沿いだから音もそこまでしないはずです。

目の前が桜島と海
他の市町村の真似と思われるかもしれませんが
ショッピングエリア・飲食エリア・イベント広場等作ってもいいのでは？

三井アウトレット・コストコ・イケア等
ここに行きたいからドライブがてら訪れる

そういう街づくり

時間を区切っての BBQ エリア等

11

本工区エリアの利用について意見を申し上げます。
この地に最近のブームであるサッカーの利用に反対します。日本古来の競技なら伝統保存の為検討するべきと思います。県外、外国から来た人はスポーツ施設には来ません。
活火山の桜島、種子島、屋久島、離島の観光と合わせて鹿児島県の送迎の競点になります。
浜離宮のように土地を遊ばせて使う方法が良いと思います。
御桜門から本工区エリアそして桜島は観光の動線になります。
この地を県外、国外に知らせたいと思います。ドルフィンポート跡地とウオーターフロントパークは鹿児島県の所有にするべきと思います。

2/12 [redacted]
(電子)

港湾空港課
-5.2.12
受付

港湾空港課
-5.2.12
受付

受付 No.（事務局記載欄）	12

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」
応募申請書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（[redacted]）		住所	[redacted]	
性別	男	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・30代・40代・ 50代・60代・70代・ 80代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名　　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			可　・　否		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム（e（いー）申請）」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付 No.（事務局記載欄）	

「鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア」
応募様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

土地利活用案

① 北埠頭エリア

キャンプ＋グランピング施設

入浴施設(いろはの湯のような施設)

景観キャンプ場による、県外の利用者の取込み。サマーナイトや鹿児島マラソン等のイベントとの抱き合わせの固定客の獲得。キャンプ、グランピング利用者には桜島フェリーの往復券配布(費用はキャンプ利用料金で回収)観光者による桜島フェリー利用増

入浴施設については、お土産コーナー等の拡充、イメージとしては七ツ島の物産館やお土産品売場、桜島のお土産も取扱う。

② 南埠頭エリア

魚市場、海鮮の食堂施設(伊東のマリンタウンようなイメージ)＋ラーメンスタジアム(ラーメン王決定戦会場としても活用)

魚市場での海産物の商品をもっと身近で手頃に購入。食堂では、2000 円以内の定食や海鮮丼等の格安での食事、食事は桜島を眺望出来る様に

※任意様式に記載して頂いても構いません。

③ 桜島フェリー前のエリア

バスターミナルの設置

バスターミナルの設置により、高速バス利用者の利便性向上、中央駅、鹿児島空港との路線を繋ぎ、仙巌園、指宿方面にも路線を繋ぎ、鹿児島の公共交通機関のハブ化、桜島フェリーも含め観光客の公共交通機関の拡充を図る。タクシーエリアも隣接

④ ドルフィンポート跡地

アウトドアショップ、IKEA、カインズホーム等の施設の建設(鹿児島未進出の企業の誘致)

⑤ ウォーターフロントパーク

市民の憩いの場及び景観の保持の為、芝生エリアの継続、イベントエリアとして活用。ドルフィンポート跡地の状況により、芝生エリアの縮小

県外から鹿児島市に引越しして、桜島の景観を活用した施設が乏しい印象があります。

港湾空港課
-5.2.12
受付

受付No.（事務局記載欄）	13

『鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア』
応募申請書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（[redacted]） [redacted]		住所	[redacted]	
性別	男	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・30代・(40代)・ 50代・60代・70代・ 80代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名　　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			可　・　(否)		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム（e（いー）申請）」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付 No.（事務局記載欄）	

「鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア」
応募様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

ドルフィン跡地もしくは住吉町に球技専用スタジアムを建設して欲しいです。現在の鹿児島ユナイテッドは平均観客数約4,700人以上集めますし、カテゴリが上がるごとにアウェー客も呼び込めるので、かなりの経済効果が見込めると思います。試合開催日以外もスタジアムにお客さんを呼びこめるように、スーパー、映画館、喫茶店なども含む複合型スタジアムにすることで、試合開催日以外にも経済効果を見込むことができると思います。
昨年白波スタジアムで試合をした際、桜島が噴火したことが海外でも取り上げられたと聞くので、桜島が見える場所にスタジアムを造ると海外まで鹿児島の名前が売れると思います。
鹿児島ユナイテッドは経済効果を叩き出せて、鹿児島の知名度を上げられるコンテンツと考えて、鹿児島市と協力して球技専用スタジアムを造って欲しいです。鹿児島県のために、鹿児島ユナイテッドを利用するというスタンスでかまわないと思います。

※任意様式に記載して頂いても構いません。

港湾空港課
-5.2.12
受付

受付No.（事務局記載欄）	14

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」
応募申請書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（[redacted]） [redacted]		住所	[redacted]	
性別	男性	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・30代・40代・ （50代）・60代・70代・ 80代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名　　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			可　・　否		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム(e(いー)申請)」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付 No.（事務局記載欄）	

「鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア」
応募様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

私は鹿児島県民であり市民です

「ここは、天文館から歩いて来ると、目の前が雄大な桜島が飛び込んで、鹿児島を直接肌で感じる事ができる。ドルフィンポート跡地は鹿児島県・市にとって特別な場所であるということ」

以前、ドルフィンポートは、コロナ以前は国内外やクルーズ船や、鹿児島中心地区観光と宿泊目的の観光バスがひっきりなしに訪れていました。
（ドルフィンポート駐車場は宿泊バスの受付もしていました。 理由・・天文館周辺に宿泊バス駐車場施設がないから）
「短時間（半日程度）の鹿児島市内観光で、しかも大型駐車場が確保でき、大勢の方が一同に、この素晴らしい錦江湾と桜島の景観を一望でき、食やお土産も揃う、唯一のスポットであるということ」

私は、外国人観光客は何を望んで、鹿児島に観光に来られているかを推察したところ、私達日本人にとって鹿児島といえば、歴史が興味深いですが、外国人は、さほど歴史や資料館には興味はない。むしろ興味があるのは鹿児島らしい「食」と「体験」と「景観」だと思います。

ここの場所は県の中心であり県全体の玄関口です。空港は遠いですが、中央駅も近く、フェリーターミナルも目の前、天文館も歩いて行ける。

屋久島、奄美など離島コースや歴史コースを訪れる観光客は多いですが、外国人が好きな自然や、鹿児島らしい「食」と「景観」と「体験」をアピールする施設が県都・鹿児島市に少ないのではと感じます。

特にクルーズ船で鹿児島市の観光が 2～3 時間の観光客や、1 泊 2 日等の短期間で鹿児島に旅行される方は、天文館と身近で歩いて楽しめる場所がセットである事が重要だと感じます。

天文館からいづろを通ってドルフィンポートまで歩いて行かれてください！
ほんと一直線（500m くらい？）なんですよ。近い。いづろからもドルフィンポートは見えてます。また、その先（山側）に行けば中央駅まで一直線です。ということは中央駅～天文館～ドルフィンポート跡地～桜島まで一直線な訳です。(((o(*°▽°*)o)))

この様な鹿児島県の一等地に、わざわざ体育館を建てる必要ありますでしょうか？
年間の稼働日数は何日ですか？経済効果はどれくらいでしょうか？まさか赤字覚悟の運営をされるために一等地に立てる必要がありますでしょうか？
10年後20年後を考えて下さい！ここを中心に鹿児島各地に観光に来られる方の方が何十倍の経済効果があると思われます。

桜島と錦江湾の景観は県民の財産なので、高い建物は作らない。収益性より公益性の場所です。
勿論、南九州一の繁華街天文館も観光客が来たら潤いますよ。鹿児島市が活性化しますよ！どこにも負けない素敵な都市になりますよ！

それなのに、鹿児島の方と一部スポーツ団体の方のみが利用できる体育館というのは如何でしょうか？しかも、体育館でスポーツを応援する人は鹿児島一景観が素敵な場所にあるなんて全然感じない。

自分たち鹿児島の人間は桜島が目の前にある事が、当たり前すぎて、ありがたみ（桜島が財産）に気づいていないのです。
体育館を使用する側の方々は景観について全く関係のない話なのですから。

体育館がドルフィンポート跡地となれば、鹿児島県民には都合がいいかもしれませんが、鹿児島市を観光で訪れたい、全世界の方々には、訪れたい場所が減り、鹿児島らしさをアピールする場が少なくなると、鹿児島県・市全体の魅力は失われます。

ドルフィンポート跡地について日本国民は勿論、全世界の方々に鹿児島県・市を発信できる中心的な場所なのです。

私の理想として、鹿児島らしい観光スポットや飲食店、ホテルが立ち並ぶ、世界の富裕層が集うイタリアのミラノのようなヨットハーバーがあり、そして夜景もきれいな（函館や神戸）のような明るい海辺がある施設は魅力あります。
（陸の玄関口：鹿児島中央駅　海の玄関口鹿児島本港ドルフィンポート跡地のような）

鹿児島県全体の経済効果をグロスで勘案すると、こちらの都市計画の方が、絶対に鹿児島県・市全体の経済が潤うと言い切れるのではないでしょうか？私たちが住んでいて「誇れる都市」になります。

コロナ以前のように、全世界からリュック一つで鹿児島へ旅行される方が訪れやすい場所でもいいかと思います。

ただ、現在は、コロナの関係で、観光客は少ないですが、これから観光客が増え、現在の天文館の再生プロジェクトが進み、観光立県・市としての中心地天文館地区の活性化を是非、検討して頂ければと思います。

全世界の皆様に対し明るく素敵で鹿児島らしさを誇れる事が発信できる南九州中心のベイエリア鹿児島本港区の建設を強く望みます。

(再)

港湾空港課
-5.2.12
受付

受付 No.（事務局記載欄）	15

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」
応募申請書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	([redacted]) [redacted] 個人		住所	[redacted]	
性別	男	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・30代・40代・ 50代・(60代)・70代・ 80代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名　　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			可　・　(否)		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町 10 番 1 号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム(e(いー)申請)」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付No.（事務局記載欄）	

「鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア」
応募様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

天文館地区で長らく、働いてきたもののアイデアとしてお聞きください。

今回の本港区エリア開発のコンセプトには「365日観光客や県民で賑わう来てみて感動する観光拠点」とあります。
観光拠点としての視点から意見を述べさせていただきます。

1．　旧ドルフィンポート跡地の活用について
鹿児島の観光の目玉として何回もリピートして観光客に来ていただく場所にすべきです。
「観光に特化した鹿児島に来たら必ず立ち寄る場所」
① 桜島の絶景が堪能できる
② 春夏秋冬いろいろなイベントが楽しめる
③ おいしいグルメや鹿児島が自慢できる畜産物・農産物・工芸品のお買物が出来る
そんな場所です。
一方で県民に広く愛してもらう場所として、魅力を発信できる基地にしてもらいたいと思います。

現在、県が進めている「体育館」では、観光地としては機能しないし、全国大会が出来るとしてもコアな利用客は県内の方々です。
また、アンケートで利便性をあげていらっしゃいましたが、利用者にとってわざわざ渋滞を心配して中心市街地に集まるのはストレスです。確かに人は集まりますが、目的はあくまでも施設利用と応援。直訪直帰で周辺地区に波及するとは到底思えません。

●「ドルフィンパーク（公園名は公募するとして）」にしませんか？
山形屋さんのやったドルフィンポートは狙いとしては間違ってはいなかったと思います。オープン当初の篤姫館、県内特産品の販売所、サーカス、冬のイルミネーションなどなど。ただ、民間のパワーだけだと規模や採算面で難しかったと思います。隣接のウォーターフロントパークと合体させて南九州随一の多目的型の「公園」にしませんか？
園内外のデザイナーに公募してぜひ全国から鹿児島に行ってみたくなるような場所を作りませんか？個人的はニューヨークのセントラルパークみたいになるといいなと思います（行ったことはないですが…）。

●思い切って駐車場は地下に作りませんか？
車社会が進む中、天文館へのストレスのひとつに「駐車場問題」があります。東開地区に比べて駐車場代が高く渋滞も心配で足が向かないという声はよく聞きます。

２層位にして大規模なイベントにも対応できるようにすれば、上は広大なスペースを確保できます。（上物を作ってからだと膨大な費用がかかりますし…）
地上の駐車場を大きくすればするほど賑わいがスポイルされてしまうような気がします。
（かつてのドルフィンポートがそうであったように）
マイナンバーカードを使うと鹿児島県民は割安になるとかいいですね。

●平日は何にもしてないけど県民がくつろげる場所
かつて、県庁が出来る前に公園がありました。今でも県庁周辺の木々はその名残を残しています。散歩する人、日光浴を楽しむ人、ランニングする人などなどみなさん思い思いに過ごしていたと思います。木々は最初小さくても20年後、50年後大きく育つ楽しみもありますね。

●週末を中心に各種イベント満載の場所
例えばナポリ祭り、ラーメン王決定戦、天文館公園のクリスマスイルミネーションなど鹿児島だけでも成功している集客イベントが数多くあります。全国を見渡すとバンマルシェやワインバル、クリスマスマーケットなど民間主導のイベントが目白押しです。昨年都内で開催されていたクリスマスマーケットなどはイルミネーションが魅力的で集客力も高く、鹿児島でも開催できれば旅行会社とタイアップして観光客に向けて発信ができるのではないでしょうか？
現在のウォーターフロントパークよりも設備を充実させることで「おしゃれで快適に楽しめるスペース」になれそうです。
鹿児島マラソンや花火大会の日はいろんな出店が出ると楽しいですよ。
音楽イベントやクラシックカーの展示など民間主導の集客イベントも面白そうです。

●「道の駅」ってどうですか？
観光客向けに、鹿児島が誇る農産物や畜産物、水産物、工芸品などを一同にお買物できる場所を作ってはいかがでしょうか。中途半端にやると恐ろしくダサくなるので地場の素材を使ったレストランや足湯とか併設して、最低でも九州一の規模で海に近いウォーターフロントパーク側に新設するといいですよね。
鹿児島は海が目の前なのに、長崎や横浜当たりと比較すると海が遠い気がしませんか？
おしゃれなウッドデッキなんかで目の前まで海っていいですよね。
将来的にはヨットハーバーや桜島を一望できる温泉施設などが出来るといいですよね。
降灰の心配がありますが、観光客の方々は逆に喜ばれますよ（限度がありますが）。

●アクセスは観光客があこがれる「市電」に乗って
鹿児島市の市電は全国のどの市電にも負けない魅力があります。芝生の緑が印象的です。
一度発表のあった単線の市役所前までの延伸というのではなく、ちゃんと作りませんか？
複線で。芝生も敷いて。（こちらは鹿児島市ですよね。すいません）
いづろからまっすぐドルフィンパーク（仮称）に向かって終点は「石橋公園前」。鹿児島は「石の文化」と聞いたことがあります。ちゃんと宣伝すれば新しい観光地になりませんかね？
将来的に仙厳園まで延伸できれば生活の足としても重宝しそうです。

●ついでにサッカー場は浜町に作りませんか？（これも市ですが）
桜島をバックにみんなで鹿児島ユナイテッドを応援しませんか？鹿児島中央駅から専用の

応援電車に乗ってみんなで盛り上がる！みたいな。駐車場は地下駐車場を使って無料のシャトルバスのピストン輸送で解決。
サッカー場は喫緊の課題ではない気がしますが、県と市とが対立しているような構図は得策ではないと思います。スポーツで鹿児島を盛り上げるという姿勢は大切ですし、サッカー場はとても魅力的です。商工会議所会頭の立場では辞退やむなしということもわかりますが、本港地区一帯の魅力作りには不可欠だと思います。双方歩み寄りは出来ないですかね？

2．　体育館は鴨池フェリー前の場所はダメですか？

●最後に突然わいた候補地は天文館に比べて利便性が劣るみたいな理由で却下になってしまいましたね。確かに天文館と比較してホテルは少ないし、お買物をする場所や飲食店も多くありません。でも逆に考えると中央駅周辺や天文館へ回遊も期待できませんか？
場所は今の体育館からまっすぐ１キロくらい先になるだけ。
駐車場をきちんと完備すればこれまでとそんなに環境が変わらず利用できますよね。
鴨池からの桜島の眺望も十分魅力的ですよ。

●谷山や南薩地区の方々は近く完成する南北幹線道路で産業道路の渋滞を回避、大隅の方々は鴨池フェリーから直結。離島からはすみません、これまで通りです。
前述の中央地区へ行く時間の心配やストレスも多少回避できませんか？

●周辺住民の騒音問題が懸念されていましたが、アートホテル側であれば、マンションからは離れていますし、体育館が出来ることで周辺地区の開発も進むような気がします。

●市電の延伸しませんか？（再）
ずいぶん前に一度県庁前あたりまで市電を延伸する話がでましたよね。あの話は採算面で廃案になったと聞いたことがあります。だけど県庁を中心にした鴨池地区へのビジネス導線に体育館への市内からの足を加えるとどうですか？
交通局は市電に特化してバスは民間に渡す話はとん挫してしまったんですかねぇ？

以上、ドルフィンポート跡地の活性化を観光の視点で考えてみました。専門家ではないので、あくまでもアイデアレベルですし、地下駐車場がいくらかかるのかもわかりません。
ただ、一発で完結させるのではなく「魅力的な場所の素地を作って次に繋げていく」ことが肝要だと思います。

また「天文館に昔の活気を取り戻したい！」みたいな話がよく出ますが、これだけ情報化が進み、消費行動も変わり天文館一極集中の時代から中央駅周辺や東開地区の開発が進んでいる中で、わざわざ県民の方々に足を運んでいただくにはショッピングや食事だけではダメですよね。

これから鹿児島を支えていく若い方々が鹿児島で暮らすことに永く満足してもらえる場所を官民一緒になって作れるといいですね。

もっと若い人たちの意見聞きませんか？
今回のアンケートにたくさんの意見がでるといいですね。

鹿児島港本港区エリアの利活用アイデア応募　16

[redacted]　[redacted]　プレゼン参加 否

女性　50代

マリンポートかごしまのようなウォーキングできたり、遊べたりできるような

公園を作り、週末だけではなく平日でも行きたくなるような場所を考えました。

小さい子供向けにアンパンマンミュージアムはリピーターが多いでしょう。キッザニアも楽しいと思います。

アニメも根強い人気がありますのでアニメイトも話題になると思います。私も50才過ぎていますがアニメ見ますし、グッズも買います。

私のまわりではイケヤが人気です。福岡へ行った時は必ず行きます。価格は安いし、商品は多いし、見るだけで楽しいです。買い物終わりは名物50円ソフトクリームと100円ホットドッグをいただきます。

スーパーが入っていると帰りに全て用事が済みますので主婦は助かります。

ラゾポートのように大きいガンダムを目印しにするような、施設に何かシンボルを置くのも良いかもです。

企業誘致は大変むずかしいと思いますが
せっかくなら鹿児島初になるものが良いと思います。

港湾空港課
-5.2.12
受付



受付No.（事務局記載欄）	17

[redacted]

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（[redacted]） [redacted]		住所	[redacted]	
性別	女	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・30代・40代・ 50代・60代・70代・ 80代以上	電話番号 （携帯の場合は連絡先も記載）	[redacted] （担当者名　　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			可　・　否		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム（e(いー)申請）」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付 No.（事務局記載欄）	

「鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア」
応募様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

IKEAとコストコと観覧車

※任意様式に記載して頂いても構いません。

港湾空港課
-5.2.13
受付

受付 No.（事務局記載欄）	18

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」
応募申請書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（[redacted]）		住所	[redacted]	
性別	男	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・30代・40代・ 50代・60代・70代・ 80代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名　　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			可　・　否		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL：099-286-3665　FAX：099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム（e（い一）申請）」
URL：https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付 No.（事務局記載欄）	

「鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア」
応募様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

① 南海トラフ地震への対策などが計画、検討される中、リスクが「ゼロ」では無い本港区エリアへのスタジアムや体育館などの大型の箱物の建設は避けるべきではないか。
また、最近、国も対応を急ぎ整備しつつある「台湾有事」への備えを考慮すると、県民、市民の避難場所としての機能を十分に想定した施設を検討、建設（増改築含む）することが急務ではないか。

上記のことを考慮すると、時間的な部分も優先しつつ、施設の建設は、現施設（鴨池競技場など）の増改築か、新設であれば、内陸、山手側への建設が望ましいのではないか。

② 上記①のことを優先して対応し、本港区エリアについては、県民、市民が集える大型イベント会場（敷地のみ）、公園及びバス、自家用車などが収容できる大型駐車場を整備すべきではないか。
また、地震、津波などへの対応だけではなく、海岸沿いの「塩害」による保守費の増加や台風時の対策費など、大型施設の場合の運営費の増大が継続して発生することは容易に推測できる。

国内外の状況は日々変化しており、固定観念、予算主義にとらわれない検討員会の判断を望む。

港湾空港課
-5.2.13
受付

受付No.（事務局記載欄）	19

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」
応募申請書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（ [redacted] ）		住所	[redacted]	
性別	男	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・20代・30代・40代・ (50代)・60代・70代・80代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名　　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			可　・　(否)		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL：099-286-3665　FAX：099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム（e（いー）申請）」
URL：https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付 No.（事務局記載欄）	

「鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア」
応募様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

経済波及効果を考えると、スポーツコンベンションセンターとサッカースタジアムは隣接地に計画した方がいいように感じます。また、桜島の景観を考えた際、現在挙がっている内容とは別に、コンベンションセンターの上にサッカースタジアムを建設する方法はないのでしょうか？桜島と施設の延長線上からはさらに景観が悪くなることになりますが、横に広げるよりはいいように思えます。

また、施設の稼働率を考えたとき、人が集まる魅力が必要だと思います。近年、サウナブームが過熱していますが、鹿児島には本格的なサウナ施設が少ないのが現状です。コンベンションセンターやスタジアムを利用したお客さんが汗を流す場所として、温泉施設に魅力あるサウナ施設を建設したらいいと思います。

サウナ施設は、セルフロウリュや熱波師を配置した本格的なもので、サウナ後に桜島を眺めながら整うことのできるデッキスペースがあれば最高の施設になります。県外からこの施設を目当てに来る人も多いのではないでしょうか。

(5)

[redacted]

港湾空港課
-5.2.13
受付

受付No.（事務局記載欄） 20

[redacted]

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（[redacted]） [redacted]		住所	[redacted]	
性別	男・女	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・30代・40代・ 50代・60代・70代・ 80代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名　　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			可　・　否		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3643　FAX:099-286-5629

「鹿児島県電子申請共同運営システム(e(いー)申請)」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

鹿児島県土木部港湾空港課本港区
まちづくり推進室 御中

おことわり。

以下の提言書は、令和２年、鹿児島県知事選挙の後
当選された、塩田康一 知事宛てに作成し、郵送したものです。
この度、ドルフィンポート跡地の活用法についてのアイデア
募集を受けて、再度送付いたしますのでご検討いただければと
思います。

令和5年2月

[redacted]

プレゼンテーション (否)

鹿児島県(鹿児島マリーナ)を世界の寄港地にする提言

鹿児島は、錦江湾という天然の良港を生む好条件を持ち、眼前には世界に類を見ない活火山の桜島がそびえている。
海に囲まれたわが国は、およそ3000の港を有するが、その多くは、漁業協同組合に所属する漁船が大部分を占めています。
ヨットハーバーとして江の島、葉山、横浜、西宮、和歌山、等ありますがレジャーボート(ヨット、クルーザー)の普及は先進国の中でも一番遅れた状況にあります。
現在、我が県の豪華客船の誘致における経済効果は、寄港が年に数回、滞在時間も数時間ということもあり、一部のアウトレットモールに限られている感があります。
人工島の活用も限られ(クイーンエリザベスは海深不足で停泊できない) 宝の持ち腐れ状態です。
そこで、目を向けたいのが 世界の超富裕層の所有するスーパーヨットをターゲットにすることです。
彼らのクルーは十数名ですが、滞在期間は数週間、そうなると県下のゴルフ場、霧島や指宿の温泉施設、世界遺産の屋久島等の活用も生きてきますしその経済効果は1クルーあたり3000万～4000万ぐらいになると思われます。
彼らが寄港したくなるような港を造ることが必要なのですが
これを実現する為には、インフラの新設、改修(陸地ヤード、ストックスペース、マリーナクレーン、給油、メンテナンスのできる施設等)、ホテル、レストラン、ショッピングモール、国際展示場などのハード面とサービス体制、人材確保のソフト面がありますが、一番重要なことは、スーパーヨットのオーナーが何を求めているのか、どうすれば喜んでのらえるのかといったことを知ることです。
幸いにも 鹿児島市は、マイアミと姉妹都市提携していますので、マイアミの持つノウハウを海外研修生を送ることで解決できると思います。まじかに甘まる IR 法案の候補にも手を挙げていいかも

います。ましかにせまる IR 法案の候補にも[illegible]
しれません。

2021年、世界の10都市の寄港地を廻るオーシャンレースが始まりますが、アジアでは中国の深圳(シンセン)のみが寄港地に選ばれました。 残念です・・・。
セントーサ(シンガポール) 、モナコ、 マリナデルレイ(カリフォルニア) 、オークランド(NZ) 、マイアミ 、ジェノバ(イタリア)

などの世界的寄港地と肩を並べる鹿児島になりませんか？
そうなれば世界中からヨットマンが訪れる街に変わります。
鹿児島と屋久島を廻る世界的ヨットレースも開催されるかもしれません。
世界の海の男たち、特に海軍に尊敬の念を持って称えられている アドミラル東郷が多賀山から見下ろす錦江湾に 世界中のヨット、クルーザーが停泊している姿を想像してみてください。
施設が整い、誰でも手軽に楽しめる環境が出来ると、
県民所得も向上し、富裕層だけでなく 皆がマリンライフを楽しめるようになると思います。
時間も、コストもかかるプロジェクトになるので、一朝一夕にはいかないと思いますが、こんな夢を抱きながら錦江湾を眺めております。

令和２年 ７月 [redacted]

⑥

港湾空港課
-5.2.13
受付

受付No.（事務局記載欄）

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（[redacted]） [redacted]	住所	[redacted]
性別	男	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・30代・40代・ 50代・60代・70代・ 80代以上
電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名　　）		
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）	可　・　否		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。

※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。

※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。

※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。

※　提出された資料については，返却いたしません。

※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。

※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。

※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム（e（いー）申請）」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付No.（事務局記載欄）	

鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア

応募様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

①いくつかありますが、まず子供の遊び場が少なく、巨大アスレチックや雨の日でも遊べる幼児～大人を対象とした施設を造って頂きたい。

②海の前という立地ですのでオシャレなカフェをいくつも造って頂きたいです。

③県外や海外からの知人が遊びに来ても、連れて行ける場所がなく困っています。他県にないような鹿児島独特の招待できる施設などを造って頂きたいです。（長～い足湯等）鹿児島市に連れて行ける場所がなく、毎回熊本を案内していますが、これもおかしな話しですね。

④中国や韓国等でよく見かける運動器具（公園や道端でよく見かける）をたく山つくってもらいたいです。

※任意様式に記載して頂いても構いません。

港湾空港課
-5.2.13
受付

⑦－①

受付 No.（事務局記載欄）	

[redacted]

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（[redacted]）		住所	[redacted]	
性別	男	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・30代・40代・ 50代・60代・70代・ 80代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名　　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			可　・　否		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム(e(いー)申請)」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

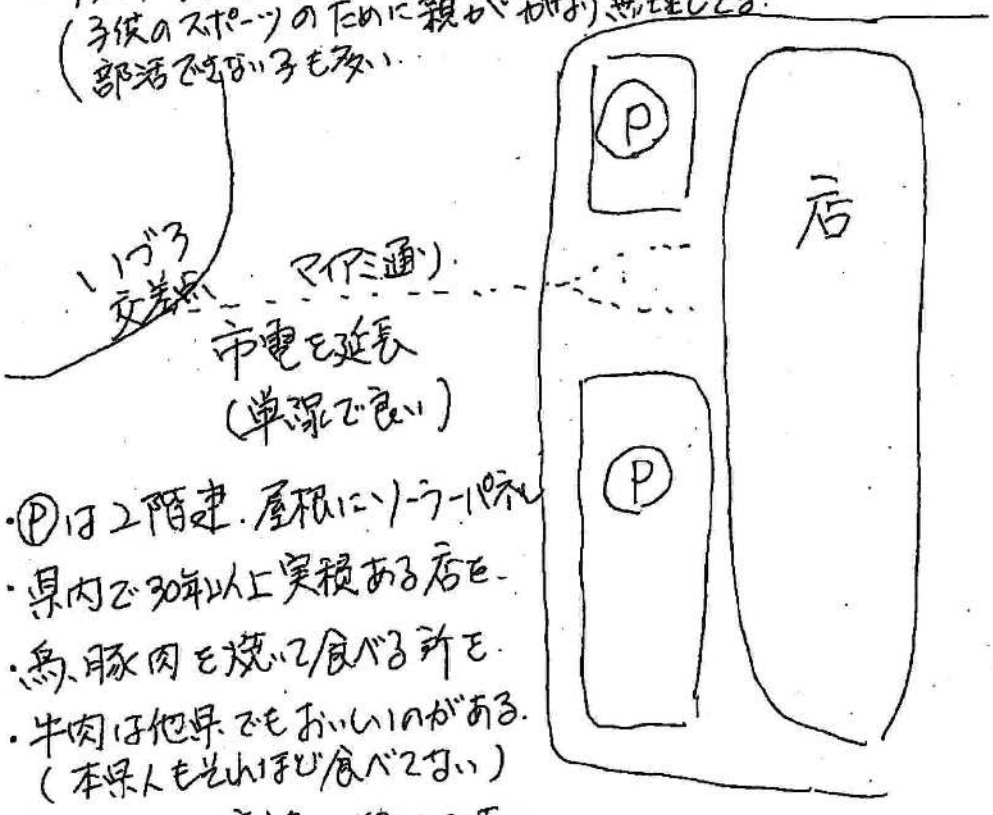
②

受付No （事務局記載欄）

[redacted]

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

・巨大道の駅が良い
・桜島が見える、鹿児島弁が聞こえる、足湯がある。
・鹿児島側からの押し付けではなく、他県人が鹿児島に求めるもの。
イメージ・食べ物を提供する。
・サッカー場スポーツ場には反対
（子供のスポーツのために親が(かなり)無理してる。
部活でない子も多い。



・Pは2階建。屋根にソーラーパネル
・県内で30年以上実績ある店を。
・魚、豚肉を焼いて食べる所を。
・牛肉は他県でもおいしいのがある。
（本県人もそれほど食べてない）
・足を伸ばして離島に行ってみたい
と思わせる仕掛け。

※任意様式に記載して頂いても構いません。

2/13?　⑧

港湾空港課
-5.2.13
受付

受付No.（事務局記載欄）	23

[redacted]

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（　　） [redacted]	住所	[redacted]
性別	男	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・20代・30代・40代・50代・60代・70代・(80)代以上
電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名 本人 ）		
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）	(可)　・　否		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム(e(いー)申請)」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

意見書

鹿児島本港区エリア活用方法のアイデアについての意見募集について。
サッカー場と体育館建設に反対致します。

今現在において鹿児島市の交通渋滞がワースト日本一と報道されました。
本港区に体育館を造ったら今以上に交通渋滞が酷くなるのではないか。
電車の軌道を地下鉄に変える事が一番かと思います。地下鉄に変える事でのメリットはミサイルが中国、北朝鮮、ロシアから飛んで来ても避難場所になるのではないでしょうか。
鹿児島市はサッカー練習場を喜入町に造っていますが、今鹿児島市周囲で宅地造成計画が沢山有ります。今鹿児島市の住宅地は余っています。それらを体育館、サッカー場を造ったら良いのでは。
鹿児島のシンボルは桜島です。本港区跡地には世界の観光客を呼ぶ為のホテルを造るべきと思います。その為に本港区は造ったのではないですか。
鹿児島市長は選挙公約で鹿児島市に企業を持って来るという公約でしたが、生産工場は何も来ていません。事務所関係が6社来ていますがJRのものです。鹿児島市役所の業務は移転届出申請等幾つもの窓口に行き手間と時間が掛かり多くの人が携わっています。窓口の一体化を望みます。鹿児島市は税金の無駄使いばかりです。県で指導して下さい。
資金について、計画書により寄付する方もいると思います。岩手県で5億円の金塊を寄付された方がいました。我が鹿児島県でも現在の県体育館資金を出して下さった飯野海運様を覚えています。日本の大手企業は日本円安で大きな利益を出している会社が有ると思います。この時程利用するべきではないでしょうか。

① 交通渋滞の解決
　鹿児島市内に入る道路はどこも整備途中で止まっている。
② 戦争の時の避難場所
　地下鉄で解決
③ 公共駐車場を地下に造る。
　戦争の時の避難場所となる。
④ 運動場は郊外に造るべき
　小野団地45万坪～50万坪（造成許可取得済）
⑤ 観光鹿児島として遅れを取り戻す。
　世界が富裕層の泊まるホテルを要求しています。
⑥ 福岡市土地計画を見習うべき。
　工業団地を造り利益が出ています。

以上

[redacted]

港湾空港課
-5.2.13
受付

2/13. 11:45.

受付No.（事務局記載欄）	24

「[redacted]」

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（[redacted]） [redacted]	住所	[redacted]

性別	女性	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・30代・40代・ 50代・60代・70代・ 80代以上 今年で40才です	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名　　）

プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）	可・否 （子どもがまだ小さいので、要相談）

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム（e（いー）申請）」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付 No.（事務局記載欄）	

『鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア』
応募様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

◉ 子連れで楽しめるエンターテインメント港町という雰囲気にする!!

→ 子連れでも安心できるトイレやその他利用スペースを作る。
ゆったりお散歩できて、オシャレな買い物もできて（服飾雑貨）、
子どもをあずけてパパとママが1時間ほどデートできたり。

→ ご老人も気負いしないように、ご老人の案内人やお世話人もいてほしい。
体の不自由な人や、外国の方々にも、優しくて楽しめる感じで、
専門スタッフを用意する。

→ 鹿児島は、自然に恵まれているので、「海山川の幸」を、
種類ごとに分けた飲食店もあってほしい。（土産屋も）

→ ストレス社会なので、ココへ来ることで、ストレスフリーになり、
良い気持ちになれるように、自由参加型の運動レッスンをしてほしい。
（ヨガ、太極拳、その他トレーニングなど）

→ 私は気象予報士の資格をもっているのですが、以前から、
子ども向けに、「青空教室」を開いて、子どもの心を豊かにする
お手伝いをしたいと思っていました。そういった、未来の大人になる
子どもたちの幸せと、心豊かな世界観を創造していくイベントなど、
無料で楽しめる感じにしてほしいなと思います。

→ 育児によって、パパとママの仲が悪くなってしまうこともありますよね。
それなパパとママの2人時間を作ってあげられる、オシャレな港町も
（子どもを少しの間、あずけられる場所、これは有料でOK）　ステキだなと思います！

→ 船の到着や出港も多いので、簡易的な？診療所も
あってほしいです。

※任意様式に記載して頂いても構いません。

港湾空港課
-5.2.14
受付

受付No.（事務局記載欄）	25

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」

応募申請書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（[redacted]） [redacted] （個人）		住所	[redacted]	
性別	男	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・30代・(40代) 50代・60代・70代・ 80代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名　　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			可　・　否		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム（e（いー）申請）」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付 No.（事務局記載欄）	

「鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア」
応募様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

鹿児島に友達が遊びに来てもどこに観光に連れて行こうとなります。
特に子供たちが行くとしたら、水族館や動物園になります。
九州各県には、子供が遊ぶ場所があります

熊本：三井グリーンランド、熊本市動物園(遊園地あり)、阿蘇ファームランド
宮崎：青島、高千穂
大分：別府温泉、うみたまご、城島高原パーク、ラクテンチなど
福岡：福岡タワー、マリンワールド海の中道、大宰府天満宮
長崎：ハウステンボス
佐賀：虹の松原、メルヘン村
などありますが、鹿児島は子供を連れて遊びに行く所が少ないように思います。
九州以外のところからも観光客を呼ぶには、もう少し鹿児島で遊ぶところが欲しいです。
子供を連れていく所がないよね・・・と親友達で話をしています。

そこで、鹿児島ならではの観光スポットを提案します
① 雨天時でも遊べる施設(特に子供)
モデル：韓国のロッテワールド、キッズニア福岡、阿蘇ファームランド、
② アスレチックを用いた屋外エリア
桜島や屋久島を思わすような屋外アスレチック
モデル：福岡海の中道、ハウステンボスの天空の城など
③ 海を利用したマリンスポーツや体験が楽しめるエリア
モデル：芦北青少年の家
④ 遊園地などの遊園施設
モデル：三井グリーンランド

先日、大阪のUSJに行きましたが、一つの大きい施設があるだけでも一日楽しめますし、県外からの観光客も多くなると思いますよね。
そこに、鹿児島の特産物を用いたお土産や店舗があれば良いと思います

港湾空港課
-5.2.15
受付

受付No.（事務局記載欄）	26

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」
応募申請書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（[redacted]） [redacted] 個人		住所	[redacted]	
性別	男	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・30代・40代・ 50代・（60代）・70代・ 80代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名　　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			可　・　（否）		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム（e(いー)申請）」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付 No.（事務局記載欄）	

「鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア」
応募様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

現在検討されている緑地帯を残した新体育館建設を早く進めて欲しいと思います。
但し、現在の施設活用に加えて欲しい物があります。通常体育館で実施される競技優先の設計になっているのではないかと思っています。県及び市のスケート連盟よりスケートリンク建設の要望は上がっているかと思われますが、一愛好家としても新体育館設備に鹿児島港本港区エリア利活用アイディアとしてアイススケートリンク設置を加えて頂きたいと思います。
（屋外施設では気候天候及び降灰の影響をうける為、屋内施設として設置希望）

今現在、鹿児島にはウインタースポーツを楽しめる場所がありません。残念ながらアイススケートは、最も近場では宮崎県営「えびの高原屋外アイススケート場」（１２月から２月下旬まで営業）を利用するしかありません。鹿児島市からは一般道利用で約２時間掛かります。
また、熊本市営の「アクアドームくまもと」（１２月から３月末までの営業）。こちらも鹿児島市からは九州道を利用して約２時間掛かります。
以前は、鹿児島市に「セイカスポーツセンター」と薩摩川内市に「ライフスケートリンク」が民営でありました。フィギュアスケートの競技会やホッケーの大会、一般利用と体育の授業とかの利用もあり、南九州鹿児島でもウインタースポーツが楽しめスケート人口もそれなりにあったかと思います。現在も連盟に所属されている団体は鹿児島にリンクが無い為、福岡まで出向いて練習をされていると聞きます。リンクがあれば、フィギュアスケート・アイスホッケー・カーリングなどへの親しみが増えて国体選手や国際舞台に進出出来る人材育成も可能になるのではないかと思います。
（現在の国体選手は、ふるさと枠とか？で鹿児島県に居住されて無い方が多いように感じます）

アイススケートリンクだけではなく、インラインスケート場の併設も可。また、スケートボード施設もあれば利用者数も増えるのではないでしょうか？アイススケートリンクの通年開設が難しい様なら、冬季のみ開設で夏季はインライン、スケートボードでの利用もありかと思います。

鹿児島港本港区エリアは、ウオーターフロントで桜島を望む景観の素晴らしい場所です。
フードコート等飲食も含んだ複合施設だと人流も確保出来るのでは無いかと思います。
体育館競技者以外の一般の県民も気軽に利用できるスポーツ施設になる事を願っております。

※鹿児島は公共交通機関に難があります、駐車場確保は必須。（但し、施設利用者割引を設定）
※建設費用・設備費用・運営維持費用・人件費等は、全くの素人なので考慮しておりません。

ちなみに、鹿児島アリーナで行われる、「ディズニーオンアイス」などは仮設？アイススケートリンクで開催されています。アイスリンクを作れる機材を搬入・設置出来る構造にして頂くと言う事も検討して頂けたらと思います。（イベント時のみだとあまり意味がありませんが・・・）

港湾空港課
-5.2.15
受付

受付 No.（事務局記載欄）	27

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」
応募申請書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	[redacted]		住所	[redacted]	
性別	男	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・30代・40代・ 50代・[60代]・70代・ 80代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名　　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			可　・　否		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム（e（いー）申請）」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付 No.（事務局記載欄）	

「鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア」
応募様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

市内に住み、毎日のようによく港周辺を見てきている者として、ウォーターフロントパーク（緑地）は現状でも体育館やスタジアムの利用者以上の多くの市民が桜島を目の前にした憩いの場として利用しており、体育館やスタジアムができた将来を見据えも縮小や亡くすことは持ってのほかです。少なくとも 2000 万円掛かっても維持していくことが非常に大切です。（緑地を減らせば 2000 万円浮く意見があるようですが。）

近くにできた体育館やスタジアムの利用者も活用できるように、今以上にウォーターフロントパークが生きたものになるようもっと良い緑地になるように考えてほしい。

現状の空き地の状況を見れば、悪影響や利便性など総合的に考えれば住吉地区とﾄﾞﾙﾌｨﾝﾎﾟｰﾄ跡地を使い体育館とスタジアムを建てるのがよいと考えます。

市電の延長についてもいづろからﾄﾞﾙﾌｨﾝﾎﾟｰﾄ跡地前から住吉地区まで延長すれば、高速船や離島航路の利用者（現状はいづろから重い荷物を引きずりながら歩いている方が非常に多い。）の利便もよくなります。また、住吉地区なら中央駅からのシャトルバスがナポリ通りとパース通り利用で混雑無しで短時間になります。

さらに高速船乗場前などにある駐車場を 2 階建て以上にするなどすれば、体育館とスタジアムの間で近いうえに体育館とスタジアムに造る駐車場の規模も抑えられる思われます。

体育館とスタジアムが同場所にできると、同時にイベントがあると、相当な混雑が予想されるので、少し離したほうが移動の人の流れなど考えるとかなりの混雑緩和になります。

最後に、さらに予算のかかる話ですが旧港湾合同庁舎跡地の利用をすれば、同所に市電駅やバスターミナルも作れるのではと思います。

この意見書は市側にも検討していただきたい。」

港湾空港課
-5.2.15
受付

受付 No.（事務局記載欄）	28

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」
応募申請書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（いじちりょう） 伊知地亮 ポナン	住所	1640003　東京都中野区東中野 5-1-1-2012

性別	男	年代 （○で囲む）	10 歳未満・10 代・ 20 代・30 代・40 代・ 50 代・60 代・70 代・ 80 代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted]

プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）	可　・　否

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町 10 番 1 号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム（e（い－）申請）」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付 No.（事務局記載欄）	

「鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア」
応募様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

弊社の船舶で安全な着岸が実証されている中、発着港として今後の北ふ頭の活用をお願いしたいと考えています。つきましては小型船に特化したターミナル整備を一つの柱とした構想の提案を是非させていただけたらと思います。世界の例を示しつつ桜島を背景にした唯一無二な客船ターミナルの可能性について提案させて下さい

※任意様式に記載して頂いても構いません。

弊社の船舶で安全な着岸が実証されている中、発着港として今後の北ふ頭の活用をお願いしたいと考えています。つきましては小型船に特化したターミナル整備を一つの柱とした構想の提案を是非させていただけたらと思います。世界の例を示しつつ桜島を背景にした唯一無二な客船ターミナルの可能性について提案させて下さい。

弊社ＰＯＮＡＮＴ（ポナン）は，1988 年に設立されたフランス唯一のクルーズ船社で，小型船による南極や北極の旅をはじめ，オーストラリアのキンバリー等を訪れる秘境や手付かずの大自然を体験する船旅を提供しています。2018 年に鹿児島港の北埠頭に国際クルーズ船として初寄港したロストラル（10,700 トン，乗客 264 名）は弊社の船舶であります。
北埠頭は，世界に誇る活火山「桜島」を眼目に眺められることや，中心市街地に近接している利便性から乗客からも寄港地として好評を頂いており，今年５月に世界自然遺産である屋久島や奄美等を周遊する富裕層向けツアーを実施いたします。
今後もこの北埠頭を活用したラグジュアリークルーズツアーを積極的に造成してまいりたいと考えておりますことから，さらに魅力あるふ頭となるよう次のことを提案させていただきます。

○小型船に特化したターミナル整備（桜島を背景にした唯一無二な客船ターミナル）
・現在は貨物上屋の利用である。
○市民等とふれあえ交流できる空間整備
・周辺は複数の貨物上屋や一部利用のターミナルと駐車場敷地となっており，交流する場がない。
○鹿児島の自然・歴史・温泉・食などの魅力を発信・案内する機能整備

港湾空港課
-5.2.15
受付

受付No.（事務局記載欄）	29

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」
応募申込書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（[redacted]）		住所	[redacted]	
性別	男性	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・30代・40代・ 50代・60代・70代・ 80代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] －　－ （担当者名　　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			可　・　否		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム（e（いー）申請）」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付 No.（事務局記載欄）	

「鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア」
応募様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

私はふるさと鹿児島 18 歳で出て関東で就職して生活しています、30 代で妻子を連れ U ターンを考え地元企業で面接も受けましたが、収入の低さで断念しました。

高齢化はどこの県でも進んでいますが若者の流失に歯止めをかけないといけない、鹿児島県は最低賃金全国ワースト 1 位であることを忘れてはいけない。

私は鹿児島ユナイテッドのサポーターではあるがスタジアムや体育館の建設ではなく県民の収入を増やすことを最初に考えなければいけないと思う。

雄大な活火山の桜島の価値を一番分かっていないのが鹿児島県人だと思います。地理的に東南アジアからも近く、手つかずの自然もある、桜島を観ながら食事をしたり、買い物をしたりする施設を作るべきです、アウトレットモールや免税店、絶対に福岡県以上の観光客は呼べるはずです。

コロナ禍もいずれ終わるでしょう、なに躊躇しているのか。箱物ではなく観光企業の誘致しかないと思います。

間違ってもサッカースタジアムや体育館をあの場所は勿体ない、作ったら失政と以外なにものでもないです、景観を観光誘致にして観光客を呼び込み福岡県以上の都市にしようじゃありませんか。

港湾空港課
-5.2.16
受付

受付No.（事務局記載欄）	30

『鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア』
応募申請書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（[redacted]） [redacted]		住所	[redacted]	
性別	男	年代 （○で囲む）	50代	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名　　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			可		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム（e（い一）申請）」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付 No.（事務局記載欄）	

「鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア」
応募様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

県民の憩いの場，心を洗いかえせる，落ち着きを取り戻せる場として，箱ものは作らず，景観を活かした公園としていただきたいです。

錦江湾をはさんでの桜島は，何ものにも代えがたいかけがえのないすばらしい景観です。人工物でこの景観を汚さないように配慮，人としての心配りをお願いします。

※任意様式に記載して頂いても構いません。

港湾空港課
-5.2.16
受付

受付No.（事務局記載欄）	31

[redacted]

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（[redacted]） [redacted]	住所	[redacted]
性別	男	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・30代・(40代)・ 50代・60代・70代・ 80代以上
電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名　　）		
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）	可　・　(否)		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム(e(いー)申請)」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付No.（事務局記載欄）	31

[redacted]

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

圧倒的にサッカー専用スタジアムです。
自分は岐阜サポーターで鹿児島サポーターとも交流があり、昨年鹿児島のスタジアムまで行きました。鹿児島サポーターの盛り上がりはJ3ではトップクラス、J2サポーターにも引けを取らないレベルです。そんなチームが現時点でJ1ライセンスが取れないスタジアムで試合をしてます。サッカーだけに使うと思いがちかもですが、学生の大会、ラグビーの試合など使う方法があります。屋外イベントにも使えると思います。
スポーツには必ず相手チームのエリアからのサポーターが来ます。
そのサポーターは立派な観光客です！観光客が来る場所は観光施設です！
立派なスタジアムが出来ると人はよりスタジアム行きたい！という気持ちが増えます！
専用スタジアムをサッカーなんかとか思うのではなく、経済効果をしっかり調べて意見に取り組んで欲しいです。サポーターは町にお金を沢山使ってます！

※任意様式に記載して頂いても構いません。

港湾空港課
-5.2.17
受付

受付 No.（事務局記載欄）	32

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」

応募申請書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	[redacted] ）		住所	[redacted]	
性別	男	年代 （○で囲む）	60 代	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] －　－ （担当者名　　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			否		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町 10 番 1 号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム（e（いー）申請）」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付 No.（事務局記載欄）	

「鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア」
応募様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

鹿児島北ふ頭ターミナルビルを展望レストランに

完成後、いちども本来の活用ができないまま時間がたっていますが、建物そのものはまだ活用できそう。ガラス張りの2階を展望レストランにしていただきたい。鹿児島市水族館からボードウオークできる回遊路も完成させ、水族館利用者も誘導できれば。同ターミナルを活用している唯一の航路、喜界航路は南ふ頭に移動させ、北ふ頭は小型・中型のチャーターを含む観光船の発着場にすればいいと思います。

※任意様式に記載して頂いても構いません。

港湾空港課
-5.2.17
受付

受付No.（事務局記載欄）	33

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」
応募申請書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（[redacted]）		住所	[redacted]	
性別	女	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・30代・40代・ 50代・60代・70代・ 80代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名　　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			可　・　否		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム(e(いー)申請)」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

鹿児島といえば西郷さん。西郷さんといえば、ツンを始め、多い時は１０匹以上も犬を飼っていたという愛犬家。ということで、鹿児島の一大観光事業として、犬（ペット）にやさしい大規模施設を計画するのはいかがでしょうか。

桜島を目の前に、お散歩やドッグランのロケーションとしては最高です。また、垂水フェリー・桜島フェリーともに、ペットも乗車可能で、鹿児島市内を中心にあちこち観光をすることもできます。

鹿児島の宿泊施設でペットOKのお部屋があるところといえば、霧島のD+（霧島観光ホテル）やラビスタ霧島がありますが、どちらも平均的なお宿よりは高級でお値段も高額なのにも関わらず、コロナ禍においてもなかなか予約のとれない人気のお宿です。九州各所を調べても、ペットOKかつランクの高いお宿は軒並み予約がとりにくい状況が続いています。

ペットを飼う金銭的余裕のある方は愛犬との旅行に奮発をする傾向があると思われます。飛行機を使うとなると、愛犬を貨物に預けないとならないのに抵抗がありますが、フェリーや新幹線なら終始愛犬と一緒の旅行が可能です。鹿児島市内にペットOKでなおかつ鹿児島の美味しいお食事が楽しめるお宿があり、ペットウェルカムな施設もあるとなれば、全国からマイカーのみならず、新幹線やフェリーなどで観光客が集まるのではないでしょうか。

ペットと一緒の旅行で一番苦慮するのが、お宿以外の食事です。車に置きっぱなしにするわけにもいかないし、テラス席で食べられる料理は、おしゃれなものは多くても、ご当地のグルメというのはなかなか食べられないことが多いです。
託児所のように、ペットを一時的に預けられて、その間天文館などで美味しい料理に舌鼓・・・というような観光のスタイルを提案することができれば、ぐっと間口が広がるのではないでしょうか。ご検討いただけると幸いです。

○鹿児島港本港区エリアにペットウェルカムな大型施設をつくる。そこで出た利益の一部は保護犬や保護猫のために使用する。
例えば・・・
・ドッグラン
・ドッグカフェ
・ペットもはいることのできる足湯
・ペットの託児所
・ペットOKのお土産屋さんなどのショップ
・桜島パックに最高のロケーションで、プロのカメラマンによるペットとの写真撮影
○それに伴い、鹿児島をあげてペット連れに優しいサービスを提供する。
例えば・・・
・ペットOKのタクシーやシティビュー・公共の交通機関を充実させる
・鹿児島を感じられる散歩道の整備・案内（錦江湾や甲突川沿い、桜島桟橋など）

港湾空港課
-5.2.17
受付

受付 No.（事務局記載欄）	37

[redacted]

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（[redacted]）	住所	[redacted]

性別	男	年代 （○で囲む）	10 歳未満・10 代・20 代・30 代・40 代・◎50 代・60 代・70 代・80 代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted]（担当者名　　）

プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）	可　・　○否

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町 10 番 1 号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム（e（い一）申請）」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付 No.（事務局記載欄）	

「鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア」
応募様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

今のままで・・・
・雄大な桜島と錦江湾の景観を活かしたウォーキングコース

知事の言われる「稼げる県」に。
・魚類市場と連携したフィッシャーマンズワープ@シーフードレストラン

県民と観光客が一緒に楽しめる
・アート・エンタメ＆ワークショップイベントゾーン
・キッチンカーゾーン

港湾空港課
-5.2.17
受付

受付No.（事務局記載欄）	35

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」
応募申請書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（[redacted]）		住所	[redacted]	
性別	女	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・30代・40代・ 50代・(60代)・70代・ 80代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名　　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			可　・　(否)		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム（e（いー）申請）」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付 No.（事務局記載欄）	

「鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア」
応募様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

１．桜島を前面に見据えた、他所にはない貴重な景観を生かす観光施設を作る。緑地公園を作り、花々を植え、季節ごとにイベントを行ったり、何もなくても誰もが桜島を見ながら憩える場にする。噴水があってもいい。丸い小さなプールがあってもいい。横浜の山下公園のような。50年前の山下公園はただの芝生が植えてあるだけの海辺の公園でしたが、それでも、みんなが憧れて集まってくる公園でした。50年たった現在では散歩もショッピングも食事も イベントも（ばらフェスタ、リレーフォーライフ等々）すべてが可能な整った夢のある大観光地になっています。それでも、まだ努力を怠ることなく、進化し続けています。　ドルフィンポート跡地が、山下公園のような夢のある公園になる可能性は充分あります。

https://gardennecklace.city.yokohama.lg.jp/yokohama-roseweek/

https://hamakore.yokohama/graden-necklace-yokohama-roseweek-202204/

２．パリにあるリュクサンブール公園のような公園にする。宮殿はなくていい。桜島がその代わりになるから。噴水や池を囲んで、人々が憩える公園。

https://paris-rama.com/paris_spot/051.htm

３．徳島県鳴門市の国際美術館のような美術館を建ててほしい。レプリカでも良いので鹿児島の人たちにも世界の名画を鑑賞できる美術館があったらどんなにいいか。また、観光資源として他県やさらに海外からも多くの人も訪れるのではないでしょうか。

https://o-museum.or.jp

※これは鹿児島の50年先、100年先の未来を作る大変重要な問題なので、もっとたくさんの県民、市民の意見を反映できる方法（たとえば○×方式での投票など）を取るべきではないですか？将来、こうであったら良かったのにという可能性をつぶさないでほしい。

桜島を見た県外の友人たちは、その美しさに圧倒されて、これは本物なの？絵なの？と賛嘆します。一生忘れることのできない美しさだと褒め称えます。この美しい希少価値のある景観で県民が憩う場所となり、その上観光に活かすべきではないでしょうか？

港湾空港課 -5.2.17 受付

港湾空港課 -5.2.17 受付

受付No.（事務局記載欄）	261

[redacted]

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	[redacted]		住所	[redacted]	
性別	男	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・30代・40代・ 50代・(60代)・70代・ 80代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名　　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			可　・　(否)		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。

※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。

※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。

※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。

※　提出された資料については，返却いたしません。

※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。

※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。

※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム(e(い一)申請)」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付No.（事務局記載欄）

[redacted]

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

大型の遊園地に利用してみてはいかがでしょう
鹿児島市内の大型商業施設は鹿児島中央駅より南
(谷山)方面に人口増加の影響もあり出店されて
おり、本港区及び上町地区には同施設よりも
六十万都市に相応しい遊園地が良いのではないで
しょうか？小生の幼少期は、城山の森や国際ジャングル
パーク、山形屋、丸屋、高島屋のデパート屋上、鴨池
動物園など大型ではありませんがありました。
現在、孫二人の爺ちゃんですがいわワールドかごしま水族館
に遊びに連れて行くのが一番の山です。是非、孫たちや
家庭を築く為の若い男女の集いの場にもなる
遊園地をお願い申し上げます。

※任意様式に記載して頂いても構いません。

港湾空港課
-5.2.17
受付

2/19

受付No.（事務局記載欄）	37

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」
応募申請書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（[redacted]）		住所	[redacted]	
性別	男	年代 （○で囲む）	10歳未満・(10代)・ 20代・30代・40代・ 50代・60代・70代・ 80代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名　　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			可　・　(否)		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム(e(いー)申請)」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付 No.（事務局記載欄）	

「鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア」
応募様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。



港湾空港課
-5.2.19
受付

受付No.（事務局記載欄）	38

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」
応募申請書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（[redacted]） [redacted] 個人		住所	[redacted]	
性別	男	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・20代・30代・40代・ （50代）・60代・70代・ 80代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名　　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			可　・　（否）		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム（e（いー）申請）」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付 No.（事務局記載欄）	

「鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア」
応募様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

鹿児島県民は、桜島に慣れ過ぎている‼

鹿児島港本港区の利用計画を検討する人は、現地に足を運び、現地から桜島を眺めてから意見を言わなければならない。
体育館やサッカースタジアムをどこに作るかは、そこへ向かう人々がどこを歩いて行くのかを想像してほしい。もし県外からのお客様が、JR 鹿児島駅から歩いて行く途中で桜島が見えたらどんなでしょうか？
想像していただけたら、おのずと建設場所は決まっていくと思います。

いつも見慣れている桜島を、ぜひ現場に立って見てください。

※任意様式に記載して頂いても構いません。

2/20 郵送

港湾空港課
-5.2.20
受付

受付 No.（事務局記載欄）	39

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」
応募様式

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（[redacted]）		住所	[redacted]	
性別	女	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・30代・40代・ 50代・60代・70代・ 80代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名　　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			可　・　否		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム（e（いー）申請）」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付 No.（事務局記載欄）	39

『鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア』
応募様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

水族館より海側に
木々を植え、キャンプ場にする。
バンガローを何棟か建て、
テント場を作る。
市内より、少し入れば、錦江湾も
望めて、桜島も目の前にあり、
町も、自然もある場所があれば
いいのでないでしょうか。

※任意様式に記載して頂いても構いません。

港湾空港課
-5.2.22
受付

4/22
郵送

受付 No.（事務局記載欄）	40

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」
応募申請書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（[redacted]） [redacted]		住所	[redacted]	
性別	男	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・30代・40代・ 50代・60代・(70代)・ 80代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名　　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）	可　・　(否)				

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム(e(いー)申請)」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

「鹿児島湊本工区エリアの利活用アイディア」応募

[redacted]

鹿児島港本工区エリアに検討されている体育館建設等について、

私のアイディア提案は、

①「Eスポーツ」や②「漫画ミュージアム」の併設と、③「湾岸遊歩道コース設置（散策）」です。

これらは、一年中稼げる体育館付帯施設として、併設した施設の利活用を世界中から集客し、

国内外の来場者が何度もリピートする楽しい施設にすることです。

① 従来の体を使う体育施設の他に、これからますますニーズが高まると予想される世界でも類例がない（？）頭脳を使う「Eスポーツ」の設備を施設の中に取り入れ、「身体と頭」の全身を使う新しいタイプの体育館にする。青少年や身障者も楽しめ、高齢者にとってはフレイル人口を増やさないなどの対策にもなり、全ての年代で楽しめる施設にして集客をはかり、収益を確保する。

② また、「漫画ミュージアム」という文化も組み込むことで日本の漫画に刺激された外国人をインバウンド効果として呼びこみ、長期滞在の宿泊者により県全体の観光地・飲食業・陶器窯元体験・焼酎蔵めぐり・お茶畑関連施設などなど観光提案を発信し地域経済に寄与できるプランを創出し、国内的にも移住者の増加や観光県鹿児島推進の目玉にもなり得やすいと思います。もちろん日本人の老若男女にも。

港本工区には離島航路待合所の活用されていない部屋や空間等などが見受けられるので、

それらの改築・改修工事で上記①・②案を含んだ全体的活用策をご検討いただきたいです。

③ また、「現役の活火山桜島」という観光資源を見て頂くためと県民の健康維持増進のための遊歩道を散歩（ランニング）コースとして、鹿児島港本工区から石橋記念公園を経て磯公園まで「湾岸遊歩道の設置（散策コース）」をご提案します。

バスなど利用の遊覧体験ではなく、長い距離での桜島や錦江湾岸の緑地帯などを設けた景観は、国内や外国から散策やジョギングランナーのファンに刺激を与え、多数訪れてくれるようになるとと思います。

港湾空港課
-5.2.23
受付

受付No.（事務局記載欄）	41

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募申込書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（[redacted]） [redacted]		住所	[redacted]	
性別	男	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・20代・30代・40代・ [50代]・60代・70代・80代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名　　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			可　・　[否]		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム（e（いー）申請）」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付 No.（事務局記載欄）	

「鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア」
応募様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

食の発信基地として、「薩摩市場」を設けてはいかがでしょう。

モデルは、下関市の「唐戸市場」。同市場は、年間を通して観光客や地元の方の食の台所として賑わっています。関門海峡を行き交う船舶や関門橋を見ながら、市場で買ったお寿司をつまみに一杯やるのは最高で、北九州市に勤務していた頃は頻繁に訪れました。

鹿児島の黒牛、黒豚、鶏の肉類のほか、錦江湾で朝採りした天然魚介類、養殖ハマチや奄美の養殖本マグロ、さらには焼酎などを市場形式で提供、簡易なデッキで桜島を眺めながら鹿児島の食のブランド品を一度に楽しむことができれば、最高です。鹿児島市民としても、想像するだけでワクワクします。

市場形式なので建物なども低コストで造れるのではないでしょうか。

デザイン図等ありませんが、前述のとおり、「唐戸市場」で鹿児島の食の文化を提供することをイメージしていただくと、私がお伝えしたいことはご理解いただけると思います。ご検討方どうぞよろしくお願いします。

港湾空港課
-5.2.28
受付

受付 No.（事務局記載欄）	42

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	[redacted]		住所	[redacted]	
性別	女	年代 （○で囲む）	40 代	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted]
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）	可 ・ 否				

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町 10 番 1 号
TEL：099-286-2665 FAX：099-286-5620

《プレミアム・アウトレット》

プレミアム・アウトレットを誘致するメリットは、地域経済の活性化につながります。アウトレットモールは、観光客や地元民を集めることができ、多くの人々がショッピングや食事を楽しむことができます。また、アウトレットモールは大型施設であるため、多数の雇用機会を提供することができます。そのため、地域の雇用環境の改善にもつながるでしょう。 雇用の増加に伴い今話題である賃金引き上げにもつながります。

さらに、プレミアム・アウトレットは、地域の観光客数の増加につながることができます。多くの観光客は、地元の名所や飲食店なども訪れるため、地域の観光業界全体にもプラスの影響を与えることができます。

また、今後増加するインバウンドの集客によって、外国人旅行者が増えることで、外貨収入が増加することが期待されます。外貨収入が増えることで、県内経済にプラスの影響を与えることができます。

しかし、ここで問題点があります。
プレミアム・アウトレットの誘致には、適切な土地とアクセスが必要になります。土地に関しては広さロケーション共にクリアしていると考えますが、アクセスも重要であり、主要な高速道路や鉄道などに近接していることが望ましく、現存するモールは高速のインター近くに位置しています。
この点は公共交通機関との連携など、解決すべき課題だと考えます。

・モール内に鹿児島の工芸品(大島紬、薩摩焼、薩摩切子など）のセレクトショップを設け、国内外へのアプローチ、工芸品のブランド価値の向上

・元祖鹿児島ラーメン、薩摩家バーガー、鹿児島産鰻などの更なる認知度の向上

港湾空港課
-5.3.-5
受付

受付No.（事務局記載欄）	43

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」
応募申込書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（イケハタ　ヤスミツ） 池畠　泰光 錦江湾遊覧観光協会会長		住所	鹿児島市下荒田2丁目50-1
性別	男	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・30代・40代・ 50代・60代・(70代)・ 80代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	099－213－0004 （担当者名 [redacted] ）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			(可)　・　否		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム（e（いー）申請）」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付 No.（事務局記載欄）	

「鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア」
応募様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

錦江湾と桜島を最大限に活かし「歴史と文化の港町を創る」

私は桜島で生まれ、桜島の小学校、中学校を卒業して鹿児島市の高校へ通っていました。その頃桜島で暮らす人口は 8,500 人程度でした。
桜島は観光客も訪れて桜島 1 周の観光バス・タクシーで噴火の跡を見学する人や、修学旅行で温泉旅館に泊まる学生さんなど、それはそれは賑わっていました。高校を卒業した同級生達は役場に勤めたり農協やフェリー船舶で勤務する人や、漁業や農業に生計を懸ける若者などそれぞれが自分の進む将来に希望と働き甲斐をもっていました。
私の父は農協に勤め母は農業と化粧品のセールスなどをしながら子供 4 人（私は長男で男 4 人兄弟）でした。
父は農業では暮らしは豊かにならないと見切りを付けて鹿児島市に土地を購入して店を出店それから 30 年経った２０００年の市町村の合併が（地方分権一括法が施行）行われて、桜島は鹿児島市と統合しました。
桜島を離れて店舗を出店して３０年を機に桜島の住民の方々に感謝の念を込めて救急車を寄贈しました。
スーパー事業が何とか軌道に乗り掛けた頃のせめてもの「ご恩返し」という意味と安心で暮らせる村づくりに一躍を任いたかった一心でした。
その後時代は急速に移り変わり鹿児島市に新幹線が大阪、福岡、鹿児島と全線が開通する運びとなりました。そうなると観光客が増えてくることは云うまでもありません。これこそ「我が桜島」を観て貰い錦江湾の遊覧船で海の幸・山の幸を食べて頂き鹿児島の食と自然を楽しみ全国に発信して行きたい夢が膨らみ「帆船型観光遊覧船クイーンズしろやま」の就航に至りました。
就航に至るまでは幾多の苦難もありました。「海は全てにおいて事業化するには厳しいから辞めた方が良い」と云う忠告も多数受けました。
しかし父の観光への夢と桜島を思う気持ちは生半可なものではなく 18 年と云う歳月を全うして今日まで「遊覧船クイーンズしろやま」は就航を続けております。
港町に灯りを灯して、ＤＰ（ドルフィンポート）に人々が集い、音楽を楽しみ、食を楽しみ、子供達が遊ぶ街を夢みています。桜島は鹿児島県民の心のオアシスです。
港にクルーズ船を送迎するターミナルや錦江湾を一望に観れる展望台や海の歴史やジオパークが学べる館が建設される事を強く祈願いたします。
何卒宜しくお願い申し上げます。

[redacted]

港湾空港課
-5.3.-5
受付

受付No.（事務局記載欄）

[redacted]

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	[redacted]		住所	[redacted]	
性別	男	年代 （○で囲む）	30代	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted]
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）	否				

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示・公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム(e(い一)申請)」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付No.（事務局記載欄）

[redacted]

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

【景観に配慮した活用】
現在のように鹿児島のシンボルである桜島が見えることは住民や観光客にとって価値があるように感じる。
桜島と施設が共に映えるデザインになることを望む。

【防災や危機管理に配慮した活用】
今後想定される桜島の大噴火や、他国からの攻撃があった場合に備えた一時避難施設として地下を活用ができれば、施設としての存在価値が高まると思う。

【利用者に配慮した施設】
例えばスタジアムを建設する場合、九州外から来る人の多くは鹿児島空港から車両で移動して訪れる必要がある。移動時間や疲労を考慮すると、本港区まで来ることに躊躇う可能性がある。また、渋滞も多い。
訪れやすさや利用しやすさを考え、宿泊施設を併設するなどが必要であると感じる。

【鹿児島中央駅～天文館～本港区の利便性の確保】
水族館に行く目的の人が本港区へ行く可能性はあるが、鹿児島中央駅で買い物をする人が本港区まで行くことは考えにくい。例えば鹿児島中央駅から本港区までの区間、公共交通機関の料金を割引するなど、人が足を運びたくなる活用方法が必要である。

3/7 (火) 郵送

港湾空港課
-5.3.-7
受付

受付No.（事務局記載欄）	

[redacted]

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（[redacted]）		住所	[redacted]	
性別	女	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・30代・40代・ 50代・60代・(70代)・ 80代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名　　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			可　・　(否)		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム(e(いー)申請)」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付No.（事務局記載欄）	

[redacted]

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

美しい建築

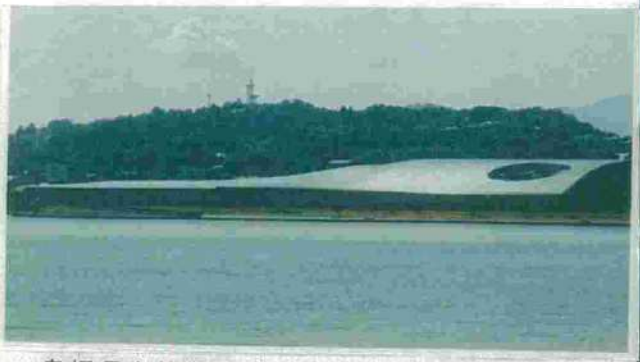
美術館、図書館、公園

ウォーターフロントの景観をいかした
日本国内の建築の写真を選んで
みました。

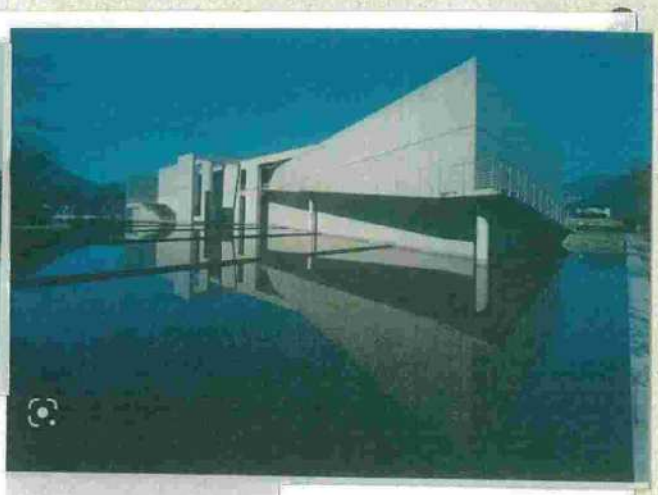
長い年月にたえうる
観光の目的の1つにもなれば
素晴しい事だと思います。

※任意様式に記載して頂いても構いません。

受付 No.（事務局記載欄）



島根県立美術館（しまねけんりつびじゅつかん）は、島根県松江市にある美術館。



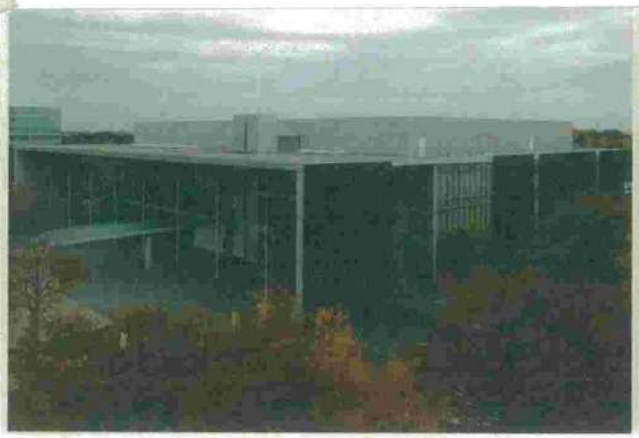
高梁市成羽美術館



宮城県図書館（みやぎけんとしょかん）

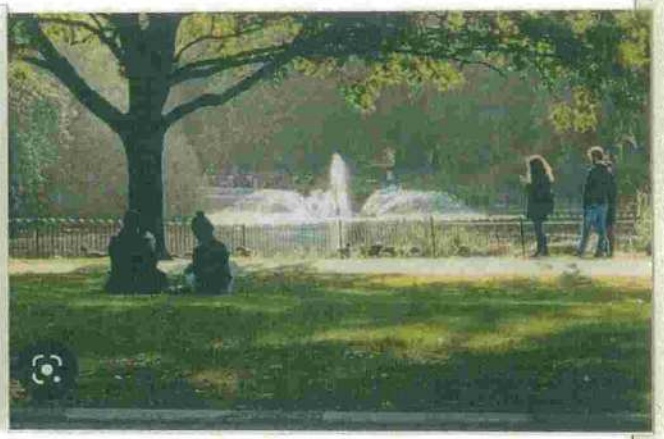


島根県立図書館



つくばカピオ(Tsukuba Capio)は、茨城県つくば市竹園一丁目にある多目的施設。

設計は谷口建築設計研究所・谷口吉生。
室内スポーツ・演劇・ダンス公演・集会等



ピクニックに最適、ロンドン市内の本当に気持ちいい公園...

港湾空港課
-5.3.-8
受付

3/8 郵送

受付No.（事務局記載欄）	46

[redacted]

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（[redacted]） [redacted]	住所	[redacted]
性別	男	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・30代・40代・ 50代・(60代)・70代・ 80代以上
電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名　　）		
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）	可　・　(否)		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム(e(いー)申請)」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

「鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア」

今回の募集内容については，スポーツ・コンベンションセンターを基本構想を前提に同エリアの利活用を検討することとなっておりますが，表題の本港区エリアの利活用について全く別の案を述べたいと思います。

スポーツ施設は，鹿児島市に鹿児島アリーナ，鹿児島市民体育館，下荒田の県総合体育センター，与次郎の総合体育センター武道館，鹿児島ふれあいスポーツランドなどの施設がありますが，これらの施設を利用している人はスポーツをする人かその関係者に限られています。

そういった施設があることすら知らないか利用しない人がほとんどだと思います。

これ以上，箱物を造ったところで負の財産になると思います。

鹿児島のシンボルといえば桜島ですが，一般の人が桜島の全体像を無料で見るには城山公園か吉野公園などに行くしかありません。

ただそこから桜島を見るには桜島が小さく見えるのでそれほどの感動はありません。これからの鹿児島の観光を考えると鹿児島本港区エリアに福岡タワーのようなタワーを造り，桜島と鹿児島市を一望できるタワーができれば日本だけでなく外国からの観光客が増えて経済的にも鹿児島県全体が潤ってきます。

というのも旅行客はタワーだけでなく，ついでに県内の観光所巡りを兼ねるからです。

このタワーが鹿児島県の観光名所になることは間違いありません。

また観光客が増えれば，宿泊施設や飲食店なども活気づき，さらには寂れた天文館にも活気が戻ってくるに違いありません。

鹿児島港本港区エリアにスポーツ・コンベンションセンターを造る狙いは，桜島フェリーを利用して大隅半島からの往来の利便性を図っていることと思いますが，鹿屋市や志布志から鹿児島市に行く高速道路ができたことで桜島フェリーや垂水フェリーの利用者は年々減っています。

私が鹿屋から鹿児島市に行くときは数年前まで桜島フェリーか垂水フェリーを利用していましたが，あと１台というところで乗れなかったり，あと数分というところで乗り遅れて次ぎの便を待ったことが多々あります。

そういった苦い思いや到着時間の不確実性を考えるよりも高速代とガソリン代を払ってでもリスクのない高速道路の方を利用している人が大半だと思います。

高速道路は，最近，志布志まで繋がったことで更に車両が増え，また片側一車線なので高速道路というよりも自動車専用道路と化しています。

桜島フェリーは利用者が減ったことで料金が上がり便数が少なくなっています。
これでは益々桜島フェリーの利用者が減って赤字経営になっていくと思います。

最近，桜島フェリーを利用したときは半分も乗車していない状態で出航していました。

鹿児島タワーができれば，観光客が増え，そこから桜島に足を伸ばすことで桜島フェリーの利用者は増えると思います。

桜島フェリーや垂水フェリーの経営が難しい今，桜島と鹿児島市との架橋を考えるべきです。

赤字路線はバスだけで結構です。

数年前から桜島の架橋の話題はあらゆるところで浮上していますが，未だその計画さえありません。

タワーに隣接して橋を造ることで桜島住民は災害時にフェリーなどの船の到着を待つことなく直ぐに橋を渡って鹿児島市に避難できます。

桜島と鹿児島市との橋が完成することで，大隅半島が陸の孤島というイメージを払拭できるだけでなく，大隅半島への流通がスムーズになり，多方面で発展していきます。

現に桜島フェリーや垂水フェリーの利用者が減ってきたことで垂水市を通る車両は少なくなり閑散としています。

鹿児島県の観光名所はどこかと尋ねられて即答できる人は少ないと思いますし，その場所についてもまちまちだと思います。

どこも平均的でここが一番と自信を持って言えないからです。

鹿児島本港区エリアにタワーが完成すれば県内一の観光名所になると思いますし，誰もが家族や友人，知人などを連れて行きたいと思うはずです。

架橋は今回の案とは別ですが，平行して懸案すべき事業だと思います。

橋とタワーが完成すれば，鹿児島県の経済効果は計り知れないと思います。

おそらくこの案はボツになると思っていますが，鹿児島県の今後の発展を考える一人として最善の案ではないかと思い投稿しました。

ボツになる案ではあってもこのような案もあることを検討される皆様方の念頭に置いて頂ければ幸いです。

港湾空港課
-5.3.10
受付

受付No.［事務局記載欄］	47

『鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア』
応募申込書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（[redacted]） [redacted]		住所	[redacted]	
性別	男	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・30代・40代・ 50代・60代・(70代)・ 80代以上	電話 番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted]
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			(可)　・　否		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム(e(いー)申請)」
URL：https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

[redacted] idea-1

受付 No.［事務局記載欄］	

「鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア」
応募様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

〈カラフルカラー化計画と維新村構想案〉

将来、クルーズ船が鹿児島港本港に入港できる時代が来た時、港の景観を見ながらの入港で鹿児島に来たのだというワクワク感を感じてもらえたらいいですね。
既存の建物を新たに建て直すことはできませんが、しっかりした建物のカラフルカラー化計画で南国鹿児島のウォーターフロントらしくイメージを変えることは可能だと思います。南国鹿児島らしいカラーで部分的に塗り分けしていきます。
現在の屋根の色は総じて淡い水色ですが全て赤茶色で統一します。

体育館やサッカー場は試合やイベントがある時以外は あまり足が向かないのではと 個人的に思います。
市民、県民、観光客が常時 憩える 楽しい空間、スペースが欲しいものです。
スポーツ施設以外の活用案を考えてみました。

鹿児島を代表する歴史的遺産は明治維新の原動力になった郷土の英雄・西郷隆盛などの薩摩藩士たちの活躍です。
そこで ウォーターフロント地に 明治維新前後の屋敷を時代考証に忠実に再現した「維新村」を造ることを提案いたします。映画撮影でも使用できる完成度が理想です。熱き志士たちの時代に 想いをはせられるのでないかと思います。
そこには飲食店、物販店、鹿児島の伝統工芸の工房及び販売所、観光関係事務所などがテナントとして入り活用します。
それらの店舗で働く人々のコスチュームは当時の衣装スタイルをにします。
イベント広場も設け、そこでは県内生産者が持ち寄った特産品の販売を自由に行えるものを青空市として定期的に開催するものとします。
鹿児島の食文化を提供する屋台を その中に設けます。
鹿児島の うまい酒と つまみで“よか晩・屋台”となります。
鹿児島観光の 新たな 魅力スポットを 造ることが目的でもあります。
大きな駐車スペースも確保できるのもいいですね。

※任意様式に記載して頂いても構いません。

idea-2

受付 No.［事務局記載欄］	

「鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア」
応募様式

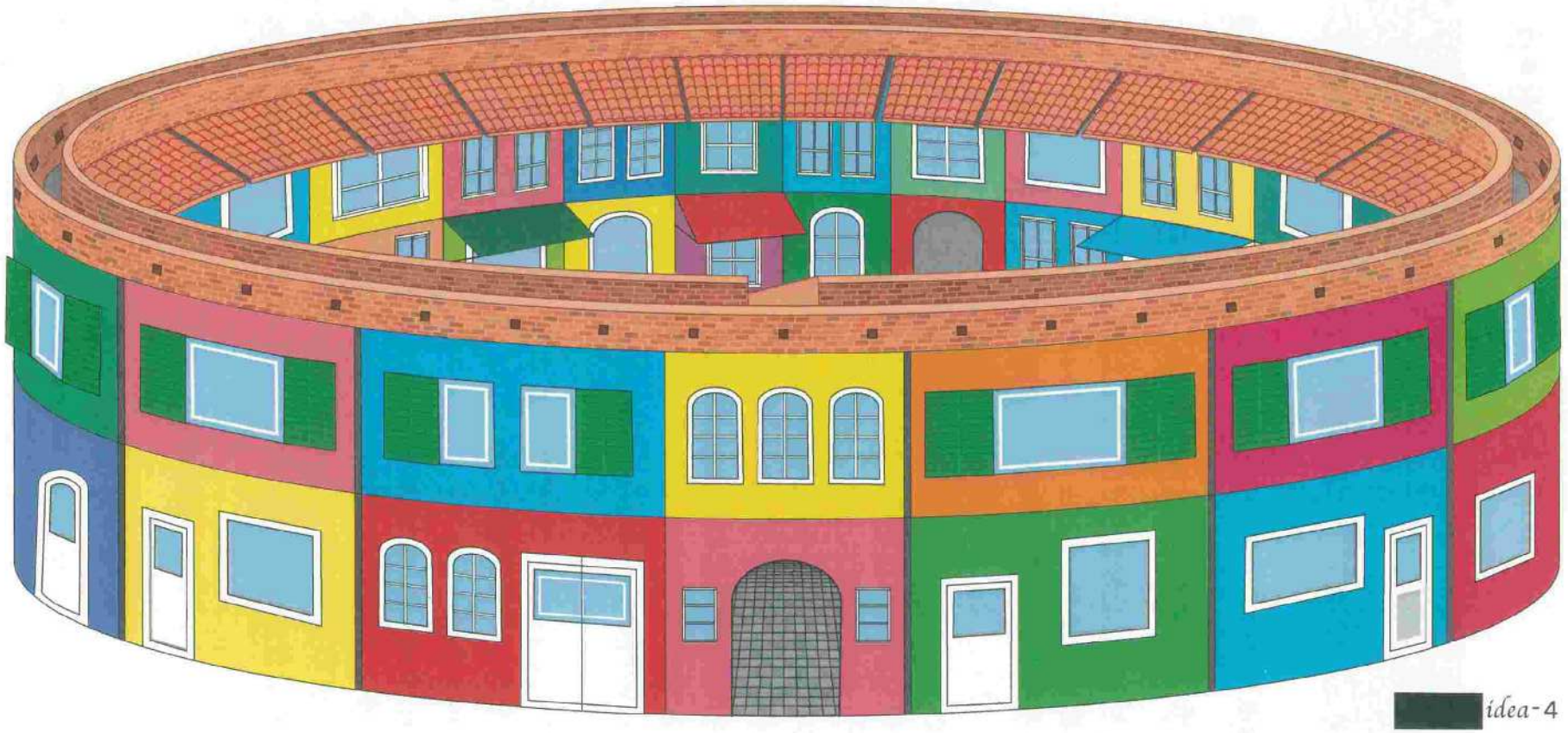
鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

〈ラウンドポート構想案〉

少し高さのある2階建ての建物・店舗を、イメージとしてはドーナツ状の円形に配置します。
屋上外側寄りに幅2mぐらいの回廊を設置し1周ぐるりと歩いて回れるようにします。地上から少し高い目線から桜島、錦江湾などの景観を見ることができるようにします。回廊の外壁は高さ約1.3mぐらいです。
回廊の壁には子供目線に合わせて30cm角の吹き抜け穴を空けて外の景色が見えるようにします。子供がくぐれないサイズにします。
耐震性を考慮しながら煉瓦で構築します。
回廊内側の屋根は赤茶色のスペイン瓦（フランス瓦）に統一します。
内側中庭のパティオ広場は一面石畳とします。
そこには遊具、噴水などは一切設置しないようにします。
ベンチは建物近くに設置します。飲食店ではオープンテラスを備えます。
台風の強い風対策に窓には鎧戸か強化ガラスで備えます。
鎧戸は南欧に多いイメージです。
それぞれの建物は原色のカラフルカラー化し、隣同士色が重ならないようにします。
パティオ広場では定期的に県内生産者たちが特産品を持ち寄って自由に販売できる場にします。その他色々なイベントも開催するスペースに活用できます。一角にはこぢんまりとした間取りのミニ屋台のお店が夕方から賑わいをみせます。
イメージスケッチ画を添付いたします。

※任意様式に記載して頂いても構いません。

受付 No.［事務局記載欄］	



idea-4

受付 No.［事務局記載欄］	

「鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア」
応募様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

〈壁面アートで飾るラウンドポート構想案〉

少し高さのある２階建ての建物・店舗を、イメージとしてはドーナツ状の円形に配置します。
屋上外側寄りに幅２ｍぐらいの回廊を設置し１周ぐるりと歩いて回れるようにします。地上から少し高い目線から桜島、錦江湾などの景観を見ることができるようにします。回廊の外壁は高さ約1.3ｍぐらいです。
回廊の壁には子供目線に合わせて３０ｃｍ角の吹き抜け穴を空けて外の景色が見えるようにします。子供がくぐれないサイズにします。
耐震性を考慮しながら煉瓦で構築します。
回廊内側の屋根は赤茶色のスペイン瓦（フランス瓦）に統一します。
内側中庭のパティオ広場は全面石畳とします。
そこには遊具、噴水などは一切設置しないようにします。
ベンチは建物近くに設置します。飲食店ではオープンテラスを備えます。

１階のそれぞれの店舗の壁面にはウォールペイントアートします。
アーティスト、大学、専門学校、県内高校生がアート感性の腕を競う2～3年に一度のペイントアートコンテスト形式で実施します。
それぞれの２階はカラフルカラー化し、隣同士色が重ならないようにします。パティオ広場では定期的に県内生産者たちが特産品を持ち寄って自由に販売できる場にします。その他色々なイベントも開催するスペースに活用できます。一角にはこぢんまりとした間取りのミニ屋台を設けます。
イメージスケッチ画を添付いたします。

※任意様式に記載して頂いても構いません。

受付 No.［事務局記載欄］	



idea-7

港湾空港課
-5.3.10
受付

3/10

受付No.（事務局記載欄）	48

[redacted]

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	[redacted]		住所	[redacted]	
性別	男	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・30代・40代・ 50代・60代・70代・ 80代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名　　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			可　・　否		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム(e(い一)申請)」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付No.（事務局記載欄）	

[redacted]

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

○ボート船を横付けできて、レストランを作る。
県民も、観光客も、楽しめる。

○タラソ・テラピー 海水を使った温浴施設
子供からお年寄りまで楽しめる。観光客も。

○人工のビーチ（磯、海水浴場しかない。）

※任意様式に記載して頂いても構いません。

◎舞台で郷土芸能、日常出しホゼ・九面大壱
土現りゅう

◎サンゴしょうめぐりの
モーターボート営業
接岸

黒牛黒豚・地どりの
◎レストラン横に
ミルキボマリーナ

◎地魚、旬の魚のすし店
安くで、提共できる魚
(大衆魚!とにかく新鮮な魚
と天ぷら安心価格

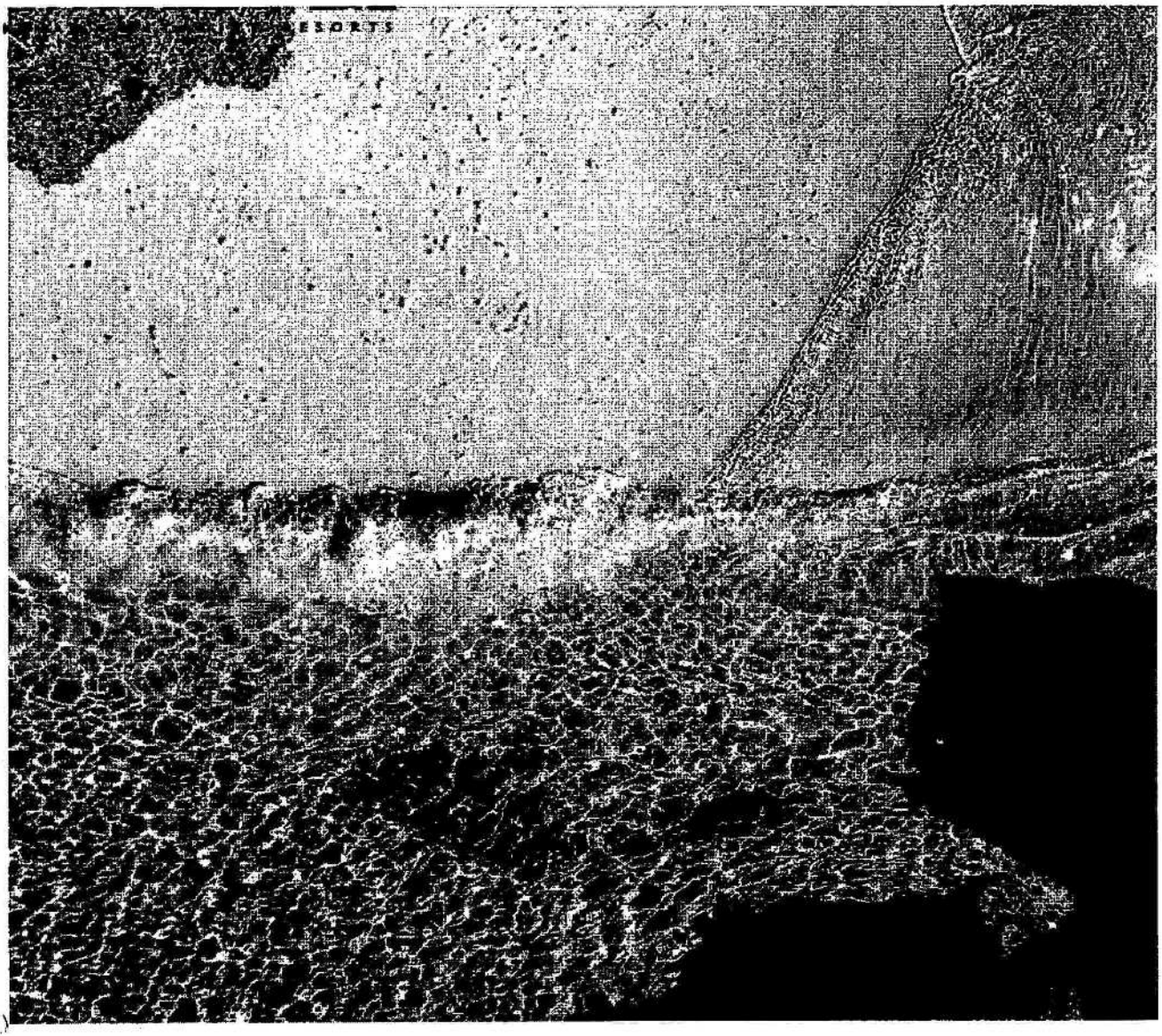
高山様FAX 099-286-5629

[redacted]

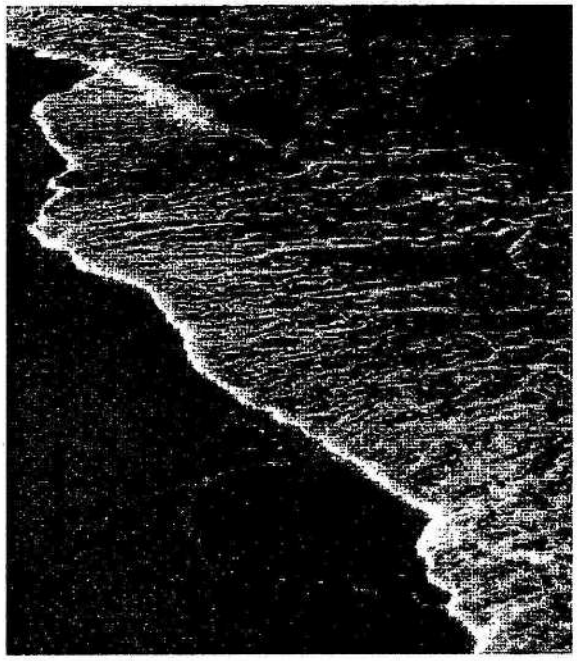

0
1/4
1/2
100
300
400
1000

タラソテラピー
Thalassotherapy

Thalassotherapy
タラソテラピー







-タラソテラピーとは

海を最大限活用して心身を癒しバイタリティを豊かに導く海洋療法（タラソセラピー Thalassotherapy）はギリシャ語の"Thalassa=海"とフランス語の"Therapie＝治療"の複合語をフランスの医師が発表し、19世紀以降ヨーロッパ発展してきた自然療法です。

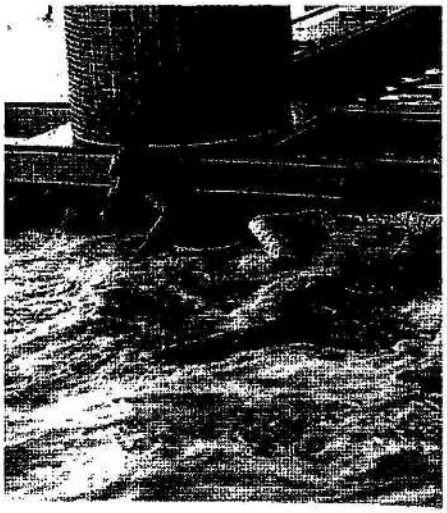
海洋療法には海水の特性を活かした水流マッサージや水中運動、海水温浴などのハイドロセラピー（水治療法）と海藻療法（アルゴテラピー）、海泥療法（ファンゴセラピー）に加え、海洋性気候への転地滞在（転地療法）や海岸沿いでの運動（地形療法:ウォーキングやヨガ等）、さらに動物介在療法（ドロフィンテラピー・海でのホースセラピー）があり、「海と海洋性気候、さらには海藻や海泥なども含めた海の恵みを総合的に活用して、心身に総合的に作用する治療、または健康増進のための方法」と現代では定義されています。

リラクゼーション目的だけでなく、介護予防やリハビリテーションを目的としたり、産前産後のリフレッシュやベビーや子どもたちの健康・体力増進、障がいを持った方のレクリエーション目的であったりとニーズは様々です。今後さらに多様化していくタラソセラピーであなたらしい健やかなライフスタイルを目指していきませんか。

Leisure Thalasso

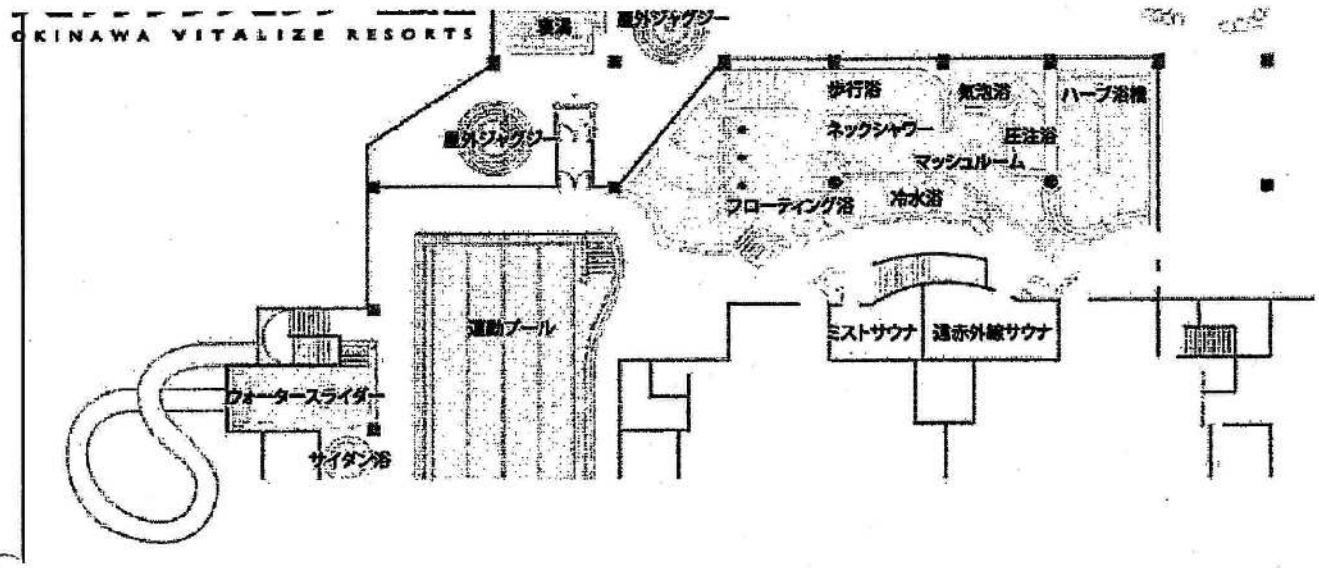
レジャータラソ





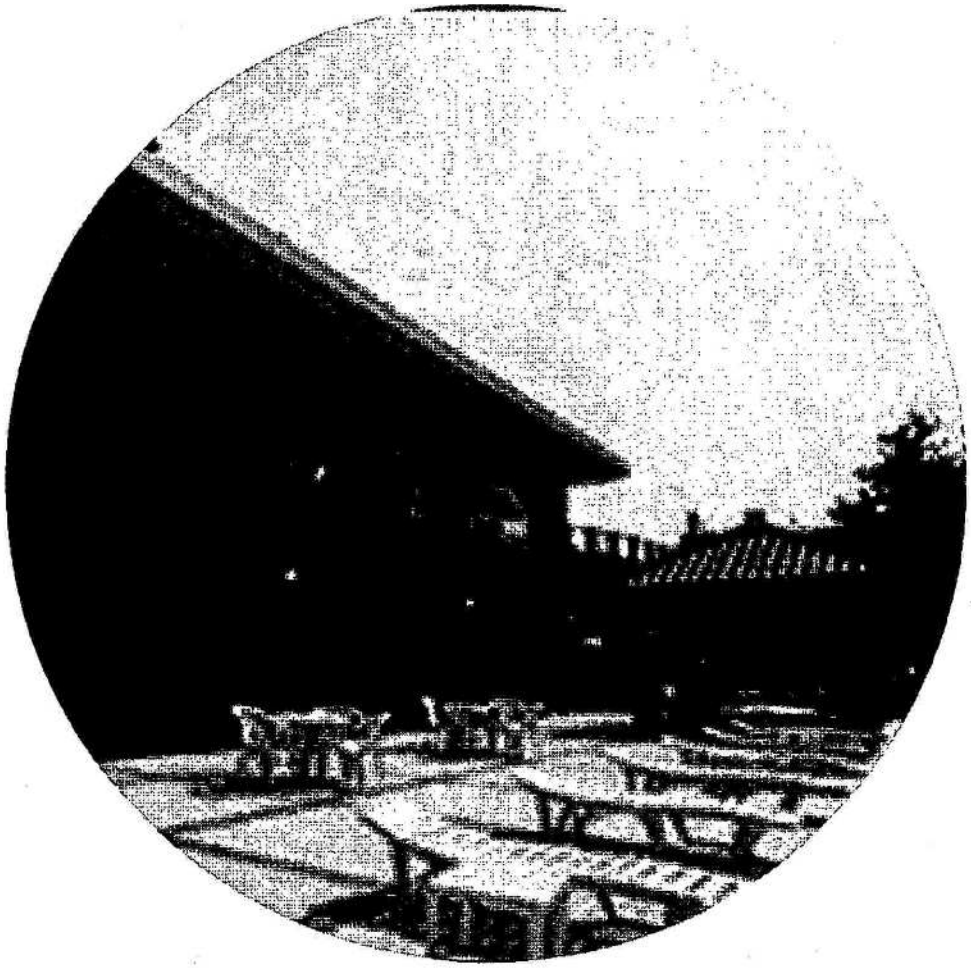
What's Thalasso SPA

沖縄の自然から美と活力を授かる、夢のような時間。
ココロとカラダの深い部分にじんわりと海水の魔法が効いてくる
リラクゼーション・パラダイスへようこそ。



タラソの特徴は、ずばり温かい海水を用いてること！

海水の浮力、水の物理的作用を利用した14種類の屋内外ジャグジーと2種類のサウナがあります。
水温は35～37度で心地よくお楽しみいただけます。

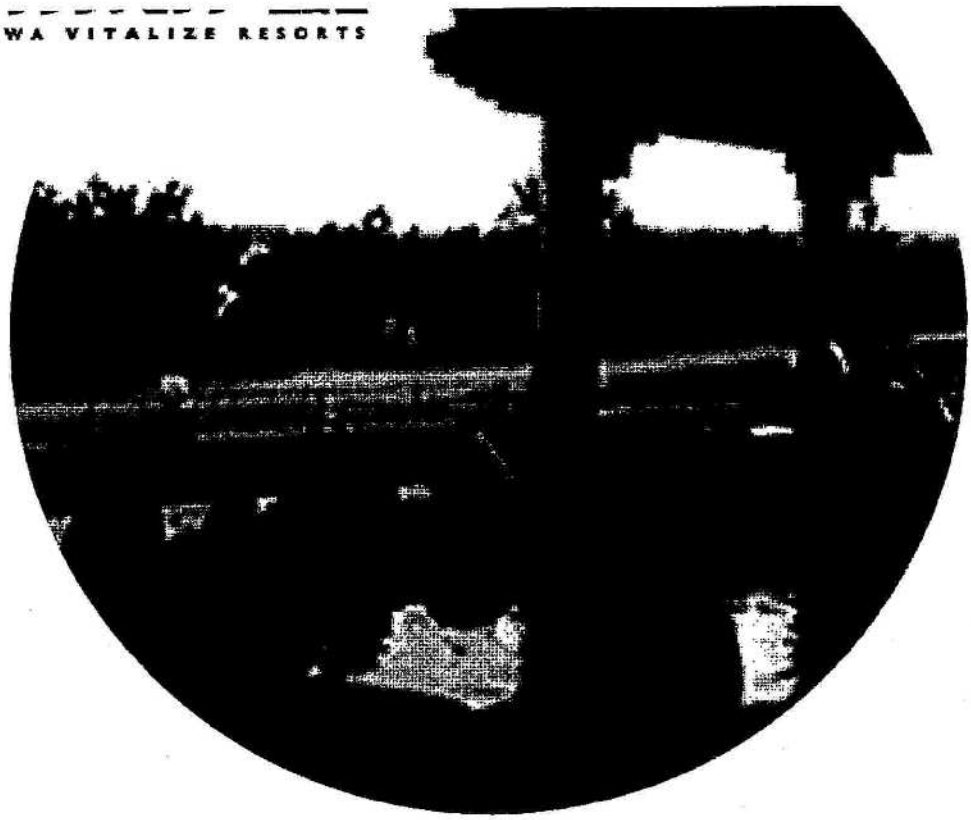


OKINAWA VITALIZE RESORTS



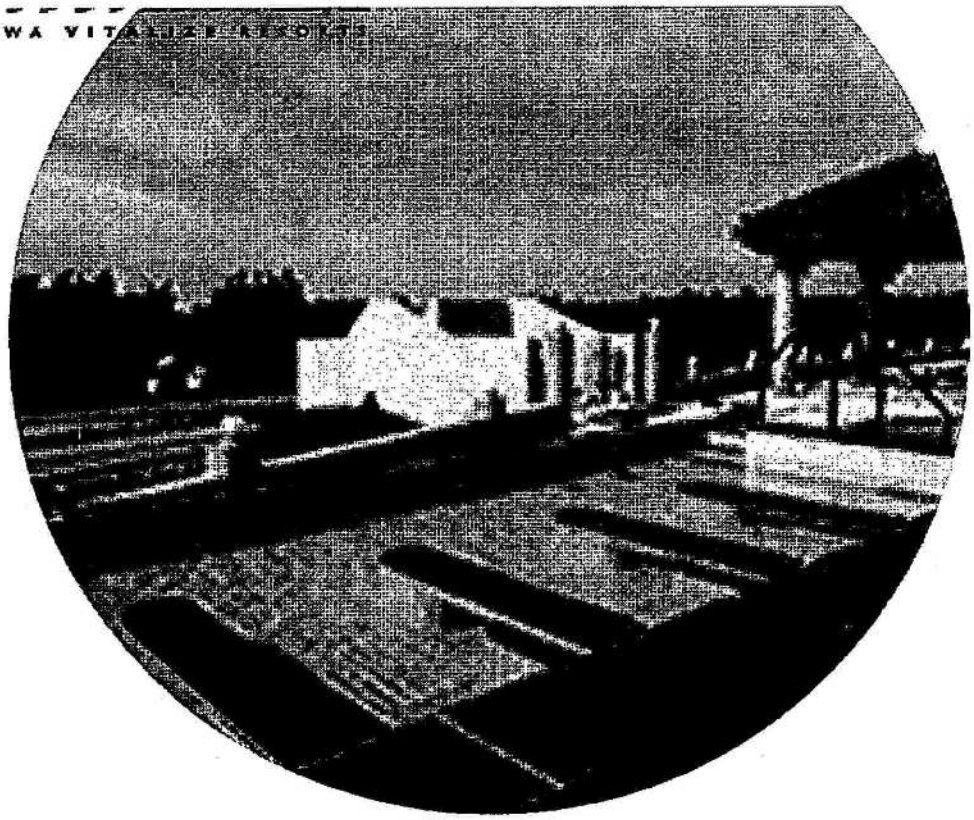
■ 屋外ジャグジー

時間差で様々な方向から気泡が圧注されます。潮風と太陽の光を浴びながら全身をマッサージ。



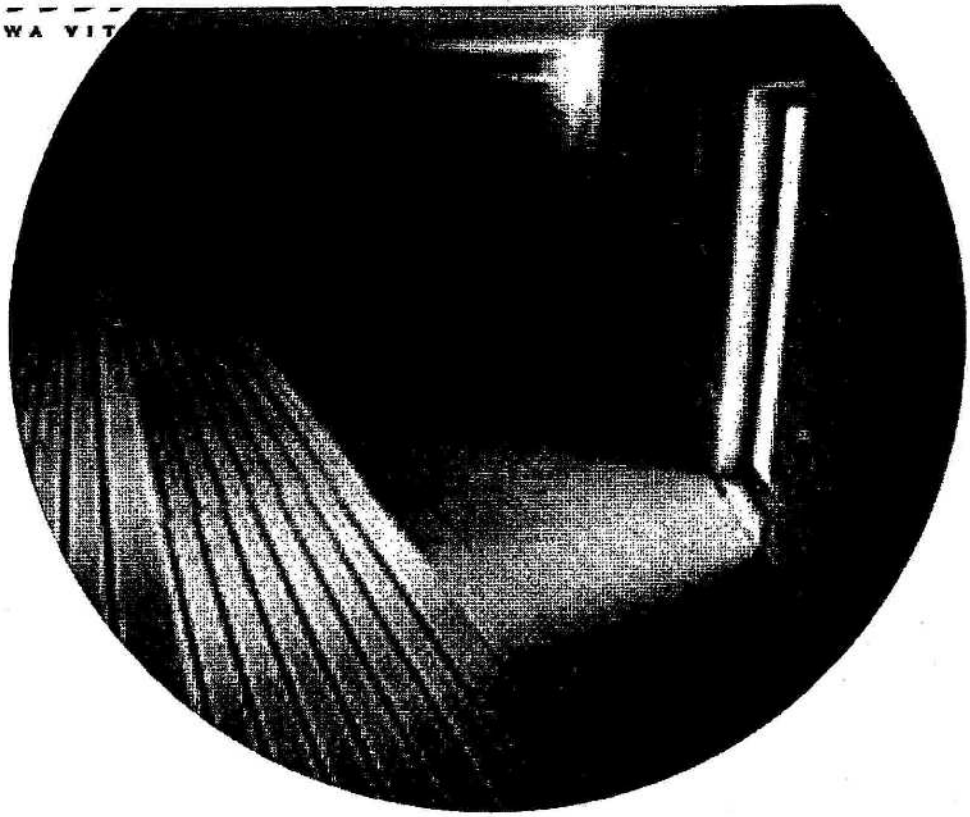
■ 岩風呂

沖縄の屋根が美しい露天風呂で、屋外の開放的な空間で心身をリフレッシュしてくれます。



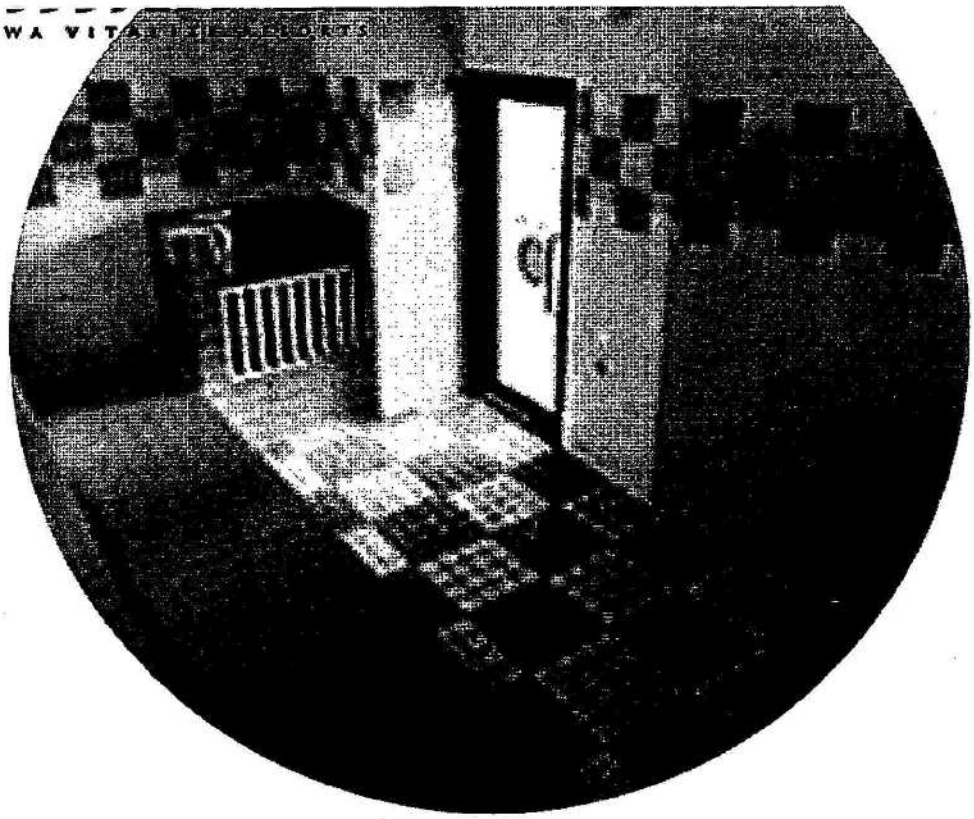
■寝湯

雄大な海を眺めながら温かい海水に身体を横たえリフレッシュ。夜になると輝く星空が仰げます。



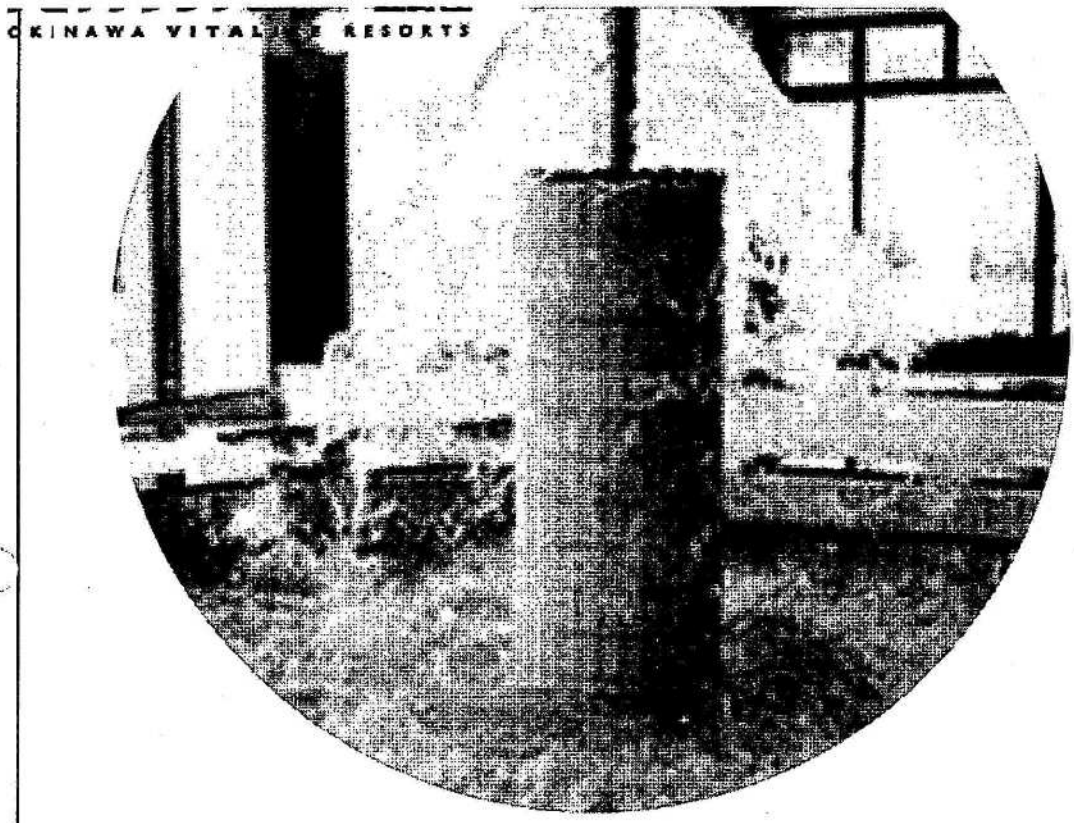
■遠赤外線サウナ

高温のサウナは殺菌作用があり老廃物排出(デトックス)効果が得られます。まめに水分補給を。



■ ミストサウナ

喘息、気管支炎、花粉症などに効果的。ハーブの蒸気を鼻から吸って口からゆっくりと吐きます。



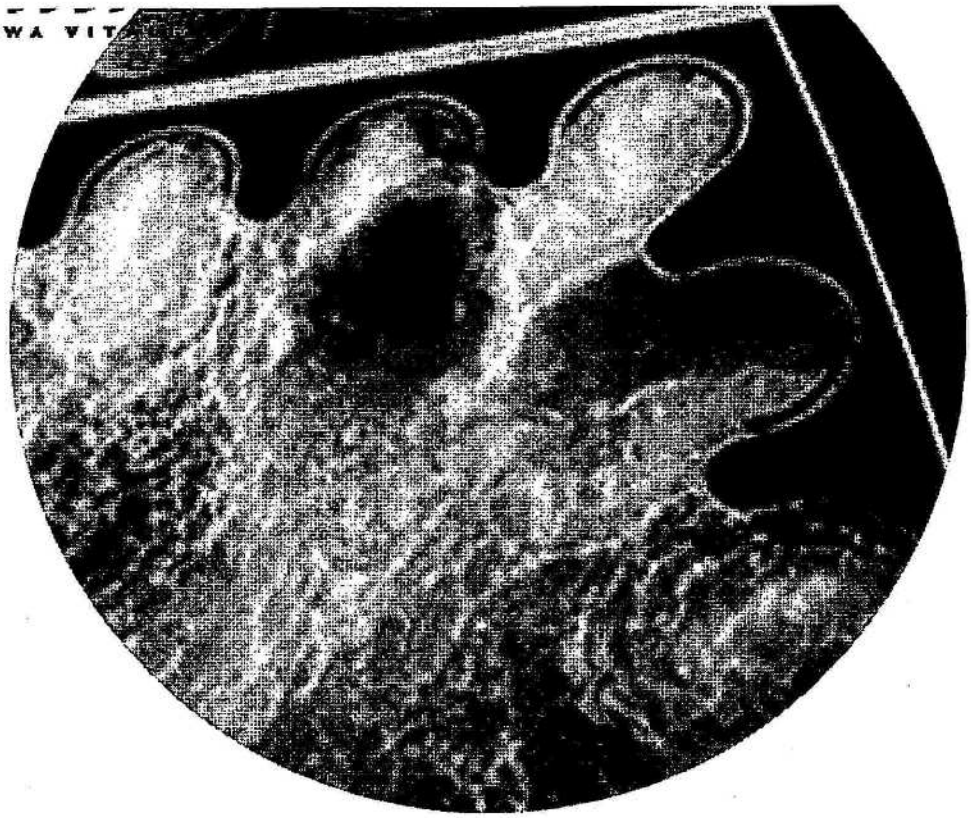
■ マッシュルーム

マッシュルーム状のシャワーで頭皮を刺激し育毛促進に。更には肩や腕まで刺激していきます。



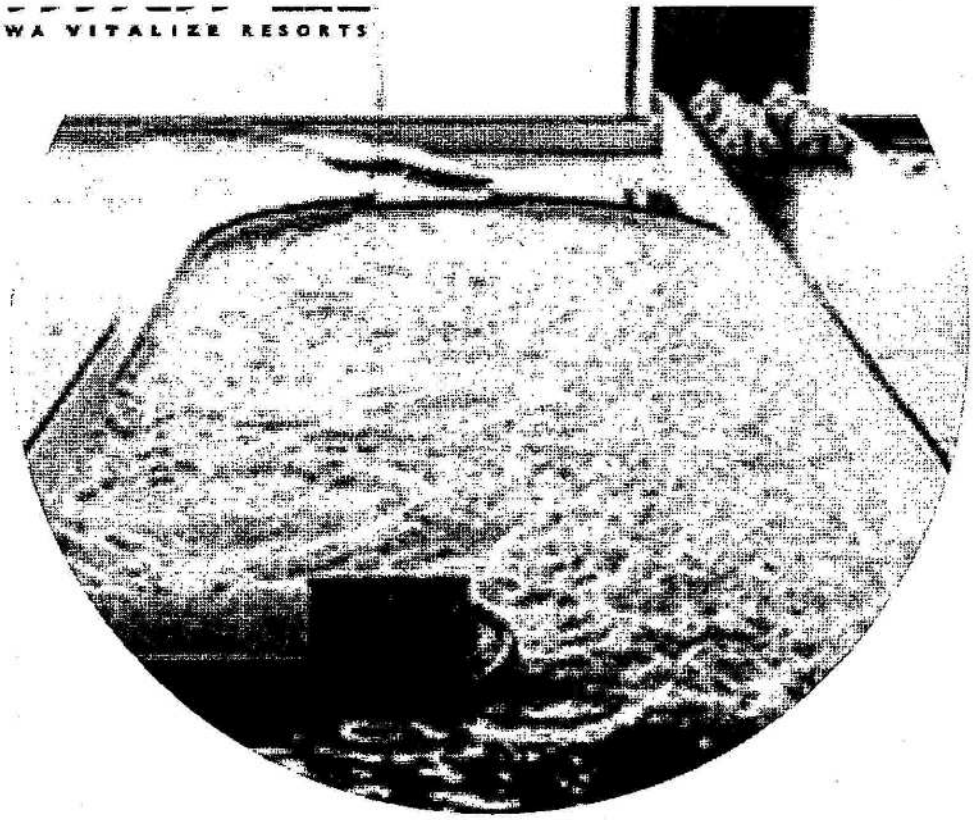
■気泡浴

床面から吹き上げる柔らかな気泡が腹部をソフトにマッサージ。肝機能を促進します。



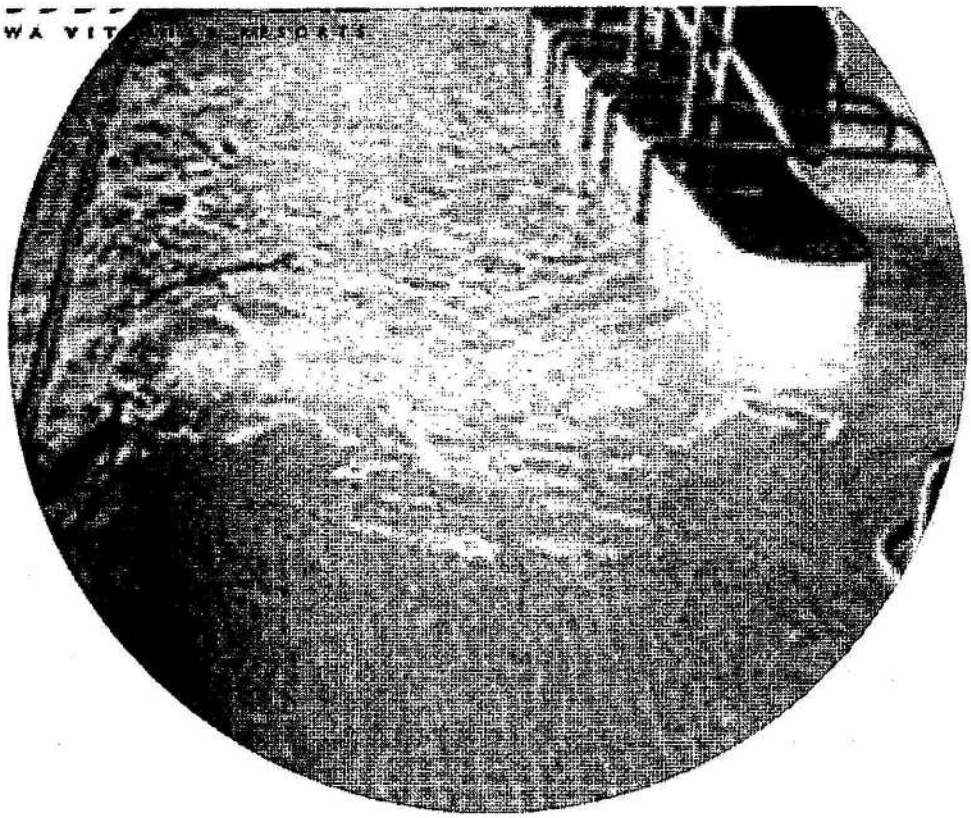
■ フローティング浴

つま先から始まり足のすねやふくらはぎをジェットマッサージ。全身を動かし上半身へと移動。



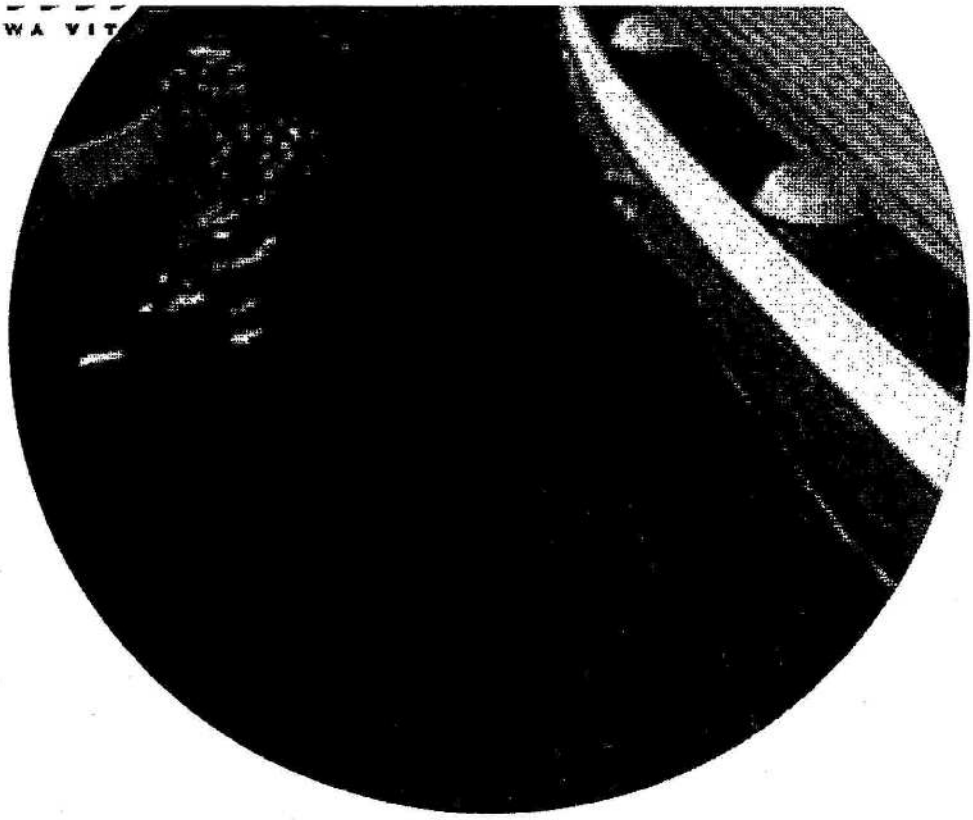
■ 圧注浴

壁面からジェットマッサージで背面・腰を優しく刺激。当たりすぎず2分程度がおすすめです。



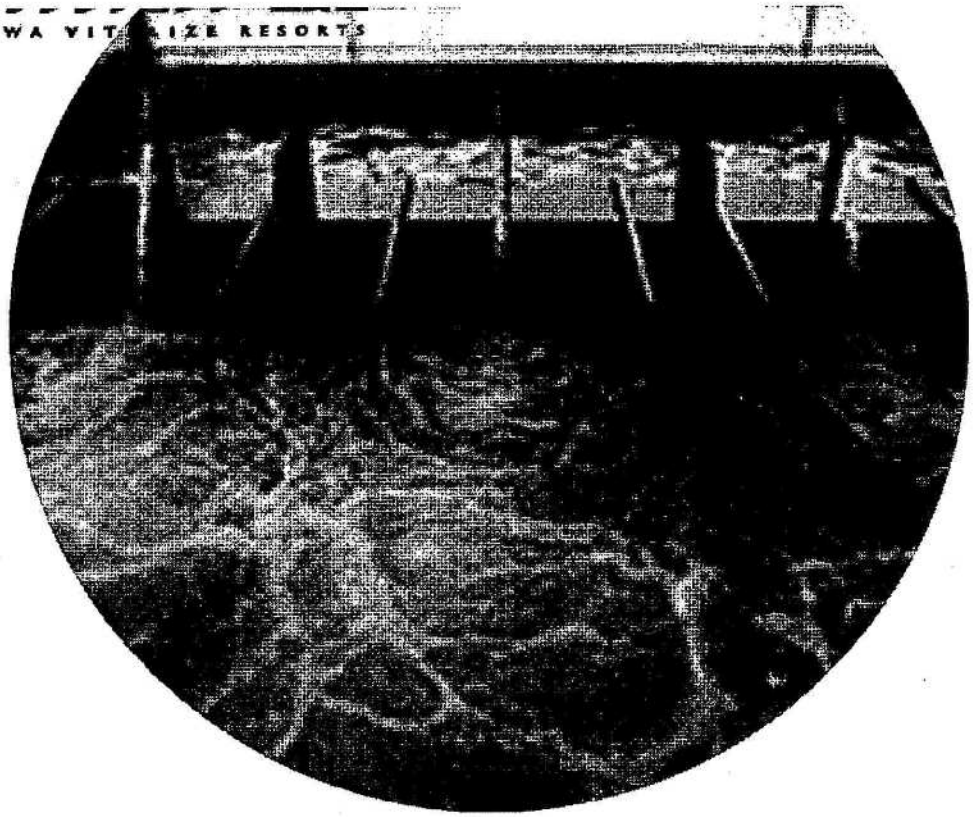
■ 歩行浴

水流を活用し、水流の変化や逆水流を利用して下半身の筋力強化を図ります。



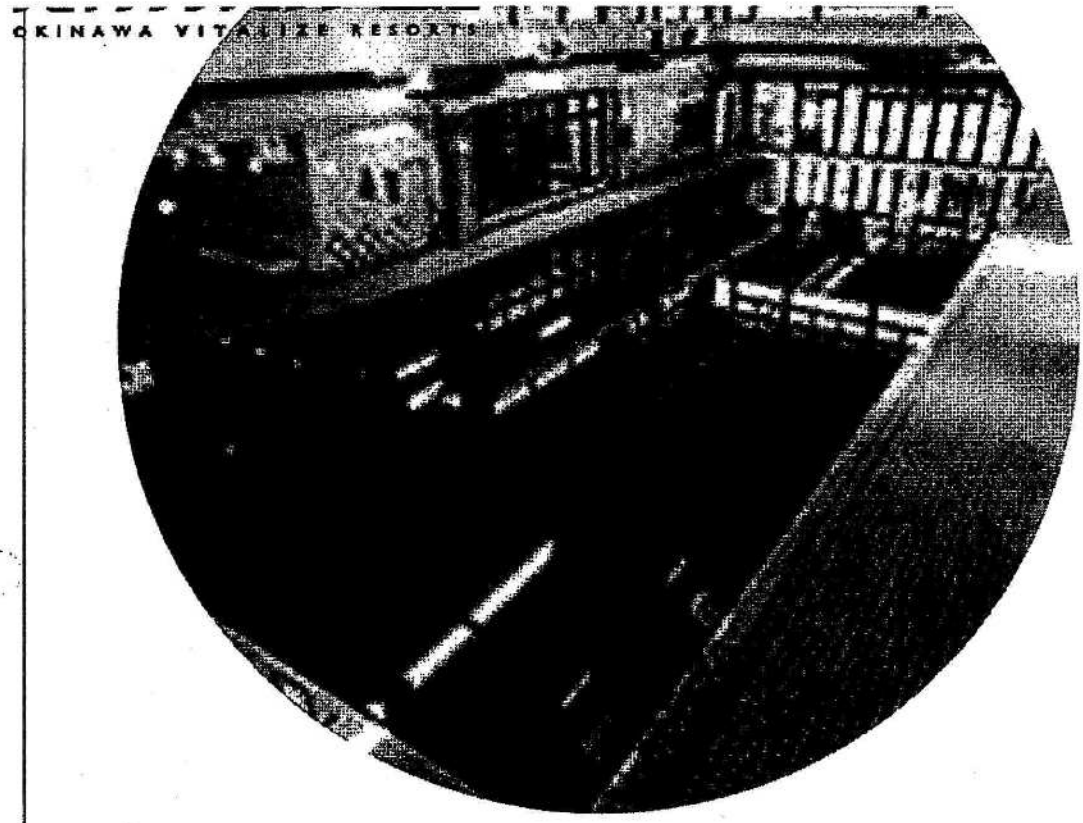
冷水浴

サウナの後にボディシャワーを浴びて、身体をクールダウンするための冷水浴。水分補給も忘れずに。



■ネックシャワー

いきなり患部に当てずに腕から少しずつ肩のこりをほぐします。体を動かし水圧調整を行います。



■ 運動プール

海水の浮力、抵抗などを活用しストレッチ、ウォーキング、運動プログラムなど幅広く活用できます。



■ ウォータースライダー

全長30mのドーム型のスライダー。老若男女が楽しく過ごせるゾーンです。

Contact

お問い合わせ

タビックタラソセンター宜野座
OKINAWA VITALIZE RESORTS

〒904-1304 沖縄県国頭郡宜野座村字漢那1817番地

098-983-2323

OKINAWA VITALIZE RESORTS

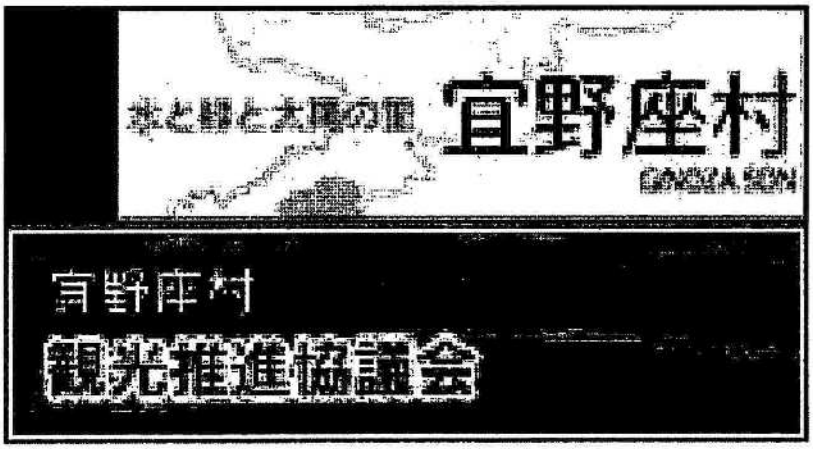
トップ

タラソテラピーとは
タラソとは
レジャータラソ

プログラム
WATSU
海水温熱セラピー
コンディショニングマッサージ
パーソナルアクアプログラム
カイロプラティック
SUPYOGA
ヨガ
クチャパック
ネイル

施設情報
フロアマップ

お問い合わせ・アクセス
メール
バス
アクセス



Copyright ©2023 タピックタラソセンター宜野座. All Rights Reserved.

港湾空港課
-5.3.12
受付

受付No.（事務局記載欄）	49

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」
応募申請書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（ ）		住所		
性別	男性	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・30代・40代・ 50代・60代・70代・ 80代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	―　― （担当者名　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			可　・　否		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム（e（いー）申請）」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付 No.（事務局記載欄）	

「鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア」
応募様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

鹿児島市は海に面したすばらしい港町であるように思います。その点で九州においてまちづくりの参考となるのは福岡市であるように思います。
ドルフィンポート跡地に相応しい施設としては当市が今後、世界にひらかれた国際都市として発展し、また、世界自然遺産を有する離島地域や沖縄への航路とも連動し、離島地域の振興にも寄与するものである施設が望ましいものと考えます。
具体的には、福岡市において同様に港湾地区に立地し、コンベンションセンターとしての役割を基本としながら、大規模なコンサートや国際会議、また、スポーツイベントにも活用されているマリンメッセ福岡が参考になるのではないでしょうか。
そのうえで、サッカースタジアムについては、市中心部への交通渋滞等のマイナス面を考慮し、技術的に可能であればコンベンションセンター上層部に規模を縮小して建設するという選択もあるのではないでしょうか。
ウオーターフロントパークについては、屋外のイベント広場や公園として残していただければと思います。

港湾空港課
-5.3.12
受付

受付No.（事務局記載欄）	60

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」
応募申請書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（[redacted]） [redacted]		住所	[redacted]	
性別	男	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・30代・40代・ 50代・60代・70代・ 80代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] －　　－ （担当者名　　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			可　・　否		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム（e（いー）申請）」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付 No.（事務局記載欄）	

「鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア」
応募様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

内容に一部不足箇所がありましたので再提出いたします。

【テーマ】
ウインズ鹿児島を設置する

【目的】
昨今の競馬ブーム※1にあやかり、鹿児島初のJRA場外馬券売場を設置し、鹿児島全体の経済活性化を図る。

【参考】
※1
■JRA 売得金額・入場人数
https://www.jra.go.jp/company/about/outline/growth/pdf/g_22_01.pdf

■NETBASE QUID「ウマ娘」が競馬人気に与えた影響とは
https://netbase.tdse.jp/trend-report/umamusume-keiba/

港湾空港課
-5.3.13
受付

受付 No.（事務局記載欄）	51

[redacted]

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（かぶしきかいぐりきこーぽれーしょん） 株式会社 栗牧コーポレーション	住所	鹿児島市松原町13-10

性別		年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・20代・30代・40代・50代・60代・70代・80代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	099－225－3290 （担当者名 [redacted]）

プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）	可 ・ 否

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。

※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。

※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。

※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。

※　提出された資料については，返却いたしません。

※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。

※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。

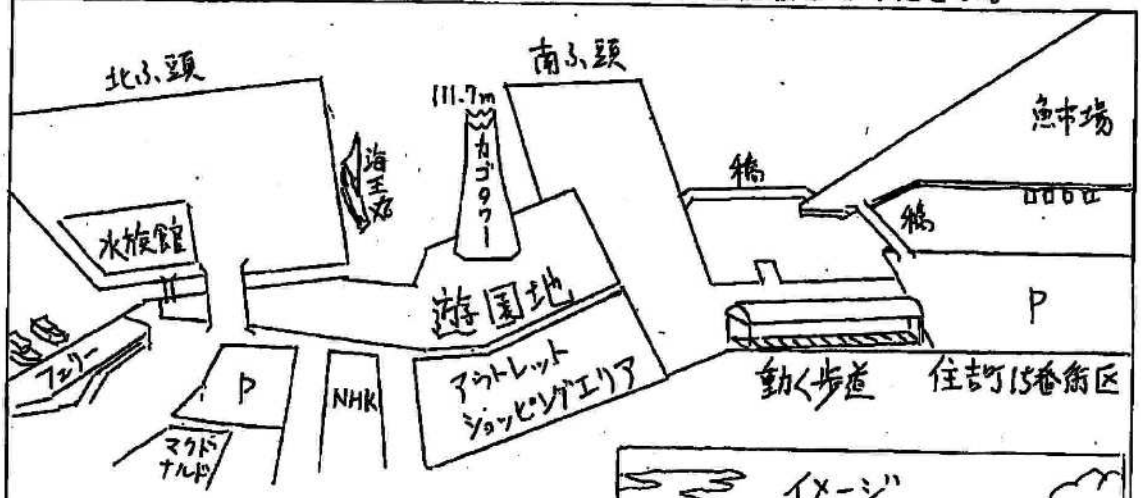
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

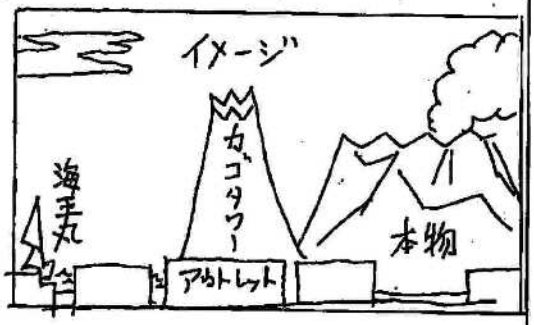
【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム（e（い一）申請）」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付 No.（事務局記載欄）	

[redacted]

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。





- カゴタワー：111.7m 桜島の10分の1の高さ
- アウトレット ショッピングエリア：平屋で景観を損ねない
- 遊園地：子供が遊べるミニ遊園地
- 魚市場までの橋：橋を架けて魚市場への流れをつくる
- 動く歩道：駐車場まで距離があるため、動く歩道を設置

アイディア
株式会社 栗牧コーポレーション

※任意様式に記載して頂いても構いません。

港湾空港課
-5.3.13
受付

受付 No.（事務局記載欄）	52

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」
応募申請書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（[redacted]） [redacted]		住所	[redacted]	
性別	男性	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・30代・40代・ 50代・60代・70代・ 80代以上	電話 番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] －　－ （担当者名　　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			可　・　否		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム（e（いー）申請）」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付 No.（事務局記載欄）	

「鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア」
応募様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

谷山地区に「マリンポートかごしま」があるとはいえ鹿児島中心市街地からは若干遠い、という印象を受けます。

いよいよ、アフター「コロナ」の時代に入りますが維新の国、鹿児島を日本中世界中にもう一度見てもらう為にもう一度来てもらう為に海の玄関口を再整備するべきだと考えます。

具体的には本港地区に

20万トンクラス客船の着岸可能な岸壁の整備。

着岸岸壁と桜島を望む立地に多種多様なテナントが入る大規模商業施設。

着岸岸壁周辺に日本の船員教育施設の誘致。

以上、3点を提案致します。

着岸岸壁の整備→アフターコロナ後の世界的な旅行業界の盛り上がりを見据えて再度維新の国鹿児島に諸外国からのインバウンドを大量に獲得するためには大型客船の着岸岸壁を本港地区に整備する。もてなす側ももてなされる側も立地の利点を活かす事が出来る。
空港、中央駅、離島航路フェリー。全てのアクセスが利便がよい。
客船着岸時のレセプション等への参加へも市役所、県庁から近い。
市民からの興味、関心や海洋思想普及等も期待出来る。
インバウンドの方々の鹿児島中心部への興味、関心の向上が期待出来る。

商業施設の整備→上記で掲げたインバウンドを大量に運んでくれる大型客船が入港すれば想像に容易いが免税扱いもさることながら鹿児島の地の特産品を大量に扱う店舗を多数誘致し展開することでインバウンドにお金を落としてもらう。さらには県内県外を問わず老若男女が集まり買い物をする大型のショッピングモール（大量のテナントが入る）を誘致することでさらに集客を行い収益を狙う。

船員教育機関の誘致→維新の国鹿児島から海洋立国日本を代表する優秀な船員を輩出する為の教育機関を誘致する。

大型客船が入港すれば直接プロの船員の知見を活用できうるであろうし実機の船からも学びがあろう。
立地からも申し分ないと思われる。
学生が集まれば上記のモールとの相乗効果でさらに活気が溢れる。

以上です。

駄筆、五月雨はご容赦下さい。

※任意様式に記載して頂いても構いません。

港湾空港課
-5.3.14
受付

受付 No.（事務局記載欄）	53

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」
応募申請書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（[redacted] [redacted]		住所	[redacted]	
性別	男	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・30代・40代・ 50代・60代・70代・ 80代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	（固定電話）[redacted] [redacted] （担当者名　　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			可　・　否		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム（e（いー）申請）」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付 No.（事務局記載欄）	

『鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア』
応募様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

鹿児島港本港区エリアの利活用について、大切なポイントとして二つあげたいと思います。

一つは、新総合体育館を単なる競技会場とするのではなく、観客として来た人が心から楽しめる空間にすることです。
例えば、屋上を作り、そこから桜島はもちろん、天文館方面、磯から錦江湾奥方面、そして鴨池から南薩方面など 360 度の景観が楽しめるようにする。
また、カフェで景色を眺めながらコーヒーや軽食を飲食できる空間を作ることなどです。

もう一つは、多くの車が入る駐車場を整備することです。
駐車場の心配があると、まず「行こう」という気になりません。駐車場の整備は絶対条件だと思います。

以上 2 点を十分考慮した設計にしていただきたいと思います。

港湾空港課
-5.3.14
受付

受付No.（事務局記載欄）	5K

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」
応募申請書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（[redacted]） [redacted]		住所	[redacted]	
性別	男	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・30代・40代・ 50代・60代・70代・ 80代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted]　－　－ （担当者名　　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			可　・　否		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム（e（いー）申請）」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付 No.（事務局記載欄）	

『鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア』
応募様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

専門家ではないので、細かいことは分かりませんが、体育館とスタジアムが一体もしくは、共有部分を設ける設計建物構造物は、できないのですか？なるべく建築面積を少なくすれば、緑地も残せると思います。極端に簡単に言うと、1階が体育館で2階がサッカースタジアムです。所有の按分が県と市でわかりにくいなど細かい事を言ったらきりがありません。オール鹿児島で大局的に考えてください。

港湾空港課
-5.3.14
受付

受付No.（事務局記載欄）	55

『鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア』
応募申請書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（[redacted]）		住所	[redacted]	
性別	女性	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・30代・40代・ 50代・60代・70代・ 80代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] ー　ー （担当者名　　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			可　・　否		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム（e（いー）申請）」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付 No.（事務局記載欄）	

『鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア』

応募様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

【案】プレミアムアウトレットを併設した海浜公園

【詳細】
・南九州発のアウトレット開業
・公園設置で子育て世代が集える広場作り（託児あり）
・大きな噴水、観覧車などインパクトのあるものを設置することで新たな観光地に
・全面バリアフリーで幅広い世代が来場できるような施設へ

【目的】
・九州エリアの集客を北から南へ
・新たな観光地づくり
・海外の観光客の集客も見込み、鹿児島の経済活性化
・水族館の来場者数増に繋げる
・様々なイベントを行える広い芝生を残すことで、花火大会観覧や地域マーケットを行えるように
・安心して子育てを行える施設作りにより、少子化対策へ繋げる（託児や子育て世代向けのイベント、助産師による相談会などを行う）
・アウトレットにすることで天文館との差別化を行う
・高齢者も楽しめる環境にすることで、気軽に集える新たなコミュニティの場へ

※税金の使い道は、市民がより良く過ごせるように鹿児島の未来も見据えて使って欲しいと思います。

NO.1

港湾空港課
-5.3.14
受付

塩田知事 様

ドルフィンポート後地の件で、ラインからアイデア募集が入りましたが、用紙を取り出せませんので、FAX致します。
知事も市長も発想が悪いと申し上げます。
ドルフィンポートは一等地(観光の)。そんな所に大きな箱物を建てたら景観が悪くなり観光地の価値がゼロになる。
ハワイで言ったらワイキキの中に箱物を作るようなもの。
ワイキキにそんな建物ありません。ホノルルではスポーツセンターなどは都心から離れた所に有ります。だから県の体育館は錦江高原ホテルの後地に建てるか、下荒田の今の所を建て替える。それが一番よいです。ドルフィンポートの前の道路は朝・夕交通量が多い。(姶良方面へ走る車が多い。)
錦江高原ホテルは眺めが最高です。定期バスを動かせば県民も一度は行ってみたい所です。
では、ドルフィンポートはどう開発するか? アロハタワーのようなものを建てて、展望台を作り夜は、噴火と夜空の観察を(10m位だったか? 細い建物)(月もみたい)
昼は、もちろん錦江湾の全貌を眺められるよう。(~~料金を払う~~東京タワーのようにタワーの回りに1階建のスーベニア店とレストランを置く。(料金をとる。)
そこにフリーマーケットも。子供広場と植物園も。絶体楽しい。
家族で行きたくなります。知事はどこで吉野のある所(私も場所が?)に錦江湾の全貌が見える場所があるのを知っていますか? 私は感動しました。
観光客は驚きますよ。(すばらしい所です。)

鹿児島県は自然に恵まれている。自然を壊さないよう、
自然を生かし、しかし、桜島の大噴火が必ず来ますから
防災・避難所の確保も考えて。(ロケット発射の一部も見える
所も欲しい。ぎおんの山車りに。)
体育館は郊外で十分です。市街地から30～40分
離れていても、有名選手が来るなら誰も遠いとは
思いません。
かつて、伊藤前知事は体育館をドルフィンに建てる計画
をして、県民に大反対され、辞任しました。

"同じ轍を踏まないで。"
山形屋の7階食堂はかつては窓から桜島が大きく見えて
日本にまたとない眺望のレストランでした。それが康銀の
建物に遮断され、なんにも見えません。銀行に
高層階が必要かて、無駄な建物にしか見えません。
ドルフィンポートに大きな箱物を
建てないで下さい!!
大花火大会にもじゃまです。



港湾空港課
-5.3.14
受付

受付 No.（事務局記載欄）	57

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」
応募申請書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（[redacted]） [redacted]		住所	[redacted]	
性別	男	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・30代・40代・ 50代 (60代)・70代・ 80代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名　　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			(可)　・　否		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム(e(いー)申請)」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付 No.（事務局記載欄）	

「鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア」
応募様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

本港区エリアは、前面に雄大な桜島があり、この世界的に見ても稀な絶景を最大限に活かすことを前提に考えることが第一と考えます。鹿児島を観光立県として全世界に向けて PR すべきであり、本港区エリアを観光拠点とするために次のことを提案します。

1．　県と市が一体となって利活用方法については、50 年 100 年後を見据えた長期的な観点に立って検討する。そのために一体となって検討する委員会等を設ける。委員の選任は、例えば環境、防災、経済等の多分野の専門家だけではなく、広く一般市民からも募集する。

2．　体育館・サッカースタジアム等のいわゆる箱物は、景観を少なからず損なうので本港区エリアへの建設は一旦白紙に戻す。

3．　以前あったドルフィンポートのように景観にマッチした低層施設を整備し、名山町県産業会館内の県ブランドショップの移転先として鹿児島の物産・名産を展示・販売する。また、オープンカフェ等を整備する。

4．　錦江湾越しの桜島を展望できる、景観にマッチした足湯や温泉施設を整備する。

5．　本港区エリア全体を大規模な公園として整備し、県民だけでなく観光客にも錦江湾越しの桜島の絶景を楽しみ・くつろげる場として提供する。

6．　市電を本港区エリアまで延伸し、鹿児島市内に点在する史跡・観光施設・商業施設・宿泊施設等の観光客を含めた利用者の回遊性・利便性を高める。

7．　本港区エリアには離島航路もあり、離島には桜島にも引けを取らない景観や観光地、物産もあることから、離島住民の足としてだけではなく、観光拠点として一体となった整備をする。

以上のことを実現することにより、本港区エリアが鹿児島県の一大観光拠点となり、経済活性化にも繋がると思います。

体育館・サッカースタジアムについては、次のことを提案します。

1．　県と市が個別に立地等検討するのではなく、一体となって検討する委員会等を設け、50 年 100 年後を見据えた長期展望に立った検討を行う。委員は、多方面にわたる委員を選任する。例えば環境、防災、経済等の多分野の専門家だけではなく、広く一般市民からも募集する。

2．　体育館・サッカースタジアムについては、大災害時（桜島大噴火時の噴石・降灰・溶岩・地震・津波等、東南海大地震時の揺れ・津波、台風時の暴風・高波・高潮、豪雨時の河川の氾濫・浸水等）の避難場所としての機能を持たせた施設として整備する。

3．　本港区エリアは桜島からも至近距離にあり、また海際で低標高であることから地震時の津波・液状化や台風時の高波・高潮、豪雨時の河川氾濫・浸水等により被災し、避難場所とし機能不全となる可能性があることから、体育館・サッカースタジアムは、大災害時にも避難場所として機能不全となる可能性ができるだけ小さい高台等に整備する。

以上、鹿児島港本港区エリアの利活用について提案します。

※任意様式に記載して頂いても構いません。

港湾空港課
-5.3.16
受付

受付 No.（事務局記載欄）	58

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」
応募申請書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（[redacted]） [redacted]		住所	[redacted]	
性別	女性	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・30代・40代・ 50代・60代・70代・ 80代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	（固定電話）[redacted] （担当者名　　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			可　・　否		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム（e(いー)申請）」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付 No.（事務局記載欄）	

『鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア』
応募様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

鹿児島港本港区は錦江湾・桜島を臨む鹿児島県民の宝物であり、県民みんなで共用し享受される場所であってほしいと願います。

本港区エリア内に、ソーラー花時計を置いて頂き、隣に県内離島を含む各市町村をたくさんの花で象った大きな「鹿児島花壇」の造園をお願いしたいです。

花には人の心を和ませる美しさがあり、四季折々、色とりどりの花々を、年中いつでも誰でも楽しめる広場に、と思います。

新総合体育館は、雄大な素晴らしい景観と融合する鹿児島らしい体育館を期待します。

港湾空港課
-5.3.17
受付



受付 No.（事務局記載欄）	59

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募申請書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（[redacted]） [redacted]		住所	[redacted]	
性別	男	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・20代・30代・40代・50代・60代・70代・80代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	（固定電話）0000-00-0000 または（携帯）[redacted] （担当者名　　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			可　・　否		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。

※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。

※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。

※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。

※　提出された資料については，返却いたしません。

※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。

※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。

※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム（e（いー）申請）」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付 No.（事務局記載欄）	

『鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア』

応募様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

当該地区の利活用について、体育館とスタジアム建設について、多々議論されいますが、県外出身者からの視点で、何故その点だけに議論が集中するのか疑問があり、個人的な意見ですが提案させて頂きます。

o　体育館の建設が発端及び鹿児島市内でという話であれば、桜島の活用を検討できないものでしょうか。

【理由】

1　桜島は鹿児島市であること

2　現在も体育館やグラウンドがあり、敷地的にも十分で、再整備すれば費用も抑えること
ができること

3　降灰で運用管理の面で問題があるかもしれませんが、本港区エリアでも同様の可能性は
あること

4　景観的にも問題ないこと

5　交通の面で、薩摩半島からはフェリーの乗船が増加し、大隅半島からは利便性が増すこ
と（フェリーの乗船時間も短いこと）

6　災害時には住民の一時避難場所や復旧に向けた拠点とすることができること

7　コンサートでも実績があり、コンベンションホールなど多様な機能を付加していけば、
使用頻度も向上し、効率的かつ費用的にも良いと考えられること

など、素人考えですが、J1のサガン鳥栖のスタジアムはＪＲ駅前ということもあり、交通便が良く電車も乗客で満員になりますが、本港区エリアに体育館やスタジアムがあっても、日常的に集客に繋がるとは予想できません。

もっと幅広い議論が必要かと考えます。

港湾空港課
-5.3.17
受付

受付No.（事務局記載欄）	60

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」
応募申請書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（[redacted]）		住所	[redacted]	
性別	男	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・30代・40代・ 50代・60代・70代・ 80代以上	電話 番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名　　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			可　・　否		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム（e(いー)申請）」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付 No.（事務局記載欄）	

「鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア」
応募様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

1　ドルフィンポート（ＤＰ）跡地について

プラン：屋外イベント会場として整備する。

（１）整備する施設・設備

全天候型舗装，トイレ，主催者用事務スペース・警備用詰所，関係者駐車場，照明・放送設備

（２）考えのベース

・この一等地に景観を大きく損なう建造物をつくることは禍根を残す。この場所には，総合体育館もスタジアムもふさわしいとは思えない。

（３）利点

・ウォーターフロントパークとの一体的整備ができる。

・景観の保全ができる。

・中央公園では手狭なイベントや野外音楽フェスを週休日・祝祭日に開催することによる天文館エリアとの回遊性向上に期待できる。

・エリア出入口を工夫することで有料イベント開催が可能であり，使用料による収益を得ることができる。イベント時のみ開放する常設トイレを設置することでイベントごとに仮設トイレを設置・使用する現状の改善が図れる。

2　住吉町 15 番街区について

プラン：鹿児島大学水産学部の新キャンパスとする。

（１）整備する施設・設備

下荒田キャンパス施設の全部（水産学部水産学部の事務・研究・講義に必要十分な建物，サークル棟，大学生協棟，駐車場など），実習船の係留施設

（２）考えのベース

・住吉町 15 番街区は鹿児島中央駅からナポリ通り・パース通りを直進し，海に行き当たった場所であり，どんな施設を置くか県の識見が問われる。景観を損なう大規模施設やイベント開催時だけにぎわう施設ではなく，海に関連した恒久的な学術施設の設置こそが県・市・大学３者のイメージアップ，県の自慢と誇りになる。県・市ともに埋め立て地活用でこれまで多くの見込み外れがあった。挽回のチャンスである。

（３）利点

・教職員や学生による周辺の若者人口の増加，天文館エリアとの間にイベント・天候に左右されない人の流れの増加が期待できる。

・国の予算で整備できる。

・建造物デザインの工夫により桜島をバックにした新たな代表的な景観になりえる。

・鹿児島大学にとっての利点：現在の下荒田キャンパスの建物には築 40 年を超え老

朽化しているものもある。設置当初は海に近かったが，現在はけっして海に近いとは言えない。漁港や魚類市場にも近い住吉町移転により大学・学部の価値向上が期待できる。

３　新総合体育館について
プラン：水産学部（鹿大下荒田キャンパス）グラウンドが適地だと考える。
　水産学部が移転しなくても，国際交流会館１号館のみ移転させることで，現在の県体育館敷地と一体的な整備が可能ではないか。
（１）利点
・現在の立地のアドバンテージを引き継ぐことができる。
・白波スタジアムとの間に国道２２５号をまたぐ屋根付きバリアフリー連絡橋を設置することで，県の体育施設として一体的整備を図ることができる。
・水産学部施設が完全に移転すれば，さらに十分な駐車場スペースを確保できる。また，現在の県体育館からの進入路の他，北側，さらに国道２２５号を拡幅して専用出入り車線を設置できる。

付記：市が進めようとしているサッカースタジアムについて
プラン：イオン鹿児島鴨池店（旧ダイエー）の敷地が適地だと考える。
（１）考えのベース
　・かつて動物園があり，市にとっても縁深い土地である。
・将来，イオングループの中で減店対象（閉店）になった場合の跡地利用を念頭に，先手を打つ必要がある。
（２）利点
・市電・市バスルートに隣接，アクセスがよい。
・現在の立体駐車場をそのまま活用できる（かもしれない）。
・駐車場の共用など周辺の市施設との連携協力しながらの運営が期待できる。
（３）イオンとの交渉
・木材団地跡，鴨池，中央駅前の３店舗が必要なのか。鴨池は築 40 年以上経過している上，木材団地跡にも近い。現在の店舗規模が適切だと考えているのか。
・現地にスタジアムを整備した上で，敷地内にマックスバリュや現テナント希望者の優先出店権を保証するなど提案してみる価値はある。

受付No.（事務局記載欄）	61

港湾空港課
-5.3.17
受付

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」

応募申請書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	[redacted]		住所	[redacted]	
性別	女性	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・30代・40代・ 50代・60代・70代・ 80代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名　　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			可　・　否		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。

※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。

※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。

※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。

※　提出された資料については，返却いたしません。

※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。

※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。

※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム（e（いー）申請）」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付 No.（事務局記載欄）	

『鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア』

応募様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

アイデアというより個人の意見になりますが以下の 3 点を考えております。

1. 文化面の発展にも貢献できる施設：国際試合を視野に入れたスポーツアリーナの建設も大変良いことと思います。しかし、文化面においても 5,000 人規模の国際会議が開催できるコンベンションセンターが鹿児島にはなく、他県に遅れをとっていると感じています。芸術、文化、学術などの発信や交流が鹿児島でできるようになると国内のみならず国際都市として鹿児島がもっと発展していけるものと考え、県民のさらなる意識の向上も得られることと思います。また、イベントに伴う来場者から得られる経済効果も期待できるものとも考えます。

2. 災害に対する安全性：海に面した本港エリアが津波、火山爆発などの災害に耐えうる条件であるかを確認しておく必要も考えます。実際に東日本大震災の際は鹿児島湾岸にも津波警報が発令されました。その際には安全のためにフェリー等の運行中止、かごしま水族館も緊急的に閉館しました。

3. 非常時に役立つ施設：災害などの非常時には本港エリアの施設が避難所として機能できるように備えておくと市民の安心につながると思います。福島県のビッグパレット福島、埼玉県のさいたまアリーナなど有効活用できていたと記憶しております。

以上、現在の課題と少しずれる意見かもしれませんが少しでも参考にしていただけましたらありがたく思います。

港湾空港課
-5.3.19
受付

受付No.（事務局記載欄）	62

『鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア』
応募申請書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（ [redacted] ）	住所	[redacted]

性別	女	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・30代・(40代)・ 50代・60代・70代・ 80代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名　　）

プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）	可　・　(否)

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム(e(いー)申請)」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付 No.（事務局記載欄）	

「鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア」
応募様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

別紙のとおり

※任意様式に記載して頂いても構いません。

別紙

鹿児島本港区跡地利用についてご提案

【提案内容】

鹿児島県は列島最南端に位置し隣県は北側に位置する熊本・宮崎のみであり、鹿児島市と大隅半島は海で隔てられています。鹿児島市から大隅半島へ移動する際は陸周りでは車で２時間以上、またはフェリーを利用して移動しなければならず、鹿児島市民は他県と比べ遊べる範囲が非常に少ない状態です。自然豊かな大隅半島では車の利用が必須でありますがフェリーを利用すると、往復４０００円程かかる為気軽に利用するには躊躇われます。そこでより多くの市民が行き来出来るように、車を置いて人間のみ船を利用できるよう、鹿児島本港区跡地を県が運営する駐車場及びレンタカー場にする、それに伴い桜島港付近でも同様の施設が必要になる点が課題の一つではありますが前述した件をご提案致します

【利点】

多くの鹿児島県民や観光客が長期的に、より鹿児島を楽しめるようになり、いろいろな場所へ行く事で経済の活性化に繋がると考えます。

【課題】

桜島港付近での施設の準備が必要になる事。
また、利用料金については１日当たり１０００円程だと利用しやすいと思いますが、財政上難しいのであれば、駐車券等を発行し、例えば下船後利用した店舗から売り上げの幾らかを県の収入にする等、考慮が必要。

【最後に】

薩摩半島から大隅半島への行き来が簡単になれば、もっと鹿児島を楽しめると考えておりましたが、地形の関係上、橋を架ける事が不可能であれば、船での行き来が唯一の方法です。鹿児島本港区跡地利用のこのタイミングを逃せば、今後、薩摩半島と大隅半島を容易に行き来出来るようになる機会は来ないのではないかと思います。より多くの県民の生活が豊かになるよう、活用して頂きたいです

港湾空港課
-5.3.19
受付

受付 No.（事務局記載欄）	63

『鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア』
応募申込書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（[redacted]） [redacted]		住所	[redacted]	
性別	男	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・30代・40代・ 50代・60代・70代・ 80代以上	電話 番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名　　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			可　・　否		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム（e(いー)申請）」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

鹿児島港本港区エリアの利活用案

鹿児島港本港区エリアの利活用案として、観光客に鹿児島県の魅力をアピールし、また体感できる施設の建設を提案します。こういった提案や建築・設計、流通・販売の知識も経験も全くない素人でお恥ずかしい限りですが、ご一考頂ければ幸いです。

特　徴

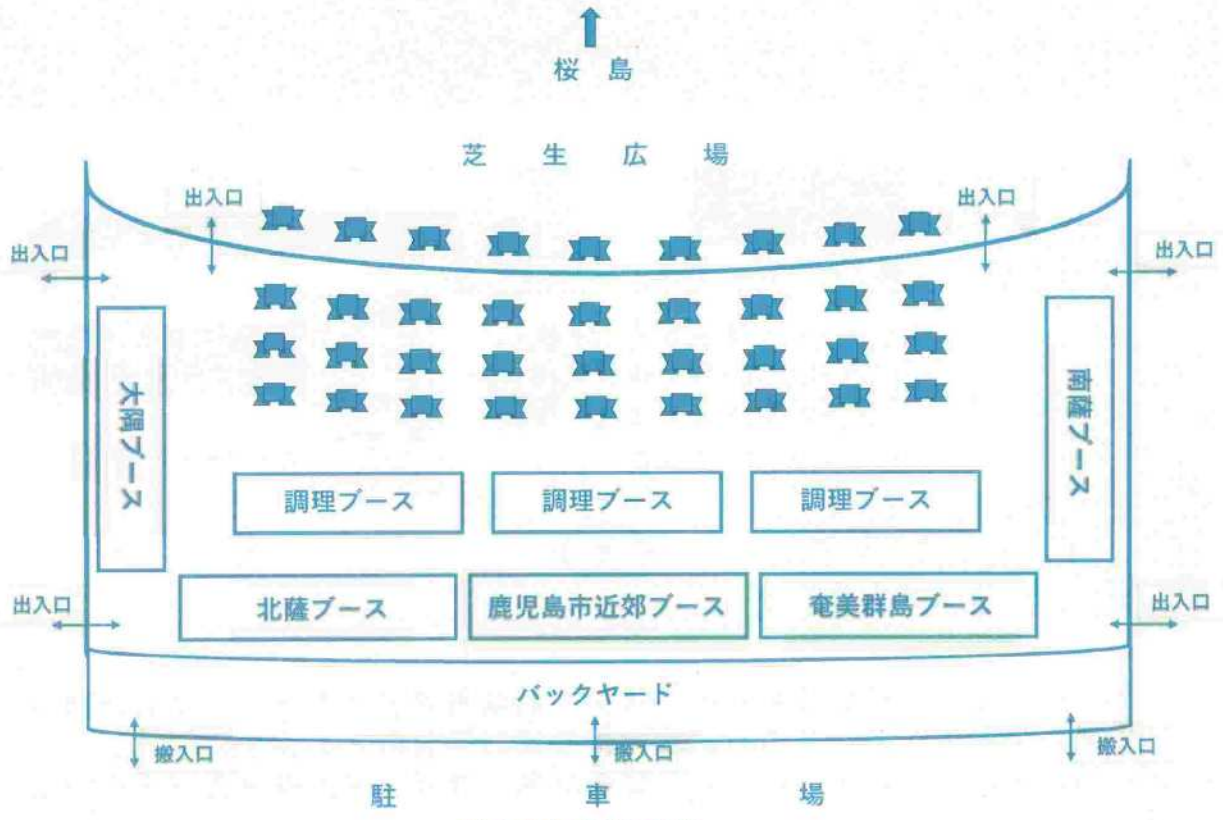
・鹿児島県を5つの地域に分け、各地域のブースごとに野菜、魚介、食肉、焼酎、お土産品等の特産物の展示・販売、観光案内、ホテル・交通機関への問い合わせ・予約を行う。また各市町村の観光担当者がアピールするイベントも定期的に行う。

・購入した食材は、発送、持ち帰りだけでなく、調理ブースで調理して味わうことも出来る。

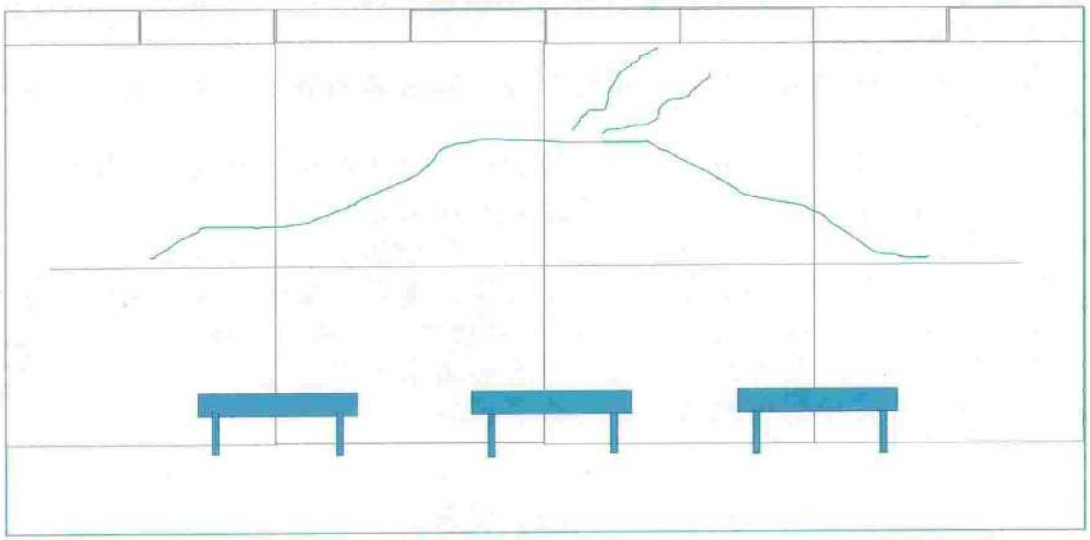
・建物前面はガラス張りで、食事、鹿児島茶、焼酎などを味わいながら桜島を眺望出来る。

・鹿児島市近郊ブースでは、いおワールドかごしま水族館、仙巌園など近隣の施設の案内、天文館・鹿児島中央駅周辺の飲食店情報も充実させる。

・仙巌園、鹿児島駅、天文館、鹿児島中央駅との間でシャトルバスを運行する。また大型客船入港時には、マリンポート鹿児島を含む運行も行う。


桜　島
芝　生　広　場
出入口
出入口
出入口
出入口
大隅ブース
薩摩ブース
調理ブース
調理ブース
調理ブース
北薩ブース
鹿児島市近郊ブース
奄美群島ブース
出入口
出入口
バックヤード
搬入口
搬入口
搬入口
駐　車　場

施設内から望む桜島





受付 No.（事務局記載欄）	68

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」
応募申請書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（[redacted]） ㈱アリマコーポレーション		住所	[redacted]	
性別	男	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・30代・(40代)・ 50代・60代・70代・ 80代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名 [redacted]）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			(可) ・ 否		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム（e(いー)申請）」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

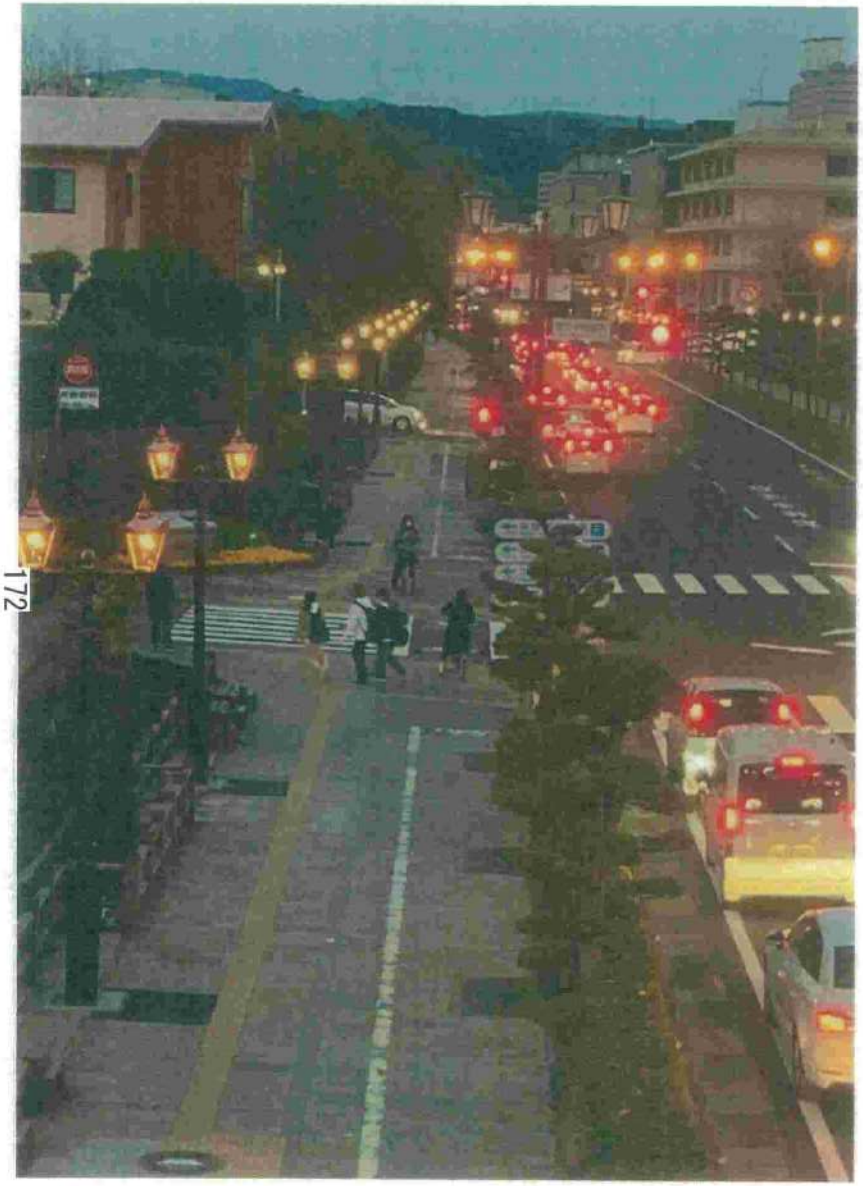
受付 No.（事務局記載欄）	

「鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア」
応募様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

別途資料になります。

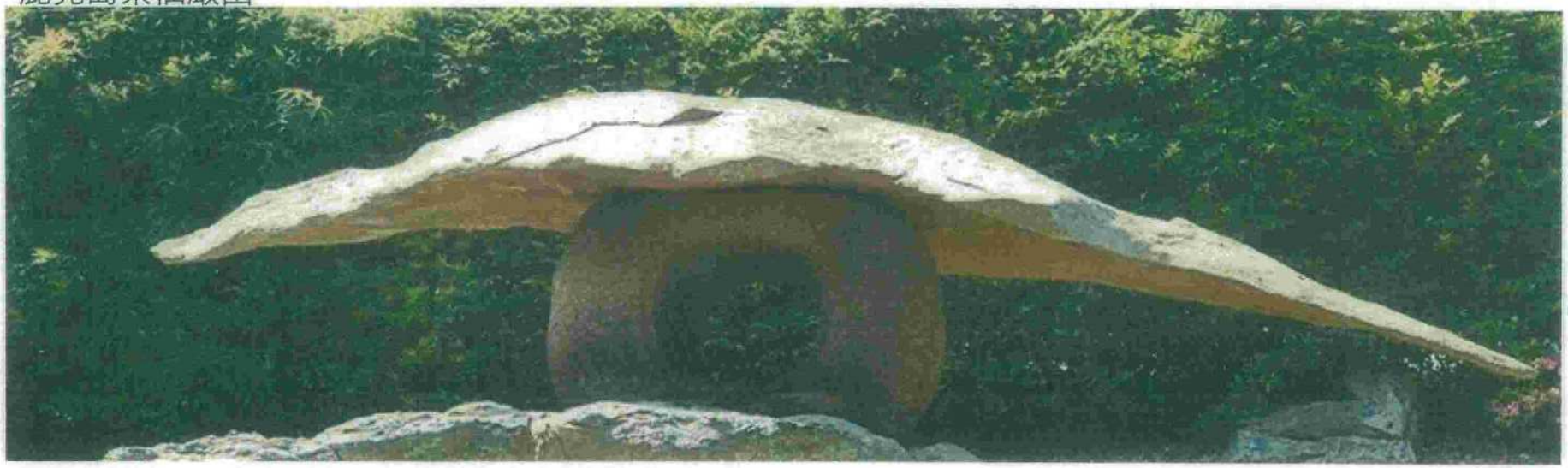
※任意様式に記載して頂いても構いません。



鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア

景観と中心市街地との回遊性

鹿児島県仙厳園



我が国初のガス灯実験に成功

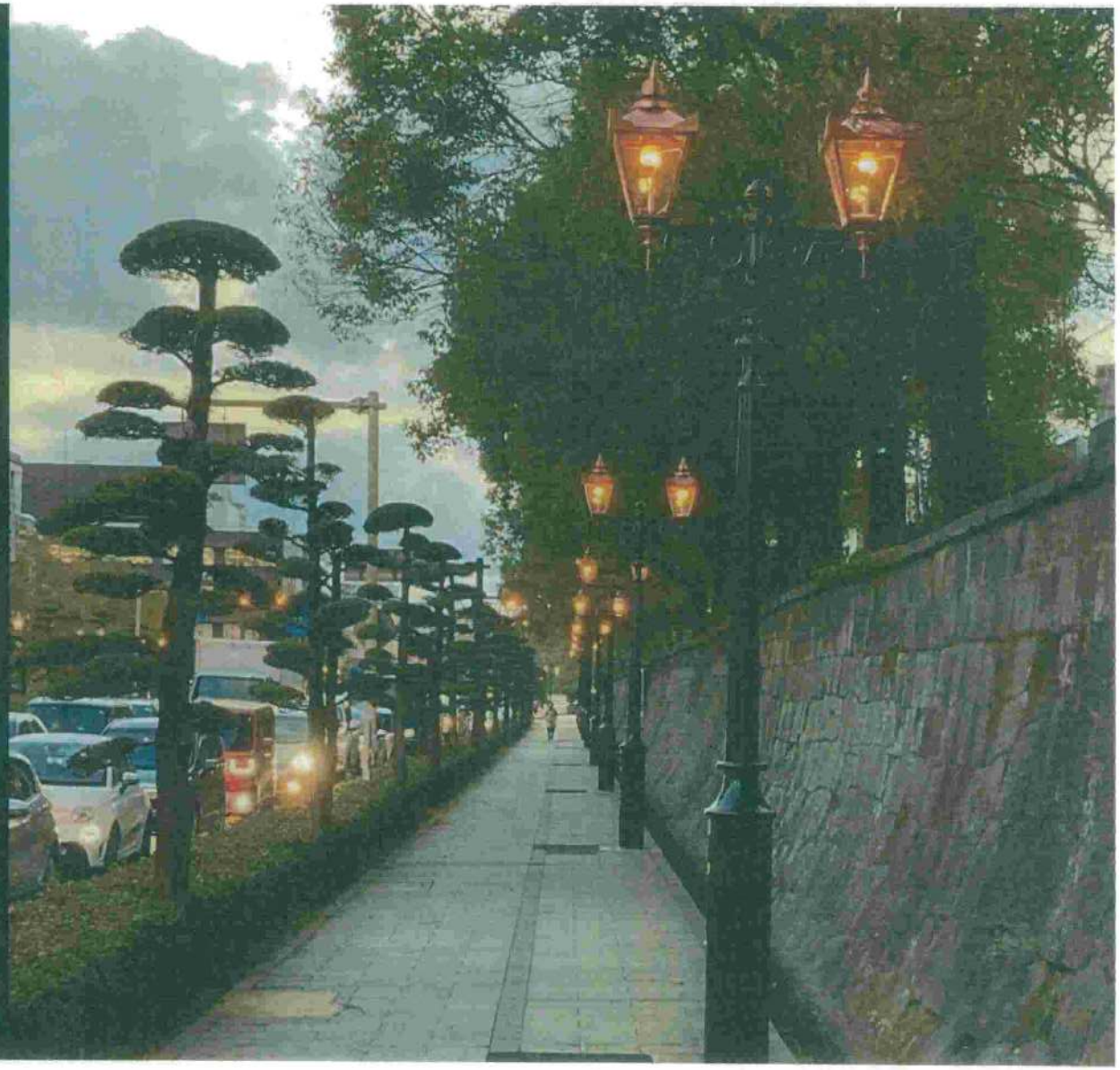
鹿児島県のホームページでも紹介されている通り、島津斉彬公は、鹿児島城下を、西欧諸国の町のようにガス灯が輝く町にしたいと考え、安政4年（１８５７年）８月に別邸仙厳園でガス灯の実験に成功。城下への設置を計画しましたが、斉彬公の急死により計画は幕を閉じてしまいました。

ガス燈の灯る歴史と文化の道



鹿児島では、やすらぎとうるおいを感じるゆとりの道、夢とロマンをしのぶ歴史道として整備し、ガス灯を設置しています。

歴史と文化の道



私学校前

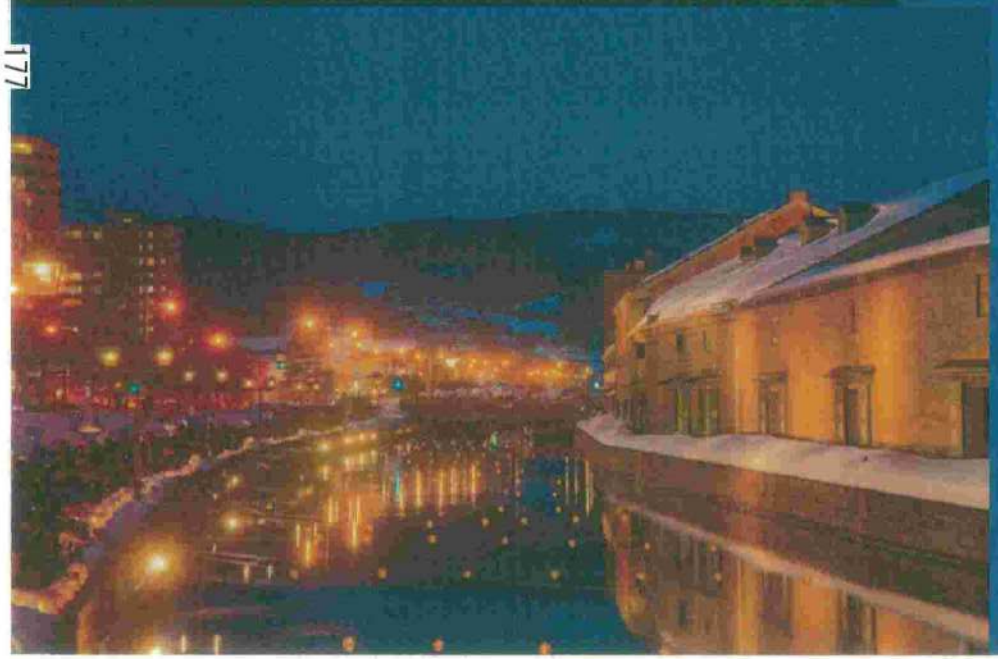
歴史と文化の道

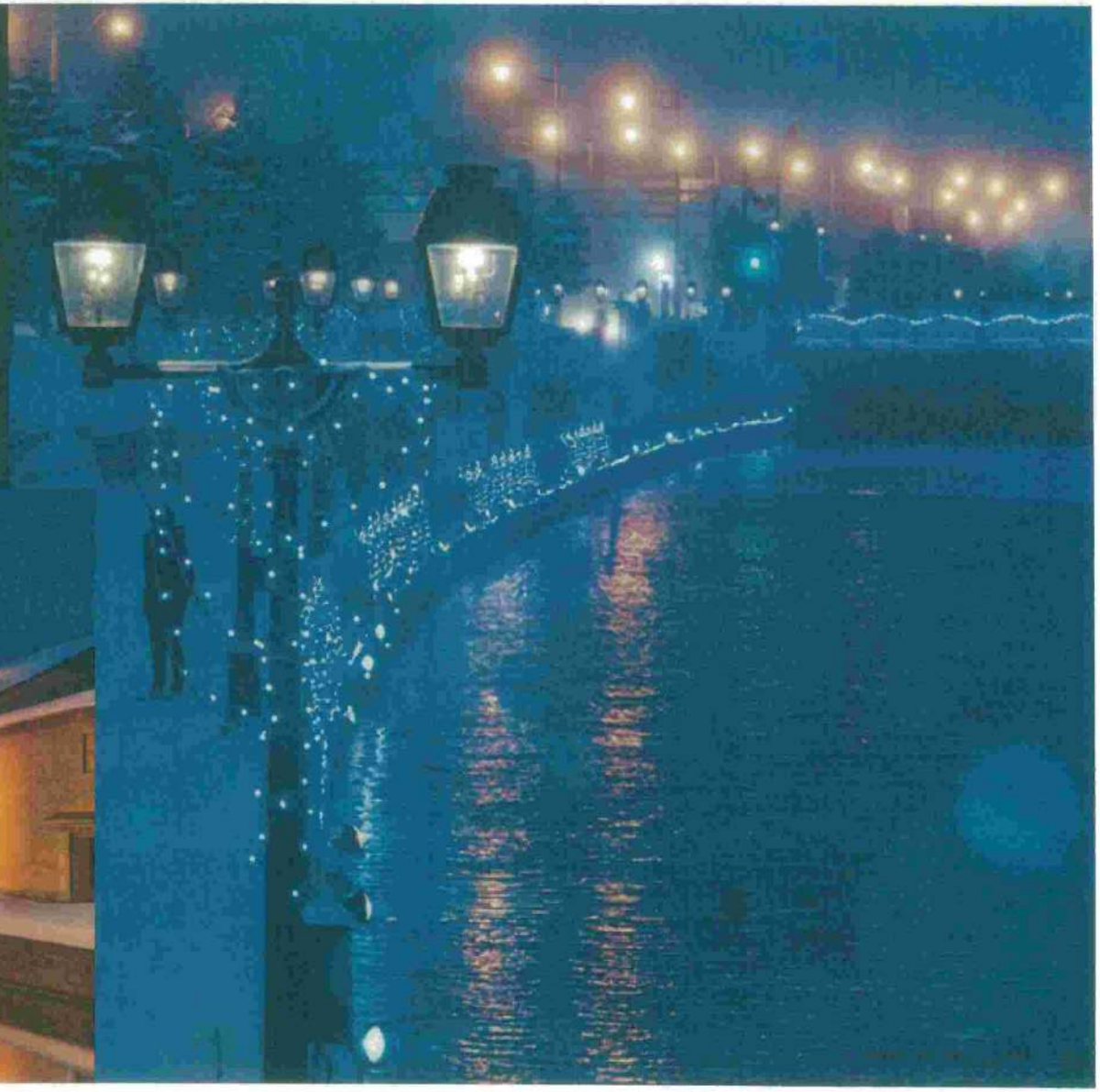


美術館前

水辺にはガス灯が映える。

小樽運河





水辺にはガス灯が映える。

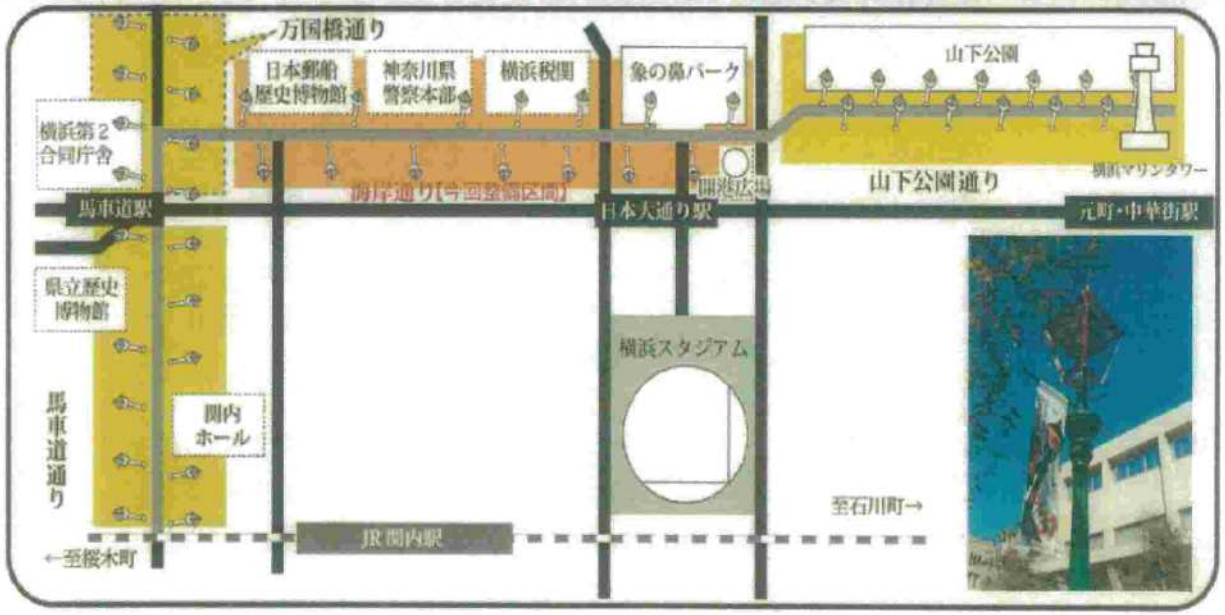
門司港レトロ



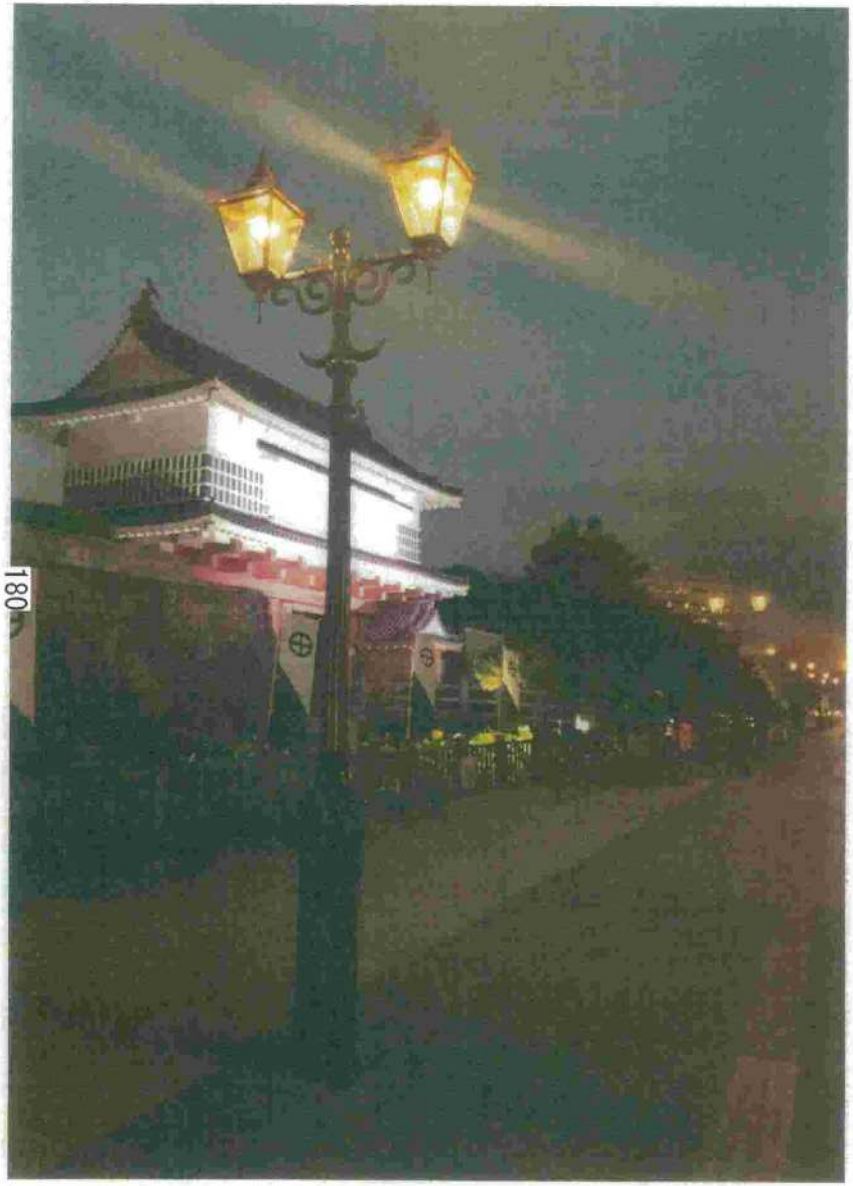
ガス灯の町
横浜

• 街灯として初めてガス灯を本格利用した横浜市では、港エリア（山下公園通り・湾岸通り）から関内駅方面（馬車道通り）をつなぎ夜も回遊性を高めています。





ガス灯プロムナード案内図



歴史と文化の町　鹿児島

- 市内には幕末・明治維新の文化を生かした多くの文化施設や建造物があり、観光の目玉の一つになっています。しかしながら桜島の景観を含め日中しか楽しめるものがありません。夜にも観て楽しめるエリア・空間があれば宿泊滞在客や市民も喜ばれるのではないでしょうか。

- 新たに建設されるスポーツ施設をはじめとする現代的な建造物と、今尚残る歴史的建造物との融合。その懸け橋に温かみのあるガス灯の灯りで港と城下を結んでみては如何でしょうか。
  また横浜市をはじめ小樽運河や門司港レトロなどウォーターフロント整備では、夜も楽しめる空間を演出しています。

- 日本で初めてガス灯の実験を命じた島津斉彬公は城下の通りにガス灯を灯そうとしていたそうです。その志を現代の鹿児島で実現してみては如何でしょうか。

港湾空港課
-5.3.21
受付

受付 No.（事務局記載欄）	65

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募申請書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（[redacted]） [redacted]	住所	[redacted]
性別	男	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・30代・㊵代・ 50代・60代・70代・ 80代以上
電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名　　）		
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）	可 ・ 否		

※5/22に御本人から「プレゼン可」との連絡があったもの。

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。

※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。

※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。

※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。

※　提出された資料については，返却いたしません。

※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。

※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。

※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町 10 番 1 号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム（e（い一）申請）」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付 No.（事務局記載欄）	

「鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア」
応募様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

～世界初！海港スタジアムを北埠頭エリアへ～

私は、商工会議所が作成した資料について基本的に賛同いたします。

只、この資料に付け加えて頂きたい事が一つだけあります。それは、
サッカースタジアムです。

ドルフィンポート跡地では、景観や365日賑わう街づくりというコンセプトに
当てはまらないということも重々承知しており、私自身、納得している所も
あります。

そこで、一つ提案させていただきます。

港湾における規制を改正した上で、水族館がある北埠頭エリアに、離島
大隅、県央、指宿方面つなぐ、旅客ターミナルを備えた複合スタジアムを
加えて頂きたいと考えます。

この場所であれば、観光における景観の配慮することができ、ターミナルを
併設する海の空港として、鹿児島の食を楽しみ、お土産物も購入可能です。

また、サッカーだけでなく、他のスポーツ（ラグビーなど）や、今まで
鹿児島に呼べなかった一流アーティストのコンサート、市民参加型の
イベント（花火大会）などが開催可能な複合スタジアムと人々が毎日
行き交う海の空港（海港）を併設することで、365日賑わう街づくりという
県のコンセプトと合致できるものと考えます。

なにより、この場所から見る桜島の雄大さは、県外・海外からくる観光客に
強烈な印象を与え、人々の心の財産になることは間違いありません。

沢山のハードルがあるとは思いますが、どうやったら実現できるかという
考えのもと、県と市ががっちりと連携し、鹿児島県民に夢や希望を与えて
頂きたいと、切に願っております。

ご清聴ありがとうございました。

[redacted]


族館口
204
鹿児島港 桜島
フェリーターミナル
いおワールド
かごしま水族館
名山町
住吉町店
南ふ頭旅客ターミナル
214

港湾空港課
-5.3.21
受付

受付 No.（事務局記載欄）：66

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」

応募申請書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（ [redacted] ）		住所	[redacted]	
性別	女	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・20代・30代・40代・ （50代）・60代・70代・80代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名　　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			（可）　・　否		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。

※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。

※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。

※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。

※　提出された資料については，返却いたしません。

※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。

※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。

※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム（e（いー）申請）」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付 No.（事務局記載欄）	

「鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア」
応募様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

構想って程も無いです
絶叫マシンが味わいたい時　熊本県荒尾まで行く現状
多くは要りませんが　高い・速い・絶叫が味わえるアトラクション
あったらいいなぁと
スポーツ施設だけでは　眺望ももったいないと思います

※任意様式に記載し18頁いても構いません。



受付No.（事務局記載欄）	67

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」
応募申請書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（[redacted]） [redacted] 個人		住所	[redacted]	
性別	男	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・30代・40代・ 50代・60代・(70代)・ 80代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名　　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			可　・　(否)		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム(e(いー)申請)」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付 No.（事務局記載欄）	

「鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア」
応募様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

当該地区の活用について

＜提案＞

鹿児島を代表し全国にも認知されるブランド力をもつモニュメントの設置と鹿児島市民の憩いの場（多くの市民がイベント、散策、ジョギング、サイクリング等を楽しむ）となる野外ステージ、海岸通り公園等を整備し、観光客と市民が一体的に楽しめる空間を創造する。

（例えればシンガポールのマーライオンような強烈に当該都市のイメージに直結する建造物と周辺公園（横浜のみなとみらい、山下公園のようなイメージの散策公園の整備）

＜具体例＞

・鹿児島には日本国民の多くが知り、興味をもつ明治維新の立役者を排出したという強みがある。これらを集約し、ランドマークとなるモニュメント（記念碑、記念館等）を設置し、ツアー以外の観光客等も含め、まづ最初に訪れる必須の訪問地にする。

・市民が健康増進等のために桜島と錦江湾を背景に野外ステージ、散策、ジョギング、サイクリング等で多くの人々が集い、憩いの場となる海岸通り公園のような空間を設置し観光客と市民が一体的に楽しめる空間を創造する。（アクセス、駐車、駐輪場等、利便性が重要）

＜理由＞

私は永年東京で生活し定年で故郷に帰って来たが、景観、歴史、食文化、温泉、離島等これほど観光資源に恵まれていながら東京では、観光地として一目置かれる存在ではなく、単なる地方都市のイメージしかなく魅力度ランキングでも上位にないのが不思議だ。鹿児島市に「行ってみたい」を連想するシンボルとなるものがなく観光地としてイメージするものがないのが大きな要因。観光地として名のある都市では、横浜のみなとみらい、長崎のグラバー園、金沢の兼六園、松山城等当該市のイメージに直結するシンボルがあり、それらは全て中心市街地から徒歩圏内にあり、観光客や市民が街を散策している。ところが鹿児島市はどうだろう。ツアー以外で鹿児島に来た観光客等が中央駅や天文館に降り立ったらどこに行こうとするだろうか?私でも思いつかない。また鹿児島市には市民が休日などに散策して気分転換する憩いの場所がない。桜島は「行ってみたい」にはつながらない。

鹿児島市の街づくりの疑問。（住みやすさの市民目線が欠けている。）

1. 素晴らしい景観が望める絶好の観光名所となりうる城山には登山道（遊歩道）があるのかないのかさえ分からない。（似たような場所の松山城にはロープウェイ、リフト、登山道が整備）
2. 散策、ジョギング等利用する人がほとんどいない与次郎地域の海岸の整備された遊歩道。（どういう目的のために整備したのか分からない。）
3. 集約されていないバスセンター。主要ポイントを外した市電路線。分かりにくい空港バス等あらゆる所でアクセスの利便性が考慮されていない。
4. ダラダラ踊るのを見るだけで観る方からしたらまるで面白味のないおはら祭。
5. ＰＲ効果のある JAL ホテル、ＡＮＡホテルが進出していない不思議。等々

港湾空港課
-5.3.22
受付

受付No.（事務局記載欄）	68

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」
応募申請書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（[redacted]） [redacted]		住所	[redacted]	
性別	女性	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・20代・30代・40代・50代・60代・70代・80代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted]（担当者名　　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			可　・　否		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム（e（いー）申請）」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付 No.（事務局記載欄）	

「鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア」

応募様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

失礼な意見かも知れませんが、一部の人達の利用頻度が高い高額な箱物を作る意味も将来性も説明もされずにアイデアを募る事に違和感を感じます。私達の生活が豊かさであるなら、それを作る事、良いでしょう。しかし今県民に必要な事は一部の人達の為でなく県民全体が納得し作る事で、税金減額が出来る利益率が高いもので無ければならないと思います。

港湾空港課
-5.3.22
受付

受付 No.（事務局記載欄）	69

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」
応募申請書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（[redacted]） [redacted]		住所	[redacted]	
性別	男	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・30代・40代・ 50代・60代・70代・ 80代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名　　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			可　・　否		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム（e（いー）申請）」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付 No.（事務局記載欄）	

『鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア』

応募様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

九州と言えば、大きなイベントは便利の良い地理的な問題があるとは言え、福岡と熊本がメインのような気がしています。鹿児島でも大きなイベントが行える様な施設を作るのも一つの考えかと思います。マリンメッセ福岡のような施設に近いものが良いのかと思います。学会からコンサート等幅広く使える施設が鹿児島にとっても必要な気がしています。

港湾空港課
-5.3.25
受付

受付 No.（事務局記載欄）	70

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」
応募申込書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（[redacted]）		住所	[redacted]	
性別	女性	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・30代・[40代]・ 50代・60代・70代・ 80代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted]
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			[可] ・ 否 ※勤務の状況にもよります		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム（e（いー）申請）」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付 No.（事務局記載欄）	

「鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア」
応募様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

◆応募のきっかけ

鹿児島は歴史的な背景や、桜島や天然の温泉等他県に負けない誇れるコンテンツがあるにも関わらず、昨今のコロナ禍で外出や他県をまたぐ移動の自粛となり数年が経過しました。
しかしながら本港区の利活用をきっかけに県内在住の方や他県の方に「鹿児島という場所にはこんなに素晴らしいところがある」とPRできる絶好の機会と捉え、以前「ドルフィンポート」という名称のアイディアを提供した経験もあることから今回も何か県民として一助になればと考え応募した次第です。

◆参考にした資料及び参考引用元選定のきっかけ

まず、アイディアを提案するにあたり自分なりに調査した結果があります。

①現在の状況の把握

ニッセイ基礎研究所が2022年11月01日付で発表した資料で、同年10月31日に観光庁が発表した宿泊旅行統計調査によると2022年9月の延べ宿泊者数は3,914万人泊となり前年同月比は71.9%となり、新型コロナウィルスの影響が出る前の2019年同月比でみると▲19.7（8月：同▲25.0%）と2ヶ月ぶりにマイナス幅が縮小したとの報道がなされた
10月11日以降、個人旅行の解禁、短期滞在のビザ免除の再開や一日あたりの入国者数の上限撤廃など水際対策が緩和されたことや加えて円安などの要因もあり、日本人の宿泊旅行者数、外国人の観光客の増加も見込まれると報じている。

次に観光庁が発表した統計では10-12月には日本人国内延べ旅行者数が1億1,077万人となり、2021年の10-12月に比べると15.9%増、旅行消費額も2021年10-12月と比較すると47.5%増となっている。


観光庁
Press Release
観光統計
旅行・観光消費動向調査
2022年10-12月期（速報）



観光庁のホームページで宿泊旅行の主目的地として九州管内に絞ってみた際に最も多かった場所が福岡県、次いで長崎県が主目的地となっていた。

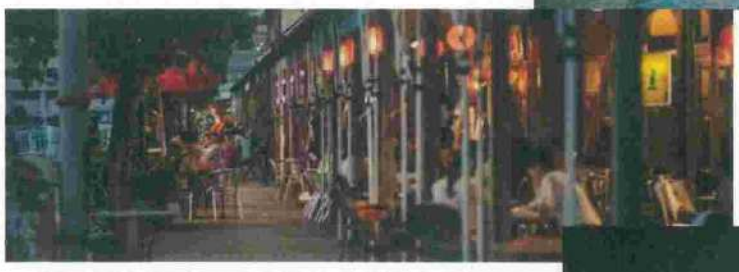
私自身、コロナ禍以前は福岡県、長崎県に実際に足を運んだ経験があるが、特に「長崎出島ワーフ」という港に面した観光スポットに実際足を運び居心地の良さに感激した記憶がある。

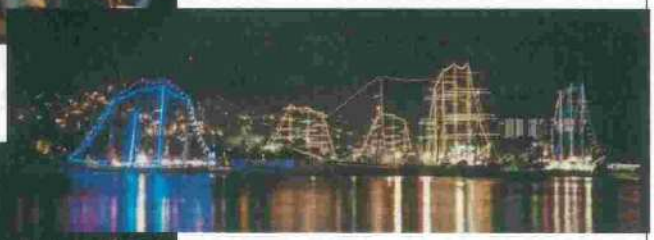
日蘭交流 400 周年を記念した 2000 年にオープンした複合商業施設であり、海沿いの 2 階建ての建物に地元の海鮮グルメを味わうお店やラテアートが人気なカフェ等お洒落で個性的なお店が並び、海に面したテラス席等でゆっくり過ごす人や港に面したウッドデッキを歩く人の姿も見ることができた。

また近くには長崎県立美術館もあり、ゆっくりアートの世界に浸りながら、ホッとひといきお茶を飲みながら時間を過ごすうちに、あたりも日暮れとなり帆船が並びイルミネーションが灯ると SNS 映えするスポットがいくつも見えた。夜は「出島ワーフ」内の飲食店もライトアップし、人のにぎわいに光の柔らかさと幻想的な風景だったことを記憶している。

[引用元：長崎県ホームページより]









このことを参考にし、私は鹿児島県の鹿児島港本港区エリアも歴史的背景や桜島をはじめとする自然文化遺産や黎明館、仙巌園などの文化的な建造物等も鹿児島県の方をはじめ、コロナ禍で県をまたぐ移動が叶わなかった方々にも海に面し、鹿児島ならではの魅力あふれる空間の提供が叶うと考えます。

また北九州市の門司港周辺は「門司」と聞くと赤いレンガ造りの建物が思い浮かぶ。そのホームページをみると「門司港レトロ」をテーマに、周辺にはレンガ造りの建物に出光美術館門司や、九州鉄道記念館、展望所にと昭和レトロでお洒落な雰囲気を感じることができる。

3 月 23 日に行われた「日本旅行業協会」のフォーラムにて話された内容で、印象的だったことが「国内旅行の需要が増えること」と、中でも「観光地+1（プラスワン）」で楽しむことができるエリアが人気であるとの発言があった。例として引用されていたのは「横浜中華街」や「門司港レトロ地区」など歩くだけでも楽しいエリアが旅先として選ばれており、さらに分析をした結果が「観光地」

や「温泉地」、「自然景観」に「+1（プラスワン）するようなエリア」が人気とのことであり、また新たな兆候としては橋やダム、ランドマークも観光名所ではなくても、観光目的地としてドライブツーリズムの一環として人気があるとのことであった。

たとえば、鹿児島を代表とする「自然景観」である桜島の観光、霧島など「温泉地」に、プラスワンする要素が立地条件やアクセスからみても、本港区にもその要素は十分あると考えました。

桜島をみながらフェリーで鹿児島市に渡り、本港区に前出したような長崎の「出島ワーフ」や「門司港レトロ」のような立ち寄った人たちが思わず「映える！」とスマホで撮影をする等、世代を問わず思わず立ち寄りたくなるようなお店やスペースがあれば、今度はそこから少し足を延ばしてレトロを感じる名山・鹿児島市役所周辺や、ライトアップも素敵なみなと大通り公園を散策して、天文館にも人の流れがつながるようになるといいという希望を基に構想しました。

港湾空港課
-5.3.25
受付

受付 No.（事務局記載欄）	ケ/

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」
応募申請書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（[redacted]） [redacted]		住所	[redacted]	
性別	男	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・30代・40代・ 50代・60代・70代・ 80代以上	電話 番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名　　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			可　・　否		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム（e（いー）申請）」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付 No.（事務局記載欄）	

「鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア」

応募様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

鹿児島港本港区エリアに「新しい観光名所」を作りましょう。観光名所を作ってのち、商業施設やホテルも造れます。それによって、鹿児島港本港区エリアの価値をさらに高めます。詳しくは添付したファイルにでご案内いたします。

※任意様式に記載して頂いても構いません。

鹿児島港本港区エリアに「新しい観光名所」を作りましょう

そのために、インスタレーションの利用を提案します。「インスタレーション」については、次をご覧ください。

（引用元：https://hataraku.vivivit.com/works/installation ）

インスタレーション

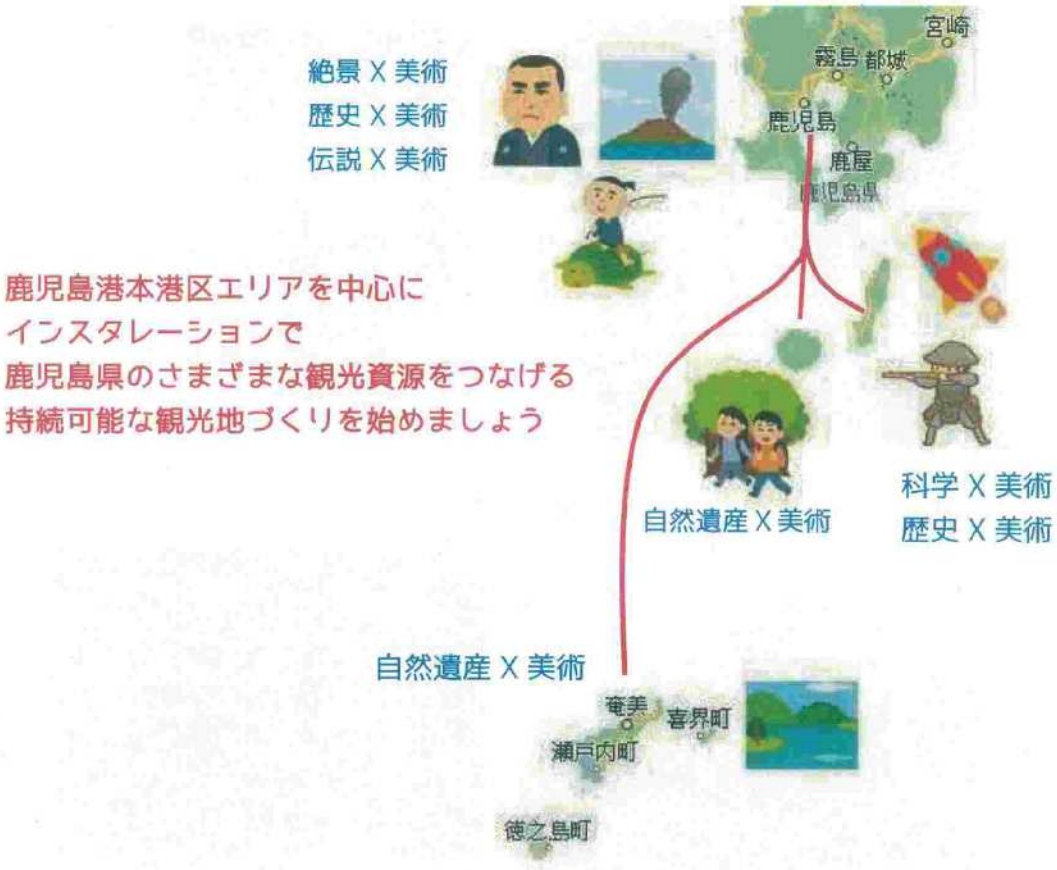
インスタレーションを一言でいうと、展示空間を含めて全体を作品とし、見ている観客がその「場」にいて体験できる芸術作品のことをいいます。

インスタレーション(Installation)とは、インスタレーション・アートの略で、分野としてはデザインではなくアートの分野になります。絵画・彫刻・映像・写真などと並ぶ現代美術における表現手法の一つといえます。インスタレーションでは空間全体が作品になっていることから、その作品に全身を囲まれて**空間全体を「体験」する**ことができます。作品を見る人が、その空間を**体験（見たり、聞いたり、感じたり、考えたり）する方法をどのように変化させるか**を要点とする芸術手法でもあります。

インスタレーション作品はもともと、彫刻の展示方法の工夫や、パフォーマンスアート演出の試行錯誤から生み出されてきたものでした。現在では、プロジェクションマッピングやARなどの技術が発展していく中で、インスタレーションが作り出すアートの表現も広がり続けています。



インスタレーションは自由な空間が必要なので、港や空港などの広い空間を活用できます。離島では、お金を掛けずに、広い土地を確保することが出来ます。（下図参照）



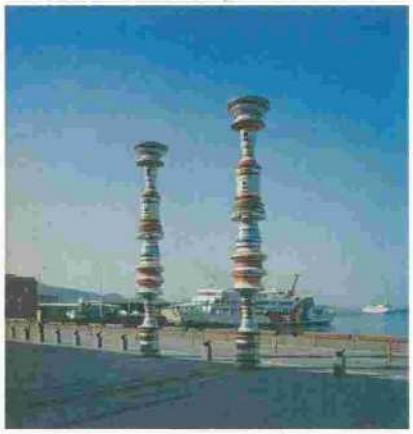
現代美術は、身近で難しくなく、誰でも気楽に美術の面白さを楽しめます。また、観光と融合しやすく、外国人観光客でも言葉の壁を越えて、楽しめます。作品を楽しみながら、鹿児島の魅力をより一層認識できます。今は興味を引いていないものでも、インスタレーションを通じて関心が生み出され、様々な観光地へ足が向くことになります。さらに、インスタレーションを通して、「恋人の聖地」を作ることが出来るかもしれません。
（参照：恋人の聖地 https://www.seichi.net/ ）

観光名所を作ってのち、商業施設やホテルも造れます。それによって、鹿児島港本港区エリアの価値をさらに高めます。

過去に成功した例：
香川県「瀬戸内国際芸術祭」https://setouchi-artfest.jp/

瀬戸内国際芸術祭の作品
https://setouchi-artfest.jp/artworks-artists/artworks/

高松港



高松空港



直島



小豆島



★ 瀬戸内国際芸術祭の経済効果（ニュース）：

「瀬戸内国際芸術祭 2022」経済波及効果は推計 103 億円...
https://news.ksb.co.jp/article/14835750

瀬戸内国際芸術祭 2019 の経済波及効果 180 億円
https://yamatogokoro.jp/inboundnews/pickup/37006/

★ 瀬戸内国際芸術祭～学者の視点

芸術祭による賑わいの創出～「アートの力」を活用した地域活性化～ 国交省
https://www.mlit.go.jp/hakusyo/mlit/h30/hakusho/r01/html/n1321c01.html

地方国際芸術祭は誰の ／何のための ものなのか　山田 香織（東洋 大学）
https://ppt.cc/f1dNqx

港湾空港課
-5.3.26
受付

受付 No.（事務局記載欄）	72

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」
応募申請書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（[redacted]） [redacted]		住所	[redacted]	
性別	女	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・30代・40代・ 50代・60代・70代・ 80代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名　　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			可　・　否		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム（e（いー）申請）」
URL：https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付 No.（事務局記載欄）	

「鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア」

応募様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

アウトレットモールがいいと思います。
九州では鳥栖にしかありません。
海辺で景色もいいので九州一帯からの来客が見込めます。
あと子どもが産まれてから感じたのですが、1歳未満の赤ちゃんを遊ばせるところがとても少ないです。こどもの遊び場を併設することで家族連れの来客も見込めます。
水族館も近いので来場者も増えるのではないでしょうか。

3/27 持参

港湾空港課
-5.3.27
受付

受付No.（事務局記載欄）	73

[redacted]

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（[redacted]）	住所	[redacted]
性別	男	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・30代・40代・ 50代・60代・70代・ 80代以上
電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名　　）		
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）	可　・　否		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム(e(いー)申請)」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

-鹿児島本港区エリアに何を造るか、いま検討されていますが、

現在、提示されているのは、体育館とサッカースタジアムです。

しかし、鹿児島に観光で来た人が、果たして体育館やサッカースタジアムへ行く

でしょうか。

本港区は鹿児島の海の表玄関、この為、誰でも気軽に行ける観光施設が必要です

先日、鹿児島を始めて訪れた外国人観光客が

この本港区でインタビュー受け、ここから見た桜島に感動した

富士山は海よりかなり離れているが、桜島は海からじかに立ち上がっているの

で富士山よりはるかに素晴らしいというのだ

そこで思ったのが、桜島や錦江湾がどのようにして出来たか

ジオラマを制作し大きなスクリーンで見せたらどうだろう

桜島・錦江湾ジオパークのホームページによると

２万９千年前、この湾奥で大爆発が起き地面が陥没

姶良カルデラが出来た。その淵か崩壊し、太平洋の水が流れ込んで

来たそうだ。

このあとの爆発で桜島北岳が、そして南岳が出来たという

はじめは島だった桜島は、大正３年の爆発で大隅半島と陸続きになっている

桜島は、現在も爆発を続けているが

錦江湾にはイルカが住み着いている

このような出来ごとをCGを使った映像に音楽を入れ

大きなスクリーンで見せたらどうどうだろう

このあと現在の桜島と錦江湾を見ると、新たな感動を呼ぶに違いない

港湾空港課
-5.3.28
受付



受付 No.（事務局記載欄）	74

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」
応募申請書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（タナカ リョウイチ） 田中良一 「農業試験場跡地の活用と鹿児島一合いの未来を考える会」			住所	[redacted]
性別	男	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・20代・30代・40代・50代・60代・70代・80代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名 [redacted]）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			可 ・ 否		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。

※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。

※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。

※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。

※　提出された資料については，返却いたしません。

※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。

※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。

※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム（e（いー）申請）」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付 No.（事務局記載欄）	

「鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア」
応募様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

○　別紙添付のパワーポイントによる「鹿児島港本港区エリアの土地利用とアイデアについて」をご参照ください。

パワーポイントに基づいて、スクリーン映像を行ない説明いたします。
所要時間は、約９分４０秒です。

＊本港区エリアの機能・役割や評価等の大きな変化について；
鹿児島港本港区エリアは、『平成２０年頃の北ふ頭への奄美沖縄航路の移転廃止』や『約１８年前のドルフインポートの整備』などにより、それまで港湾計画で予定されていた物流・旅客輸送の機能が大幅に減少しました。
一方、市・県民や観光客等が集い、憩う場所としての景観や親水性等が高く評価されるようになりました。

＊本港区エリアのゾーニング案について；
検討委員会においては、ドルフイン跡地でのスポーツ・コンベンションセンター建設の基本構想を前提に、同エリアの利活用を検討することとされておられますが、
本港区エリアのゾーニング案として、上記の同エリアの機能・役割や評価等の大きな変化を踏まえたアイデアも必要かと考えます。
知事は検討委員会でのご挨拶の最後に、「検討に当たっては、フルオープンにした上で、様々な方の御意見をお伺いする機会を設ける等、工夫をしていただければ幸いです」とも述べておられます。

＊プレゼンテーション参加を希望いたします。

以上、宜しくお願い申し上げます。

※任意様式に記載して頂いても構いません。


鹿児島港本港区エリアの
土地利用とアイデアについて
鹿児島・谷山の未来を考える会
田中良一

1

（1）本港区とは？について、

《糸色の問い》の場所

◎ 平成3年の港湾計画では、『本港区・北ふ頭』に『新港』にある奄美・沖縄航路を移転の予定であった。諸事情により、平成20年移転計画が不可となり、新港は大幅に改良され、奄美・沖縄航路はそのまま残った。

＝＝結果、『本港区』は港湾機能としての役割が大きく減少。

◎ 一方、１８年前に本港区のにぎわいゾーンに１５年間の定期借地権の下、民間力で造られた「ドルフインポート」により、多くの市県民や観光客が集う場所となった。

＝＝結果、『本港区』は桜島や錦江湾の眺望の一等地であり、いづろや天文館、上町に近く、観光交流拠点としての評価が一気に高まってきた。



新たに

本港区エリアの現状と未来展望を踏まえ、
明確な未来像（基本コンセプト）が必要である！！

同時に『新港』や『城南町地先』の位置づけと土地利用についての共通認識と理解が求められる《糸色の問い》！

2

（2）本港区エリアの土地利用に関する流れと新たな展開について

1、鹿児島県は港湾法に基づき、昭和42年「県が管理する港湾の臨港地区の分区における構築物の規制に関する条例」を制定し、地区内の構築物の規制について必要な事項を定めている。
その条例第3条に『ただし、知事が公益上やむを得ないと認めたものについては構築物の規制を除外できる』という例外規定が明記されている。

2、平成3年、本港区エリアの土地利用に関し、上記条例の上位機関として県、市、商工会議所の3者による『鹿児島港ポートルネッサンス２１事業推進協議会』が設置され、協議・決議されてきた。

3、平成２５年、上位機関であった『ポールネ２１事業推進協議会』は解散され、前述の県条例が最上位となる。

4、県知事の仙厨事項となった本港区エリアの土地利用において、民間マンションや民間病院の建設計画が次々と具体化し、更には実態、スーパーアリーナ構想も示されたが、全て挫折している。

～～～ きや！ ～～～～

○ 前述のとおり、本港区エリアは港湾法や県条例では『くくれない状況になっている』と考えます！

＝＝市・県民にとって、唯一無二の超一等地として貴重な土地になっている。

3

（3）本港区の位置づけと基本的な考え方　重要！

1、本港区は、広く市・県民のための土地であり、民有地化してはならない。
（20年～50年の定期借地権等による民間活用を図る）

2、本港区の土地利用は、当然ながら鹿児島市のまちづくりや県勢発展に寄与するものであり、365日・24時間、開かれた公益性・公共性を旨とするものである。
＝＝鹿児島港本港区エリアまちづくりグランドデザイン（平成30年、鹿児島港本港区エリアまちづくり検討委員会による報告）は評価できると考えるが、市・県民の協議と理解を得たものかどうか？
＝＝県も市も商工会議所の提案も、なぜか？『グランドデザイン』に合致すると自己評価している。

3、本港区の土地利用、まちづくりに関しては、中核市である鹿児島市がより関わりを持つことが大切であり、同時に『県と市、経済界および市・県民の4者による協議・決議機関』を設置し、その機関での審議を経て決定することが必要と考える。

など。

4

○ 本港区における問題と問題

1、桜島や錦江湾など景観への感度と市・県民等の憩い、集うオープンスペースの確保が必要！
＝＝30～40㍍の高さや1万５千平方㍍の面積の大型施設は相応しくない。

2、国道や県道、臨港道路等が市北に本港区前を経所しており、鉄道や私鉄などの大量公共交通が望めず、マイカーや市電・バスの利用が主となるため、駐車場の確保が不可欠である。更なる慢性的な交通渋滞を引き起こし易い。 新港など周辺の貨物流作業等への影響が大きい。

3、桜島大爆発など地図や津波、噴火等の大惨事が起こる可能性が高い臨海部である。 など

（4）総合体育館やサッカー等スタジアムは共に本港区エリアに相応しい建物・施設ではない！！

1、本港区エリアは今や、不特定多数の市県民や観光客等が集う場所であり、総合体育館は主に中・高校生のための、又、サッカースタジアムは主にサッカー等の観客など特定の人のための施設である。
＝＝天文館への回避性は共に大きな期待は出来ない施設である。

2、両施設共に高さや面積など全くそぐわない構築物である。

3、試合や大会の度に、交通渋滞や交通事故等が危惧され、多面に渡りその影響が大きい。

4、災害時の支援拠点施設とはなり得ない。 など

5

（5）本港区エリア利活用のアイデア（私たちの提案）

1、北ふ頭
①北ふ頭：床の高さは10㍍以上（津波対策）
・昼間はカフエやランチ
・夜間はレストラン、バー、ラウンジ

＊帆船、日本丸（固定式）

2、本港新町
②本港新町：
・パピリオン２棟

＝テーマは『 鹿児島の熱源 』

＊平和、歴史、自然、教育、未来など
＝＝ローカル・ポリテックス（LO・PO）
○ 全国や世界へ情報発信



6

3、ウオーターフロントパークの管理・改良とドルフイン跡地

①北側：高さ２０㍍、面積6,000平方㍍程の施設
・１～２階：
鹿児島・九州特産のショッピング、グルメ
・３階：MCMC（多目的利用）
Meeting（会議、集会）
Convention（会合、大会）
Marry（結婚式場）
Cinema（映画館） など

②南側：
・コンビニ
・あずま屋を１棟

○市街地からの歩行回遊道路：
③いしん通り
＝朝日通りから
④いにしえの道通り
＝いづろ交差点から



7

4、住吉町１５番街区 ＝＝全国の若者等が集う！ （屋内、屋外施設）

①ボルダリング、スケートボードなど

②ｅスポーツ

③音楽ひろば

5、城南町地先

①フッシャーマンズワーフ（下関市唐戸市場参照）

②赤煙台（高さ50㍍）と展望所



8

（6）本港区エリアの土地利用の鳥瞰図（ゾーニング、私たちの提案）




県の基本構想に示された総合体育館（スポコン）の鳥瞰図

県総合体育館（スポーツ・コンベンションセンター）；**本港区中央部分**

＊いづろ交差点からマイアミ通りを海側へ、ドルフイン跡地の中央より南側全体に総合体育館を建設！

桜島やウオーターフロントパークは全く見えません！！

・ドルフイン跡地（約３万㎡の面積）の半分の約１万５千㎡の広さ
・高さは約４０㎡

総合体育館は基本的に中・高校生などアスリートのための施設です！

元々、

○ 一度大きな建物を造ると、原則的にホテルやマンションなどが建設される可能性が大です！！


商工会議所が提案するＭＩＣＥと県総合体育館の鳥瞰図

商工会議所による提案；
（＝＝第２回県検討委員会に提出）

○県総合体育館はドルフイン跡地に！

○住吉町１５番街区にホテルや開発会議場などのＭＩＣＥ機能を集積する！

＊住吉町１５番街区は元々、昭和９年に市が主体となって埋立て、中央卸売市場を整備。

＊戦後の復興に向けて、市は西駅から海辺へ幹線道路（ナポリ、パース通り）を造り、突き当りから桜島が真正面に見える景観を形成している！

住吉町１５番街区の

○ 南側への高い建物はダメ！！

（9）結びに、

第１点、本港区は県全体の未来に向けて、又、天文館等への回遊性をしっかりと踏まえつつ、市・県民や多くの観光客等のために最善の利活用を図ることが大切である！！

第２点、総合体育館やサッカースタジアムはスポーツ・文化等における３０～５０年先の鹿児島市のバランス良いまちづくりと新たな成長を見つめ、市と県が連携を前にして、陸上競技場などが集積している南部の鴨池や交通アクセスに優れた所部心谷山での整備が望ましい！！

尚、これまで総合体育館の建設に関し、一体となって要望してきた「県庭内スポーツ競技団体」の中に、本港区・ドルフインポート跡地での整備に反対の声も多く聞こえます。

以上で、本港区エリアの土地利用とゾーニング等についての説明を終わります。

12

港湾空港課
-5.3.28
受付

受付 No.（事務局記載欄）	75

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」

応募申込書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（ [redacted] ）		住所	[redacted]	
性別	女	年代 （10で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・30代・40代・ 50代・60代・70代・ 80代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] －　－ （担当者名　　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			可　・　否		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。

※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。

※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。

※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。

※　提出された資料については，返却いたしません。

※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。

※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。

※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム（e（いー）申請）」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付 No.（事務局記載欄）	

「鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア」
応募様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

「スケボーパーク」の施設建設を提案いたします。

私は男の子を二人もつ母親です。元気な盛りに外で遊ばせようと思っても、
公園なのにボール遊びはダメ、スケートボードだめ、キャッチボールすらできない。
学校のグラウンドは休日は使用禁止
マリンポートはあんなに広いのに、ボール遊びだめ、スケートボードだめ、凧揚げすら注意され、結局は中年のおじさんおばさんがランニングしたりウィーキングするだけの施設です。
外国船がやってきて、歩いてドンキに行って爆買いして帰っていく。観光客は誰一人、マリンポート内に入って行ったりしませんよ。ご存じですか？

以前、「いいから遊びなさい」と子供達にスケボーをさせていたら、わざわざ係の人がやってきて注意されました。放送で注意されたこともありました。だ～れも来ない、何にもない、すみ～っこの方で遊んでいたにも関わらずです。
だから結局子供たちは外で思いっきり遊ぶことができず、家でゲームをしたり、果ては公園でゲームをするようになるのです。本当は公園で思いっきり走りまわりたいのに、それができる場所が鹿児島市内にはありません。

そこで、スケボーパーク、自転車 BMX などができる施設建設のお願いです。

スケボーや自転車 BMX はご存じの通りオリンピック競技です。
野外で行う競技ですので、箱物は必要ありません。
大きく３つくらいのエリアに分けて、①初心者でも遊べる平面なコース、②オリンピックを視野に入れた競技会などを開催できるような「こぶ」や山のあるコース、③自転車 BMX のコースです。

スケボーは、遊びながら体幹が鍛えられ、いつでも個人で練習（遊び）ができ、将来的にはもしかしたらオリンピック選手になることもできる、ウインタースポーツとは無縁のこの鹿児島では、もってこいのスポーツだと思います。
マリンポートにスケボーができるエリアを作ってください。　ただ、平面の四角いコンクリート面でいいですので。それだけで、子供たちは何時間も遊びます。

76

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを募集します！(アイディアを直接入力できる専用ページです。)

港湾空港課
-5.3.29
受付

受付番号:9579772
申請日:令和05年03月29日

番号	項目名	入力内容
1	応募者名(個人または団体)	[redacted]
2	応募者名(ふりがな)	[redacted]
3	住所	[redacted]
4	性別	男性
5	年代	50代
6	電話番号	(固定電話)[redacted]または(携帯)000-0000-0000
7	プレゼンテーション参加の可否	否
8	以下にアイディアを記入してください。	現在の芝地である、ウォーターフロントパークは残してほしい。自然と景観の意味でも。鹿児島に何の魅力があってくるのかをよく考えて。素晴らしい景観と自然があるから、食べ物がおいしそうに感じたり、気持ちもリフレッシュできる。あの場所に、県庁や県警本部みたいな建物ができることを想像すると、ゾッとします。県体育館は谷山地区へ。体育専門と防災などの非常時のための施設としての運用。現在の体育館は、解体後、民間へ土地は売却。サッカー場は、現在の白波スタジアムを全面改修し総合運動競技場へ。富山県の総合運動競技場などを参考に。ウオーターパーク周辺は、食と文化、芸術をテーマにした世界に誇れる施設・空間にしてほしい。サッカー場や体育館ではありません。
9	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
10	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
11	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
12	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	

77

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを募集します！(アイディアを直接入力できる専用ページです。)

港湾空港課
-5. 3. 29
受付

受付番号:9581539
申請日:令和05年03月29日

番号	項目名	入力内容
1	応募者名(個人または団体)	[redacted]
2	応募者名(ふりがな)	[redacted]
3	住所	[redacted]
4	性別	音
5	年代	50代
6	電話番号	[redacted]
7	プレゼンテーション参加の可否	否
8	以下にアイディアを記入してください。	老朽化している文化センターと中央公民館の場所に2施設解体更地にして新体育館の建設をアイディアしました。 場所がら鹿児島市の中心部で交通の便利も良い。 駐車場はセラ602の活用、天文館の民間駐車場もあります。 また、近くにある県民交流センターにもホール、会議場があるので、会議場機能は補完可能。 体育館でイベント開催で天文館地区の活性化が図れると思われる。 西郷像もあり、アイコンとなる。 本港区は芝生等にして、当面はイベント広場、離島災害時の自衛官ヘリコプターの緊急発着場とする。
9	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
10	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
11	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
12	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	

港湾空港課
-5.3.29
受付

受付 No.（事務局記載欄）	28

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」
応募申込書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（[redacted]）		住所	[redacted]	
性別	男	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ ⑳代・30代・40代・ 50代・60代・70代・ 80代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名　　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			可　・　㊎		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム(e(いー)申請)」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付 No.（事務局記載欄）	

「鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア」
応募様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

北海道日本ハムファイターズの新本拠地である「エスコンフィールド HOKKDIDO」のサッカー版かつ鹿児島版のサッカースタジアムを建設する。このエスコンフィールドは新しい時代の野球場であり、球場内にホテルなどの宿泊施設（試合開催日以外にも宿泊可能）や利用しながら試合を楽しめる温泉施設（試合開催日以外にも利用可能）が入っている。また、球場の周りにはグランピング施設や公園、アスレチック、商業施設、マンションなどがあり、試合開催日以外にも集客できるような一つの街をなしている。

本港区は市内の中心地に存在し、立地も良く、なにより景観が非常に良い。この場所にサッカースタジアムを作れば、世界一景色の良いサッカースタジアムになるだろう。これに加えて、サッカースタジアム内と桜島方向の両方を見られるようにしたサウナ・温泉施設、鹿児島らしく居酒屋やバー、また、試合開催日以外にもスタジアムが利用されるためにショッピングのできる商業施設としての機能などを設け、スタジアムの外にはバーベキュー・宿泊の可能なグランピング施設、庭園、公園などを設ければ、初の試みとして、日本中から注目を集めることができるだろう。また、この位置にサッカースタジアムを設けることで、試合後にサポーターが天文館の飲み屋などを利用し、経済効果が期待できる。

こういったスタジアムを建設するためには、このスタジアムをメインに使用する鹿児島ユナイテッドの人気、知名度が日本ハムと比べるとかなり劣るかもしれない。検討委員会の委員の方の発言にも県民、市民が誇りに思うのはプロスポーツチームが走り回る器ではなくてソフトなどといったものがあった。これは間違いないのだが、ソフトすなわちユナイテッドを育てるのも市民である。カタールワールドカップでの盛り上がりのように、現在日本で最も人気のあるスポーツはサッカーである。3部リーグといえどもそのスポーツのプロチームが鹿児島に存在し、上手くいけば J1 まで上がれる可能性があるのは非常にありがたいことである。市民、県民が来たいと思えるようなスタジアムを作り、鹿児島ユナイテッドの人気を上げることで、経済力を強くし、リーグ内で競争力のあるチームとなれば鹿児島ユナイテッドがいつか J1 にあがる日が来るかもしれない。これは鹿児島県民の誇りにもなるし、鹿児島出身の実力ある選手や将来有望な高校生選手なども多いが、こういった方々が地元のクラブで戦うことができることにもなる。また、必ずしもスタジアムメインでなくても良く、普段はイオンやアミュのような商業施設の中の 1 つのコンテンツとしてスタジアムがあるというようなイメージでスポーツを上手に利用して欲しい。

現状、総合体育館を建設することが有力であるようだが、1若者の意見としてはどこにでもあるような体育館をあんなに良い場所に建設するのはもったいないと感じる。それよりもまだ人気などに不足があっても新時代のサッカースタジアムを建設して欲しい。なにを作るにしろ、エスコンフィールド HOKKDIDO というのは、人をわくわくさせる、また、試合開催日以外でも利用される施設として、非常に参考になるので、こういった施設を県だけでなく民間の施設とくっつけることで作って欲しい。

※任意様式に記載して頂いても構いません。

港湾空港課
-5.3.29
受付

受付No.（事務局記載欄）	79

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」
応募申請書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（[redacted]）		住所	[redacted]	
性別	男	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・30代・40代・ 50代・（60代）・70代・ 80代以上	電話 番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名　　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			可　・　（否）		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム（e（いー）申請）」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付 No.（事務局記載欄）	

「鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア」
応募様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

1　ドルフィンポート跡地の活用について

(1) 現状

・　敷地の南側をスポーツ・コンベンションセンターの整備予定地として計画

(2) 現計画の課題

・　スポーツ・コンベンションセンターの整備については，「総合体育館基本構想検討委員会」において，ドルフィンポート跡地を含め，５カ所の候補地について評価した結果，最適とされたドルフィンポート跡地に整備することとなったが，住吉町１５番街区は次点で，評価点も４点しか差はない。

・　住吉町１５番街区は敷地面積がやや狭く，駐車場の確保が課題とされているが，ドルフィンポート跡地に関しても，北側の活用次第で駐車場の確保は難しくなる。

・　また，現計画では，残った北側の敷地面積が狭くなり，活用が限られる。

(3) 活用案

・　グランドデザインにおける本港区エリアの開発のコンセプトは，
①　かごしまの多彩な魅力を発信する人・モノ・情報の交流拠点
②　かごしまの魅力を体感できるエンターテイメント空間
③　景観資源（錦江湾や桜島，歴史的建造物）を活かした魅力ある空間
を要素として，年間３６５日，国内外の幅広い観光客や県民で賑わい，国際的な観光都市にふさわしい「来て見て感動する観光拠点」の形成を図る　とされており，物販，飲食，観光，宿泊，娯楽（アミューズメント）機能のある施設がふさわしい。

・　導入機能についての民間からの提案でも，緑地空間を活かしたカフェやグランピング施設など比較的小規模なものから，飲食・物販・娯楽など多くの機能を盛り込んだ複合的で大規模な施設といったものや，ラグジュアリークラスやリゾートと呼ばれる宿泊施設の立地に適しているとの評価もある。

・　「桜島を前面にしたウォータフロント」という日本でも有数なポテンシャルを有するドルフィンポート跡地を有効活用するためにも，敷地を一体的に活用する施設の整備，例えばハイクラスなリゾートホテルと商業施設（フェスティバルマーケット），娯楽（アミューズメント）を組み合わせた施設の整備が望ましいと考える。

(4) その他（スポーツ・コンベンションセンターを敷地南側に整備する場合）

・ 市街地側から見て少しでも壁とならないよう，また，市街地からの歩行者のアクセスを容易にするため，県道と臨港道路の上を横断できるよう歩行者用デッキでつなぎ，回遊性を高めるとともに，市街地側２階にデッキから直結する入り口を設けるなど，少しでも壁に見えない開かれた空間となるような工夫が必要と考える。

・ また，スポーツ・コンベンションセンターの２階の桜島側に展望デッキを配置し，そこから臨港道路を跨いでウォータフロントパークへ直接アクセスできるよう歩行者用デッキを設置し，ウォータフロントパークも一体的に利用が図れるよう配慮が必要と考える。

・ 同敷地北側については，景観への配慮から，高さが制限されることから，高層階となる施設の立地は難しく，スポーツ・コンベンションセンターに計画している機能を補完するような，人が集まり賑わいを創出するような飲食・物販・娯楽の機能を有する施設の整備が必要であると考える。

また，同敷地から市街地側への回遊が図られるよう，歩行者デッキなどを設置するなど市街地への回遊を誘導するような仕組みづくりが必要と考える。

・ 公共交通機関の利用を促進し，周辺の交通渋滞を少しでも解消することが必要である。そのために，鹿児島市電をいづろ電停から本港区へ誘導し，鹿児島駅につなぐといったことも考えられる。

２ 住吉町１５番街区の活用について

(1) 現状

・ スポーツ・コンベンションセンターの駐車場として計画

・ 鹿児島市のサッカー等スタジアムの整備地も考えられる。

(2) 現計画の課題

・ ドルフィンポート跡地に次いでポテンシャルを有する住吉町１５番街区を，スポーツ・コンベンションセンターの駐車場として整備することは，県有財産の無駄遣いである。

(3) 活用案

・ グランドデザインにおける本港区エリアの開発のコンセプトは，

① かごしまの多彩な魅力を発信する人・モノ・情報の交流拠点

② かごしまの魅力を体感できるエンターテイメント空間

③ 景観資源（錦江湾や桜島，歴史的建造物）を活かした魅力ある空間

を要素として，年間３６５日，国内外の幅広い観光客や県民で賑わい，国際的な観光都市にふさわしい「来て見て感動する観光拠点」の形成を図る とされており，物販，飲食，観光，宿泊，娯楽（アミューズメント）機能のある施設がふさわしい。

・ 導入機能について民間からは，エリアの一帯活用とは別な形で，マンションのほかホテルやコンベンション，焼酎ミュージアムなどの提案がされている。

・ 住吉町１５番街区は，ドルフィンポート跡地には劣るが，桜島を前面に眺めることができる鹿児島でも優れたポテンシャルを有しており，同地にコンベンション機能を有するスポーツ・コンベンションセンターを

整備することで，本港区の最も有効的な活用が図られると考える。

・　なお，スポーツ・コンベンションセンターをドルフィンポート跡地に整備する現計画を進める場合は，例えばハイクラスなリゾートホテル，または海辺を活かした商業施設，娯楽（アミューズメント）施設など，スポーツ・コンベンションセンターと一体となって賑わいを創出する施設，あるいはスポーツ・コンベンションセンターのコンベンション機能を補完する施設の整備が望ましいと考える。

3　北ふ頭の活用について

(1) 現状

・　離島航路の集約といった整備目的が整わず，奄美・喜界航路の就航や臨時的にクルーズ船等が利用している状況。

・　北ふ頭ターミナルは，奄美・喜界航路運航会社やＮＰＯ法人の一部使用を除き，活用されていない状況。

・　貨物上屋や野積場は，荷捌きや保管など港湾関連の恒常的な利用がない状況。

(2) 活用案

・　導入機能について民間からは，水族館と連携をイメージしたアミューズメント機能や既存のターミナルの空きスペースを活用したオフィス機能などが提案されている。

・　ほとんど活用が図られていない北ふ頭のターミナルビルや野積場等については，定期航路である奄美・喜界航路を南ふ頭や新港等を活用するなどして北ふ頭から移転し，常時活用できる状態にした上での活用を図る必要があると考える。

・　ターミナルビルは，クルーズ船等の受入のための機能は残しつつ，事業者のオフィスとしての機能やイベントスペース，エンターテイメント空間として多くの人が自由に活用できるスペースとしての利用が考えられる。

・　貨物上屋や野積み場の港湾利用は廃止し，イベントやアミューズメント施設として活用することで，水族館やターミナルビルとの相乗効果が期待できると考える（貨物上屋はイベント等の空間としてそのまま利用することも考えられる。）。

・　荷役を伴わない高速船を，高速船ターミナルから北ふ頭へ移転し，種子・屋久への旅行客の利便性を向上させるとともに，マリンポートに寄港するクルーズ船の乗船客を高速船で北ふ頭へ運び，中心市街地へ誘導することで回遊性が図られると考える（移転が難しい場合でも，マリンポートと北ふ頭を結ぶ臨時的な航路は有用であると考える。）。

・　また，クルーズ船寄港時にマリンポート⇔北ふ頭⇔大隅半島（鹿屋港・根占港など）を結ぶルートを臨時的に開設することで，鹿児島での観光を希望する乗船客の利便性が図られると考える。

※任意様式に記載して頂いても構いません。

80

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを募集します！(アイディアを直接入力できる専用ページです。)



受付番号:9584966
申請日:令和05年03月29日

番号	項目名	入力内容
1	応募者名(個人または団体)	[redacted]
2	応募者名(ふりがな)	[redacted]
3	住所	[redacted]
4	性別	男
5	年代	40代
6	電話番号	[redacted]
7	プレゼンテーション参加の可否	否
8	以下にアイディアを記入してください。	スタジアムが駄目なら、体育館、コンベンションセンター、ホテルも要らない。 どうしても何か作るのなら、市、県の経済、雇用を創生するような企業誘致(コストコ、レジャー施設)を希望します。 緑地がどうのと言うのであれば公園でも作ってください。 国内の観光客ならば、上記の様な施設に行くかもしれませんが、海外の観光客は、作られたものより、元の自然を楽しみに来ます。しっかりとした交通インフラ、(道路、バス)の整備を各観光地に投資してください。
9	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
10	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
11	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
12	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	

8/

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを募集します！(アイディアを直接入力できる専用ページです。)

港湾空港課
-5.3.30
受付

受付番号:9592422
申請日:令和05年03月30日

番号	項目名	入力内容
1	応募者名(個人または団体)	[redacted]
2	応募者名(ふりがな)	[redacted]
3	住所	[redacted]
4	性別	女性
5	年代	30代
6	電話番号	[redacted]
7	プレゼンテーション参加の可否	否
8	以下にアイディアを記入してください。	0歳と2歳の子どもが居ます。 県内には子どもが遊べる場所が少ないので、遊具のあるテーマパークのような施設を作って欲しいです。 多少入場料が高くても、わざわざ遠い県外まで旅行に出かける程アクティビティが足りていないので、子育て世帯が集まると思います。 あまりに遊ぶ場所がないので、長崎のハウステンボスや熊本のグリーンランドなどに 高速道路を利用して遊びに行きますが、高速料金は最低六千円から一万五千円程度かかります。ガソリン代も往復で一万円近くかかります。 ハウステンボスは入場料が高いですがそれでも遊びに行きたいと思います。 県外の旅行は、宿泊費等もあり旅行料金が高いので年に一度行くか行かないかの頻度にはなっていますが、これが近くに遊ぶところがあるとなれば、年間パスポートを買うなどして頻繁に遊びに行くと思います。 以前、鹿児島市にはジャングルパークという遊具のある小さな遊園地がありましたが、あの遊園地が今でもあったら、年に何度も我が子を連れて行っていたと思います。 授乳室・休憩室を設置したりして、小さな子どものいる家庭や妊婦さん等が訪れやすい場所になって欲しいです。 県外からの旅行客の人も寄りたいと思える場所になれば、経済等にも利点があるのではないかと思います。
9	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	

10	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
11	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
12	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	

82

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを募集します！(アイディアを直接入力できる専用ページです。)

港湾空港課
-5.3.31
受付

受付番号:9598312
申請日:令和05年03月31日

番号	項目名	入力内容
1	応募者名(個人または団体)	[redacted]
2	応募者名(ふりがな)	[redacted]
3	住所	[redacted]
4	性別	女
5	年代	10代
6	電話番号	[redacted]
7	プレゼンテーション参加の可否	可
8	以下にアイディアを記入してください。	鹿児島本港区エリアの利活用について意見を送らせて頂きます。 ○北埠頭エリア⇒水族館の改装、駐車場の拡大、船利用の方のための待合室などの改装、土産等を充実させる。桜島フェリー乗り場用の駐車場を減築し、その分の敷地を道の駅として地元の物を販売、飲食出来るようにする。 ○南埠頭エリア⇒船利用の方のためのお土産、レストランなどを充実させる、待合室などの改装 ○ウォーターフロントパークエリア⇒東屋を増やし憩いとなる場所を増やす。飲食等も可能になるように平屋で横に長い商業施設を併設(土産、雑貨等、飲食店) ○ドルフィンポート跡地⇒駐車場として利用、海側には商業施設を併設。ウォーターフロント側の建物とドルフィンポート跡地側の建物は行き来が出来るように繋げる ○住吉町付近⇒その周囲の職場の方の駐車場として利用 私は鹿児島市内海沿いから見える桜島が1番かっこいいと思っています。その桜島を県内県外の方にも知ってもらえる場所として利活用して頂きたいです。スポーツ活動のためその会場から桜島が見える事も素晴らしいと思いますが、会場の利用は週末に増加するのみで平日は利用率が減ります。商業施設などでの利用する人を増やしてもっと桜島のかっこよさを知って頂きたいです。
9	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
10	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	

11	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
12	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	

23

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを募集します！(アイディアを直接入力できる専用ページです。)

港湾空港課
-5.4.-1
受付

受付番号:9604369
申請日:令和05年04月01日

番号	項目名	入力内容
1	応募者名(個人または団体)	[redacted]
2	応募者名(ふりがな)	[redacted]
3	住所	[redacted]
4	性別	女性
5	年代	30代
6	電話番号	[redacted]
7	プレゼンテーション参加の可否	可
8	以下にアイディアを記入してください。	かごしま観光コンベンションセンター (鹿児島県を隅々まで全て観光出来る為の拠点) 1階…バスターミナル 大隅方面・指宿方面・霧島方面・南薩方面・北薩方面へのはとバスのようなプラン付きの観光バス 離島へのフェリーターミナル・空港リムジンなど 車を運転しない人達(外国の人、高齢者、学生、都会の免許のない若者など)でも鹿児島を全てまるごと何日でも充分に楽しめるように観光面と交通をサポート。 2階…観光サポートと予約センター 離島へのフェリー予約やツアー観光バス予約、体験予約、レンタカー送迎、宿泊予約のサポートセンター 3階～6階…簡易宿泊フロア 天候不良で離島渡航や観光できなくてもプラン変更を簡単にできる為の安価でシンプルなホテル部屋フロア。とりあえず鹿児島に来たら、来てからプランを立てられる！天候不良で計画変更でも鹿児島を楽しめる安心感。 7階…温泉大浴場、家族湯、スパ 雄大な桜島を眺めながら、観光の疲れを癒し、鹿児島を感じてもらう。 コンベンションセンター周辺には 鹿児島屋台村、飲食店、朝食カフェ、観光海鮮市場、コンビニ、お土産店、アンテナショップなど観光に必要な物を全て揃えて配備。 とりあえず鹿児島！来たら誰でも何日でも簡単に楽しめる安心な鹿児島！国内外から人やお金が集まる豊かな鹿児島になって欲しいです。

9	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
10	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
11	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
12	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	

港湾空港課
-5.4.-3
受付

受付 No.（事務局記載欄）	84

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」

応募申込書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（[redacted]）		住所	[redacted]	
性別	男性	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・30代・40代・ （50代）・60代・70代・ 80代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名　　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			（可）　・　否		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム（e（いー）申請）」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付 No.（事務局記載欄）	

「鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア」
応募様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

ドイツには、民間の動物保護協会が運営する
「ティアハイム」という、動物の引き取りから譲渡までを行う
「動物保護施設」があります。
ドイツ全土に500か所以上存在し、ドイツが動物愛護先進国と言われる理由になっています。

また、日本にも、神奈川県など、行政が運営している素晴らしい動物保護施設が存在します。

さて、鹿児島県ですが、鹿児島市においては、地域猫活動事業などにより、昨年度の猫の殺処分は0匹を達成いたしましたが、ボランティア・寄付などにより運営している、民間の保護団の方々の努力によるところが大きいのが現状ではないでしょうか。

鹿児島県が先駆けとなって、世界・日本全国に発信できるような、行政主体の動物保護施設を鹿児島港本港区エリアに建設し、犬・猫・ほか動物の保護から譲渡、また県民が動物と触れ合える仕組みをつくることを提案します。

また、民間が運営している保護団体、個人で保護活動をしている方々を繋ぐネットワーク拠点となる施設を目指します。

この様な施設は、近隣住民のことを考え、ローカル地域にあることが、多いですが、鹿児島港本港区エリアについては、都市部に近く交通至便である、また近隣住民への影響が比較的少ない地域であると考えます。

イベントなどを通して、県民が集える場所としての役目も果たします。

港湾空港課
-5.4.-3
受付

受付No.（事務局記載欄）	85

『鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア』
応募申請書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（まえその　やすたか） 前園　恭賢 NPO法人鹿児島スライドサークル （鹿児島県スケート連盟）		住所	[redacted]	
性別	男	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・30代・(40代)・ 50代・60代・70代・ 80代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名 [redacted] ）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			(可)　・　否		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム(e(い一)申請)」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付 No.（事務局記載欄）	

「鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア」
応募様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

NPO 法人鹿児島スライドサークル　（鹿児島県スケート連盟）

私たちは、NPO 法人鹿児島スライドサークル（鹿児島県スケート連盟）としてスピードスケート及びフィギュアスケート競技の普及を目指しております。
鹿児島県におけるスピードスケートによる国体選手、フィギュアスケートによるオリンピック選手、国体選手多くを輩出してまいりました。
しかしながら、練習基盤とするスケートリンクは、セイカ食品が九州ではまだ少なかった屋内スケートリンク・プールを提供したいとして 1966 年に鹿児島市高麗町に設立されましたが、老朽化のため 2005 年 4 月 5 日に閉鎖されました。
現在、NPO 法人鹿児島スライドサークル（鹿児島県スケート連盟）として、インラインスケートにて、子供から大人に至るまで多くの方々に参加いただき、吹上海浜公園及びえびのスケートリンク（冬季のみ：宮崎県）などで普及活動及び競技継承活動を続けております。

今回、標記「鹿児島本港区エリアの利活用アイディア」について
御提案させていただきます。

【はじめに】
1、スポーツ・コンベンションセンター基本構想（令和 4 年 3 月：鹿児島県）について、賛同いたします。
2、桜島を望む貴重な環境は、我々のシビックプライドです。ウォーターフロントパークを活かした構想に期待いたします。
3、港湾整備については、マリンポートかごしまからの観光化における道路及び駐車場の整備が早急に望まれます。

【提案】桜島、港、水族館、ウォーターフロントパーク、そして「ドリームパーク」
「ドリームパーク」とは、既存設備をインラインスケート場として有効活用し、子供達から大人まで競技としてあるいは、交流の場とするウォーターフロントパークを柱とする夢ある公園づくりを提案します。

提案１　現在使用されていない１号上屋及び４号上屋の恒常的活用
提案２　県営第３駐車場の利活用

【提案理由】

インラインスケートは、子供から大人まで楽しめるスポーツです。

インラインスケート場として活用し、毎日練習する子供から大人の健康と競技力向上につながります。

（一般財団法人）インラインフィギュアスケート協会の主催するイベント、全国大会、世界大会への出場が可能です。鹿児島県スケート連盟では、インラインフィギュアスケート協会をバックアップすることを 2023 年 3 月 5 日に決定いたしました。今後さらに連携し、イベントや競技会の開催を目指しております。

【提案 1】

「インラインスケートドリームパーク」１号上屋あるいは４号上屋の利活用

鹿児島港本港区エリアまちづくりグランドデザイン

（資料：鹿児島県　平成 31 年 2 月：P2 より）

（１）主な港湾関連施設の現況

② 待合所及び貨物上屋

本港区エリアにおける待合所や貨物上屋については，定期航路（離島航路等）の船舶係留に合わせて，専ら乗降客や荷役作業に利用されています。

ただし，北ふ頭旅客ターミナルについては，奄美・喜界航路等の運航会社やＮＰＯ法人の一部使用を除き，２階及び３階を中心に活用されていない状況です。

また，北ふ頭貨物上屋のうち１号上屋の一部及び４号上屋，その周辺の野積場は，荷捌きや保管など港湾関連の恒常的な利用がない状況です。



上記に示す資料より、下線（青）の施設の利活用を提案します。インラインスケート場としての屋内での利用は一年を通して天候を気にせず利用が可能です。

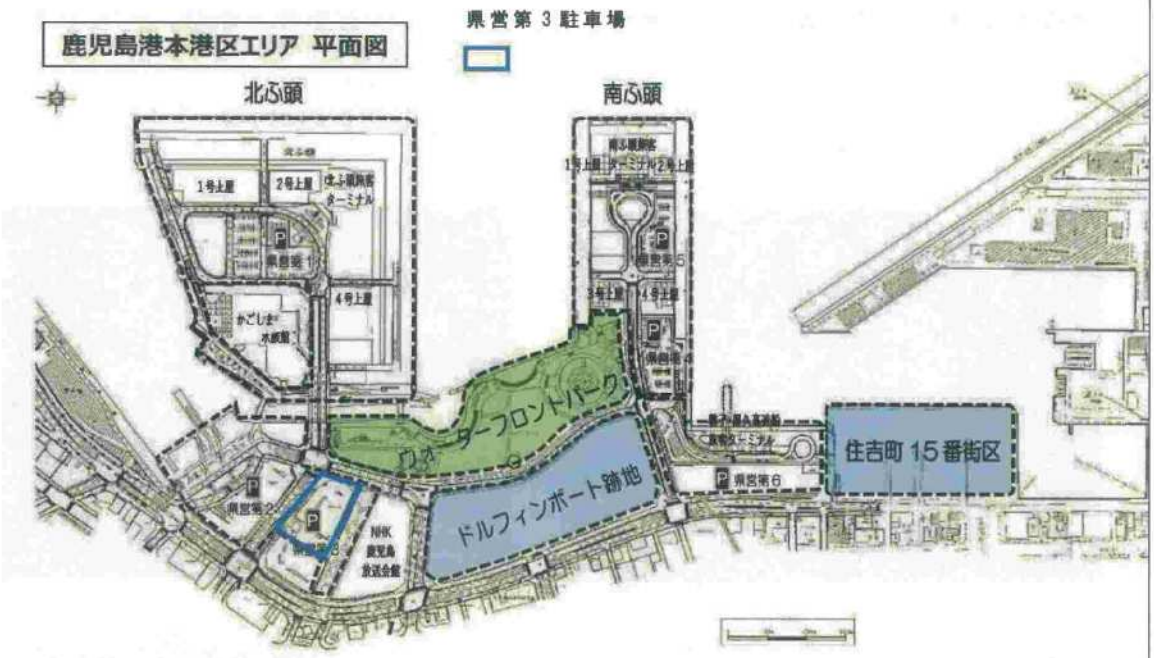
【効果】

・子供から大人まで使えるエンターテイメント施設
・教室の開催、イベントの開催における恒常的利用
・インラインスケートの普及と競技力向上
・大会への参加（全国大会→世界大会→オリンピック種目へ）
・全国あるいは九州でも情報が少ない今からの競技（鹿児島県が先行する）
・旅客ターミナルにおける利活用拡大にも貢献できる
・整備により、活動的で明るいイメージに変える

【課題】
・インラインスケート場としての整備
・夜間照明灯
・交通の利便性
・駐車場の整備
・船着き場の暗いイメージからの整備

【提案 2】
「インラインスケートドリームパーク」県営第３駐車場の利活用

スポーツ・コンベンションセンター 基本構想
（資料：鹿児島県　令和４年３月　P24 より）



【効果】（提案１と重複あり）
・子供から大人まで使えるエンターテイメント施設
・教室の開催、イベントの開催における恒常的利用
・インラインスケートの普及と競技力向上
・大会への参加（全国大会→世界大会→オリンピック種目へ）
・全国あるいは九州でも情報が少ない今からの競技（鹿児島県が先行する）
・交通の利便性
・参加しやすい（見える影響力）

【課題】
・インラインスケート場としての整備（現在の駐車場の歯止めの撤去等が必要）
・駐車場の確保
・照明灯の利用

【最後に】

当団体は、今回のスポーツコンベンションセンター構築にあたり、周辺地域の利活用の一端を鹿児島の街づくりのスポーツコンベンション地域としてインラインスケート場を組み込んでいただき、ウォーターフロントパークと一体化した夢ある公園「ドリームパーク」としてインラインスケートに活用させていただき、インラインスケート及びスケート競技の普及にさらに努めてまいります。

また、鹿児島県スケート連盟としては、一年を通したインラインスケート場、一年を通したアイススケート場を希望しています。

アイススケートリンク建設はコストも多大で建設費５億円といわれています。

しかしながら、鹿児島県の選手の育成は、鹿児島県にスケートリンクという環境がなければ育ちません。国体選手や世界大会、オリンピック選手など鹿児島県選手の育成、設備の恒常的利用、世界大会の誘致、羽生結弦さんや浅田真央さんのイベントなど大会やイベントの収益性なども考慮して、公設リンクの建設も希望いたします。





（2022 年度活動状況より）

86

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを募集します！(アイディアを直接入力できる専用ページです。)

港湾空港課
-5.4.-3
受付

受付番号:9614665
申請日:令和05年04月03日

番号	項目名	入力内容
1	応募者名(個人または団体)	TRIATE株式会社 [redacted]
2	応募者名(ふりがな)	とりえいとかぶしきかいしゃ [redacted]
3	住所	京都府宇治市広野町八軒屋谷1番地 公益財団法人　京都府公園公社内
4	性別	男
5	年代	30代
6	電話番号	[redacted]
7	プレゼンテーション参加の可否	可
8	以下にアイディアを記入してください。	はじめまして、TRIATE株式会社の[redacted]と申します。 今回こちらの募集要項を拝見させていただき、是非お力になれたらと思いアイディアを出させていただきます。 弊社はジップライン(ワイヤーに滑車を掛けて滑り降りるアトラクション)のノウハウを全国の事業者様に提供しフランチャイズ形式にて事業を行っております。 本年度7月には京都府宇治市にて、直営コースの運営管理も行います。 今回この鹿児島県の港エリアについて調べさせていただきました。 実際に現地も視察させていただきましたが、感想は一目見た時に桜島と海をバックの最高のロケーションに感銘を受けました。 そこで是非このエリアにて、ジップラインを展開してみるのはおもしろいのではないかと思い、今回アイディアを出させていただきました。 ロングコースや、複数コースなど鹿児島県のニーズに合わせた設計、施工も可能です。 またこの広大な芝生エリアを活用した、団体プログラムの活用も可能です。 この団体プログラムはチームビルディングと言われる要素を取り入れたレクリエーションを行い、団結力や一体感を生む活動を行えます。 特に中学生や高校生、企業様へのニーズが強く集客も見込めます。 平日は団体様、休日は一般の方といったターゲットの絞り方もできます。 ジップラインと団体プログラムはセットにすることもできますので、教育旅行や社員旅行などに必ずニーズがあります。 上記は簡易な内容になっておりますので、是非プレゼンテーションに参加さ

9	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
10	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
11	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
12	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	

はじめまして、TRIATE 株式会社の[redacted]と申します。
今回こちらの募集要項を拝見させていただき、是非お力になれたらと思いアイディアを出させていただきます。

弊社はジップライン(ワイヤーに滑車を掛けて滑り降りるアトラクション)のノウハウを全国の事業者様に提供しフランチャイズ形式にて事業を行っております。

本年度７月には京都府宇治市にて、直営コースの運営管理も行います。

今回この鹿児島県の港エリアについて調べさせていただきました。
実際に現地も視察させていただきましたが、感想は一目見た時に桜島と海をバックの最高のロケーションに感銘を受けました。

そこで是非このエリアにて、ジップラインを展開してみるのはおもしろいのではないかと思い、今回アイディアを出させていただきました。

ロングコースや、複数コースなど鹿児島県のニーズに合わせた設計、施工も可能です。

またこの広大な芝生エリアを活用した、団体プログラムの活用も可能です。
この団体プログラムはチームビルディングと言われる要素を取り入れたレクリエーションを行い、団結力や一体感を生む活動を行えます。
特に中学生や高校生、企業様へのニーズが強く集客も見込めます。
平日は団体様、休日は一般の方といったターゲットの絞り方もできます。

ジップラインと団体プログラムはセットにすることもできますので、教育旅行や社員旅行などに必ずニーズがあります。

上記は簡易な内容になっておりますので、是非プレゼンテーションに参加させていただきたいです。

よろしくお願いいたします。

港湾空港課
-5.4.-3
受付

受付No.（事務局記載欄）	87

[redacted]

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（[redacted]）	住所	[redacted]
性別	男	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・30代・40代・ 50代・(60代)・70代・ 80代以上
電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名　　）		
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）	(可)　・　否		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム（e(いー)申請）」
URL：https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付No.（事務局記載欄）	87

[redacted]

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

世界一のロケーション、シドニーベネチアに負けない静かな内海。目の前に、雄大な桜島、時々噴火まで見せてくれる。日本の南の玄関港安価で出来る物や、世界のモデルになる物や、又鹿児島に来たくなる物など99くの人々が感動する港へ。アイディア4つ案内。

①小型船の乗り降りが安全に出来る場所、階段や浮き桟橋、他港にはあるが鹿児島本港に悪い、階段は安価で出来る、海を楽しもう。ただし乗り降り時間だけの10分前後、みんなが使える様に、他県内外からの小型船が停泊出来るビジター港など。(写真1、2)

②ケビン(小家)休憩所、10棟程普段はBBQ出来る所として、本当の目標、目的は桜島大噴火時の避難住宅として、すぐ使える様に世界の災害訓令都市のモデルとして。

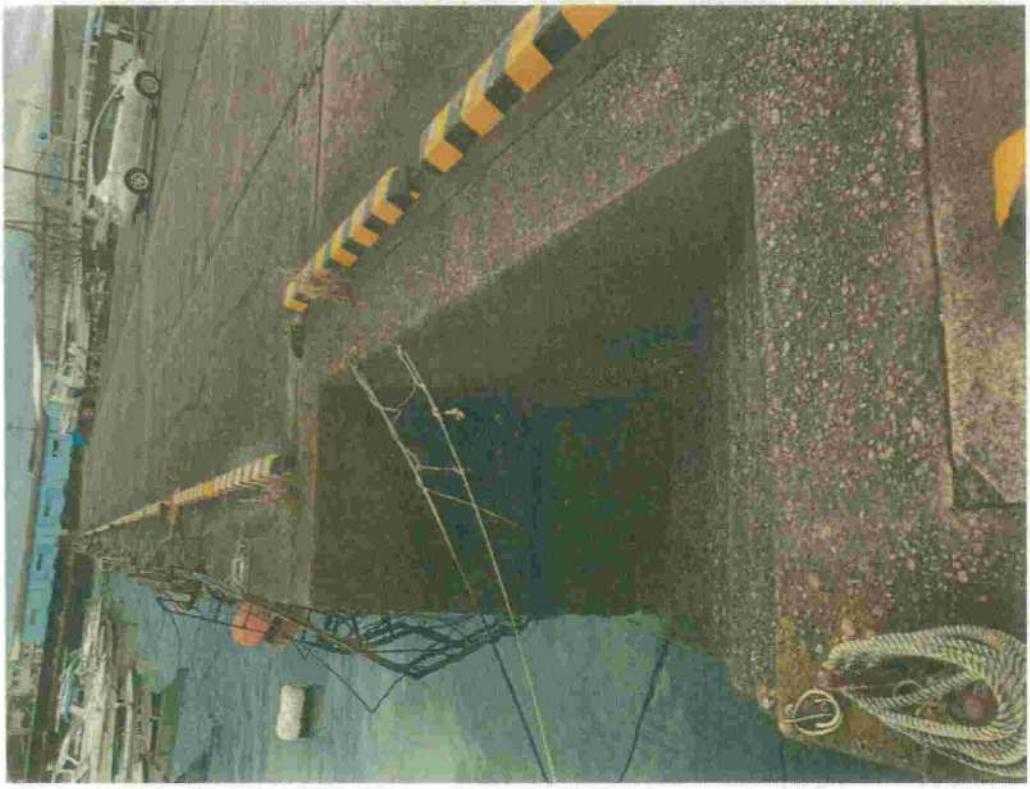
③屋久島のウイルソン株、実物大オブジェ、コンクリートの安価で作り、皮は子供達にスギ皮チップを張るイベントにする、一つのシンボルとして、癒しの場所や、屋久島に行きたくなる、鹿児島をアピール出来る一つとして。

④毎月鹿児島12地区を1区、たとえば川辺地区2日市や、川内大綱引、やごろうさんにも年一度、港に来て頂き、各地区アピールして頂くイベントを行う、他、良かに世、喜かおどり大会など。

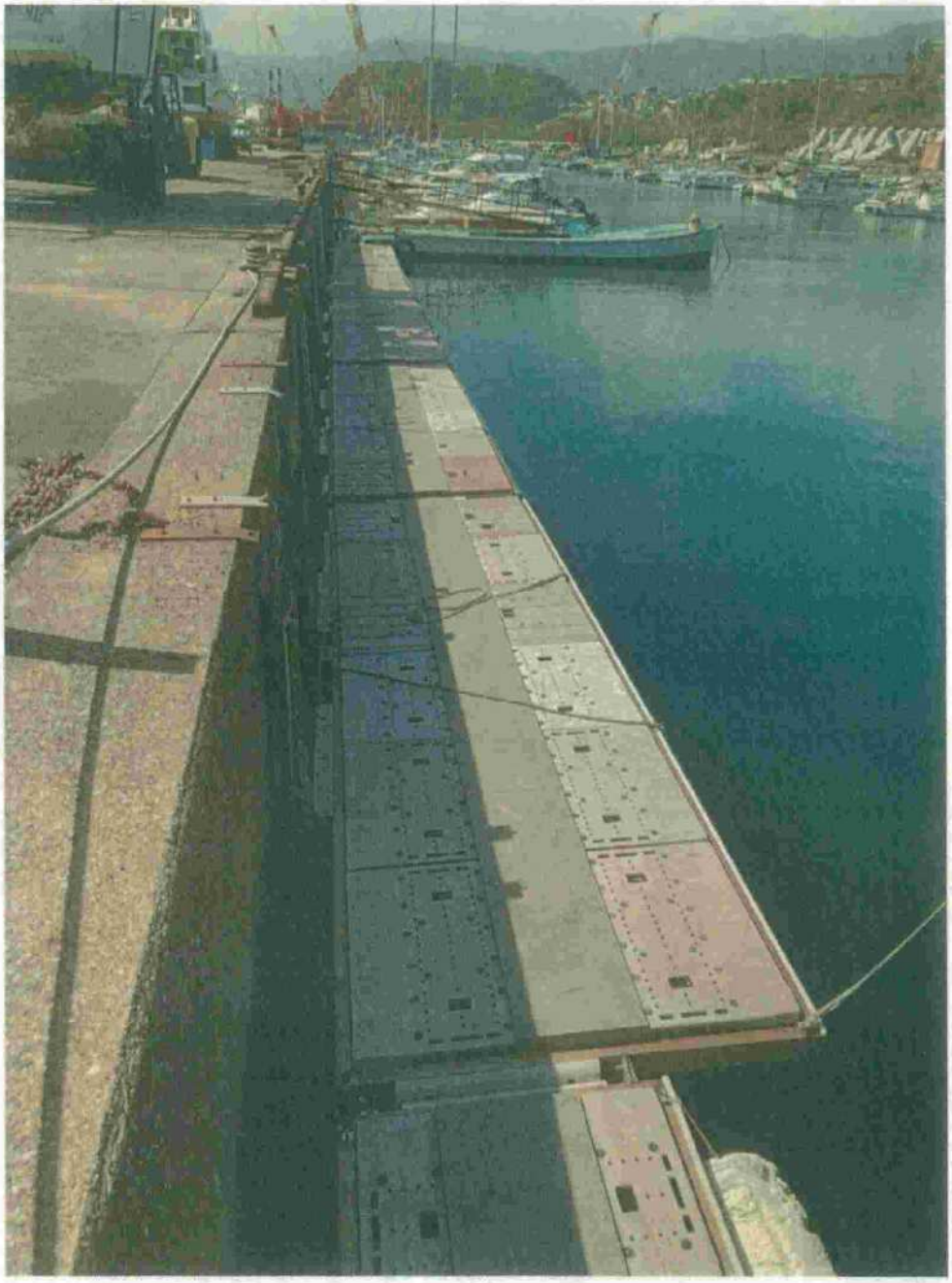
以上の4つで、この鹿児島本港が、夢あふれる感動の港となるでしょう一度こられた方が、又ここに来たい、リピーターこそが、次の時代に繋がります。

※任意様式に記載して頂いても構いません。





(2)



港湾空港課
-5.4.-4
受付

88

[redacted]

[redacted]

[redacted]	[redacted]	
男	10歳未満・10代・20代・30代・40代・50代・60代・70代・80代以上	[redacted]
可		否

※ 次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，氏名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※ 氏名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※ 応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※ 応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※ 提出された資料については，返却いたしません。
※ プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※ 次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※ 募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665 FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム(e(いー)申請)」
URL: 【P（後日確定）】

[redacted]

[redacted]

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

体育館などの様な、一部の人が利用するものでなく
県民、県外の人々が、鹿児島に行きたいと
思う様な、目玉になる、テーマパーク等
例えば、ハウステンボスや、ディズニーランドみたいな
自然を生かした観光地（シンガポール等）
にしてほしい!!

鹿児島の街は、バラバラで
統一した街づくりを望みます。

※任意様式に記載して頂いても構いません。

89

DATE 県土木部港湾課 本港区まちづくり推進室 御中

※鹿児島港本港区エリアの利活用について※

自然豊かな南国らしい木々の多い みどりの公園に
それに併設した中ったのんびり遊園地 例えば 回転木馬など
作って 特に子供達を育てむ楽しい場所が 望ましいと
思います。水族館も近くにありますし
毎日いつ来ても 親子連れで楽しめる場所にして下さい。
少子化対策にもなると思います。
鹿児島の魅力はなんといっても 街の近くにある桜島です。
雄大で湾・海・フェリー・絵になる、真重なすばらしい
エリアです。将来の子供達のためとっておきたい場所です
コンクリートだらけのスポーツ施設の箱物はどこでもできます。
他の場所に造ってほしいです。市内でなくても。
今は海岸は埋めたてられ、もう砂浜も松もありません
とり戻しはできません。最後の砦です。
将来、未来のため もうけ主義、便利さと欲望はこの辺で
考え直し SDGs のかじ取りお願いします。

港湾空港課
-5.4.-4
受付

A4 [redacted]

2023. 4. 4 9:18 P. 1

港湾空港課
-5.4.-4
受付

90

[redacted]

[redacted]

[redacted]	[redacted]	[redacted]
女	10 歳未満・10 代・20 代・30 代・40 代・50 代・60 代・70 代・80 代以上	[redacted]
	可	否

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，氏名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。

※　氏名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。

※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。

※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。

※　提出された資料については，返却いたしません。

※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。

※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。

※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町 10 番 1 号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム(e(いー)申請)」
URL:　【P（後日確定）】

[redacted]

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

公園・商業施設
合わせた

年令問わず
楽しめる施設が
いいと思います

桜島の絶景を生かして
（観光でも楽しめるおこ）

※任意様式に記載して頂いても構いません。

1/2

港湾空港課
-5.4.-5
受付

受付No.（事務局記載欄）	91

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」
応募申請書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（[redacted]）		住所	[redacted]	
性別	男性	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・30代・40代・ 50代・(60代)・70代・ 80代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名　　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			可　・　(否)		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム(e(いー)申請)」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

2/2

「鹿児島本港区エリアの利活用アイデア」

私の思うプランを申し述べさせて頂きます。

多くの郡部の町村は地域活性化として色々な施策を打ち出し実行していますが、中々その成果は、伸び悩んでいるのではないかと思われます。
そこで、再開発地に『リトル鹿児島県』と言う、シティー若しくは施設を作り、そこに全ての市町村のブース又は部屋を作り、飲食有、展示即売有等、制限をかけず、各々のアイデアを持って自分達の町をアピールしてもらい、県はマネージメント方法を構築して公民共同運営をする特区とする。
更に、この『リトル鹿児島県』に関わる市町村の関係者、スタッフ用の宿泊施設も併設する。

そこを訪れた人達は、県内全ての市町村の特色、産物等が分かり、色々な体験が出来て自分が興味を持った所に実際行ってみたくなるのではないかと思います。
そして少なくとも部外（県外）からの人の流れが起きて活性化に繋がるのではないでしょうか。
この『リトル鹿児島県』に来てもらう事で県内外の多くの方々に、一目で鹿児島県を知ってもらう事が出来るのではないかと考えます。

このプランにて予想できる効果として
○経済の活性化(商店街)
○グリーンツーリズム
○体験学習
○Uターン　Iターン
○ふるさと納税
○観光ガイドバスの活性化・・(東京はとバスの様な名物観光バス等)
○集落の活性化及び整備
○町民の連帯感の向上
○人口増加　　等

プランは以上です。

最後までお読みいただきありがとうございました。
再開発地が有効利用されます事を、切に希望致します。

[redacted]

92

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを募集します！(アイディアを直接入力できる専用ページです。)

港湾空港課
-5.4.-5
受付

受付番号:9639365
申請日:令和05年04月05日

番号	項目名	入力内容
1	応募者名(個人または団体)	[redacted]
2	応募者名(ふりがな)	[redacted]
3	住所	[redacted]
4	性別	女
5	年代	30代
6	電話番号	[redacted]
7	プレゼンテーション参加の可否	否
8	以下にアイディアを記入してください。	子供が無料で遊べる屋内遊具施設を作って欲しいです。1歳の子供がいますが、アパート暮らしで部屋も狭いため子供が家で遊びたがらず、外に行きたがります。しかし、雨の日は公園で遊べず、子育て支援センターも人がいっぱいで長く遊べません。ららぽーとのような商業施設内で遊べる場所があると助かります。イオンの中にもありますが、土日祝、15分限定なので、たくさん遊びたい子供にとっては少し不便ではあります。親もゆっくり買い物などできて、子供も思いっきり遊べる施設をよろしくお願いします。
9	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
10	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
11	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
12	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	

港湾空港課
-5.4.-6
受付

受付No.（事務局記載欄）	93

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」
応募申請書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（[redacted]） [redacted]		住所	[redacted]	
性別	男	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・20代・30代・40代・ （50代）・60代・70代・ 80代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名[redacted]）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			可？ △	否？	どちらとも言えない。

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム（e(い一)申請）」
URL：https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

① 福岡（博多）

② 新幹線

③ 鹿児島中央駅

④ 天文館

⑤ ドルフィンポート跡地

⑥ 桜島

① 福岡県

九州最大の都市

人口 510万人

② 九州新幹線

福岡から鹿児島を結ぶ

約1時間30分

2004年3月に開業

③ 鹿児島中央駅

2004年に開通

駅名の改称にかかった経費

6600万円

2010年に駅の改装 = ?(多分)

当初 新幹線が開通にあたり多くの観光客を見込んでいたと思う。

大河ドラマの影響などで一時的には上がったと思うが、伸び悩んでいると思われる。

(世界遺産が登録された時も)

中央駅は鹿児島市内への玄関口!!

今では ターミナルも キレイになり. アミュプラザや ライカなどの 商業施設も有り南国バスターミナルを含め 多くの宿泊施設 なども有る。

- ライカは 2021年6月にオープンしたが. 1年後の現在では 本オープン当初より来店客が 相当減っている。(ライカに入っている店舗オーナーの声)

申し訳ないが. ヤマダ電機や 100均 などは他にも多く有るので市民も県民も ほとんど興味を 持たないのが解る.

イケヤが入るとの情報もあったが鹿児島銀行との兼ね合いもあり. イケヤが入れなくなったとも聞いている。(事実かどうかは不明)

どうせなら鹿児島の特産品 などを扱う お土産屋さん などを多く扱かえば良いのではないかと感じる(個人的感想)

- 浅草などの目の前で せんべいを焼いている所には人だかりが出来るので さつま揚げや カンオケ などを作る工程を見せるのは良いのではないか?

これは1つの案であって もっと良い物が有れば考える余地有り。

鹿児島の中央駅前朝市と 鹿児島駅の市場は. 戦争後に いち早く人々が集まり鹿児島の復興に貢献した場所である。

中央駅を盛り上げるには、まだまだ自分一人の力では不足である。
最九州全体の特産品が手に入る様な、店舗も必要かもしれないし
九州で食べられるラーメン横丁!!(屋台を出すなど)

宿泊を要するにふさわしい何かを、準備する事によって
〆宿泊者達が飽きない物を、売れる!!
もちろん鹿児島県民や市民も楽しめる物でなければならない。

中央駅にも飲食店はたくさん存在するが いまいち天文館と比べると
盛り上がっていない事も事実!!
どうすべきか?と、中央駅集近の居酒屋さん達が話し合った決果、
24時間営業のラーメン屋を作ると良いのではないか?という話し合いが
あったらしい!! 個人店のオーナー達が こんなにも盛り上げようと
頑張っているのに市や県は何をしているのであろうか!?
もっと向き合うべきではないだろうか!!

④ 天文館

鹿児島一の繁華街
少し前までは南九州一の繁華街とも呼ばれた

しかし!! 現在では!?

2004年のアミュプラザ
2007年のイオンモール鹿児島
に、押されているのも事実!!

老舗の山形屋ブランドをもう一度立ち上げる為にも天文館は復活をしないと鹿児島は絶体に成長は無いと思う。なにげないアーケードでさえ鹿児島ならではの特徴なのでは?

天文館自体、鹿児島市民は昔と比べると「錆れた天文館」と
思っていると思う。(30年前に天文館で遊んでた人はとくにそう思う)

天文館の街を守って来た、通り会だったか!天文館を守る会だか有るけど
一生懸命「天文館の為に!!」って守ってきたものは何なんでしょか!???!

商工会と一緒になって地主さん達の利権であったり安定した生活なのか?

イオンが出来て天文館にあった店舗は谷山駅(新しくなり)も出来、谷山側に移動して
行った!! 土地の価格も天文館よりはるかに安かったからだろう!!
それも市民が移住先を谷山に移していったのも事実。

このままでは、南九州最大の繁華街であった天文館はゼンリンが出来たぐらいでは、
盛り上がるどころか「南九州最大の錆れた街」になってしまう!!

天文館をどうしていくべきか? > 問題はそこじゃない!!
どうやって盛り上げていくか?

まずしなければならないのは、地主さん達をどう動かすか?
商工会にどう協力してくれる協力者になれてもらうか?

天文館を活性させる仲間をどれだけ増やすか!?
歩み合うのは的確ではない!!

ここで話し合うのは、あくまでも今後の鹿児島の将来である!!

⑤ ドルフィンポート跡地

面積 30.855㎡

福岡→中央駅→天文館→ドルフィンポート→桜島

鹿児島市内において一等地の景観の有る場所

大きいの福岡より桜島までも一直線で結ぶ事が出来る場所!!

ドルフィンポート跡地どうしていくべきか？

鹿児島の一等地と見られる場所に県体育館（スポーツコンベンション）がなぜ必要なのか？
体育館を作る事は大事!! しかし作ろうとしている場所が問題!!

鹿児島の県民や市民だけじゃなく 九州の人達!!
日本の皆が鹿児島へ一度だけでなく何度でも来たくなる
観光地として盛り上がるような ワクワクするような何かを作り上げて
直線でとった ①.②.③.④.⑤.⑥ までが全て盛り上がらなければならない。
体育館では観光客が増える事は どう考えても有りえない!!!!

※例えばの話しではあるが（大事）
巨大な観光案内所（資料館、物産館など…）
鹿児島の歴史が学べたり、観光地を紹介したり、食材の
紹介であったり、温泉も紹介であったり、
鹿児島に観光に来た方が案内所に来る事で
SNSでも見れないような生の声で観光プランを
組んであげたりするような場所!!

鹿児島の人達も鹿児島の事を学べる場所!!

そこで働く人も鹿児島を良く知る人を、教える人!!
育てる人材!!であって高校生や大学生のボランティアの方達
なども含める。お年寄りから若者までが働ける施設。
若い学生さん達も自分達、鹿児島市民も県民も自分の産まれ
育った土地を知らなすぎるので知る事により、若者達を
鹿児島に残す事も出来てくるのではないか?

英語教育を学んでいる方達には、高校生や大学生、一般の方
も含め、海外からの観光客相手に通訳も行ってもらう。

観光、特産品。人の温もりも含め、鹿児島案内所によって
鹿児島県をもっと多くの人に知ってもらう場所にする。

「稼ぐ力」と言うのであれば平行して「育てる力」
を身に付ける。

③この事を思いついたのは、仙巌園に行った時に
島津家の見学で着物を着用した女性の方達が

私の質問に対して的確に答えてくれた事がキッカケになりました。

SNSなどでは知りえなかった知識を薩摩に詳しい方達が言葉を通して教えてくれた事に感動を覚えたからです。

⑥ 桜島（どの位置から見ても男らしい火山）

世界で大類を見ない県のど真ん中に
有る活火山!!

鹿児島市民にとっては火山灰を降らす。
厄介者では有るが古い時代から人間と
共に共存してきた仲間である!!

桜島フェリーで片道15分で行ける場所
1914年（大正13）の噴火により陸続
きにもなり車でも行ける

南北に10km 東西12km 周囲55km 面積77km

ドルフィンポート跡地をどうするか!?ではなくて.
ドルフィンポート跡地に何を作るかによって.①~⑥までの一直線が盛り上がって行く!!と言う事を考えなければ.ドルフィンポート跡地だけを見ていては、鹿児島は.
どんどん低迷して行く!!
単品で考えるよりもセットで考えるべき!!

10年.20年後 鹿児島には高齢者しか居なくなる可能性(大)

港湾空港課
-5.4.-7
受付

受付 No.（事務局記載欄）	95

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」

応募様式

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（[redacted]）		住所	[redacted]	
性別	男	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・30代・40代・ 50代・60代・70代・ 80代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	--　　-- （担当者名　　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			可　・　否		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町 10 番 1 号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム(e(いー)申請)」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

Date　　No.

鹿児島港本港区エリアのアイデイアの提出、

竟見スポーツ、コンベンションセンターの構想を白紙に戻して原点に帰り市、県民の意見、県の発展の為何が必要かを検討するべきかと思う。これが誰に聞いても同意見で、県の構想に賛成する者は異点であった事実を述べておきたい。

1) 県、市民にとり何が必要か、人々が買物や観光（県外、大型船が鹿児島にくるとなれば何でくるか）で集る、或は出掛けるところはどこか（必要とするところ）。
旬内で言うなれば浅草の仲見世、アメ屋横、神戸の海岸に設置された観地ともなっている商業施設だ。
世界でも市場である。鹿児島は各地にある人が集う市場、マーケットはない。

2) 県は離島が多い。これらを整備して日本の観光地とすべきだ、世界からもくる。離島めぐりなど整備すれば鹿児島の観光に貢献する現状は手つかずだ、沖縄よりもよくなる要素がある。ウオターフロントは原点だ。

3) 1)で述べた要素を組合せ、九州でもみられない構想で施設の形態を考えるべきだ。

4) 中小業者の出店の場所を考慮すべきだ、鹿児島の経済発展に寄与する。

5) デパートの経営は苦しく赤字経営で廃業、売却が続いている。売れ残りの物品をアウトレットの型で出店できるようにすれば県民、市民も助かる。

・高知からの漁船は流連に寄港している。魚類もマーケットに供給される余地も多い。

・ウオターフロントの一部は催し物の場所で提供すればよい。今までもラーメン大会、花火、陶器 etc の催しで人が集っている。

6) 人が集れば立消えとなった中央駅からの電車の延伸も可能となる、回遊性がでてくる。

7) 加治屋町のビル立費えがJRで計画されていると新聞にでていたが、私がいいたいのは中央駅→ウオーターフロント、本港区（大文館を含む）及鹿児島の観光道路として整備すべきだ、（県外、県民、インバンド観光に必要と思う。

8 利用者のかいスポーツセンターにこだわる理由は全く理解に苦しむ。鹿児島は将来を考え、大きく脱皮していかねばならない。
まだ云い足りないところがあるが云いたいことはもっと視野を広げて考えるべきだということです。
今の鹿児島には魅力あるものは何もないといえる。

96

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを募集します！(アイディアを直接入力できる専用ページです。)

港湾空港課
-5.4.-7
受付

受付番号:9652356
申請日:令和05年04月07日

番号	項目名	入力内容
1	応募者名(個人または団体)	[redacted]
2	応募者名(ふりがな)	[redacted]
3	住所	[redacted]
4	性別	男性
5	年代	50代
6	電話番号	[redacted]
7	プレゼンテーション参加の可否	否
8	以下にアイディアを記入してください。	鹿児島港本港区エリアと交通機関を連結することによる鹿児島港本港区エリアまちづくりグランドデザイン(案)で示されていたSWOT分析項目の更なる便宜性の拡大と、エリア内の体育・文化施設、スポーツ施設、エリア外の近隣する体育・文化施設、スポーツ施設の連携拡大、人が集積する賑わい地域の連携拡大を図る意見。
9	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	「鹿児島港本港区エリアは、『陸・海・空』より人が『集い・育ち』の拠点となる。」.pdf
10	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
11	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
12	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	

鹿児島港本港区エリアは、陸・海・空より人の「集い」や「育み」の拠点となる。

昨年より鹿児島港本港区エリアの利用方針はさまざまに議論され続けている様子を報道にて知り得ておりました。今年の 3 月にも鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会が開かれており、計画決定の終盤の話し合いが続けられていることを再び報道で知り得ました。鹿児島港本港区エリアは自宅よりそう遠くもなく、桜島フェリー利用にて時々に訪れる機会があり、訪れるたびに周りを景観しながら議論の様子を思い浮かべます。3 月の検討委員会では、「県民の忌憚ないい意見を募集している」という告知も脳裏に残っていたこともあり、私も県民として鹿児島港本港区エリアの利活用の理想を述べさせて頂きたいと思い筆をとらせて頂きました。

鹿児島港本港区エリアの唯一気になるのは、地震による錦江湾沿いの津波や桜島爆発による火山性津波の問題や桜島降灰の問題です。二次的自然災害の予防と対処の想定は熊本地震を教訓に設計に盛り込んでいた方が良いのではないかと思います。それ以外の視点では、ＳＷＯＴ分析を基にした本港区エリアの「まちづくりグランドデザイン(案)」で示されている指針は、鹿児島県民にとって十分な経済効果を期待できる構想であり、県内外の人々の憩いや安らぎの場所として意義を成すものと感想を持っています。鹿児島港本港区エリアに観光施設やスポーツ施設が建設されると仮定するならば、雄大な桜島の活動火山の様子も加味され、国内外の人々への強い印象(感動と記憶)を与えるものと想像いたします。

せっかく新しいものを作るのであれば、鹿児島港本港区エリアへ立てる建造物は 100 年先まで見据えたものでなければならないものと感想を持ちます。建設費はもちろんのこと、建築後の維持費や安全性の確保が十分できる採算性の高いものでなければならないと思います。昨年より長期に渡り多くの話し合いがなされているようですが、例え議論に多くの時間を費やしてでも、県民からの意見を丁寧に傾聴し、多角的な視点から想定されることを精査し「完璧な計画」を理想として行われるべきであると思っております。現在、各地方自治体の財政事情は決して余裕のある状況ではございません。どの地方自治体においても、国財政の予算支援もしくは民間企業の出資金がなければ、大規模な公共施設を地方自治体が単独で建設することは難しい状況です。この度の鹿児島港本港区エリアの利用の話し合いにおいても、国民の税金が使われておりますので、利用案には慎重な吟味が必要であります。

昨年 11 月 27 日に作成した「鹿児島港本港区エリアまちづくりグランドデザイン（案)」では、本港区エリアを取り巻く環境の分析（ＳＷＯＴ分析）を踏まえ，同エリアのまちづくりに向けたゾーニングごとの視点の抽出では、以下(①～⑧)の視点より桜島の眺望をメインとした「人移動・活用」の「巡回型」のコンセプトが立案されております。

①滞在機能の導入
②国内外からの集客(賑わい機能の拡充)
③多様で特色のある機能の配置
④交通結節機能の強化
⑤エリア周辺との連携(回遊性の向上)
⑥安全で快適な動線の構築
⑦国際的な観光都市のブランドを確立するデザイン
⑧錦江湾・桜島の眺望を活かした景観・空間づくり

このようなグランドデザイン(案)でのビジョンはとても賛同させて頂ける立案であり、実際に各項目

が成就するならばとても理想的なことであります。私は個人的にこの案に更に付け加えさせて頂きたいことを構想しておりました。8つデザインを成就するための交通手段の動線でございます。現在、鹿児島市内での「繁華街」と市民が持つ印象の地域は中央駅周辺と天文館周辺ではないかと想像しています。しかし、この二つの地域には若干の「**距離間**」があり、二つの地域を訪れたいと思う市民の気持ちにも不便さが生じているようにも思えます。

近年天文館には「センテラス」という賑わい環境が新たにできましたが、建設されるまでには二つの地域には若干の「賑わいの差」が生じていたのではないかと印象を持ちます。中央駅には新幹線が発着するようになり、全国の企業から注視され新しい商業施設も多く造られました。賑わいを見せている中央駅周辺と、かつての賑わいの中心地であった天文館との間では若干の「賑わいの差」が生じているように思えます。私は、この二つの地域周辺を「一帯」とし鹿児島港本港区エリアまでつなげることはできないものかと考えます。「一帯」を作るためには、交通手段の充実が大切ではないかと思うのです。その1つとして既存する路面電車の定刻巡回路線の運行です。「中央駅」から「鹿児島駅」までの路面電車を福岡や都心の地下鉄、東京都の山手線のように各駅を短い時間の定刻に巡回するように運行させ、乗車する人々が分かりやすく便宜良く移動できる手段を提供すべきではないかと考えます。理想とするデザインでは、「中央駅」から「鹿児島駅」までの路線において路面電車の定刻10分～15分間隔の巡回路線を運行させてみてはと考えます。

偏った見方かもしれませんが、個人的には鹿児島市民の間でも賑わいを感じる二つの街を行き来したいと思う気持ちには「**距離感**」があるような気がいたします。その心理は、市・県外から訪れている人々も同様ではないかと思っており、その心理を解消するためにも路面電車の定刻巡回路線の運行によって気持ちの中の「距離感」を短くする必要があるのではないかと思います。

二つの地域を結ぶ中途地域には、数多くの商業施設や企業会社もございます。二つの地域間の交通手段が確保されることにより、商業施設や企業会社の人々の往来も便利になりますでしょうし、何よりも乗車風景からは、地域間の商業施設・企業会社の景観も乗車する人々の視野に入ります。観光で訪れている人々であれば、自分たちが住む地域と異なる地域の景観はどのような風景でも新鮮であり、記憶に残りやすいものと感想を持ちます。「思い出をお土産」とする環境の提供にもなります。

二つの地域の賑わいが交通機関の便宜性によって結ばれることで「一帯」となり「賑わい」の範囲が広がるのではないかと想像いたします。

今年(2023年)のWBC(ワールド・ベースボール・クラシック:国際野球大会)では、日本代表が国民に大きな感動を与え、生活力(活力・将来への展望)を還元してくださいました。現在、サッカー・スタジアムなど体育・文化的施設やスポーツ施設の建設問題が頓挫しておりますが、鹿児島港本港区エリアに、体育・文化的施設やスポーツ施設が建設されることになれば、エリアでも多くのスポーツのイベントが開催されるはずであり、その経済的効果は十分に県の財政を潤す因子にもなり中央駅から鹿児島駅までの巡回路線は国内外のスポーツ関係者の移動手段にも貢献するものであり、鹿児島港本港区エリアへの交通手段の便宜性は効率良いものとなります。路面電車の定刻巡回路線の運行は、スポーツで利用される方々やビジネス、観光、買い物、社会教育で利用される方々など、さまざまな方々に計画的な時間調整の安心を提供することにつながると思います。

私は、鹿児島港本港区エリアに体育・文化的施設やスポーツ施設を建設することは、経済効果を生むだけではなく、子ども教育にも大きな効果を生むのではないかと考えています。「子ども教育に効果を生む」という意味は、本港区エリアへの体育施設・スポーツ施設の建設が子どもたちのさまざまな潜在能力を開花させる環境となるという意味でございます。子どもたちに「一流を見せられる環境」の確保です。子どもたちだけに限らず、人は「見て覚える学習」により多くのことを学びます。脳科学では「ミラー効果」とも言いますが、鹿児島港本港区エリアにさまざまなスポーツ・イベントが開催できる施設を建設することができれば、県内の多くの子どもたちが便宜的に利用することができます。

私たち鹿児島県は離島の多い地域でもあります。離島の子どもたちは、鹿児島本土で開催される全国レベルの大会参加には多くの不便を強いられます。長い時間を掛け船に乗り、慣れない宿舎環境より大会に参加します。鹿児島県本土の子どもたちと比べて多くの移動準備を強いられてしまいます。当然のことながら、長旅で大会参加のパフォーマンスを整えるには労力を強いられ、生活地域であれば発揮しやすい能力も発揮できないまま、交通費用の節減のためすぐに帰省をしなければならない環境下にいます。現在、鹿児島県の離島に在住する子どもたちの中には、鹿児島県本土と変わりない身体能力や潜在能力を持ち合わせている子どもたちも大勢います。記憶に新しい活躍であれば、奄美大島の大島高校の野球部の甲子園出場などもそのよい例ではないでしょうか。出場選手の中からは、プロ野球選手の輩出も果たしています。過去の離島のスポーツ活動環境とは異なり、多くのプロ野球団体やマラソン、その他のアマ・プロの競技者が離島を合宿地として選び、その環境は離島の子どもたちのスポーツ環境にも大きな影響を及ぼしています。

国内のスポーツ界の活動環境の選択は、ICT(情報通信技術)や航路の便宜性も加わり鹿児島も含め温暖な国内の南諸島に向けられています。各離島もそのような傾向を察知し、スポーツ施設や合宿地の建設に力を注いでいます。訪れるスポーツ専門者からの技能と考え方は、現地の子どもたちの潜在能力の育成にもつながっています。鹿児島港本港区エリアの体育・文化的施設やスポーツ施設は、離島にあるスポーツ環境とのつながりも作ります。鹿児島の少ない子どもたちを平等に一挙に集約して育成する環境として鹿児島港本港区エリアの体育・文化的施設やスポーツ施設の環境はとても有意義な価値を生み出すのではないかと想像します。鹿児島港本港区エリアの体育・文化的施設やスポーツ施設は、離島にあるスポーツ環境とのつながりも作ることが想像できますが、離島と本土の生活の質を高める、生活の豊かさを平等とするという観点からも有意義ではないかと想像します。鹿児島港本港区エリアの体育・文化的施設やスポーツ施設ができれば、優秀な競技者やプロの競技者のイベントが開催されることが想像されます。いわゆる「スポーツ観戦」です。欧米では、スポーツ観戦は生活の楽しみの一つであり文化になっています。鹿児島港本港区エリアへの体育・文化的施設やスポーツ施設の建設が離島の方々にもそのような目的で利用されるとするならば、離島の子どもたちのスポーツ活動の「効率性」と本土の子どもたちとの「平等性」と共に離島の人々の生活の質を高める環境の提供にもなります。

既存している鴨池新町の体育・文化的施設やスポーツ施設なども海沿いの新しい路線にて、鹿児島港本港区エリアと連結が可能となります。今のところ交通手段は既存するバス利用が想像されますが、二つの領域のイベントに応じてシャトルバスを発車させるなど、対応の立案例は多く持てるはずです。二つのエリアの連結は、便宜的に利用可能な体育・文化的施設やスポーツ施設のエリアとして県外にも紹介できるはずです。

鹿児島港本港区エリアに体育・文化的施設やスポーツ施設を建設する目的を「子どもの教育」も一つの因子と述べましたが、具体的に述べさせて頂くならば「抑制心の環境を作ること」という意味になるかと思います。子どもたちが成長発達する過程において、精神(脳発達)を育んでいくためには、「考える」という作業が必要になります。抑制心の欠如している環境では、「自らが考える」という行動に結び付きにくくなります。抑制心の欠如では、自己中心的になり、人として学ぶべき知識が少なくなり、いろいろな考え方を学ぶ行動が少なくなります。自分が叶えられない物事に対しては多角的に見るという行動が必要になります。「なぜ」という疑問を持つ行動は自分の考える力を向上させます。スポーツは、望む成果を簡単に成就することはできません。自分の思う通りに成果をコントロールすることは難しいものです。「自分のわがままを抑制する環境を与えられる」その環境は人として個人を成長させるにあたり、とても大切なものではないかと思います。

スポーツには勝敗があり、成功と失敗の環境が多く強いられます。手っ取り早く「抑制心」を与えられ、謙虚な姿勢や冷静な判断ができる能力が育まれます。社会人として持たなければならない人間としての「質」の基礎が育まれやすくなります。抑制心を育む環境はなにもスポーツだけには限りませんが、鹿児島港本港区エリアに造られるかもしれない体育・文化的施設やスポーツ施設の計画にはそのような意義も含まれていると私は考えています。そして、その施設から投資された資源は子どもたちの人としての成長として還元され、国内外の有能な人材となって、将来の日本や鹿児島の繁栄を担っていく人材になっていってくれるのではないかと想像しています。

都心部以外の地方から世界レベルのスポーツ選手を輩出することのメリットは、輩出地の知名度を上げるだけに留まりません。出身者が所属するスポーツ界の優秀な人材を招待することができるということにもつながっていきます。私は青年期にラグビー・フットボールを経験しておりました。2019年日本で行われたラグビー・フットボール世界大会では、南アフリカ共和国が優勝いたしましたが、本大会参加の事前合宿地に選ばれたのは鹿児島県でございました。その経緯を想像するに鹿児島のラグビー・フットボール協会の尽力もあったと思いますが、7人制ラグビーなど日本代表となっていた代表選手が鹿児島県出身であったということも、誘地・招待できた背景にあったのではないかと想像しています。仮に鹿児島港本港区エリアの体育・文化的施設やスポーツ施設の環境が全国・世界レベルに通じる競技者を輩出する一つの因子であったとするならば、他のスポーツ団体や競技者を本県に招待する資本になるわけですので、現潮流となっている経済界の「人的資本経営」ではございませんが、全国・世界レベルに通じるスポーツ団体や競技者を本県に招待する資本になったということでもあります。今やスポーツがもたらす経済効果は地方にとって貴重なものであります。

オリンピックの選手村ではないですが、各国代表の選手は特定場所以外の移動は多く叶いません。せっかく訪れている異国の地の文化を満喫することも叶いません。訪れる土地(鹿児島)の文化や特性を満喫して頂けるような環境を提供できれば、競技参加が終わったのちにも再び訪れてくれる可能性も高まるような気がいたします。

公共投資の場合、経済発展や人を喜ばせる施設への投資には制限がございます。地方自治体ではいくつもの大型施設を公共料金で建設することなど容易ではございません。県民の税金を使用しての建設予算では高額の予算計上には躊躇してしまうのでしょうが、予算を削ってばかりでは安全・安定の長期の維持を図ることはできません。火山灰や海沿いの塩害を考えれば、中途半端な予算は将来的に損出を生みだす要因ともなります。建設後の消耗費も考え100年後を見据えた予算計上で建設計画をする方が、利

用価値は高まるのではないかと想像いたします。

最近の経済学者の話では、国際的な経済の不調・好調の波は、各国30年周期で訪れていると述べられております。日本はバブル期より苦難の30年を乗り越えようとしており、今後は好調期に入る可能性も高いといわれております。起きもしていないことを楽観的な指標としては定められませんが、何か日本が世界に発信していくことを時代に求められているような気がいたしております。この度の WBC(ワールド・ベースボール・カップ)では、栗山監督の組織経営の実際が世界の人々に評価されております。この出来事もまた日本の優勝までの過程を通して世界に何かを問いかけていたように思えます。個人的には国内のさまざまな組織経営の在り方と、平和的な国同士の競争の形が表されていたのではないかと思っています。今後もさまざまな業界を通して、日本が模範的な行動姿勢を発信していかなければならないのではないかと想像しております。

前述では、鹿児島市が提案されているサッカー・スタジアムの整備が頓挫していることに触れさせて頂きました。現在、鹿児島のプロサッカーリーグは、決して順風満帆な状況ではございません。サッカー・スタジアムの活用が県民の利益につながるかどうかの議論がなされていることも想像できます。欧米のようにスタジアム利用が単種で運営できるかどうかのイメージを持たれていることと想像いたしますが、大切なことは、スポーツを観戦する行動が自生活に楽しみを増やすことができるという点と、東京オリンピックが目指していた多目的なスポーツ施設が一つのエリアに集約されているという効率性でございます。国内でのサッカー技能レベルもワールドカップを重ねるごとに上がってきております。2022年に行われたワールドカップ後のように人気が再び盛り上がり、ドキドキするような感動を与えるレベルの高い試合が、在住するプロ・サッカー選手によって、鹿児島でも開催されることは大いに想像できるのではないかと思っております。

実際には、サッカー・スタジアムの利用もサッカーだけに特化することはなく、多種スポーツの利用も可能なシステムを採用されると予想されますので、鹿児島港本港区エリア・デザインの中に盛り込むことは決して県民に不利益なことではないと思っております。建設後の維持運営は多くの労を要することと想像いたしますが、今時期が鹿児島の特性と特色を地方に発信していくべき時期ではないかと感想を持っております。

長年、中央(都心)にばかりに権力と繁栄が集中することが課題とされ、地方の自立と発展が問題視されてきました。まさに今が地方の価値を高める潮流ではないかと感想を持っております。他の地方の方々に魅了される地域(地方)を作る。そしてその魅了する力は「本物と信頼のある付加価値を備えたもの」で発信する。リピーターを呼べない事業の立案や発信は、国民の方々の信頼を失います。鹿児島港本港区エリアへの施設投資においても投資価値が個人と特定の企業の意見に左右されることなく、50年先しか見据えられない小さな投資よりも、県民の多く(7.5割程度)が納得できる施設計画を提示した100年先を見据えた大きな施設投資を行うことが潮流の中でなすべき行動ではないでしょうか。

鹿児島港本港区エリアの施設投資が、県民のために多く吟味して決めた投資と県民の意識に落とし込むことができれば、鹿児島県民は覚悟を持って鹿児島の未来と子孫のために取り組むことができるのではないかと想像しております。比喩としては適切ではないでしょうが、投資額の大きい東京ディズニーランドは、人々にもたらす精神的豊かさと経済効果がとても大きい施設となっております。そのような効果は投資額が大きいだからだけの経緯ではないと感じております。たとえ大きな投資が行われても、

施設投資と所属者意識、利用者意識が一体とならなければ安定的な運営はできないのではないかと思います。鹿児島港本港区エリアの利用が県政として責務なのであれば、中途半端な施設を造るのではなく、県民や県外の方々にインパクトとのある感動的な施設を建設した方が、文化物として県内外の人々に長い時間愛され続けていくのではないかと感想を持ちます。近年鹿児島は、さまざまな地域で大きなイベントを開催する勇気を持ちながら賑わいつつあります。鹿児島マラソンなど大きなイベントを開催することに県民は消極的な認識は軽減されてきております。鹿児島港本港区エリア利用も含めて、鹿児島の特性を国内外に発信するために、官民(公務者、住民)が覚悟を持って一体となる時期(タイミング)が今なのではないかと個人的に思っております。

お伝えしたい思いは以上でございます。鹿児島港本港区エリア利用の議論に責任感を前提に参加されている多くの方々とは異なり、無責任のような拙き理想論の記載をご容赦くださいませ。

鹿児島市在住者

[redacted]

港湾空港課
-5.4.-8
受付

97

受付No.（事務局記載欄）

[redacted]

氏名	イマムラヒロヒコ（今村弘彦）		住所	[redacted]	
性別	男	年代（○で囲む）	10歳未満・10代・20代・30代・40代・50代・60代・70代・80代以上	電話番号	[redacted]
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）	可		否		

※ 次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，氏名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。

※ 氏名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。

※ 応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。

※ 応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。

※ 提出された資料については，返却いたしません。

※ プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。

※ 次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。

※ 募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665 FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム（e(いー)申請）」
URL: 【P（後日確定）】

受付No.（事務局記載欄）

[redacted]

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

私は鹿児島市谷山港2丁目17 一般の修繕会社が本業です。
(株)なんきゅうドック 他に山川～根占間フェリー「なんきゅう」と
代表取締役会長 今村弘彦
マリンポート～鹿屋港間を
なんきゅう10号 旅客定員64%
なんきゅう8号 〃 60%
計124名の一般旅客不定期航路事業を行っております。

そこでアクターコロナと成り
マリンポートに年100回程クルーズ船の接岸と聞いております。

ドルフィンポート跡地に色々の建設計画ありますが
→に是非桟橋を設置して頂きたいと考えます。

理由 ① 海の移動（最大今の所120%）なら10分で行ける途中
桜島側に遠回し20分ぐらいの航海をやれば
クルーズ客は嬉んで頂けると思う!!

に ② 商店街…飲み屋街を作る⇐お金を落してもらう
稼げる鹿児島県

③ 現在手持ち船「なんきゅう8号」を能力アップの為
当社にて改造工事中（7月完成）船速30ノット可 鹿屋港→鹿児島市に
30分弱で移動可
大隅側も鹿児島県です。
是非桟橋を設置して頂きたいです!!

※任意様式に記載して頂いても構いません。

乱文乱筆ですみません。 敬具

土木部本港区まちづくり推進室

差出人 : [redacted]

件名 : [IM] 鹿児島本港区エリア利活用についてのアイデア

日時 : 2023年04月09日(日) 07:58

98

港湾空港課
-5.4.-9
受付

e-申請をしてもエラーになります…

[redacted]

50代 [redacted]

桜島を観ながら温泉に。。。スーパー銭湯を希望します。他にないミストサウナやかけ流しの足湯、海辺ギリギリの露天風呂、アクセスのよい場所なので、観光客だけでなく、地元の方々も喜びます。
それに隣接して大きな道の駅や海の駅。地産の農作物、魚介類、もちろんお肉も♪♪販売して、市場の場外みたいな、すぐにその場で食せる場所も欲しいです。BBQとか、食材を持ち込めばその場ですぐ調理してくれる食堂とか最高です。もちろんお酒も。自分たちも旅行に行った時、観光土産もいいけれど、地元の食材に接したくてわざわざ現地のスーパーマーケットに足を運びますもんね。

あとは、鹿児島には音楽や芸術に関する施設がまだまだ乏しいと感じています。
パイプオルガンのある観客取り囲み型のホール。楽屋の窓からは、桜島を望めるなんていうのもおもてなし心があって素敵ですね。世界中のアーティストが鹿児島に素敵なホールありと評判になるような。。。ぜひ新潟県の「りゅうとぴあ」をご参考になさってくださいませ。
桜島が目の前のウォーターフロントに、景観に合わせた素晴らしい芸術ホールを♪♪世界に鹿児島を発信できること間違いなしです！期待しています！

宛先 : honkou-s@pref.kagoshima.lg.jp

ＣＣ :

ＢＣＣ :

りゅーとぴあってどんなところ

新潟のみんなが交流しながら
芸術文化をつくる「活動の庭」







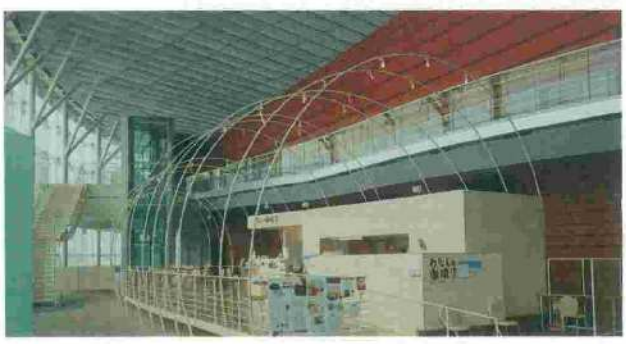
コンサートホール、劇場、能楽堂の3つのホールなどを備えるりゅーとぴあ。
まあるく、ゆったりとした空間は、館内のあらゆる場所につながって人々の交流を支えています。
舞台鑑賞やワークショップに参加した後は、出会った仲間とカフェや庭園で語らいの時間を。
芸術文化を発信するだけでなく、一期一会を創造する拠点ともなっています。

りゅーとぴあについて　　施設一覧

りゅーとぴあの寛ぎスポット

屋内スポット

イベントがある日も、ない日もりゅーとぴあを楽しめる3つの館内スポットをご紹介します。



カフェ「わたしの珈琲店」でホッと一息

2階のカフェ「わたしの珈琲店」は、豊富なドリンクメニューやハニートーストやケーキなどのデザート、ナポリタンやピザトーストなどの軽食も揃っています。テイクアウ



トも可能ですので、天気の良い日には空中庭園で食べるのもおすすめです。

詳しくはこちら

ラウンジ「旬彩 柳葉亭」で緑を眺めながらお食事

6階には、屋上庭園を眺めながら食事やお茶の楽しめるラウンジ「旬彩 柳葉亭」があります。甘味やドリンクはもちろん、ラウンジで食事を取ることもできます。丼物や日替わり膳といった食事から、おにぎりやうどんといった軽食まで、幅広いメニューが自慢です。

詳しくはこちら









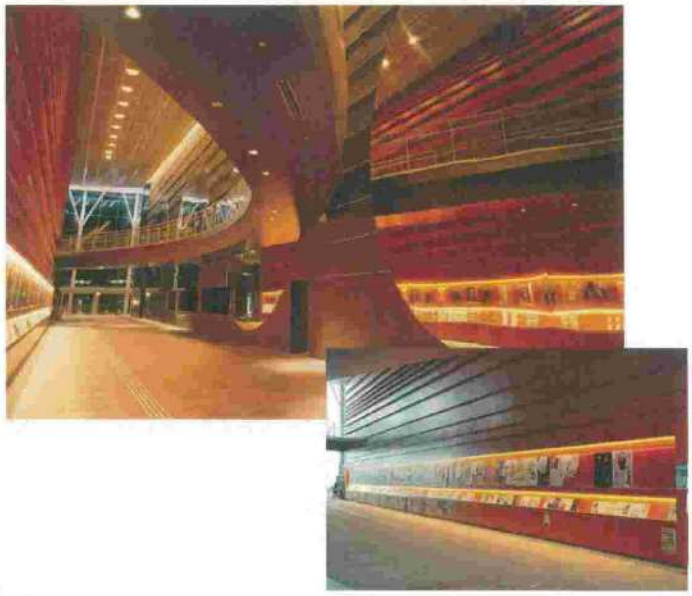
りゅーとぴあの宝物を集めた展示スペースを見る

同じく6階に設置されている「りゅーとぴあINFO BOX」は、当館がオープンして以来20年以上にわたり蓄積してきた衣裳や小道具などを展示した、りゅーとぴあの小さな美術館。ここでしか見ることのできない約30点のアイテムをご覧いただけます。入場無料ですので、お気軽にお立ち寄りください。

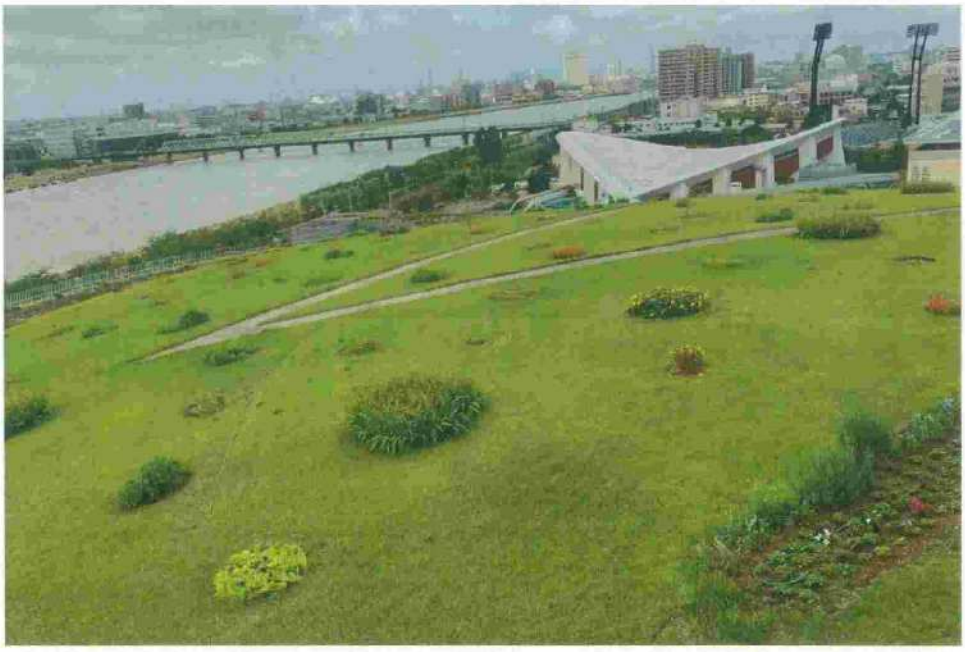
詳しくはこちら

ロビーにずらりと並ぶポスターで公演をチェック

2階ロビーには館内外のポスターやチラシが約30mにわたり並んでいます。この規模で、全国のイベント情報が一挙に集まる場所は、新潟ではここだけ。あなたの好奇心を満たす公演が、きっとここで見つかるはずです。



屋外スポット





館内スタッフが心を込めて手入れをしている屋上庭園。250ヶ所以上のフラワーサークルに、30種類以上の植物が植えられ、一年を通して花が咲くよう配慮しています。
りゅーとぴあは白山公園内に建っており、公園内には6つの空中庭園があります。建物の周辺は緑に囲まれた遊歩道で繋がれており、自由に往来できる散策スペースとなっています。四季の移り変わり、自然と建物の調和する様子を眺めながら、ゆっくり歩いてみてください。

詳しくはこちら

りゅーとぴあを動画で見る

ジュニア音楽教室　紹介ムービー

子どもの劇団APRICOT　紹介ムービー

りゅーとぴあ×東京交響楽団　ブランドムービー

りゅーとぴあ　施設紹介ムービー

りゅーとぴあの楽しみ方

『りゅーとぴあを楽しむ。ぼくたちは生きている。』

当館に馴染みのない方に、「りゅーとぴあ時間の楽しみ方BOOK」を制作しました。
日常を離れ、ちょっとそこまで非日常へ出かけたいとき。
最近忙しくて心に休息が足りないとき。
子どもと一緒に、楽しいひとときを過ごしたいとき。
さまざまな楽しみ方をご紹介していますので、ぜひご覧いただき足を運んでいただけたら幸いです。



りゅーとぴあ時間の楽しみ方BOOK（PDF:4MB）

- 楽しみ方 その1　「散歩するだけでもいいのでしょうか？」
- 楽しみ方 その2　「お得に楽しめる公演はありますか？」
- 楽しみ方 その3　「親子で楽しみたいです！」
- 楽しみ方 その4　「子どもが、自分でも何かやってみたいって！」
- 楽しみ方 その5　「体験型のイベントに参加したいです」
- 楽しみ方 その6　「舞台裏を見たり、学んだりできますか？」
- 楽しみ方 その7　「Noismの楽しみ方を教えてください！」
- 楽しみ方 その8　「りゅーとぴあの会員制度があると聞きました」
- 公演情報を知るには／チケットの買い方

〒951-8132 新潟県新潟市中央区一番堀通3-2

© りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館

99

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを募集します！(アイディアを直接入力できる専用ページです。)

港湾空港課
-5.4.-9
受付

受付番号:9668260
申請日:令和05年04月09日

番号	項目名	入力内容
1	応募者名(個人または団体)	[redacted]
2	応募者名(ふりがな)	[redacted]
3	住所	[redacted]
4	性別	女
5	年代	10代
6	電話番号	[redacted]
7	プレゼンテーション参加の可否	否
8	以下にアイディアを記入してください。	北埠頭は大小クルーズ船の専用岸壁とし、その背後にはターミナルを設けて、それに隣接する鹿児島には無い商業施設やホテルを設ける。また、大型のクルーザーやヨットも泊められたら、ウォーターフロントパークからの眺めも最高ではないだろうか。 そのためには、ウォーターフロントパークは、そのまま残してほしい。 ドルフィンポート跡は、スポーツコンベンションセンターで決まったのであれば、周辺の駐車場は立体化し、送迎を含む利用者は無料にしてほしい。また、周辺道路の渋滞が懸念されるので道路を広げてほしい。 住吉は駐車場ではなく、魚類市場から新鮮な魚が食べられる飲食店や、温泉があるホテルとし、国内外からの観光客を受け入れる。
9	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
10	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
11	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
12	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	

100

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを募集します！(アイディアを直接入力できる専用ページです。)

港湾空港課
-5.4.-9
受付

受付番号:9669689
申請日:令和05年04月10日

番号	項目名	入力内容
1	応募者名(個人または団体)	[redacted]
2	応募者名(ふりがな)	[redacted]
3	住所	[redacted]
4	性別	女性
5	年代	50代
6	電話番号	[redacted]
7	プレゼンテーション参加の可否	可
8	以下にアイディアを記入してください。	反対。 200億の借金、誰が払っていくのですか？ もう、いい加減に辞めて下さい。 これ以上の渋滞も勘弁して下さい。
9	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
10	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
11	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
12	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	

港湾空港課
-5.4.10
受付

受付No.（事務局記載欄）

[redacted]

氏名	（[redacted]）		住所	[redacted]	
性別	男	年代（○年代）	10歳未満・10代・20代・30代・40代・50代・60代・70代・80代以上	電話番号	[redacted]
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）	可		否		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，氏名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　氏名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム（e(いー)申請）」
URL:　【P（後日確定）】

受付No.（事務局記載欄）

[redacted]

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

私、ドルフィンポート近くの南林寺町で産まれ、育ちました。この場所には、沢山の思いがあります。ドルフィンポート週は一組の散歩のコースでした。この場所から見る桜島は鹿児島の人達の誇りであり大切な財産です。体育館、スタジアムは大切なものです。しかしこの景色を大きな建物、施設などでふさいでほしくはありません。そこで私の意見です。私は大島紬を使った布絵を製作し県美展、南林美術展などに出品して入選、入賞しています。そこで希望します。一階建ての県立美術館です。その周りは公園です。多様の美術展を見た後はゆっくりと散歩し旋丈な桜島、綿江港、散策をするのもいいものです。そして、気のきいたカフェや子供達の遊具を遠近走り周まることのできる空間を設けてはいかがでしょうか。子供の頃からの思いのある場所です。私の意見を書いてみました。できたら木造の美術館です。

※任意様式に記載して頂いても構いません。

102

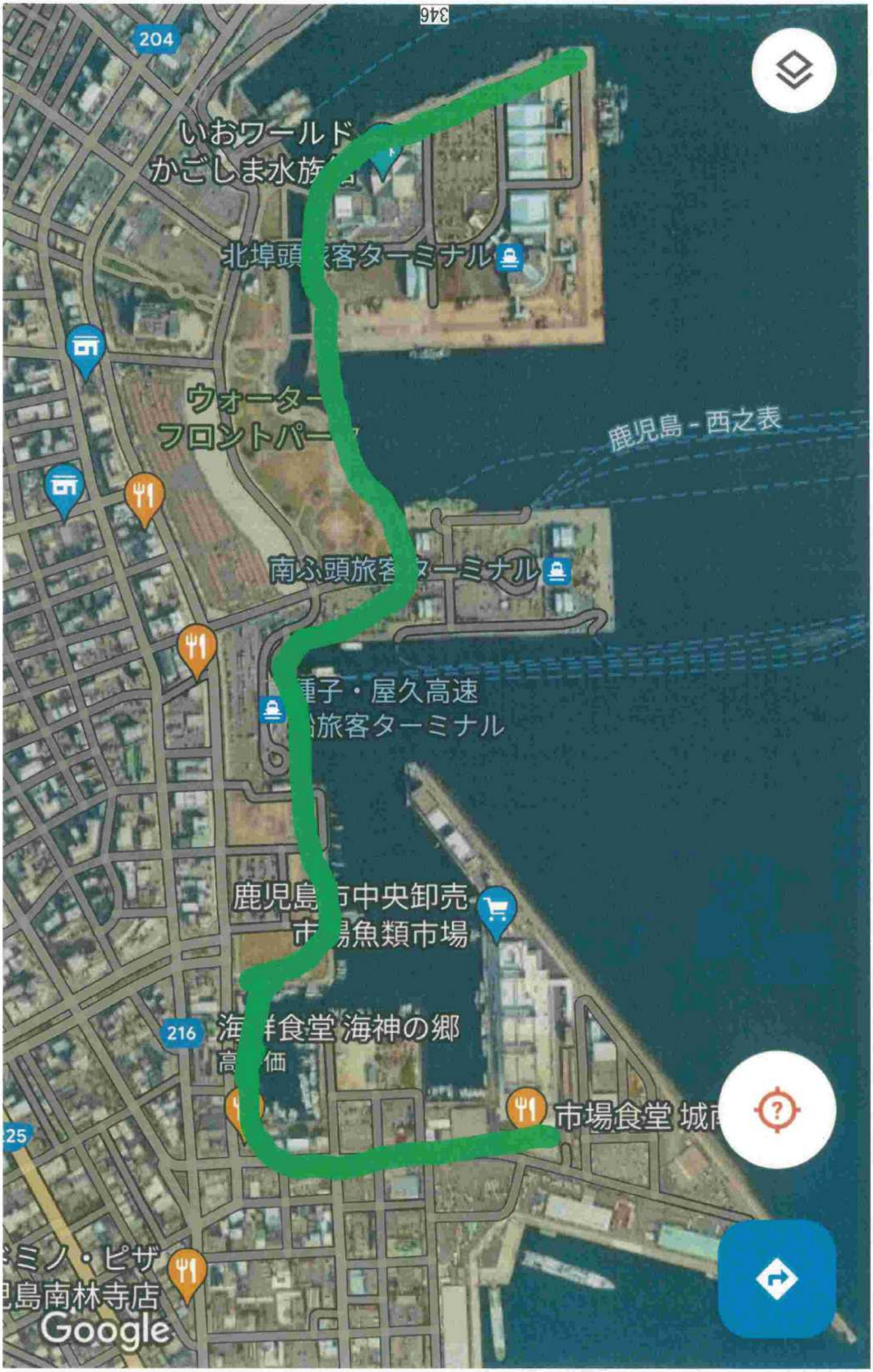
鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを募集します！(アイディアを直接入力できる専用ページです。)

港湾空港課
-5.4.10
受付

受付番号:9675164
申請日:令和05年04月10日

番号	項目名	入力内容
1	応募者名(個人または団体)	[redacted]
2	応募者名(ふりがな)	[redacted]
3	住所	[redacted]
4	性別	男
5	年代	50代
6	電話番号	[redacted]
7	プレゼンテーション参加の可否	否
8	以下にアイディアを記入してください。	1. ボードウォークを魚類市場まで延長する。錦江湾に面し、桜島を最もよく眺めながらわが県でも屈指の市民の散歩・ランニングコースとして観光客の散策コース(別添Ⓐ理想コース)として整備する。ボードに有料(1人1000円)で名入れなどができる施策(別添Ⓑ苗場イベントウォーク画像)を行い市民参加型のウォークとすることで県民からの愛着も向上させる。 併せてコースの中に幅と強度を確保し週末や催事開催時には、キッチンカーや屋台の出店が出来るようなエリアも設ける。 2. 跳ね橋の設置ボードウォークの中ほどにあるのが一番理想だが、人力でも開閉可能な跳ね橋(別添©ハウステンボスのゴッホ橋画像)を設置し、景観の魅力をアップさせる。(別添Ⓓ想定設置箇所) 3. われは海の子歌碑移設とステージの設置。現在祇園之洲にある同歌碑を移設し、わが県出身の宮原晃一郎氏にスポットを当てる。併せてステージも設けることにより「われは海の子」の合唱コンクールもしくは大声コンテストを行うイベントを育て上げる。 以上です
9	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	Ⓐボードウォーク理想ルート.png
10	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	Ⓑ苗場インデペンデンスボードウォーク.jpg
11	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	©ゴッホ橋.jpg

12	別途資料を添付する場合にご利用ください。（各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで）	Ⓓ跳ね橋想定箇所.png


204
いおワールド
かごしま水族
北埠頭旅客ターミナル
ウォーター
フロントパー
鹿児島 - 西之表
南ふ頭旅客ターミナル
種子・屋久高速
旅客ターミナル
鹿児島市中央卸売
市場魚類市場
216
海洋食堂 海神の郷
高価
市場食堂 城
25
ミノ・ピザ
児島南林寺店
Google



みしまフェリーのりば
鹿児島旧港北
防波堤灯台
ウォーターフロント
パーク公衆トイレ
ウォーター
フロントパーク
それほど混んでいません
港岸交番

港湾空港課
-5.4.10
受付

103

受付No.（事務局記載欄）

[redacted]

氏名	([redacted])		住所	[redacted]	
性別	男	年代（○歳）	10歳未満・10代・20代・30代・40代・50代・60代・70代・80代以上	電話番号	[redacted]
プレゼンテーション参加の可否（○歳）			可	否	

※ 次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，氏名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※ 氏名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※ 応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※ 応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※ 提出された資料については，返却いたしません。
※ プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※ 次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※ 募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665 FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム(e(いー)申請)」
URL: 【P（後日確定）】

103

受付No.（事務局記載欄）

[redacted]

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

桜島とドルフィン跡地の活用は
今後の鹿児島に大きな繁栄をもたらす
ことと思います
港町は人が集う所です食と健事
祭りごとなど多様な海のイベント等
に力を注ぎ観光立県鹿児島の
発展に役立てて欲しいです
体育館など競技場は鴨池や
谷山等の方でも良いと思います
宜しく頼みます海を活かして桜島発展
を祈念します。

※任意様式に記載して頂いても構いません。

FAX 286-5629

港湾空港課
-5.4.10
受付

受付No.（事務局記載欄）	108

「鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア」
応募様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

応募申請書

①［redacted］ ②［redacted］

③女 ④70代 ⑤［redacted］

⑥プレゼンテーション参加（希望）いたします

アイディア

「スタジオジブリとのコラボによるテーマパーク」案

※任意様式に記載して頂いても構いません。

［redacted］ 1/5

スタジオジブリとのコラボによるテーマパーク案

このような機会をいただきありがとうございます。

鹿児島を観光された県内外の方々の感想の中で２点注目しました。

・桜島が想像より近くて驚いた。

・子供連れで一日過ごせる場所がない。

活火山と間近で共存しているという唯一無二の景観を活かし老若男女、子供たちはもちろんお体の動きが制限される方や高齢者、どなたでも長時間楽しめる場所として、スタジオジブリとのコラボによるテーマパークを提案いたします。

アニメは今や日本が世界に誇る知的財産です。中でもジブリ作品は、歴代興行トップテンに複数ランクインしています。外国にも有名なジブリの名前が付けばインバウンドも期待できますし、何より県民の方がワクワク楽しめる空間になると思います。といっても全作品を網羅するのは気の遠くなることですし、すでに愛知県で作られています。

なので、鹿児島は”桜島と海と空”の景観にマッチする”海”作品に特化してピックアップし、楽しい仕掛けのあるシアターやアトラクションで個性を打ち出せば魅力あるパークになると考えます。

「ジブリ・シー」（仮称）とでも申しましょうか。ご想像の上ご検討いただければ幸いです。

[redacted] 2/5

1　具体的建築物案等

（1）シアター・・・有料・ワクワク仕掛けあり。（図１参照）

・ジブリ作品の上映　　・中央席に車イス席設置

・鹿児島の PR 動画　　・防音ガラスの親子ルームで気兼ねなく視聴

（2）フード&キャラクターグッズ・お土産品他パブリックスペース

ジブリ飯・郷土飯・ファストフード・室内ゲームコーナー

・授乳室

小さい子供連れの人達もゆっくりできるように広くかつ安全を優先.

フード館外では露店もあり・・・縁日風に。

２階建てとし、海からの外観は「千と千尋の神隠し」の油屋風に。

またバルコニーは広くし、フード店は夜まで営業。アルコールも提供することで利益が見込まれる。

2　アトラクション案（全て有料）

（1）園全体を見渡して回れるネコバス電車

（2）「崖の上のポニョ」の絵と旗を掲げた遊覧船

（3）「千と千尋の神隠し」のハクという竜を描いたジェットコースター

ジェットコースターはなるべく誰でも乗れるように制限の低い

５メートル落差程度ながら桜島をめがけて海に落ちる。迫力が売り。

もっとスリリングな落差の大きいジェットコースターの要望が多ければ「紅の豚」の飛行艇とかで。

3　「天空の城ラピュタ」と「もののけの森」をリアル再現（無料）

映えスポットを目指す。

4　子ども体験ゾーン（無料）

・メイちゃんの迷路

・メイちゃんの畑・・・実際に野菜もぎり体験ができる

（とうもろこし、きゅうり、トマト、バナナ等もぎった分だけ有料）

5　遊具（無料）

インクルーシブ遊具・・・動きが制限される方、子ども、大人共に遊べる遊具。

[redacted] 2/5

6　スケジュール案

①企画・渉外実行委員と②構造物・アトラクション実行委員とを分けて選定したほうが進めやすいかと思います。
①については直接交渉にあたるので、ジブリ作品が好きで、かつこの企画に賛同くださる方を若干名、SNSやメディア等で一般公募して参画してもらうのがよろしいかと。企画のクオリティを上げ、ジブリ側に熱意を伝えるためにも重要かと存じます。

許可されたら即着工ですが、入札は一社にするか建物ごとに複数にするか要検討。なぜなら作品の世界観を崩さないようにという留意点が付加されるので手間がかかるかもしれません。
いずれにせよ①と②の世界観と進捗状況を随時把握する総合プロデューサーも必須かと思われます。以上です。

※　スポーツコンベンションにも意見があればということでしたのでぜひeスポーツの講座を常設していただきたいです。
県民なら誰でも公民館講座程度の利用料で学べるように。
「eスポーツの鹿児島」と打ち出せば、県外の方も鹿児島県民になればeスポーツやプログラミングが学べるからと移住してくる方も期待されます。

最後になりますが「桜島と海と空」という鹿児島の財産を残すとともに、「人、人以外の生物、自然」全てを慈しむ愛溢れるジブリ作品にふれながら子供たちが育つことを願ってやみません。ありがとうございました。

[redacted]

図1. シアター(案)

①外観(案)



まちがわ
(街側)より。
「魔女の宅急便」
主人公 キキの実家。

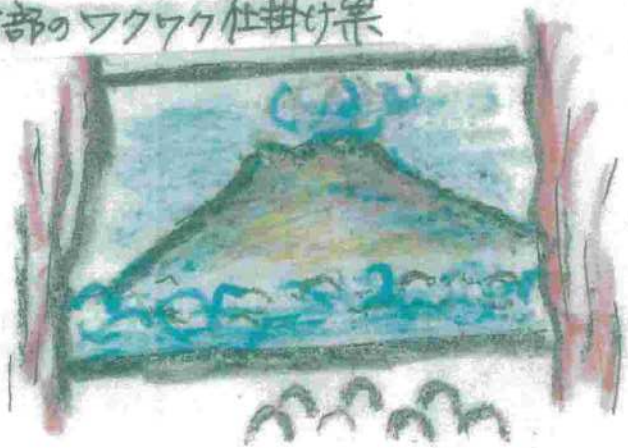


海側より
「コクリコ坂から」
主人公 海(メル)の実家。

航海の安全祈願
という意味の信号旗。
しんごうき

左は搬入口ができる。
右は、家模様の
絵を描いた平面仕様。
経費節約と下記の
理由のため。

② 内部のワクワク仕掛け案



- スクリーンの奥は全面ガラス張りとします。スクリーンとシャッターを開けると桜島が出現。シアターに居ながらにして切り取った絵のような桜島を見る意外性。
- 開閉可能にすれば海風も体感できます。

③ 上映内容(案)

- ジブリアニメ もしくは、
- 三鷹の森美術館のみ上映のショートアニメ。

上のいずれか終映後、左の窓オープンで桜島が現れます。そこでナレーション。

「さあ！あなたも鹿児島の海を飛んでみませんか！」

- 桜島から与論島までのドローン＆水中映像。各島の名物なども イラストで紹介。5か国くらいの翻訳付き。

105

平成５年４月１０日

鹿児島県土木部港湾航空課　本港まちづくり推進室
「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」様

[redacted]

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイデア」について(要望書)

本年３月に入って年度末等のせいかわかりませんが、鹿児島港本港区エリア内での「多機能複合型スタジアム」、「新総合体育館」の設置等についての新聞報道が多くなりました。具体的には、新総合体育館とサッカー場の建設の場所の件だと思います。これまで長期間協議がなされたにも係わらず、今だに結論に至ってないことのようです。そのような事から、鹿児島県において「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイデア」を幅広く県民等から意見を募集するという情報を目にしましたので、一般的な知恵しか出せない一市民ですが、下記のとおりご提案いたしました。ご検討方お願いいたします。なお、本件については本港区エリア内ということのようですが、総合的な意見ということでエリア以外も含めた要望となりましたのでご了承の程よろしくお願いいたします。

港湾空港課
-5.4.10
受付

記

まず最近の新聞記事の概要ですが

◎３月１１日(土)の南日本新聞によると

スタジアム構想　　白紙撤回現実味増す

鹿児島市が本港区で検討する「多機能型複合スタジアム構想」について、３月９日の鹿児島市議会産業観光企業委員会で

①県側は、ＤＰ(ドルフィンポート)跡地は景観確保などを理由に保全する方向で議論を進める、ということで、市長は市議会本会議で「厳しい」状況と答弁せざるをえなかった。また２日の県議会本会議で知事も「厳しい状況」と踏み込んだ。両トップが「厳しい」と共通認識を示したことで、ＤＰ跡地は困難との見方が一気に広がった。

②残る住吉町１５番街区は敷地拡張の難題がある。この地域は、敷地拡張が必要であり需要予測から赤字である。鹿児島商工会議所はスタジアム以外の活用を提案している。ただ本港区エリア利活用検討委員会での議論対象に県がスタジアムを残しており、市も引き続き本港区で検討する考えを明らかにした。という内容。

なお、スタジアムの整備計画については、県が１９９０年(平成２年)策定の県総合基本計画に球技スポーツ専門施設の整備を明記してから議論されることとなったようである。これまでの経過を新聞紙上から判断すると、なかなか県・市の双方の意見がおりあわず、「オール鹿児島」はほど遠い状況であると思わざるえない。

◎３月２８日(火)の南日本新聞によると

新体育館論争熱気欠く　　賛成派及び腰・域外無関心

３月３１日告示、４月９日投票の鹿児島県議選の政策論争の中で、県がＤＰ跡地で計画している新総合体育館(スポーツ・コンベンションセンター)整備や鹿児島港本港区の街づくりに関しては、県議会での熱気ある議論から一転してトークダウンしていると。特に、賛成派の立候補者は問題提起に及び腰とみられると。県屋内スポーツ競技団体は、ＤＰ跡地への体育館整備賛成派である。なお、体育館整備に反対するＮＰＯ法人は、本

港区をどう活用したらいいのか県のビジョンが感じられない。２５０億円もかかる体育館整備事業に関心をもたないのは不思議、と積極的な発信を求めている。また、鹿児島市以外の選挙区では関心度が一層低いという候補予定者もいるようである。スポーツ施設、会議場、景観を生かした観光振興、芸術・・・。さまざまな活用のある可能性がある本港区の問題を議論する絶好の機会となる選挙が注目される、としている。

◎３月２８日　テレビ放送で

「鹿児島港本港区エリア利活用検討委員会」で協議がなされ、ＤＰ跡地での市のサッカー等スタジアム整備構想は厳しくなった、と夕方のテレビで報道がなされた。

◎３月２９日(水)の南日本新聞によると

ＤＰ跡の緑地保全を再確認

会合で委員からサッカースタジアム等の建設については、鹿児島の誇りである桜島の景観を遮断してしまう等の否定的な意見が出され、隣接するウォーターフロントパークを保全することを改めて確認した。そういうことから鹿児島市が設置を進めているＤＰ跡地での鹿児島市の「サッカー等スタジアム整備構想」は厳しい、と。

上記のとおり短期間にＤＰ跡地、隣接する緑地(ウオーターフロントパーク)の件について報道がなされ、とりあえずＤＰ跡地、ウオーターパークでのサッカー等スタジアム整備構想は白紙になったということになったと思っている。これまでいろいろ議論がなされたようだが、一市民として思うのは委員からも発言があったとおり、この地に鹿児島の誇りである雄大な桜島の景観を遮断してしまうようなサッカー場等のスタジアムの整備構想が提案された事が理解できない。多くの鹿児島市民、県民の思いが無視された提案ではなかったのかと思っている。

これまで協議された内容の報道等から、市と県、つまり行政と行政との歯車がかみあってないことが大きな原因ではないかと思われる。行政は単にサッカースタジアム、体育館を作ればいいと思っているだけではなかったのかと疑問を感じる。県民の多くがスポーツができる人達だけではない。また施設ができてもどのくらいの人たちが観戦に行くだろうか。そのような事を想定すると多くの市民、県民の意見が無視された提案ではなかったかと思う。またこの地に体育館、スタジアム等の大きな施設(箱物)を作れば、鹿児島市民、県民はどのように思うだろうか。鹿児島県民にとって雄大な桜島の景観が大きな建物を作れば遮断されるという思いはなかったのか。この検討されているドルフィンポート跡地は、鹿児島の玄関ともいうべき鹿児島市民、県民にとって他にない景勝の地はないかと思う。県民が気軽に立ち寄り心身を休めくつろげるようなオアシス的な場所でなくてはならないと思う。これまで観光協会、旅行業、ホテル業の総会や会議等で「住んでよし、訪れてよしの街づくり」という標語を挨拶文の中で何回か使ったことを記憶している。そこに住んでいる住民に親しまれる場所は、観光客もきっと増えていくと思われる。九州では、佐賀県呼子町、宮崎県綾町、大分県湯布院町がかってそのよう町として観光が発展してきたのではないかと思っている。そういう地域においては、住民と観光客との交流も広がってリピーターも増えてきたのではないだろうか。ＤＰ跡地は現在建物も撤去され広々とした空間となっている。この地に立って雄大な桜島を眺めれば地元に長年住んでいる人々もその景観に圧倒されると思う。また鹿児島を離れた方々が帰郷して雄大な桜島が見えると故郷に帰ってきたという実感が湧くものと思う。鹿児島県民であれば誰もが雄大な桜島を誇りに思うし、どこにも負けない故郷の宝物と思っているのではないか。今、この桜島を錦江湾の向こうに真正面から展望できる絶景の地にスタジアム、総合体育館を建設しようと議論がなされているが、若者やスポーツ

の好きな方には、体育館及びスタジアムの建設は必要かもしれないが、多くの市民、県民はそのような施設を建設に賛成するのか非常に疑問である。市民・県民から広く意見を聞いて、市民(県民)にとっては誰でも楽しめるオアシス的な場所、観光客にはまたいつか訪れたい場所となるような施設ができることを望んでいる。具体的施設として県下の観光施設の案内所、飲食等の施設、特産品の販売等の施設があって、記憶に残る存在感のある象徴があるような施設になることを希望したい。

①まずＤＰ跡地入り口にはバス停や貸切りバス、身体の不自由な方の駐車場、観光地巡りしているレンタカーの駐車場を設ける。一般の方には、住吉町１５番街区に大駐車場を建設して、常時大型のイベント等が開催できるような場所に整備する。

②駐車場の裏にスカイツリーや東京タワーのような大規模なものではなく、函館の五稜郭タワー程度の錦江湾、雄大な桜島を展望できるような展望所を設置する。

③タワーの入場門は、鶴丸城の門をアレンジして作り、入場門に大きな標識を掲げる。

④タワーの一階から２階には、県内の観光地の案内所、レストラン等の食の施設、特産品等の販売施設等を設ける。

⑤海、桜島の見えるタワーの前面には、簡単な遊具施設等も備え、楽しく過ごせる交流・散策ができるような場所に整備する。

⑥隣接している水族館の利用客増加のための施策の検討。

⑦最近錦江湾を周遊する桜島丸の「よりみちクルーズ船」が幕を閉じたが、鹿児島県民のみならず、これから修学旅行、観光客の増加等を見込んでクルーズ船の復活について検討する。

このような施設を作ることによって、ＤＰ跡地は「ようこそ鹿児島の玄関」として知名度を上げ、県民、観光客からも好評され、末長く鹿児島の玄関として重宝されるのではないかと思っている。県外、海外からの観光客については、この場所を訪れ、観光案内等を見て市内、県内の観光地巡りをしていただける出発点となっていくのではないかとも思っている。また、大型クルーズ船の乗客には、マリンポートからＤＰ跡地まで運行する臨時的バス路線を設定し、２～３時間でもオアシス的場所でくつろいでいただくような提案も考える。

ここ２～３年コロナ禍の影響で全国的に人の動きが少なかったが、これから国内のみならず海外からの観光客も非常に期待できると思う。特にインバウンドについては、外客誘客のためこれまで政府によって１０００万人を目標として実施されたビジットジャパンキャンペーン(YOKOSO ＪＡＰＡＮ)がなされ外客が増えるようになった。また、特にお隣韓国とは日韓共催ワールドカップサッカー開催前の１０年ぐらい前から、九州では「日韓海峡観光振興会議」を韓国・日本(九州)との間に隔年で開催し、官民一体となって相互交流の増加をめざしてきた経緯がある。なお、キャンペーン実施しようとする矢先に当時ＳＡＲＳが発生し、キャンペーンの実施が５か月程度遅れ予算執行等に非常にたいへんだったと記憶している。釜山での会議で第１４代沈壽官さんに故郷である韓国への思いについて基調講演していただいたことがあった。豊臣秀吉から陶工として薩摩に連れてこられた子孫として、母国韓国を想いながら生活していた先祖の方々の苦しみ等について講演をされたが、多くの出席者が涙を流しながら聞いたことを覚えている。このビジット・ジァパンキャンペーンでは九州においては、韓国からは教育関係者、ゴルフ愛好家、中国からは飛躍的発展をしている深セン市の建築関係者、台湾から雑誌記者等を招請し、その結果として学生の修学旅行、冬のゴルフツアー、インセンテイブ旅行、宮崎、大分、北九州、福岡へのテーマパーク見学等がこれを一気に増加したと思っている。近年においては、国、自治体、観光協会等の努力によって観光客が大幅に増加し、特にインバウンドについては３０００万人を越えるようになってきたようである。

コロナ禍がおちつくと国内観光客のみならずインバウンドが前にもまして一層増え観光立国として一歩一歩近づいていくものと期待されている。また、最近大型クルーズ船の寄港もコロナ禍前よりより多くなると期待されているが、大型クルーズ船の寄港については、門司港のホテルで九州クルーズ船協議会が発足してから各自治体や観光関係の方々の努力によって大幅に増えたものと思っている。当初の鹿児島の計画は錦江湾での遊覧等が掲げられたが、こんなにも多く海外から大型クルーズ船が寄港するとは当時予想されなかったと思っている。外客の誘致にはこれまで以上に受け入れ体制の整備が必要と思われる。また、鹿児島への観光客は、産業遺産にも非常に興味があると思われるが、薩摩藩の別邸であった仙巌園(磯庭園)の見学者が最も多いと思われる。特に、磯庭園の反射炉跡が注目されたのは、鹿児島サンロイヤルホテルで開催された産業遺産に係るシンポジウム(パネルジスカッション)の開催からであると思われる。シンポジウム出席者が九州に赴任してすぐで磯庭園も知らなかったので、空港から磯庭園へ直行して第３２代当主(島津修久氏)に反射炉跡の説明をしていただきシンポジウムに参加していただいた。これを契機に長崎の軍艦島等も産業遺産として脚光を浴びるようになったと思っている。また、ＪＲの嘉例川駅についても鹿児島の究極のリゾート「天空の森」で開催された南九州(３県)観光振興会議でＪＲ九州から紹介され、参加者全員で見学してから脚光を浴びるようになり現在も古い駅舎として知られていると思う。

「観光」という言葉は、中国の易経の一文である「観国之光」が語源とされているように、「光」とは、その土地の素晴らしいところを指し、「観光」とはその土地ならではの魅力を見にに行くことではないかと言われている。九州の招請ツアーで一番人気があったのはカルデラのある阿蘇が含まれた観光地巡りだったと記憶している。そういうような事から考えると、いろいろと記載したが、やはり鹿児島においては雄大な桜島の展望が観光の目玉であると思われる。それに付随して温泉、焼酎、黒豚等のおいしい料理ではないかと思うし、多くの鹿児島への観光客のおもてなしの門の役割となるのがやはりＤＰ跡地ではないかと思われる。そういう事からこの地には、県、市、商工会議所それぞれの意見があるようだが、市民や県民のオアシス、観光客にとっては雄大な桜島を目前に展望できる場所として、鹿児島商工会議所が提案しているスタジアム以外の活用が適切な考えではないかと思っている。そのような事で上記のような提案を述べたが官民一体となってオール鹿児島で半永久的に人が集まり、訪れる誰もが楽しめる器を構築していただきたい。なお、４月６日に県議選の選挙公報が各家庭に配布されたが、３月２８日の新聞で報道されたとおり、１人の候補者がＤＰ跡に３００億円の体育館はいらない、と公約に上げただけで他には取り組みたい事項に掲げた候補者はいなかった。非常に残念であった。

これまで候補地としてあがったのがドルフィンポート跡地、住吉町１５番地名並びに浜町バス車庫であるが、浜町バス車庫についてはは、所有者から取り下げられているため実質２箇所が候補地となっている。

鹿児島県、鹿児島市、商工会議所の意見を集約すると特に議論されているのはＤＰ跡地利用計画であるが

・鹿児島県の計画は、新総合体育館(スポーツ・コンベンションセンター)
・鹿児島市の計画は、多機能型複合スタジアムとしてサッカースタジアム
・鹿児島商工会議所の計画は、景観を保全考慮してスタジアム以外の活用

これまで本港区エリア地区で議論されていたのが、総合体育館とサッカー場の設置の件と思われる。県営野球場、サッカー場、付属陸上競技場、テニスコートの利用状況であるが、朝、昼，晩に上記競技場を住居から真下に見ているが、野球場については夏・春の高校生の大会等がなければあまり使われることはないのではないか。観客が多いのは

毎年１～２回開催されるソフトバンクホークス戦ぐらいである。今年はおいどんカップが開催され少しは使用日数が増えたと思う。少子化で高校においては募集人数が減り、１校ではチームを作れない学校もあるようである。近くに鴨池野球場もあるが同様に使用回数は少ないのではないかと思われる。ＷＢＣ野球大会でも各地区の代表チームで戦っている。近い将来、高校野球もそのような形態になっていくのではないかと思う。ほとんどが県立高校であり地域振興局毎に代表校を２～４チーム選出し、県営球場で選抜試合をしたらどうかと思う。そういうことになれば鴨池市営球場は必要ないのではないかと思う。ダイエー時代からソフトバンクのファンであるが、これまで県営球場での野球観戦に行ったことがない。部屋からはサッカーも野球も試合が見えている。福岡ドームでの観戦には数多く行っているが、やはりスケールが違うし、迫力がある。かって春の行楽シーズンを前に、ソフトバンクオープン戦の開幕戦に双方の監督への花束贈呈、来場者へ約４万点ぐらいのギブウェアグッズ、抽選で宿泊券、航空券等が当たるイベントとして九州のテーマパークが集結して大キャンペーンを福岡ドームで行ったことがある。（フラワーパーク鹿児島も参加）ドーム型屋内野球場は非常に魅力がある。子供も大人も一緒にわくわくする。ドームの建設は相当の資金が必要である。観客が少しでもわくわくして楽しめるような施設にするため県営球場の整備を計画的にすべきではないかと思う。

サッカー場、陸上競技場も同様に１か月に半分使っているのだろうか。サッカー場については、現在のサッカー場の観客席を増やせばという意見もあるようだがＪリーグの基準がにそった最低限の基準に見合うような整備をすればよいと思われる。サッカー場や陸上競技場は周りに住む者にとっては迷惑な面もある。声援が大きくてうるさい。マイクの音が大きすぎる。そういう面を考慮した方策（改善）についてもお願いしたい。また、大きな試合、イベント等が行われると駐車場の確保がたいへんと思われる。近くの店舗は警備員を雇い大変のようである。駐車場の確保についても対策を講じてほしい。そういうこと等を考慮して、サッカースタジアム、総合体育館、駐車場等について下記のとおり、候補地を記載したので検討方よろしくお願いします。

なお、観光振興の意義、観光関係施設の設置等について多く意見を記載しましたが、これはＤＰ跡地の利用について、市、県の行政機関から観光関係への整備等の強い意見がなかったので、観光はすそ野の広い大切な産業であり、鹿児島県の総合的発展に大きく寄与するものであるとの思いから記載したものであります。

サッカースタジアム、総合体育館の候補地　DP跡地については上記のとおり。

構築物	場　　所	整　　備　　等
サッカースタジアム	①白波スタジアム	Ｊ１の参入基準である屋根、観客席等がクリアーできるように改修する。スタジアムの新設には多額の資金が必要であり、これからの社会を考えると多くの県民から賛同されないのではないか。
	②浜町バス車庫に新設	①案が無理であれば浜町バス車庫に新設する。土地所有者が取り下げたが、この地は桜島の景観を遮断する地でもなく町の中心部でもなく適地と思われる。サッカー場へ多くの人が集まるが、来場者の交通の拠点としても活用できる。各方面へのバスの運行も可能であり、ＪＲ駅、市電駅まで遠い距離でない。福岡ドームも地下鉄の唐人町駅か

		ら多くの人が徒歩できている。これからの社会は公共交通機関の果たす役割が大きくなると思われるが、現実は非常に厳しい。公共交通機関を利用するためのひとつの方策となれば、将来に向けて大きな希望がもてる。土地の所有者への丁寧な説明とご協力のお願いが必要となる。
総合体育館	①鴨池野球場	この地は本港区ではない。現在の体育館が古く狭いということでの新体育館設置の要望があるようだが、やはり現在ある近くの場所がいいと思われる。野球の試合については与次郎の県立球場をフルに使い、この地に総合体育館を建設すればいいと思う。陸上競技場にも近く、雨天時における使用についてもいろいろと活用でき利便性があると思う。
	②浜町バス車庫への新設	サッカースタジアムが設置されない場合、新総合体育館としても最適地と思われる。理由としてはサッカースタジアム設置と同じような好条件と思われる。同様に土地の所有者への丁寧な説明とご協力のお願いが必要である。
駐車場の確保	①現体育館の跡	与次郎地区には、野球場、サッカー場、陸上競技場、また近くに県体育館があるが、大きな試合、競技等がある時は駐車場が不足している状態である。この地域は平成１８年頃から住宅地となり大きなマンションが数棟建設され、多くの住民が住むようになっている。大きなイベントがあると車が溢れ渋滞している。駐車場がなくて路上駐車が増えて住民には非常に迷惑である。近くの店舗ではイベントがある度に警備員を増やして苦労されているようである。打開策としては、大型駐車場の整備が必要と思われる。そういうことで駐車場として県体育館の跡地を検討していただきたい。
	②県庁前面の空き地	確か県所有の土地で現在有料駐車場として利用されているようである。当初ＭＢＣグランド用地を買収して総合体育館建設の予定であったが買収がうまくいかず現在の状況になったと思っている。その時、県所有の土地に駐車場をという要望がだされたが県庁から桜島が見えなくなるということで廃案となったと記憶している。県丁の最上階からは桜島は展望できるだろうし、通常は職員は仕事をしている。駐車場を建てると桜島が見えなくなるからという当時の考えは納得できない県民が多かったのではないか。体育館の跡地が駐車場として無理なら与次郎地区体育施設の使用者のために、この地に多階式の大型駐車場を作り体育施設の利用者の利便を図ってほしい。

106

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを募集します！(アイディアを直接入力できる専用ページです。)

港湾空港課
-5.4.11
受付

受付番号:9686961
申請日:令和05年04月11日

番号	項目名	入力内容
1	応募者名(個人または団体)	[redacted]
2	応募者名(ふりがな)	[redacted]
3	住所	[redacted]
4	性別	男
5	年代	50代
6	電話番号	[redacted]
7	プレゼンテーション参加の可否	可
8	以下にアイディアを記入してください。	鹿児島市本港区の活用について 鹿児島のシンボルである桜島をこんなに綺麗に望める場所は本港区以外にありません。 現在、駐車場も整備されていて、たくさんの市民、県民、観光客が利用している実績もあります。 そもそもの話、鹿児島市民の何パーセントが鹿児島ユナイテッドFCを必要又は応援したいと考えているのか？ J2、J1へ昇格する希望や実力はあるのか？などの疑問も拭えません。 選定委員の皆さんも長期にわたる場所の選定や諸問題の対応などで疲弊してしまって、早く決まってほしいの一点なのではないかと感じています。 では、本港区とドルフィンポート跡地の活用をどうしたほうがいいかですが、私の考えでは、ウォーターフロントパークは今のままで、ドルフィンポート跡地には「おいどん市場」さんを誘致すればいいと考えています。一企業になってしまいますが、現在のおいどん市場さんを見ても、平日週末にかかわらずお客様が多いし、年末年始も賑わっています。市内県内の特産物が集められているので、観光客にも好まれる業態だと思います。 委員の皆様におかれましては、大変ご苦労だと思いますが、多くの市民県民が納得出来る結論が出ることを望んでいます。 サッカー好きだけのためのスタジアムはいらないし、犬と散歩が出来る公園を残してほしいです。
9	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	

10	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
11	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
12	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	

港湾空港課
-5.4.12
受付

107

応募申請書

(ふりがな) 応募者名 (個人・団体)	([redacted]		住所	[redacted]	
性別		年代 (○で囲む)	10歳未満・10代・20代・30代・40代・50代・60代・70代・80代以上	電話番号 (団体の場合は担当者名も記載)	[redacted] (担当者名　　)
プレゼンテーション参加の可否(○で囲む)		可　・　否			

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

〆切 4月17日

【提出先・お問い合わせ先】

受付 No.（事務局記載欄） 107

「鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア」

応募様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

鹿児島県主都の市街地に広大な土地があるのは
私たちの大きな財産あり、土地利用には関心があり、
体育館・サツカー場も必要あるでしょう。
今施設を作る前提で検討されているように思いま
すが、あの素晴らしい景観を考慮しあの土地利用
について、緑地公園も含め土地利用が何が最も
ふさわしいか検討をお願いします。

※任意様式に記載して頂いても構いません。

港湾空港課
-5.4.12
受付

受付No.（事務局記載欄）	108

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」
応募申請書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（[redacted]）		住所	[redacted]	
性別	男	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・30代・40代・ 50代・(60代)・70代・ 80代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] －　－ （担当者名　　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			可　・　(否)		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム（e(いー)申請）」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

鹿児島港本港区

夢を描くアイディア

目次

1 本港区の将来 (イラスト) ・・・P1

2 本港区の将来 (イメージを言葉に) ・・・P2

3 本港区の将来 (ゾーニング) ・・・P3

4 本港区の将来 (時間軸) ・・・P4

5 総合体育館と周辺のイメージ・・・P5

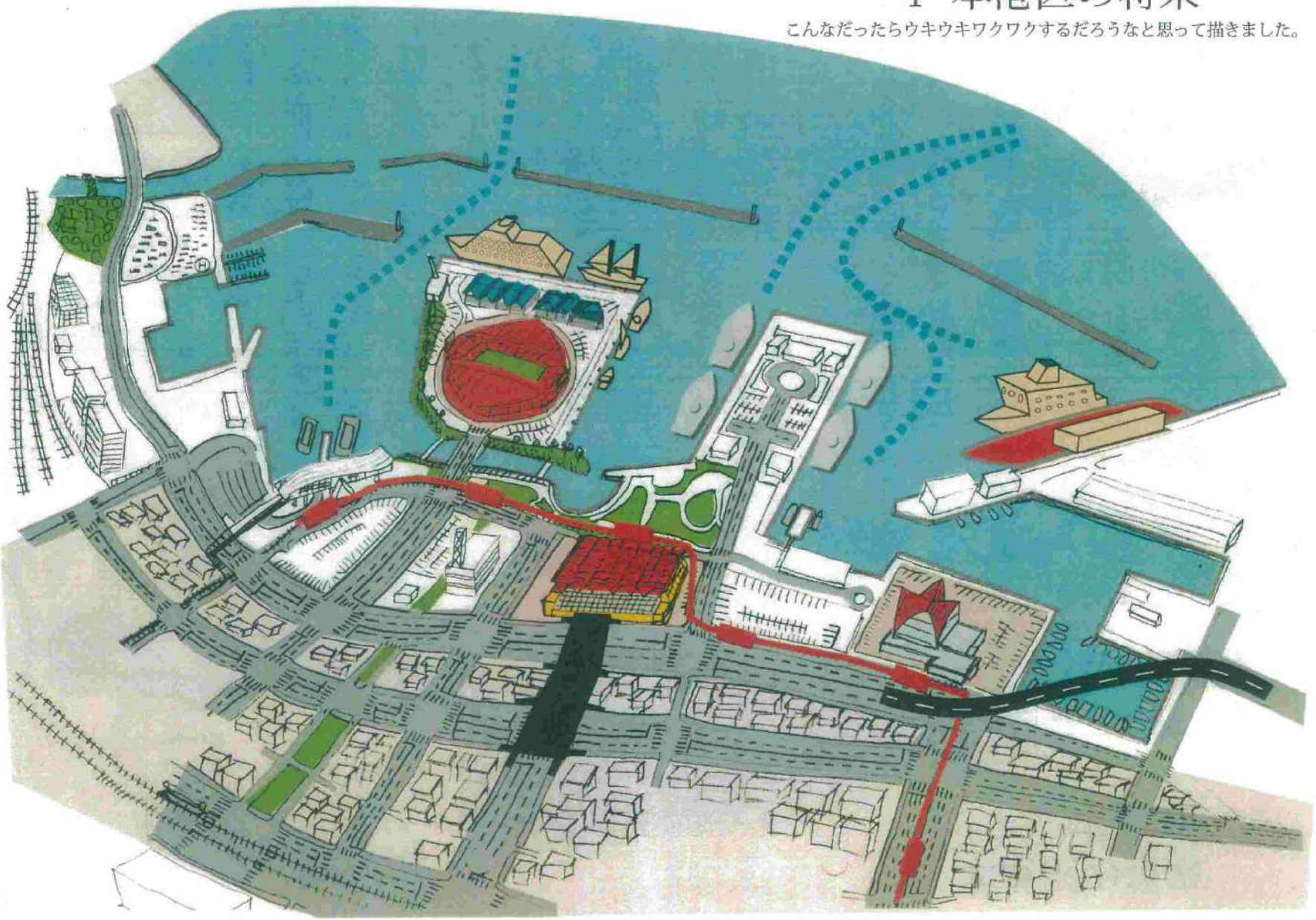
6 ペデストリアンデッキのイメージ・・・P7

7 北埠頭と周辺のイメージ・・・P8

8 住吉 15 番街区と周辺のイメージ・・・P10

1 本港区の将来

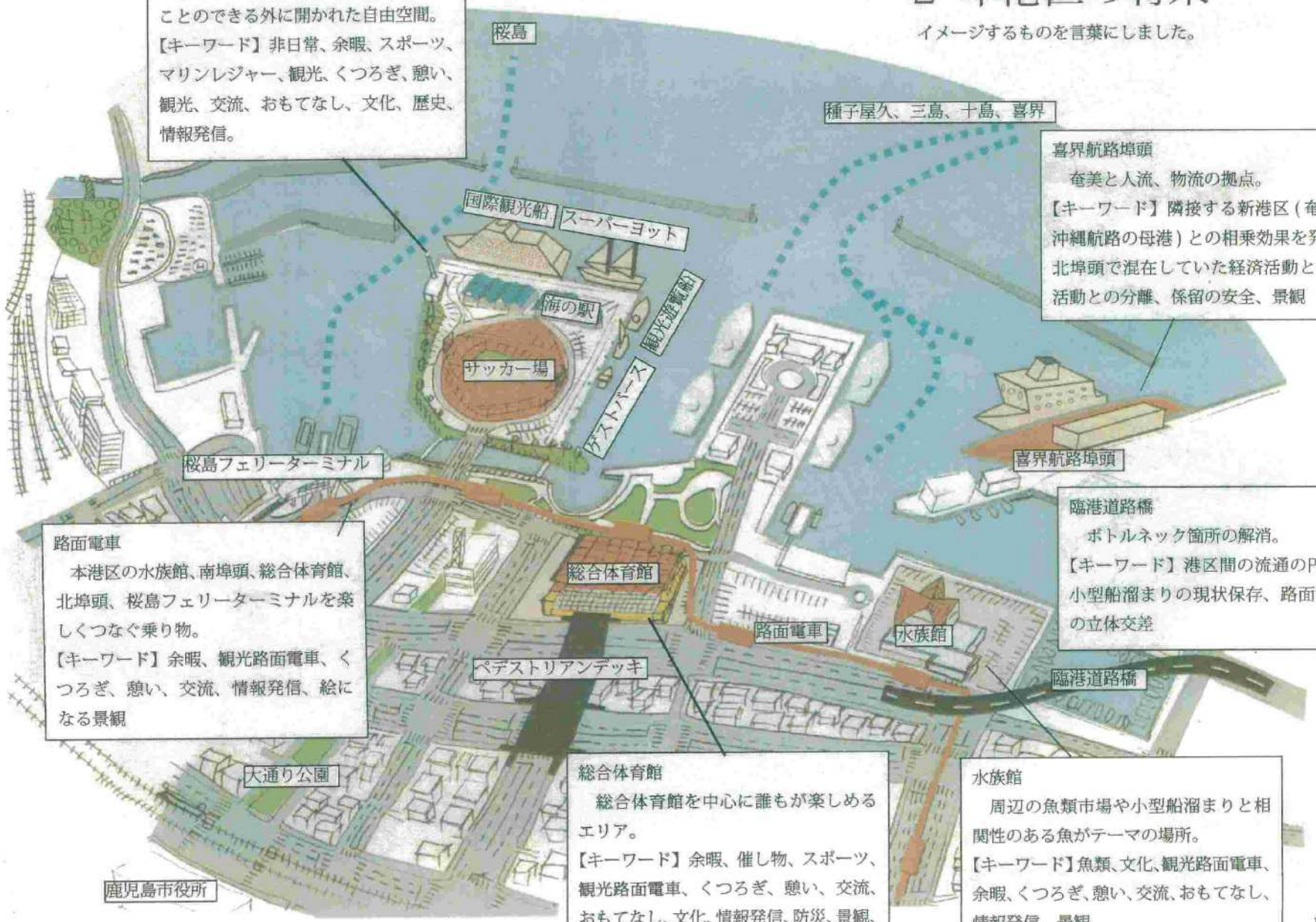
こんなだったらウキウキワクワクするだろうなと思って描きました。



P1

2 本港区の将来

イメージするものを言葉にしました。



北埠頭

海を隔てて雄大な桜島を間近に見ることのできる外に開かれた自由空間。

【キーワード】非日常、余暇、スポーツ、マリンレジャー、観光、くつろぎ、憩い、観光、交流、おもてなし、文化、歴史、情報発信。

喜界航路埠頭

奄美と人流、物流の拠点。

【キーワード】隣接する新港区（奄美・沖縄航路の母港）との相乗効果を発揮、北埠頭で混在していた経済活動と余暇活動との分離、係留の安全、景観

臨港道路橋

ボトルネック箇所の解消。

【キーワード】港区間の流通の円滑化、小型船溜まりの現状保存、路面電車との立体交差

路面電車

本港区の水族館、南埠頭、総合体育館、北埠頭、桜島フェリーターミナルを楽しくつなぐ乗り物。

【キーワード】余暇、観光路面電車、くつろぎ、憩い、交流、情報発信、絵になる景観

総合体育館

総合体育館を中心に誰もが楽しめるエリア。

【キーワード】余暇、催し物、スポーツ、観光路面電車、くつろぎ、憩い、交流、おもてなし、文化、情報発信、防災、景観、

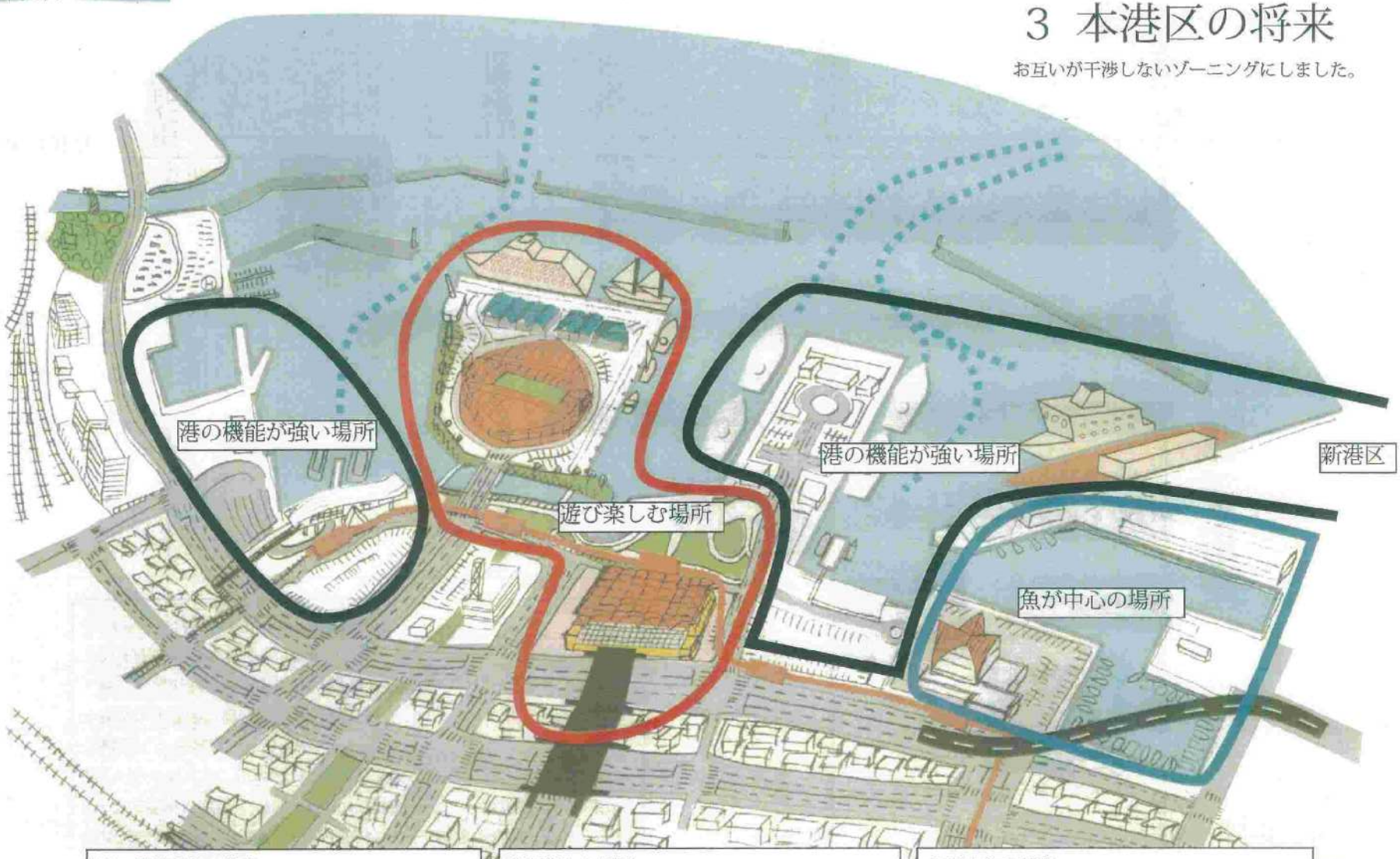
水族館

周辺の魚類市場や小型船溜まりと相関性のある魚がテーマの場所。

【キーワード】魚類、文化、観光路面電車、余暇、くつろぎ、憩い、交流、おもてなし、情報発信、景観

3 本港区の将来

お互いが干渉しないゾーニングにしました。



港の機能が強い場所
物流や人流を扱い、旅客の安全性、利便性、荷役作業の向上を図るため、港湾関係優先の区域

遊び楽しむ場所
スポーツやレジャー、散策等が誰でも自由にできる開放的な区域

魚が中心の場所
魚と関係のある施設を集めることにより、新たな賑わいが創出される可能性を秘めている場所

4　本港区の将来

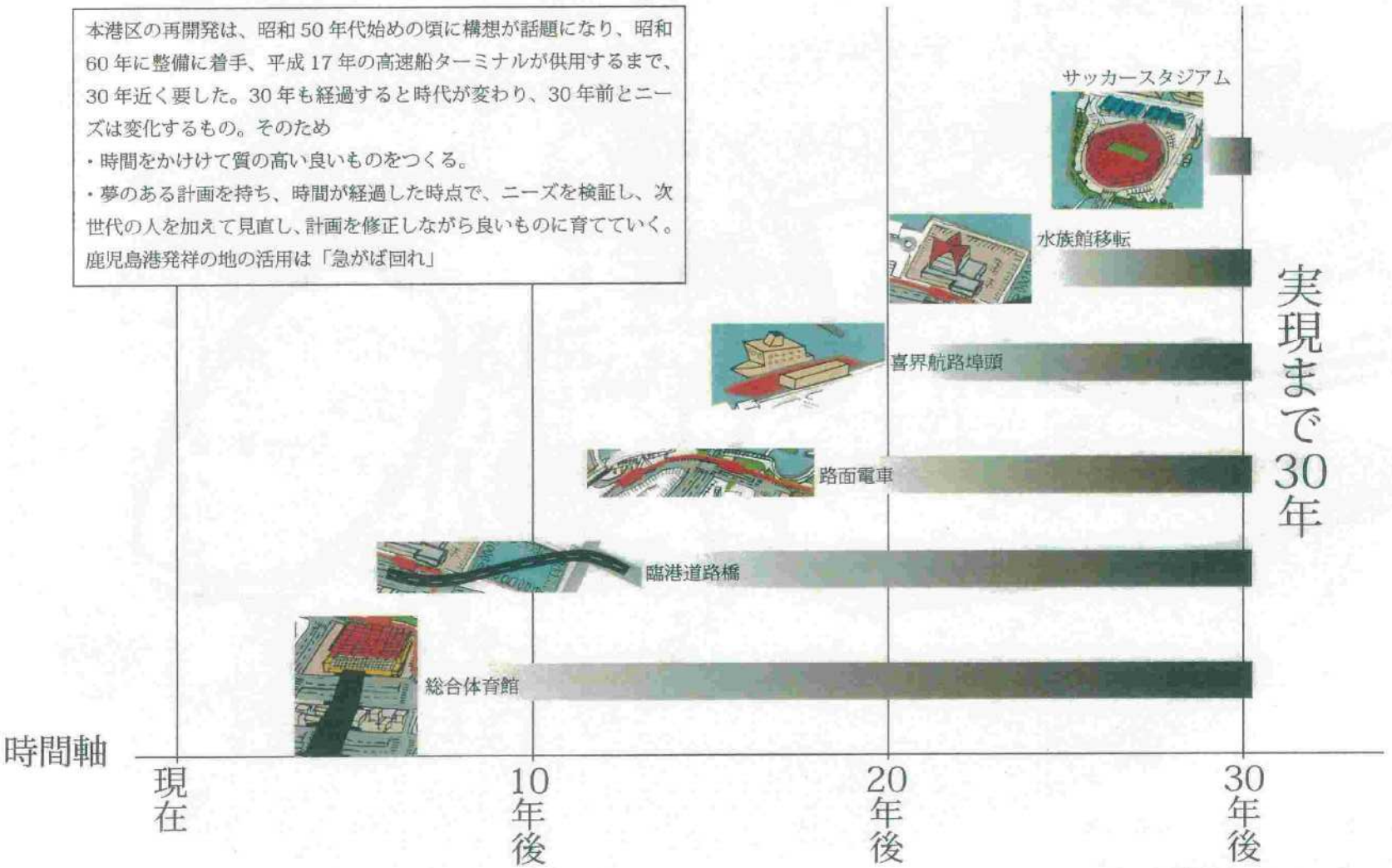
ゆっくり時間をかけて開発すればよいのでは

本港区の再開発は、昭和50年代始めの頃に構想が話題になり、昭和60年に整備に着手、平成17年の高速船ターミナルが供用するまで、30年近く要した。30年も経過すると時代が変わり、30年前とニーズは変化するもの。そのため

・時間をかけけて質の高い良いものをつくる。

・夢のある計画を持ち、時間が経過した時点で、ニーズを検証し、次世代の人を加えて見直し、計画を修正しながら良いものに育てていく。

鹿児島港発祥の地の活用は「急がば回れ」



5 総合体育館と周辺のイメージ

コンセプト「県民が誰でも気軽に憩い楽しめる場所をつくる」
検討する課題と対応案

検討課題

1点目 景観

現在は、臨港道路から桜島や港の様子を見ることができるが、総合体育館ができると臨港道路からはこれまでの景観が失われるとともに、建物の圧迫感が生まれる。

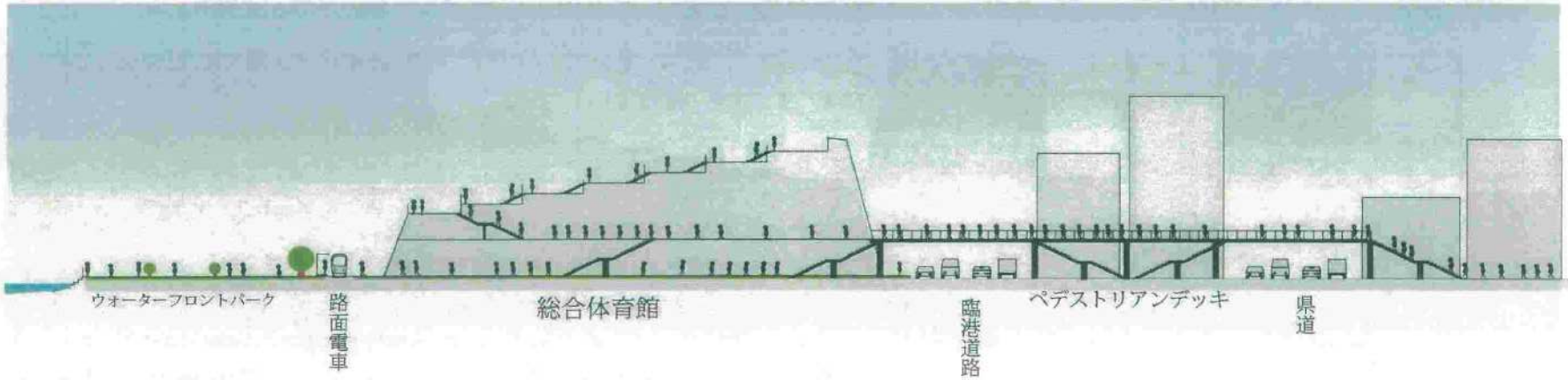
2点目 人の動線

天文館からの総合体育館までの間には、交通量が多く4車線の道路である県道と臨港道路があるため、何千人という観客が徒歩でスムーズに移動する際の妨げになる。

3点目 ワクワク感

総合体育館を中心にして飲食等の店舗は配置は考慮されるだろうが、広い緑地に加え、他にない高揚感漂うここだけの空間を一工夫。

4点目 防災安全



活火山の桜島が目の前にあるため、大噴火が発生した際の噴石、津波、降灰災害への対応、南海トラフ地震発生時の津波、液状化災害への対応。

5点目 少子高齢化人口減少対策

少子高齢化人口減少に伴う影響は、賑やかさよりも優しく支え合い落ち着き成熟した社会が頭に浮かぶ、社会に適合した、いごこちのよい配置

提案

1から5の検討課題に対応する対応案

提案1 総合体育館屋上に展望スペースを設置

総合体育館の屋上をパブリックの展望スペースとして24時間開放できる構造にする。

展望スペースは、失われた景観の代替機能。

地上の視点とは違う鳥瞰的な見晴らしが期待できるので、港、海、桜島を眺めてみたい、行ってみたいという気持ちになる。

階段状に展望スペースを設ける。

階段状にすることで、花火大会のときの観覧席、大勢の人が集まる初日の出、美しい帆船、クルーズ船が寄港した時の撮影スポット、ウォーターフロントパークと一体となった野外コンサートの時の観客席等への活用が想定される。

展望スペースに太陽光パネルを設置する。

展望スペースに、歩行可能な太陽光パネルを設置して、総合体育館の電力の一部を補い、省エネ建物にする。

提案 2 ペデストリアンデッキ

天文館からの人の動線の障害となっている 4 車線の県道と臨港道路上にペデストリアンデッキを設け、信号待ちで滞留させずに人の動線をスムーズに誘導する。

ペデストリアンデッキから直接､総合体育館の建物に入ることができる構造にして、人の導線をスムーズに総合体育館に誘導する。

ペデストリアンデッキの設置は、歩道と車道が分離されるので、群衆が移動する際の交通安全性が確保できる。

狭い歩道という機能だけでなく、ベンチがあるような余裕のある広々とした、プロムナード的ペデストリアンデッキを設置する。

道路を跨ぐ新たな景観が生まれ、シンボルになる。高い位置からの視点となり、通ってみたい、景色を眺めてみたいという気持ちを起こす。

提案 3 路面電車

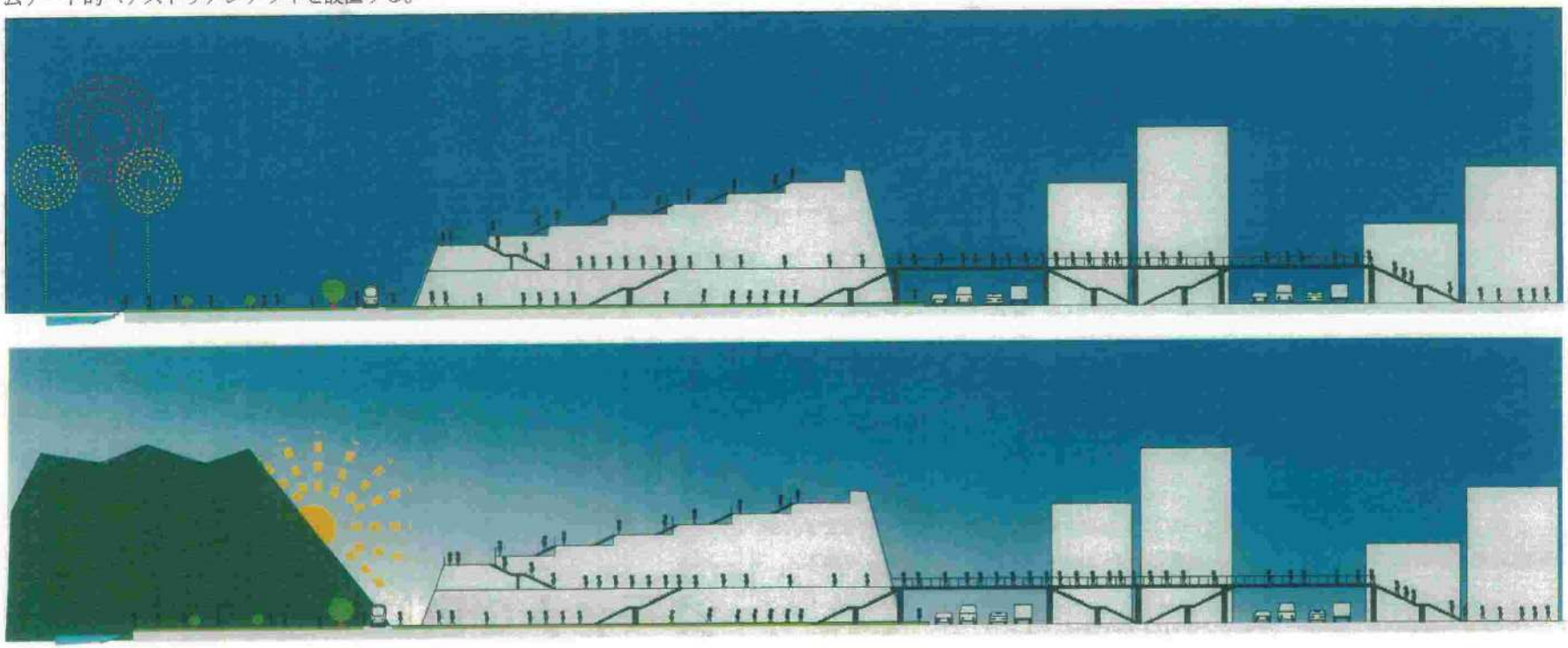
海側の臨港道路をトランジットモールにして路面電車を通す。

臨港道路の物流機能は縮小して、人流機能だけに特化し、総合体育館とウォーターフロントパークの一体化を図る。

路面電車は架線の無い、バッテリーで動く電車にする。

架線の無い軌道にすることにより、桜島を望む景観は阻害されない。。

トランジットモールに歩道と路上カフェを設けると、遊園地のように動く乗り物の路面電車のが走る新たな観光スポットが生まれる。



6 ペデストリアンデッキのイメージ図

ペデストリアンデッキ

天文館と本港区の間には、4車線の県道と臨港道路を横断する必要があり、円滑に人が歩くには、動線の障害になる。

そのため、県道と臨港道路をペデストリアンデッキで立体化し、総合体育館に直接歩いて行けるようにする。

天文館から本港区へのプロムナードとして、ペデストリアンデッキからは平面からとは違う鳥瞰図的な景色と眺望が望めることになるため、新たな観光スポットが生まれる。

ペデストリアンデッキから体育館への入口を正面玄関にすれば、体育館の一階部分は、車両の出入りや資材搬入、駐車場など使い勝手の良い自由度の増すレイアウトが生まれる。

ペデストリアンデッキは、地震や桜島噴火に想定される津波浸水の際の一時避難場所として活用できる。

ペデストリアンデッキの幅を道路幅まで広くすれば、歩道としてではなく、ベンチを設置したり、大道芸人のミニイベントとして活用したり、デッキにパラソルと椅子を並べて路上カフェとして活用したり等、くつろぎスペースが生まれる。

ペデストリアンデッキは花火大会の時の観覧スペースにも活用できる。

ペデストリアンデッキの設置は、人の安全で円滑な移動として有効であるだけでなく、ペデストリアンデッキ下の横断歩道を廃止すれば、県道、臨港道路の安全で円滑な交通流の確保にもつながる。



7 北埠頭と周辺のイメージ

北埠頭は、出島（人口島）であることから、長崎の出島のように
・外国との交流拠点
・国内外の人たちとスポーツを通じた交流拠点
・鹿児島港の表玄関口
等、誰もが非日常を楽しめる賑わいのある空間をイメージした。

このようなイメージにするために、既存の施設については

喜界奄美航路

コンテナ貨物、フォークリフト、トラックが行き交うなど、物流活動のためには、立入禁止の場所が必要。そのため、余暇活動の場所との棲み分けをしなければならず、目指すイメージの障害になる。

元々、北埠頭は、離島航路の集約を目指したが、付近は潮流が早く船舶が接岸係留する上での安全性への不安やコンテナ貨物を扱う荷役形態への変化等により、集約することで生じる懸念から、計画通り進まなかった経緯がある。

また、コンテナ貨物の荷捌き風景は、使用感のある赤錆びたコンテナが集積するため、桜島を望む鹿児島港の美しく絵になる非日常の景観には似合わない。

そのため、喜界奄美航路は、別途、安全に係留できる埠頭に移転する。

水族館

平成９年に開館した施設であり、四半世紀経過している。いずれ、大規模改修や改築する時期が来るため、その際は、住吉 15 番街区への移転を提案する。

具体的な活用策については

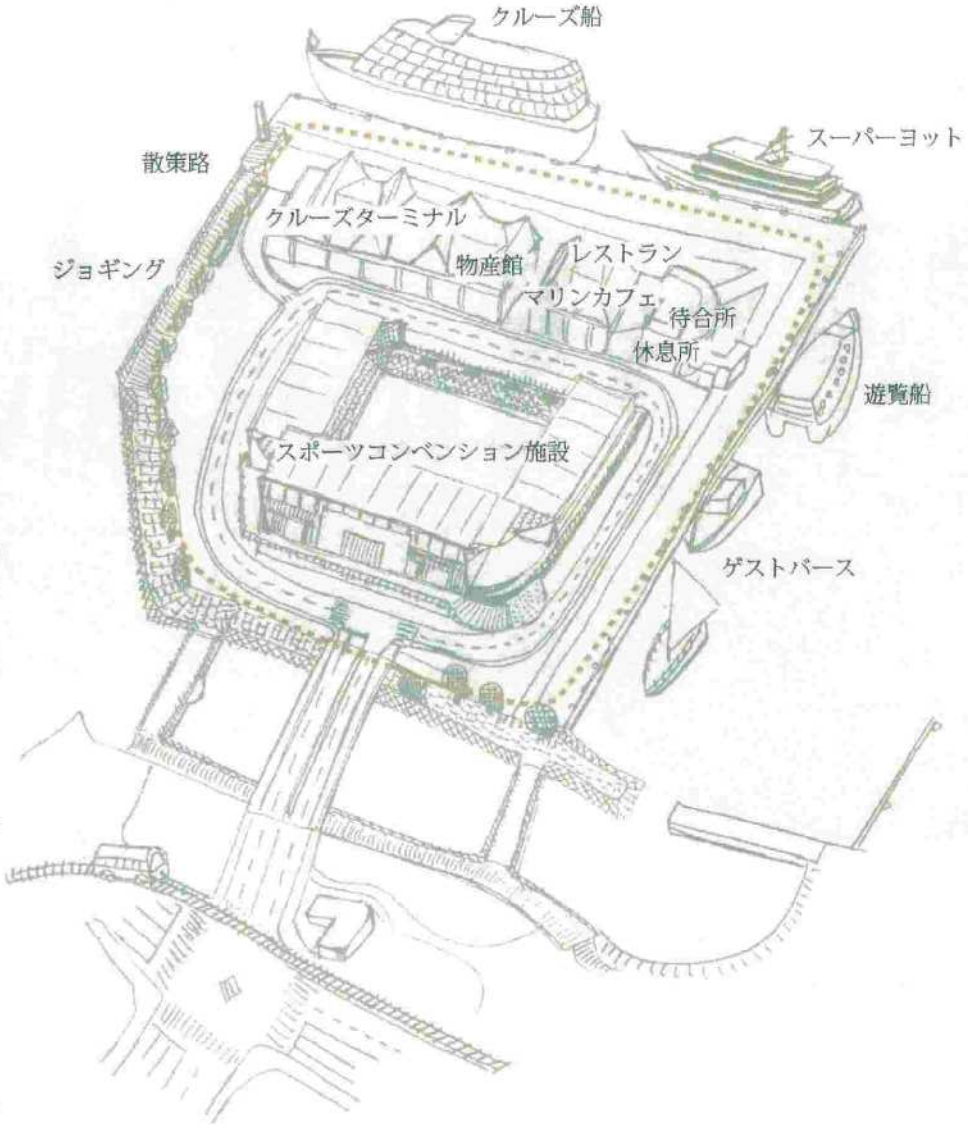
スポーツコンベンション施設

鹿児島で誇れる立派なスポーツ交流の拠点を作る。

クルーズターミナルと物産館

既存倉庫を改修し、クルーズターミナルと免税品も扱う観光物産館を設置する。

併設し、海外との交流拠点施設にする。



観光物産館は、鹿児島県に観光で訪れた方への案内所としてこれから目的地に行く前の予備知識と魅力を伝える施設にする。

観光物産館は、車で訪れた観光客も対象にできる道の駅の役割をもたす。

食事のできるレストハウス・マリンカフェ

スーパーヨットやプレジャーボートで訪れた観光客や見学に訪れた訪問客がくつろげる施設を配置する。

待合所・休息所

北埠頭ターミナルを活用して、観光船の待合所や桜島に最も近い場所からの景色を眺めるために訪れた観光客の休息スペースとする。

係留施設

係留施設は、クルーズ船、スーパーヨット、遊覧船、プレジャーボート用ゲストバースとして活用し、非日常の船舶が集まる場所とする。

散策路・ジョギングコース

北埠頭の海沿いをぶらぶら歩くことのできる散策路として、ジョギングできるコースとして活用する。ここでしか見ることのできない珍しい船舶や間近に望む桜島の景色、変化に富む港の景色を眺め、癒やしの空間として散策やジョギングを楽しむ事ができる。

整備の手法

クルーズターミナル、物産館等の施設

既にある倉庫とターミナルをPFI等の民間活力により改修し、施設運営を委託する。

スポーツコンベンション施設

水族館の移転が前提になることから、建設場所だけを先に決めて、水族館移転後の建設着手までに、必要な資金調達を行う。スポーツの聖地となるような施設を将来建設するための資金は、税金以外にも、時間をかけて、善意の寄付により調達することが考えられ、寄付をした方は次世代に残す素晴らしい施設の夢を持ち続けることができる。



8 住吉 15 番街区と周辺のイメージ

住吉 15 番街区

住吉 15 番街区は、将来の老朽化に伴う水族館の建て替え場所として提案する。

臨港道路に面する場所にあり、総合体育館など、発生交通量の多い集客施設があるため、大規模集客施設など道路に負荷を与えない施設であることが、幹線道路の交通流の確保にとって大切。

臨港道路にイベント等で渋滞が発生すると、南埠頭の定期航路、特に種子屋久高速船は、定時制の確保が難しくなるリスクを抱える。

水族館を整備することによる発生交通量は、商業施設や劇場、展示場などの集客施設よりも、穏やかなものになると想定される。

住吉 15 番街区付近は船溜まりや魚市場があり、漁が関係する場所であることから、北埠頭の水族館が移転する場所として、親和性がある。これらの施設が相互に関係して魚の食文化を発信すると魅力ある新たな賑わいの場所になると考える。

城南船溜まり

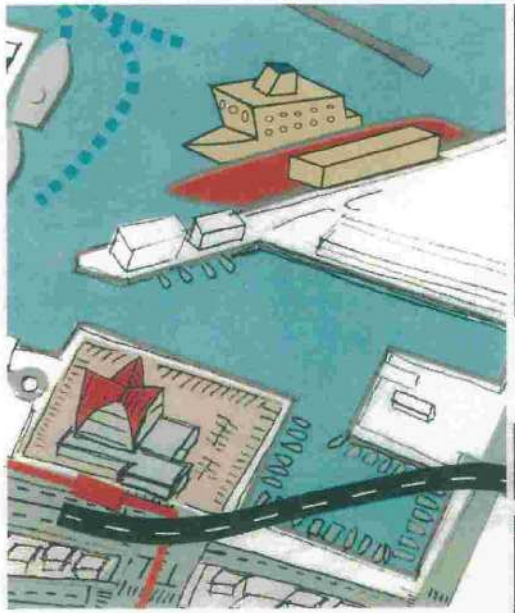
異常時には小型船の避難場所として、地形的に恵まれた波風を避ける最適な場所であり、そのため、この場所は台風接近の際には、数日前から小型船が避難してきて身動きが取れなくなる程、密集する。

船溜まりを埋め立てるには、同等の機能を有する代替地を見つけ施設を整備し移転する必要がある。利用者の協力が不可欠であり、合意形成に時間を要する。現状維持が良いと考える。

あえて、埋め立てる場合の代替地は、後述の喜界航路埠頭の横に船溜まりを整備して移転してもらう事が考えられるが、移転には、異常時に避難場所として使える等、城南船溜まりの機能と比較検討していく必要がある。

喜界航路埠頭

北埠頭にある喜界航路を移転整備する。北埠頭では、安全な荷役が必須である港湾物流機能の確保と賑やかさを求める港湾交流機能の活性化との間に、水と油のような相反性があるため、共存よりは移転整備することを提案する。



喜界航路埠頭
新港区の奄美沖縄航路と同様、人流物流の拠点。
貨客分離の為のボーディングブリッジ、旅客ターミナル、貨物上屋を整備
災害時にも対応できる耐震強化岸壁を整備

臨港道路
城南船溜まりを跨ぐ橋梁を整備

城南船だまり
台風時の小型船避難場所として存続

移転先は、「奄美沖縄航路の母港」としての位置付けがある新港区に隣接し、実質的に新港区と同じ搬入搬出場所となる魚市場背後の水域。

整備にあたっては、貨客分離のため、貨物上屋、ターミナル、ボーディングブリッジ、現在の物流形態に合った荷捌き、更に、異常時にも港湾物流機能を確保するために耐震強化岸壁を整備。本港区にも耐震補強岸壁が設置できる。

臨港道路

現在、クランクになっている臨港道路は、城南船溜まりをまたいで橋梁で結ぶことを提案する。

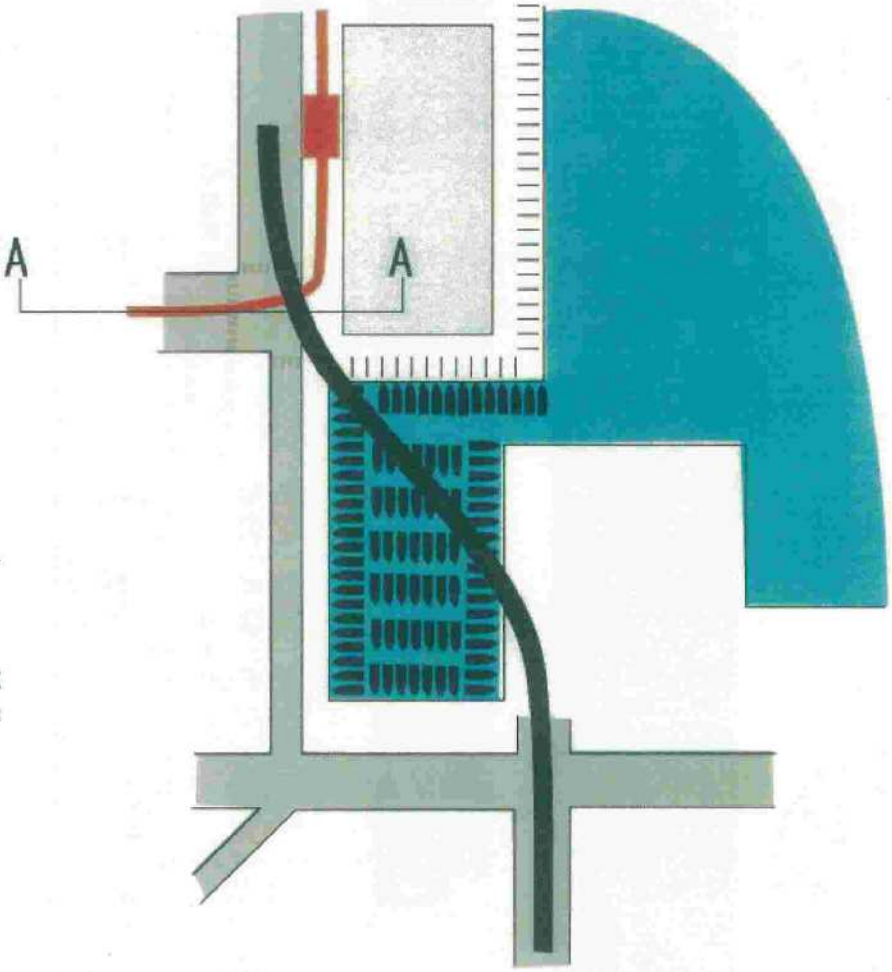
本港区と新港区が臨港道路の橋梁で結ばれることで、港湾物流の円滑化と周辺の渋滞緩和が期待される。

本港区に路面電車を導入する際には、橋梁の下を通ることにより、臨港道路の交通流を阻害しない立体構造が可能になる。

将来どんな災害が発生するか不明だが、平面の道路しか無い本港区周辺において、

A-A 断面





高さのある道路が災害時に何らかの役割を果たす施設になる。

路面電車

パース通りの中央分離帯から県道を横断して本港区に向かうルートを想定した。

臨港道路とは、橋梁をくぐる立体交差とし、本港区内のルートは、住吉 15 番街区～種子屋久高速船ターミナル～総合体育館～北埠頭入り口～桜島フェリーターミナル。

路面電車は、景観を阻害しないように、架線の無いバッテリートラム。

路面電車は、観光電車として遊園地の楽しい乗り物のような魅力を出すとともに、電車が走ることにより、本港区内の各施設の線的な結びつきが強くなるなど、相乗効果が生まれる。

港湾空港課
-5.4.12
受付

受付No.（事務局記載欄）	109

『鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア』
応募申込書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	[redacted]		住所	[redacted]	
性別	男性	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・20代・30代・40代・50代・60代・70代・80代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名　　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			可　・　否		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム（e(いー)申請）」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付No.（事務局記載欄） 109

「鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア」

応募様式

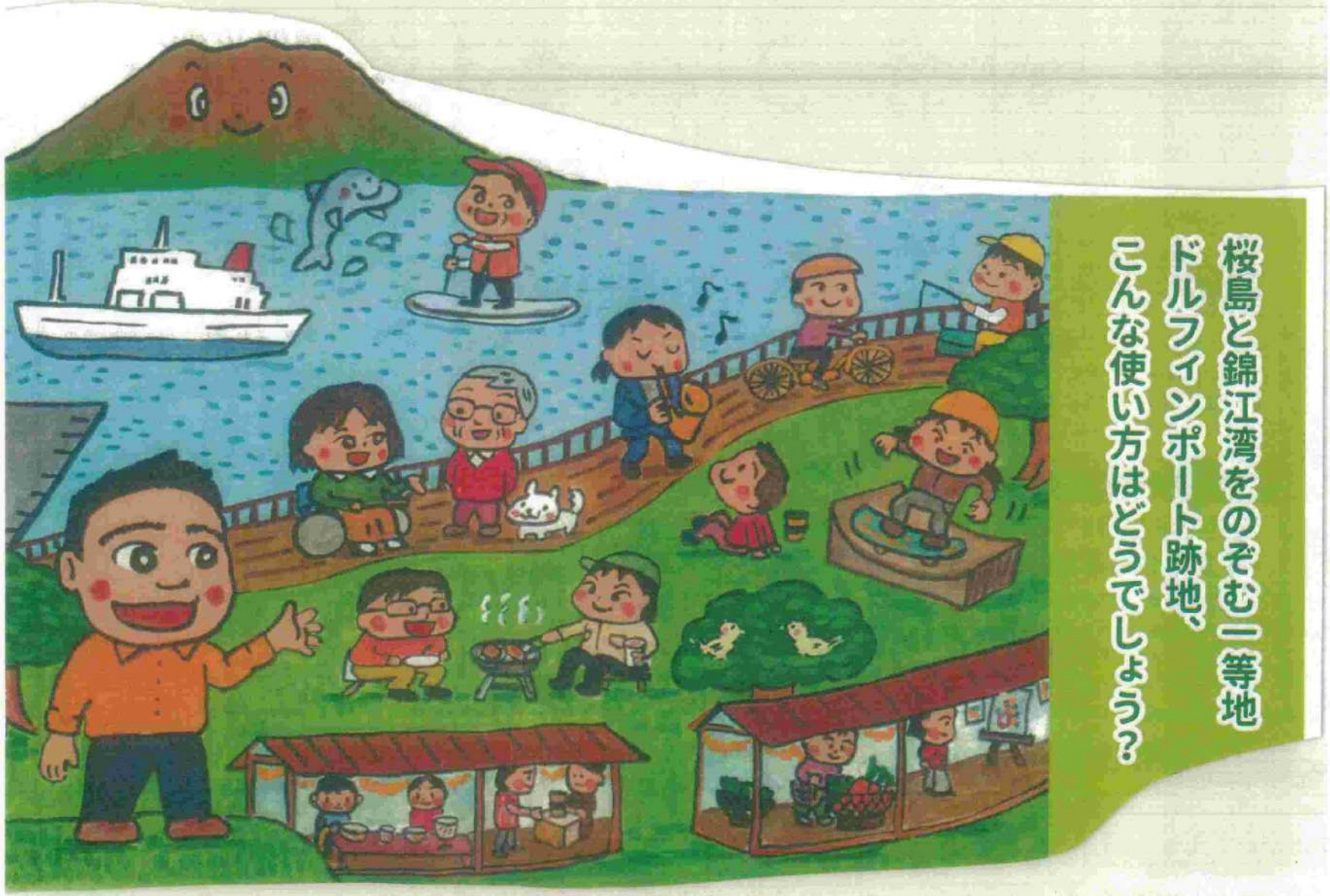
鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

・基本的には景観、親水、大陽との連関・語いの要素のある活用が肝要と考えてイラストを提出いたします。

市民の日常のウェルビーイング、観光んおこしの方がたが歩きまわりたくなるウェーカブルシティのシンボリックなエリアとして、この抜けのある空間ジオパークを一目りょう然ん感じることができるエリアは、高さ30mものハコでつぶさず、レスイズモアのコインド、可変性と周辺一帯との編集可能性と民業圧迫ではなく、

※任意様式に記載して頂いても構いません。

民間の自主、主体や市民の日常使いの大好評が観光人気をひきよせる順番で


桜島と錦江湾をのぞむ一等地
ドルフィンポート跡地、
こんな使い方はどうでしょう？

港湾空港課
-5.4.12
受付

受付 No.（事務局記載欄）	110

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」
応募申請書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（ ） [redacted]		住所	[redacted]	
性別	８７	年代 （○で囲む）	80代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名 ）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）	否				

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町 10 番 1 号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム(e(いー)申請)」
URL：https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付 No.（事務局記載欄）	

「鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア」
応募様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

ドルフィンポート跡地にサッカースタジアムは本港区エリアにいらない。税金の無駄である。
それより，そこには広大なステージやドルフィンポートの復活が良い。楽団や小中学校のバンドを呼んで，ミュージックを聴きながら，海鮮料理や地元の果物を食べる。
北埠頭には世界からスーパーヨットやクルーズ船を呼んで地元にお金を落としていただく。儲かることをしなければならない。

※任意様式に記載して頂いても構いません。

111

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを募集します！(アイディアを直接入力できる専用ページです。)

港湾空港課
-5.4.12
受付

受付番号:9696481
申請日:令和05年04月12日

番号	項目名	入力内容
1	応募者名(個人または団体)	[redacted]
2	応募者名(ふりがな)	[redacted]
3	住所	[redacted]
4	性別	女
5	年代	40代
6	電話番号	[redacted]
7	プレゼンテーション参加の可否	否
8	以下にアイディアを記入してください。	鹿児島港本港区エリアは、鹿児島中心市街地から歩いていくこともでき、桜島を錦江湾の先に望むことができるとても貴重な場所です。 鹿児島のシンボル桜島は陸地からだけではなく、錦江湾内からみてもとても観光的に魅力があります。 今、体育館をドルフィンポート跡地に建設すると提案がありますが、この海辺の景観を無くしてしまうのではと心配です。体育館は景観を損なわない場所に建設していただけたらと思うのです。 ドルフィンポート跡地には、海の玄関口として「にぎわいのある観光館」があると良いと思います。定期的なイベントでも良いので、各地の魅力を体験できるスペースもあれば観光客だけではなく、地元の子どもたちも大喜びしそうです。 点在している鹿児島各地の観光案内をここに集約。 交通アクセスの案内もあり、薩摩半島の方は公共交通機関で各地へ、桜島観光希望の方は桜島フェリーへ、種子屋久の方はすぐ近くの南埠頭、大隅へは桜島フェリーへ。さらに、大隅行きは、今、試験運行中の高速船などへの誘導など。まだこのルートは窓口がないので窓口機能もあると良いかと思います。 【集う・食す・買う】を網羅した施設であれば、観光客も移動する手間もはぶける、出店者も集客しやすい利もあります。施設といっても大掛かりである必要はなく、あくまでも景観を優先したもの。桜島を眺めながら、、最高です。 港にあるからこそできる観光案内、地元に住む鹿児島の方々による運営で成り立つ仕組みであれば、鹿児島愛にあふれるものになると思います。
9	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	

10	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
11	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
12	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	

港湾空港課
-5.4.13
受付

受付 No.（事務局記載欄）	112

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」
応募申請書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（[redacted]） [redacted] 個人		住所	[redacted]	
性別	男	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・30代・40代・ 50代・60代・70代・ （80代以上）	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名　　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			可　・　（否）		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム（e（いー）申請）」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付 No.（事務局記載欄）	

「鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア」
応募様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

意見

まず、現在予定されている体育館施設はスポーツ団体から見て３か所から選択して、相応しい場所として進められているわけで、「まちづくり」の視点は全く欠如しています。

平成３０年の鹿児島本港区エリアまちづくり検討委員会が提出した「鹿児島本港区エリアまちづくりグランドデザイン」を基に、県が作成した平成３１年の「鹿児島本港区エリアまちづくりグランドデザイン」があるにもかかわらず、それを全く無視した今回の体育館建設（サッカー場も含めて）は必ず将来に禍根を残します。

提案

※シーフードレストランを中心に鹿児島が誇る食のレストラン群を親水域に並べる。
（シドニーのダーリンハーバーやサンフランシスコのフィッシャーマンズワーフをモデルに）

※ウォーターフロントパークはレストラン群の後方に設ける

※更に鹿児島の特産品を一同に集めた販売センターを設ける。

※マリンポート鹿児島と連携した、又、国内外観光客にも対応できる観光ビジターセンターを設ける。

※レストラン群は借地及び建設物に一定の規制は設けながらも、個々に契約して、夫々の特徴、個性のある店づくりをさせる。

※知事の言う「稼ぐ」力を実現するために、ここぞとリーダーシップを発揮して欲しい。



受付No.（事務局記載欄）	1/3

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」
応募申請書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	(ゆめみなとかごしま) NPO法人ゆめみなと鹿児島 理事長　川畑　孝則 団 体		住所	鹿児島市本港新町３番地	
性別	—	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・30代・40代・ 50代・60代・70代・ 80代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	099－227－0111 （担当 [redacted]）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			（可）・否		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム(e(い一)申請)」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付 No.（事務局記載欄）	

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイデア」
応　募　様　式

1．NPO 法人ゆめみなと鹿児島について

ゆめみなと鹿児島は，鹿児島港のウォーターフロントパークが広く県民に親しまれ，地域活性化に貢献する事を目的に，これまで各種活動に取り組んできた。

ウォーターフロントパークにおいては，多くの人々が訪れ，ウォーターフロントパークの素晴らしさを体感してもらえる空間として発展することを目的に「しおかぜコンサート」や「ウォーターフロントパークフェス」などのイベントを開催しており，４号上屋においても「しおかぜコンサート」を開催するなど，今後もこの取り組みを継続していきたいと考えている。

また，鹿児島港本港区は，平成１９年にみなとオアシス鹿児島として登録（平成２９年新制度の下に再登録）され，ゆめみなと鹿児島はみなとオアシスの設置・運営団体の主団体として，地域振興に寄与している。さらに，平成３１年に鹿児島県港湾協力団体として認定を受け，クルーズ船の受入業務に積極的に参加している。

2．ウォーターフロントパークの歴史

鹿児島港本港区ウォーターフロントパークは，昨年開園２０周年を迎えた。これまで，来訪者に親しまれ，賑わいのある快適な港湾空間として様々なイベントが行われてきている。

（1）ウォーターフロントパークの整備

ウォーターフロントパークは，昭和５７年に改定された「鹿児島港港湾計画」において　"市民生活や周辺の土地利用及び港湾機能との関連性を十分配慮した臨海性緑地"の一部として計画された。その後，平成５年６月に改定された港湾計画で，面積４ヘクタールのシンボル緑地としている。

整備は平成５年１２月に着工し，おおよそ９年の歳月を要して，平成１４年１０月に完成した。

（2）ウォーターフロントパークの利用

これまでの歴史において，代表的なイベントは「ウォーターフロントフェスティバル」である。鹿児島青年会議所が中心となって，「もっと海に親しみ，海辺に賑わいを創出しよう」をテーマに昭和６３年「第１回かごしまウォーターフロントフェスティバル」を開催。平成３年まで与次郎ヶ浜水路で行ってきたが，平成４年からは整備中の鹿児島港本港区に舞台を移し，平成１７年まで開催され，県民のウォーターフロントパークに対する関心を高め，新たな賑わいの創出に大きな役割を果たした。

また，全国的・国際的なイベントとして「海の祭典」（平成７年）や「世界帆船まつり」（平成９年）などが開催され，県内外から多くの人々が訪れ，賑わった。

平成２７年からは「潮風フェスタ」が開催，ステージイベントやフリーマーケットなど多くの来場者で賑わっている。

さらに，２０００年のミレニアムを機にスタートした「錦江湾サマーナイト大花火大会」は昨年までに２０回開催されており，鹿児島の夏の風物詩として定着しているほか，ウォーターフロントパークにおいては，様々なイベントが毎年開催され，人々の集いの場・賑わいの場として活用されている。

3．本アイデアの基本的考え方

（1）本アイデアの対象地区は，ドルフィンポート跡地，ウォーターフロントパーク及び北埠頭とする。
（2）ドルフィンポート跡地にはスポーツ・コンベンションセンターと駐車場の配置を前提とし，ウォーターフロントパークは臨海公園として残す。
（3）サッカー等スタジアムは配置しない。

4．整備すべき施設と機能等（するべきこと）

（1） ウォーターフロントパーク・ドルフィンポート跡地

ウォーターフロントパークは，これまでの利用の経緯を踏まえる事を前提とし，今後さらに賑わいを高める為，子どもたちが遊び，若者が集い，高齢者が憩う場としての機能を整備し(SDGs～あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し，福祉を推進する～の取り組み)さらに，観光客にも利用しやすい空間となる事が望ましいことから次のような施設・機能が必要であると考える。

（A）屋外イベント広場の整備
・ウォーターフロントパーク南側に，ステージ・観覧席等を整備
（イメージ：古代ローマの円形劇場のミニ版）
・既設トイレの多目的トイレへの改修
・キッチンカースペースを確保（電源・給排水設備）
・シンボルモニュメントの設置









(B) ジョギングコースの整備

・ウェルネス促進のため，外周おおよそ 900 メートルのジョギング・散策コースの整備





(C) ベンチや日陰の整備

・自然石等のベンチを，眺望の良い東側臨海部に設置

・日陰として，貸出パラソル等





(D) レストランやキッチンカーなどの飲食施設の整備

・見晴らしの良い高台に飲食施設の整備





(E) 道の駅の整備

・休憩機能，情報発信機能「観光案内所」，地域連携機能を有する「道の駅」を整備し交流拠点とする





(F) 観光バス・タクシー等の乗降場

・観光バス・タクシー等の乗降場を整備することにより，人流の回遊性や連動性を創出する。
また，クルーズ船のツアーバスやシャトルバスの乗降場としても活用する。





(G) スカイデッキの整備

・スポーツ・コンベンションセンターの外周２階部分に，スカイデッキを整備し，中心市街地への回遊性を高めるとともに，車両と人の導線を分離することで安全性を図る。また，桜島の眺望を楽しめる展望席を設置する。





(H) 日常的にイベントがある空間

・継続的なイベントを実施する事により，更なる賑わいの創出
○ 定期的なマルシェの開催［季節ごと］
○ Night Market（夜市）の開催　など









（2） 本港区北ふ頭

本港区北ふ頭は，ウェルネスを促進するため，またウォーターフロントパークエリアと一帯化した空間となる事が望ましいことから以下の施設が必要であると考える。

(I) 北埠頭旅客ターミナルの活用

・２階 ➢ スポーツ関連施設
ダンススタジオやトレーニングマシン等の整備により，県民の健康増進施設として活用

・３階 ➢ レンタルスタジオとして活用（音楽練習・撮影など）






(J) 駐車場の再配置（水族館利用者の駐車場の確保）

・港湾関係者の駐車場をふ頭用地内に確保し，一般駐車場の台数増を図る事で，水族館利用者の利便性向上に資するとともに埠頭内の交通渋滞を解消する

(K) 屋外スポーツ施設の整備

・スケート場や３×３コート等のスポーツ施設を整備




（L）４号上屋の活用

・電源，給排水設備を整備しイベント会場（ミニコンサート，物産展など）として活用

・屋内スポーツ施設の整備
ボルダリングや３×３コート等のスポーツ施設を整備

・管理棟を整備し、屋外スポーツ施設と一帯的に管理









（M）１号上屋の活用

・本港区へ寄港するクルーズ船乗客の休憩機能，情報発信機能「観光案内所」，地域連携機能を有する場所として一部を活用



※整備すべき施設と機能等（するべきこと）に使用している写真はイメージになります

5．今後展開すべき手法

（1）本地区を運営管理する能動的組織の必要性

本港区エリアの施設及び土地の利用については，管理者である県鹿児島地域振興局が維持管理や使用許認可を行っている。

今後，スポーツ・コンベンションセンターが建設され，同施設との相乗効果を発揮しながら，本港区を賑わいの場として 365 日活性化させるためには，これまでの受動的な管理にとどまらず，イベント開催や日常的な利用促進方策などの企画立案までを手掛ける能動的な管理運営体制を整えるべきと考える。

（2）指定管理者への委託

そのためには民間活力の活用が望ましいと思われ，ウォーターフロントパーク及びバス・一般駐車場（旧ドルフィン跡地の一部），北埠頭のターミナル，上屋，用地を一括して管理運営する指定管理者を設けることを提案する。

（3）みなとオアシス拠点施設や道の駅などの展開

本港区に沿う臨港道路は，将来，国道 10 号北バイパスから流入する車の増大により，港湾の業務・荷役交通とともに，湾岸道路として北部から鹿児島市域へと大量の観光交通が流れ込む道路となる。

そのため，市中心部への出入り口ともなる本港区エリアに，「整備すべき施設と機能等（するべきこと）」の中で提案した，情報発信機能「観光案内所」として，道の駅またはみなとオアシス(*1)拠点施設を置くことを提案する。

場所は臨港道路沿いのバス・一般駐車場（ドルフィンポート跡地の一部）が適切と考える。

当該施設内には物産館（中規模）を設け，地域住民や観光客が利用できるようにし，併せて指定管理者の拠点としたい。

最大 7 千人規模のスポーツイベントが行われるスポーツ・コンベンションセンターと，１年 365 日県内外，国内外の立ち寄り客に利用される道の駅・みなとオアシスならびにウォーターフロントパークとの相乗効果で，質量ともに県内外に誇りうる賑わいの場が実現すると考える。

※物産館は中心市街地商店街との競合を避ける意味から，また港にあるという特性から，鹿児島魚類市場からの鮮魚等，離島物産などを中心とする。

*1 国土交通省港湾局が地域住民の交流や観光振興を通じた地域活性化に資する，「みなと」を核としたまちづくりを促進するため登録する施設

6．参考資料

参考資料１．みなとオアシス

参考資料２．港湾協力団体

みなとオアシスとは



みなとオアシスとは、地域住民の交流や観光の振興を通じた地域の活性化に資する「みなと」を核としたまちづくりを促進するため、住民参加による地域振興の取り組みが継続的に行われる施設として、国土交通省港湾局長が申請に基づき登録するものです。

みなとオアシス制度は、平成 15 年に中国及び四国地方整備局で創設され、その後平成 21 年までに全ての地方整備局等にて制度の創設がなされました。その後、平成 29 年 2 月、全国的に統一した制度となりました。
令和 3 年 7 月 10 日現在、全国で 149 か所のみなとオアシスが認定されており、それぞれの地域の活性化に寄与しているところです。

みなとオアシスのイメージ

みなとオアシスは、交流・休憩、情報提供、災害支援、物販、飲食等を提供するため、以下のような施設から構成されています。
みなとオアシスの規模や構成施設は、各みなとオアシスによって異なっています。
みなとオアシスの施設の例を右に示します。



※ みなとオアシスの構成施設は、各みなとオアシスによって様々であり、必ずしもこれら全ての施設を必要とするわけではありません。

みなとオアシスではどんなことが行われているか

みなとオアシスでは、地域住民、観光客、クルーズ旅客等が交流するイベントが開催されたり、これらの来訪者が休憩する場を提供しています。
また、地域の観光や交通に関する情報を提供したり、災害時の地域住民への支援や、地域の物産品の販売なども行われています。

出典：一社）ウォーターフロント協会

みなとオアシス事例集［抜粋］

（出典：みなとオアシス全国協議会）

サイクリングポートみなとオアシス尾道

設置者：広島県尾道市　　運営者：一般社団法人尾道観光協会
所在港湾：尾道糸崎港【重要港湾】　　港湾管理者：広島県

［サイクリングポートみなとオアシス尾道の概要］

尾道糸崎港尾道港区は、平成11年の「しまなみ海道」の開通によって広域交通拠点としてのポテンシャルが高められた。「サイクリングポートみなとオアシス尾道」は、平成22年にみなとオアシスに登録され、JR尾道駅から尾道ポートターミナル、県営上屋3号に至る臨海部空間が構成施設となった。　代表施設は、「西御所県営上屋2号」であり、平成26年3月に遊休化した上屋を活用し、サイクリストをコアターゲットとした「」である。グローバル自動車メーカーのショップをはじめ、サイクリスト目線に立ったコンテンツ（宿泊施設、自転車置き場、空気入れの準備など）を提供することにより、国内外の多くのサイクリストの集客を図っており、海沿いに整備されたサイクリング拠点となっている。

平成26年3月、遊休化した県営上屋2号を活用し、サイクリスト・観光客・地元民をターゲットに衣食住にまつわるコンテンツを組み込んだ全国初の複合型施設である「ONOMICHIU2」が開業した。　施設運営は、地元尾道及び瀬戸内の資源や資産を再発見し、事業に取りいれていくことを目標に掲げる「ＴＬＢ㈱」が行っている。上屋は、湊湾管理者である広島県から尾道市に管理委託されており、尾道市から使用許可（上屋内部のみ目的外使用）を受けている。



みなとオアシスうわじま　きさいや広場

設置者：愛媛県県宇和島市　　運営者：株式会社うわじま産業振興公社
所在港湾宇和島港【重要港湾】　　港湾管理者：愛媛県

［みなとオアシスうわじま きさいや広場の概要］

平成17年8月に市町村合併した宇和島市は、自然、産業、歴史、文化など全国に誇りうる数多くの資源を有している。こうした宇和島圏域の特性である新鮮な農林水産物、真珠、魚類養殖の加工品販売、郷土色豊かな食文化・歴史文化の普及啓発、観光情報等の発信に取り組み、地域間交流の拠点や、宇和島の「顔」となる施設として、市民に愛され使い勝手のよい「みなと」空間への転換を目指し、みなとオアシスうわじまきさいや広場が設置された。

みなとオアシスうわじま きさいや市場では、毎年、4月の「きさいや広場創業イベント」、6月「宇和島Hawaiianフェスティバル」、7月「盛夏のおいでな～せ～市」、１０月「秋のおいでな～せ～市」、11月「特産品センターみなみくん創業イベント」、12月「冬のおいでな～せ～市歳末感謝祭」の恒例イベントが開催されている。　特徴的な屋根付き広場では、フリーマーケットや様々な交流イベントが開催されている。



みなとオアシス八幡みなっと

設置者：愛媛県八幡浜市　　運営者：ＮＰＯ法人港まちづくり八幡浜
所在港湾：八幡浜港【地方港湾】　　港湾管理者：八幡浜市

［みなとオアシス八幡浜みなっとの概要］

みなとオアシス「八幡浜みなっと」は、個性と魅力ある「みなとまちづくり」を目指すために策定した「八幡浜港復興ビジョン」に基づき、平成 25 年 4 月に新たな地域交流拠点として整備された。

代表施設であり情報発信施設である「みなと交流館」を中心に、新鮮な魚介類を販売する海産物直売所の「どーや市場」、とれたての柑橘をはじめ果物や野菜などの直売所と地域の旬の食材を用いたフードコードやカフェを有する「アゴラマルシェ」等で構成されている。



市民の交流の場や憩いのある空間が創出されるとともに、魅力ある地域情報を積極的に発信するための各種イベントも開催され、地域の内外からの多くの来訪客で賑わっている。

［みなとオアシス八幡浜みなっとの運営組織等］

代表施設の「みなと交流館」等の「道の駅・みなとオアシス八幡浜みなっと」の管理運営は、八幡浜市の指定管理者制度により、「NPO 法人港まちづくり八幡浜」（代表団体）、「NPO 法人八幡浜元気プロジェクト」（構成団体）の共同体が行っている。

指定管理者業務のうち、通常の施設管理等のみなとオアシス・道の駅の関連業務は、みなとオアシス運営者の「NPO 法人港まちづくり協議会」では、今後の事業継続に向け法人化に取組んだ結果、平成 24 年 11 月に現在の「NPO 法人港まちづくり八幡浜」が設立され、日常の運営（NPO 法人）と今後に向けた検証と計画（協議会）に役割を分担しながら、両者が「みなとまちづくり」を推進している。

一方、通常の指定管理業務と異なる、地域活動に資する活動を支援する中間支援業務を担うのが、「NPO 法人八幡浜元気プロジェクト（YGP）」である。主に、みなと交流館において、市民と市民、市民と行政などの間にたって、中立的な立場で、まちづくりの取組み、支援、コーディネート、人材の育成、相南など、それぞれの活動を支援する中間支援業務を行っている。



平成 28 年 12 月には、八幡浜港の港湾管理者である八幡浜市が、「八幡浜港みなとまちづくり協議会」を全国ではじめて港湾協力団体として指定した。「八幡浜港みなとまちづくり協議会」は、市内の各種団体の代表、関係機関、まちづくり団体の有志が集まって、平成１５年８月に結成した団体である。

八幡浜みなとまちづくり協議会の会長谷本訓男氏、みなと交流館館長の木村謙氏は、みなとまちづくりマイスターとして、永年にわたって地域の活性化に取り組んでいる。

［みなとオアシス八幡浜みなっとの代表的な取り組み～みなっと日曜市～］

「八幡浜みなっと」の開設以降、毎年、毎週の賑わいづくりのイベントを仕掛け、内容も市民参加型と協同の形態をとり、テーマをもって月平均２回以上のイベントを継続して実施してきている。　その基軸となるイベントの１つが「みなっと日曜市」で、令和２年２月で第 68 回を数える。最初は 4，5 店舗しか集まらなかったが、市民サークルの手作り品、地域活動団体の手作り弁当等の出店を追加し、現在では、毎回多くの出店があり、コンサート、太鼓、踊り等のステージイベントを開催し賑わっている。

毎月第３日曜日に開催（但し５月は GW に開催、11 月、12 月は柑橘収穫時期で不開催）。第 68 回みなっと日曜市は、八西生活研究協議会のオレンジフェスティバルとのコラボイベント。

さらに、地域活動応援イベントとして、市民実行委員会主催の「クリスマスオレンジフェスティバル」では、地域の特産物であるみかん等の柑橘を発信するイベントを６年継続して実施している。

みなとオアシス久礼

設置者：中土佐町　　運営者：株式会社 SEA プロジェクト
所在港湾：久礼港【地方港湾】　　港湾管理者：高知県

［みなとオアシス久礼の概要］

久礼地区は古来より鰹漁などの漁業と共に木炭などの林業も盛んであった。藩政期には、近隣地域の御蔵米が久礼港から城下へ運ばれ、林産物は同港より上方へ移出されるなど、久礼港は上ノ加江・矢井賀などと共に土佐西部の流通の要港として栄えた。

久礼港では、漁業や林業などの営みと山林資源の流通・往来が長い年月に亘りそこに創出された景観がよく残っている。久礼内港・外港、鎌田港、久礼大正町市場、旧炭倉庫群、桟橋跡、久礼八幡宮などは、久礼地域の歴史と変換、それぞれの時代の人々の暮らしを写す文化的景観である。

久礼は 400 年以上前からカツオの一本釣りが盛んな漁師町で、町おこしの一環として「かつお祭」を平成 2 年から開催し、漁業と観光を結び付けた「鰹乃園」としての戦略を展開してきた。新港が整備され、平成 23 年に高速道路が延伸されることに伴い、新しいまちづくりの取り組みが続いている。

みなとオアシス久礼の代表施設「道の駅なかとさ」は、みなとオアシスと道の駅の両方の顔を持つことで、より効果的な情報発信が期待される。今後、中土佐町が持つ自然環境や歴史・文化などの魅力ある観光資源を活用して、地域の活性化を図ることが期待される。

［みなとオアシス久礼の主な施設　道の駅なかとさ］

太平洋と四万十川源流域を持つ中土佐町に、平成 29 年 7 月に「道の駅なかとさ」が誕生した。

地元の農家で育てられた旬の野菜やお米、目の前の海で獲れた新鮮な海の幸をはじめ、海・山・川のグルメが勢ぞろいしている。直売所「マルシェなかとさ」、浜焼き海鮮レストラン、ケーキショップ、パン屋からお土産コーナーまで、漁師町の魅力が詰まった道の駅で、観光案内所・賑わい広場・ちびっこ広場・芝生広場・ドッグランも備えている。





［株式会社 SEA プロジェクト］

中土佐町及び地域振興公社、農事組合法人が出資して平成 28 年 4 月に設立され、その後、町内 2 つの JA、漁協、森林組合、商工会など地域復興を担う 5 団体も出資し、公共施設の維持管理等の受託業務、農水産物等の地域特産物販売店やイベント企画・実施に関する業務、観光案内などの事業を行っている。

同社は平成 29 年 4 月に登録された「みなとオアシス久礼」の運営者で、代表施設の「道の駅なかとさ」を拠点に、中土佐町の魅力ある情報発信を行い地域活性化に向けた活動を行っている。

また、更なる地域の活性化、魅力ある港湾づくりを行うため、港湾協力団体申請を行い、高知県から指定を受けている。



「みなとオアシス」の概要

国土交通省

○みなとオアシスとは

・地域住民の交流や観光の振興を通じた地域の活性化に資する「みなと」を核としたまちづくりを促進するため、平成15年に制度を設立
・国土交通省港湾局長が住民参加による地域振興の取り組みが継続的に行われる施設を登録するもの

○みなとオアシスの担う役割

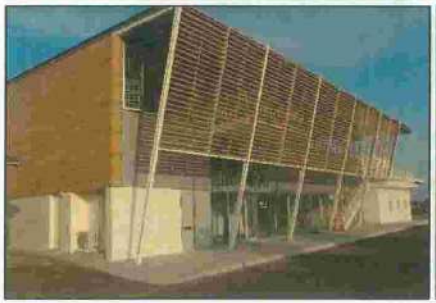
・地域住民、観光客、クルーズ旅客等の交流及び休憩
・地域の観光及び交通に関する情報提供
・その他（災害時の支援、商業機能　など）

○みなとオアシスの構成施設

・旅客施設、展望施設、多目的ホール
・観光案内施設
・駐車場、トイレ、津波避難タワー
・産地直売施設、レストラン　など

○みなとオアシスの設置者・運営者

・地方公共団体（港湾管理者含む）
・NPO団体、協議会　など



構成施設のイメージ



地域振興イベントの開催状況

標章（シンボルマーク）

登録数　１５７箇所
（令和４年１１月２６日時点）

みなとオアシス所在港湾の一覧

【北海道】
稚内港　留萌港
香深港　釧路港
沓形港　苫小牧港
鴛泊港　室蘭港
紋別港　函館港
網走港　江差港

【北陸】
【新潟県】
岩船港
新潟港
(新潟/聖籠)
両津港
【富山県】
魚津港
伏木富山港
(新湊/伏木/富山)
【石川県】
金沢港
小木港
飯田港
輪島港
宇出津港
穴水港
七尾港
【福井県】
福井港
敦賀港
和田港

【近畿】
【大阪府】
大阪港
阪南港
深日港・淡輪港
【和歌山県】
和歌山下津港
新宮港
古座港
日高港
【京都府】
宮津港
久美浜港
伏見港
舞鶴港
【兵庫県】
神戸港
(須磨/神戸)
姫路港
相生港
福良港

【中国】
【鳥取県】　【広島県】
鳥取港　忠海港
境港　竹原港
【島根県】　鰍崎港
西郷港　小用港
別府港　三高港
来居港　広島港
浜田港　(宇品/坂)
【岡山県】　蒲刈港
東備港　厳島港
牛窓港　【山口県】
宇野港　由宇港
笠岡港　安下庄港
【広島県】　徳山下松港
瀬戸田港　(徳山/下松)
福山港　三田尻中関港
尾道糸崎港
(尾道/三原)

【東北】
【青森県】【宮城県】
大間港　気仙沼港
大湊港　仙台塩釜港
青森港　(塩釜/仙台)
休屋港　【山形県】
八戸港　酒田港
【岩手県】　加茂港
久慈港　鼠ヶ関港
宮古港　【福島県】
釜石港　小名浜港
大船渡港
【秋田県】
船川港
秋田港
本荘港

【関東】
【茨城県】　【神奈川県】
茨城港(大洗)　川崎港
【栃木県】　横浜港
佐野インランドポート　横須賀港
【千葉県】　大磯港
千葉港
木更津港
興津港
館山港

【中部】
【静岡県】
沼津港
下田港
田子の浦港
清水港
大井川港
御前崎港
浜名港
【愛知県】
三河港
名古屋港
【三重県】
津松阪港
鳥羽港
浜島港・賢島港

【四国】
【高知県】　【愛媛県】
奈半利港　新居浜港
手結港　枝越港
久礼港　宇和島港
あしずり港　八幡浜港
宿毛湾港　三崎港
【徳島県】
徳島小松島港
【香川県】
北浦港
宇多津港

【九州】
【山口県】【大分県】
下関港　別府港
【福岡県】　大分港
北九州港　津久見港
大島港　【熊本県】
【佐賀県】　富岡港
唐津港　牛深港
呼子港　八代港
【長崎県】【宮崎県】
比田勝港　古江港
厳原港　油津港
郷ノ浦港　細島港
福江港　【鹿児島県】
長崎港　川内港・里港
口ノ津港　・長浜港
佐世保港　鹿児島港

【中国・四国】
【広島県・愛媛県】
土生港・立石港

【沖縄県】
本部港・水納港
那覇港
中城湾港
平良港
石垣港

港湾用語の基礎知識 '95

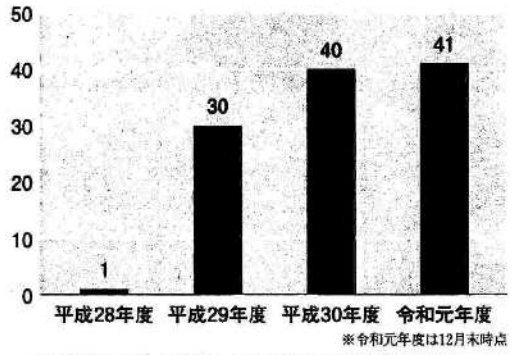
港湾協力団体

国土交通省港湾局産業港湾課事業係長　黒木英明

港湾協力団体とは

「港湾協力団体制度」は、平成28年7月の港湾法改正で創設された制度であり、官民連携による港湾の管理等を促進するため、港湾管理者が適正な民間団体等を港湾協力団体に指定する制度です。港湾協力団体への指定により、港湾で活動する民間団体等が申請する水域占用許可等の手続きの簡素化や、民間団体等の港湾への常駐によるきめ細かな維持管理等が期待できます。このように、港湾管理者と民間団体等の双方にメリットが生じるとともに、両者に緊密な関係が構築され、相互の協力体制が構築されることが見込まれ、港湾における活動の円滑化、活性化が期待されます。

令和元年12月末現在で、全国41団体が登録されており、さまざまな活動に取り組まれています。



港湾協力団体登録数　出典：港湾局産業港湾課調べ

港湾協力団体の活動事例

①NPO法人 ゆめみなと鹿児島

鹿児島港で活動する同団体は、クルーズ船が寄港する際のおもてなし活動の一環としてターミナルでの地元産品物販を主催しており、物販出店者を公募することで、質・量ともに充実した物産品を取り揃えることができ、クルーズ客等に好評を得ています。

また、鹿児島海外観光客受入協議会の一員として、クルーズ船入出港時のお出迎え、お見送りや観光案内等、精力的な活動を行っています。



クルーズ船乗客向け物産品販売



クルーズ船お見送り活動

②みなとオアシス広島運営協議会

広島港で活動する同団体は、地元大学生、高校生でみなとの賑わいを考える「学生によるみなと活用ワークショップ」を定期的に開催し、地元ボランティアが「マリンアシスタント広島」として「おもてなし」コンセプトに広島港案内や乗船ガイドするなど、みなとがより市民に身近な存在となるよう、様々な活動を行っています。



学生によるみなと活用ワークショップ

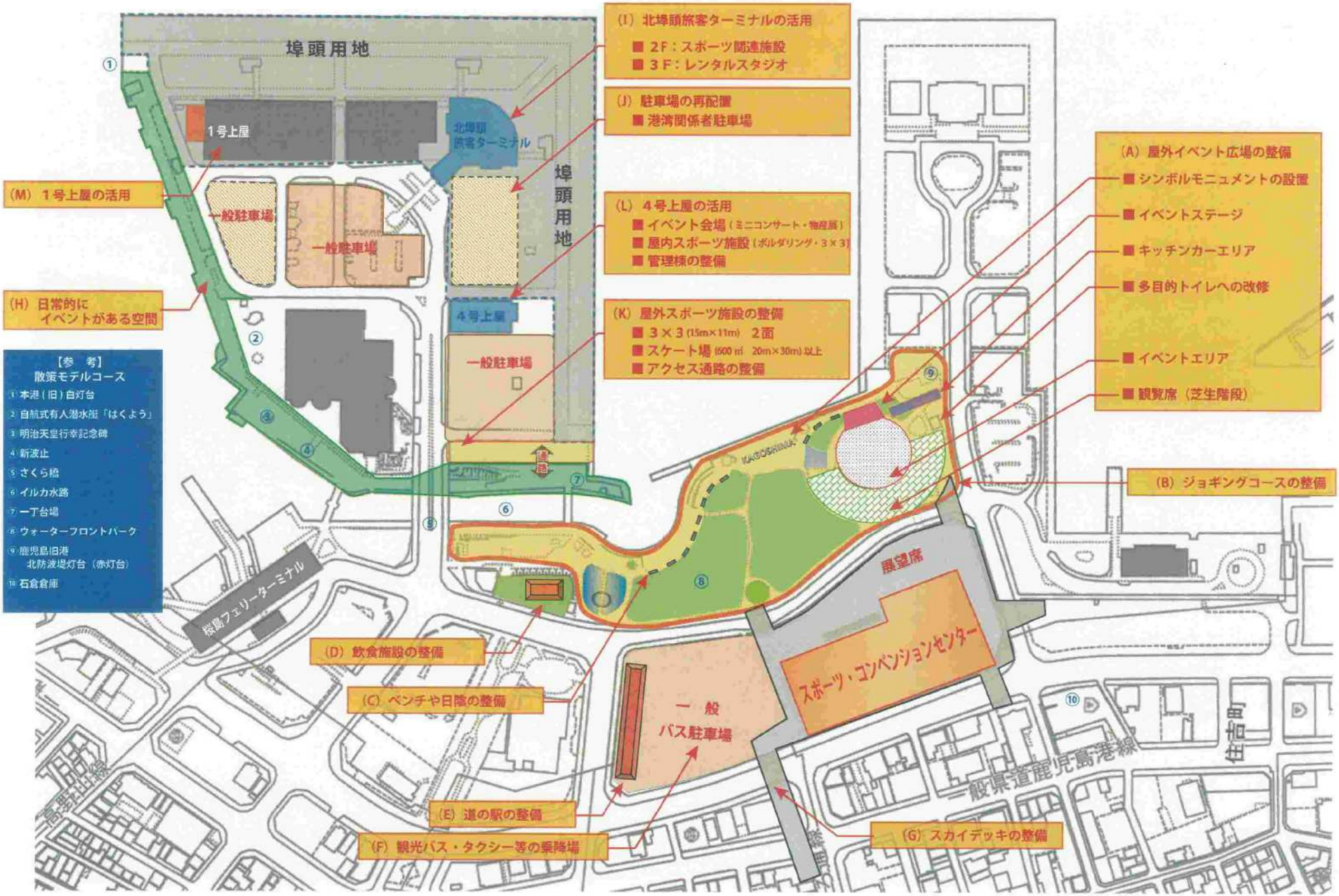


マリンアシスタント広島による広島港案内

今後の港湾協力団体の活用

訪日外国人対応を目的とした公共交通利用環境の革新等事業においては、地方公共団体と並んで港湾協力団体も補助金の交付対象となっているため、旅客ターミナルの多言語案内板や無料Wi-Fi等の設置に対して補助金を受けることができます。また、現在港湾協力団体として、みなとオアシス関係団体が多数登録されており、みなとオアシス制度との相乗効果で様々なみなとを核とした賑わいが創出されています。

これらの制度を活用して、港湾協力団体が中心となって訪日外国人対応や地域振興に取り組むことでみなとに活力を与えるとともに、老朽化が進む港湾施設の異常の早期発見による適切な維持管理の実施など、安全で魅力あふれる地域社会の形成に向けて、益々の登録促進が期待されます。


埠頭用地
1号上屋
北埠頭旅客ターミナル
一般駐車場
一般駐車場
埠頭用地
4号上屋
一般駐車場
通路
桜島フェリーターミナル
一般バス駐車場
展望席
スポーツ・コンベンションセンター
一般県道鹿児島港線
高麗出線
(I) 北埠頭旅客ターミナルの活用
■ 2F：スポーツ関連施設
■ 3F：レンタルスタジオ
(J) 駐車場の再配置
■ 港湾関係者駐車場
(L) 4号上屋の活用
■ イベント会場（ミニコンサート・物産展）
■ 屋内スポーツ施設（ボルダリング・3×3）
■ 管理棟の整備
(K) 屋外スポーツ施設の整備
■ 3×3（15m×11m） 2面
■ スケート場（600㎡ 20m×30m）以上
■ アクセス通路の整備
(A) 屋外イベント広場の整備
■ シンボルモニュメントの設置
■ イベントステージ
■ キッチンカーエリア
■ 多目的トイレへの改修
■ イベントエリア
■ 観覧席（芝生階段）
(B) ジョギングコースの整備
(M) 1号上屋の活用
(H) 日常的にイベントがある空間
(D) 飲食施設の整備
(C) ベンチや日陰の整備
(E) 道の駅の整備
(F) 観光バス・タクシー等の乗降場
(G) スカイデッキの整備
【参 考】
散策モデルコース
1 本港（旧）白灯台
2 自航式有人潜水艇「はくよう」
3 明治天皇行幸記念碑
4 新波止
5 さくら橋
6 イルカ水路
7 一丁台場
8 ウォーターフロントパーク
9 鹿児島旧港北防波堤灯台（赤灯台）
10 石倉倉庫


KAGOSHIMA

114

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを募集します！(アイディアを直接入力できる専用ページです。)

港湾空港課 -5.4.13 受付

受付番号:9703218
申請日:令和05年04月13日

番号	項目名	入力内容
1	応募者名(個人または団体)	[redacted]
2	応募者名(ふりがな)	[redacted]
3	住所	[redacted]
4	性別	男
5	年代	70代
6	電話番号	[redacted]
7	プレゼンテーション参加の可否	否
8	以下にアイディアを記入してください。	鹿児島港本港区エリアは、風光明媚で桜島や錦江湾が一望できます。 この地は、集客力の有る鹿児島の観光受け入れの玄関口として、観光・ホテル・商業施設等に特化を提案します。国内外問わず訪れる観光客や、地元の人達で、更に賑やかになる事でしょう。 賑やかなタウンスタイルが望まれます。 「ドルフィンポート跡地」は、新設体育館の建設候補地として挙がっているようですが、新設体育館は、公的運動施設の集まった鴨池運動公園隣接地の、鹿児島ドーム一帯17500平方米と広い鹿児島市有地に、県と市が協力して建設する事を提案します。 実現すれば、集約した運動施設街として、皆さんが認識しやすくなります。 何卒、宜しくお願い致します。
9	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
10	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
11	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
12	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	

115

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを募集します！(アイディアを直接入力できる専用ページです。)

港湾空港課
-5.4.13
受付

受付番号:9704289
申請日:令和05年04月13日

番号	項目名	入力内容
1	応募者名(個人または団体)	[redacted]
2	応募者名(ふりがな)	[redacted]
3	住所	[redacted]
4	性別	女性
5	年代	60代
6	電話番号	[redacted]
7	プレゼンテーション参加の可否	否
8	以下にアイディアを記入してください。	鹿児島の誇り桜島を借景に ドルフィンポート跡地は 市民や観光の方々にも 充分に鹿児島らしさを感じられる場になればと切に願います 緑豊かな公園を基本に ゆっくり出来るベンチを置き 野外音楽堂や地産地消の食の販売や鹿児島ならではの絶品グルメを食せる飲食店など桜島を眺めただのんびりするもよし 鹿児島の味を堪能するもよし 時には芸術表現スポットにも使えるような 来たひとが鹿児島に誇りを持てこころからゆったりくつろげる場になればと 切に願います
9	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
10	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
11	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
12	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	

116

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを募集します！(アイディアを直接入力できる専用ページです。)

港湾空港課
-5.4.13
受付

受付番号:9704239
申請日:令和05年04月13日

番号	項目名	入力内容
1	応募者名(個人または団体)	[redacted]
2	応募者名(ふりがな)	[redacted]
3	住所	[redacted]
4	性別	女
5	年代	50代
6	電話番号	[redacted]
7	プレゼンテーション参加の可否	否
8	以下にアイディアを記入してください。	自動販売機の数か種類を日本一の多さ並べてみるのはどうでしょうか。 各市町村の売り出したい商品や個人で売りたい物等… 全国から来られた人、地元の人も知らない、食べたことのない物がまだまだあると思います。 宜しくお願い致します。
9	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで、添付資料の合計が20MBまで)	
10	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで、添付資料の合計が20MBまで)	
11	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで、添付資料の合計が20MBまで)	
12	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで、添付資料の合計が20MBまで)	



受付No.（事務局記載欄）	ノノ7

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」
応募申請書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（[redacted]） [redacted]		住所	[redacted]	
性別	女	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・30代・40代・ 50代・60代・(70代)・ 80代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名　　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			(可)　・　否		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム(e(いー)申請)」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付 No.（事務局記載欄）	

「鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア」
応募様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

鹿児島県は自然・歴史・文化・食など他県に見られない豊富な観光資源があります。それらを生かした施設を提案します。

① 自然・歴史・文化施設
　北薩・中薩・南薩・大隅・熊毛・奄美に分け、夫々の特色を生かした資料館を作ります。

② 農・水・畜産物の市場
　近江市場や錦市場のように鹿児島県の食を揃えた市場

③ 海岸に面したレストラン
　錦江湾に浮かんでいるような個性に溢れた様々なレストランを並べ、桜島を眼前に食事を楽しむ。

④ 市電や御楼門を活用し、ウォーターフロントに観光客を呼び込む。

⑤ マリンポートに着いた観光客が必ず訪れる場所としてウォーターフロントを活用
　マリンポートは世界中から観光客をお迎えしてお金を使って頂くために作られた施設です。今こそウォーターフロントを活用すべきと思います。

※任意様式に記載して頂いても構いません。



受付 No.（事務局記載欄）	118

[redacted]

（ぶりがな） 応募者名 （個人・団体）	（[redacted]	住所	[redacted]

性別	男	年代 （○で囲む）	10 歳未満・10 代・ 20 代・30 代・40 代・ 50 代・(60 代)・70 代・ 80 代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名　　）

プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）	(可)　・　否

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。

※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。

※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。

※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。

※　提出された資料については，返却いたしません。

※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。

※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。

※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町 10 番 1 号
TEL：099-286-3665　FAX：099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム（e（いー）申請）」
URL：https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付No.（事務局記載欄）	

[redacted]

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

本港区の跡地利用について色々な構想が出ていますが
過去にもスポーツ施設及びショッピングモールの案とかが出ています。
が鹿児島は皆存知のとおり目の前に桜島や市街地に近く
将来的には市電の延伸化構想もありえます。
私が考えた活用法は市民また県外観光客などが気兼ねなく利用できる公園を作ればどうでしょうか。
早く言えば公設の仙ガン園のミニ公園みたいの施設を安価な入場料で楽しめるような庭園を兼ね備えた施設、例を上げるとすれば鹿児島の産業、自然をモチーフの活用を示した、展示館を併設すればどうでしょうか。
以前にショッピングモールなどの案が出たみたいですが鹿児島の場合天文館がありますので本港区に作っても人流の方が分散化されてどうしても近いので無理があると思います。
そう言う意味で私は今回公設のミニ公園を提案します。
ただしデメリットもあります。それは、跡地の地盤の強度だと思いますがそれがクリアできれば可能ではないでしょうか。

※任意様式に記載して頂いても構いません。

港湾空港課
-5.4.14
受付

受付No.（事務局記載欄）	119

『鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア』
応募申込書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（[redacted]		住所	[redacted]	
性別	男	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・30代・40代・ 50代・60代・70代・ 80代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名　　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			可・否		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム(e(いー)申請)」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

鹿児島港本港区（ウォーターフロント）エリア活用と県体育館計画での提案　令和５年４月

[redacted]

メディアを見ていると,「鹿児島県体育館の建設候補地は本港区エリアへ決定」かの様な報道が多いので、大半の県民は「県や県議会で決定したなら、今更反対しても変わらないとの諦めの声」が聞こえる。しかし現状は「まだ決定していない」、県議会が「県体育館建設の反対陳情を否決した」だけに過ぎない。一部には「何でも良い、早く造れ！」との長期的展望力に欠ける県議が居るのは残念ですが、ここは「もっと鹿児島県の稼ぐ力を育てる」ためにも、より良い提案で働き掛ける活動を諦めてはならない。「20 年後に今の若者達が必ず後悔するのは間違い無い」問題だから、私は諦めず「県体育館案はもっと良い最適地での建設を。そのために本港区エリアでの建設に反対」を言い続ける事にしている。

●1：本港区エリアでの県体育館建設の反対の理由。

1）　「県体育館の建替の必要性」は私も認めるし、新体育館建設に反対はしていない。私は現在の公共運動施設が集っている、鴨池運動公園の隣接地の「鴨池ドームの敷地」がベストとの意見です。

2）　本港区での体育館建設の反対理由は、世界を訪ねている外国人も日本全国を知っている県内外の観光プロからも「錦江湾と桜島を目の前にした鹿児島港は最高のビューポイントだ。世界に誇る自然景観を活かして開発すべき」と指摘される。何故「鹿児島県人は『地域の宝を活かそう』と行動しないのか？」と不思議そうな顔をされる。

3）　本港区エリアは「鹿児島市の中心市街地に隣接した広大な超一等地」だから、「20 年後の鹿児島経済の発展にも寄与する施設」を造るべきである。「県体育館を造れる最適地は他にも在るのに、今は空地だからと超一等地に造る必要の無い体育館建替用に使う」との単純発想こそ、「鹿児島の賑わいのある稼げる街造り構想の理念」からは大きく懸け離れている。体育館建設で失う代償の方がはるかに大きい場所である。

4）　検討委員会の最後になって「建物名称がスポーツ・コンベンションセンター」と変更されたが、日本中探しても「一建物の名称」では聞かない造語の名称で、利用主目的が体育館なら「誰でも判り易い体育館かアリーナ」とするのが普通の発想である。「スポーツ・コンベンションセンター」とは、「スポーツ施設等の集った運動公園全体の場所を表す呼称」として使うのが一般的である。県当局が唐突に「実態は体育館なのに、コンベンション機能が主施設かと勘違いされる名称へ変更」したのは、県民を「勘違いさせるためのネーミング変更」と私には思えてならない。（完成後には、他県人からは「必ず勘違いされる」のは間違いないだろう！）

●2：県体育館は、もっと良い適切地での再検討を！

1）　鴨池地区に体育館建設の適切な候補地が在る。現県体育館（10,000 ㎡）の隣接地の「鹿児島市有地の鴨池ドーム一帯 17,600 ㎡」が最適候補地と提案する。鴨池ドームは 2007 年までロッテオリオンズが鹿児島キャンプに来ていた時に、他県のキ

ャンプ地同様に雨天練習場をと「50×60M＝3000㎡のドーム」を、鹿児島市が建設した。しかしロッテは翌年からより条件の良い沖縄石垣市へキャンプ地を移動した。今では「フットサルの練習」等に使用されているが、市中心部に在る広大な土地だから、もっと有効活用出来ないかと言う意見は多い。現在の利用者用の代替施設を造る場所は、隣の現体育館敷地等を含めて探すのは難しく無いと思う。

2） 鴨池ドーム敷地に「県と鹿児島市が協議し直し、新県体育館を建設」すれば、現体育館の隣接地だから現在地の再活用も可能となる。更に既存の二つの野球場（県営と市営）・陸上競技場・テニスコート・サブグランド・スイミングプール・武道館・広い公共駐車場等の各種運動関連施設の隣接地となるから、当に「鴨池地域一帯が『スポーツ・コンベンションセンターの名称』に相応しい鹿児島県総合運動公園」となれる。（全国には県名を頭に付けた総合運動公園の設置例は多い。）

3） 既存の市電やバス等の公共交通機関や、広い市営駐車場も活用できるし都市計画的には最適の候補地と言える。何故鹿児島県は「総合運動公園としての集約化」を考えずに、「運動施設の集中している鴨池地区と離れて、収益性の乏しい県体育館を１棟だけ、超一等地に建設するのか？」が理解できない。（皆さんも不思議と思われませんか？）

4） 「本港区エリアにはどんな施設の建設が理想的か！」と言えば、「錦江湾と桜島の景観を楽しめる都市公園が理想」と私は言いたい。
しかし鹿児島市の中心市街地に隣接した超一等地だから、「錦江湾の海岸線の美しさと桜島との一帯的景観を活かし市民が楽しめると共に、天文館等の周辺市街地の活性化へも貢献する施設」の建設案がベストであろう。（横浜や神戸と同様に、「港を活かした街造りを目指して、港湾管理指定地域の見直し」が前提条件である。）

5） 本港区エリアでの県体育館は何故ダメなのか？　理由は「新体育館の４階建の実際高は約30mとなり、一般建物の８階建に相当するほど高い。横は200メートルの大型軍艦並みの構造物」が座る、大き過ぎる建物だから景観の障害となる。
「桜島と錦江湾の一帯的景観」は鹿児島人には見慣れた風景だろうが、県外の識者からは「羨ましい景観を活かして使うべき地区だ！」と教えられる。

6） 体育館は県内小中高生の試合で主に利用されるから、天文館の商業地が思うほど人の回遊性も集客力も消費額増加も期待できないだろう。新体育館での「プロスポーツ利用はバスケット主体」との事だが、「鹿児島レブナイズ」に遠慮せず言わせて貰えば、「鹿児島の観客動員数の現状」では経済効果は少ないと思われる。
沖縄ゴールデンキングスの本拠地のバスケット専用の沖縄アリーナは、６階建て１万人収容で音響設備も格が違う上に「B1リーグで優勝を争うチーム」であり、沖縄県民のバスケ熱の入れ方は日本一と言われる。それでも昨年の入場者数平均は8000人と言われ、Ｂ１リーグ集客数第５位の横浜は平均4000人に過ぎないとの事だ。鹿児島チームの集客予測数は何人なのですか？　本当に集りますか？
（学校の体育館は何処でも正門近くに造る例は聞かず、敷地の角に造るのが普通で

ある。今回は「鹿児島の表玄関」とも言える最高の景観の場所の風景を壊してまで建てるとは、都市デザイン的には理解し難い計画である。）

7） **県体育館基本構想委員会**の報告では「体育館で**85%**を利用」し、残り15%をライブや展示会等で使うと発表していた。85%が体育館利用では周辺地区への**回遊性や消費増による経済効果は期待するほどは無い**と思われた。それでは「**鹿児島の一等地を占有使用するには経済効果は低過ぎる**」と私は反対した。すると本港区活用検討委員会では「**体育館の利用率70%**と低く説明し、収益性の高そうな他分野の利用率を増やして説明する様な御都合主義は公務員としては止めて欲しいと思う。

8） **鹿児島県**は「**室内スポーツ団体連盟からの強い要望に応える**」と説明するが、連盟は過去に中央駅裏案でも県庁横案でも賛成していたのだから、「**新体育館の早期建設が第一要望であって、鴨池地区でも何ら問題は無い**」はずである。室内スポーツ団体も「**地域の経済効果に目を向ける**」だけの大局的な考えを持って貰いたいものだ。連盟構成員には「何処でも良いから早く造って」と言う人は居る。

●3：本港区エリアでの施設計画は、「**鹿児島の稼げる賑わいある拠点造り**」を第一に！

1） 鹿児島県を今後発展させるためは「**人口減少対策と地域経済の活性化**」である。人口はピーク時から47万人・23%も減り今や158万人となり、今後も**大幅な減少傾向**は続くと予測されている。**鹿児島県の地域経済の活性化対策**としては「**県外からの交流人口を増やし、インバウンドや富裕層が訪れるだけの魅力ある集客施設を整備し、外貨を稼ぐ対策**」を急ぐ必要がある。鹿児島県が「今後の**地域間競争に勝ち残る**」には、県も商工会議所のレポートでも「**最優先課題は稼げる力**」を目標に掲げている通りである。だからこそ「**稼げそうな施設**」を早く造る必要がある！

2） 「集客力も収益力もあまり期待出来ない」うえに、**超一等地の本港区エリアで、錦江湾や桜島の景観を台無しにする体育館建設は止めて**、それより「**県経済の発展効果が確実に計算出来る施設の建設案**」の検討を進めるべきだ。過去の集客数が200万人以上だったと聞く「旧ドルフィンポート」よりも**集客力が高く、そして低層分散型の建物群にして、「地域の景観を護り、稼げて賑わいのある街造り構想に適う施設**」を考えるのが常道と考える。

3） 「**城山展望台からも、主要道路からも桜島は見える！**」と呑気に言う人達が沢山居るが、「**眼の前に煙を吐く桜島が錦江湾と一帯となって見える迫力があり、更に旅客船も出入りする港が在る場所**」だからこそ、県外の御客様へ**感動を与える場**であって、体育館の裏庭になっては「世界に誇れる**観光港湾都市**」とは言えなくなる。

4） **塩田知事**は知事選の**選挙演説**では「**鹿児島を夢のある稼げる街造りへ発展させたい。**それにはコンベンション等の建設構想を！」と提唱されていた。県当局は「**実態は体育館なのに、最後になり日本中に例の無い新造語のスポーツ・コンベンションセンターの名称を作り出して、『検討委員会の議論を尊重する』と言った知事を取り込んだ！**」と私には思われてならない。知事は「県職員と県議が『そこまで言うなら、

否定し難くなった』と追認された」と私には思えてならない。県職員も県議も「今回は、もっと知事の最初の思いを付度して欲しかった」と思うし、「知事の本音は本物のコンベンションを造りたかったはず」と私は考えている。

5） 今後の本県成長への波及効果が大きい「交流人口や観光客を増やす」には、鹿児島県の特産品（黒牛・黒豚・黒薩摩鳥・黒麹芋焼酎・黒酢等の農畜産物や加工食品類）を中心に、「材料で売るより、付加価値は10倍高いと言われる郷土料理店街」や、地場産品や伝統工芸品を来客が体験し購買が出来る『鹿児島の食と特産品を総合観光センター』を造る事を提案する。そして近場に旅客船が出入りする港（マリンポートからの高速船の直行運航便用ドックも期待）と一体化した「錦江湾の景観を楽しめる海洋型観光施設や、ライブやイベントにも大規模集会場（宴会用厨房設備付が条件）」等の施設群を造れば、それこそ「本物のコンベンションセンター」となり、体育館建設より何倍も地域の活性化へ寄与できるのは間違いない。

6） 体育館の使われない時間にイベントを一部取り込む程度の中途半端な施設では、「専用施設を造っている福岡や長崎や熊本や宮崎との都市間競争」には勝てない。鹿児島県は「食材と景観は間違いなく日本一や九州一が多いのだから、それ等を活かした集客力の高い施設」造って欲しい。それこそが「未来への夢であり、20年後の若者達に贈る資産造りだ」と思う。体育館建設よりも天文館地区との一体的な経済効果の期待にも応えられるはずである。なぜ今回は「バンケット設備も不十分な、中途半端な体育館仕様の施設」に、名称を変えた程度で御茶を濁すのか理解できない。

7） 県議会総合政策建設委員会の基本構想検討段階で幅広く検討したと聞いていたが、昨年末の県議会では「多くの反対陳情を、県民の見える場での議論は無く簡単に不採用とした自民党議員には、「長期ビジョンの欠如」にガッカリした。（採決で議場を自主退席された2名の自民党議員だけは高く評価する。）
県議の最大の役目は「20年後の鹿児島県民の生活を、より豊かにする政策創り」のはずである。「もっと良い代替適地が近くに在るのに、『たかだか体育館の建設』を、国内景観では超一等地の本港区エリア内で推し進めることが、本当に未来の鹿児島が目指すべき街造り構想に相応しい」と思っている議員には反省を求めたい。今回の選挙で議員として選ばれた事で、新しい感覚で取組んで欲しいものと期待する。

●4：鹿児島市計画の「サッカー・スタジアムは何処」で、検討すれば良いのか！

1） 鹿児島市は「サッカー・スタジアム建設は本港区で」と執着しているが、年間20試合程度しか使わない「屋根付き天然芝サッカー・スタジアム」の年間集客予測数は40万人と県体育館よりも更に少ない。下鶴市長は「欧州のサッカータウンを参考にした街造り構想」を話されるが、日本では「サッカー王国と言われる静岡県」でも、集客や運営資金では地元大手企業に多大な応援を貰っているのが実情である。
「スポーツ見学に、また賭け事を含めて多大な金を投ずる欧州の国民性」や、「6万人のスタジアムが何時も満員となる欧州のスポーツ市場の規模」に比べて、「日本リーグのJ1昇格定着も未だ先の先」と思われる「鹿児島サッカーの現状」も考える必要

がある。私はサッカー・スタジアム構想に反対しているのではない。「もっと可能性の高い現実的な建設場所での検討の遣り直しを急げ」と提案しているのです。

2） 「ドルフィンポート跡地でのサッカー・スタジアム建設案」は、県有地であり県体育館計画の変更を求める事や、更にウォーターフロントパーク敷地まで割り込む案だから、県当局も県民の抵抗も大きいと言える。他の候補地の「浜町の土地所有者からは協力出来ない」と表明されたし、「住吉町は敷地が狭く、港湾施設の埋立てが前提」だから、許認可や工事に最低10年以上は掛かる問題がある。Jリーグ本部が「J2昇格の最低条件を10年以上も待ってくれる」とは思えないし、そうなると「鹿児島市のサッカー・スタジアム構想は全て頓挫してしまう可能性」が大きくなる。

3） 下鶴市長は富裕層を取込む計画と話されるが、県内にはスポーツ観戦に高額な出費をする客層は多くないと思う。だから鹿児島県民よりも多くの消費や出費が期待出来そうな県外客に目を向けるべきで、その様な県外からの応援団には「JR便や高速道路網に便利な谷山の農業試験場跡地は最適地」と言える。県外からの富裕層は試合観戦に熱中する人達だから、「スタンドから桜島の景観を楽しみに集まる常連客」は考えられないと思うし、更に「新体育館とサッカー・スタジアムの両方」が並んで建てられれば、錦江湾と桜島の一等景観が全て裏庭になってしまうだけである。新聞で「桜島が間近に見えるスタジアムは素晴らしい」と言う選手が居たが「もっと試合に集中してよ」と私は言いたい。サッカー場はサッカーを楽しむ会場のはず。

4） 「サッカー・スタジアムの建設候補地」としては、「谷山の県農業試験地跡は最適地」と推奨する。今回のサッカー・スタジアム計画は「J1リーグ昇格条件が屋根付き収容規模15,000人」以上と規定されているから、県体育館の2倍の客が集まる可能性がある。また県外からのアウェー応援団が多数駆け付けるから、大量輸送の交通機関が便利な場所が最適地と言える。鹿児島中央駅からJR指宿線へ乗り換へて慈眼寺駅まで17分、そこから徒歩5～6分の場所である。また車利用者には高速道の谷山インターから5分で着く。（先日も「志布志から高速道路を走って来たら、谷山は1時間少しと近かった」との驚きの声を聞いた。）両方の交通網に便利で、広い場所が確保できる条件をクリアーできるのは「鹿児島市内では谷山が最適地」と言える。（鹿児島市内に、他により良い場所がありますか？）
谷山には宿泊施設が無いという可笑しな反対論者が居るが、「需要が施設を造るとの経済原理」を知らない人達の話に過ぎない。取るに足らない反対論である。

5） 所で、最近の谷山地区の発展状況や道路の整備状況を知らない人達が反対していると聞く。JR指宿線は「線路も駅舎も高架式へと整備され、谷山地区は交通至便な街へと変貌している実態」を実感して欲しい。（「昔の谷山は不便な田舎だったとのイメージ」で語る反対意見者が何と多いことか！）県外客には「交通面では谷山は大変便利な地区」である。しかも県農業試験場跡地は50,000㎡と広く、地価相場は本港区や鴨池地区に比べ遥かに格安だから、必要十分な面積を「県と市が交渉協議する事には何ら問題は無い」と思われる。鹿児島市の地域バランスの良い発展に

も、鹿児島県や全国のサッカーフアンのためにも「県と市の相互協力」を期待するものである。「ユナイテッドの喜入サッカー練習場と、中山地区の鹿児島ふれあいスポーツランドと連携して考え、そして鴨池地区での新体育館の建設と、『ドルフィンポート跡地での稼げる街造り構想』とのセットでの開発を実現」出来れば、「何れの施設にも便利な未来に夢を持てる計画だ」と提案する。

●5：鹿児島県と鹿児島市の相互協力による、最適な施設配置計画の再検討を。

1） 鹿児島市長が「鴨池ドームの敷地を、新県体育館候補地として話合う姿勢」を示して貰えば、本港区エリアでの賑わいある街造り構想も実現する可能性が高くなる。聞く所では「知事が市長へ鴨池ドーム案を話題にされたが、市長が現在利用中と返事した」との話らしいが「県当局から市役所へ公式申込した話」は聞かない。「県と市も対等の目線に立って、利用者の県が謙虚に市へ相談する姿勢」で取り組めば、今まで相互協力した施設は何例も有るのだから、今回も県民目線の考えで話し合う事を期待すると共に、県議や市議が積極的に取り組んで欲しいと思う。

2） 鹿児島市有地の鴨池ドーム（17,600 ㎡）用地と、県有地の農業試験地跡地を相互に交換利用して、『県体育館とサッカー・スタジアムの両施設』を建設出来ればベストと言う事情通は多い。前に述べた通り、本港区エリアは「将来増加が見込める交流人口やインバウンドや富裕層向けの観光施設や本格的コンベンション等と、更に錦江湾を活かした海浜型施設」等を計画的に整備するなら、「20 年後の鹿児島の発展への期待は大きくなる！」との提案は、近辺の経営者にも将来を担う若者達にも十分に理解して貰えると思う。

3） 「本港区エリアの他の候補地 2 カ所での『鹿児島市のサッカー・スタジアム構想の実現の可能性』は非常に厳しい」と考えられる。そこで 1 月 18 日に有志で県財産活用対策室へ「県農業試験場跡地の民間への売却開始を、昨年末から更に 2 年間の先送りを求める審査請求を提出」した。それは「本港区でのサッカー・スタジアム建設が困難」となった時に、鹿児島市内で残された代替候補の最適地を確保しておく目的からの行動であった。これもダメなら鹿児島市内でのサッカー・スタジアム候補地探しは難しくなる。そうなれば周辺の市町が直ぐに手を挙げるだろう。その時には「鹿児島市は反対を出来ない」事を市民は判っておくべきと思う。

4） 昨年末から開始された「鹿児島本港区エリア利活用検討委員会」を傍聴したが、「県体育館建設候補地として、鴨池ドーム敷地案も議論」して貰えば、賛同を示される委員は多いと感じた。是非議題として取り上げて頂きたいと提案するものです。

がある。私はサッカー・スタジアム構想に反対しているのではない。「もっと可能性の高い現実的な建設場所での検討の遣り直しを急げ」と提案しているのです。

2） 「ドルフィンポート跡地でのサッカー・スタジアム建設案」は、県有地であり県体育館計画の変更を求める事や、更にウォーターフロントパーク敷地まで割り込む案だから、県当局も県民の抵抗も大きいと言える。他の候補地の「浜町の土地所有者からは協力出来ない」と表明されたし、「住吉町は敷地が狭く、港湾施設の埋立てが前提」だから、許認可や工事に最低10年以上は掛かる問題がある。Jリーグ本部が「J2昇格の最低条件を10年以上も待ってくれる」とは思えないし、そうなると「鹿児島市のサッカー・スタジアム構想は全て頓挫してしまう可能性」が大きくなる。

3） 下鶴市長は富裕層を取込む計画と話されるが、県内にはスポーツ観戦に高額な出費をする客層は多くないと思う。だから鹿児島県民よりも多くの消費や出費が期待出来そうな県外客に目を向けるべきで、その様な県外からの応援団には「JR便や高速道路網に便利な谷山の農業試験場跡地は最適地」と言える。県外からの富裕層は試合観戦に熱中する人達だから、「スタンドから桜島の景観を楽しみに集まる常連客」は考えられないと思うし、更に「新体育館とサッカー・スタジアムの両方」が並んで建てられれば、錦江湾と桜島の一等景観が全て裏庭になってしまうだけである。新聞で「桜島が間近に見えるスタジアムは素晴らしい」と言う選手が居たが「もっと試合に集中してよ」と私は言いたい。サッカー場はサッカーを楽しむ会場のはず。

4） 「サッカー・スタジアムの建設候補地」としては、「谷山の県農業試験地跡は最適地」と推奨する。今回のサッカー・スタジアム計画は「J1リーグ昇格条件が屋根付き収容規模15,000人」以上と規定されているから、県体育館の2倍の客が集まる可能性がある。また県外からのアウェー応援団が多数駆け付けるから、大量輸送の交通機関が便利な場所が最適地と言える。鹿児島中央駅からJR指宿線へ乗り換へて慈眼寺駅まで17分、そこから徒歩5〜6分の場所である。また車利用者には高速道の谷山インターから5分で着く。(先日も「志布志から高速道路を走って来たら、谷山は1時間少しと近かった」との驚きの声を聞いた。)両方の交通網に便利で、広い場所が確保できる条件をクリアーできるのは「鹿児島市内では谷山が最適地」と言える。(鹿児島市内に、他により良い場所がありますか？)
谷山には宿泊施設が無いという可笑しな反対論者が居るが、「需要が施設を造るとの経済原理」を知らない人達の話に過ぎない。取るに足らない反対論である。

5） 所で、最近の谷山地区の発展状況や道路の整備状況を知らない人達が反対していると聞く。JR指宿線は「線路も駅舎も高架式へと整備され、谷山地区は交通至便な街へと変貌している実態」を実感して欲しい。(「昔の谷山は不便な田舎だったとのイメージ」で語る反対意見者が何と多いことか！)県外客には「交通面では谷山は大変便利な地区」である。しかも県農業試験場跡地は50,000㎡と広く、地価相場は本港区や鴨池地区に比べ遥かに格安だから、必要十分な面積を「県と市が交渉協議する事には何ら問題は無い」と思われる。鹿児島市の地域バランスの良い発展に

も、鹿児島県や全国のサッカーファンのためにも「県と市の相互協力」を期待するものである。「ユナイテッドの喜入サッカー練習場と、中山地区の鹿児島ふれあいスポーツランドと連携して考え、そして鴨池地区での新体育館の建設と、『ドルフィンポート跡地での稼げる街造り構想』とのセットでの開発を実現」出来れば、「何れの施設にも便利な未来に夢を持てる計画だ」と提案する。

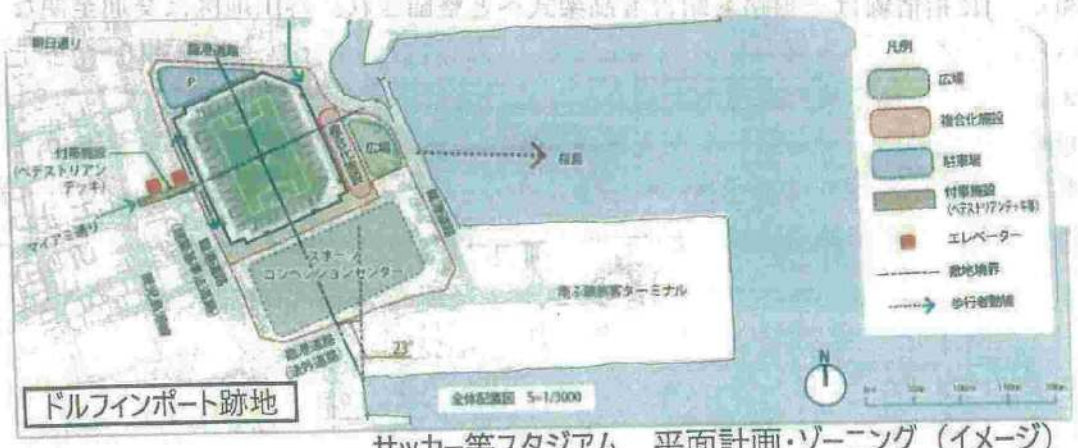
●5：鹿児島県と鹿児島市の相互協力による、最適な施設配置計画の再検討を。

1）　鹿児島市長が「鴨池ドームの敷地を、新県体育館候補地として話合う姿勢」を示して貰えば、本港区エリアでの賑わいある街造り構想も実現する可能性が高くなる。聞く所では「知事が市長へ鴨池ドーム案を話題にされたが、市長が現在利用中と返事した」との話らしいが「県当局から市役所へ公式申込した話」は聞かない。「県と市も対等の目線に立って、利用者の県が謙虚に市へ相談する姿勢」で取り組めば、今まで相互協力した施設は何例も有るのだから、今回も県民目線の考えで話し合う事を期待すると共に、県議や市議が積極的に取り組んで欲しいと思う。

2）　鹿児島市有地の鴨池ドーム（17,600 ㎡）用地と、県有地の農業試験地跡地を相互に交換利用して、『県体育館とサッカー・スタジアムの両施設』を建設出来ればベストと言う事情通は多い。前に述べた通り、本港区エリアは「将来増加が見込める交流人口やインバウンドや富裕層向けの観光施設や本格的コンベンション等と、更に錦江湾を活かした海浜型施設」等を計画的に整備するなら、「20 年後の鹿児島の発展への期待は大きくなる！」との提案は、近辺の経営者にも将来を担う若者達にも十分に理解して貰えると思う。

3）　「本港区エリアの他の候補地 2 カ所での『鹿児島市のサッカー・スタジアム構想の実現の可能性』は非常に厳しい」と考えられる。そこで 1 月 18 日に有志で県財産活用対策室へ「県農業試験場跡地の民間への売却開始を、昨年末から更に 2 年間の先送りを求める審査請求を提出」した。それは「本港区でのサッカー・スタジアム建設が困難」となった時に、鹿児島市内で残された代替候補の最適地を確保しておく目的からの行動であった。これもダメなら鹿児島市内でのサッカー・スタジアム候補地探しは難しくなる。そうなれば周辺の市町が直ぐに手を挙げるだろう。その時には「鹿児島市は反対を出来ない」事を市民は判っておくべきと思う。

4）　昨年末から開始された「鹿児島本港区エリア利活用検討委員会」を傍聴したが、「県体育館建設候補地として、鴨池ドーム敷地案も議論」して貰えば、賛同を示される委員は多いと感じた。是非議題として取り上げて頂きたいと提案するものです。



サッカー等スタジアム　平面計画・ゾーニング（イメージ）

港湾空港課
-5.4.14
受付

受付No.（事務局記載欄）	120

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」
応募申請書

（ふりがな） 応募者名 （~~個人~~・団体）	（かごしましすいぞくかんこうしゃ） 公益財団法人 鹿児島市水族館公社		住所	鹿児島市本港新町3番地1	
性別		年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・30代・40代・ 50代・60代・70代・ 80代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	099－226－2233 （担当者名 [redacted]）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			可 ・ 否		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL：099-286-3665　FAX：099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム（e（いー）申請）」
URL：https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

鹿児島港本港区エリアの利活用

（はじめに）

北ふ頭からウォーターフロントパークにかけては、「雄大な桜島」や「波静かな錦江湾」を望める優れた景観に加え、市街地において気軽に海（潮風）を感じられる場所となっています。ここをイベント時だけでなく日頃から市民や観光客が訪れ、この景観等を感じてもらえる場所になるような活用策が望まれます。

１．現状と課題

（かごしま水族館とイルカ水路）

かごしま水族館は、この本港区の北ふ頭に、平成９年５月３０日に開館し、本年度で２６周年を迎えます。この間、年に６０万を超える人が訪れるなど、地域の賑わいの創出に貢献しています。

現在、「鹿児島の海にこだわり　海を守り　地域と共にある水族館」を基本目標に運営を行っています。鹿児島らしい水族展示の充実はもちろんのこと、地域の賑わいづくりにつながるよう、「イルミネーションやライトアップ」、「水族館ウエディングなどの貸切水族館」、「芝生広場にテーブル・イスの設置やキッチンカーイベント」などのほか、水族館に隣接するイルカ水路においても、「青空イルカウォッチング」、「マンボウ、シイラの季節展示」、「シーカヤック体験」などを実施しています。しかしながら、他に楽しめる施設が無く水族館だけを楽しんで帰られる状況であり、また、全体的に照明施設も少なく、特にさくら橋の下のボードウォークには照明もなく夜間の通行が危ぶまれる状況にあります。

（しおかぜ通り）

しおかぜ通りには、桜島や錦江湾を間近に望める展望所や潮風を感じられるベンチやテーブルの設置はありますが、照明設備が少なく夜間が暗いこと、第一駐車場からのアクセスが悪いことなどから、利用は少ない状況にあります。今後、北ふ頭に寄港するクルーズ船の増加や浮桟橋の整備によるマリンポートからの誘客等で来場者の増が見込まれます。

２．利活用のアイディア

北ふ頭にあるしおかぜ通りから水族館・イルカ水路（一丁台場を含む）に至る一連のゾーンを桜島・錦江湾の優れた景観や海（潮風）を感じながら歩いて楽しめる、また、ペット同伴でも気軽に飲食ができ、子供が自由に遊べる、そのような空間、いわば、観光・アミューズメント空間にすることで、イベント時だけでなく、水族館の集客力と相まって日頃から人の流れや回遊性が生まれ、地域の賑わいづくりにつながるものと考えます。また、クルーズ

船の乗客やクルーにとっても気軽に楽しめる空間となり、クルーズ船の誘致にもつながるものと考えます。

〈具体例〉

○　［しおかぜ通り］
・週末の賑わい創設のため、キッチンカーなどが駐車できるスペースの整備
・第一駐車場からの歩行アクセスの改良

○　［観光客・市民の憩いの場の整備］
さくら橋～一丁台場間の広場を桜島側に緊急用道路まで（約１０ｍ）拡げ、芝生緑地の整備を行い、以下の施設を設置する。
・おしゃれなオープンカフェ（ペット同伴可）の導入
・ベンチやテーブル・イスの設置
・こども広場（コンビネーション遊具）の整備
・桜島をバックに野外ステージを整備

○　［ゾーン全体］
・しおかぜ通り～イルカ水路（一丁台場を含む）間の照明設備の再整備
・ウォーキングコースの設定

鹿児島港本港区の利活用のアイディア

○ かごしま水族館の取組

館内外のにぎわいづくり



芝生広場にテーブル・イス設置



水族館ウェディング（貸切水族館）



イルミネーションやライトアップ

イルカ水路の活用



青空イルカウォッチング



マンボウ（季節展示）



シーカヤック体験

○ 利活用のアイディア

［しおかぜ通り］

・キッチンカーなどの駐車スペースの整備



・県営第一駐車場からの歩行アクセスの改良





［観光客・市民の憩いの場の整備］

・さくら橋～一丁台場間の広場を拡張し海と桜島を望む芝生緑地を整備
  - おしゃれなオープンカフェ（ペット同伴可）
  - ベンチやテーブル・イスの設置
  - こども広場（コンビネーション遊具）の整備
  - 桜島をバックにした野外ステージ



［ゾーン全体］

・しおかぜ通り～イルカ水路（一丁台場を含む）間の照明設備の再整備
・ウォーキングコースの設定

港湾空港課
-5.4.14
受付

受付No.（事務局記載欄）	14

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」
応募申請書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（[redacted]） [redacted] （個人）		住所	[redacted]	
性別	男	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・30代・40代・ (50代)・60代・70代・ 80代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名　　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			可　・　(否)		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム(e(いー)申請)」
URL：https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付 No.（事務局記載欄）	

「鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア」
応募様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

※ドルフィンポート跡地での週替わりイベント開催企画を公募
- 運営形態は官民問わず、複数の自治体や官民共催等も可
- 内容等によって参加者を偏らせることのない、全世代型が基本
- 集客見込みは数千人規模
- 簡易型の全天候オープンスペース常設によって、集客を後押し
- 天文館施設との共通プレミアム付き商品券やマネーの発行及び回遊バス運行等を調整
- ドルフィンポート跡地については、賑わい創出やスポーツ・コンベンションセンターとしての利活用のみを基本とし、駐車場等の付帯機能は他エリアへ整備

※ウォーターフロントパークならではの自然が感じられる憩いの提供
- コンセプトは、来訪者が寛げる水と緑のオアシス
- 雰囲気にマッチしたウッドデッキやベンチ、移動式屋台カフェ等を設置

※北ふ頭の既存施設をベースとした活性化
- 既存建屋の旅客ターミナル、待合所等の恒常的な有効利用が見込まれる必然機能のみに特化した専用スペースの整理統合を実施した上で、寄港クルーズ船及びかごしま水族館の観光客をターゲットとした物産販売スペースを整備
- 加えて、既存建屋のその他未利用スペースについては、小規模文化・芸術イベントの開催や修学支援施設等としての利活用可能なリノベーションを施し、不特定の集客力の付加強化を図る
- 上記以外の未利用空きスペースには、駐車場等の付帯機能を整備

※南ふ頭用地の有効活用
- 既存建屋の旅客ターミナル、待合所等の恒常的に有効利用が見込まれる必然機能のみへ特化した専用スペースの整理統合及び駐車場等の付帯施設整備を含めた土地の有効活用策をとりまとめ、展開実施

※住吉１５番街区への補完機能整備
- 鹿児島港本港区及び周辺エリアの賑わい創出やスポーツ・コンベンションセンター、北ふ頭の文化・芸術・観光振興施設群及び周辺エリアでのＭＩＣＥ開催の能力向上に資する駐車場等の付帯施設を整備

※駐車場からの出庫時における混雑緩和を図るため、北ふ頭、南ふ頭、住吉１５番街区へ設ける際のルート整備では、本線合流規制策も含めて検討及び実施

122

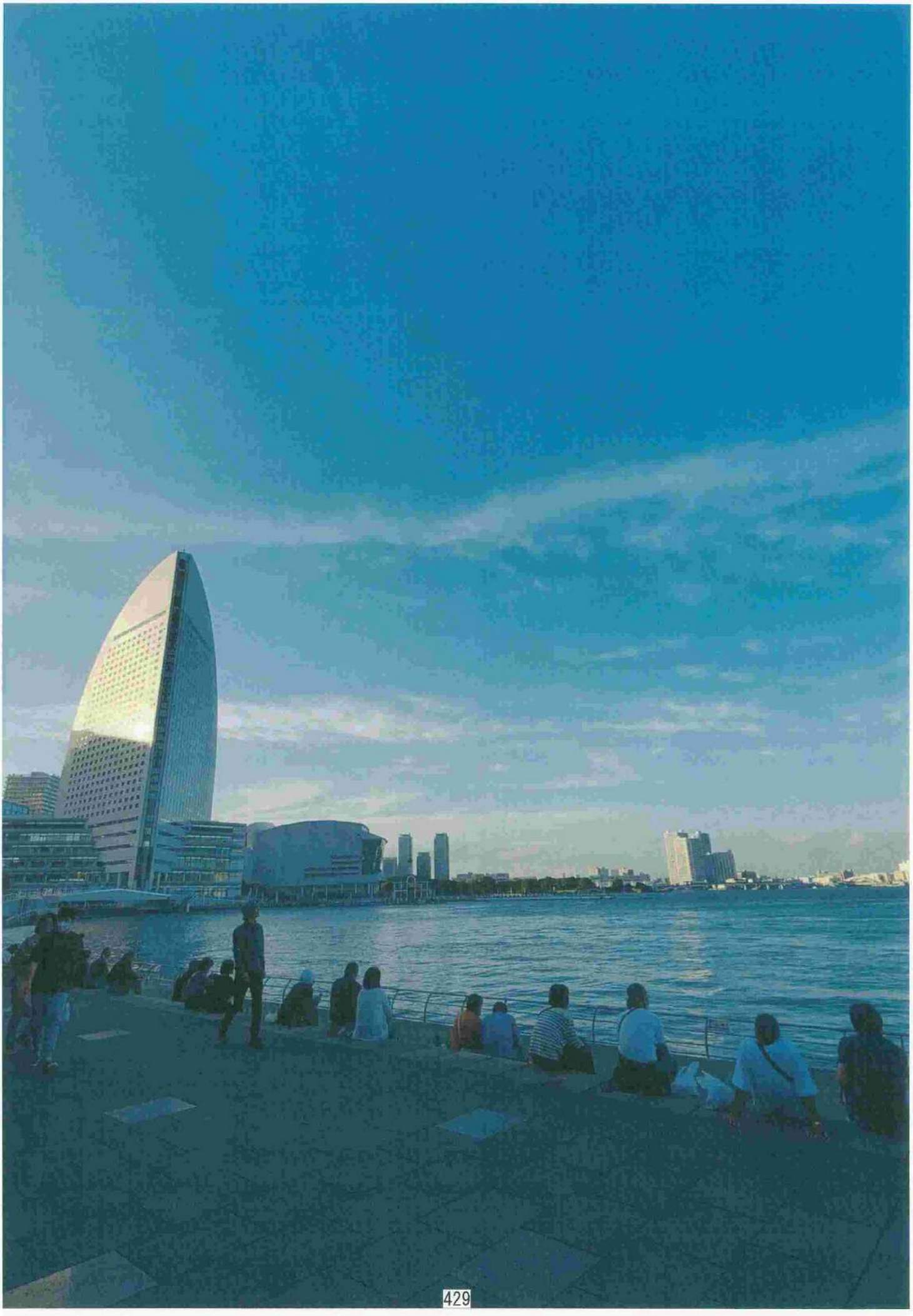
鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを募集します！（アイディアを直接入力できる専用ページです。）

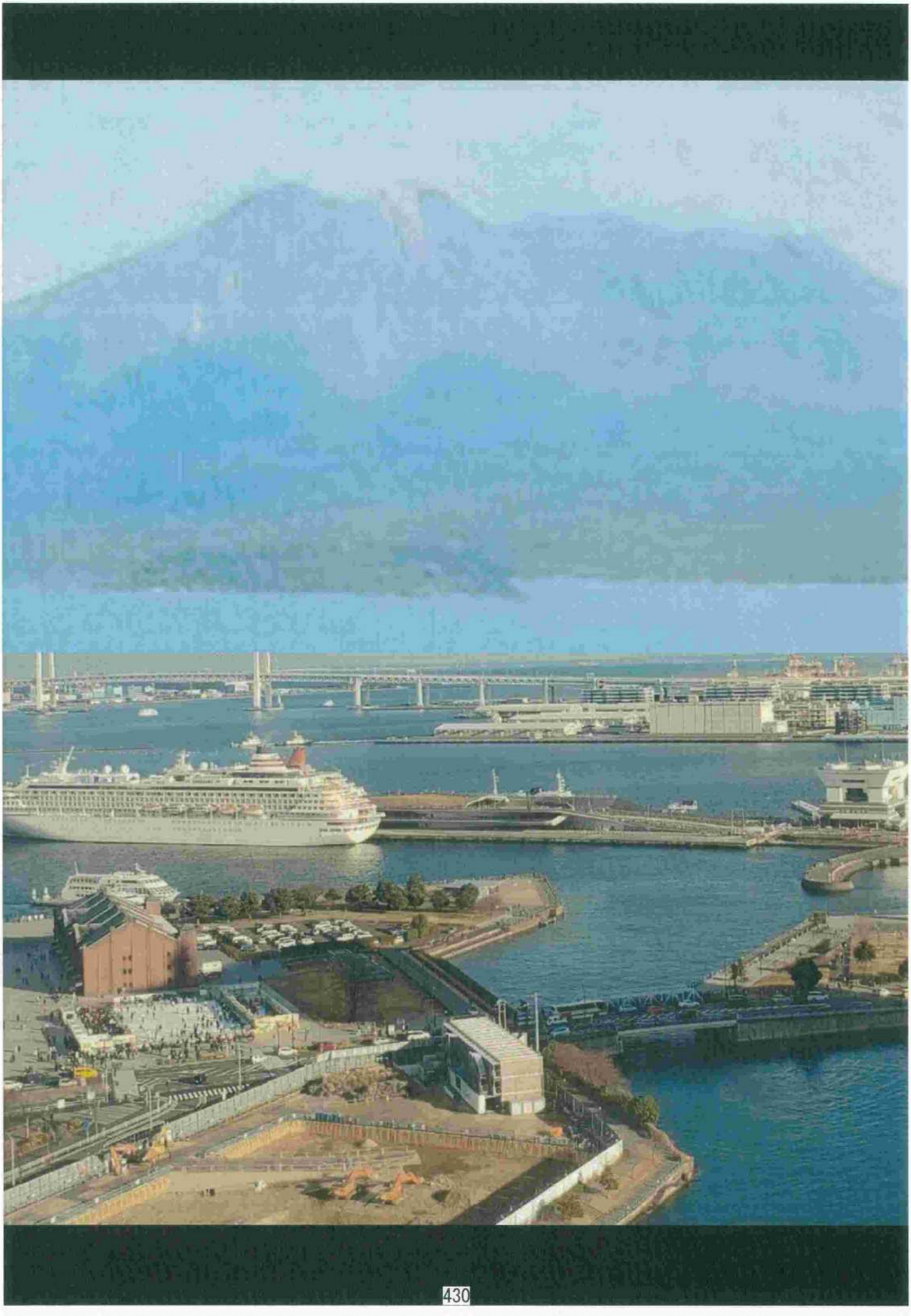
港湾空港課
-5.4.14
受付

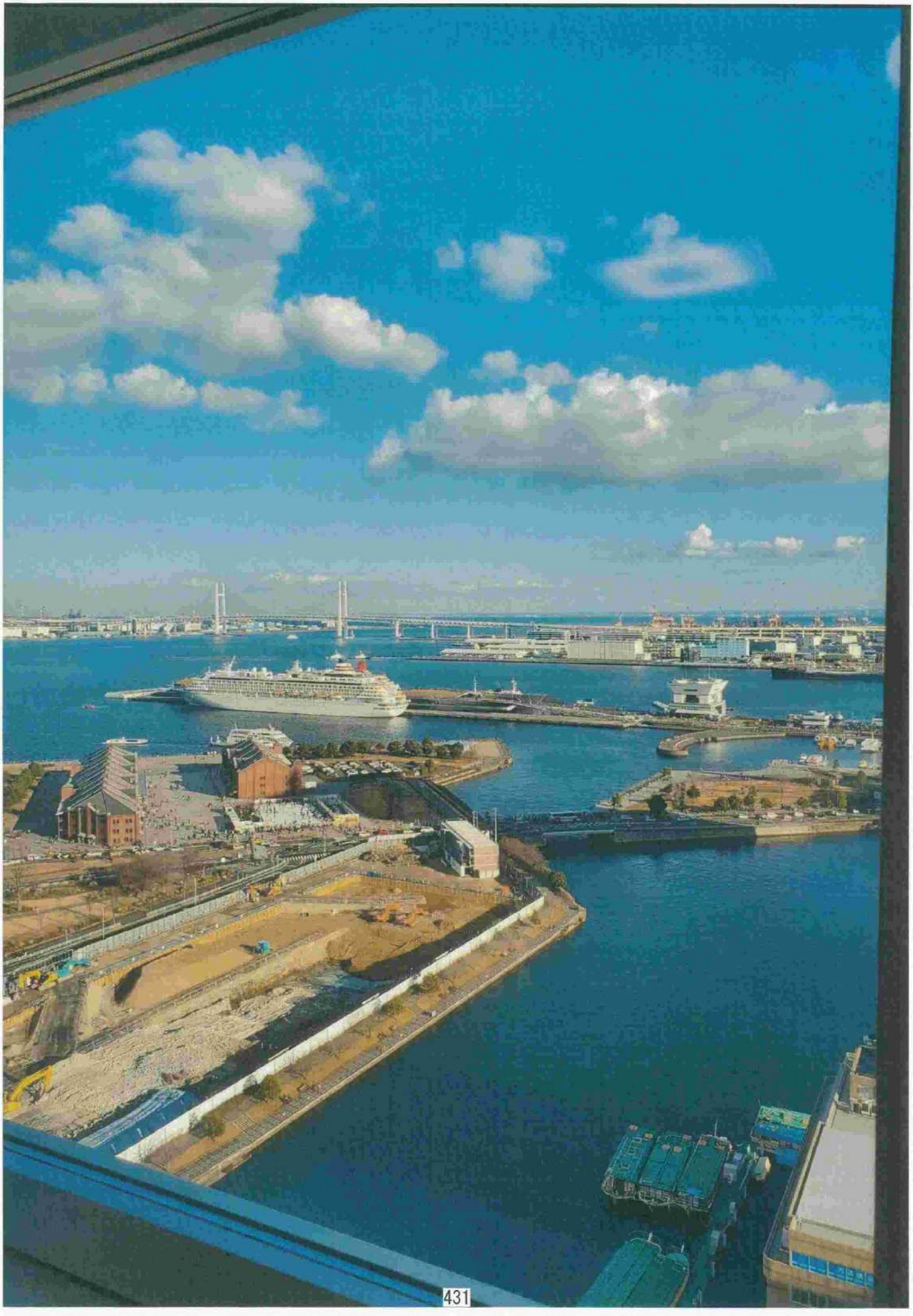
受付番号:9708019
申請日:令和05年04月14日

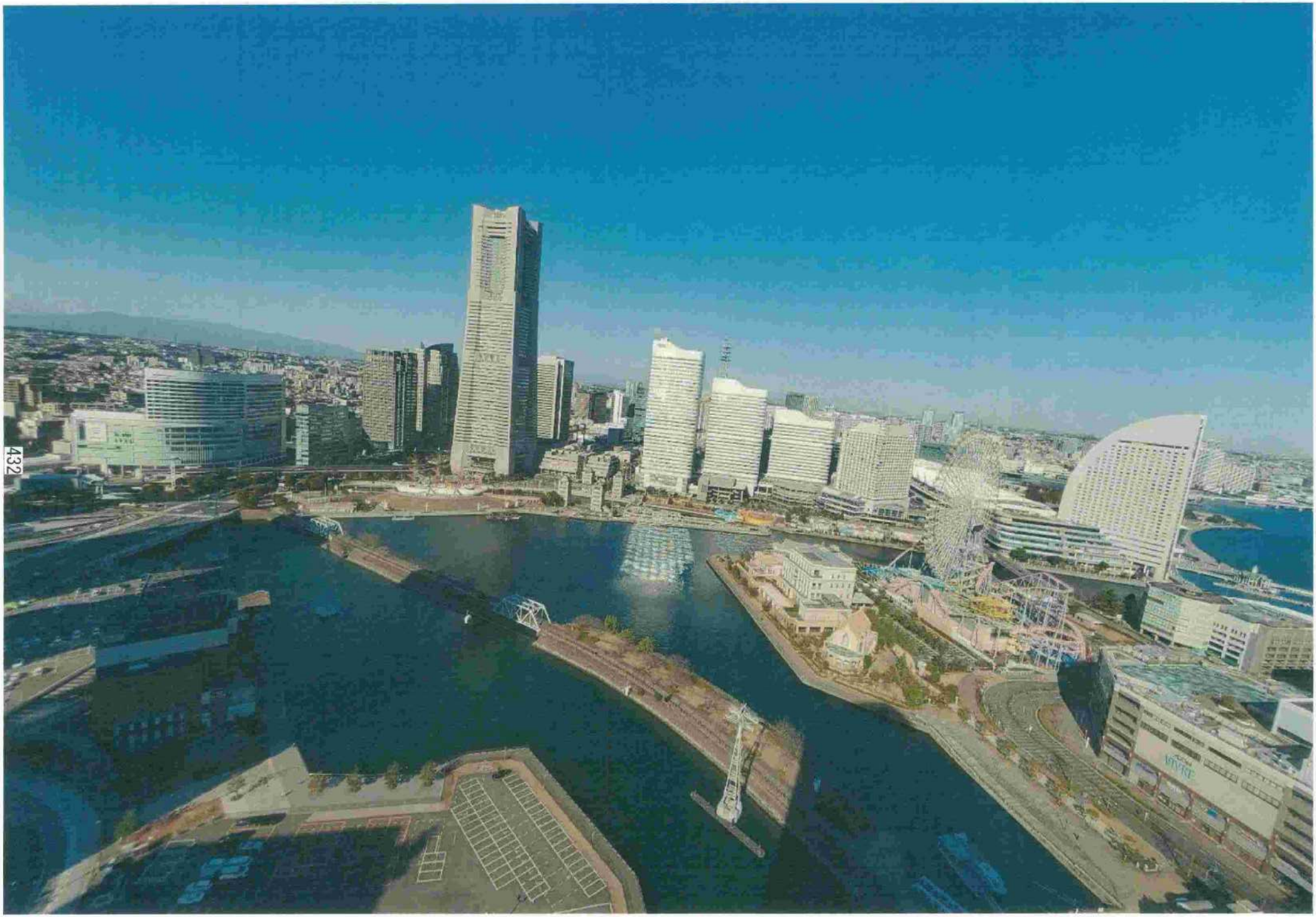
番号	項目名	入力内容
1	応募者名（個人または団体）	[redacted]
2	応募者名（ふりがな）	[redacted]
3	住所	[redacted]
4	性別	男
5	年代	50代
6	電話番号	[redacted]
7	プレゼンテーション参加の可否	否
8	以下にアイディアを記入してください。	初めまして、現在東京在住の者です。生まれた時から桜島フェリーの発着所前にて、桜島を見て育った者です。ドルフィンポートが無くなり、その後どのように活用されるのかと、大変注目しております。現在、若者を中心にInstagram等のsns等で、ウォーターフロントからの桜島の綺麗な画像を拝見すると共に、東京の人へ見せるとほんと綺麗だと感動されます。nhkの大河ドラマ、古くは篤姫、西郷どんと県外からの観光客が増えた事も皆さんご存知だと思います。そういう意味でも歴史的な建物が集まる地域のウォーターフロントと言う事で、是非参考にして頂きたくご連絡致しました。 是非、横浜のハンマーヘッド～赤レンガ倉庫～大桟橋～山下公園～横浜中華街～横浜スタジアムと、港未来エリアへのロケーションは、とても整備された、バランスの良いウォーターフロントが広がっています。 勿論、ハンマーヘッドから中華街へは、遊歩道や公園が整備され、季節には、さまざまなイベント(オクトーバーフェスト)などが催されています。 広さ的に違いがあるかも知れませんが、大きい建物や、高い建物も眺めを阻害する事無く、立ち並んでいます。 どこか、鹿児島にも当てはまる街並みを再現できるのではと思います。 是非横浜へ足を運んで、体験してみて下さい。また最近では、天文館へ外資のホテルが出来たようで、中央駅へ人の流れが天文館エリアへも戻りつつあると聞きます。そして、天文館から、いずろ、ドルフィンポート後への人の流れが出来ると、名山町、易居町エリアも、おしゃれなカフェ等か立ち並ぶエリアへと変化していくのではと思います。また海沿いのウォーターフロント～石橋公園～仙巌園と海沿いの道をつなげて、更にアクセス良くして頂ければと思います。 そして、鹿児島県民、県外の人々が、より良い鹿児島での暮らしが出来るようにお願い致します。
9	別途資料を添付する場合にご利用ください。（各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで）	Screenshot_20230414-110619_Photos.jpg

10	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	Screenshot_20230414-111047_Photos.jpg
11	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	Screenshot_20230414-111406_Photos.jpg
12	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	Screenshot_20230414-110826_Photos.jpg









123

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを募集します！（アイディアを直接入力できる専用ページです。）

港湾空港課
-5.4.14
受付

受付番号:9708310
申請日:令和05年04月14日

番号	項目名	入力内容
1	応募者名（個人または団体）	[redacted]
2	応募者名（ふりがな）	[redacted]
3	住所	[redacted]
4	性別	女
5	年代	60代
6	電話番号	[redacted]
7	プレゼンテーション参加の可否	否
8	以下にアイディアを記入してください。	鹿児島の誇りである桜島を借景に展開出来るドルフィンポート跡地。 私たち鹿児島県民市民だけではなく、県外国外の方々にも堪能出来る場として活用していきたいものです。 まず、誰でも自由に立ち入れる緑豊かな公園というコンセプトを基本に、敷居の低い野外音楽堂や、鹿児島が誇る地産の食を知り買えるショップ、更に地産食材を使った絶品グルメを堪能できる屋台、等などの展開が出来たら、誇りを持ってしかも気楽に楽しく鹿児島をアピール出来る可能性が拡がると考え、以上の案を提案します。
9	別途資料を添付する場合にご利用ください。（各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで）	
10	別途資料を添付する場合にご利用ください。（各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで）	
11	別途資料を添付する場合にご利用ください。（各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで）	
12	別途資料を添付する場合にご利用ください。（各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで）	

124

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを募集します！（アイディアを直接入力できる専用ページです。）

港湾空港課
-5.4.14
受付

受付番号：9708375
申請日：令和05年04月14日

番号	項目名	入力内容
1	応募者名（個人または団体）	[redacted]
2	応募者名（ふりがな）	[redacted]
3	住所	[redacted]
4	性別	書きたくない
5	年代	40代
6	電話番号	[redacted]
7	プレゼンテーション参加の可否	否
8	以下にアイディアを記入してください。	ウォーターフロントである立地をいかし、海や火山、自然の豊かさをテーマとした一帯の総合開発が望ましい。 鹿児島県は観光県でもあるため、「稼ぐ」ことが優先され県民たちの生活の質の向上は後回しにされる印象がある。まずは県民がそれぞれの目的で集いやすい多目的な場所となり、そこが評判となって観光客も訪れる。その順序が守られることを強く願う。 具体的な案としては、ウォーターフロントパークをそのままに、子ども向けの大型遊具を充実させ、県民が散歩をしたり、木陰で読書をしたり、ピクニックをしたり気軽に立ち寄れるリフレッシュできる場とする。ドルフィンポート跡地を低層のカフェ、レストラン、ブックストアもしくは簡易図書館、マーケット、簡易宿泊所、ギャラリー、セレクトされた鹿児島の物産品、オーガニックに限定した野菜や食品の販売など、文化的な特色を出し、他所との差別化をはかる。もちろん、障がい者や高齢者、子育て世代や外国人などが利用しやすいインフラを整える。
9	別途資料を添付する場合にご利用ください。（各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで）	
10	別途資料を添付する場合にご利用ください。（各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで）	
11	別途資料を添付する場合にご利用ください。（各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで）	
12	別途資料を添付する場合にご利用ください。（各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで）	

125

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを募集します！(アイディアを直接入力できる専用ページです。)

港湾空港課
-5.4.14
受付

受付番号:9709252
申請日:令和05年04月14日

番号	項目名	入力内容
1	応募者名(個人または団体)	[redacted]
2	応募者名(ふりがな)	[redacted]
3	住所	[redacted]
4	性別	女性
5	年代	60代
6	電話番号	[redacted]
7	プレゼンテーション参加の可否	否
8	以下にアイディアを記入してください。	再開発＝建物を建てるではなく、イベント企画力や、仕掛けるアイデアが欲しいです。 天文館センテラスが起爆剤にもならないのは、建物自体にも店舗にも魅力がないからでコロナのせいではなく、1回行ったら気が済むからです。 建造物に頼るのではく、例えば静岡市が『世界大道芸の街』として何十年もかけて作り上げたイベントをご存知ですか？ 世界中から一流パフォーマーが静岡市を目指し、その期間中はホテル全て満室で、街なかいたる場所で世界各国の一流大道芸人が芸を披露します。 ボランティアも洗練されてゴミ分別の仕組みにも感動しました。魅力あるイベントなので何年か通いました。 担当公務員の皆さんにも私費で旅行して実感して欲しいです。 3桁億の税金で建物つくりたいのなら、せめて『作って終わり』でなく、市民県民親子3世代が何度でも行きたくなる物にしてください。 スポーツコンベンションセンターとうたうなら、『スポンジプール』や『ボルダリング』や『スケボーパーク』そして『バスケットボールのゴールだけ』みたいに、お金をかけずにいちいち申請とかしなくても、身体を動かせる施設を市民県民に解放するようにして欲しいです。 夜中に公園でスケボーするなとか禁止したってかわいそうです。 コンベンションセンター屋外にスケボーパークと、バスケットボールゴールだけなら、屋根も壁も不要だし安価にすぐ出来ると思います。 パラリンピックで有名になった『ボッチャ』みたいなスポーツも、自治体側か

9	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
10	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
11	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
12	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	

再開発＝建物を建てるではなく、イベント企画力や、仕掛けるアイデアが欲しいです。

天文館センテラスが起爆剤にもならないのは、建物自体にも店舗にも魅力がないからでコロナのせいではなく、１回行ったら気が済むからです。

建造物に頼るのではく、例えば静岡市が『世界大道芸の街』として何十年もかけて作り上げたイベントをご存知ですか？

世界中から一流パフォーマーが静岡市を目指し、その期間中はホテル全て満室で、街なかいたる場所で世界各国の一流大道芸人が芸を披露します。
ボランティアも洗練されてゴミ分別の仕組みにも感動しました。魅力あるイベントなので何年か通いました。担当公務員の皆さんにも私費で旅行して実感して欲しいです。

3桁億の税金で建物つくりたいのなら、せめて『作って終わり』でなく、市民県民親子3世代が何度でも行きたくなる物にしてください。

スポーツコンベンションセンターとうたうなら、『スポンジプール』や『ボルダリング』や『スケボーパーク』そして『バスケットボールのゴールだけ』みたいに、お金をかけずにいちいち申請とかしなくても、身体を動かせる施設を市民県民に解放するようにして欲しいです。

夜中に公園でスケボーするなとか禁止したってかわいそうです。
コンベンションセンター屋外にスケボーパークと、バスケットボールゴールだけなら、屋根も壁も不要だし安価にすぐ出来ると思います。

パラリンピックで有名になった『ボッチャ』みたいなスポーツも、自治体側からどんどん提案して欲しい。走るのが遅くても、体力に自信なくても、順位のつかない運動を老若男女楽しめて、デートにも使えるコンベンションセンターなら大歓迎です。

人口減少なのに、収益目論見を多めに試算して、維持費だけ毎年膨れる建造物にだけはしてはなりません！

静岡市が世界中から大道芸人を集める街として成熟しているのだから、いっそのこと鹿児島は、マジックキャッスルでも作って世界中からマジックパフォーマーを集める街になっていくのも面白いかもしれません。

設計図ばかり見るのではなく、頭を柔らかくして、仕掛け・アイデアで彩りある鹿児島になりますようにと願います。

126

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを募集します！（アイディアを直接入力できる専用ページです。）

港湾空港課
-5.4.14
受付

受付番号:9711439
申請日:令和05年04月14日

番号	項目名	入力内容
1	応募者名（個人または団体）	[redacted]
2	応募者名（ふりがな）	[redacted]
3	住所	[redacted]
4	性別	女性
5	年代	30代
6	電話番号	[redacted]
7	プレゼンテーション参加の可否	可
8	以下にアイディアを記入してください。	・基本的には公園として活用する。広場を残して、そこでキャンプやバーベキューができるスペースをつくる。 ・全国で鹿児島だけが県立の美術館がない。現代美術も全くないので、アートセンター、または現代美術館がほしい。 そこでワークショップや図書館、カフェなども作って、市民が気軽に立ち寄れる施設がほしい。 そしてそのすぐそばに公園があり、子どもをそこで遊ばせながら親は学んだりできる場がほしい。 鹿児島は全国的に見ても文化的に遅れている。 青森県は鹿児島と同じ地理的には端に位置しているが美術館がいくつもあり、観光の名所となっている。 桜島がよく見えるロケーションはもっと有効に使うべきである。 体育館の中から桜島は見えるのか？ そこにどうしても必要なのか？ スポーツをしながら桜島を見る必要がないならば、あの素晴らしい眺めの場所に建てるべきではない。 全国でもなかなかない貴重な場所なので、もっと多くの県民や観光客が気軽に立ち寄れる場所にしてほしい。
9	別途資料を添付する場合にご利用ください。（各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで）	
10	別途資料を添付する場合にご利用ください。（各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで）	
11	別途資料を添付する場合にご利用ください。（各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで）	

12	別途資料を添付する場合にご利用ください。（各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで）	

港湾空港課
-5.4.14
受付

受付 No.（事務局記載欄） 127

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」
応募申請書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（[redacted]） [redacted]		住所	[redacted]	
性別	男	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・30代・40代・ 50代・60代・70代・ 80代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名　　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			可　・　否		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム（e（いー）申請）」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付 No.（事務局記載欄）	

「鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア」
応募様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

【ご提案】鹿児島の思い出つくりのできる複合施設

（主なターゲット）

- 県内在住、あるいは旅行・帰省にきている子連れの家族
- （将来的に鹿児島本港区周辺に外国人向けホテルができる場合には）海外からの旅行者

（提案の背景・理由）

・鹿児島本港周辺は、いおワールドかごしま水族館、桜島の絶景を望めるウォーターフロント(WF)、イベント船舶の停泊所など、訪れるスポットが複数あり、鹿児島の観光拠点の一つとなっている。今後スポーツ・コンベンション施設が整備され、さらに観光やエンターテインメントの拠点としての重要性が増すエリアとなることが期待される。[1][2]

・子連れ家族の旅行では、特に子供の年齢が低いと旅行先での行動/移動範囲が制限されるため、旅行先の訪問先同士がある程度近隣に集まり、複数の観光体験がパッケージ化されて家族で一日過ごせ複合施設を訪問先として選ぶことが多い（私自身２人の子供を持ち、毎回必ずそうしてます）。例えば、水族館に行った後、休憩を挟んで何かもう一か所くらい 1～2 程度時間を使えるところが施設内にあるとよい。（参考：国内旅行客に占める子連れ旅行者の割合はおおよそ 18 ~ 26%程度[3]）

・現状の鹿児島本港区は、エンターテインメント（いおワールド鹿児島水族館）、自然（WF など）の要素を兼ねているものの、それ以外の要素が充足されておらず鹿児島の魅力をパッケージ化したものとは言えない状況であり、丸一日そこで過ごすことはできず、滞在時間も短い。

- 例えば、いおワールドかごしま水族館へ行き、周辺を散策する場合、トータルの滞在時間としては 3.5～4.5h 程度であると推測される（水族館の見学時間は平均 1.5h 程度とされており[4]、ランチやショー観覧時間を含めて 2.5～3.5h とすると、周辺の散策をしたとしてもトータルの滞在時間はせいぜいそれくらい）
- また、飲食施設は少し離れた場所に点在しており（図 1）、エンターテインメント後に子連れで鹿児島の食を楽しむには十分な施設が整備されていないと考えている。（スポーツ・コンベンションセンター整備時には、カフェやキッチンカーなどのためのスペースが整備される予定であるものの鹿児島の食、というイメージの店舗ではないと推察）



図 1:鹿児島本港周辺を Google map で“ランチ”で検索した画面

（提案内容）

鹿児島本港区で、複数の観光体験が可能な複合施設を導入することを提案する。

・具体的には、現状の“エンターテインメント”、“自然”に加え、“鹿児島の食体験要素”、“鹿児島ならではの体験/ワークショップ要素”の施設を導入する。

（参考：[3]によると、食体験（地元のおいしいものを食べる）は 25～35%が旅行の目的としている。体験を旅行目的とする割合は 5%程度にとどまるが、その他の要素とパッケージ化することで集客も可能と推測する）

“鹿児島の食体験要素”としては、例えば、地の食材などを使った SNS 映えするレストラン（桜島が一望できる）などが考えられる（図 2 はイメージ。写真は逗子市のイタリアンレストラン[5]）。ここに、鹿児島の特産を使った料理を出すことで地元食材のファンを増やし、お土産などの購買意欲向上へつなげることができる可能性もある。



図 2：海辺のレストランのイメージ [5]

“鹿児島ならではの体験/ワークショップ要素”については、子供にとって旅行先でのワークショップ体験などは、普段味わえない体験を積むことができるとともに、旅行先の文化を学ぶ貴重な機会となる（また、ワークショップなどは子供の知的好奇心を刺激するとともに、夏休みなどの長期休暇における自由研究のテーマとしても用いることができる）。一方、鹿児島の子連れ体験スポットをネット検索すると[6]、訪問観光スポットは多数あるものの、ものづくり体験などの数は少なく（2～3 件程度）、場所も点在している状況であり、旅行者は複数の体験（あるいは、体験そのもの）を実施することが困難な状況にある。体験の内容としては、既存の“桜島火山灰アート”のように鹿児島の特色を生かしたものを中心にすることが望ましい。例えば、火山灰を使った石鹸つくりワークショップや、薩摩切子ワークショップ（図 3）など、鹿児島でしか体験できないものが望ましい。また、既にある地元の類似体験などと連携することも考えられる（例えば、桜島・錦江湾ジオパーク[8]など）。さらに、子供の体験に加えて、大人向けの焼酎の試飲会（飲み比べなど）もあると、ワークショップ自体に興味のない親でも楽しむことができる。



図 3: 薩摩切子体験[7]

(施設の場所)

体験施設の場所は、新設されるスポーツ・コンベンション施設の場所などにも依存するが、子連れを誘導しやすいようにいおワールドかごしま水族館から徒歩圏内に設置することが望ましいと考える。

(参考資料)

[1] 鹿児島市説明資料（第１回検討委員会資料）

[2] 鹿児島商工会議所説明資料（第２回検討委員会資料）

[3] 第 18 回「国内宿泊旅行ニーズ調査」（リクルート じゃらんリサーチセンター調べ）(https://jrc.jalan.net/wp-content/uploads/2023/03/f7046fd96714fe2f6dfe9a2ee543d81e.pdf)

[4] いおワールドかごしま水族館よくあるご質問(https://ioworld.jp/faq)

[5] シーサイドイタリアンカンティーナ神奈川県逗子市新宿 1-3-15 (https://www.cantina-zushi.com/)

[6] かごしま市観光ナビ（https://www.kagoshima-yokanavi.jp/theme/theme-family)

[7] ガラス工芸体験（薩摩びーどろ工芸）(https://www.kagoshima-kankou.com/guide/10933)

[8] 桜島・錦江湾ジオパーク（https://www.sakurajima-kinkowan-geo.jp/sakurajima-kinkowan/industry/)

2023/04/15 9:48:01

128

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを募集します！(アイディアを直接入力できる専用ページです。)

港湾空港課
-5.4.15
受付

受付番号:9714593
申請日:令和05年04月15日

番号	項目名	入力内容
1	応募者名(個人または団体)	[redacted]
2	応募者名(ふりがな)	[redacted]
3	住所	[redacted]
4	性別	男
5	年代	10代
6	電話番号	[redacted]
7	プレゼンテーション参加の可否	否
8	以下にアイディアを記入してください。	ドルフィンポートを復活してほしい
9	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
10	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
11	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
12	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	

129

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを募集します！(アイディアを直接入力できる専用ページです。)

港湾空港課
-5.4.15
受付

受付番号:9715197
申請日:令和05年04月15日

番号	項目名	入力内容
1	応募者名(個人または団体)	[redacted]
2	応募者名(ふりがな)	[redacted]
3	住所	[redacted]
4	性別	男子
5	年代	60代
6	電話番号	[redacted]
7	プレゼンテーション参加の可否	可
8	以下にアイディアを記入してください。	本港区エリアは、錦江湾につながるウォーターフロントパークを扇の要に例えれば、親骨にあたる桟橋通りとポサド通りに挟まれ、どの通りも本港区線の交差点から桜島が見える。特に中央を走るマイアミ通りは本港区線との交差点から桜島、錦江湾を広く見渡せる。このように城山麓から本港区エリアには子孫に残したい貴重な景観、歴史的建造物の鹿児島旧港施設、いおワールド、旅客ターミナル、桜島フェリー乗り場がある。これらは県民の財産であり、世界に誇れる自然景観や港湾施設である。これは唯一無二の観光資源でもある。 このエリアを活用するには景観と歴史的施設を保存し、いつでも人が集まる仕掛けをつくって欲しい。それには景観を邪魔せず維持し、いつでも利用できる施設が良いと思う。 例えば、食事、農産物販売、観光案内、火山や種子屋久/奄美を紹介する博物館。2階建て以下の高さにして設備投資を抑えた施設でコンテナやキッチンカー、移動販売車などの店舗展開。また開店と撤退の敷居が低く個性的で若者も挑戦できる、言い換えれば歴史的施設に対して柔軟に発展していく地域を作って欲しい。 同時にマリンポート旅客船やツアー観光客が利用するような大型バスの駐車場を整備する。さらにアコウ並木など日陰がつながる通路を整備して天文館、博物館、美術館、黎明館から歩ける、また自転車、電動キックボードなどで本港区エリアを散策できる環境を作る。 また災害時には施設を撤去して臨時仮設住宅などが建てられる固定施設を極力減らした多目的公園とする。
9	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
10	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	

11	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
12	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	

港湾空港課
-5.4.15
受付

受付 No.（事務局記載欄）	130

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」
応募申請書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（[redacted]） [redacted]（個人）		住所	[redacted]	
性別	女	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・30代・㊵代・ 50代・60代・70代・ 80代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名　　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			㊐　・　否		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム（e(い一)申請）」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付 No.（事務局記載欄）	

「鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア」
応募様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

鹿児島港本港区エリア利活用についてご提案するに際しまして、私が考える揺るぎないテーマは
「鹿児島の歴史・文化・思いやりの心を日本、世界の人に発信する場所」です。
鹿児島だからこその強みと心が、隅々まで行き渡る場所にしなくては、一歩間違えれば他の都道府県にもよくある普通の憩いの場所になってしまうと考え、鹿児島県民の方々はもちろん、鹿児島港本港区エリアが「鹿児島の人が持つ特有の優しさ、思いやりの心」で満たされ、国内・外から来鹿した人々が薩摩でしか味わうことのできない空気に包まれ、特別な時間を過ごす空間を考えてみました。

まず、エリア中心部に「鹿児島の観光紹介センター（仮名）」を設置して、鹿児島県内すべての観光地や名品を紹介します。中央駅や、センテラスにも観光案内所がありますが、フェリー発着場がある鹿児島港本港区エリアならではの利便性を生かす観光案内、さらには、外国からの大型客船、国内・外からの観光客、スポーツコンベンションセンター利用客（コンサート開催時は遠方からの観光を兼ねた訪問客を多く見込める）といった実に幅広い人を対象とした**「さらに一歩も二歩も踏み込んで鹿児島全域を案内する発信地」**を設立してはいかがでしょうか。
ここで情報を得ることで、観光客をはじめ全ての人が、鹿児島の興味のある場所へ行くことに繋がる「発信地」として、鹿児島の歴史と文化に満ちた多くの観光地（地域）を現代の技術を駆使して紹介するような施設をイメージしています。
そして、鹿児島全域の案内や説明に長けた人材が常駐して、鹿児島各地に存在する唯一無二の魅力的な場所へと案内し、橋渡し役となる重要な施設になると考えます。
この「鹿児島の観光紹介センター（仮名）」にはもう一つの目玉として、同じ施設内に、鹿児島各地から、１地域につき何名かが期間限定で常駐し、自分達の地域自慢の名産品や名所を紹介し、来場者が飲食できるような（ここでは軽い飲食をイメージしています）コーナーを複数地域分設置すること、このコーナーをそれぞれの地域が期間限定の持ち回り制で利用できるとすれば、鹿児島全域の多くの地域がこのコーナーを利用して、自分達の地域を紹介できる場所になり、観光客や訪れた人との会話や交流が生まれ、「鹿児島の観光紹介センター（仮名）」とともに、何歩も深まる相乗効果が生まれ、より温かみのある魅力溢れる「発信地」になるのではと思います。
この「発信地」から、例えば、薩摩の歴史に興味がある人は「維新ふるさと館」、加世田の竹田神社から「日新公いろは歌の石碑」、「知覧の武家屋敷」をはじめとした鹿児島県の重要な歴史が今も残る地域へ足を運び、更に、ここで地元地域の人との交流があったからこそ知った、曽於市の弥五郎どんを訪ねて大隅へ渡る。このようなコースに広がるかもしれません。
また、鹿児島港本港区エリアからアクセスしやすい鹿児島市内の名所とともに、天文館のお店（山形屋、飲食店等）を始めとした中心繁華街へ人の流れを繋げること、離島への案内（すぐにフェリーに乗船できる）まで、実にオールマイティな情報発信が可能な場所となることが期待できると考えます。市内への人の流れを作るためには、循環バスや、タクシーの待機場所も作ることができればなお良いのではないでしょうか？

次に、「鹿児島の観光紹介センター（仮名）」と調和するように、鹿児島港本港区エリアは、鹿児島県民、観光客全ての人の「花と芝生の憩いの場（仮名）」に続きます。この「憩いの場」には、海の潮風対策が施されたテーブルと椅子が置かれ、お年寄り、体の不自由な人、車いすの人、大人、子供、すべての人が心地よく過ごすことができる設計である必要があります。そして、ここから眺めることができる雄大な桜島を最大の贅沢な景色とし、自然に調和するようなぬくもりを感じられる木のデザインにしてはどうかと考えます。テーブルと椅子の他に、長椅子も配置し、その長椅子に、囲碁、将棋盤を備え付けてもよいかもしれません。碁石や将棋の駒は、「鹿児島の観光紹介センター（仮名）」で貸し出しをし、そこで老若男女、地元の人と観光客が出会って、囲碁を楽しむ光景が生まれるかもしれません。
花と芝生は、市電の線路がとても美しく手入れされた花と芝生で飾られているので、あのような美しい芝生と花が広がれば、この「憩いの場」で時間を忘れて寛ぎながら、目の前には桜島を眺めることができる、まさに鹿児島らしさが感じられる、新たな誇り高い場所となるのではないでしょうか。

鹿児島に行く度に感心させられますが、いつ行っても、塵一つ落ちていない、空き缶が転がっていることも私は見たことがありません。おそらく、このような県は他にはそうそうないでしょう。
これは、きちんと清掃して、ゴミをその辺に捨てたりしない、薩摩の精神が今も根付いているからこそ綺麗な町が保たれているといつも思います。「花と芝生の憩いの場（仮名）」ができれば、必ずや鹿児島のみなさんによって、美しい、薩摩の精神が表れた場所になると確信しています。
この「憩いの場」では、芝生をステージのように活用するイベントの開催も可能とすれることも想定しています。例えば、指宿で開催されているフラダンスフェスティバルの一環として、桜島をバックに、フラダンスを踊るというような企画も叶うかもしれません。フラダンスフェスティバルは全国からフラダンサーが参加するので、このようなイベントも鹿児島港本港区エリアでも開催できればより利活用の幅も広がるのではないかと考えました。（指宿の実行委員会との協議が必要だと思いますが・・あくまでもアイディアです）

最後にお食事処として**「薩摩の歴史の世界に浸りながら食事・お酒も楽しむことができる飲食店」**の設置です。歴史を感じる重厚感あるデザインの店内（まるで鶴丸城 御楼門のような、薩摩藩の歴史を感じる重厚なデザインをイメージしています）において、鹿児島自慢の数々の特産品や名産品を食し、焼酎を味わい、地元の人や観光客の人がここで出会い、楽しく、鹿児島でこそ生まれる最高の時間を味わうことができる場所になってほしいと思います。
ただ、この食事処で酒を飲んだ人（観光客）が「花と芝生の憩いの場（仮名）」で騒ぐことができないような、うまい作りにしなくてはいけないと思います。

現代に繋がる薩摩の精神に溢れた憩いの場所、そして、薩摩の歴史と数えきれない名所の**「発信地」**として、末永く後世に伝承される場所となることを願って、以上のアイディアをご提案いたします。

港湾空港課
-5.4.15
受付

受付No.（事務局記載欄）	/3/

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」
応募申請書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（[redacted]） [redacted]		住所	[redacted]	
性別	女	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・30代・40代・ 50代・60代・70代・ 80代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名　　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			㊀　・　否		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム(e(いー)申請)」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付 No.（事務局記載欄）	

「鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア」
応募様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

【目的】
・地域活性化、観光地として鹿児島を盛り上げるまちづくり
・子どもから大人まで楽しめるまちづくり
・未来を見据えたスポーツの促進、大会等を招致できる場所として

【導入してほしい機能】
1. アウトレットモール
2. 遊園地
3. リゾートホテル
4. 立体駐車場（水族館・アウトレットモール・遊園地共有）
5. e スポーツ施設
6. スケートパーク

1. アウトレットモール

鹿児島で購買意欲を満たせる場所は？お金を使う場所がなければ経済はまわりません。
鹿児島県民は県外へ買い物に行く、もしくはネットで物を買う、観光客は鹿児島でお金を使わない、では意味がありません。
アウトレットモールはまず観光地として経済効果を期待できる施設になります。
また広い施設を活かしウォーキングスペースも設け、楽しく運動ができる場所にもできる。
日頃から地元の人にも観光客にも愛される場所になればと思います。

2. 遊園地

少子化の時代です。いまの世の中、子ども・大人・高齢者とあまりにも距離がありませんか？
そして鹿児島には遊園地がありません。遊園地も山奥にあって子ども連れの家族しか行かない場所にあっては意味がありません。昔はデパートの屋上にあるものでした。大人・高齢者にも子どもをもっと近くに感じてもらいたい。街に遊園地があり、子ども達で賑わう場所があれば、「子どもっていいな、子ども時代を思い出すな」ともっと身近に感じてもらえるはずです。少子化はお金だけの問題ではないと思います。世の中がもっと子ども達を、子育て世代を見守る風習がなければいけないと考えます。入場料無料、アトラクション代有料の小規模遊園地でいいと思います。また、夜にはイルミネーションが輝き、綺麗な夜景を魅せられると素敵ですね。

3. リゾートホテル

鹿児島の魅力を前面に出すリゾートホテルとして最高の立地です。桜島を目の前に眺めることができ、鹿児島の美味しい肉や魚を堪能し、おしゃれな焼酎バーがあってもいいかもしれません。
開放感があり非現実的な空間、期待できます。


※イメージ

4. 立体駐車場

これまで提案した施設に加え、水族館もあります。かなりの来場者が見込める施設に平面駐車場では足りないので、立体駐車場を設ける必要があります。

5. e スポーツ施設

e スポーツの市場規模をご存じですか？世界では 1000 億円を超え、日本でも 2023 年に 130 億円に迫ると予想されています。また、この規模は年々上がっており、これからも上がります。また e スポーツは子どもから高齢者までできき、身体障碍者でもできます。e スポーツ施設はその全ての者が交流できる場所になるということです。まだまだ発展途上であり、これを民営ではなく行政が力を入れることに意味があると思います。大会ができる設備まで設けると大会の招致もできるかも分かりません。


※大会のイメージ

6. スケートパーク

東京オリンピックで盛り上がりをみせたスケートボード。そして日本人選手が大活躍でした。しかし、スケートボードの印象はあまり良くないままです。公道でスケートボードに乗ったり、公園等の設備を使った技をするのはマナー違反です。しかし、スケートボードをする場所がありません。また、鹿児島は降灰があり屋外で競技をするのは非常に危険です。そこで、屋内のスケートボード施設を考えました。鹿児島から未来のスケートボード選手が育つかもしれません。

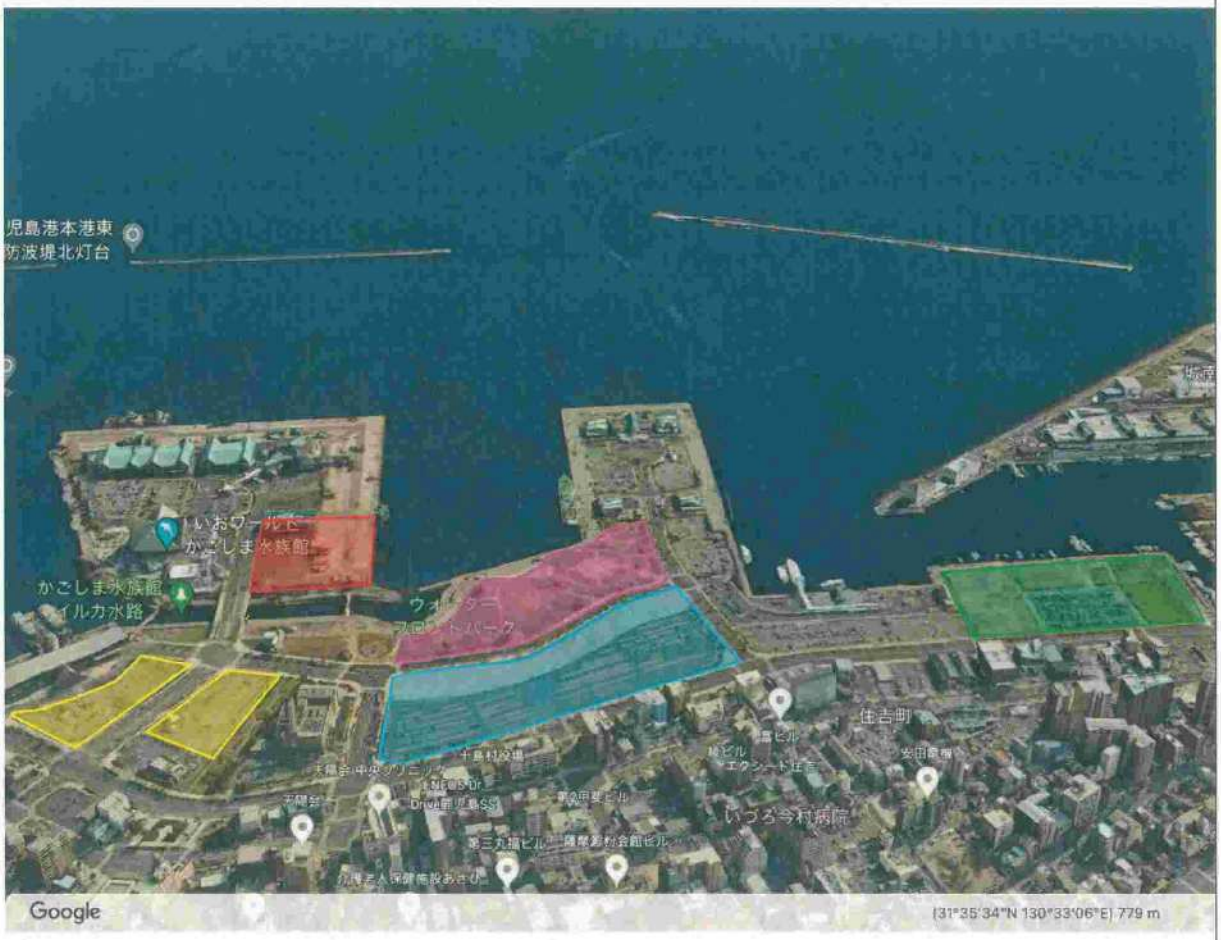
スポーツ・コンベンションセンターを建設するならこのような機能（5、6）も備えられた設備だと、今までの体育館とは違う、新しく建設する意義が出てくるのでないかと思います。


※イメージ（村上市スケートパーク）

以上、鹿児島港本港区エリア利活用の提案です。鹿児島は本当にいいところです。最近ですと和牛日本一に選ばれましたが、全国的に「和牛と言ったら鹿児島黒牛！」とはまだなっていませんよね。神戸牛、松坂牛などのブランド牛に知名度で勝てません。でも鹿児島黒牛の美味しさを地元の人は知っています。そのように鹿児島のいいところをまだまだ魅せられていない気がします。全国に、世界にもっと鹿児島を見せつけませんか？そのための工夫（まずは鹿児島に呼び込む）をし、もっと開けた鹿児島になり、鹿児島が豊かになることを期待します。

【配置図案】

■アウトレットモール　■遊園地　■リゾートホテル　■立体駐車場
■スポーツ・コンベンションセンター



【交通アクセス】

電車通りではありませんので、車とバスやタクシーでのアクセスになると思います。鹿児島中央駅から車で 15 分程。天文館も近く、人を呼び込む場所として最高の立地です。

【おまけ】

桜島と錦江湾をバックに写真を撮れる場所があると楽しさが増します！





※イメージ

132

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを募集します！(アイディアを直接入力できる専用ページです。)

港湾空港課
-5.4.15
受付

受付番号:9715995
申請日:令和05年04月15日

番号	項目名	入力内容
1	応募者名(個人または団体)	[redacted]
2	応募者名(ふりがな)	[redacted]
3	住所	[redacted]
4	性別	男
5	年代	60代
6	電話番号	[redacted]
7	プレゼンテーション参加の可否	否
8	以下にアイディアを記入してください。	世界に類を見ない美しいウオーターフロント、本港区エリア・ドルフィンポート跡地は、体育館のような大きな建物で景観を塞いでしまうのではなく、もっと未来に可能性が開かれた活用法をすべきです。 これからの時代は、人間も地球の一員として、様々な生き物たちとなかよく暮らしていかなければいけません。本港区エリアやドルフィンポート跡地には、そのような「共生の時代」を世界にアピールできるような自然公園＝ゆたかな森をつくったらどうでしょうか。 その森では、平日は、人々がゆっくりと散歩をしたり、デートを楽しんだり、子供たちが遊んだりします。また、休日は、いろいろなイベントが開かれて、おいしいものや音楽などの芸術をみんなで楽しめます。 森の一角には、鹿児島ならではの食が楽しめる小さな飲食店が集まるエリアがあり、鹿児島を代表する飲食店のサテライトショップから、新しくお店を開きたい人のチャレンジショップまで多種多様なお店でにぎわいます。そこには地元客だけでなく世界中の旅行客が集い、交流が生まれるでしょう。 錦江湾と桜島という大自然の懐に抱かれながら、鹿児島の魅力を思うぞんぶんに味わい、人と人、人と生き物が共生することの大切さを体感できる場所になります。 錦江湾に暮らすイルカも憧れるような場所ということで、「イルカの森」と名づけたいと思います。
9	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
10	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	

11	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
12	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	

港湾空港課
-5.4.16
受付

受付No.（事務局記載欄）	133

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」
応募申請書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（[redacted]） [redacted]		住所	[redacted]	
性別	男性	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・30代・40代・ 50代・60代・70代・ 80代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名　　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			可　・　否		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム(e(いー)申請)」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付 No.（事務局記載欄）	

「鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア」
応募様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

1　ウォーターフロントパークを残してスポーツコンベンションセンターを整備してほしいです。

その際は、PFI 等で事業費を抑えることは必要であるが、第１回検討委員会の意見にもあるようにデザインは重要であるので、県民に長く親しまれる施設となるように、いくつかの案を提示していただき県民等の意見を反映させることのできる方法で行っていただきたい。

2　住吉地区は駐車場となっていますが、鹿児島市のサッカースタジアム整備については適地が少ない中で、市街地の活性化等を考えると住吉地区に整備できた方がいいと思います。その場合はサッカースタジアムに特化した整備にしてほしいです。

観光交流拠点作りについては、県も市も目的は同じであり、スポーツコンベンションセンターに一元化することにより、より効果を発揮できるようにしてほしい。運営に当たっても、必要であれば県と市が共同で当たってもいいのではないか。もう少し連携がほしい。

駐車場不足については、ドルフィンポート周囲で土日に利用していない金融機関、病院。団体等の駐車場があるので、これらで協力できる駐車場を登録し、リアルタイムで把握できるアプリを作成することにより、渋滞等の緩和と近隣の施設の有効活用も可能ではないか。また、鹿児島新港で以前、人事異動時期に臨時駐車場と使用していた海岸側の細長い県有地（？）も大型バスの待機場として活用できるのではないか。

サッカースタジアムはスタジアムに特化した整備とすれば、住吉地区の敷地は南北に長いのでバスの転回場の機能は残せるのではないか。

港湾空港課
-5.4.16
受付

受付No.（事務局記載欄）	134

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」
応募申請書

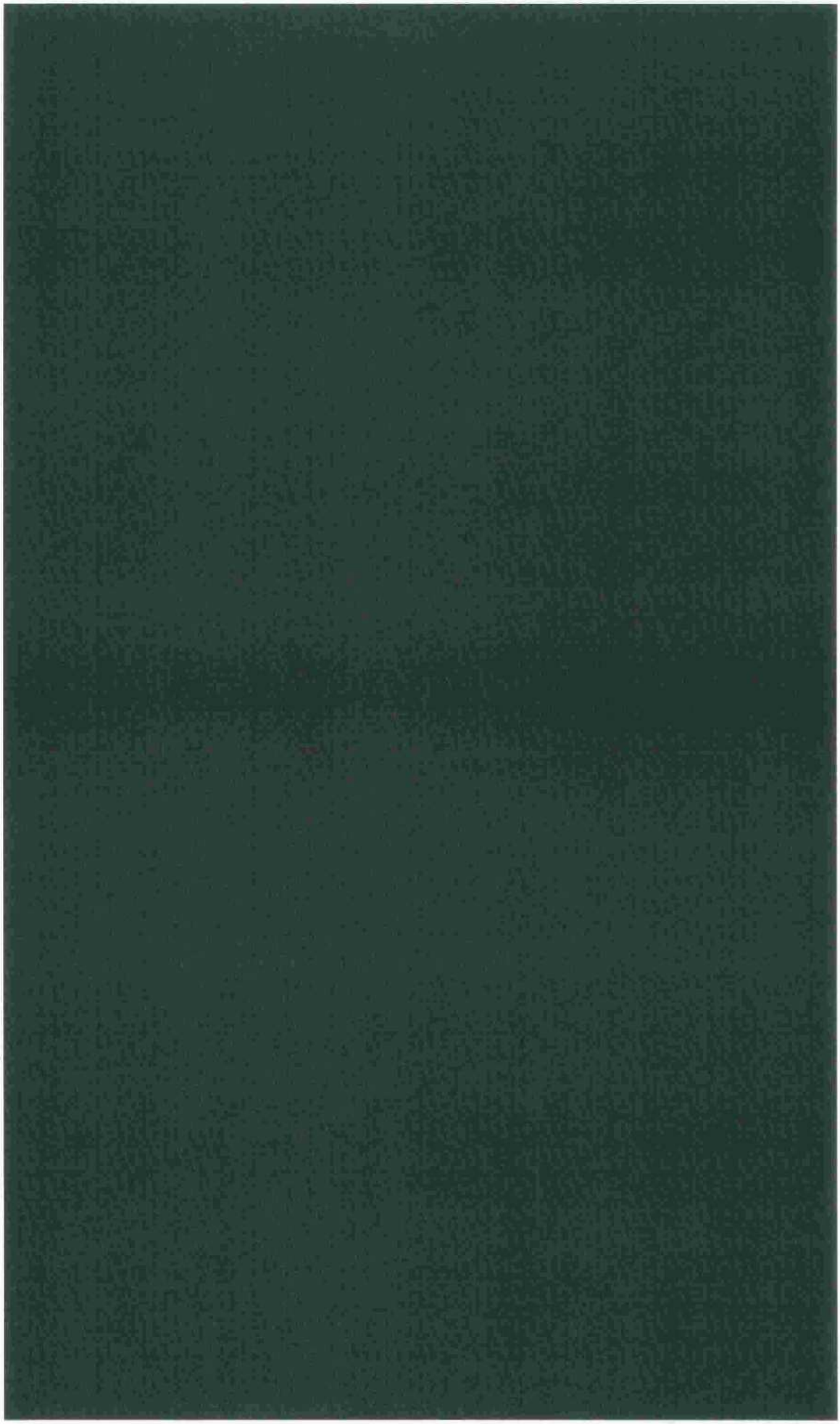
（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（[redacted]） [redacted]		住所	[redacted]	
性別	男	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・30代・[40代]・ 50代・60代・70代・ 80代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名　　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			[可]　・　否		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム（e(い一)申請）」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイデア・意見

鹿児島市民 [redacted] ＋有志３名（いずれも３０代半ば）
（４５歳／男）



【１．意見提出の理由】

①桜島を見渡すことができ、シンボリックなあのエリアを、鹿児島県として過去や現在の価値観だけで判断せずに、未来の鹿児島県民のためにどう活用していくかについて、若い世代の議論を喚起したい

②センテラスができ、人の賑わいを増やさなければいけない天文館エリアに、若い世代（１０代～４０代を想定）を日常的に呼び込むためのアイデアを出し合いたい

③経験上、プロスポーツの象徴的な拠点がある街には活気と住む人の誇りがある。間違いなくスタジアムは鹿児島の活性化に繋がるので実現させたい

【２．ドルフィンポート跡地と鹿児島の現状】

●現在のドルフィンポート跡地は駐車場やイベント等による暫定活用が図られている。また、周辺部分はいおワールドかごしま水族館、NHK 鹿児島放送会館といった各種の集客交流施設が立地しているほか、人々が憩える緑地空間となるウォーターフロントパーク(WFP)として活用中。

●一方、ドルフィンポート(DP)敷地においては、借地契約の終了で事業者が撤退し、広大な敷地を経済面、環境面、景観面等の複合的な観点から地域の魅力を引き出す有効活用が求められている。

●DPは、桜島の景観を望める場所であり、外内貿交流拠点であり、また中心市街地(天文館、中央駅)からのアクセスも良いことから利便性が高く、地域住民や観光客にとって魅力的で活用性は高い。

●施設の建設に当たっては、WFPを保全することが前提として挙げられており、大型施設の建設は実質困難な状況となっている。

●我が県は、鹿児島ユナイテッドFCや鹿児島レブナイズ、鹿児島ブルースリーマーズ、鹿児島ユーシーズなど多くのプロスポーツクラブを有しており、鹿児島県民にとっては身近で、地域同一性や地域依存性といった地元愛に重要な存在となっている。

【３．議論の問題点と前提事項の確認】



①ドルフィンポート跡地は日常的に近くに住んでいる人のためのものを考えるエリアではなく、**イベントで人を呼び込む場所**である

【３．議論の問題点と前提事項の確認】



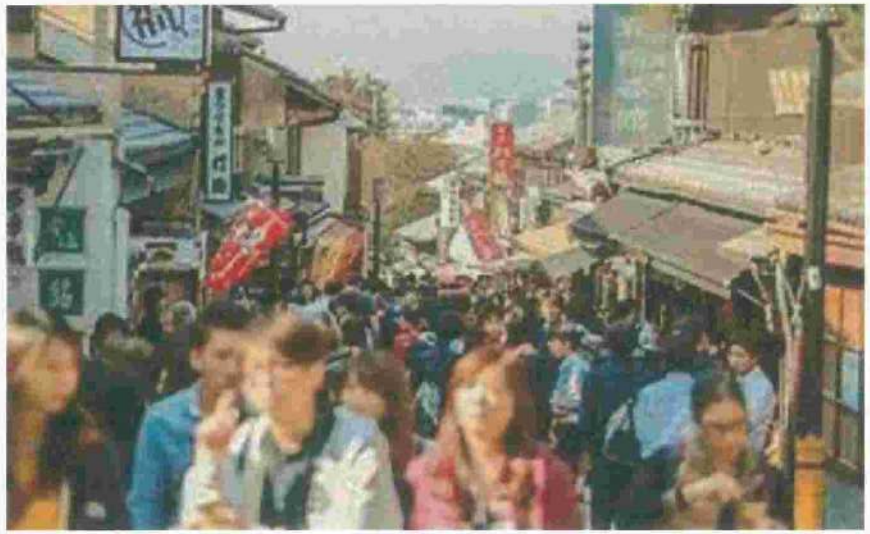
②ドルフィンポート跡地は桜島の景観を楽しむための場所ではなく、**桜島の景観も楽しめる付加価値のある場所**と認識すべき

【３．議論の問題点と前提事項の確認】



③議論の前提として税金を使い、あの場所にわざわざ施設を作るのであれば、**収益性を軽視すべきではない。**

【３．議論の問題点と前提事項の確認】



④観光客を増やす目的ではなく、まずは鹿児島の人が集うための議論で良い。

そこに**地元民が集まれば自ずと観光客は増える**

【３．議論の問題点と前提事項の確認】



⑤検討委員会は未来の街づくりの話をする会議なので、もっと**若い世代を中心**に議論し、**男女比**も見直すべき

【４．私のドルフィンポート跡地の活用案】

「現在のウォーターフロントパークをできる限り広く残し、その部分と一体的に使用できる屋根付きサッカースタジアムの建設」がベストと考えます！！

⑧現在のドルフィンポート跡地は今後どのように...をお考えの方は「その他」に入力してください）

211 件の回答



「その他」については別途提出のエクセルデータを参照ください

【４．私のドルフィンポート跡地の活用案】
（理由・メリット・実現のためのアイデア）

①現時点で
すでに５０００人以上の集客を、月に２回程度想定できる
鹿児島ユナイテッドFCを活用することが一番効果的でリスクも少ない！

【４．私のドルフィンポート跡地の活用案】
(理由・メリット・実現のためのアイデア)

②スタジアム＋エリア全体の指定管理団体は、鹿児島ユナイテッドFCを中心に民間にさせるべき！



【行政が運営するデメリット】

① 営利目的と公共目的の両立が難しい

行政が運営する施設は、一般的に公共の利益を目的としているが、持続性の観点から一定の収益性が必要であり、この２つの目的を両立させることは困難となる。

② 経営に関する専門知識の不足

行政機関は、一般的に政策立案や行政手続きに関する専門知識を有するが、ビジネス経営に必要な知識や技術については、不足していることが多い。

③ 民間企業との競争力の不足

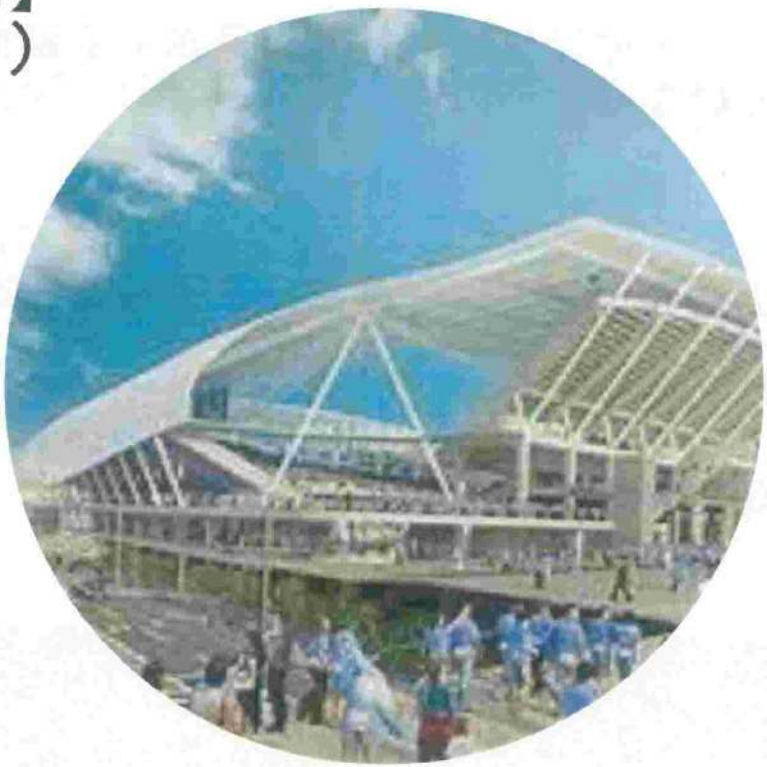
行政が運営する施設は、一般的に民間企業との競争力が低いことがあり、民間企業が柔軟な経営戦略を展開できる一方、行政が運営する施設は、予算や手続きに縛られることが多い。

④ プライベートセクターのモチベーションの欠如

民間企業は、収益を上げることで社員や株主に利益を還元することができるが、行政が運営する施設では、モチベーションが欠如し、運営の質が低下する傾向がある。

【４．私のドルフィンポート跡地の活用案】
（理由・メリット・実現のためのアイデア）

③スタジアムとウォーターフロントパークを徹底的に融合させ、**鹿児島の“イベントの聖地”**とする！



【４．私のドルフィンポート跡地の活用案】
（理由・メリット・実現のためのアイデア）

④稼働率を上げるために参考にすべきは、故稲盛氏の京セラがかかわった「サンガスタジアムby京セラ」だ！



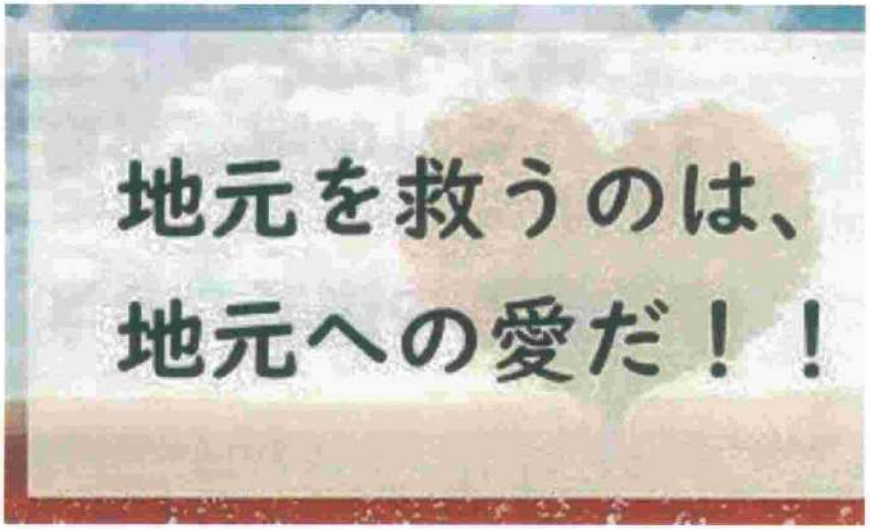
【４．私のドルフィンポート跡地の活用案】
（理由・メリット・実現のためのアイデア）



⑤**敢えて歩かせる**ことで
「駐車場問題」や「渋滞問題」を解決し、
同時に**“お金が落ちるエリア”**
が生まれる！

【４．私のドルフィンポート跡地の活用案】
（理由・メリット・実現のためのアイデア）

⑥シンボリックなスタジアムの存在は
地元愛とアイデンティティ
を高め、新たな**ビジネスや雇用**
も創出する！



【５．スポーツコンベンションセンター（総合体育館）を推せない理由】



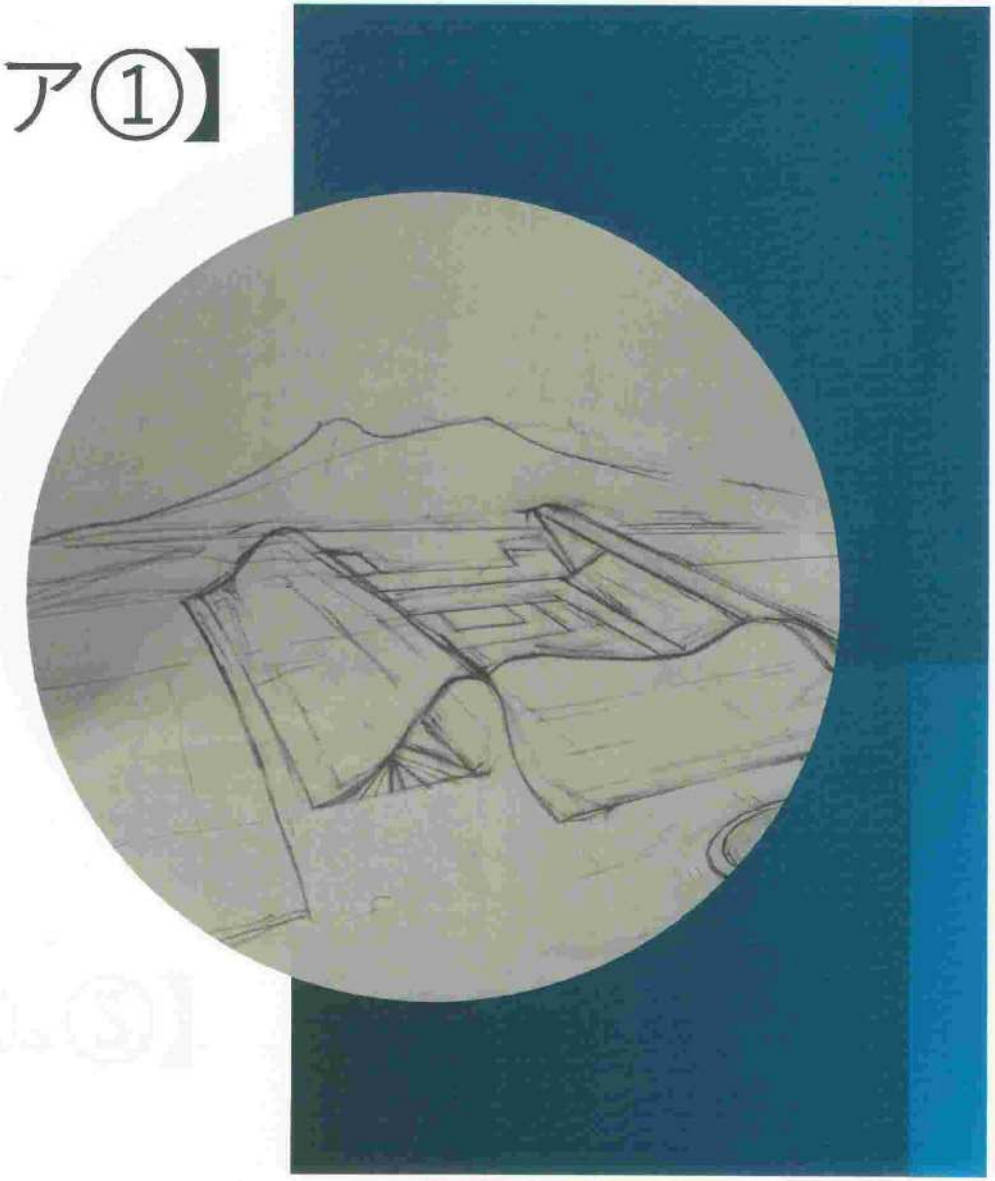
１．大きな会議の需要がない

２．県体育館の代わりなら収益性が高くならない

３．体育館ではせっかくの景観（桜島）をフル活用できない

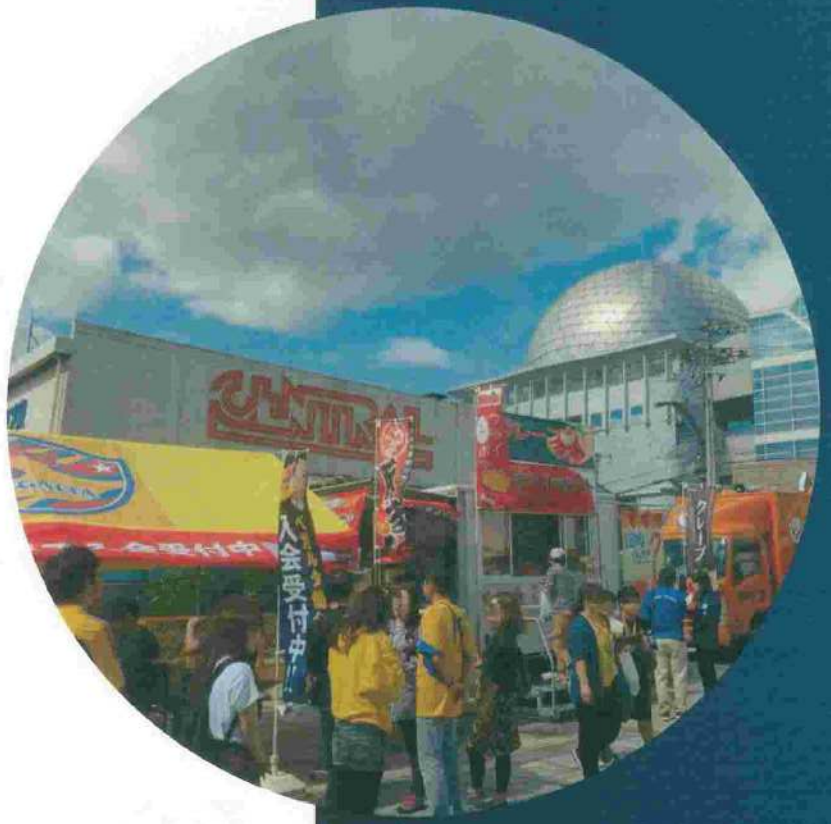
【6．最後に蛇足アイデア①】

スタジアムは**桜島**が
バッチリ見えて
“**日本一アウェイサポーターに厳しい**(笑)”スタジアムにする！



【6．最後に蛇足アイデア②】

検討委員会の視察時には、是非とも“試合日の”サッカースタジアムとその周辺も組み入れてください！ (写真はベガルタ仙台の試合日の様子です)



「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイデア・意見」に関するアンケートデータ提出について

鹿児島市民 [redacted]（４５歳）

アンケート回収方法について

・アンケートはGoogle formsの電子アンケートを使用。

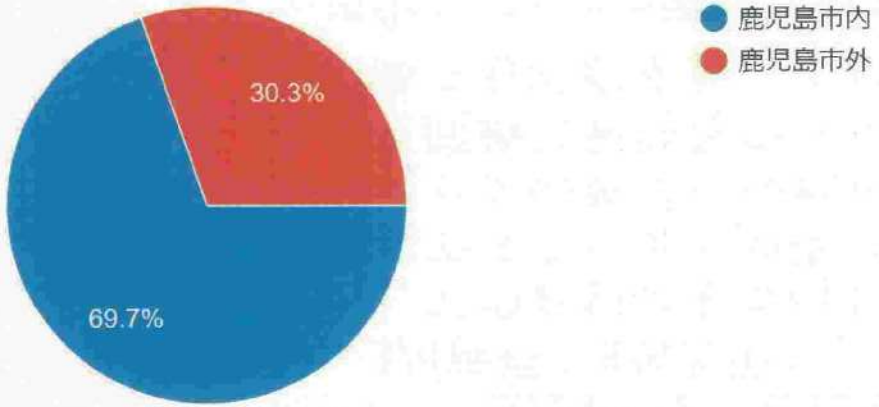
・「鹿児島県内在住者用」と「鹿児島県外に在住の方用」の２種類を準備。県外用は、「スタジアムが街にあることの意味合い」を確認するための質問に限定した。

・アンケートの回収方法は、自分の友人知人へのSNSを利用しての拡散をメインに、Jリーグの試合会場6ケ所（2/24平塚・2/25横浜・2/26町田・3/4鹿児島・3/4神戸・3/5大阪）、アンケートのQRコードを配付してのお願いも実行した。特に県外の会場では、その場でスタジアムや街づくりに関する多くのサッカーファンの意見に触れることができ、知見も得られると同時に鹿児島のスタジアム問題についての関心の高さも実感することができた。

・想定していた2種類合計200を大きく上回る374(県内211/県外163)のアンケート結果を回収できたことは嬉しい誤算であったし、この問題への県内外の関心の高さを感じることができた。

①あなたのお住まいは？

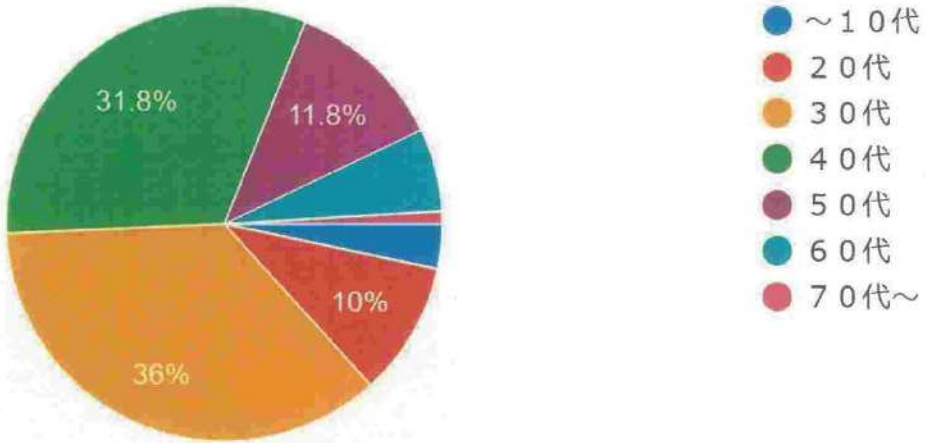
211 件の回答



まずは県内の結果から。当初の想定よりも鹿児島市外の回収が多かった。そうなると⑤の質問については、もっと否定的な意見が増えるかと思ったが、「作るなら鹿児島市内に」という傾向はあると言える

②あなたの年齢は？

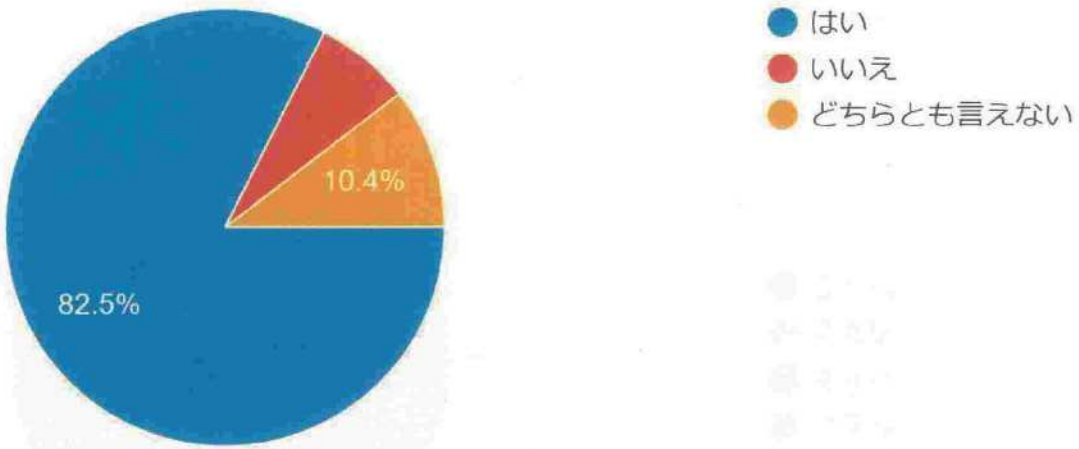
211 件の回答



メインターゲットと考えていた２０～５０代が約９０％を占めた

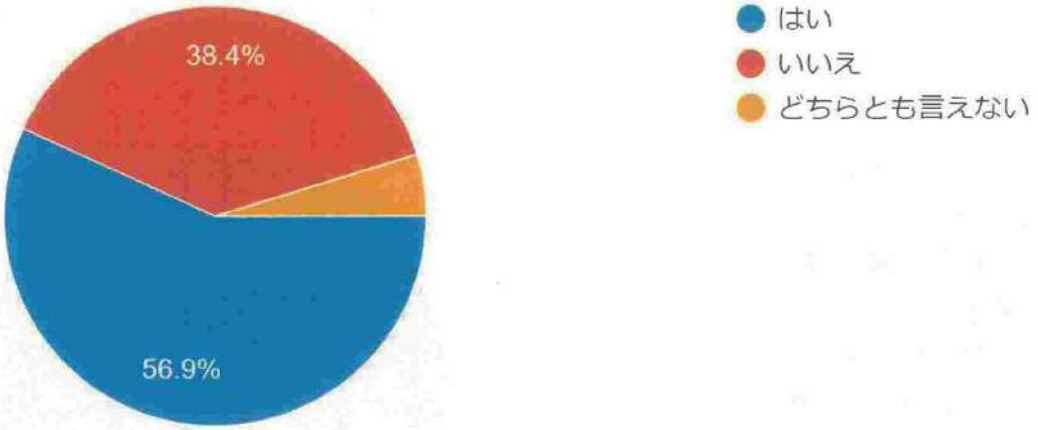
③サッカーに関心がありますか？

211 件の回答



もう少しサッカーに関心のない層にも回収できればよかった

④スタジアムでのサッカー観戦が生活の一部になっ...か？（年に複数回スタジアム観戦しますか？）
211 件の回答



鹿児島市外も多く回答があった割には、生活の一部になっている人の割合は多かった。

⑤鹿児島市にサッカー専用スタジアムは必要だと思いますか？

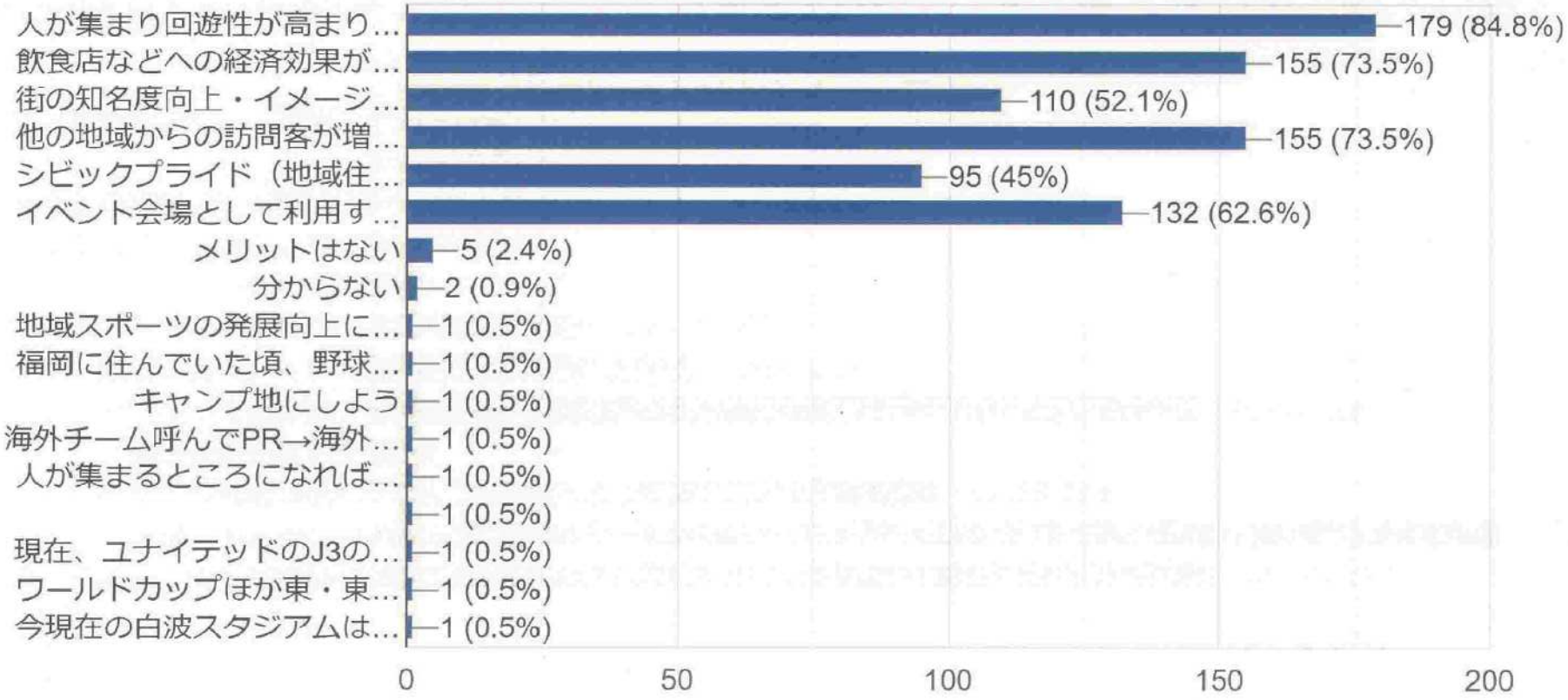
211 件の回答



少なくともサッカーへの関心の高い層の意識としては、「サッカー専用スタジアムを鹿児島市に」だと分かる

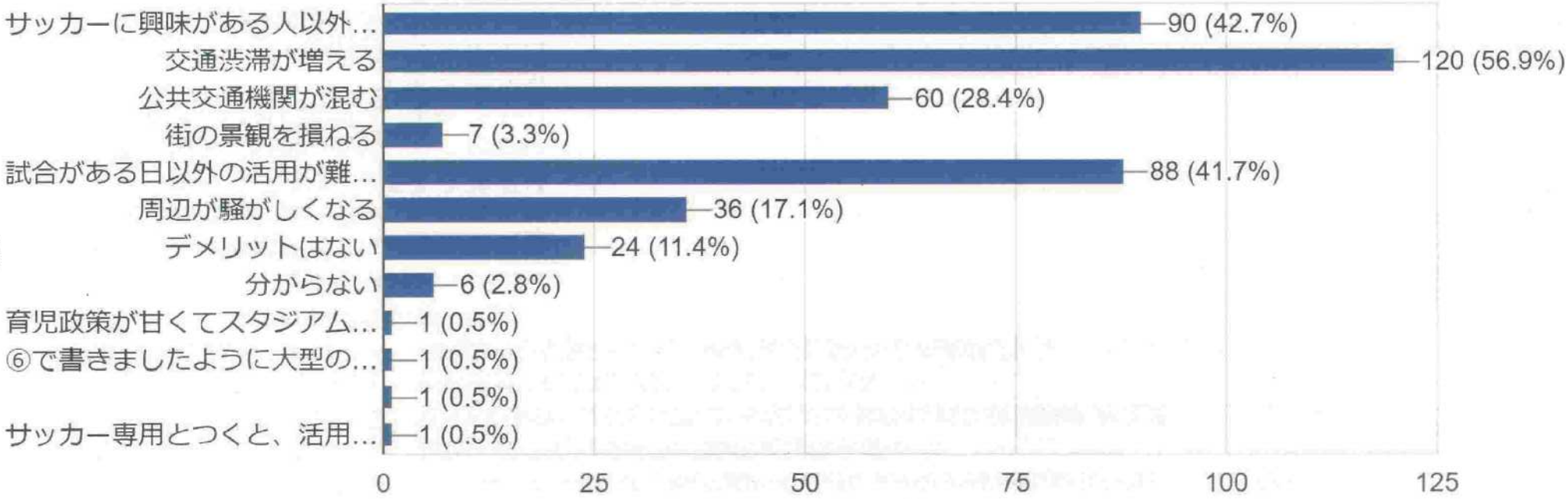
⑥街づくりの観点から、サッカースタジアムがある...メリットは何だと思いますか？（複数回答可）

211 件の回答



⑦街づくりの観点から、サッカースタジアムがある...メリットは何だと思いますか？（複数回答可）

211 件の回答



490

この部分は「解決すればメリットになる部分」。よって「サッカー好き以外も訪れる目的があるスタジアムにする」「交通渋滞を最小限に抑える」「試合がない日も活用する」ことができれば理解が得られることを意味する

⑧現在のドルフィンポート跡地は今後どのように...をお考えの方は「その他」に入力してください）

211 件の回答



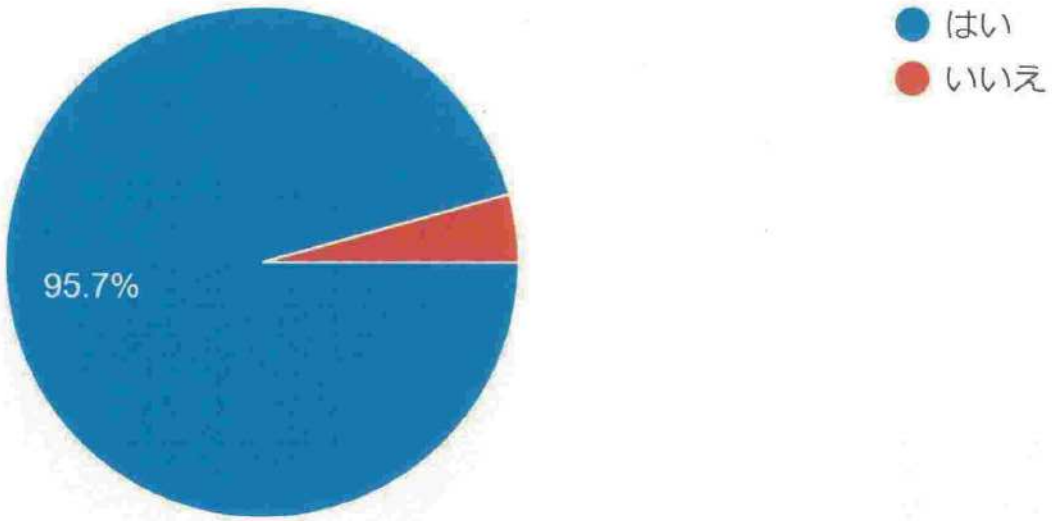
「その他」については別途提出のアンケートデータを参照ください

質問⑨は「（必須ではありません）スタジアム問題、鹿児島港本港区エリアに関すること、鹿児島全体の街づくりに関して、ご意見のある方はこちらにご入力ください」というものです。

こちらはとても多くの具体的な意見がありました。中にはストレートな意見もありますが、別途提出のエクセルデータからご参考にしていただければ幸いです。

①お住いの都道府県（市町村ではありません）にはJリーグクラブはありますか？

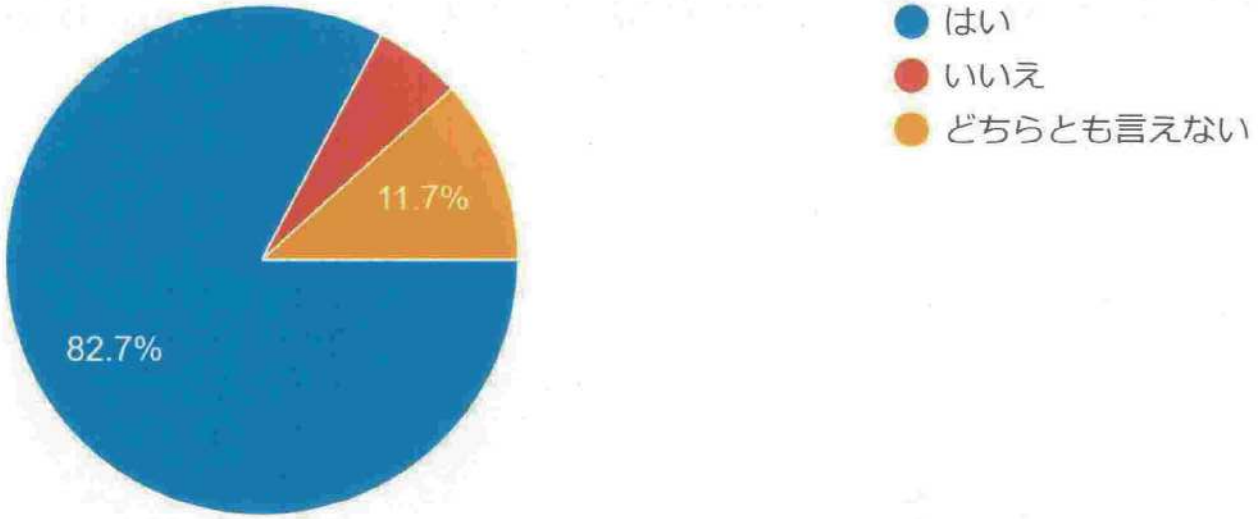
162 件の回答



次に県外の結果です。まずは回答者がJリーグクラブ（そしてスタジアム）がある都道府県に住んでいるかを確認しました。すでに全国でJリーグクラブがないのは６県だけですので、想定通りの結果でした。

②サッカーに関心がありますか？

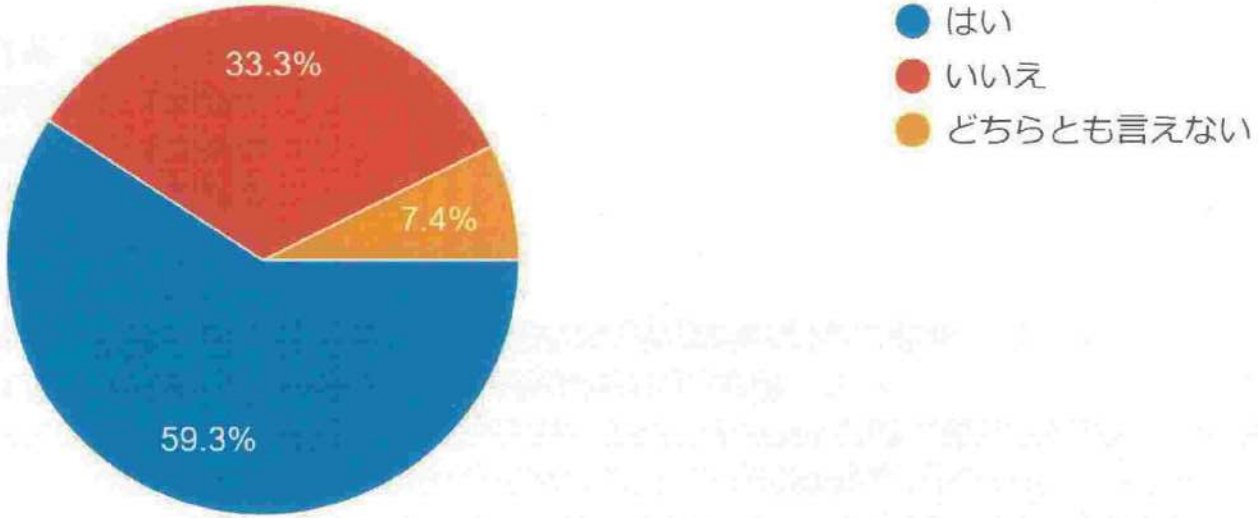
162 件の回答



県内同様にもう少しサッカーに関心がない層からも回収ができれば良かったです。

③スタジアムでのサッカー観戦が生活の一部になっ...か？（年に複数回スタジアム観戦しますか？）

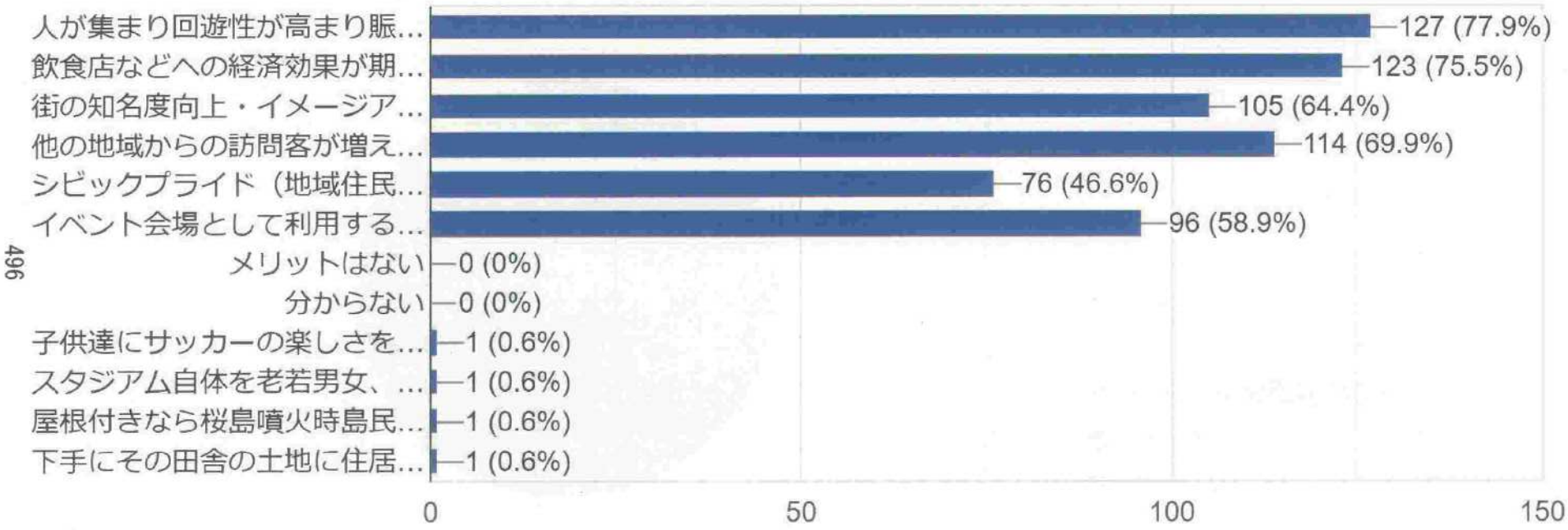
162 件の回答



②の質問への回答とあわせて考えると、サッカーに関心はあるけどスタジアムまでは行かない層がそれなりに多く回答があったことが分かります

④街づくりの観点から、サッカースタジアムがあ...のメリットは何だと思いますか？（複数回答可）

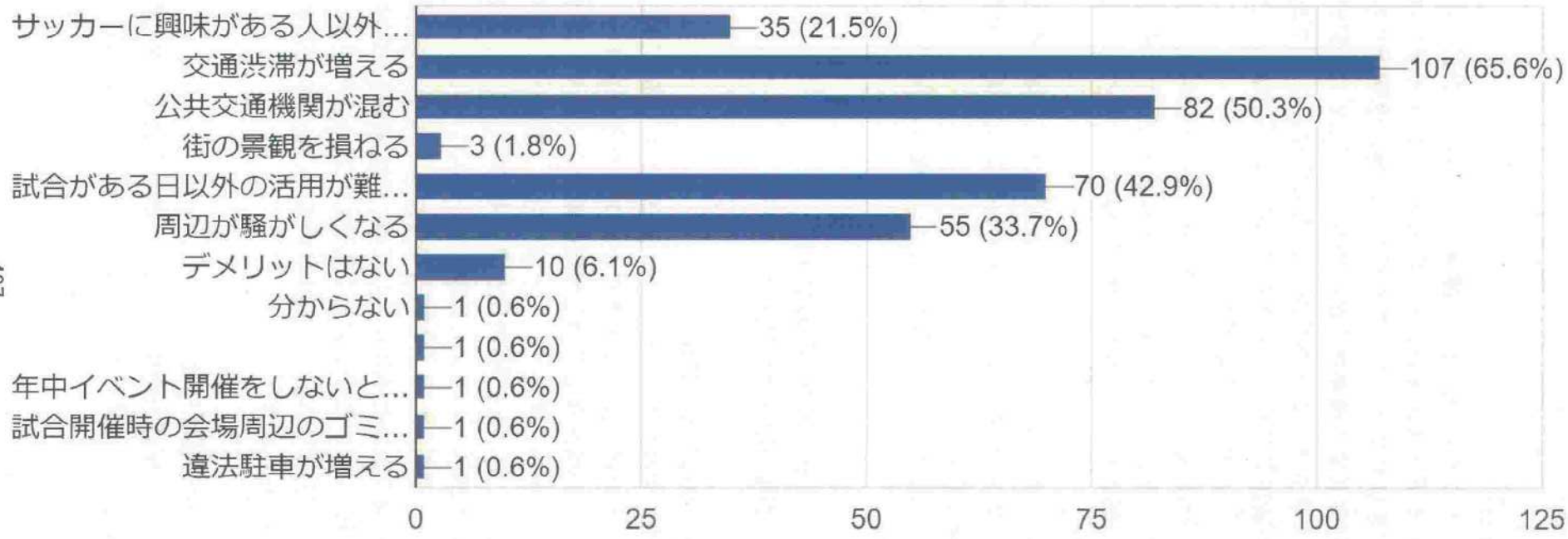
163 件の回答



県内アンケートと選択肢は同じです

⑤街づくりの観点から、サッカースタジアムがある...メリットは何だと思いますか？（複数回答可）

163 件の回答



県内アンケートと選択肢は同じです。興味深いのは、「サッカーに興味がある人以外にメリットが少ない」が県内に比べて20%以上も低いことです。これはやはりスタジアムが建設された地域では、時間が経ってその意義が浸透していることを表しているのかもしれません。

PDF 提出データの補足説明

※PDF データとあわせてお読みください。

（p3）【１．意見提出の理由】

何よりも一番の理由は、もっと若い人たちに議論をしてもらいたいということです。少し理想論的ですが、未来へ向けたアイデアは未来の世代が自分たちで出すべきではないかと思うのです。もちろん、自分がサッカー好きなのでサッカースタジアムがあの場所にできたら嬉しいというのも本音ではあります。ただ検討委員会の議事録を読んだり、YouTube での配信映像を見たときに、やはりもう少し若い人たちが生き生きと前向きに自分たちの将来のために議論する姿を見たいと感じました。そこで、何か今の議論の流れに一石でも投じることができればと考え、生意気ながら勇気を出して意見を出してみようと考えた次第です。

若い人のアイデアで街が活性化すれば、必ずこの街に住む人は増えます。一度その流れを作れれば、鹿児島という街にはそれを加速させるポテンシャルがあります。そうすれば少子高齢化とそれに付随する問題も自ずと改善されていきます。スポーツには、サッカーにはそのきっかけとなる力がある自分は信じています。

鹿島という地名がなぜここまで有名になったのでしょうか。公害の街として印象の悪かった川崎には今では人が集まっています。鹿島アントラーズや川崎フロンターレが行ってきたことは一朝一夕に達成できたことではありません。

是非ともこの鹿児島でも、若い人たちの力を信じて、前向きな街づくりの議論を喚起してあげることはできないでしょうか。

（p4）【２．ドルフィンポート跡地と鹿児島の現状】

ここはドルフィンポート跡地の現状の確認です

（p5）【３．議論の問題点と前提事項の確認】①

ここからは現在までの検討委員会や、メディアから伝わってくる議論に関して感じていたことと、それに対して私の案を出す上での前提事項を列挙させていただきます。

ウォーターフロントパークの緑地保全が施設建設の条件とされていますが、WFP の利用実態や稼働状況に関する情報を議論の中から見つけることはできず、有効な活用がされているのか検証が不足しているように感じました。ここ数ヶ月、時間がある週末にこのエリアを覗くようにしましたが、実際にはイベントがない時は閑散としている印象です。これはドルフィンポートがあった時から感じていたことです。むしろ「かんまちあ」のほうが人が集まっている印象です。

子育て世代が日常的に子供を遊ばせる場所としては、市立病院跡地のほうが常に賑わっています。これは近くに子育て世代が住んでいるかが大きく影響しているようです。つまり、ドルフィンポート跡地周辺は、それほど人が住んでいるわけではないので、他のエリアから人を呼びこむための議論が前提になることを確認したいです。

（p6）【３．議論の問題点と前提事項の確認】②

私の認識では、あのエリアは桜島の景観を楽しむためにあのエリアに行くわけではありません。桜島の景観を楽しめる場所は他にも多くあるからです。つまり、あのエリアは人が集まり、その人

たちが集まった目的以外に桜島の贅沢な景観も楽しめるという付加価値のある場所だという認識です。

そもそも人を集めないことには効果も限定的です。「サッカースタジアム（スポーツコンベンションセンター）ができると景観が…」という意見もありますが、コンパクトなスタジアム（センター）であればそれほどの高さにはなりませんし、逆に桜島を借景とした唯一無二の景色を作ることができる場所とも考えることができます。立てる角度、配置次第では逆にシンボリックな存在になるような気がします。スライドの最後に蛇足アイデアとしてイラスト付きで提案していますので、ご覧ください。

（p7）【３．議論の問題点と前提事項の確認】③

あのエリアに何か作るのであれば、人がお金を払ってでも行きたいワクワクする場所にして、しっかりと収益を確保するべきだと思います。その前提は凄く大事だと思います。収益性という議論から逃げることは未来の世代への重荷になってしまいかねません。個人的には収益性が確保されなかった時の責任の所在はハッキリさせて、民間感覚で物事を進めるべきだと考えています。

建設費用の確保もアイデア次第です。ガンバ大阪のホームスタジアム、「パナソニックスタジアム吹田」は個人と企業の寄付金で 100 億以上、toto のスタジアム助成金も活用して作りました。

（p8）【３．議論の問題点と前提事項の確認】④

神奈川から来た人間としては、鹿児島の観光資源の多さには驚くばかりです。先日も日本通（過去 30 回の日本訪問経験あり）のシンガポール人の知人が初めて鹿児島に来て、今まで来なかったことを後悔していました。つまり、今更県外や海外からより多くの観光客を増やすために何かを作る必要はないと感じています。必要なのはいまあるものをもっと上手に伝えて人を呼ぶアイデアを出すことなので（鹿児島に来るまで鳥刺しがこんなに美味しいこと、牛も美味しいこと、鹿児島市内にこんなに当たり前に源泉かけ流しの温泉があることを知りませんでした）、まずは鹿児島の人が集うための議論で良いと考えます。

今の時代、人が集まれば SNS でいくらでも宣伝はできるので、そこに地元民が集まれば自ずと宣伝できる素材となり、観光客が訪れたいと考えるようになります。

（p9）【３．議論の問題点と前提事項の確認】⑤

検討委員会のメンバーの年代構成について県の本港区まちづくり推進室に問い合わせをしたところ、４０代１名、５０代３名、６０代８名、７０代３名という構成とのことでした。男女比も名前だけでの判断ですが、男性１３名、女性２名と思われます。未来の街づくりの話をする会議なので、若い世代をもう少し増やして議論すべきですし、人口比でも女性のほうが多い鹿児島県の未来を考える会議としては、少しアンバランスではないかと感じました。

議事録を見る限り、それでも e スポーツや SNS に言及している委員さんもいますが、コロナでオンライン会議がこれだけ日常化した世の中において、「コンベンションセンターが必要」という方向性で議論が行われていることにはやはり違和感があります。若い世代の感覚と乖離がないかは精査された方が良いのではないかと感じました。

（p10）ずばり私の端的な案です。理由などは次以降のスライドで説明していきます

（p11）こちらは別途提出していますアンケートの県内版を引用しています。サッカースタジアムだけ（私の考えではウォーターフロントパークの大部分も残ることになります）の割合が想定していたよりもかなり高かったです。

（p12）【４．私のドルフィンポート跡地の活用案】①

ここからは私の案の理由やメリット、実現のためのアイデアを列挙します。

新しい努力をしなくても、すでに平均5,000人の観客が月に2回集まるようなプロスポーツクラブが鹿児島に存在していることは大きなメリットです。しかもJ3にもかかわらず、そして雨の日には観客がグッと減るにもかかわらずです。ですので、そこからスタートすれば最低限度の効果を確保した状態で、足し算の議論ができます。あとは「何を併設すれば良いか」「出てくる問題への解決策」に関してみんなでアイデアを出せばよいのではないでしょうか。

また我が県にはプロスポーツクラブがサッカー(鹿児島ユナイテッド FC)及びバ スケットボールチーム(鹿児島レブナイズ等)がともに存在していますが、鹿児 島レブナイズは、B.LEAGUE の規定に則った適切なホームアリーナを有している のに対し、鹿児島ユナイテッドFCがホームとする鴨池陸上競技場（白波スタジアム）は、Ｊ１リーグ のホーム施設規定を満たしていません。このことはＪリーグに対する明確な約束違反状態ですから、鹿児島としては早期に解決すべき問題であることも考慮されるべきだと考えています。

（p13）【４．私のドルフィンポート跡地の活用案】②

ウォーターフロントパークはフリーマーケットや「ラーメン王決定戦」などの青空イベントの開催場所として使用されています。サッカーの試合がない週末は、イベント会場としてどんどん活用できます（あるいはサッカーの試合とコラボした形でイベントも可能です）。

だが、そのためには誰がそこの運営・営業活動をするかが大事です。個人的にはここが一番大事で、このエリア全体の指定管理団体は、鹿児島ユナイテッド FC（体育館も併設するならレブナイズ鹿児島にも）を含めて、あまり地元の特定の企業としがらみがない民間の企業が担うべきだと考えます。

前提でも触れましたが、利益を生まないことには事業は先細りしてしまいます。行政がこの役割の中心を担っている他県の地域では成功例が少ないので避けたほうが良いと思われます。儲ける部分は民間に任せるべきです。次のスライドに行政が運営するデメリットをまとめました。

私が県外で行ったアンケートの際にも、随分と指定管理団体のことについての言及がありました（特にヴィッセル神戸のサポーターの方にこの意見が多かったです。以前は行政がスタジアム運営をしていたのが楽天に代わってスタジアム周辺の全てがあっという間に改善したそうです）。この部分については他のＪリーグクラブのある街から学べば良いと思います。Ｊリーグには多くの成功例と失敗例が積み重なっています。

（p14）行政が運営するデメリットです。参考資料に出している札幌の例も挙げられます。この札幌の例は有志の一人が札幌に在住していた時期に起こっていたことをまとめてくれたものです。

（p15）【４．私のドルフィンポート跡地の活用案】③

スタジアム観戦とウォーターフロントパークでのイベント参加の際のリスクは天候です。鹿児島に関しては、灰も考えるべきリスクです。

それでもスタジアムに、あるいはイベントに行きたいと思わせるには、スタジアムの屋根付きスタンド部分やコンコース（もちろん雨に濡れない）とウォーターフロントパークを徹底的に融合させて、雨の日でもイベントが開催しやすくすることです。飲食系のイベントであれば、買ったものを食べる場所がないのは一番困ります。その意味ではスタジアムに入って屋根付きのスタンドで食べることができるのは大きなメリットです。そのスタジアムから桜島を見ることができれば、なお良いのではないでしょうか。スタジアムと周辺部の融合については、現在広島で建設中のスタジアムが参考になりそうです。

（p16）【４．私のドルフィンポート跡地の活用案】④

実施したアンケートからも「試合がない日の稼働率」はスタジアム建設の際に解決すべき大きな課題だと分かりました。陸上トラック付スタジアムが失敗に終わっている例が多い（直近では新国立競技場が典型的な例で年間 24 億円ほどの赤字という報道が出ました。他にも参考資料に挙げています）ことからも、絶対に解決すべき部分です。

私が調べた中でも、京都にできた「サンガスタジアム by 京セラ」が一番参考になりそうです。アンケート時にも多くの方が名前を挙げたスタジアムです。サンガスタジアムの例を挙げると、「保育園（お散歩はスタジアムの芝生）」「e スポーツ施設」「ボルダリング場」「フットサル場」「3on3 コート」「ドローンサッカー施設」「コワーキングスペース」「会議室」などが内包、あるいは併設されています。ここから鹿児島に合うものをピックアップするだけでも稼働率はかなり上がりそうです。

アンケートならびに私自身のアイデアとしては「図書館の併設」「スケートボード場」「ダンススタジオ」「（選手も試合後に使用するような）温泉施設」「コンサート会場機能（個人的には長渕剛さんには是非ともここでやって欲しい）」「桜島が見えるレストラン」「捻ったら焼酎が出てくる蛇口（これはスタジアムのコンコースに作って試合がない日にも訪問可能にして観光地化する！）」「ドッグラン」「トレーニングジム（鹿児島ユナイテッドのフィジカルコーチが教えるサービスもある）」など、アイデアを出せばスタジアム稼働率の問題はクリアできる印象です。

いずれにせよ流行り廃りのありそうなものについては、別のものに切り替えられるような作り方をすればよいと思います。また、天文館に元々あるようなものでは既存の商売の妨げになり理解を得にくいので、近隣にはないものを優先的に取り入れる発想なら良いのではないでしょうか。こういう部分に若い世代のアイデアを募るような SNS を中心とした施策が実行されると若者も巻き込むことができるのではないでしょうか。

（p17）【４．私のドルフィンポート跡地の活用案】⑤

この問題は全てのスタジアムに付随する問題です。アンケートでも、アクセスや駐車場の問題、渋滞の問題がスタジアム建設に付随するリスク、デメリットとして見て取れました。

ここについては、数々の街でスタジアム観戦をした経験上、「車ですぐ近くまで行けて終わったらすぐ車で帰れる便利さ」よりも、「スタジアムに向かって歩いていき徐々にスタジアムが見えてくる興奮」のほうが、結果的にスポーツのスタジアム観戦という非日常体験としては、リピート効果があると断言します。

そのためにまずは、「公共交通機関で試合観戦」が当たり前の価値観・文化を作りましょう。そのための情報発信を鹿児島ユナイテッド FC だけではなく、行政も行うことが大事です。車での来場は鹿児島市外の人たちが中心で、鹿児島市内の人たちは公共交通機関で行く、という慣習を作り

ましょう。市電の最寄り駅から１０分以内、JR 鹿児島駅からも１０分少々、天文館からも１０分少々です。その程度は歩いてもらうほうが街は発展します。

私が若い頃に通っていた日産スタジアムの最寄りの新横浜がまさにその典型例でした。駅からスタジアムまで１５～２０分程度歩くのですが、建設された当初は飲食店など数えるほどでしたが、いまではスタジアムへの道に多くの店ができて、ワクワクする“お金が落ちるエリア”になったのです。

つまり駐車場も歩いて１０～２０分圏内で十分に事足りるのです。そういったことの周知に力を注ぐことが大事です。逆にそうしないと、試合後の渋滞が分散しません。渋滞のリスクを周知徹底し、同時に徒歩１０～２０分圏内で協力を仰げる駐車施設を確保する努力を徹底的に行えばよいのです。個人的には、住吉 15 番街区はイベント時の駐車場としての機能で良いのではないかと考えています（もちろんスタジアムに隣接した駐車場も一定程度作るべきです）。そのことで渋滞解消や GHG 排出抑制にもつながり SDGs にも貢献できると考えます。駐車場を多く設け過ぎないことで集まる人たちの SDGs に配慮した取組を自然に誘発することができます。

（p18）【４．私のドルフィンポート跡地の活用案】⑥

愛されるスポーツクラブがあり、そこにシンボリックなスタジアムがあれば地域のイメージアップに貢献し、その地域に住む人々の自己アイデンティティを高め、ひいては長期的な地元の支援者となることが期待されます。元々鹿児島の人の地元愛は強いです（神奈川から移住した時に驚きました）が、この地元愛は鹿児島活性化に不可欠な要素です。愛される成功したプロスポーツクラブがあれば、選手やコーチ、スタッフをはじめ、プロスポーツクラブに関連する企業やビジネスも創出され、地域の雇用を支えることが期待できます。

参考データですが、ふるさと納税の仲介サイト（ふるなび）を運営する「トラストバンク」の調査によれば、東京圏に住む地方出身の 20~30 代のうち、8 割近くが地元に愛着があるとのアンケート結果があり、地元愛が強いほど、ふるさと納税を通じた地元への貢献意識も高い傾向が見られています。ふるさと納税をスタジアム建設に活用した例もあります。費用面でも、地元愛は重要な要素だと言えます。

J3 にもかかわらず 5,000 人ほどが集まる現在の鹿児島ユナイテッド FC にはそのポテンシャルがあると考えています。

（p19）【５．スポーツコンベンションセンター（総合体育館）を推せない理由】

１．大きな会議を想定したコンベンションセンターは、未来に向けてニーズがあると思えません。会議のリモート化が当たり前になったので、よほど鹿児島でわざわざ開催するメリットがない限り需要の喚起が難しいと思います。城山ホテル鹿児島、県民交流センター、シェラトン鹿児島などそれなりの規模の会議を実施できる場所は十分にあるので、優先順位は低いと考えました。

２．老朽化している県体育館の代わりになる場所として必要という意見がありますが、それだとあくまでアマチュアスポーツのために作るので、利益を生み出すことは難しいと思います。そうなるとあの場所である必要性は下がります。個人的にはアマチュアスポーツの拠点は鴨池エリア、プロは本港区エリアという住みわけが合理的で良いと考えます。その方が相乗効果を生み出しやすいです。蛇足ですが、いま鹿児島ユナイテッド FC が試合当日に行っている県庁駐車場との連携などは、アマチュアスポーツでも活用すべきかと思います。

３．体育館（アリーナ）は屋内なので、桜島という景観を活用できません。イベント会場としてア

リーナを作ることは賛成ですが、定期的に開催できるイベントを確保しないと本末転倒です。既存の県民交流センターや西原商会アリーナより付加価値が高い会場にする必要があります。個人的には総合体育館を作るなら、少しずつ観客も増えているレブナイズ鹿児島のメインアリーナとしての使用を前提とすれば最低限のイベント数を確保することが可能と考えます。ただしその際は、西原商会アリーナの使用率低下の問題があるかもしれません。

いずれにせよ体育館（アリーナ）を作るのであれば、コンサート会場、フェス会場としての機能を持たせて利用率向上と収益性の向上に繋げる必要がありますし、屋上（地下？）にフットサル場や３on３のコートなどを作れば一定程度の若者の集客は見込めるのではないでしょうか。サッカースタジアムでも出したアイデアの中にも活用できるものはいっぱいあると思います。

（p20）【６．最後に蛇足アイデア①】

ここからは２つ蛇足的なアイデアです。

スタジアムは、アウェイ側ゴール裏を桜島（海）側にして（つまり市の提案の向きとは異なる配置です）、そこのスタンドは極端に低くします。個人的にはそこだけ屋根も付けないのが良いと考えています。そうする目的は桜島が見える景観を確保しつつ、座席数のロスを最小限にする（アウェイ側はもともと来場が少ないので）ことです。

同時にユーモアと話題作りも含めてそのスタジアムを「日本一アウェイに厳しいスタジアム」として謳ってはどうでしょうか。ただ実際には、そのエリアに雨の日には無料で雨合羽の貸し出しをしたり、お湯割り焼酎の振る舞いが設置されていたり、と至れり尽くせりのおもてなしを提供します。そうすることで結果的には「日本一アウェイに厳しいけど、日本一もてなしがあるスタジアム」にしてしまいます。

清水エスパルスの「IAI スタジアム日本平」は富士山を近くで拝むことができるスタジアムとして有名です。「活火山を楽しむことができるスタジアム」というのはまた新たなる一つの価値です。

さらにここからはさらに発展的なアイデアですが、そこにコンサドーレ札幌が展開したようなアジア戦略を鹿児島ユナイテッドFC が展開すれば、スタジアム自体が観光資源になることも可能です。東南アジアのサッカー熱（特にＪリーグ）はとてつもなく高い（タイのタクシーであるトゥクトゥクの中にはＪリーグの塗装がされているものもある）ので、東南アジアの選手を常に保有するなどすれば、鹿児島県の観光的にもかなりの資源になり得ます。実際コンサドーレ札幌のクラブの売り上げ規模はアジア戦略開始前の 2011 年度で営業収益が 13 億程度だったものが、2021 年度には 34 億と格段に大きくなりました。コンサドーレ札幌に関係するいくつかの企業が、東南アジア戦略として選手をプロモーションに使い成功した例もあります。こちらが思っている以上に、サッカーは人とお金を呼ぶことができるツールなのです。

個人的には、現地で日本人サッカークラブ経営者が活躍し始めているカンボジアやシンガポールなどが、次なる市場として良い選択肢ではないかと考えています。

（p21）【６．最後に蛇足アイデア②】

検討委員会は５月から６月にかけて全国の視察をするとのことなので、是非ともサッカーで発展した（発展を目指す）地方の街の視察も組み入れて欲しいです。試合日のスタジアムまでのアクセスや周辺の雰囲気なども体験して欲しいです。

前述の京都サンガはもちろんのこと、サガン鳥栖、鹿島アントラーズ（以上 J1）、FC 今治、松本山雅 FC、AC 長野パルセイロなどはサッカー専用スタジアムを持つ街です。長崎や広島はまさにい

ま建設中なのでそこも参考になるはずです。逆に、大分トリニータやロアッソ熊本、FC 町田ゼルビアはまずまずの成績にもかかわらず、スタジアムの場所が悪く街の発展にまでは繋がっていない印象です。そういった例も知ることは役立つと思います。

いずれにせよ検討委員会のメンバーの中で、まだ試合当日のスタジアム周辺の雰囲気を知らない方々には、是非ともそれを体感して欲しいです。別に試合を見なくても良いので。地域のお祭り、音楽フェスのような雰囲気がそこにはあり、それが季節関係なく月に２回ペースで開催できるということを知って欲しいです。

なお、サッカークラブと街の地域密着の観点で言えば川崎フロンターレは最高の成功例です。以前は公害などの影響で決してイメージの良くなかった川崎という街のイメージは、川崎フロンターレとの結びつきで劇的にそのイメージが改善しました。スポーツクラブは、街のイメージを根本から変え得るツールということを是非とも認識していただきたいです。でなければ、Ｊリーグや Ｂリーグのクラブがここまで全国に広がっていないはずです。

【参考までに】サッカースタジアムに関する情報

(参考１：他県の事例)

サッカースタジアムの収益は年度やイベントなどの条件によって変動するため、以下の数字はあくまでも参考値。

○ノエビアスタジアム神戸(兵庫県神戸市)は、ヴィッセル神戸のホームスタジアムとして使われており、神戸市が楽天ヴィッセル神戸を指定管理者として運営している。Ｊリー グや天皇杯、ACL などの試合や音楽コンサートなどのイベントを開催していま す。2019 年度には売上高約８億円、純利益約 3000 万円を記録している。

○パナソニックスタジアム吹田(大阪府吹田市)は、ガンバ大阪のホームスタジアムとして使われており、吹田市がガンバ大阪を指定管理者として運営している。Ｊ リーグや 天皇杯、ACL などの試合や音楽コンサートなどのイベントを開催し、2019 年度には売上高約７億円、純利益約 5000 万円を記録している。

(参考２：プロスポーツクラブの運営と行政の関係)

○日本ハムファイターズは札幌ドームを本拠地としていたものの、

① 札幌ドームの年間維持費が高額であり、球団と札幌市との間で球場の改修費用負担についての交渉が難航していたこと、

② 札幌市との運営収益の分配に対して不満を持っていたこと

などから、本拠地を移転することとなり、球団を失った札幌ドームの運営は厳しくなっており、札幌ドームの具体的なデメリットとして主に以下が挙げられる。

・収益減少

試合やイベントの開催数が減少し、ドームの収益が減少

・運営費の増加

球団が使用していた施設の維持や改修費用が、今後はドーム運営者側が負担することとなり、運営費が増加

・ドームの存在価値の低下

プロ野球の本拠地球場として知られる札幌ドームの存在意義が低下し、ドームを活用したイベントなどの誘致に影響

・地域経済への影響

本拠地の撤退は、集客力の低下による地域経済の落ち込み

（参考３）日本国内におけるサッカースタジアム建設の失敗した事例

スタジアム建設においては、予算の適正化や計画の見直しのほか、建設後の運営やマネジメントも重要な要素であり、プロスポーツクラブや地域自治体などが共同で取り組むことが求められる。下記の例はいずれも陸上トラックがあるスタジアムである。

○　鳥取県立鳥取陸上競技場

2005 年に完成したが、維持費がかさんだことや、Ｊリーグの参入が見込めなかったことから、運営が困難となり、現在は一部の陸上競技大会やコンサートなどに利用されている。

○　静岡県小笠山総合運動公園スタジアム（エコパスタジアム）

2001 年に完成し、Ｊ リーグの清水エスパルスやジュビロ磐田が年に１～２回ほどホームゲームで使用しているが、周辺環境が整備されず、アクセスの不便さから観客動員数が伸びず、両チームともメインのホームスタジアムとしては使用していない。地元のアマチュアチームや陸上競技大会などに利用されている。

○　宮城スタジアム

2000 年に日韓ワールドカップの会場として完成。５万人近くを収容可能だが、ワールドカップ後はアクセスの悪さと、ベガルタ仙台がそもそもアクセス抜群でサッカー専用スタジアムである仙台スタジアムを本拠地としていたことから、使用されることはほとんどなかった。震災時の拠点として機能はしたが、現在は地域住民がスポーツを楽しむアマチュアスポーツの場として機能している。言うまでもなく５万人収容は規模としては現状に即していない。

アンケートデータ詳細意見【県内版】

⑥街づくりの観点から、サッカースタジアムがあることのメリットは何だと思いますか？（複数回答可）
人が集まり回遊性が高まり賑わいを創り出す
飲食店などへの経済効果が期待できる
街の知名度向上・イメージアップに繋がる
他の地域からの訪問客が増え観光促進に繋がる
シビックプライド（地域住民としての誇り、アイデンティティ）が高まる
イベント会場として利用することができる
メリットはない
分からない
（以下はその他）
海外チーム呼んでPR→海外観光客が増える→アメリカンBBQの店が増える
キャンプ地にしよう
地域スポーツの発展向上に繋がる
人が集まるところになれば、活用方法次第で多様なビジネス、文化の発展の場になり得る。試合が行われるスタジアムの横で、アートや音楽などの拠点にもなってほしい。
ワールドカップほか東・東南アジア向けの大会や試合の招致を目指せる
福岡に住んでいた頃、野球のホークスや、佐賀のサガントスに応援に行く事が皆の活力になっているように感じ、羨ましくさえ思いました。活気のある街づくりは必要だと実感しました。
今現在の白波スタジアムは野球場、テニスコート、補助競技場も含め正々総合運動場の一部なのですが、ショッピングモールや飲食店、東海道路等が手頃み通なっておりタクシーの運転手も今を強くほど者来ば活躍しています。他に者来のホーム開催時は更に渋滞沼いへ南側の大型ショッピングモールへ向かう車も多く車が進まない程更に渋滞しています。そういった渋滞解消の為にもメリットがあり、逆にこれらの現状をスタジアム建設に変わるとでは重要なヒントだと考えています。
現在、ユナイテッドのJ3の試合で開催できない陸上競技の大会を白波スタジアムでできる。

⑦街づくりの観点から、サッカースタジアムがあることのデメリットは何だと思いますか？（複数回答可）
サッカーに興味がある人以外にメリットが少ない（税金の無駄と感じる）
交通渋滞が増える
公共交通機関が混む

街の景観を損ねる
試合がある日以外の活用が難しい
周辺が騒がしくなる
デメリットはない
分からない
（以下はその他）
大型のショッピングモール、娯楽施設が集中すると渋滞は発生するものだと考えています。
育児政策が甘くてスタジアムが赤字だと恨む

⑧現在のドルフィンポート跡地は今後どのようにするべきだと思いますか？（選択肢にない案をお考えの方は「その他」に入力してください）
市が提案しているサッカー専用スタジアム
県が提案している総合体育館
県が提案している国際コンベンションセンター
ドルフィンポートのような飲食を中心とした商業施設
現状のウォーターフロントパーク（芝生の公園）と駐車場
（以下はその他）
土地を遊ばせているようなら何か施設を作るのもいいかと思いますが、正直どれもピンときません。
地域にひろくひらかれた場所であって欲しいという趣旨から、国際コンベンションセンター以外の活用方法が望ましいと思います。
体育館とサッカースタジアムと商業施設等を同じ場所にできれば1番良いと思う。
市民が気兼ねなく利用できるスポーツ施設。子供から大人までゆっくり楽しめる総合レジャー施設が良い。サッカー、バスケ等、鹿児島本体のスポーツ施設は１箇所にまとめてあると、バスケファンがサッカーに興味を持ったり、その反対だったりと盛り上がると思う。
現在の公園に１階建ての飲食ブースであれば景観も損なわない
まだ判断できない
すんなりスタジアムの件が進まないのは、場所として適してないという意見が多いということなので、跡地以外でもたくさん案を出して少しでもスタジアム建設が前進するようにした方がいいと思います。
スタジアムと体育館の併設
スタジアムと体育館の併設
スタジアムと総合体育館の共存が望ましいが時間がかかるのであればスタジアムは15番区でもいいかもしれません

スタジアムとアリーナ併設。鹿児島のプロスポーツの拠点。
サッカー専用スタジアムに加え大型のショッピングモールと宿泊施設、バス停とダイヤの増加。
サッカーと体育館、飲食店などが融合した施設
サッカースタジアムと体育館併設
サッカースタジアムと総合体育館って併設できないの？
サッカースタジアムと総合体育館が一体化した施設
イベントステージやスケートパーク(もちろんBMXも)ボルダリング
LIVEなどもできるホール会場
IR誘致。観光立国。本州最南端という部分でインバウンド
IKEAやコストコを作ってほしい

⑨（必須ではありません）スタジアム問題、鹿児島港本港区エリアに関すること、鹿児島全体の街づくりに関して、ご意見のある方はこちらにご入力ください
KUFC使用を前提としたスタジアム有きでは観戦に興味ない市民からの同意が得られない。これではファン、サポーターの裾野が広がらない。ランニングコストも今のままでは大赤字である。専センスタを持っていないＪ1チームもまだ多い。公的資金を使用しない自前の建設をクラブも考えるべきである。ガンバのパナスタ等参考にすべき。
この街のリーダーは誰かを問いたい。
コンベンションセンターは、県市を見渡せる吉野辺りで、会議に出席する方々は忙しくて観光や街にお金を落としてくれるとは思えない。白波土地市の所有ならなんとかならないのかな？スタジアム賛成派だが、一番気になるのは駐車場大隅より来るものには、自家用車しか手段はなく県駐車場利用しているが、出口1っ箇所では出庫時間かかりすぎ
サッカースタジアムは必要ですが、ＤＰ跡地へのこだわりは捨てるべき。相応しい土地に稼げるスタジアム（長崎、広島を参考に）複合施設を完備して、世界発信できるものにして欲しい。スタジアムを軸に新たな街を作るぐらいのプロジェクトを立ち上げて欲しい（ｅｘ農業試験場跡地）
サッカースタジアムや体育館といったものを景観が良く立地が良すぎる本港区エリアに置く必要があるのかと疑問に思う。さらに鹿児島市の中心の繁栄を増したいのなら本港区エリアには大型商業施設を作り、鹿児島中央駅ー天文館ー本港区エリアというラインを作り出し、一体となって街の繁栄に努めるべきでは。現在の鹿児島の若者流出が止まらない昨今、魅力ある街並みにするため、スタジアムは大きく関与しないと思う。 【サッカースタジアムを建設する場所が他にないのならすみません。】 また開発ばかりでなく、騎射場周辺や、谷山駅周辺など裏路地的な魅力ある店があるエリアをさらに発展させて欲しい。ただ大規模な開発だけでは一部しか盛り上がらないため、今の魅力をさらに増していけるよう、騎射場や谷山駅周辺に個人店を増やして欲しい。
サッカー好きとしては、街中にスタジアムがあり、仕事終わりに観戦など、日常にサッカーが浸透した生活に憧れます。鹿児島のプロスポーツチームの躍進が、鹿児島全体を引っ張り上げると思うので、現時点で1番適任なのが鹿児島ユナイテッドだと思います。バスケットや野球も、今後同じように続いていくともちろん嬉しいです。保守的と言われる鹿児島県人なので、勇気を出してチャレンジしてほしいです。

サッカー好きとしては、新スタジアムの建設には賛成で、実現して欲しい。しかし、経済効果等を考えると効果が得られるのかは疑問。なかなか難しい問題。 Fマリノスサポーターとしては、日産スタジアムの様な規模のスタジアムにも憧れますが。
サッカー施設がもっと欲しい
スタジアムと体育館との相乗効果をもっとアピールした方が良いと思います。
スタジアムは建設してほしいが市民の目線としては税金で建設するのだから建設費をできるだけ抑えてほしい
スタジアム建設は大賛成です。立地が集客に関係すると思うので駐車場含め、検討して欲しいです。
スタジアム内に図書館を作る。本の借用・返却タイミングの2週間に一度スタジアムを訪れることになる。文化やスポーツの拠点に！
スポーツ、街なかスタジアム・アリーナを通じた持続可能なコンパクトシティの理念である、「スマート・ベニュー」の観点から街づくりを進めている鹿児島市の案に賛同しています。数多くのステークスホルダーの意見をまとめて、スタジアム建設に進んでもらえると嬉しいです。
家族持ちである自分からすると、アクセスがとても大事です。駐車場、シャトルバス、電車、渋滞等の課題が解決されるといいなと第一に思います。待つ時間等は小さい子供には厳しいですし、周辺の住民の理解の上でも大切かと思います。ただえさえ混雑する場所でもあるので、一帯の再開発が重要事項かと思います。 がんばってください、応援してます！！
ただ単にスタジアムがあることは、メリットが多いように思えます。しかし、スタジアムを作り、どんなチームを年何回呼べるのか、ユナイテッドFCや他のサッカーチームにどれほどのメリットがあるのか…。中高生の総体などでも使用するという想定もあるかもしれませんが、鹿児島市に限らず既存のサッカー場はどうするのか、普段から混んでますが霧島・姶良方面からの交通は、試合がある日は特に混雑しそうですよね。税金を投入する以上、費用対効果は考えなければならないと思いますので、スタジアムがあることに関するさまざまな点について、ある程度プランニングする必要はあるかと思います。
とにかく何もかも議論が遅く、まったく先に話が進んでいない印象が強い。
とりあえずアクセスの良い所にスタジアムを建設して欲しいです。今の鴨池みたいに桜島を借景できれば観光スポットとしても活躍可能だと考えます。大分みたいにいくら立派でもアクセス悪いのはスタジアム運営に悪影響極まりないと思います。鹿児島市内は平野が少なく、街中スタジアムとなるとなかなか適地は見つかりませんが、鴨池の飽和状態（他の利用者が白波を使用できない）もあるので、早めにスタジアム建設が実現して欲しいです。
ドルフィンポートが駄目なら早急に他の場所を検討して欲しい
ドルフィンポート跡にスタジアムができるのが理想なんですが、今のままだといつまで経っても鹿児島市長が希望されるようには動かないし、外堀からスタジアムは外され、全然スタジアム造りが前に進まないと思います。 サッカースタジアムは今後のことを考えると絶対に必要になる日が来ます。そして、できるだけ早く着工してほしいので、わたしとしては鹿児島市の他のところ（谷山）でいいのではないかと最近思っています。鹿児島県民は基本、車での移動が多いので、駐車場がたくさん確保できるところも必要ですし、公共交通機関も近くに利用できないといけません。谷山（前から候補地になっていた農業試験跡地です）だととりあえず、それらの条件も満たせそうですし、スタジアムができることで、その周辺もお店などできて、もっと賑わえばいいと思うし、そうすることで、鹿児島商工会議所の人たちにも悔しい思いをさせればいいし、今はそんな気持ちです。 とりあえずドルフィンポート跡に拘らず、一刻でも早くスタジアムを造る方向へ動いてほしいです。
ドルフィンポート跡地にスタジアムは理解できるが、体育館のみ設置というのは、理解できない。県の意地と感じる。

はじめまして。アンケートありがとうございます。鹿児島港本港区はサッカースタジアムと体育館の併設を願っています。集客力の高いプロスポーツを活用する事に何を迷っているのか理解できないです。鹿児島の観光資源は桜島の景観しかないのでしょうか？県外の観光客は桜島しか見ないのでしょうか？スタジアムを観光拠点に育てることはできないのかと思います。鹿児島の未来を生きる若者、子供達のために今の大人達が苦労しましょう。利権に絡む老害は引退して下さい。郷土愛の強い鹿児島県民はユナイテッドもレブナイズ応援しています。鹿児島のプロスポーツは歴史が短いですが郷土愛がプロスポーツを育て鹿児島の活気と共に育つことを願っています。スタジアム、体育館の建設と市電を本港区まで延長してほしいですね。
ホーム戦、毎試合北薩から車で片道2時間かけて応援行きます。専スタできて、もっと県内の人から親しまれるスポーツになって欲しいです。
まずこの一帯を都市再生緊急整備地域に指定する様申請しましょう。税制や認可等で優遇が受けられます。そうすれば都市機能集約化で最大50%国の補助が受けらる可能性があります。スタジアム150億円としてその半分75億円を行政と民間で負担します。市が35億円、民間の寄付40億円。そして民間の寄付をさらに企業38億円、個人2億円に分けこれを3年程度かけてふるさと納税と鹿児島市民からの寄付への税金控除で集めます。3年なら鹿児島で可能だと思います。
まず港湾計画を整備してそれからのスタジアム、コンベンションセンターだと思います。あと施設は高齢化や使用する観客数を上げるために駐車場の整備か交通の整備が必須と考えます
皆さんが前向きな考えでスタジアムを作れたらいいと思います。人の流れがなければ地方活性化もしないので、スタジアムを作った場合は、他の活用案も並行して進めればと思います。
鴨池二丁目UR住宅、市営球場、イオン鴨池を巻き込んだ再開発とかどうでしょうか
旧市立病院跡に建てたせごどん館みたいに、お金をかけて作っても、壊してしまうような施設ではなく、鹿児島のため、市民のための施設を建てて維持してほしい。特に体育施設については、駐車場も少なく、施設も古い。未来の街づくりを意識して作って欲しい。未来の子どものためにも。
景観も含め、鹿児島市内にスタジアムは必須。ただ、オール鹿児島を標榜しているのだから、鹿児島市内のスタジアム建設に拘らなくても良いのではないか？市外…例えば、垂水でも伊集院でも市内から遠くない場所を考えてもと思う。そのほうが、土地も見つかりやすいのでは。もっと柔軟に考えて欲しい。
経済効果だけでなく、鹿児島市民としてのアイデンティティや愛着を育める活用ができるといいです。
結論から言うとサッカースタジアムは必ず必要!!□ 日本の端にある鹿児島は必然的に鹿児島に人が来る状況を作らなければいけない。 数年に一回、一年に一回される催物より2週間ごとに開催されるサッカーのホーム試合が鹿児島にとってはプラスしかない!!□
県と市がいがみ合っている(利権争い)のはかつての大阪府と大阪市の構造と似ていなくもない。　by元府民
県と市が協力して欲しい
県と市が上手く連携とれれば、諸々含んだ施設も目指せるのではと考えます。
県の新しい体育館は必要だと思うが、サッカースタジアムの必要性は感じない。
県や市のスタジアムや体育館など案を踏まえてどちらも作れるように話し合いができればいいなぁ。！ できないじゃなくて　できるように話あってほしいです。

県総合体育館の場所には日本最大のeスポーツセンター！全国大会や世界大会が鹿児島で開催できるようなスペシャルなイベントホールもほしい。 鹿児島がメッカになるようなスーパーな建物！ そもそも、体育館は鹿児島市にアリーナ、松元や川内にも立派な体育館がある。イベントやコンサートだって工夫すれば既存の施設で鹿児島にしかできない。アーティストとの距離の近い最高のステージだってできるはず。4万人のドームコンサートより1000人のコンサートの方がスペシャルなこともある。地方でもたくさん施設を使えるように安く提供して毎週イベントしたら良い。エンタメのチカラを未来に発信してほしい。 私、個人的にはサッカー専用スタジアムがほしい！めちゃくちゃほしいけど、現在の白波スタジアムリメイク案を希望します。陸上トラックを傷めない移動式の座席を作る。傾斜のある1000人くらいの座席がトラック部分に出現する。もちろんこの座席ではむやみに立って応援はできないかもしれない。でも、その激しい応援さえもできるような耐久性に優れた移動式座席を開発してほしい！あと、全てスタンドに屋根をつけてほしい。桜島が見えなくたって良い！ 桜島しか自慢できるものがないからだと思う。桜島は城山や仙巌園から見たら良い。平和リース球場もドームにしてほしい。結果イベントもできる！ 結論、桜島を見ながらお金は生み出せません。もちろん自然の温泉には感謝してます。きっと2年後には鹿児島のアーティストが集まって3DAYS LIVEがドルフィンポート跡で開催できますね！乱文申し訳ございません。応援してます。
現在の県塩田、市下園体制のうちにぜひ決定してください。個人的には専用スタは鴨池でもOKの意見（白波の横に専用スタを建てる、市の土地らしいし）です。ドルフィンにこだわりすぎるて計画が進まない、または元に戻るのを危惧しています。検討委員の皆さんは、5月28日の松本アウェイ戦（すばらしい専用スタとサポーター）をぜひ見学（もちろん直接・肌で感じる、意見を聞く）をしてください。
現在の鹿児島において、ほぼ2週間に1回にあれほどの集客力があるイベントは見当たらないと思う。 鹿児島ユナイテッドをどう生かすかという視点が全く見られないのが残念。
個人的には、スポーツのように関心度に個人差があるようなものよりも、商業施設などより多くの人の生活に寄与するものを作って欲しいと思います。ただ、スタジアム＝特定のスポーツをする（観る）人にのみ利益があるというイメージが強いと思うので、多目的な用途に使えるようにアピールすればいいのかなと思います。
個人的には住吉町に複合型サッカー・ラグビー球技場が作れれば丸く収まるのかなと思っています。 商工会議所の案の宿泊施設は天文館周辺にもありますので、必要ないかなぁと(^^;)コンベンションセンターはそんなに国際的な会議を沢山誘致できるのか疑問を持ってます。
今回の検討委員会は鹿児島が発展しない縮図の様なもの。出来上がった頃には高齢になっている人がほとんどでは。未来の鹿児島のためにも高校や大学生20代のメンバーも加え男女比を半分づつにする必要があります。長崎をはじめ広島など街中スタジアムが主流となっており郊外のスタジアムはあり得ません。15番区であれば埋め立てた所にヨットハーバーも整備してもいいと自分は考えます。 又経済界もヘタな発言をすればダメージが大きいのでなかなか本音がわかりません。地方都市でも胸を張って自慢が出来るスタジアムを作りたいです。
今現在、街中サッカースタジアムが主流になるのに対し鹿児島は何故総合体育館にこだわるのか？8千人規模程度の体育館で著名なアーティストが年間何回ライブを開催してくるのか？国際会議も毎年するのか？鹿児島アリーナはいい意味で失敗してるのでは？白波スタジアムを改修すればとの意見もあるならば、鹿児島アリーナ県体育館も改修すればいいのでは？と思います。名称はサッカースタジアムになってるがサッカーだけに使用する訳ではないのをもっと強く訴えて欲しい。
今治、長崎のスタジアムを参考にショッピングモールと結びつけ、人の集まる場所にする 国際試合1988年キリンカップ以来、行われていない。将来は国際試合の出来るスタジアムを！
市電の延長をして本港区エリアに電停を設けるとより活性化につながると思います。

市内に体を動かせる場所やイベントなどをする場所が多くないので、そこに活用するのも良いと思います。飲食店やちょっとしたアミューズメントパークとしてスタジアムを"試合がない時"こそ開放して、多くの人が気兼ねなく訪れる場所になれば良いなと思います。
鹿児島ならではの、文化的に成熟した観光都市の創造には、スタジアム構想はその中核を担い得る事業だと思います。ぜひ実現し、鹿児島ユナイテッドFCと共に鹿児島2.0へ繋げていって欲しいです。
鹿児島には観光地はあるが、若者が遊べる場所がありません。スタジアムがあると近隣でのスケボーやフットサルなど週末だけでも賑わいの空間が欲しいです。商工会議所のお偉方は昔はやったコンベンションホールなどと言っていますが、今どこも閑古鳥が鳴いています。
鹿児島の宝である桜島を活かした開発をすべきと考えます。 今の何も無い状態がどれだけ活用法が多様に広がるのか、決して箱物を作らず、イベントなどを行っても直ぐに更地にもどし、また次の催しの時にはそれに則した活用出来るものをその時だけ設置する。 普段は桜島の景観を妨げず、催しの時には、その度に設置する業者にはその都度売上が発生する。
鹿児島ユナイテッドFCというチームにとって絶対に専用スタジアムは必要だと思うので早急にスタジアムを建設して欲しいです！
鹿児島ユナイテッドはJ3とは破格と言っていい、5000人の観客動員を見込めるクラブになっています。昇格すると県外からアウェーサポも多数来場するので、経済効果、鹿児島県の関心、知名度の向上が見込めると思います。本港区エリアでのスタジアム建設を望みます。
鹿児島県の皆様、特に鹿児島県の行政の方たちに言いたい、今世界的にスポーツを通しての街づくり、観光誘致が進められている現状を知っているのだろうか？ もっと、鹿児島県をアピールして盛り上げてもらいたい。
鹿児島市に国際会議場は必要ありません、１，０００人を超える立食パーティーは城山観光ホテルとシエラトンホテルで十分です、
鹿児島市の海岸エリアにサッカー場を建設してほしい。
鹿児島市以外に住んでいるユナイテッドサポーターとしますと、白波を改修または本校区エリアであれば観戦しやすいです。 熱心なかたはどこまでも追いかけますが、新規開拓の為にも最大公約数的に全県民が集まりやすい場所にお願いします。
鹿児島市内外からの利用を考慮し、駐車場の確保や公共交通機関の確保を十分に行ってほしい。また、試合がない日も広く市民に活用できるような仕組み、デザイン、展望であってほしい。
若い人たちを議論に参加させて欲しい。少なくともSNSなどを活用して議論を喚起するような試みがなされるべき。
商業施設も入るサッカースタジアムを作ればサッカーがない時も使えますし、サッカーがある時期はアウェーの人たちがたくさん来るのでその人たちが天文館に流れて経済効果もサッカースタジアムが1番いいと思います。
絶対にスタジアムは必要！スタジアムができたら代表戦もできると思うし！
前に西郷どん館がありましたが聞いた話しですが二億かけて作ったにもかかわらず僅か数年で壊して今公園になっていますが　税金の無駄遣いだと凄く思いました！ 10年経ってもサッカースタジアムさえ作れない！市も県も仕事しなさすぎ！　呆れる！
前回のオリンピックじゃないんだから、予算はキッチリしてほしい。ただでさえ鹿児島はお金ないんだから。 あと、スタジアムで桜島を隠すことだけは辞めてほしい。

体育館にせよスタジアムにせよ、完全合意は無理だと思うので、どちらにせよにせよはやく決めて運用にはいってほしい
体育館は室内なので景観はいらない。ウォーターフロントパークに作る必要性がないと思う サッカースタジアムから桜島が見えるとそれだけでも集客に繋がる。天文館からも近いので活性化にも繋がる
体育館もサッカー場も場当たり的な整備しか考えられたいない。
中に入ると外が見えない体育館ではなく、サッカースタジアムを作るべきと思ってます。しかし、県が体育館を作ることに固まっているようなので、無理にスタジアムを作らなくても、別のところに立てた方がいいと思うようにもなりました。その方が反対する意見も少ないだろうし、街は天文館周辺だけではないからです。谷山や鴨池などに作って、そこの街づくりに活かした方がいいと思います。体育館をドルフィン跡に作るのは1番愚策だと思います。芝生広場と飲食店がいくつかあればいい。
長い長い長文にはなりますが、拝読戴けましたら何卒幸いに存じます。鹿児島本港区に関してはドルフィンポート、北埠頭ターミナルビルが開業しましたが、北埠頭ターミナルに関しては高速船乗り場が別の場所に出来た事も含め約５年も経たないうちに桜島を一望出来る２階の待合所はシャッターは閉められ、エレベーターの扉は開けられないようにガムテープで貼られ、２階の待合所から伸びるコンコースから乗り場まで下る階段を繋ぐ踊り場らしき所は割れたガラスが散乱し廃墟のような有様でした。ドルフィンポートに関しては客足が落ち、閑散とした状態が続き撤退するテナントさんも見られ、お土産屋と限られた何店舗、離島からの乗客らしき方々が利用するコンビニしか稼働していない状況のようでした。どちらかというとドルフィンポート周辺のフランチャイズ飲食店等へ客足は向かった印象でした。唯一夏に開催されるサマーナイト花火大会、冬のイルミネーションの設置や年越しイベント、NHKの移転、マクドナルド進出も含め数年前に客足は戻りましたがそこまでとはいかず一時的なものに留まりコロナ禍を経て借用期間を終えて閉鎖しました。良き思い出もありましたが、これまでの本港区の活用は非常に御粗末なものだったと思いました。ここまでが今現在の本港区に対しての印象です。 街づくりに関しては基本的に最初から造られているものだと思っています。⑥で書きましたように箱物が出来れば集客も、活気も生まれますが渋滞もトラブルも起こりえる。それが今の与次郎にある白波スタジアムが１つのモデルにあてはまるのではないかと思われます。スタジアム建設に関しましては⑥で書きました部分に加えまして長年日常のように慣れ親しんだ桜島が見えるスタジアム兼宿泊も兼ねた商業複合施設、近辺に住む皆さんが利用できるようなマックスバリューのようなスーパーも含めた商業複合施設が良いのかなと思います。そして今まで旧ドルフィンポートには無かったアイデア、創意工夫も含めドルフィンポートが出来てから20数年を御時世の変化も踏まえ商業的、観光的な部分で地元の方が慣れ親しんだ桜島の景色に求め過ぎたもの、あるいは過度に頼り過ぎた部分が無かったかを含め熟慮と見解を経て新たな街づくりと共に進めて行くと良いのでは無いのかなと思います。ここまでが私個人としての今までの本港区の印象並びにスタジアム問題、鹿児島の街づくりとに関しましての御意見になります。長い時間お付き合い戴き誠にありがとうございました。長文失礼しました。
長崎市のサッカースタジアムを参考に、多角的に活用できるサッカースタジアムを希望
浜町駐車場が、馬鹿騒ぎした一部ユナサポが原因で候補地として消えてしまった現状をしっかりと認識ししたうえで、住吉町にスタが作れるように粛々と進めて欲しい。
北埠頭の活用が殆どされておらず南埠頭に集約などし、全体の再編を行えばスタジアムも建設可能と思います。
本港区エリアがどこかわからない
本港区エリアしか場所はないのでしょうか？一つの場所に固執しないで、他の場所も交通の面からも考えて良いのでは？スタジアム建設から始まる、新たな街づくりになればとも思います。もっと交通の流れが良くなるような道路工事とか？けして本港区が嫌なわけではなく、説得を続ける時間ももったいないと思ってしまいます。また、私に景観を理由に反対する方がいるのですが、実際にはその辺りを散歩しない方だったりもするんですよね。たくさんアイデア出しましょう！

本港区エリアには周辺地域と同様の機能を目的とした施設を作るべきでない。
本港区エリアは、この話がある前はパークアンドライドの拠点として社会実験されたこともありました。前市長の頃から市電の港湾線の話もありますし、言わずもがな大隅航路、離島航路の発着地でもあります。ここにできる施設が、交通、観光、地域交流他様々な価値のハブになる機能が、そして未来の実情に柔軟に対応できる拡張性が、基本的な設計に盛り込まれるべきだと思います。
本心はドルフィンポートにサッカースタジアムを！って思いますが今の現状はかなりきびしいと思います 市、県の温度差がありすぎです。無理やり都市型にこだわらなくても私個人としてはいいと思っています 逆にそちらの方がコストも安いしシャトルバスを走らせればいけそうな気がします（シャトルバスはいわさきを除外）
未来の子ども達へと残す、誇りある街づくりを期待しています。
目の前に活火山がある唯一無二のスタジアムになると思う。是非桜島を借景にしたスタジアムを作って欲しい。
離島から年に数回観戦に訪れてますが、スタジアムがあると更に訪れる回数は増えるだろうなと思います。
離島から年に数回観戦に訪れてますが、スタジアムがあると更に訪れる回数は増えるだろうなと思います。
陸上トラックのないサッカースタジアムが必須だと思います。02年日韓W杯で建設されたスタジアムの中で陸上トラック付きのスタジアムは、陸上トラックはほとんど活用できていない状態です。 ラグビーもできるスタジアムにすればトップリーグも呼べると思うので、是非ラグビー界も巻き込んで実現してほしいです。 ヨーロッパにある専用スタジアムのような雰囲気、もしくは釜石のスタジアムのようなアットホームかつブランド化できるようなスタジアムが鹿児島にあれば、きっと街の誇りになれるスタジアムになると思います。 ユナイテッドもJ2を狙える力を持っているので、早期に実現しなければいけないと思われます。

アンケートデータ詳細意見【県外版】

④街づくりの観点から、サッカースタジアム（専用とは限らない）があることのメリットは何だと思いますか？（複数回答可）
人が集まり回遊性が高まり賑わいを創り出す
飲食店などへの経済効果が期待できる
街の知名度向上・イメージアップに繋がる
他の地域からの訪問客が増え観光促進に繋がる
シビックプライド（地域住民としての誇り、アイデンティティ）が高まる
イベント会場として利用することができる
メリットはない
分からない
（以下はその他）
スタジアム自体を老若男女、特に高齢者、未就学児などが集まれる場所にすること。高齢者の認知度向上・病気予防、未就学児の楽しみ・地元のスポーツクラブに憧れを持たれる存在になることでシビックプライドに繋がる
子供達にサッカーの楽しさを伝える。
下手にその田舎の土地に住居作って過疎化で使用されないよりイベント会社などからお金入る方が儲かる。サッカー専用にすべきではない。
屋根付きなら桜島噴火時島民避難所に、使えるかも？

⑤街づくりの観点から、サッカースタジアム（専用とは限らない）があることのデメリットは何だと思いますか？（複数回答可）
サッカーに興味がある人以外にメリットが少ない（税金の無駄と感じる）
交通渋滞が増える
公共交通機関が混む
街の景観を損ねる
試合がある日以外の活用が難しい
周辺が騒がしくなる
デメリットはない
分からない
（以下はその他）
試合開催時の会場周辺のゴミ散乱の懸念
違法駐車が増える
年中イベント開催しないと黒字が出ない。無い日は地域、学校に安くで貸してでも埋めるべき

⑥お住まいの地域に今から新しくサッカースタジアムを作る場合、どのような条件を重視すべきだと思いますか？（複数回答可）
スタジアム観戦を何度もしたことがある人間が立案、設計すること
専用スタジアムであり臨場感があること
根があり天候に左右されず観戦計画を立てられること
スタジアム自体のデザインがかっこいいこと
トイレが十分にあること

座席間隔が広くシート自体もゆったりしてること
スタジアムからの景観が良いこと
スタジアムまでのアクセスが良いこと（公共交通機関で行きやすい）
スタジアムに（あるいは周辺に）駐車場が多いこと
試合観戦前後で寄ることができる飲食店が周辺に多いこと
試合がない日もジムやレストランなど人が集まる施設が内包or併設されていること
コンサートを開催できる仕様になっていること
託児所があること
分からない
（以下はその他）
1.近隣の高齢者施設、保育所・保育園・幼稚園・養護施設の未就学児などを無料で招待する(天候の良い日中の試合、１試合100名程度希望者のみ、未就学児は親同伴、高齢者施設の方は施設職員が付き添い) 2.施設運営はキョウトサンガスタジアムが現時点の１番の参考例 3. 地域密着・貢献は川崎フロンターレが参考になります。
若い方々に発案させ、それを地域、政財界がサポートする形をとるべき。スタジアムは長く存在する。だからこと、若者が中心となって計画すべき。
スタジアム観戦を何度もしたことがある人間が立案、設計すること，専用スタジアムであり臨場感があること，屋根があり天候に左右されず観戦計画を立てられること，スタジアムまでのアクセスが良いこと（公共交通機関で行きやすい）
スタジアム観戦を何度もしたことがある人間が立案、設計すること，専用スタジアムであり臨場感があること，屋根があり天候に左右されず観戦計画を立てられること，スタジアムまでのアクセスが良いこと（公共交通機関で行きやすい），スタジアムに（あるいは周辺に）駐車場が多いこと
交通渋滞が起きないよう綿密な計画を練ること
周辺住民、通勤で利用する人と車両ルートを区分けすべき。
収益性の確保
複合施設であることは重要だと思います。何がきっかけであれ「あそこにはよく人が集まるね」という場所が近辺の住人にとってロイヤリティを感じやすい点であると思うからです。
サッカーや音楽コンサートだけでなく、市民イベントなど多用途に使える仕様になること
子育て世代が利用しやすいような屋内遊具、子ども預けスペース（IKEAのサマーランド、イオンのキッズファンタジーリゾートなど）があること。
ラグビー場との兼用及び大規模災害時に遺体安置所としての運用が可能な設計
スタジアム内の温度管理機能はあるにこしたことはない(特に夏と冬)

135

R5.4. 1

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募申請書

(ふりがな) 応募者氏名 (個人・団体名)	[redacted]	住所	[redacted]	
性別	男	年代　60 代	電話番号	[redacted]
プレゼンテーション参加の可否		参加させていただきます。		

港湾空港課
-5. 4. 16
受付

1. シビックプライド（県民の誇り）

鹿児島県民が、他県になく誇れるものは、近年では明治維新で活躍したことではないでしょうか。また、西郷隆盛の座右の銘「敬天愛人」は広く知られているところです。「道は天地自然のものにして、人はこれを行うものなれば、天を敬するを目的とす。天は人も我も同一に愛し給う故、我を愛する心を以て人を愛する也(南洲翁遺訓)」です。

(1) 景観資源
当然のごとく、桜島と錦江湾です。雄大な桜島は活発に活動する活火山です。身近にある活火山は世界でも例を見ないのではないでしょうか。また、錦江湾という海の上に立つ山というのも自慢の一品です。海外からの大型クルーズ客船から見た眺めは最高でしょう。

(2) 鹿児島の歴史感
明治維新で活躍した人物といえば、西郷隆盛、大久保利通、五代友厚が有名です。薩摩藩では、郷中教育により若手の育成を行うとともに、身分に関係なく要職に登用していました。また、天文学に秀でていました。天文館はその名残です。鹿児島は、明治維新にかかる歴史的建造物が多い。
西郷隆盛が最後を遂げた西南戦争は、士族の終焉となりました。

2. 鹿児島の観光資源

鹿児島の観光資源は、桜島、錦江湾、そして世界遺産の屋久島などがあります。
また、鹿児島市内には、明治維新にかかわる建造物や資料館が数多くあります。西郷隆盛の銅像、西郷隆盛・従道誕生地、大久保利通の銅像、大久保利通生い立ちの地、私学高跡、維新ふるさと館、西郷南洲顕彰館　西郷洞窟、西郷隆盛終焉の地など

3. 鹿児島の観光

鹿児島の見どころを尋ねられて、「なにもない」か、「桜島」と答える方が大半のようです。桜島は、四季折々、眺める場所によりその顔を変えてくれます。その素晴らしさは、明確な言葉で説明することはできません。
観光で鹿児島を盛り上げるためには、今あるものを有効に活用し、10 年後、50 年後そして 100 年たっても色落ちしないものを考えるべきではないでしょうか。
そして、鹿児島の産業を活性化しいくことも念頭におき、鹿児島に移住したいと思うこと、住んでいてよかったと思えるような町づくりを基本に据えることが必要だと思います。
「車優先時代」から「人優先時代」へ世の中の流れが変わりつつあります。人優先の街づくりが重要なコンセプトだと思います。
そこで、本港区の開発について、本港区エリアのみならず次のような提案したいと思います。

4. 今あるものを活用し、新しいものを取入れるというコンセプト

(1) コンセプト
県内外や、海外へ発信するのこと考えると本港区エリアだけでは、力不足の感があります。
そして、今ある観光資源をフルに活用させていくことが大切でないかと、きちんと整備していくと鹿児島市が全体がテーマパークになり得ると考えています。
森と音楽と芸術とレストランの本港区エリア、陸の玄関口鹿児島中央駅と海の玄関本港区緑の回廊、与次郎ケ浜のスポーツエリアの３エリアに分けて開発を進めていく。
今あるものを大切にし、新しいものを取り入れていくことが重要であり、それが、シビックプライドになればいいかなと思います。
当たらな建築物や椅子・テーブル等は、鹿児島の木をふんだんに使い、音楽堂やテラス等を構築します。

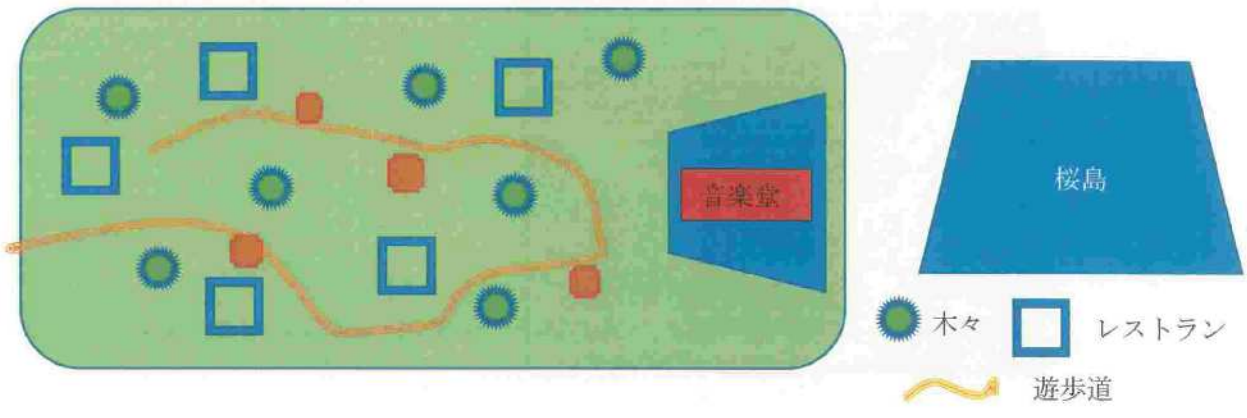


(2) 「本港区エリア」を「森と音楽と芸術とレストランとショッピング」の村に

① 森を中心に癒しの世界

明治神宮、代々木公園のような 100 年の人工森を作り、その中に、音楽堂を中心にレストラン、野外彫刻・アートそしてレストランさらに休憩所(オープンテラス)を点在させてコミュニティ（ビレッジ）を作り上げる。

森の下には、大規模な地下駐車場を作り、スポーツエリアで開催するワールドカップで訪れる人の自家用車の対策をとっていく、パーク＆ライドの導入。（参考；鹿児島中央駅）



＜オープンテラス＞　参考；　緑館　鹿児島市山田町 1101



② 世界でも通用するような音楽堂

鹿児島の木をふんだんに使用した木造建築物で、桜島と錦江湾が見果たせるガラス張りの解放感のある建物です。国内外の一流の音楽家が演奏したいと思える音楽堂と、絵画や芸術作品を展示できるエリア、人々が足を運びたくなるような音楽と芸術がコラボした癒しの空間です。

音楽は、ネットを使ったライブ配信の機能を備えた音楽堂でもあります。世界へ配信しいくことにより鹿児島の幅広く告知することができます。

これから音楽や芸術を深めようとする人々を応援できるような雰囲気のだれでも利用できる音楽堂です。

参考：八ヶ岳音楽堂



③ レストラン

県内外の特色のあるレストランを、森の中に点在させ、独立した空間を演出します。オープンテラスを併設し自然を満喫させ、ペットも一緒に楽しめるようにします。



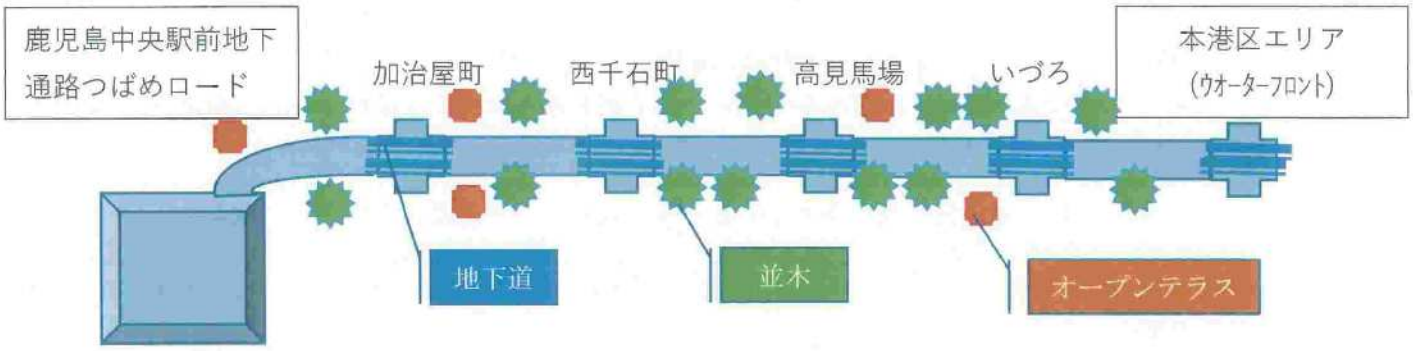
④ ショッピング
障碍者にもやさしく、ペット連れでも利用しやすい雑貨、洋服を扱う店を配置します。

⑤ テラスモールの設置
レストランをつなぐ歩道は、テラスを設置し、雨や降灰の影響を受けないような工夫を行い、車いすでも天候を気にしない障碍者にもやさしい街づくりを心がけます。



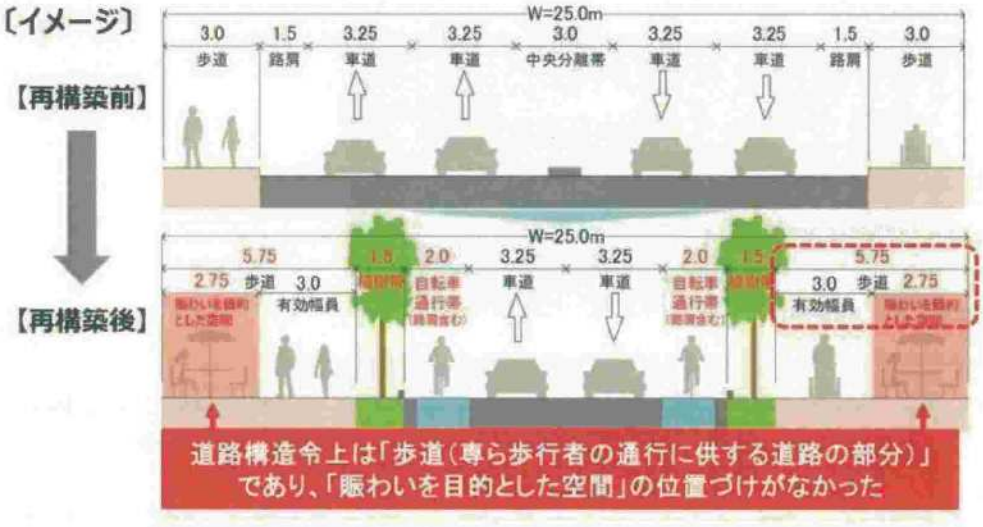
(3) 陸の玄関口鹿児島中央駅と有無の玄関本港区緑の回廊
2.0 ㎞徒歩 26 分の区間を、テラスモールにし、鹿児島中央駅から本港区エリアをつなぎ、ショッピングモールに変貌させ観光の名所にします。緑を増やし森にしてオープンテラスを点在させ散策を楽しめるような空間を想定しています。
家族連れ、車椅子の方、目の不自由な方、ペットをつれた初老のご夫婦づれ、海外から旅行者などでであふれる、だれもが楽しめる街をコンセプトにひととひとが出会い会話する空間です。
日本一長い商店街は、大阪天神橋筋商店街 2.7 ㎞、大阪本町からあばハルカスまで 10 の商店街つながり 5.2 ㎞ある。大阪天神橋筋商店街は、600 店舗が集う。





① ほこみち制度等

国が進める「歩行者利便増進道路（ほこみち）制度(令和２年 11 月 25 日創設)」と「「居心地が良く歩きたくなる」まちなか創出に向けた道路空間利活用に関するガイドライン令和４年４月関係省庁支援チーム」



＜参考＞ガイドライン抜粋・・・R4.12 末　73 自治体が取組んでいる。

「居心地が良く歩きたくなる」まちなかとは

「居心地が良く歩きたくなる」まちなかには、“W, E, D, O”の４つの共通する特 徴があります。

Walkable（ウォーカブル）：歩きたくなる

●居心地が良い人中心の空間を創ると、まちに出かけたくなる、歩きたくなる。

Eye level（アイレベル）：まちに開かれた１階

●歩行者目線の１階部分等に店舗やラボがあり、ガラス張りで中が見えると、人は歩いて楽しくなる。

Diversity（ダイバーシティ）：多様な人の多様な用途、使い方

●多様な人々の多様な交流は、空間の多様な用途、使い方の共存から生まれる。

Open（オープン）：開かれた空間が心地良い

●歩道や公園に、芝生やカフェ、椅子があると、そこに居たくなる、留ま りたくなる

このように、居心地が良く歩きたくなるまちなかづくりには、歩きやすい空間 づくりのみならず、まちの１階部分において人々の興味を引く、楽しい環境とす ること、人々が思い思いの多様な活動ができる空間の形成、誰もに開かれ、滞在 したくなるような空間づくりが必要です。



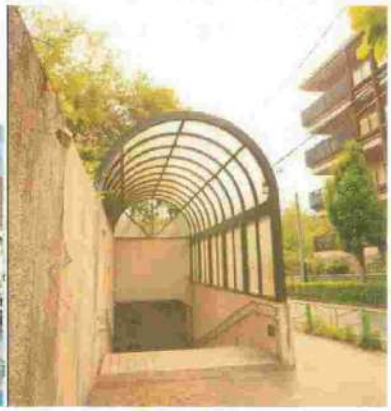
② 鹿児島中央駅から本港区エリアまどを、一つの商店街とみなし、県の特産物や加工品の販売開発をすすめていく。

③ 安全な歩道を確保することや、広い歩道を確保するために公共交通機関以外の車両規制を実施する

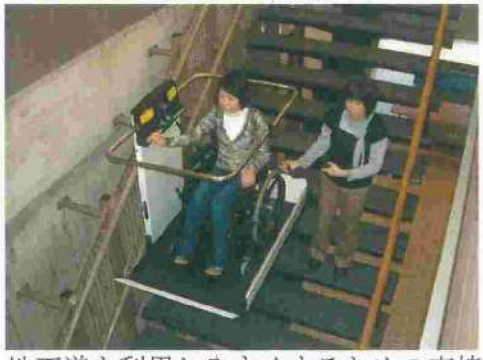
④ 交差点は、地下道を活用しスムーズな移動を確保し、雨天時や降灰に影響を受けないようにテラスモールの設置を行います。



What’ｓテラスモール湘南



清水坂地下横断歩道



地下道を利用しやすくするための車椅子用エレベータ

⑤ オープンテラスのある飲食店やオープンテラス席を設置し、食事を屋外で楽しめる活気のある街づくりを行います。



安心飲食へ道路活用

宇部の国道、基準緩和でオープンテラス席 2020年08月02日 06時00分



新型コロナウイルス対策で「３密」を避けて飲食を楽しんでもらおうと、宇部市は１日、同市常盤町の国道１９０号沿いの歩道に同日限定のオープンテラス席を設置した。

感染症の影響を受けた飲食店などを支援する緊急措置で、国の道路占用許可基準の緩和を活用した県内初の試み。常盤町１丁目スマイルマーケット（愛称トキスマ）のオープン１周年記念イベントに合わせ、市が申請した。

国の基準に沿って幅約２メー・・・

⑥ 障碍者の方がもっと活用できるよう電動車いすのレンタルや、高齢者のモバイルのレンタル車いすがゆったり移動できる歩道の拡張を図る。

⑦ 無人店舗の活用など、利便性を高め、通りの活性化を図っていきます。

⑧ 観光ナビ、観光音声、自動運転の循環バスを導入を図り、先端技術の導入を積極的に務めベンチャー企業との連携を図り利便性の高い街にしていく。

⑨ 鹿児島中央駅から、各宿泊所や離島便の発着場への荷物配送サービス。ドローンの活用や、自動配送ロボットの活用を促進する。

(4) 与次郎ケ浜のスポーツエリア

① サッカー場

新たに作ると 300 億円、改修だと 50 億円かかるといわれているサッカー場の建設、どんな目的のもの

作るのかなど整理しなければならいが、熊本や大分のようにワールドカップも誘致できるような規模に改修し、将来を担う子供たちに世界のアスリートを見せれたと思う。
プライベートで自家用車利用率 70%の本県の事情や、他県からの集客を考えるのであれば地下駐車場の併設は必要。

② 体育館、武道館
ワールドカップが誘致できる体育館を、現行の県営駐車場を地下大駐車場にして、その上に建設していく。

5. 運営

特殊法人のよる運営管理を行い、施設の保全や緑の管理、セキュリテイの確保を行い、安全で清潔な世界に誇れる街にして行きます。。
(1) 観光企画
(2) 治安の確保
(3) 施設の保全
(4) 清掃（ごみのない街）
(5) バス巡回サービス
(6) 旅行荷物宅配サービス

6. 地域再生制度等を活用した資金対策

① ふるさと納税の活用
② クラウドファインディングの活用
③ 県内の企業からの寄付
④ 地域再生制度の概要（地域再生法（平成 17 年法律第 24 号））
ｱ. 地方公共団体が作成する地域再生計画を内閣総理大臣が認定、 認定計画に基づく措置を通じて、自主的・自立的な地域の活力の再 生に関する取組を支援
ｲ. 地域再生の施策は、「就業の機会の創出」「経済基盤の強 化」「生活環境の整備」が３本柱
ｳ. 地域再生法は、各府省横断的・総合的な施策を乗せる共通プ ラットフォームとして機能
ｴ. 計画認定には、地域再生基本方針（閣議決定）への適合を確認
ｵ. 主な支援措置メニュー
(ｱ) 地方創生推進交付金 （H28 創設）
(ｲ) 地方創生拠点整備交付金 （H28 創設）
(ｳ) 地方創生整備推進交付金（道・汚水処理施設・港） （H17 創設、H28 改正）
(ｴ) 企業版ふるさと納税（まち・ひと・しごと創生寄附活用事業）（H28 創設）
(ｵ) 地域再生支援利子補給金 （H20 創設）
(ｶ) 企業の地方拠点強化の促進に係る課税の特例等 （地方活力向上地域等特定業務施設整備事業）（H27 創設、H30 改正）
(ｷ) 地域再生エリアマネジメント負担金 （地域来訪者等利便増進活動計画）（H30 創設）
(ｸ) 商店街活性化促進事業 （H30 創設）
(ｹ) 「小さな拠点」の形成に係る手続・課税の特例 （地域再生土地利用計画） （H27 創設）
（小さな拠点税制）（H28 創設、H30 改正） ⑩生涯活躍のまち形成事業 （H28 創設）
(ｺ) 地域住宅団地再生事業 （R1 創設） ⑫既存住宅活用農村地域等移住促進事業 （R1 創設）
(ｻ) 民間資金等活用公共施設等整備事業 （民間資金等活用事業推進機構（PFI 推進機構）の業務特例）（R1 創設） ⑭補助対象施設の有効活用 （財産処分制限に係る承認手続の特例）（H17 創設）
ｶ. 地域再生エリアマネジメント負担金
海外におけるＢＩＤの取組事例等を参考とし、３分の２以上の事業者の同意を要件として、市町村が、エ リアマネジメント団体が実施する地域再生に資するエリアマネジメント活動に要する費用を、その受益の限度におい て活動区域内の受益者（事業者）から徴収し、これをエリア

マネジメント団体に交付する官民連携の制度（地域再生 エリアマネジメント負担金制度）を創設し、地域再生に資するエリアマネジメント活動の推進を図る。

7. 発展

(1) 産業の活性化

ライブ配信、音声ナビ、観光ナビ、自動運転、ドローン、AI によるセキュリティ対策等の新たな技術を導入することで、地場企業の育成を図り新たな産業を生むきっかけづくりに役立ていく。

鹿児島県産の農産物、黒牛　豚　鶏　お茶　サツマイモ等の魅力ある加工品の開発を進めるていくことができるのではないかと考えらる。

(2) 点在する観光エリア

点在している観光地点を線（遊歩道等）で結ぶことによって魅力のある観光スポットとへと発展させていきます。丁寧な観光案内（英語、韓国語、その他の言語）を設置し観光エリアの拡大を図っていくことによってPR効果をあげていく。

① 甲突川べりの歩道、甲突川セイリング
② 西郷隆盛銅像、私学校跡、西郷隆盛終焉の地、維新ふるさと館、尚古集成館、西郷南洲顕彰館等
③ 磯浜（両棒餅）磯庭園、石橋公園、祇園之洲砲台跡
④ 桜島カヌー体験

8. 課題

(1) 鹿児島中央駅から本港区エリアまでの、歩道を拡張するにあたって、交通渋滞や利便性を損なうことが想定される沿道の駐車場経営者等の対応が必要になる。一方、歩道を有効活用することによって人の流れが増え、恩恵を被る飲食店等からは賛同がえられるのでないかと思う。県民の理解をどうやって得ていくか。

(2) 高見橋から高見馬場に出店をいかに誘致するのか、どのような支援が必要なのか。

(3) おはら祭りや、お祇園さ等のイベントを本港区エリアから鹿児島中央駅へ変更していけるのか。

(4) 国外や、県外から公共交通機関で来られる人たちに、「ゴミは、お持ち帰りください。」だけでは解決できないゴミ対策。

(5) 県、市、商店街、観光協会、民間がの調和しすすめていくしくみや、行政のリーダーシップ、民間活力におけるマネージメント

(6) 歩行者、自転車、キックボード等の安全の確保。

(7) 人出の増加によるトイレ対策（沿道のコンビニ、ホテル等の協力）、車椅子利用者トイレの確保、ペットの糞尿処理

(8) 趣旨を踏まえ開発が進めていけるのか、中途半端で終わってしまわないか。どうやったらけん引し持続させられるのか

港湾空港課
R5.4.16
受付

受付 No.（事務局記載欄） 136

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」
応募申請書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（[redacted] [redacted]		住所	[redacted]	
性別	男	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・30代・40代・ 50代・60代・70代・ 80代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名　　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			可　・　否		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム（e(いー)申請）」
URL：https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付 No.（事務局記載欄）	

「鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア」
応募様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

別添 PDFをご参照下さい。

※任意様式に記載して頂いても構いません。

御提案書

－鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集について－

529

鹿児島の ぽてんしゃる！

鹿児島の市内に、県内外の人が鹿児島の魅力に気づける施設を作る！

現状分析

鹿児島には全国一位のものがたくさんあるが、都道府県の魅力に反映されていない可能性

全国1位



- ミナミマグロの漁獲量
- ぶり，カンパチ，ウナギの養殖
- かつお節



- さつまいも
- お茶
- そらまめ



- 食用豚の飼育頭数
- 鹿児島黒牛（黒毛和牛）



- 世界自然遺産
  （屋久島、奄美大島、徳之島）

都道府県魅力度ランキング2022

1位 北海道
2位 京都府
3位 沖縄県
・・・
16位 鹿児島県
（九州では福岡県、長崎県に次ぐ3番目）

海外観光客が最も訪れた都道府県

1位 東京都
2位 千葉県
3位 大阪府
・・・
26位 鹿児島県
（九州では福岡県、熊本県、長崎県に次ぐ4番目）

Source:
https://xn--n8jycq2b6lv362ao4b.com/
https://www.kagoshima-kankou.com/feature/world-heritage
https://todonavi.com/new_arrival/kagoshima-no1/
https://www.statista.com/statistics/657560/japan-most-visited-prefectures-by-foreign-tourists/
https://diamond.jp/articles/-/310887

課題

県内外の人が、鹿児島で本当の魅力・すごさに気づいていないのではないか？

例えば、、、

- 県外の人（観光客）
  - 鹿児島市内で”お土産”を買える場所が分散しており、アピールポイントが不明瞭
  - フェリーターミナルや、鹿児島中央駅バスターミナルなど、観光の導線になる場所に県内のものをアピールする場所が少ない

- 県内の人（生活者）
  - 鹿児島市内で“地のもの”を買える場所が少ない
  - 結果、大手のスーパーで他県の食材を購入してしまい、鹿児島の食材などが本当においしいことに気づいていない？

戦略

鹿児島の ぽてしゃる!

鹿児島の市内に、県内外の人が鹿児島の魅力に気づける施設を作る

画像取得元: https://hobby.dengeki.com/news/989088/

施策

鹿児島の ぽてんしゃる！

鹿児島の市内に、県内外の人が鹿児島の魅力に気づける施設を作る

- 県外の人（観光客）
  - 旅行の始まりと終わりの地に
    - 始まりの地：旅行をするうえで最初に訪れる観光案内所に。
    - 終わりの地：お土産やさんなどが集まった、旅の余韻に浸れる場所に。鹿児島各地でおいしかったものをもう一度帰る前に食べれる場所に。

- 県内の人（生活者）
  - 鹿児島市内で最も“地のもの”が揃う 場所に。
  - フェリーターミナル利用者にも、待ち時間にちょびっと。楽しめるスペースに。
  - 日々疲れた時に、桜島を見てのんびりできるスペースに。

画像取得元: https://hobby.dengeki.com/news/989088/

施策

ドルフィンポート跡地





- 鹿児島の魅力をぎゅっと集めた施設を設置し、県内外の人に対して鹿児島のポテンシャルをアピールできる場所にする
  - 鹿児島各地(北薩、南薩、離島 etc.)の地のものが買える
  - 観光案内所を設置して、観光客がどこに行けばいいかわかる
  - フェリーを待つ合間にちょびっと寄れて時間を潰せる

施策







北埠頭・南埠頭・ウォーターフロントパークエリア

- 桜島が見える港町として、桜島を見ながらのんびり散策ができる場所にする
  - 公園を整備し、ベンチや芝生でのんびりできる
  - 海沿いの遊歩道を整備し、桜島＋海で映えスポットになる
  - 公園でBBQ施設を設置して、地のものをその場で食べれる

(要確認だが、可能なら)

- 海沿いにマリンアクティビティができる場所を開設し、カヌー・SUPなどが楽しめる

参考

神戸・横浜では人気観光地の上位に港エリアがランクイン。本港区エリアにおいても、おしゃれな港町というイメージの創生が出来れば、新しい観光地となり得るのではないか

横浜の観光地ランキング



1位 横浜赤レンガ倉庫
2位 横浜中華街
3位 みなとみらい21
4位 野毛山動物園
5位 よこはまコスモワールド
6位 根岸森林公園
7位 山下公園
8位 横浜・八景島シーパラダイス
9位 よこはま動物園ズーラシア
10位 カップヌードルミュージアム 横浜

Source:
https://ranking.net/rankings/best-tourist-spots-yokohama
https://ranking.net/rankings/best-tourist-spots-kobe

神戸の観光地ランキング



1位 北野異人館街
2位 神戸ハーバーランド
3位 南京町
4位 六甲山
5位 有馬温泉
6位 神戸市立須磨海浜水族園
7位 メリケンパーク
8位 umie MOSAIC
9位 神戸市立王子動物園
10位 神戸ポートタワー

画像取得元:
https://www.welcome.city.yokohama.jp/
https://hyogo.itot.jp/kobe/210

施策まとめ

鹿児島の ぽてんしゃる！

鹿児島の市内に、県内外の人が鹿児島の魅力に気づける施設を作る

- 県外の人（観光客）
  - 旅行の始まりと終わりの地に
    - 始まりの地：旅行をするうえで最初に訪れる観光案内所に。
    - 終わりの地：お土産やさんなどが集まった、旅の余韻に浸れる場所に。鹿児島各地でおいしかったものをもう一度帰る前に食べれる場所に。

- 県内の人（生活者）
  - 鹿児島市内で最も“地のもの”が揃う 場所に。
  - フェリーターミナル利用者にも、待ち時間にちょびっと。楽しめるスペースに。
  - 日々疲れた時に、桜島を見てのんびりできるスペースに。

画像取得元: https://hobby.dengeki.com/news/989088/

参考資料

Appendix

ぽてちゅうる！ とは？

- 1994年に任天堂から発売されたスーパーファミコン用ソフト「Mother 2」に登場するキャラクター どせいさんの言葉。
- コアなファンが多く、コラボレーションが出来れば需要も見込める可能性あり

これ↓





画像取得元: https://hobby.dengeki.com/news/989088/

137

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを募集します！(アイディアを直接入力できる専用ページです。)

港湾空港課
-5.4.16
受付

受付番号:9719065
申請日:令和05年04月16日

番号	項目名	入力内容
1	応募者名(個人または団体)	桜島LOVER 30's女子
2	応募者名(ふりがな)	サクラジマラバー サーティーズジョシ
3	住所	(代表1)[redacted] (代表2)[redacted]
4	性別	女性
5	年代	30代
6	電話番号	(代表1)[redacted](代表2)[redacted]
7	プレゼンテーション参加の可否	可
8	以下にアイディアを記入してください。	「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」 ～県外に出た私たちが気づいた鹿児島の魅力～ と題して、 県外に出たことで鹿児島の魅力に気づいた30代女性の このエリアがこうだったらいいなという意見をまとめています。 コンセプトは「みんなが集える目的地に」です。 添付資料をご覧ください。
9	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア.pdf
10	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
11	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
12	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」
～県外に出た私たちが気づいた鹿児島の魅力～

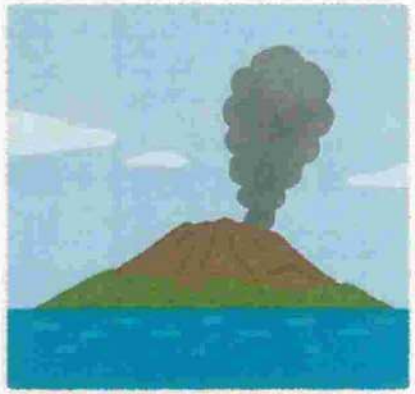
桜島LOVER　30'S女子

鹿児島港本港区エリア利活用のコンセプト



エリア利活用の３つのポイント

1. 景観
   桜島の景観を崩さない！
2. 暮らし
   地元の人が集まる**楽しく便利な場所**に！
3. 観光
   桜島（などの離島）⇔**天文館の間**であることを最大限に活かす！



エリア利活用の３つのポイント

１．景観

- **市内から錦江湾と桜島を眺める際の景観を崩さない**
  →背の高い建物は控える
- **桜島を眺めながら休憩できる場所がある**
  →市民の目的地になってほしい

２．暮らし

- **晴雨兼用の幼児の遊び場、学びの場がある**
  →アクセスが良いこの土地に親子が集うと活気が出る！雨の日の子どもの遊び場にママは困っている
- **子供が遊んでいるときにママも充実した時間が過ごせるとさらに嬉しい**
  →趣味や学び、人と地域とつながり、発信できる場所がある

３．観光

- **コストを抑え、時代に合わせて変化していく場所**
  →キッチンカーなど身軽で可変に
- **離島を五感で体験し、行き来したくなる仕掛け**
  →コンセプトムービー（視聴覚）や食べ物（味覚）、植物（触覚）など五感で体験できるような場所
- **天文館と本港区のアクセスの向上**
  →歩ける近さなのに遠いと感じる現状。まるっと街づくりをして、本港区に集めた人を天文館にも流動させて天文館もさらに活気をつけたい

背景～応募した私たちの想い～

- この土地は**鹿児島の一等地**であることはみんなが知っており、
  子供時代を鹿児島市で過ごした私たちにとって**思い出もあり好きな場所**です。
- だから、この場所は**ぜひ市民が通いたくなる場所**にしてほしいです。
- 県外に出たからこそわかる、**鹿児島の有り余る宝の原石たちを活かす力**になりたいです。

インタビューの実施

- 友人にインタビューを実施し、本港区エリアがどうなったら嬉しいか？をざっくばらんに話してもらった
- インタビュー結果をもとに意見をまとめた
- 本意見は、一番利用する頻度が高いであろう

鹿児島市在住の一般市民（特に女性）の要望としてまとめた意見である

インタビュー対象者

県外に出たことがあるからこそわかる鹿児島についての声を集めた

① インタビューイー1
- 30代女性（独身）
- 今年2月に大阪から鹿児島市にUターン

② インタビューイー２
- 30代女性（既婚）
- 7年程度前に熊本からUターン
- 鹿児島市で結婚出産をした30代ワーママ（子供は2歳）

③ インタビューイー３兼インタビューアー
- 30代女性（既婚）
- 19歳まで鹿児島市在住、その後県外。
- 2021年7月～12月の6か月間、里帰り出産のため鹿児島在住
  現在神奈川県に在住、ワーママ（子供は1歳）



インタビューで出てきた意見①:景観

- 敷地全体を大きな公園にするといい
- 横に長くて**見る景色もある**と一人でも行きやすい
- 大阪万博公園は**太陽の塔を見ながら座っている**人が多い
- 京都の下町っぽいお店が並んでいたら行きたい
- 大きな公園にしてお店が並んでいたら行きたい
- 鹿児島の良いところは**自然が豊か**な所だと思う
- **桜島が良く見える**ところなので、景観は残したい
- 本港区はドルフィンポートがなくなった今も歩いている人、桜島を見ている人が多い→目的地があるとよいのかな。

インタビューで出てきた意見②：暮らし

- **市民が定期的に行ける**場所が欲しい
- 鹿児島には**幼児向けの室内の遊び場**がない
- **雨の日も遊べる**屋内遊び場や屋根付きの広場を設置できたらいい
- キッザニアのような**小さいころからキャリア教育**ができる場がほしい
- 日置の城山公園の遊具が新しくなっていた。市長が若返ったから？
- 鹿児島市の人にとって離島がもっと身近になったらよい
- 前あった**ドルフィンポートは観光客しかいない**イメージ、市民があまりいない
- 霧島の子ども館が良かった。公園＋室内で3フロアありテーマごとの遊び場が設置
- センテラス天文館は入っている店は微妙だけれども、図書館があるから**定期的に市民が行ける**
- 1人でも行きやすい場所があると嬉しい

インタビューで出てきた意見③：観光

- 前あったドルフィンポートは人が少ないイメージ
- 天文館と中央駅は歩けるくらい近いのに精神的距離が遠い
- **天文館と本港区**は歩けるくらい近いのに**精神的距離が遠い**
- 東京の人は**屋久島旅行に行っても鹿児島市に立ち寄ってくれない**体感がある。鹿児島市にも足を運んでもらいたい。
- 関東や海外からの観光客にとって鹿児島は**九州でひとくくり**にされ、そのうちの一つに過ぎない。旅行を組むにしても、2~4泊で九州を周りたいという話はよく聞く。泊数が少ないと、福岡を拠点に旅行を組み、鹿児島は切り捨てられる可能性が高い。
- 観光客に鹿児島のくくりの中に、鹿児島市も他の市もあるし、離島もあるというように、**沖縄や北海道のように「鹿児島」でひとつとしてとらえて**ほしい

138

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを募集します！(アイディアを直接入力できる専用ページです。)

港湾空港課
-5.4.16
受付

受付番号:9719106
申請日:令和05年04月16日

番号	項目名	入力内容
1	応募者名(個人または団体)	[redacted]
2	応募者名(ふりがな)	[redacted]
3	住所	[redacted]
4	性別	女性
5	年代	50代
6	電話番号	[redacted]
7	プレゼンテーション参加の可否	否
8	以下にアイディアを記入してください。	ドルフィンポート跡地について 私たちの血税をスポーツコンベンション施設にもそのほかのどんな施設にも使わないでほしい。給食無料化や鹿児島の最低賃金アップのため会社に助成金を与えるなど「そんなお金はない。」と言われる福祉やエネルギー分野の政策に使ってほしい。 あの場所に建築物を建てても桜島の噴火や津波等災害時に被害が増大するだろう。 でもどうしても建てるならば まずこれまでと同様にイベント対応できる大きな広場を残してほしい。 ドルフィンポート跡地で行われてきたオーガニックフェスタなどを代表とするイベントは毎年多くの老若男女の来客が楽しむものとして定着してきた。 鹿児島の食を楽しみながら桜島や錦江湾を眺め、大きな樹の下で子どもたちを昼寝させ、 緑の芝生の上で駆け回ることができる。海と何もない風景。何もないことに意味がある。 鹿児島らしい時間を過ごすことのできる貴重な場である。 構造物としては以下を提案する ●釣り場 ●サイクリングができる通路 ●子どもから大人まで気軽に遊べるスケートボードパーク(※立川市等　前例はいくつでもあるのになぜ鹿児島にはいつまでもできないのか？) ●鹿児島の海産物や鹿児島の特産品が購入できる店舗やカフェやレストラン ●子ども達の様子を見守りながらお茶が飲めるスペース ●夏場の日差しを遮る屋根と水場 景観を邪魔しない場所に

9	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
10	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
11	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
12	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	

ドルフィンポート跡地について

私たちの血税をスポーツコンベンション施設にもそのほかのどんな施設にも使わないでほしい。給食無料化や鹿児島の最低賃金アップのため会社に助成金を与えるなど「そんなお金はない。」と言われる福祉やエネルギー分野の政策に使ってほしい。
あの場所に建築物を建てても桜島の噴火や津波等災害時に被害が増大するだろう。

でもどうしても建てるならば
まずこれまでと同様にイベント対応できる大きな広場を残してほしい。
ドルフィンポート跡地で行われてきたオーガニックフェスタなどを代表とするイベントは毎年多くの老若男女の来客が楽しむものとして定着してきた。
鹿児島の食を楽しみながら桜島や錦江湾を眺め、大きな樹の下で子どもたちを昼寝させ、緑の芝生の上で駆け回ることができる。海と何もない風景。何もないことに意味がある。
鹿児島らしい時間を過ごすことのできる貴重な場である。

構造物としては以下を提案する
●釣り場
●サイクリングができる通路
●子どもから大人まで気軽に遊べるスケートボードパーク（※立川市等　前例はいくつでもあるのになぜ鹿児島にはいつまでもできないのか？）
●鹿児島の海産物や鹿児島の特産品が購入できる店舗やカフェやレストラン
●子ども達の様子を見守りながらお茶が飲めるスペース
●夏場の日差しを遮る屋根と水場

景観を邪魔しない場所に
●クライミングボード　●野球やサッカーなどのボールを使うもののコート

施設が建築される場合
●低層階で景観を邪魔しないことを前提とすること。
※災害時の避難タワー等を設けること。
●巨額ではないもの。
何より　その全てが景観を邪魔せずむしろ融合する美しい建築物であること！

役人や検討委員会の考えるものではなく、世界的な建築家にお願いしたい。
私たち市民に意見を聞くより専門家の良い提案が見られるはずである。
コンペを切望する。

139

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを募集します！(アイディアを直接入力できる専用ページです。)

港湾空港課
-5.4.16
受付

受付番号:9719297
申請日:令和05年04月16日

番号	項目名	入力内容
1	応募者名(個人または団体)	[redacted]
2	応募者名(ふりがな)	[redacted]
3	住所	[redacted]
4	性別	男
5	年代	30代
6	電話番号	[redacted]
7	プレゼンテーション参加の可否	可
8	以下にアイディアを記入してください。	資料の容量が大きくなってしまったので、下記からダウンロードしてください。 https://drive.google.com/file/d/1OSx_6BJf02xz1qHmd_DUX9aV18sFwAc9/view?usp=share_link ご確認、よろしくおねがいします。
9	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
10	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
11	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
12	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	



ミューラル（壁画）で港を彩る

Mural【ミューラル】は、日本ではまだ馴染みのある言葉とは言えませんが、実は外国の街によっては観光客を集めるほどの影響力を持っています。近年では日本でも企業や地域で活用されるようになり、すでに企業、アーティスト、行政の連携が実現している地域もあります。
鹿児島港本港区エリアの利活用について、「ミューラルアートを活用したまちづくり」を提案させていただきます。今回は自分の作品事例と、参加したミューラルプロジェクトのいくつかをまとめました。鹿児島港本港区エリアの活用方法の１つとしてご検討していただければ幸いです。

空き店舗の外壁を活用した壁画

指宿市の澁谷商事さんの空き店舗の外壁に描きました。「地域おこしのために壁画を描きたい」と、澁谷商事に相談したところ、壁の提供だけでなく足場の手配までしていただきました。向かいにある居酒屋さんから画材代を出資していただき、プロジェクトが実現しました。





壁画を制作する前の壁面

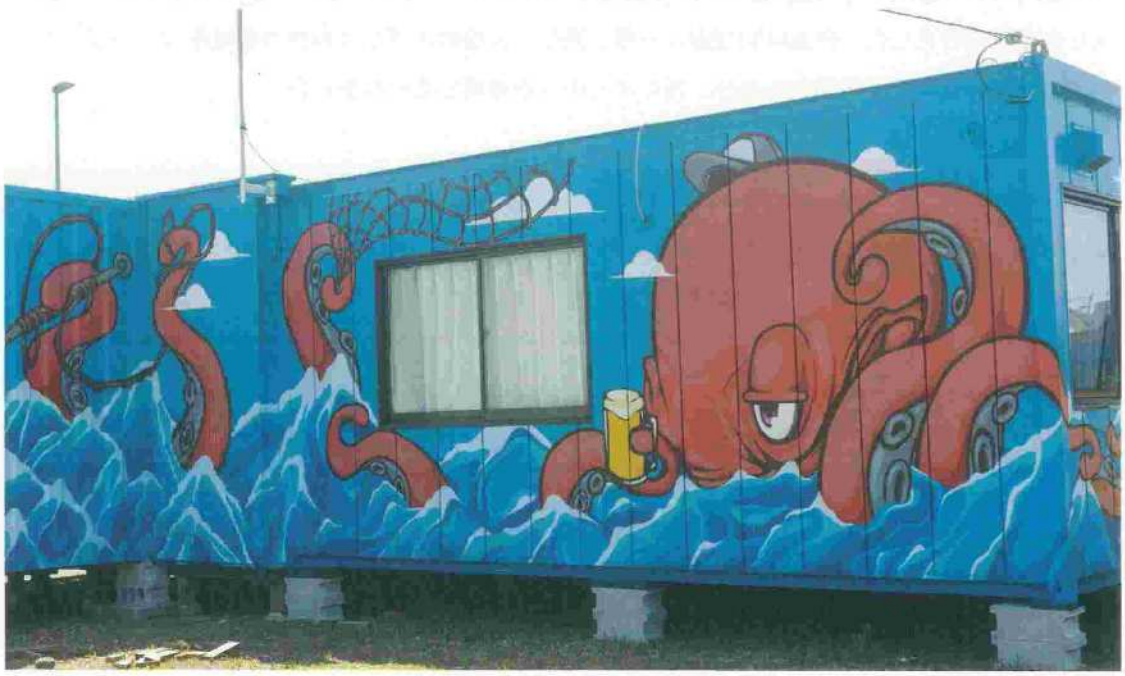


ドローンで撮影した上空からの図



観光施設と壁画のコラボレーション

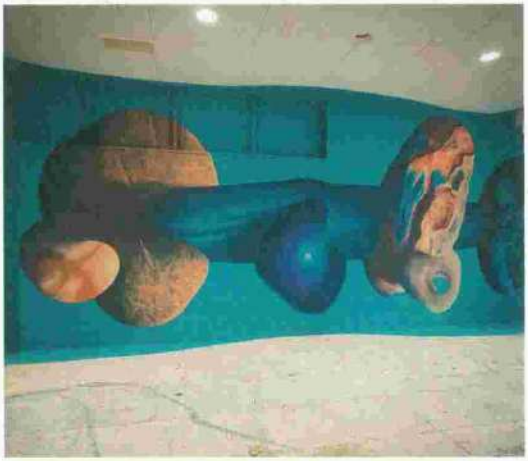
指宿漁業協同組合からの壁画依頼で、船釣りやクルージングなどの観光事業を促進する、「指宿ブルーオーシャンツーリズム」の事務・受付用として設置されたコンテナハウスの外壁に壁画を描きました。指宿漁港の船長さんが澁谷商事さんのビルに描いたタコの絵を見て、この人に依頼したいと、わざわざ人を辿って私に連絡してくれました。





取り壊し予定の商業施設と壁画

SNS を通して私の活動を知ってくれた団体からのお誘いで、空き店舗を再活用したミューラルイベント「Wallternatives（ウォルタナティブス）」の第二期に参加しました。神奈川県川崎市の取り壊し予定のパチンコ店にて、国内外から 20 名ほどのアーティストが集まり、室内の壁面をキャンバスに作品を描きました。作品は完成後に一般公開し、入場料とグッズ販売で収益をつくりました。川崎市の広報活動による協力もあり、たくさんの人が来場してくれました。



他のアーティストさんの作品



一般公開中の様子

海洋保護のメッセージを壁画で伝える

壁画を通して海洋保護を伝える活動をしているSEAWALLS（シーウォールズ）は、PangeaSeed（パンジェアシード）というNGO団体が中心となり、世界14カ国で開催されています。2018年にメキシコ、ケレタロで開催されたSEAWALLSに参加したことが、私の今の活動の原点になります。





約1ヶ月ほどで、総勢30名近いアーティストによって博物館の外壁に壁画が完成しました。

鹿児島港本港区エリアでミューラルフェスティバル

SEAWALLS のように、世界中からアーティストを集めてたくさんの壁画を同時に制作することを「ミューラルフェスティバル」と呼ばれています。アーティストを 10 名集めるとなれば 10 枚の壁が必要です。大きな壁が一箇所にいくつかある場所となると、港や海岸、港町は適所となるため、海外のミューラルフェスティバルではそういった地域が会場に選ばれることが多いです。



ミューラルフェスティバルの多くは、同じ場所で、2、3 年に 1 度くらいのペース開催されて、お祭りのように地域に定着しているものが多いです。壁画は少しづつ色褪せてくるので、上から新しい作品を描く理由にもなります。新しく描き変わる前に、実物を見たい。新しく描き変わったから、実物を見たい。壁画が描き変わるからこそ、人が足を運ぶ理由になります。



まずは港の壁に 1 枚目の壁画を描くところからスタートして、いつかは SEA WALLS in JAPAN を鹿児島で開催するのを目標に、地域と連携した壁画制作ができればと思っています。ご検討、よろしくお願いします。

140

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを募集します！(アイディアを直接入力できる専用ページです。)

港湾空港課 -5.4.16 受付

受付番号:9719619
申請日:令和05年04月16日

番号	項目名	入力内容
1	応募者名(個人または団体)	[redacted]
2	応募者名(ふりがな)	[redacted]
3	住所	[redacted]
4	性別	男性
5	年代	50代
6	電話番号	[redacted]
7	プレゼンテーション参加の可否	否
8	以下にアイディアを記入してください。	「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る県民意見の募集(受付番号:9652356　申請日:令和05年04月07日)」に付け加えさせて頂きたい思いがございましたので、いくつかの誤字も改め思いを書かせて頂いたPDFを再送信させて頂きました。 〈再送信の経緯〉 「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る県民意見の募集(受付番号:9652356　申請日:令和05年04月07日)」にメール送信した後に、「北海道ボールパークFビレッジのエスコンフィールド北海道」での日本ハムファイターズ対楽天イーグルスとの試合を視聴いたしておりました。競技選手と観戦者との距離感も近く、テレビ画面より見られる試合風景は、臨場感あふれるものでございました。意見書で述べさせて頂いた鹿児島港本港区エリアの利活用の全体の理想像はまさに「北海道ボールパークFビレッジ」のような集合体であり、体育・文化的施設、スポーツ施設、商業施設、観光施設の集合エリアでございました。国内において、北海道が理想のエリアの構築をいち早く実行していたことに感動するとともに、世界への発信力の先駆けとしての行動されていることに日本人として誇りと安堵感も抱いております。 北海道ボールパークFビレッジは、新スタジアム「エスコンフィールド北海道」を中心にプールや芝生、樹木などの公園的な空間に囲まれ、北海道の四季を感じることができるようです。主力の新球場は、日本初の開閉式屋根付き天然芝野球場で、フィールドは地下を掘った設計のため、フロアをあまり移動しなくても球場内の試合状況がよくわかるようであり、南側は全面ガラスを使用した壁が印象的なデザインとなっております。スタジアムに隣接する座席のほか、スタジアム内にはさまざまな観戦環境が整備され、メインフロアは会場全体を360度見渡せる設計になっており、移動中でも行き止まらず会場を一周するほどに観戦できます。また、各フロアには北海道の旬の食材を使った料理を提供する様々なレストランがあり、パーク内にはビール醸造所で観戦者は新鮮なクラフトビールを味わうことができます。もちろん、試合を観戦するだけでなく、北海道や地域特産のさまざまな果物やデザートも豊富に取り揃えており、観戦しながら食することができます。 ビレッジ・フィールドに位置する5階建てのビル「TOWER11」という建物で

9	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	「鹿児島港本港区エリアは、『陸・海・空』より人が『集い・育ち』の拠点となる。」.pdf
10	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
11	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
12	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	

「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る県民意見の募集(受付番号：9652356　申請日：令和05年04月07日)」に付け加えさせて頂きたい思いがございましたので、いくつかの誤字も改め思いを書かせて頂いたPDFを再送信させて頂きました。

〈再送信の経緯〉

「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る県民意見の募集(受付番号：9652356　申請日：令和05年04月07日)」にメール送信した後に、「北海道ボールパークFビレッジのエスコンフィールド北海道」での日本ハムファイターズ対楽天イーグルスとの試合を視聴いたしておりました。競技選手と観戦者との距離感も近く、テレビ画面より見られる試合風景は、臨場感あふれるものでございました。意見書で述べさせて頂いた鹿児島港本港区エリアの利活用の全体の理想像はまさに「北海道ボールパーク　F　ビレッジ」のような集合体であり、体育・文化的施設、スポーツ施設、商業施設、観光施設の集合エリアでございました。国内において、北海道が理想のエリアの構築をいち早く実行していたことに感動するとともに、世界への発信力の先駆けとしての行動されていることに日本人として誇りと安堵感も抱いております。

北海道ボールパーク　F　ビレッジは、新スタジアム「エスコンフィールド北海道」を中心にプールや芝生、樹木などの公園的な空間に囲まれ、北海道の四季を感じることができるようです。主力の新球場は、日本初の開閉式屋根付き天然芝野球場で、フィールドは地下を掘った設計のため、フロアをあまり移動しなくても球場内の試合状況がよくわかるようであり、南側は全面ガラスを使用した壁が印象的なデザインとなっております。スタジアムに隣接する座席のほか、スタジアム内にはさまざまな観戦環境が整備され、メインフロアは会場全体を360度見渡せる設計になっており、移動中でも行き止まらず会場を一周するほどに観戦できます。また、各フロアには北海道の旬の食材を使った料理を提供する様々なレストランがあり、パーク内にはビール醸造所で観戦者は新鮮なクラフトビールを味わうことができます。もちろん、試合を観戦するだけでなく、北海道や地域特産のさまざまな果物やデザートも豊富に取り揃えており、観戦しながら食することができます。

ビレッジ・フィールドに位置する5階建てのビル「TOWER11」という建物では、世界初のスタジアム内温泉・サウナ施設があり、日本初のスタジアム内ホテルのようで、観戦者は温泉やサウナに浸かりながら試合を観戦したり、自分の部屋のテラスから観戦したりすることができるようです。これまでになかった奇抜な観戦の方法は、国内外の方々への話題性として口コミされるのではないでしょうか。

ビレッジでは、野球観戦だけでなく、教育・娯楽施設や体験施設も多数企画しているようでございます。スタジアム(野球場)の南側のプール周辺には、レストランやバーベキュー調理場、キャンプ場やグランピングなどの宿泊スペースもあり、夏は北海道のアウトドアアクティビティを楽しめるほか、冬はスノーワールドレクリエーションエリアをはじめ、さまざまな雪遊び空間が準備されているようでございます。国内外の学生の旅行先としても訪問されることが予想されますし、修学旅行生のコースとしても最良なのではないかと想像いたします。北海道は農産物が有名でございますが、収穫体験ができる最先端の農業学習施設も充実しており、子どもたちが農業を学びながら遊べる施設も充実しております。屋内外には専用遊具も設置されており経済的に負担とならない施設も準備されているよう

でございます。

令和 05 年 04 月 07 日の「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る県民意見の募集」を送信させて頂いた内容で一番気になりましたのはやはり、建築費用の予算のことでありました。地方自治体が単独で公共利用の施設を検知地区することにはどうしても予算の問題が課題視されます。建築されている北海道ボールパーク F ビレッジは、公益社団法人北海道観光振興機構が関わっている施設であり、昭和 21 年より北海道観光連盟（任意団体）の設立以来、さまざまな組織変革や事業変遷を経て、 観光事業を積極化して貿易外の収支をあげるため、総合連絡機関となり、観光に関する企画をなし健全な発達を図るために結成され今日に至っております。

私共の郷里の予算計上はとてもその同一に及びませんが、その補填を民間の企業の協賛を募り、官民一体の施設としての構築を心掛けられないものかと想像いたします。北海道ボールパーク F ビレッジにおいても、いくつもの宣伝目的も兼ねた企業体が、建築には投資参加しております。北海道ボールパーク F ビレッジが具体化するまでには、半世紀以上の経済発展計画の変遷を経てきているわけですが、鹿児島も利用地の長期の放置はできませんが、長時間の持続と維持の施設を建築するためには、県内外の過去の事業成果のデータ収集し、過去の不効率の施設建設の教訓を生かしながら、詳細に吟味した後に具体化しなければ、バブル期のように数十年後不効率な文化物になっていくのではないかと想像いたします。日本の北で世界を驚かす施設を作ったのであれば、南は鹿児島が世界を驚かす存在になりたいものであります。

今や中国は世界の経済大国になっております。国内の歴史の中でも交流しやすい地域の 1 つに鹿児島も存在しているのではないかと感想を持っております。誠意をもって国外の方々との交流のモデルとなって鹿児島の発展に期待したいものであります。

鹿児島港本港区エリアは、陸・海・空より人の「集い」や「育み」の拠点となる。

昨年より鹿児島港本港区エリアの利用方針はさまざまに議論され続けている様子を報道にて知り得ておりました。今年の 3 月にも鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会が開かれており、計画決定の終盤の話し合いが続けられていることを再び報道で知り得ました。鹿児島港本港区エリアは自宅よりそう遠くもなく、桜島フェリー利用にて時々に訪れる機会があり、訪れるたびに周りを景観しながら議論の様子を思い浮かべます。3 月の検討委員会では、「県民の忌憚ないい意見を募集している」という告知も脳裏に残っていたこともあり、私も県民として鹿児島港本港区エリアの利活用の理想を述べさせて頂きたいと思い筆をとらせて頂きました。

鹿児島港本港区エリアの唯一気になるのは、地震による錦江湾沿いの津波や桜島爆発による火山性津波の問題や桜島降灰の問題です。二次的自然災害の予防と対処の想定は熊本地震を教訓に設計に盛り込んでいた方が良いのではないかと思います。それ以外の視点では、ＳＷＯＴ分析を基にした本港区エリアの「まちづくりグランドデザイン(案)」で示されている指針は、鹿児島県民にとって十分な経済効果を期待できる構想であり、県内外の人々の憩いや安らぎの場所として意義を成すものと感想を持っています。鹿児島港本港区エリアに観光施設やスポーツ施設が建設されると仮定するならば、雄大な桜島の活動火山の様子も加味され、国内外の人々への強い印象(感動と記憶)を与えるものと想像いたします。

せっかく新しいものを作るのであれば、鹿児島港本港区エリアへ立てる建造物は 100 年先まで見据えたものでなければならないものと感想を持ちます。建設費はもちろんのこと、建築後の維持費や安全性の確保が十分できる採算性の高いものでなければならないと思います。昨年より長期に渡り多くの話し合いがなされているようですが、例え議論に多くの時間を費やしてでも、県民からの意見を丁寧に傾聴し、多角的な視点から想定されることを精査し「完璧な計画」を理想として行われるべきであると思っております。現在、各地方自治体の財政事情は決して余裕のある状況ではございません。どの地方自治体においても、国財政の予算支援もしくは民間企業の出資金がなければ、大規模な公共施設を地方自治体が単独で建設することは難しい状況です。この度の鹿児島港本港区エリアの利用の話し合いにおいても、国民の税金が使われておりますので、利用案には慎重な吟味が必要であります。

昨年 11 月 27 日に作成した「鹿児島港本港区エリアまちづくりグランドデザイン（案)」では、本港区エリアを取り巻く環境の分析（ＳＷＯＴ分析）を踏まえ，同エリアのまちづくりに向けたゾーニングごとの視点の抽出では、以下(①～⑧)の視点より桜島の眺望をメインとした「人移動・活用」の「巡回型」のコンセプトが立案されております。

①滞在機能の導入
②国内外からの集客(賑わい機能の拡充)
③多様で特色のある機能の配置
④交通結節機能の強化
⑤エリア周辺との連携(回遊性の向上)
⑥安全で快適な動線の構築
⑦国際的な観光都市のブランドを確立するデザイン
⑧錦江湾・桜島の眺望を活かした景観・空間づくり

このようなグランドデザイン(案)でのビジョンはとても賛同させて頂ける立案であり、実際に各項目

が成就するならばとても理想的なことであります。私は個人的にこの案に更に付け加えさせて頂きたいことを構想しておりました。8つデザインを成就するための交通手段の動線でございます。現在、鹿児島市内での「繁華街」と市民が持つ印象の地域は中央駅周辺と天文館周辺ではないかと想像しています。しかし、この二つの地域には若干の「**距離間**」があり、二つの地域を訪れたいと思う市民の気持ちにも不便さが生じているようにも思えます。

近年天文館には「センテラス」という賑わい環境が新たにできましたが、建設されるまでには二つの地域には若干の「賑わいの差」が生じていたのではないかと印象を持ちます。中央駅には新幹線が発着するようになり、全国の企業から注視され新しい商業施設も多く造られました。賑わいを見せている中央駅周辺と、かつての賑わいの中心地であった天文館との間では若干の「賑わいの差」が生じているように思えます。私は、この二つの地域周辺を「一帯」とし鹿児島港本港区エリアまでつなげることはできないものかと考えます。「一帯」を作るためには、交通手段の充実が大切ではないかと思うのです。その1つとして既存する路面電車の定刻巡回路線の運行です。「中央駅」から「鹿児島駅」までの路面電車を福岡や都心の地下鉄、東京都の山手線のように各駅を短い時間の定刻に巡回するように運行させ、乗車する人々が分かりやすく便宜良く移動できる手段を提供すべきではないかと考えます。理想とするデザインでは、「中央駅」から「鹿児島駅」までの路線において路面電車の定刻10分～15分間隔の巡回路線を運行させてみてはと考えます。

偏った見方かもしれませんが、個人的には鹿児島市民の間でも賑わいを感じる二つの街を行き来したいと思う気持ちには「**距離感**」があるような気がいたします。その心理は、市・県外から訪れている人々も同様ではないかと思っており、その心理を解消するためにも路面電車の定刻巡回路線の運行によって気持ちの中の「距離感」を短くする必要があるのではないかと思います。

二つの地域を結ぶ中途地域には、数多くの商業施設や企業会社もございます。二つの地域間の交通手段が確保されることにより、商業施設や企業会社の人々の往来も便利になりますでしょうし、何よりも乗車風景からは、地域間の商業施設・企業会社の景観も乗車する人々の視野に入ります。観光で訪れている人々であれば、自分たちが住む地域と異なる地域の景観はどのような風景でも新鮮であり、記憶に残りやすいものと感想を持ちます。「思い出をお土産」とする環境の提供にもなります。

二つの地域の賑わいが交通機関の便宜性によって結ばれることで「一帯」となり「賑わい」の範囲が広がるのではないかと想像いたします。

今年(2023年)のWBC(ワールド・ベースボール・クラシック:国際野球大会)では、日本代表が国民に大きな感動を与え、生活力(活力・将来への展望)を還元してくださいました。現在、サッカー・スタジアムなど体育・文化的施設やスポーツ施設の建設問題が頓挫しておりますが、鹿児島港本港区エリアに、体育・文化的施設やスポーツ施設が建設されることになれば、エリアでも多くのスポーツのイベントが開催されるはずであり、その経済的効果は十分に県の財政を潤す因子にもなり中央駅から鹿児島駅までの巡回路線は国内外のスポーツ関係者の移動手段にも貢献するものであり、鹿児島港本港区エリアへの交通手段の便宜性は効率良いものとなります。路面電車の定刻巡回路線の運行は、スポーツで利用される方々やビジネス、観光、買い物、社会教育で利用される方々など、さまざまな方々に計画的な時間調整の安心を提供することにつながると思います。

私は、鹿児島港本港区エリアに体育・文化的施設やスポーツ施設を建設することは、経済効果を生むだけではなく、子ども教育にも大きな効果を生むのではないかと考えています。「子ども教育に効果を生む」という意味は、本港区エリアへの体育施設・スポーツ施設の建設が子どもたちのさまざまな潜在能力を開花させる環境となるという意味でございます。子どもたちに「一流を見せられる環境」の確保です。子どもたちだけに限らず、人は「見て覚える学習」により多くのことを学びます。脳科学では「ミラー効果」とも言いますが、鹿児島港本港区エリアにさまざまなスポーツ・イベントが開催できる施設を建設することができれば、県内の多くの子どもたちが便宜的に利用することができます。

私たち鹿児島県は離島の多い地域でもあります。離島の子どもたちは、鹿児島本土で開催される全国レベルの大会参加には多くの不便を強いられます。長い時間を掛け船に乗り、慣れない宿舎環境より大会に参加します。鹿児島県本土の子どもたちと比べて多くの移動準備を強いられてしまいます。当然のことながら、長旅で大会参加のパフォーマンスを整えるには労力を強いられ、生活地域であれば発揮しやすい能力も発揮できないまま、交通費用の節減のためすぐに帰省をしなければならない環境下にいます。現在、鹿児島県の離島に在住する子どもたちの中には、鹿児島県本土と変わりない身体能力や潜在能力を持ち合わせている子どもたちも大勢います。記憶に新しい活躍であれば、奄美大島の大島高校の野球部の甲子園出場などもそのよい例ではないでしょうか。出場選手の中からは、プロ野球選手の輩出も果たしています。過去の離島のスポーツ活動環境とは異なり、多くのプロ野球団体やマラソン、その他のアマ・プロの競技者が離島を合宿地として選び、その環境は離島の子どもたちのスポーツ環境にも大きな影響を及ぼしています。

国内のスポーツ界の活動環境の選択は、ICT(情報通信技術)や航路の便宜性も加わり鹿児島も含め温暖な国内の南諸島に向けられています。各離島もそのような傾向を察知し、スポーツ施設や合宿地の建設に力を注いでいます。訪れるスポーツ専門者からの技能と考え方は、現地の子どもたちの潜在能力の育成にもつながっています。鹿児島港本港区エリアの体育・文化的施設やスポーツ施設は、離島にあるスポーツ環境とのつながりも作ります。鹿児島の少ない子どもたちを平等に一挙に集約して育成する環境として鹿児島港本港区エリアの体育・文化的施設やスポーツ施設の環境はとても有意義な価値を生み出すのではないかと想像します。鹿児島港本港区エリアの体育・文化的施設やスポーツ施設は、離島にあるスポーツ環境とのつながりも作ることが想像できますが、離島と本土の生活の質を高める、生活の豊かさを平等とするという観点からも有意義ではないかと想像します。鹿児島港本港区エリアの体育・文化的施設やスポーツ施設ができれば、優秀な競技者やプロの競技者のイベントが開催されることが想像されます。いわゆる「スポーツ観戦」です。欧米では、スポーツ観戦は生活の楽しみの一つであり文化になっています。鹿児島港本港区エリアへの体育・文化的施設やスポーツ施設の建設が離島の方々にもそのような目的で利用されるとするならば、離島の子どもたちのスポーツ活動の「効率性」と本土の子どもたちとの「平等性」と共に離島の人々の生活の質を高める環境の提供にもなります。

既存している鴨池新町の体育・文化的施設やスポーツ施設なども海沿いの新しい路線にて、鹿児島港本港区エリアと連結が可能となります。今のところ交通手段は既存するバス利用が想像されますが、二つの領域のイベントに応じてシャトルバスを発車させるなど、対応の立案例は多く持てるはずです。二つのエリアの連結は、便宜的に利用可能な体育・文化的施設やスポーツ施設のエリアとして県外にも紹介できるはずです。

鹿児島港本港区エリアに体育・文化的施設やスポーツ施設を建設する目的を「子どもの教育」も一つの因子と述べましたが、具体的に述べさせて頂くならば「抑制心の環境を作ること」という意味になるかと思います。子どもたちが成長発達する過程において、精神(脳発達)を育んでいくためには、「考える」という作業が必要になります。抑制心の欠如している環境では、「自らが考える」という行動に結び付きにくくなります。抑制心の欠如では、自己中心的になり、人として学ぶべき知識が少なくなり、いろいろな考え方を学ぶ行動が少なくなります。自分が叶えられない物事に対しては多角的に見るという行動が必要になります。「なぜ」という疑問を持つ行動は自分の考える力を向上させます。スポーツは、望む成果を簡単に成就することはできません。自分の思う通りに成果をコントロールすることは難しいものです。「自分のわがままを抑制する環境を与えられる」その環境は人として個人を成長させるにあたり、とても大切なものではないかと思います。

スポーツには勝敗があり、成功と失敗の環境が多く強いられます。手っ取り早く「抑制心」を与えられ、謙虚な姿勢や冷静な判断ができる能力が育まれます。社会人として持たなければならない人間としての「質」の基礎が育まれやすくなります。抑制心を育む環境はなにもスポーツだけには限りませんが、鹿児島港本港区エリアに造られるかもしれない体育・文化的施設やスポーツ施設の計画にはそのような意義も含まれていると私は考えています。そして、その施設から投資された資源は子どもたちの人としての成長として還元され、国内外の有能な人材となって、将来の日本や鹿児島の繁栄を担っていく人材になっていってくれるのではないかと想像しています。

都心部以外の地方から世界レベルのスポーツ選手を輩出することのメリットは、輩出地の知名度を上げるだけに留まりません。出身者が所属するスポーツ界の優秀な人材を招待することができるということにもつながっていきます。私は青年期にラグビー・フットボールを経験しておりました。2019年日本で行われたラグビー・フットボール世界大会では、南アフリカ共和国が優勝いたしましたが、本大会参加の事前合宿地に選ばれたのは鹿児島県でございました。その経緯を想像するに鹿児島のラグビー・フットボール協会の尽力もあったと思いますが、7人制ラグビーなど日本代表となっていた代表選手が鹿児島県出身であったということも、誘地・招待できた背景にあったのではないかと想像しています。仮に鹿児島港本港区エリアの体育・文化的施設やスポーツ施設の環境が全国・世界レベルに通じる競技者を輩出する一つの因子であったとするならば、他のスポーツ団体や競技者を本県に招待する資本になるわけですので、現潮流となっている経済界の「人的資本経営」ではございませんが、全国・世界レベルに通じるスポーツ団体や競技者を本県に招待する資本になったということでもあります。今やスポーツがもたらす経済効果は地方にとって貴重なものであります。

オリンピックの選手村ではないですが、各国代表の選手は特定場所以外の移動は多く叶いません。せっかく訪れている異国の地の文化を満喫することも叶いません。訪れる土地(鹿児島)の文化や特性を満喫して頂けるような環境を提供できれば、競技参加が終わったのちにも再び訪れてくれる可能性も高まるような気がいたします。

公共投資の場合、経済発展や人を喜ばせる施設への投資には制限がございます。地方自治体ではいくつもの大型施設を公共料金で建設することなど容易ではございません。県民の税金を使用しての建設予算では高額の予算計上には躊躇してしまうのでしょうが、予算を削ってばかりでは安全・安定の長期の維持を図ることはできません。火山灰や海沿いの塩害を考えれば、中途半端な予算は将来的に損出を生みだす要因ともなります。建設後の消耗費も考え100年後を見据えた予算計上で建設計画をする方が、利

用価値は高まるのではないかと想像いたします。

最近の経済学者の話では、国際的な経済の不調・好調の波は、各国30年周期で訪れていると述べられております。日本はバブル期より苦難の30年を乗り越えようとしており、今後は好調期に入る可能性も高いといわれております。起きもしていないことを楽観的な指標としては定められませんが、何か日本が世界に発信していくことを時代に求められているような気がいたしております。この度の WBC(ワールド・ベースボール・カップ)では、栗山監督の組織経営の実際が世界の人々に評価されております。この出来事もまた日本の優勝までの過程を通して世界に何かを問いかけていたように思えます。個人的には国内のさまざまな組織経営の在り方と、平和的な国同士の競争の形が表されていたのではないかと思っています。今後もさまざまな業界を通して、日本が模範的な行動姿勢を発信していかなければならないのではないかと想像しております。

前述では、鹿児島市が提案されているサッカー・スタジアムの整備が頓挫していることに触れさせて頂きました。現在、鹿児島のプロサッカーリーグは、決して順風満帆な状況ではございません。サッカー・スタジアムの活用が県民の利益につながるかどうかの議論がなされていることも想像できます。欧米のようにスタジアム利用が単種で運営できるかどうかのイメージを持たれていることと想像いたしますが、大切なことは、スポーツを観戦する行動が自生活に楽しみを増やすことができるという点と、東京オリンピックが目指していた多目的なスポーツ施設が一つのエリアに集約されているという効率性でございます。国内でのサッカー技能レベルもワールドカップを重ねるごとに上がってきております。2022年に行われたワールドカップ後のように人気が再び盛り上がり、ドキドキするような感動を与えるレベルの高い試合が、在住するプロ・サッカー選手によって、鹿児島でも開催されることは大いに想像できるのではないかと思っております。

実際には、サッカー・スタジアムの利用もサッカーだけに特化することはなく、多種スポーツの利用も可能なシステムを採用されると予想されますので、鹿児島港本港区エリア・デザインの中に盛り込むことは決して県民に不利益なことではないと思っております。建設後の維持運営は多くの労を要することと想像いたしますが、今時期が鹿児島の特性と特色を地方に発信していくべき時期ではないかと感想を持っております。

長年、中央(都心)にばかりに権力と繁栄が集中することが課題とされ、地方の自立と発展が問題視されてきました。まさに今が地方の価値を高める潮流ではないかと感想を持っております。他の地方の方々に魅了される地域(地方)を作る。そしてその魅了する力は「本物と信頼のある付加価値を備えたもの」で発信する。リピーターを呼べない事業の立案や発信は、国民の方々の信頼を失います。鹿児島港本港区エリアへの施設投資においても投資価値が個人と特定の企業の意見に左右されることなく、50年先しか見据えられない小さな投資よりも、県民の多く(7.5割程度)が納得できる施設計画を提示した100年先を見据えた大きな施設投資を行うことが潮流の中でなすべき行動ではないでしょうか。

鹿児島港本港区エリアの施設投資が、県民のために多く吟味して決めた投資と県民の意識に落とし込むことができれば、鹿児島県民は覚悟を持って鹿児島の未来と子孫のために取り組むことができるのではないかと想像しております。比喩としては適切ではないでしょうが、投資額の大きい東京ディズニーランドは、人々にもたらす精神的豊かさと経済効果がとても大きい施設となっております。そのような効果は投資額が大きいだけの経緯ではないと感じております。たとえ大きな投資が行われても、施設投

資と所属者意識、利用者意識が一体とならなければ安定的な運営はできないのではないかと思います。鹿児島港本港区エリアの利用が県政として責務なのであれば、中途半端な施設を造るのではなく、県民や県外の方々にインパクトのある感動的な施設を建設した方が、文化物として県内外の人々に長い時間愛され続けていくのではないかと感想を持ちます。近年鹿児島は、さまざまな地域で大きなイベントを開催する勇気を持ちながら賑わいつつあります。鹿児島マラソンなど大きなイベントを開催することに県民は消極的な認識は軽減されてきております。鹿児島港本港区エリア利用も含めて、鹿児島の特性を国内外に発信するために、官民(公務者、住民)が覚悟を持って一体となる時期(タイミング)が今なのではないかと個人的に思っております。

お伝えしたい思いは以上でございます。鹿児島港本港区エリア利用の議論に責任感を前提に参加されている多くの方々とは異なり、無責任のような拙き理想論の記載をご容赦くださいませ。

鹿児島市在住者

[redacted]

港湾空港課
-5.4.16
受付

受付No.（事務局記載欄）	141

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」
応募申請書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（[redacted]） [redacted] 個人		住所	[redacted]	
性別	男	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・30代・40代・ 50代・(60代)・70代・ 80代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名　　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			(可)　・　否		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム(e(い一)申請)」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付 No.（事務局記載欄）	

「鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア」
応募様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

① ドルフィンポート跡地とウォーターフロントパークの敷地に総合体育施設（サッカー場・体育館として利用出来る）を地盤を掘削して地盤高下に建設する。地上高さは２階建てに抑え、二階部分に施設管理機能を設置及び地上部には飲食・小売り施設が入れるようにする。

② イメージはコロッセオを地下に沈めるイメージ

③ 地上部１階と２階部分の飲食・アミューズメント施設には競技場側にも観覧出来る様にする。

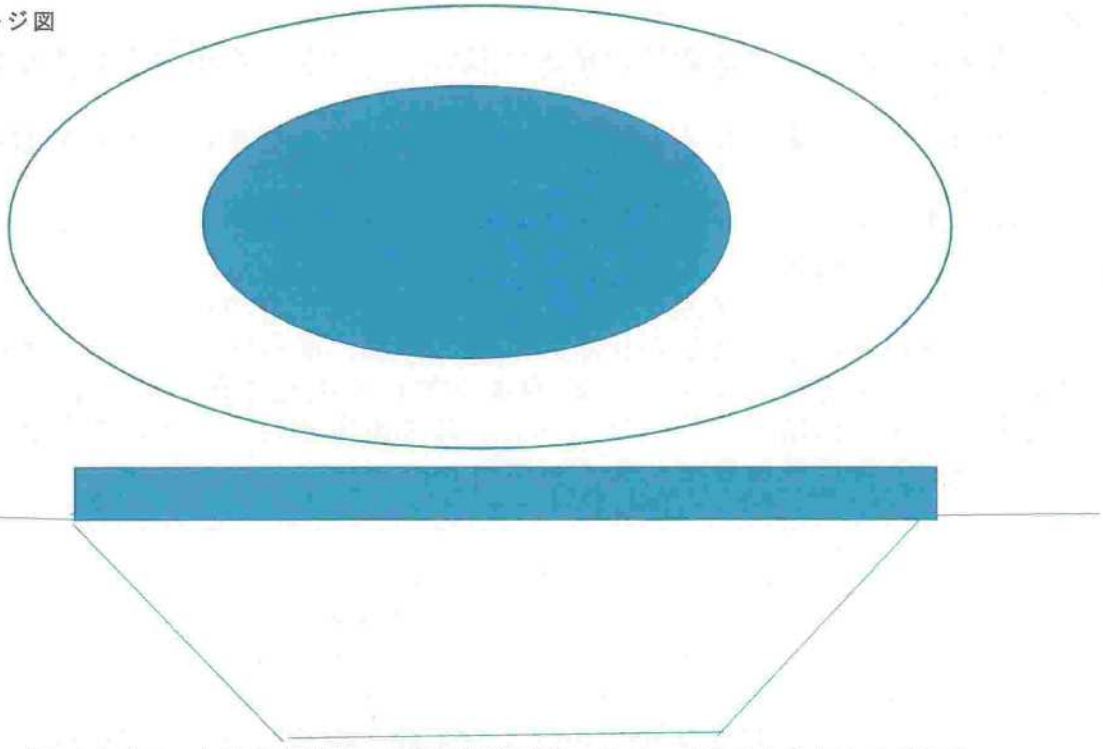
④ 天井部は半分エアードーム等の開閉式屋根とする。

⑤ 天文館から総合体育施設までをアミューズメントを楽しむための導線とし渦巻きの様に人流を集める。

⑥ 掘削土は卯をーターフロントパーク前に投入し、ヨット等マリンスポーツの発着場及びボードウォークや芝生公園など海に触れる施設とする。

⑦ 地域のテーマは　エブリディ・カーニバルで、施設名称は鹿児島トルネードとか人を引き込むものがイメージされる。

イメージ図



災害のプライオリティを考えれば降雨水害の確率が高いので、緊急貯水池として使える。

※任意様式に記載して頂いても構いません。

港湾空港課
-5.4.16
受付

受付 No.（事務局記載欄）	142

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」
応募申請書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（[redacted]） [redacted] 個人		住所	[redacted]	
性別	女	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・30代・(40代)・ 50代・60代・70代・ 80代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名　　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			可　・　(否)		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム(e(いー)申請)」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付 No.（事務局記載欄）	

「鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア」
応募様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

鹿児島港本港区エリアの活用策として、スタジアム建設を提案します。
鹿児島在住の方であれば観光ポイントや良さはわかっていると思いますが、県外在住の者として鹿児島の印象はと聞かれると桜島と屋久島、サツマイモ、西郷隆盛くらいです。新潟の百貨店で行われる九州フェアをTVのニュースで伝えるときはまず福岡、次に宮崎と熊本、次は大分その次に鹿児島が紹介されています。鹿児島の皆さんが考えるよりも県外在住の人は鹿児島の事をよく知りません。
いままで、観光県としてどんなＰＲをして県民の税金を使っていたのか考える機会なのだと考えます。
現に私がそうでした。しかし鹿児島ユナイテッドＦＣを知り、大島紬や薩摩焼、鳥刺し、鹿児島牛、黒豚･･･さらに言えば人の温かさにも触れて今では鹿児島が大好きになり、鹿児島市にふるさと納税をするほどです。
なぜスタジアムが必要なのか。まず、鹿児島ユナイテッドＦＣの本拠地としての施設を作ることで、全国の鹿児島のサポーターやアウェイのサポーターがＳＮＳで紹介してくれ、無償で鹿児島県のＰＲができる点にあります。鹿児島のサポーターの発信力はＪリーグ屈指で全60チームの中でも１０位には必ず入ります。鹿児島駅から天文館を通ってスタジアムにいけるルートができれば、その先々でサポーターが飲食をし、景観を写真に撮って発信し、鹿児島での体験を日本中、世界中に紹介することができると考えます。現に、私は昨年、新潟から来鹿した際たくさんのツイートをしました。
それを観たフォロワーの方が「鹿児島を旅しているようで楽しかった。」「鹿児島に行きたくなった。」「鹿児島ユナイテッドＦＣの試合を見に行って１００円の芋焼酎が飲みたい。」等声を掛けてもらいました。今後、そういう県外に住む人が、これから鹿児島に興味を持って来鹿する観光客になり得ます。
スタジアム構想の話になると必ずと言っていいほど景観の問題が取りあげられますが、高層のホテルを建設したら、そのホテルの宿泊客だけの利益にしかなりません。そのホテルに何千人泊められますか？鹿児島ユナイテッドＦＣは１試合ごとに平均５千人程度の人がスタジアムに来所し、そこで飲食をして買い物をします。駐車場を整備すれば県内外からの来所もしやすいと思います。また、鹿児島ユナイテッドＦＣの専用ではなく、鹿児島の高校サッカーは全国でも強豪校がひしめく地域ですので、彼らの練習場として、また試合場として、日本代表・Ｊ１・Ｊ２のキャンプ先として、ラグビー等の競技場として、様々な用途があると思います。そのたびに選手やファンがＳＮＳで発信したら、無料で鹿児島のＰＲ役を買って出てくれる訳です。
こんな機会をみすみす手放すのはもったいないと思います。
既存の観光資源はたくさんあるのではないでしょうか。それをどう活用するか。今までのやり方や既存の概念ではうまくいかなかったのではないですか？Ｊリーグの基本理念に地域密着があります。
かつての新潟のように理解されない状況だったのが今や常に１万人以上を収容する人気チームです。鹿児島にはそのポテンシャルがあります。スタジアムは県と市が手を携えて全県民が地元の名前がついたクラブに誇りを持ち「鹿児島」の名の下、一つになれるランドマークになるはずです。

港湾空港課
-5.4.16
受付

受付 No.（事務局記載欄）	143

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」
応募申請書

（ふりがな） 応募者名 （個人）・団体）	（ [redacted] ）		住所	[redacted]	
性別	女	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・30代・40代・ 50代・60代・70代・ 80代以上	電話 番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名　　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）	（可）・否 日程次第				

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町 10 番 1 号
TEL: 099-286-3665　FAX: 099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム(e(いー)申請)」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付 No.（事務局記載欄）	

「鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア」
応募様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

KAGOSHIMA 本港区エリア 利活用アイデア

キャンプ施設

鹿児島市には気軽に利用できるキャンプ場が少ない。高額のグランピングや、利用客が限られる教育施設ではなく、気軽にバーベキューや車中泊ができる、アクセスのよいキャンプ場。災害時やイベントにも使える、気軽な憩いの場に。

無料～低額駐車場

黒川温泉などの観光地には無料駐車場があり、誰でも気軽に利用できる。1 時間制限とかでなく、例えば 9-17 時無料とかでも、観光客や県民が拠点として利用しやすいのではないか。

交通アクセス拠点

現状の港やバス停だけでなく、もっと繋がる拠点。市内なら天文館や中央駅以外に、キラメキテラスや磯駅、県全域までももっと繋がる拠点駅（港）。観光客が、情報がなくともここにくればどこへでも行ける、とりあえず遊べるみたいな場所。



体育館について

大きな体育館は難しいと思うが、例えば半地下で景観を邪魔しないような作りの、簡単な運動やイベント施設はありかと考える。屋外にはバスケットゴールやスケボー施設などもありではないか。

SHOP

小規模のショッピングモールで、観光客があがるような場所に。既存の店を並べるのではなく、リゾート感の演出が重要だと考える。例えば青島とか、素敵な土産屋やカフェができ、旅気分満喫です。池田湖にダンケンカフェができたように、素敵なカフェが欲しい!



意　見

鹿児島在住50年近くの主婦です。趣味であちこち旅行に行きますが、鹿児島県に対しては「もったいない」とか「惜しい」とか感じてしまいます。たくさんの島々や自然、アクティビティが楽しめるので、再開発が進む今、鹿児島県全体がもっと手を組んで、県内外のみんながもっと鹿児島のよさに触れられたらよいなと思います。温泉も素晴らしいけど、いまいち認知度が低かったり。日本列島の隅っこで、隣の県も遠すぎる僻地。せめてもっと鹿児島県内が繋がって旅しやすくなれば…遊びやすくなれば！
鹿児島本港区は、あらゆる場所につながれる可能性のある絶好の場所です。「鹿児島県の港」になってほしいと、鹿児島県内外の人々が、「あそこにいけばどこへでも行ける、どうにでもなる」という場所になればと、この計画を提案致します。

※任意様式に記載して頂いても構いません。

144

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを募集します！(アイディアを直接入力できる専用ページです。)

港湾空港課 -5.4.16 受付

受付番号:9721027
申請日:令和05年04月16日

番号	項目名	入力内容
1	応募者名(個人または団体)	[redacted]
2	応募者名(ふりがな)	[redacted]
3	住所	[redacted]
4	性別	女
5	年代	30代
6	電話番号	[redacted]
7	プレゼンテーション参加の可否	可
8	以下にアイディアを記入してください。	植物のたくさん植った公園。 カフェ、シーサイドテラス、海と桜島を生かした景観の広場を希望します。 目的: 憩いの場、ふれあいの場、成長の場として老若男女過ごせる広場が良いです。 具体策: 朝の5時からでも朝市を催し 鹿児島の、食と文化を堪能できる環境にする。 そこに集まる観光客はその後天文館は流れる動線にする。 夜はナイトマーケットを行うもよし、 週末のフライデーフェスや 骨董市、蚤の市、フリマ、オーガニックフェスタなど行う。 薩摩は人をもって城となす。 人を1番に考えた 選択肢をご検討ください。 そして桜島が、見えなくなる建物を建てるのだけはやめてください。
9	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで, 添付資料の合計が20MBまで)	
10	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで, 添付資料の合計が20MBまで)	

11	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
12	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	

145

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを募集します！（アイディアを直接入力できる専用ページです。）

港湾空港課
-5.4.16
受付

受付番号：9721055
申請日：令和05年04月16日

番号	項目名	入力内容
1	応募者名（個人または団体）	[redacted]
2	応募者名（ふりがな）	[redacted]
3	住所	[redacted]
4	性別	女
5	年代	10代
6	電話番号	[redacted]
7	プレゼンテーション参加の可否	否
8	以下にアイディアを記入してください。	ドルフィンポートは、海が近くて桜島が見えるので景色が最高です。 大きな体育館ではなくて、花火大会や夏祭り、オーガニックフェスタのようなイベントができる、広場にしてほしいです。 大きなイベントがないときは、子どもやお年寄りがのんびりできる公園にしておけばいいと思います。
9	別途資料を添付する場合にご利用ください。（各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで）	
10	別途資料を添付する場合にご利用ください。（各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで）	
11	別途資料を添付する場合にご利用ください。（各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで）	
12	別途資料を添付する場合にご利用ください。（各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで）	

146

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを募集します！(アイディアを直接入力できる専用ページです。)

港湾空港課
-5.4.16
受付

受付番号:9721057
申請日:令和05年04月16日

番号	項目名	入力内容
1	応募者名(個人または団体)	[redacted]
2	応募者名(ふりがな)	[redacted]
3	住所	[redacted]
4	性別	男
5	年代	70代
6	電話番号	[redacted]
7	プレゼンテーション参加の可否	可
8	以下にアイディアを記入してください。	鹿児島港本校区エリアの利活用のアイデア 第1案　総合体育館は景観上、経済効果上ほかで建設反対なので、 総合体育館なしの利活用のアイデアで応募します。 はじめに 1　昨年の「新総合体育館基本構想検討委員会」とは何だったのでしょうか？ 体育館の機能や規模、経費、施設の配置などを検討する委員会なら理解できる。しかし、この委員会が場所の選定まで決める権限があったのは理解できない。 しかも、企画・立案・提案(たたき台)した部署がスポーツ振興課である、まちづくりの専門家や高齢者、障碍者、子育て世代の代表者は誰も入っていない委員会だったのでは。 2　場所の選定にしても6カ所しか挙げられていなかったが、他にも候補地はなかったのでしょうか。民有地(イオン鴨池店ほか)や鴨池ドームなどなど しかも評価基準に「景観」が入っていない。これを入れると順位が入れ替わっていたと思う。ドルフィンポート跡地(以下ドル跡地)に最初から場所ありきの結論に導く評価でしかなかったのでは。 3　今回の「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」は、まさに鹿児島県行政組織図のまちづくり推進室が企画・立案する正真正銘の部署です。■の検討委員会が出した結論に左右されることなく、推し進めるべきかと思います。 ◎　よって、新総合体育館は、港湾地域であるドル跡地にはふさわしくない。(体育館建設に反対はしないが、この場所に造るのには反対です。)

9	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	南日本新聞　ひろば欄に投稿.JPG
10	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	ラップアリーナ1.png
11	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	ラップアリーナ2.png
12	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	

鹿児島港本校区エリアの利活用のアイデア

第１案　総合体育館は景観上、経済効果上ほかで建設反対なので、
　　総合体育館なしの利活用のアイデアで応募します。

はじめに
１　昨年の「新総合体育館基本構想検討委員会」とは何だったのでしょうか？
体育館の機能や規模、経費、施設の配置などを検討する委員会なら理解できる。しかし、この委員会が場所の選定まで決める権限があったのは理解できない。
しかも、企画・立案・提案（たたき台）した部署がスポーツ振興課である、まちづくりの専門家や高齢者、障碍者、子育て世代の代表者は誰も入っていない委員会だったのでは。

２　場所の選定にしても６カ所しか挙げられていなかったが、他にも候補地はなかったのでしょうか。民有地（イオン鴨池店ほか）や鴨池ドームなどなど
しかも評価基準に「景観」が入っていない。これを入れると順位が入れ替わっていたと思う。ドルフィンポート跡地（以下ドル跡地）に最初から場所ありきの結論に導く評価でしかなかったのでは。

３　今回の「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」は、まさに鹿児島県行政組織図のまちづくり推進室が企画・立案する正真正銘の部署です。■の検討委員会が出した結論に左右されることなく、推し進めるべきかと思います。

◎　よって、新総合体育館は、港湾地域であるドル跡地にはふさわしくない。（体育館建設に反対はしないが、この場所に造るのには反対です。）

私は世界中を旅することが好きで、その時思うことは、世界の有名な観光地・公園は、基本的には広い敷地（芝生等）に、樹木や草花、水（噴水や池）で成り立っているような気がする。英国ロンドン市のハイドパーク、米国ニューヨーク市のセントラルパークなどなど。
＊別添資料
この世界の公園と比べるとドル跡地はあまりにも狭いが、しかし水の部分・錦江湾と雄大な桜島を入れると世界一の公園になります。

国内でも（娘の住んでいる）横浜市によく出かける。横浜中華街で食事を取った後は、山下公園/港の見える丘公園、そして横浜港を散策する。この公園がなければ「一度行ったからもういい」と別な所で食事を済ませてしまうだろう。
この３者の相乗効果がまち全体を魅了し多くの観光客を呼び込んでいる。
この地に多くの人が集まると、自ずと周りにはホテルが建ち並び、交通網が発達し道路も整備されて、どんどん発展してきているように思う。

ドル跡地は観光の新名所になり得る地である。ここに体育館（サッカー場）など箱物を建設するのは強い違和感が生じる。この地を訪れた人がこの箱物を見て、鹿児島県民が物笑いの種になることだけは避けたい。

では、私のアイデアはというと、

ドル跡地の道路側（ビル群との境）には、樹木を植え、その樹木（森林？）の所どころに、カフェやミニギャラリー、土産店舗、休憩所、ベンチ等を置く。

中央部には大型の噴水公園を造り、その周りには、鹿児島の偉人の銅像公園、フラワーパーク（一部は市民花園）イベント広場。中央の縦断道路わきは桜並木にする。道路下の部分（ウォーターフロント）はバラ公園と芝生公園など。
私のアイデアはあまりにも一般的で斬新さに欠けている気がするので、一般公募かプロにお任せした方が無難です。そうすれば、県民・市民、観光客がわくわくしながら散歩に遊びに遠足に出かけたくなるような都市型緑地公園になること間違いなし。新観光名所かつ世界が注目する港湾都市になることでしょう。

要は、指宿のフラワーパークと県立吉野公園の良いところを取り入れた緑地公園を造ってほしい。※今イラストを描いていますが、うまく描けず逆効果になりそうなので添付しません！

もう１点は、このドル跡地付近にバス等の総合交通センタービルを造り、
ドルフィンポートと天文館と中央駅を一直線結ぶバスコースを設定し回遊性を確保する。
また、高速バスや遠距離路線バス、観光バスの発着場にする。

これにはＮＨＫさんの協力・賛助が不可欠です。というのもドル跡を考える時どうしてもＮＨＫさんがネックになってしまいます。このＮＨＫビルの１，２階部分を交通センターとして借りて１階はクルーズ船やバス等のチケット売り場と観光案内所、２階は観光物産展示場、郷土料理店。ラーメン店ほか等に利用する。無理なら１階部分だけでもいいのですが。
〔唐突な提案なので NHK さんは大迷惑で門前払いでしょう。でも、なぜこの一等地にＮＨＫビルが建っているのですか。ＮＨＫはすべて私たちの受信料で賄われています。いわば公共の建物だから・・・〕

これが不可能なら、鹿児島駅まで延伸してここから折り返しドル跡地経由中央駅までバスコースも検討する価値はあるのでは。
もちろん、現在ある種子島屋久島高速船の発着場と中央駅を結ぶコースが最も簡単な方法ではありますが。

第２案（願ってはいないが仕方がないので。）
総合体育館の規模を縮小し、体育館の周りを樹木で覆い景観に配慮する。さらに屋上を平面にし、展望台として県民に開放する。

総合体育館の施設配置図の武道部分を切り離し、メインアリーナを主とした建物にする。球技と武道を一つにまとめる合理性は特にないので、弓道場と武道場は現在の地に新築する。二分することで、（巨大な）大型の総合体育館ではなく、よりコンパクトになり、圧迫感も軽減され景観も少し良くなる。
できれば、地下１階、地上２階にして、高さをできるだけ低く抑えてほしい。

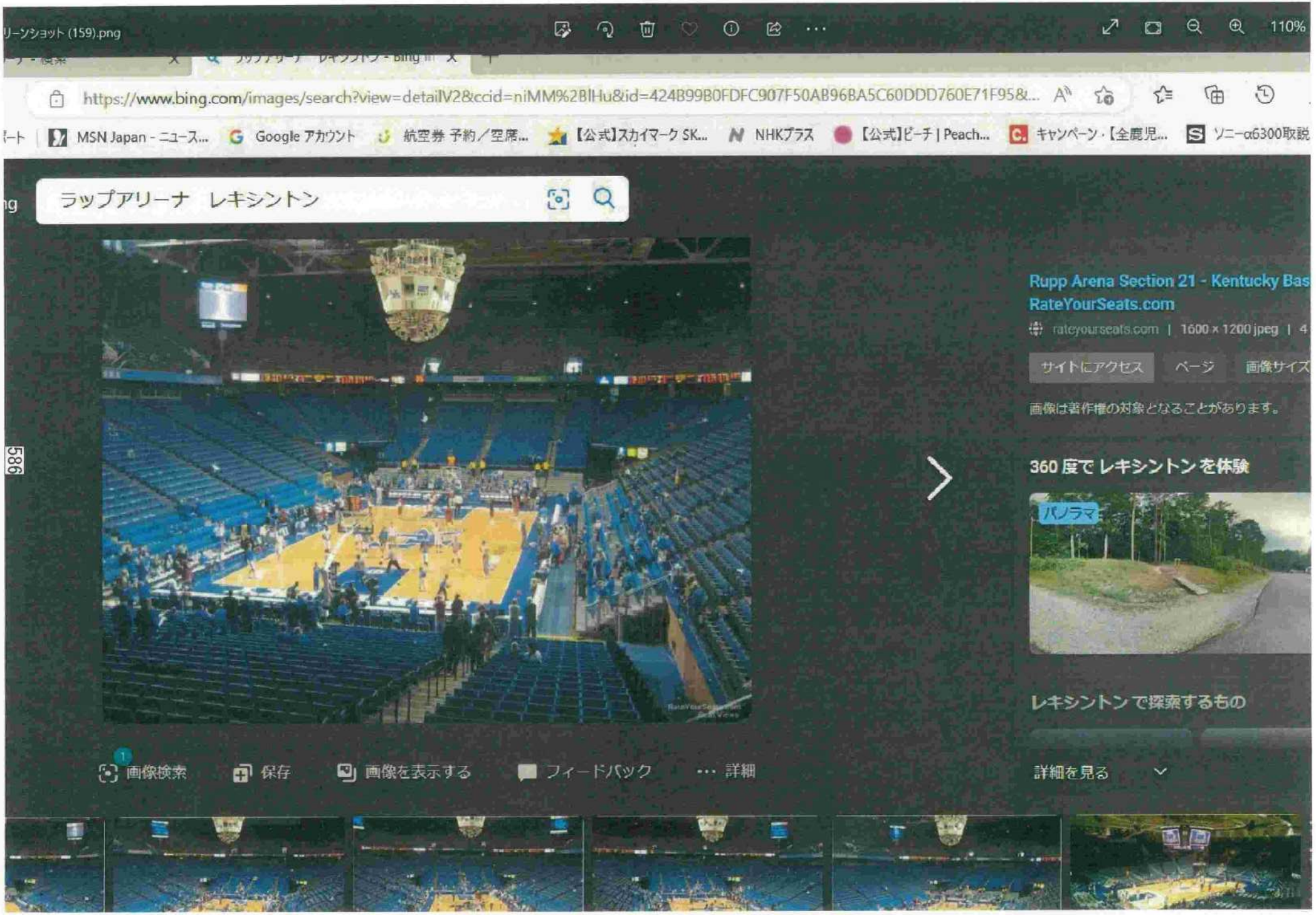
もし、メインアリーナだけでは不足なら、別途、本来の体育館を別な場所に建ててもいいのではないか。（これは立派な教育施設なので谷山の文教地区でも可？）

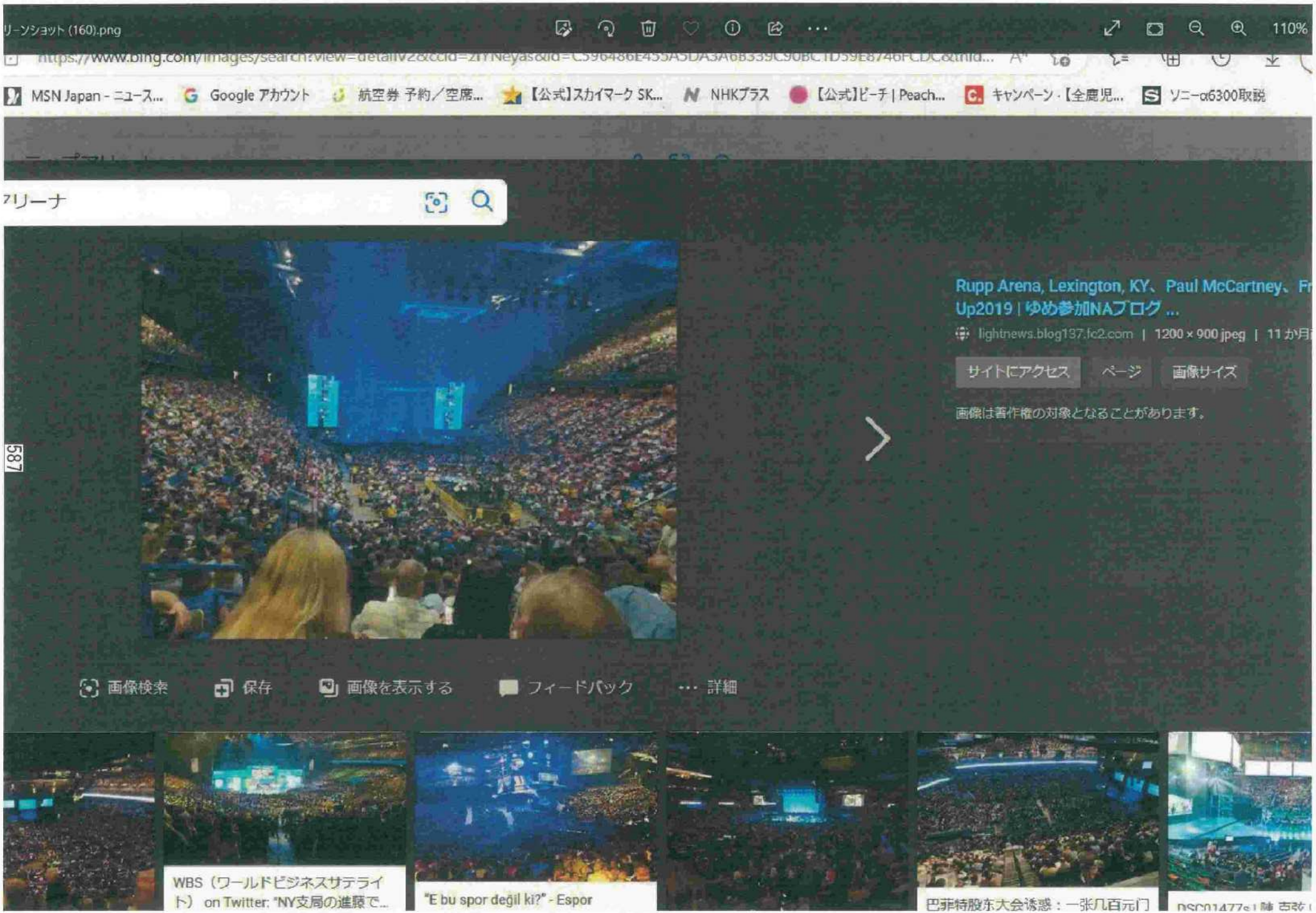
さらに、昨年の委員会の施設設置案では、ほんのわずかに展望デッキがあるだけでここを使用する人のみのデッキである。外階段で屋上にも上がれるように設計し、県民の誰もがいつでも、ここからも錦江湾と桜島が眺められるような場所にしてほしい。

メインアリーナを主とした体育館の参考例題　＊別添資料
私が住んでいた米国ケンタッキー州にあるラップアリーナであるが、ここはほぼすべての体育種目（バスケットボール、バレーボール、バドミントン、テニス、スケート、卓球、剣道、柔道、等々）のほか、コンサート、ライブ、大規模講演・展示場、大会議場など何でもできる。まさにスポーツコンベンションの名にふさわしい建物になるのではないだろうか。

第２案のアイデアは、スポーツコンベンション（総合体育館）を縮小し、少しでも緑地面積を増やすことです。これ以外は、第１案を縮小した配置になります。

最後に、この第２案で心配することは、スペースが開いた残りの場所にサッカー場を建設する案が浮上するのではないかと危惧しています。これは絶対に反対です！


リーンショット (159).png
110%
https://www.bing.com/images/search?view=detailV2&ccid=niMM%2BlHu&id=424B99B0FDFC907F50AB96BA5C60DDD760E71F95&...
MSN Japan - ニュース...
Google アカウント
航空券 予約／空席...
【公式】スカイマーク SK...
NHKプラス
【公式】ピーチ | Peach...
キャンペーン・【全鹿児...
ソニーα6300取説
ラップアリーナ　レキシントン
Rupp Arena Section 21 - Kentucky Bas
RateYourSeats.com
rateyourseats.com | 1600 x 1200 jpeg | 4
サイトにアクセス
ページ
画像サイズ
画像は著作権の対象となることがあります。
360 度で レキシントン を体験
パノラマ
レキシントン で探索するもの
詳細を見る
画像検索
保存
画像を表示する
フィードバック
詳細


リーンショット (160).png
110%
MSN Japan - ニュース...
Google アカウント
航空券 予約／空席...
【公式】スカイマーク SK...
NHKプラス
【公式】ピーチ | Peach...
キャンペーン・【全鹿児...
ソニーα6300取説
リーナ
Rupp Arena, Lexington, KY、Paul McCartney、Fr
Up2019 | ゆめ参加NAブログ ...
lightnews.blog137.fc2.com | 1200 × 900 jpeg | 11 か月
サイトにアクセス
ページ
画像サイズ
画像は著作権の対象となることがあります。
587
画像検索
保存
画像を表示する
フィードバック
詳細
WBS（ワールドビジネスサテライト） on Twitter: "NY支局の進藤で...
"E bu spor değil ki?" - Espor
巴菲特股东大会诱惑：一张几百元门

147

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを募集します！(アイディアを直接入力できる専用ページです。)

港湾空港課
-5.4.16
受付

受付番号:9721072
申請日:令和05年04月16日

番号	項目名	入力内容
1	応募者名(個人または団体)	[redacted]
2	応募者名(ふりがな)	[redacted]
3	住所	[redacted]
4	性別	男
5	年代	30代
6	電話番号	[redacted]
7	プレゼンテーション参加の可否	可
8	以下にアイディアを記入してください。	新しいテーマパークの案 特定の時代や文化をテーマにするのではなく、鹿児島の歴史や偉人、島特有の文化、神話などを全て盛り込んで、新しい世界観を作り、非日常空間(異世界に転生したかのような)を楽しめるテーマパークを提案いたします。 ベースは[スチームパンク]や[レトロフューチャー]のような、どこかレトロな雰囲気をイメージしています。 パーク内は大きく分けて(1)飲食エリア、(2)体育館や屋内施設、イベント用エリア、(3)大型の遊具やアスレチックのエリアとします。 (1)飲食エリア 大きなフードコートのような、台湾の屋台のような、お祭りや縁日のような、楽しみながら食事ができるエリア。 イベントとして、1ヶ月から3ヶ月限定のお店スペースをいくつか作ります。 開業前のお試し出店、県内外の有名店からの期間限定出店、流行りのスイーツなど。 何度来ても飽きさせないようにお店を完全に固定せず、ランキングやアンコールなどもできれば、そのために訪れる人も増えるのではないかと思います。 (2)体育館や屋内施設、イベント用のエリア パークのシンボル的な建物になると思いますが、体育館は外から入館。パーク内からは、眺望の良いレストラン等の飲食エリアとは少し違う楽しみ方ができる飲食店。県内各所の観光案内所、屋内広場、グッズのショップ、民芸品や特産品売り場など。 外観も内装もテーマを徹底することは大事だと思います。 (3)大型の遊具、アスレチックのエリア

9	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
10	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
11	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
12	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	

新しいテーマパークの案

特定の時代や文化をテーマにするのではなく、鹿児島の歴史や偉人、島特有の文化、神話などを全て盛り込んで、新しい世界観を作り、非日常空間（異世界に転生したかのような）を楽しめるテーマパークを提案いたします。

ベースは［スチームパンク］や［レトロフューチャー］のような、どこかレトロな雰囲気をイメージしています。

パーク内は大きく分けて（1）飲食エリア、（2）体育館や屋内施設、イベント用エリア、（3）大型の遊具やアスレチックのエリアとします。

（1）飲食エリア
大きなフードコートのような、台湾の屋台のような、お祭りや縁日のような、楽しみながら食事ができるエリア。
イベントとして、1ヶ月から3ヶ月限定のお店スペースをいくつか作ります。
開業前のお試し出店、県内外の有名店からの期間限定出店、流行りの
スイーツなど。
何度来ても飽きさせないようにお店を完全に固定せず、ランキングやアンコールなどもできれば、そのために訪れる人も増えるのではないかと思います。

（2）体育館や屋内施設、イベント用のエリア
パークのシンボル的な建物になると思いますが、体育館は外から入館。パーク内からは、眺望の良いレストラン等の飲食エリアとは少し違う楽しみ方ができる飲食店。県内各所の観光案内所、屋内広場、グッズのショップ、民芸品や特産品売り場など。
外観も内装もテーマを徹底することは大事だと思います。

（3）大型の遊具、アスレチックのエリア
テーマパークのメインエリアになりますが、テーマを元にした大型の遊具。大人も楽しめるアスレチック。
巨大迷路や宝探しゲームなどもできるように設計。
海の向こうの桜島にも同じエリアが広げられればもっと面白いことができると思います。
大きな帆船もしくは、蒸気船、フェリーを改装してテーマパーク仕様にすると、錦江湾を含めた広大なパークになります。
船は結婚式場などとして利用もできるのではないかと思います。

以上。ざっくりとした案ですが、世界観をしっかり作りこんで、スタッフの衣装なども徹底して雰囲気を出せば、飽きのこない楽しいテーマパークになると思います。

飲食エリアの出店情報や、宝探しゲームのヒント、イベント情報などは、もちろんYouTubeチャンネルで配信します。

148

港湾空港課
-5.4.16
受付

受付No.（事務局記載欄）	148

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募申請書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（きんこうわんくるーず） （株）錦江湾クルーズ 岩村　義昭		住所	鹿児島市城南町２４―７８
性別	男	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・30代・40代・ 50代 (60代) 70代・ 80代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名 岩村）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			可　・　否		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム(e(い一)申請)」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付 No.（事務局記載欄）	

「鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア」

応募様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

「鹿児島本港区エリアの利活用アイディア」につきまして

・鹿児島県の「稼ぐ力」の向上を目指す目的のため、

「鹿児島の観光拠点スタジアム」としての活用を提案いたします。

従来の城山公園からスタートする鹿児島観光を、本港区ドルフィンポート跡地からスタートさせる形態に変えることから始まります。
鹿児島県には素晴らしい観光地が数多くありますが、交通アクセスの弱さから観光客が目当ての観光地がどこにあるのか、どうやって行くのか等基本的な部分で他県に遅れを取っているように感じます。「マイカーやレンタカーでナビを使って勝手に行ってください」と言うのは余りにも不親切だと思います。
大型クルーズ船で来られた外国からのお客様はどうすればいいのでしょうか？
鹿児島に来たら、まず「観光拠点スタジアム」に行けば県内各地へご案内できる施設や交通手段が分かれば観光客の利便性は大きく向上します。水族館もすぐ近くにあります。
観光バスターミナル、タクシー乗り場の設置と海岸側に錦江湾内小型クルーズ船の発着場を整備することにより、国立公園、ジオパーク、桜島を海から観る中心地として、また霧島、姶良、垂水、鹿屋、根占、佐多、指宿等の観光地へのお客様の海上交通アクセス手段が完成します。
観光バス、タクシー、クルーズ船発着場として、施設としては観光案内窓口、観光バスやクルーズ船乗船案内・乗船券売場、待合室、トイレ、屋上は桜島展望場所として活用できる施設があれば十分です。食事はキッチンカーが停められるスペースを作ればいいと思います。もちろん駐車場スペースは必要です。
市電がドルフィンポート跡地まで延伸されることにより、新幹線で来られる観光客が集まり、湾岸道路がマリンポートかごしまから本港区を通り仙厳園まで完成すれば、大型クルーズ船の観光客が集まります。
鹿児島県の人口は約１６０万人、鹿児島市の人口は約６０万人ですが、錦江湾を取り囲む市町村には約４０万人の県民がいます。
この「観光拠点スタジアム」から鹿児島市を始め県内各地へ観光客を誘導できる手段を持つことは、鹿児島県全体の発展のため、鹿児島の「稼ぐ力」の向上を図ることができる大きな一手段だと考えます。
体育館やサッカースタジアムという構想だけにとらわれず、合わせて「観光拠点スタジアム」としての活用、整備をご検討いただければと考えます。

以上

149

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを募集します！(アイディアを直接入力できる専用ページです。)

港湾空港課
-5. 4. 17
受付

受付番号:9721105
申請日:令和05年04月17日

番号	項目名	入力内容
1	応募者名(個人または団体)	[redacted]
2	応募者名(ふりがな)	[redacted]
3	住所	[redacted]
4	性別	男
5	年代	30代
6	電話番号	[redacted]
7	プレゼンテーション参加の可否	否
8	以下にアイディアを記入してください。	富士山の麓には自然豊かなキャンプ場(ふもとっぱらキャンプ場)があり集客も出来ます それにならってキャンプ場件自然豊かなイベントスペースがあれば利用したいと思う方はかなり多いと思います 町中に自然豊かな土地を保つ面でも環境保全の面でも大きな意義があると思います ふもとっぱらキャンプ場と同じように折角雄大な山が有り折角広い土地が空いたのだからそれを有効活用しないのは勿体無いと思います 折角の景観を阻害しかねない高さの有る建物を建てるではなく貸しスペースのような広場があるだけでも利用する県民は多いと思います
9	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
10	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
11	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
12	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	

150

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを募集します！(アイディアを直接入力できる専用ページです。)

港湾空港課
-5.4.17
受付

受付番号:9721178
申請日:令和05年04月17日

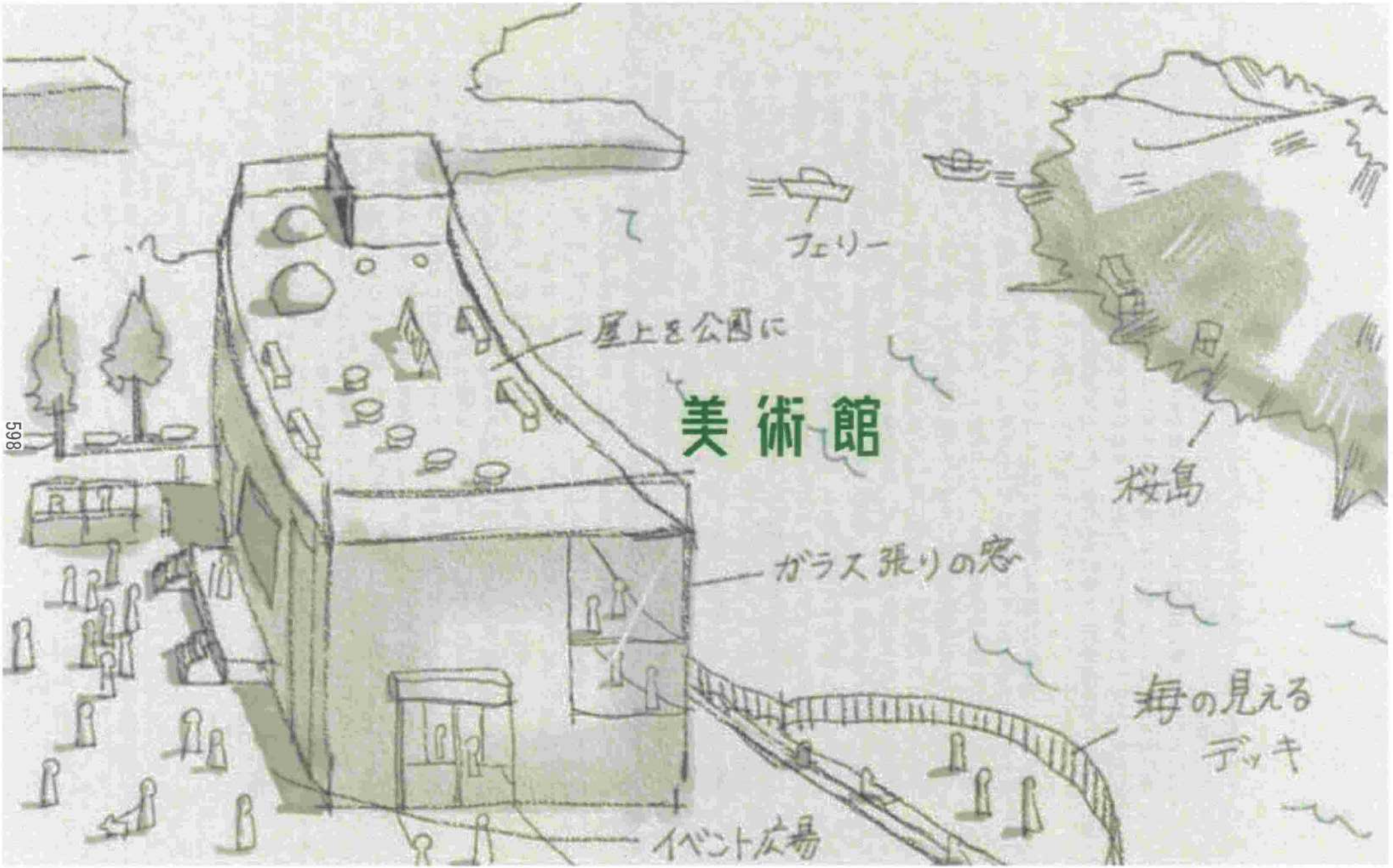
番号	項目名	入力内容
1	応募者名(個人または団体)	[redacted]
2	応募者名(ふりがな)	[redacted]
3	住所	[redacted]
4	性別	女
5	年代	10代
6	電話番号	[redacted]
7	プレゼンテーション参加の可否	可
8	以下にアイディアを記入してください。	私が本港区と聞いて連想するのは、デッキから見える青々とした海と悠々と佇む桜島です。小さい頃はドルフィンポートと広場の、あの明るい雰囲気が好きでよく連れて行ってもらっていたことを思い出します。家族連れの賑やかな声の中、桜島に見守られているような場所だと感じました。そこで私は鹿児島市本港区に「美術館」があれば、県民の方々の憩いの場となると思うのです。 私には一つ夢があります。それは鹿児島県を「アートを身近に感じられる場所にすること」です。アート又は美術と聞くと、身構えてしまう方もいらっしゃるでしょう。私はその理由が鹿児島県の美術館のイメージにあると思います。私自身、静かで厳粛な雰囲気の美術館は当たり前で1人で楽しむものだと思っていました。その空気感が良いという方もいるかもしれません。しかし、私が高校で研修旅行に行った時のことです。私の中の美術館というもののイメージが180度変わり ました。研修旅行では、金沢21世紀美術館や富山市ガラス美術館見学など、様々なアートに触れる機会を頂きました。その中でも一番記憶に残っているのは富山県美術館です。そこには厳粛な 美術というものはありませんでした。絵を見ながら語り合える場所や子供がアートと遊びを楽しめるような庭園。そして美術館の周囲にある自然を映画のような迫力で楽しめる、大きなガラス 張りの窓がありました。一つの絵画を見てみんなで語り合う。見て触れてコミュニケーションを 取り合うことで、人と人の輪が広がっていく美術館。この美術館には幅広い年代の人々の笑顔が溢れていました。人を笑顔にすることこそがアートだ。それがアートの本質だ、と肌で感じました。アートは人と人、人と何かを繋ぐ事ができると確信しています。私自身絵 を描いていますが、アートを作る人は見る人に伝えたいものがあり、見る人は「これはなんなん だろう?」と疑問を持たれます。アート又は美術とは、コミュニケーションだと思うのです。研修旅行を終えて私は「鹿児島にこのような美術館があれば、多くの人にとって憩いの場になるのでは」と考えるようになりました。 そして、そのような美術館が本港区に必要だと考える理由があります。先ほど述べたように、本港区からは、迫力のある錦江湾と桜島を見る事ができます。桜島は私たちの身近にあるものですが、県外の方は活火山がそこにすぐそこにあることに驚くそうです。私たちはもっと桜島というものを

9	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	無題19_20230414001819.JPG
10	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
11	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
12	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	

私が本港区と聞いて連想するのは、デッキから見える青々とした海と悠々と佇む桜島です。小さい頃はドルフィンポートと広場の、あの明るい雰囲気が好きでよく連れて行ってもらっていたことを思い出します。家族連れの賑やかな声の中、桜島に見守られているような場所だと感じました。そこで私は鹿児島市本港区に「美術館」があれば、県民の方々の憩いの場となると思うのです。 私には一つ夢があります。それは鹿児島県を「アートを身近に感じられる場所にすること」です。アート又は美術と聞くと、身構えてしまう方もいらっしゃるでしょう。私はその理由が鹿児島県の美術館のイメージにあると思います。私自身、静かで厳粛な雰囲気の美術館は当たり前で1人 で楽しむものだと思っていました。その空気感が良いという方もいるかもしれません。しかし、私が高校で研修旅行に行った時のことです。私の中の美術館というもののイメージが 180 度変わり ました。研修旅行では、金沢 21 世紀美術館や富山市ガラス美術館見学など、様々なアートに触れる機会を頂きました。その中でも一番記憶に残っているのは富山県美術館です。そこには厳粛な美術というものはありませんでした。絵を見ながら語り合える場所や子供がアートと遊びを楽しめるような庭園。そして美術館の周囲にある自然を映画のような迫力で楽しめる、大きなガラス 張りの窓がありました。一つの絵画を見てみんなで語り合う。見て触れてコミュニケーションを 取り合うことで、人と人の輪が広がっていく美術館。この美術館には幅広い年代の人々の笑顔が溢れていました。人を笑顔にすることこそがアートだ。それがアートの本質だ、と肌で感じました。アートは人と人、人と何かを繋ぐ事ができると確信しています。私自身絵 を描いていますが、アートを作る人は見る人に伝えたいものがあり、見る人は「これはなんなん だろう?」と疑問を持たれます。アート又は美術とは、コミュニケーションだと思うのです。研修旅行を終えて私は「鹿児島にこのような美術館があれば、多くの人にとって憩いの場になるのでは」と考えるようになりました。

そして、そのような美術館が本港区に必要だと考える理由があります。先ほど述べたように、 本港区からは、迫力のある錦江湾と桜島を見る事ができます。桜島は私たちの身近にあるものですが、県外の方は活火山がそこにすぐそこにあることに驚くそうです。私たちはもっと桜島というものを客観視して、それが当たり前にあるものではないこと、他の県にはない魅力だということを知る必要があると思います。美術館と大きな窓に美術品の一部のように映る桜島。美術品やアートな空間と共にある桜島を見て、何かを感じたり考えたりする人が増えて欲しいです。もしアートで生まれるコミュニケー ションの中に桜島があったら。語り合う人々の目に、桜島が映ったら。多くの人が桜島をもっと 身近に感じ、そして気づかなかったことに気づかせてくれるのではないでしょうか。鹿児島にしかない魅力を、アートの力、つまり人を笑顔にし感化できる力で県民の方々にも県外から来られた方にも発信していける。そんな場所が欲しいのです。

私は鹿児島が大好きです。だからこそ、多くの人にとって鹿児島がより良い場所になるように 願っています。


フェリー
屋上を公園に
美術館
桜島
ガラス張りの窓
海の見えるデッキ
イベント広場

港湾空港課
-5.4.17
受付

受付 No.（事務局記載欄） 151

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」
応募申請書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（[redacted]） [redacted] （個人）		住所	[redacted]	
性別	男	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・30代・（40代）・ 50代・60代・70代・ 80代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名　　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			（可）　・　否		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム(e(いー)申請)」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付 No.（事務局記載欄）	

「鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア」
応募様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

別紙参照（2 枚）

※A3 用紙向けに作成してます

※任意様式に記載して頂いても構いません。

最高の観光と人々の豊かな交流（鹿児島本港区利活用案）

■利活用案の概要

最高の観光と人々の豊かな交流　をテーマに本利活用案を作成しました。

エンターテイメントメインの観光施設を新たに創出し、スポーツ・コンベンションセンターと併せて、多くの利用者が交流可能で心身と社会的な健康を向上させる多目的緑地スペースも確保します。

また、交通アクセス大きく向上させ、県民・来鹿者がアクセスしやすい環境を作り、桜島や、種子島・屋久島等の離島の船を利用した観光旅の拠点機能の強化にも繋げます。

以下に、利活用案の特徴6つをご案内します。

■利活用案の特徴　6つ

①スポーツ・コンベンションセンター

スポーツ・コンベンションセンターは、**スポーツ・コンサート・国際会議・企業展示イベント等、多目的に利用可能な施設**とされています。

それにあわせ、施設横のオープンスペースは、マイアミ通からの導線を考慮し、天文館から歩いてきた人がワクワクするような、**本港区の玄関口として意匠設計された空間**で、更に、イベント利用にも対応します。





本港区の玄関口に
ふさわしい意匠設計

②エンターテイメントゾーン

サンタモニカピアのような、ウッドデッキ上にあるエンターテイメント施設とし、かごしま水族館と連携して、桜島の雄大な景色を背景にした独創性高い観光施設を目指します。

また、**PFIを活用するエリアを設けて施設整備・運営者を募集し、民間事業者と連携**します。

更に、イベント船・クルーズ船が停泊できるものとします。



かごしま水族館



事例：サンタモニカピア
（アメリカ）

③憩い・多目的ゾーン

多目的な緑地広場で、現在の施設をそのまま活かすことを基本とします。

利用する人々の、心身と社会的な健康（ウェルビーイング）を目指し、また、広場を利用した様々な屋外のイベントにも対応します。



憩いの空間



イベント利用

④かごしま市電延伸

かごしま市電の延伸整備を行い、**鹿児島中央駅から本港区への直接アクセスを可能**にします。

これにより、観光客・公園利用者の人の往来数を増加させます。



桜島フェリー電停？



かごしま市電

⑤マイアミ通り賑わいゾーン

天文館と本港区の人の流れを相互に向上させる為、歩きたくなる高度な歩道空間を整備します。

また、本港区のイベント等にあわせて歩行者天国を実施し、賑わいを創出します。



マイアミ通り



事例：大阪梅田OS

⑥桜島・屋久島・種子島等、船を利用した観光旅の拠点

本港区の整備は、桜島・屋久島・種子島等の船を利用した**観光旅の拠点機能をブラッシュアップ**させます。
また、鹿児島市電延伸の効果により、利用客増加も見込みます。

桜島は、日帰り観光も多く、本港区の利用施設との連携した相乗効果は高いと想定されます。

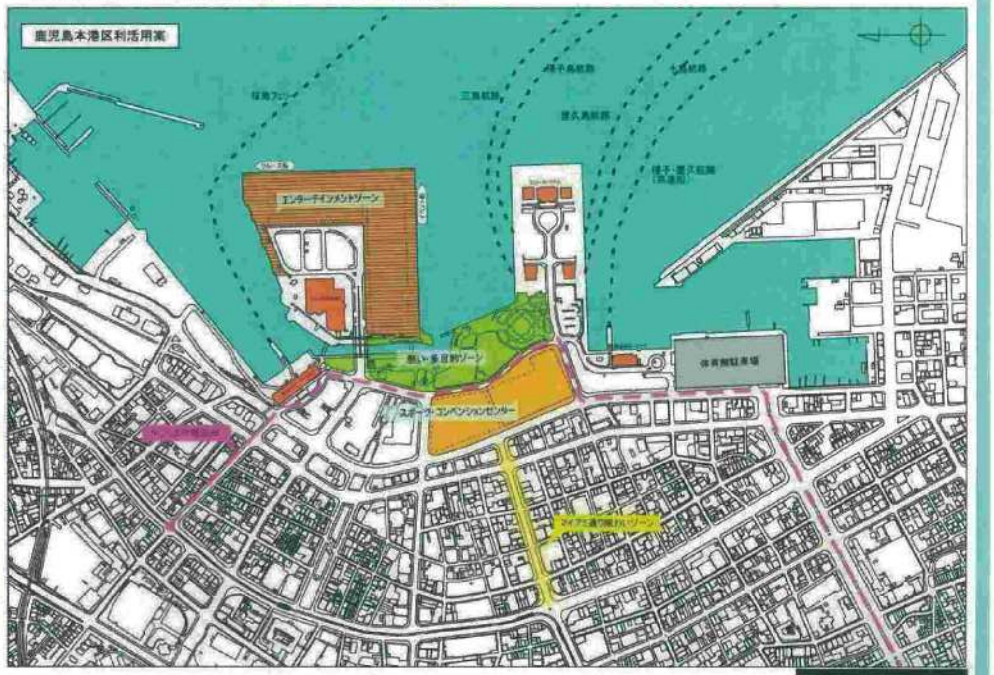


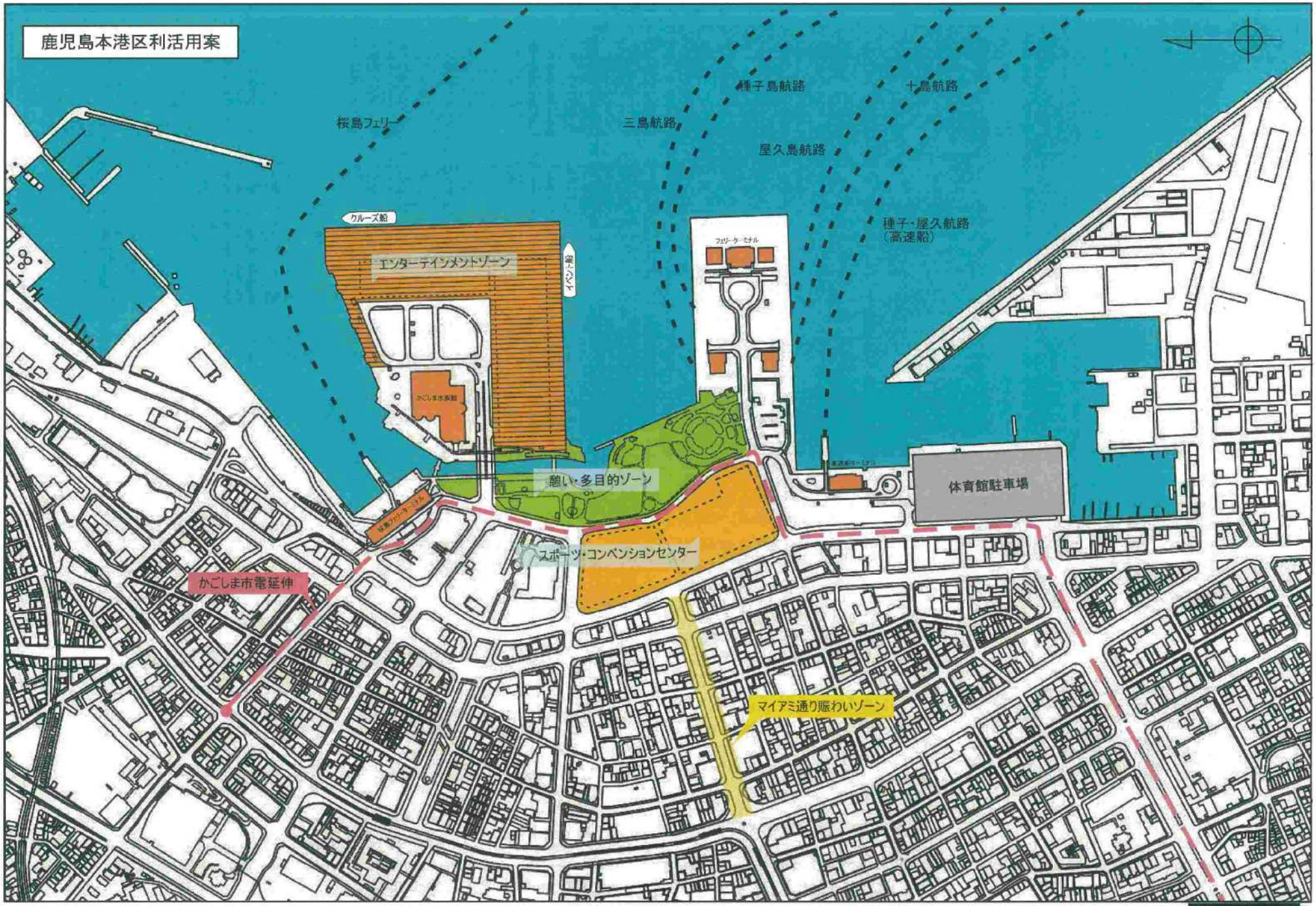
桜島フェリー



縄文杉登山観光
（屋久島）

※北埠頭の喜界・奄美航路は、別ターミナルへの移転検討必要




鹿児島本港区利活用案
桜島フェリー
三島航路
種子島航路
十島航路
屋久島航路
種子・屋久航路
（高速船）
クルーズ船
エンターテインメントゾーン
イベント広場
フェリーターミナル
かごしま水族館
憩い・多目的ゾーン
体育館駐車場
スポーツ・コンベンションセンター
かごしま市電延伸
マイアミ通り賑わいゾーン

受付No.（事務局記載欄）	152

[redacted]

①

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（[redacted]） [redacted]		住所	[redacted]	
性別	女	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・20代・30代・40代・50代・60代・70代・80代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名　　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			可　・　否		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。

※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。

※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。

※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。

※　提出された資料については，返却いたしません。

※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。

※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。

※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム（e（い一）申請）」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付No.（事務局記載欄）

[redacted]

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。 ②

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア

芝生を敷いて東屋とベンチを置き、桜島をボゥーっと眺められる公園と
キッチンカー集結させて食を楽しむ、屋台村のようエリアも作り、昼はランチ、
夜はお酒も
楽しめるようにする。
月２回位イベントできる場所も造る。
レンタル自転車を置いたり駐車場はもちろん、タクシーの待機場などがあると
県外、海外からの観光客も
楽しんでもらえると思います。
体育館では観光客は来ないと思います。

氏名 [redacted]

※任意様式に記載して頂いても構いません。

[redacted]

港湾空港課
-5.4.17
受付

受付No.（事務局記載欄）	153

[redacted]

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（[redacted]）		住所	[redacted]	
性別	男	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・30代・40代・ 50代・60代・70代・ 80代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名　　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			可　・　否		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム(e(いー)申請)」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

[redacted]

受付 No.（事務局記載欄）	153

[redacted] 2枚目

[redacted]

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

【キッズスペースを囲んだ効率化ラボ】
キッズスペースで遊ぶ子供たちを囲み、周りはカフェ・図書館・IOT機器の体験型ショールーム・デジタル技術の学び舎(DX)などが揃った施設を希望します。

子育て世帯は勉強時間を確保することが難しいです。
当施設に入館したらタブレットを配布、ブロックチェーンを活用した個人情報ウォレット(情報銀行・JASMY パーソナルデータロッカーなど)を参照し、教材・生活の知恵・漫画・絵画・音楽・動画関連など、興味関心のある資料がAIによって可視化させてくれたら、最適な学びが得られます。
同時にメタバースを通じてキッズスペースで遊ぶ子供を見守りながら、親世帯に最適な学びや、ゆとりある空間を提供できます。

スマートシティ計画やDX・GX(デジタル・グリーントランスフォーメーション)の推進に感銘を受け、興味を抱きアイデアを応募してみました。
特に、近年発達するIOT機器やAI技術などを市民に分かりやすく知ってもらう場を提供することは経済循環や生活を豊かにするきっかけとなるのではないでしょうか。
ブロックチェーンの普及や、メタバースなど市民の興味を惹くきっかけとなれたら幸いです。

港湾空港課
-5.4.17
受付

受付No.（事務局記載欄）	15

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」
応募申請書

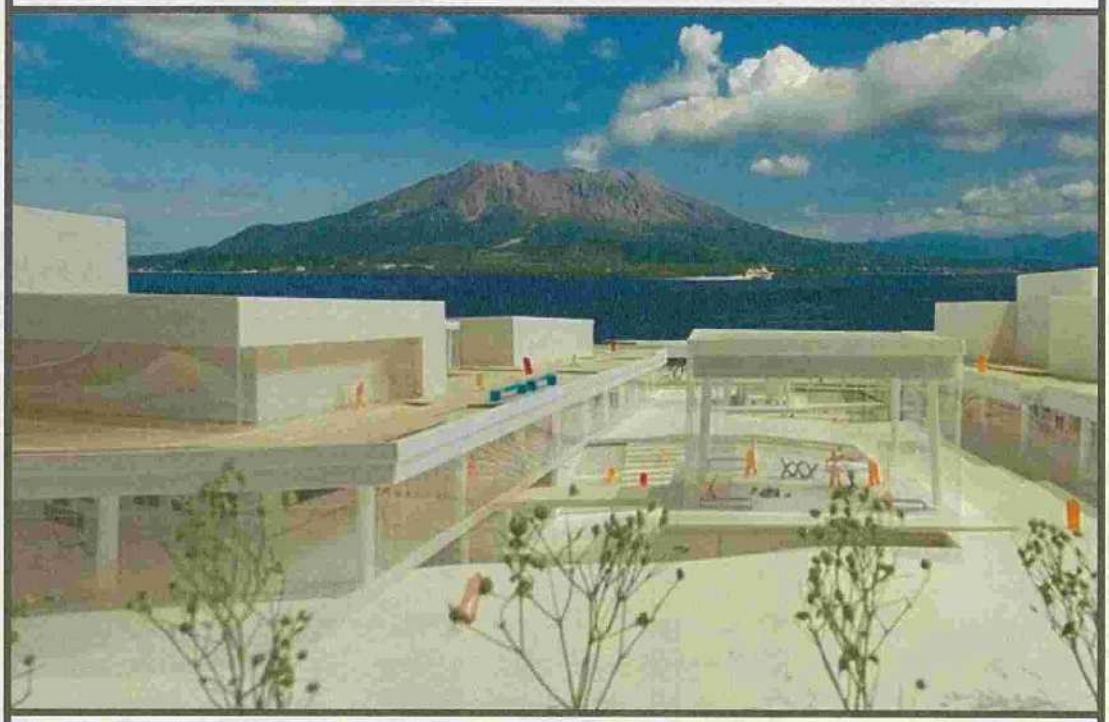
（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（カゴシマケンリツビジュツカンセツリツヲカンガエルカイ） 鹿児島県立美術館設立を考える会		住所	892-0842 鹿児島市東千石町3-45アートホール内	
性別		年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・20代・30代・40代・50代・60代・70代・80代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名 [redacted] ）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			（可）・否		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム(e(いー)申請)」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室　御中

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア・提案書



2023年4月17日

鹿児島県立美術館設立を考える会

鹿児島県美術協会　鹿児島デザイン協会
鹿児島県写真協会　鹿児島県書道会

ホームページ　Face book

桜島を眼前に、新たな可能性を広げるアート空間を構築
【鹿児島県立美術館】



■イメージ図



●新たなアート体験、海上の移動型美術館（分館／フローティング・ミュージアム）



●街側から見た美術館本館（左）と スポーツコンベンションセンター（右奥）



●海側から見た美術館本館（右）とスポーツコンベンションセンター（左）



●朝日通り × 海岸通り交差点から見た美術館本館

※模型、設計図は［久保田未映　鮫坂徹　「鹿児島市中心市街地における憩い空間の創出―鹿児島港本港区を対象として―」　日本建築学会九州支部建築デザイン発表梗概集 第3号　pp31-32　2022年3月］の発表内容から一部引用させていただきました。

■平面図

■立面図

■設計コンセプト

●鹿児島港本港区に賑わいをもたらすため、市民が日常的に利用可能な施設を計画する。
主な用途を美術館とし、鹿児島由来の美術資源を共有し、アートを学ぶことのできる場をつくる。

●アートに触れる機会を増やし、感性豊かな人材の育成につなげるとともに、人々のコミュニケーションを誘発し、新たな活動を生むきっかけをつくる。

●飲食店などの商業的機能を複合することで、美術館になじみのない人々でも訪れることができ、より多くの人々に利用されるような施設とする。

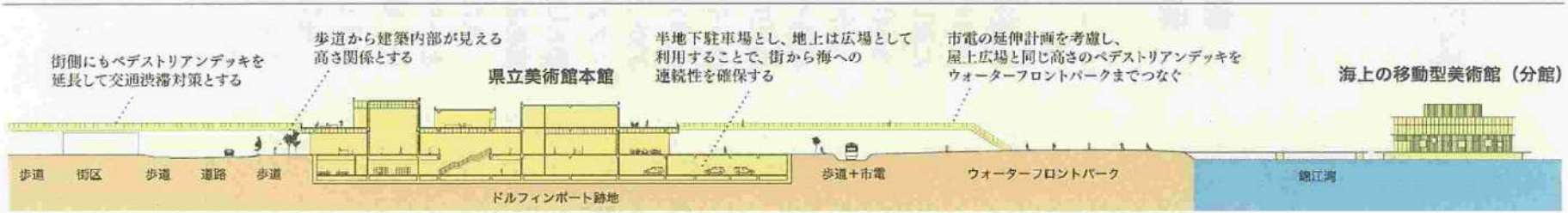
●分館として海上に移動型美術館を配置。台船上の分館を曳航することにより湾内を移動可能とする。スポーツ施設と融合する全国でも独自の存在となりうる。

●朝日通りからの桜島の景観を損なわないよう建物は大きくセットバックした配置とする。

●大きなボリュームの建築は視覚的・動線的に街と海とを分断してしまう恐れがあるため、2層以上になる部分は周辺建物のボリュームを参考にする。

●街と海をつなぐ要素として広場を取り入れる。街側に賑いが漏れ出るよう、建築を敷地の街側に計画。海側は広場にし、ウォーターフロントパークとともに屋外アート作品を設置。美術館との一体感を図る。





令和５年４月 17 日

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア・提案

鹿児島県立美術館設立を考える会

【 提案 】

鹿児島港本港区エリア（ドルフィンポート跡地）の利活用として、現在検討されているスポーツコンベンションセンターの隣接地に「鹿児島県立美術館」の設置を提案します。

【 提案理由 】

我が県は、先日、「富裕層を呼び込むモデル観光地域」として全国11地区の一つに選ばれました。このことは本県が地域力やブランド力を一層高めることにより、さらに大きな可能性を秘めていることを示したものと言えます。

今回対象となっている本港区エリアは、これまで多くの方々が評価しているように、桜島や離島に向かう人たちが利用する海上交通の結節点であると共に、雄大な桜島を間近に望むことの出来る場でもあることから、県民、市民や県外客が交流し、ゆっくりと散策をしつつ景観を楽しめる場として活かすべきエリアであると考えます。

検討委員会でも述べられているように、シビックプライドを実感する象徴的エリアがこの鹿児島港本港区であると認識しています。

ここにスポーツコンベンションセンターとともに、鹿児島を象徴する文化交流施設としての「県立美術館」を建設することにより、このシビックプライドをさらに高めることができると考えます。

また、このエリアは南九州最大の繁華街である天文館から徒歩圏内にあることから、人々が交流し憩う場があれば多くの人が回遊することが期待され、同時に、観光立県を標榜する鹿児島県としてはインバウンドを含めた県外客も楽しめる場ともなります。

施設は開放型として、来場者は美術を鑑賞しながら交流や賑わいを楽しみ、さらにウォーターフロントパークにおいて海辺と桜島を楽しむことが可能となります。施設への来場者は日常的に来訪するため、交通が集中することも少ないと考えられます。

我々鹿児島県立美術館設立を考える会が「デザイン百覧会」や「トークイベント」において、参加者に美術館設置の場所としてどこが相応しいかを市内中心部地図上に求めたところ、圧倒的にドルフィンポート跡地が相応しいとされました。

このエリアにスポーツコンベンションセンターと「県立美術館」が併設されることによって、それぞれの利用者の回遊性が生まれ、利用者間の活発な交流が行われる等の複合効果が期待されます。スポーツコンベンション施設を活用して、これまでになかった本格的な大型美術展が開催されれば、より大きな相乗効果が得られることでしょう。

ウォーターフロントパークの維持でそれぞれの利用者に憩いの場が提供され、ここに屋外型のアート作品を並べることで美術館との一体感が生まれます。また子供たちが遊べるアート作品も点在させることにより、子育て世代も共に楽しめる空間となります。

さらに、ウォーターフロントパークに接岸する海上美術館は、タグボートで曳航することで錦江湾内を移動して、広域の展示会開催を可能とします。

隣接するスポーツコンベンションセンターの 20m 超の壁面を活用し、プロジェクションマッピングによる芸術空間を演出します。

【 期待される効果 】

鹿児島本港区エリアに計画されているスポーツコンベンションセンターの隣接地に「県立美術館」を設立することによって次の効果が期待されます。

●鹿児島本港区の持つシビックプライドの価値をさらに高める

鹿児島市中心部の貴重な親水エリアを文化拠点として位置づけ、より魅力をアップさせます。

●鹿児島の文化力を高めると共に、ブランド力を高める

美術館の持つ文化力が地域のブランド力としての魅力発信につながります。

●天文館、中央駅地区から回遊する憩いの場の提供

商業施設利用者や、旅行者に一時の憩いを楽しむ場を提供します。

●県内外及びインバウンドの人的交流を促進させる

スポーツ・文化の拠点として多くの人が交流する場となります。

●美術芸術の学びの場の提供

子供はもちろんのこと経済人を含めた社会人全般の学びの場となります。

●鹿児島のアート振興に貢献する

美術芸術の拠点として県全体のアートの振興を促進させる場となります。

●スポーツコンベンションセンターとの複合利用が可能となる

コンベンションセンターのホールを活用して、企画展を開催することができます。

●スポーツ振興とアート振興の複合効果による県民の健康福祉に貢献する

身体的充実と精神面の安定充実が図られ、健康福祉の増進につながります。

●美術館の利用客による経済波及効果が期待される

魅力ある美術館には多くの県内外客が訪れ、経済波及効果がもたらされます。

以上

県民アンケートにおいても
県立美術館の設置場所は「ドルフィンポート跡地」の希望が圧倒的でした。

2023年2月17日（金）～19日（日）開催の鹿児島デザインフェア「デザイン百覧会」設営ブースにおいて「シールアンケート」を実施









赤いカラーシールを貼っていただきましたが、
ドルフィンポート跡地に集中しています。

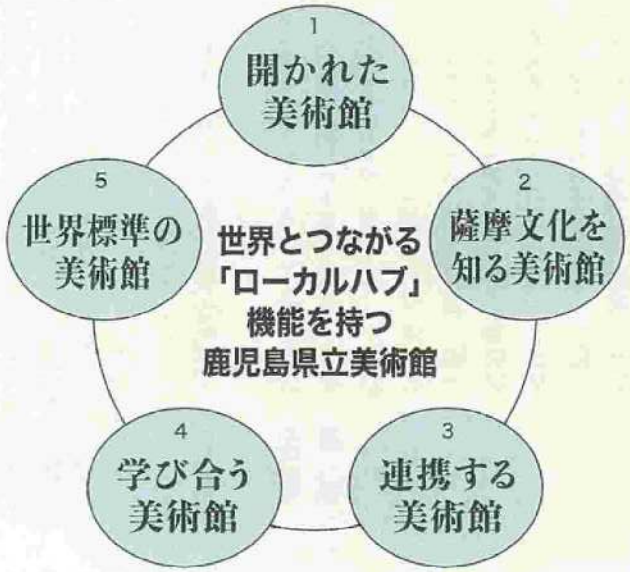
鹿児島県立美術館設立を考える会が提案する
鹿児島県立美術館・5つのコンセプト

●「博物館の父」町田久成から、松方幸次郎「共楽美術館」への夢

第25代島津重豪は隠居後、江戸高輪に博物館の先駆けともいえる「聚珍宝庫」を設け、国内外の珍品を収集していました。また薩摩藩英国留学生であった町田久成は明治5(1872)年、東京で日本初の博覧会を開催。博覧会は「人の知見を広むる」ため「天造人工の別なく宇内の産物」であるとし、「博物館」と称したこの施設がのちの東京国立博物館の礎となります。

昭和初期には鹿児島出身の実業家、松方幸次郎が「日本人に本物の美術を見せたい」とヨーロッパで約1万点の美術品を買い集めましたが、大戦の荒波に翻弄され多くは散逸。しかし約60年前、フランスに保管されていたコレクションが返還され、現在の国立西洋美術館が誕生しました。松方は(共=みんなが共に、楽=楽しめる)「共楽美術館」を思い描いていたのです。

郷土の先達が描いた夢のその先を令和の今、5つのコンセプトを掲げた「シン・美術館」構想に繋げ、美術館を核とした地域の文化力向上で、さらなる経済観光面の活力創出を目指します。



① 開かれた美術館

- 県民や観光客が文化に触れ、経済(周遊や鹿児島ブランド力アップ等)にも波及することによる幸福度の最大化が目標
- 交通至便の立地で、誰もがいつでも感動と出会えるノーマライゼーションの美術館
- 地域の文化力向上による地域経済活力の創出
- 作家と観覧者が繋がる場、そのための施設や仕様
(講演会場や観賞後集い語れるレストラン、 鑑賞を深めるための図書館、感動を持ち帰れるミュージアムショップの充実や商品開発)

②「薩摩」=文武の国を発信する美術館

- 国内外来訪者への文化発信の拠点であり、同時に県民にも誇りとなる文化確認の場
- その内容は薩摩、鹿児島が誇る「江戸期から現代に至る地元ならではの美術・工芸」など文化資源の系統展示を中心にキュレーションし発信(テーマは薩摩の文化アイコンであるサムライ、竹、鷹、黒、和洋融合、神話、田の神信仰など)

③ 連携する美術館

- 開館時は新規にコレクションは購入せず、 県内の公私美術館との連携による移管(特に黎明館収蔵品)や貸借、 美術品の寄贈や寄託の受け皿としても機能
- 県内外ミュージアムとの差別化を図りつつ、 強固な連携と協働
- ICOMやアーツカウンシルネットワークとの連携をはかり、常に運営方法を進化させ更新

④ 学び合う美術館

- 誰でも気軽に体験できるアトリエや、年齢・性別・国籍を問わない学びのシステム
- 県民への全人教育として、創造する技術だけでなく"観る"技術向上が促される仕組み
- 経済人もアートを通した創造性を学べる場に
- 県公の美術館として、出張ワークショップや作家マネジメントなど美術振興の牽引役に

⑤ 世界標準の美術館

- 大型展覧会が呼べ、多様な作家の表現に対応するフレキシブルな設備や保管庫の充実
- 建築のみでも魅せ、国内外の方々にヒットする唯一無二の建物(威容を誇る必要はない)
- 単独の施設を理想とするが、周遊性を鑑み、景観を活かしたコンベンション施設やホール等との複合、一番新しい県立美術館としてSDGs仕様の可能性も追求

鹿児島県立美術館設立を考える会

会　長　宮永　祥子（現代美術作家）
副会長　塩津　洋一（鹿児島デザイン協会 副理事長）
委　員　久保　満義（鹿児島県美術協会会長）
　　村上　光明（鹿児島県写真協会会長）
　　上野　一範（鹿児島県書道会会長）
　　池川　　直（鹿児島大学教育学部教授）
　　東條新一郎（日本美術家連盟会員）
　　月野　浩二（日本ペンクラブ会員）
　　きはらごう（画家）
　　鯵坂　　徹（元鹿児島大学建築学プログラム 教授）
顧　問　島津　公保（島津興業取締役相談役）
事務局長　延時　秀一（鹿児島県美術協会事務局長）

鹿児島県美術協会
鹿児島デザイン協会
鹿児島県写真協会
鹿児島県書道会

892-0842 鹿児島市東千石町 3-45 アートホール内 [redacted]

提案書作成協力
鯵坂　徹（元鹿児島大学建築学プログラム 教授）
※模型、設計図は［久保田未咲　鯵坂徹「鹿児島市中心市街地における賑い空間の創出 ―鹿児島港本港区を対象として―」日本建築学会九州支部建築デザイン発表梗概集 第3号 pp31-32 2022年3月］の発表内容から一部引用させていただきました。

港湾空港課
-5.4.17
受付

受付No.（事務局記載欄）	155

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」
応募申請書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（[redacted]）		住所	[redacted]	
性別	女	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・30代・40代・ 50代・60代・70代・ 80代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名　　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			可　・　否		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム(e(いー)申請)」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付No.（事務局記載欄）	

『鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア』

応募様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

先日、鹿児島市、県の市民意見箱に「鹿児島市の川の近くにカヌースプリントの艇庫を検討して頂けないでしょうか？」と意見させて頂きました[redacted]と申します。

今回鹿児島港本港区エリアの利活用アイディアの一つの案と致しまして、「海に関するフェスやマルシェ等のイベントで収益、かつ収容の見込めるスペースとして利活用できないでしょうか？」と考えています。

また私事で申し訳ないのですが、鹿児島市では毎年カヌー協会の方々がカヌーリレーやカヌー体験会を実施しております。

もし海の活用スペースもあるのであれば、鹿児島市にある艇を保管できる倉庫やカヌー教室ができるスペースがあればスポーツ推進や青少年育成に繋がるのでは、と思っています。

サッカースタジアムだとサッカーだけになってしまいますので、鹿児島の良さをアピールできる、様々な業種の方がイベントとして活用できる場となれば活用もですし、経済効果を見込めるのではと考えています。

※任意様式に記載して頂いても構いません。

港湾空港課
-5.4.17
受付

受付No.（事務局記載欄）	156

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」
応募申請書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	かごしま本港区を 楽しい場所にする会 ナガイマ　サヒコ 代表）　永井正彦		住所	鹿児島市名山町１０－４	
性別	男	年代 （○で囲む）	60代	電話 番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名永井正彦　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			可　・　否		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム(e(いー)申請)」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付No.（事務局記載欄）	

「鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア」
応募様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

さまざまな街づくりの専門家や多くの方々の意見がある中で、私自身、当該地区背後の地域で育ち、過去にも長く街づくりの活動（*注釈1）をしてきた事、また、趣味で国内外を旅してきた経験からDP跡地には、「スポーツコンベンションセンター建設条件付き容認派」として市民団体の代表をしております。（*注釈2）

今回の意見と提案です。

提案）

①当該地区を最大のコストパフォーマンスを引き出せる場所とする。

②地域間競争に勝つ要素を取り入れた場所とする。

★具体的提案★

今の緑地帯には県の計画にあるコンベンションセンター以外、建物いわゆる「箱モノ」は作らない。**内陸部に蛇行した小運河（キャナル）を錦江湾から導く**。

世界の有名な観光地でもあるバリアフリーでユニバーサルツーリズムに合致した要素を取りいれたものにし、最大のコストパフォーマンス（*注釈3）を考える。その際、鹿児島の立ち位置や現状と将来を考え、身の丈に合った事、ものを考えたうえで様々なもの事を検討する。

鹿児島の優位なポテンシャルである景観・人の温かみ・食材・大自然・温泉・静水海域・歴史（ヨーロッパの科学技術をいち早く取りいれ産業をおこすなどの歴史）を考え、この地に活かしていくものとする。

小運河では、桜島を正面に観、多くの人がこの場所に来てみたい、SNS、インスタ等で発信したいという気持ちにさせる。またリピーターを産み出すためにも思い出の場所にする。

★例えば、海面のフロントを横一線とするような旧来型のウオーターフロントではなく、沢山の人も背景と重なり「人が人を見て集まりたくなる」仕掛けを作る。運河には小さくてもいいので砂浜ゾーンを造る、そこでEARTHING（アーシング）や足湯も楽しめるものとする。そして、ダイバーシティを実感できる場所にする。

本港区にある桜島フェリーを訪れる人数は、鹿児島県で一番であることや市街地中心地繁華街、また最近では背後地区である名山掘はメディアに注目されています。

小運河（キャナル）で本港区からの人の導線や回遊性もでてきて地域間競争にも優れた場所になるものと考えます。

また、国外の方へ眼を向けた時に鹿児島空港に降り立つ方を想定した場合でも、上海、台北、香港、ソウルの4都市間の直行便運行や東京（羽田）に行く距離や時間とほぼ変わらないことから、いいもの楽しいもの他の都市にないものがあれば大きなチャンスをもてるのが鹿児島であり、鹿児島本港に多くの方に喜ばれる**ユニバーサルデザイン**を描くためにも**「内陸部に蛇行した小運河（キャナル）を錦江湾から導く」**ようにしてもらいたい。

注釈１）

街づくりの活動について、約30数年前からの鹿児島本港区と背後地区周辺での活動記事を提出します。

★印の８つはご覧いただければ光栄です。

他は、自己満足な記事もありますので、どうぞ、お時間許す時にご覧ください。

下記番号は時系列で資料PDFの新聞紙面コピーの上にナンバーリングしております。

③ 1996年平成８年　　７月９日
④ 1996年平成８年　　６月５日
⑤ 1996年平成８年　　２月16日
⑥ 1995年平成７年　　10月１日
★⑦ 1995年平成７年　　７月23日
⑧ 1995年平成７年　　７月18日
★⑨ 1994年平成６年５月20日
⑩ 1993年平成５年　　３月28日
★⑪ 1992年平成４年　　11月８日
⑫ 1992年平成４年　　５月28日
★⑬ 1992年平成４年　　４月12日
★⑭ 1992年平成４年　　４月11日
★⑮ 1992年平成４年　　３月11日
⑯ 1991年平成３年　　12月４日
★⑰ 1991年平成３年　　７月23日
⑱ 1991年平成３年　　２月19日
⑲ 1991年平成３年　　２月８日

★　表彰状

注釈２）

市民団体で「スポーツコンベンションセンター建設」条件付き容認派の活動

南日本新聞記事

①　2022年　令和４年　11月10日
②　2022年　令和４年　10月27日
★　2023年　令和５年　４月16日　名山町通り会総会にて今回の提案である
「内陸部に蛇行した小運河（キャナル）を錦江湾から導く」は、堀之内繁会長ほか会員からも好評でありました。

注釈３）

桜島の噴火の負の報道などは逆転の発想でお金のかからないアイデアとして、
鹿児島本港区に来た方々が噴煙の高さを自身の顔姿と一緒に特定ポイント地点で写真を撮る。
噴煙高さに応じて、市中心街区での飲食買い物に割引を加盟協賛店で恩恵を受けられるようにする。

蛇行した小運河（キャナル）は、特定の日のイベント開催でなくてもスポーツコンベンションセンターに陳列されるであろう県産物が大量な輸出にもつながる可能性から、「箱モノ」だけではない新しいプレゼンの場とする事など。県財政的にも優位となるコストパフォーマンスの高いアイデアの一例として取り入れて欲しい。

★　地元愛をこめたプレゼンへどうぞよろしくお願いいたします。

表彰状

上町街づくりの会殿

貴会は多年にわたり鹿島港本港区の
清掃美化活動に取り組まれその功績は
顕著であり他の範となるものがあります
よって第十五回港の記念日にあたり
これを表彰します

平成七年七月二十日

運輸省第四港湾建設局
局長　石田省三

157

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを募集します！(アイディアを直接入力できる専用ページです。)

港湾空港課
-5.4.17
受付

受付番号:9723288
申請日:令和05年04月17日

番号	項目名	入力内容
1	応募者名(個人または団体)	[redacted]
2	応募者名(ふりがな)	[redacted]
3	住所	[redacted]
4	性別	女
5	年代	50代
6	電話番号	[redacted]
7	プレゼンテーション参加の可否	可
8	以下にアイディアを記入してください。	『SOHOタウン』&にぎわいマルシェ 1、目的 鹿児島のシンボル桜島が見える場所で、Uターン、Iターン希望者に起業の場を提供し、マルシェに集まるお客様との交流を通して事業を軌道に乗せ、県内各地で本拠地を構えるための『巣立ち』を支援する。 2、提案のきっかけ 鹿児島で育った月日よりも他所での時間が長くなったものの、故郷への想いは歳を重ねるごとに増しています。 移住するにも、仕事や住む場所など短期間で決定できるものでも無く、近年他市町村で問題になっている『移住のミスマッチ』問題もあり、単純に移住やUターンを勧めるだけでは定着につながらないと思いました。 また、帰省の度に同港湾地区から眺める桜島に癒されていますが、ゆっくり景観を眺めて過ごせる設備にはなっていないことが気になっていました。 この地区に県内外から人を呼び、県内の農産物や伝統産業の生産者によるマルシェも併設することで、移住者やお客様との交流会を深め、スタートアップ、移住の定着を計れたらと思い提案します。 3、提案内容 (1)スタートアップを目的としたSOHO ・将来的に県内に定住をする ・SOHO入居から3年を目処に事業を軌道に乗せ、定住地となる県内各地へ移動する。 ・定住先の市町村、商工会と連携し、空き家バンクを利用する等、定住先の活性化のために活動する。 (2)にぎわいマルシェの開催 定期的にマルシェを開催して人を呼びこみ、SOHOの活動も目に入るように

9	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
10	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
11	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
12	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	

『SOHO タウン』&にぎわいマルシェ

1、目的
鹿児島のシンボル桜島が見える場所で、U ターン、I ターン希望者に起業の場を提供し、マルシェに集まるお客様との交流を通して事業を軌道に乗せ、県内各地で本拠地を構えるための『巣立ち』を支援する。

2、提案のきっかけ
鹿児島で育った月日よりも他所での時間が長くなったものの、故郷への想いは歳を重ねるごとに増しています。
移住するにも、仕事や住む場所など短期間で決定できるものでも無く、近年他市町村で問題になっている『移住のミスマッチ』問題もあり、単純に移住や U ターンを勧めるだけでは定着につながらないと思いました。
また、帰省の度に同港湾地区から眺める桜島に癒されていますが、ゆっくり景観を眺めて過ごせる設備にはなっていないことが気になっていました。

この地区に県内外から人を呼び、県内の農産物や伝統産業の生産者によるマルシェも併設することで、移住者やお客様との交流会を深め、スタートアップ、移住の定着を計れたらと思い提案します。

3、提案内容
(1)スタートアップを目的とした SOHO
・将来的に県内に定住をする
・SOHO 入居から 3 年を目処に事業を軌道に乗せ、定住地となる県内各地へ移動する。
・定住先の市町村、商工会と連携し、空き家バンクを利用する等、定住先の活性化のために活動する。

(2)にぎわいマルシェの開催
定期的にマルシェを開催して人を呼びこみ、SOHO の活動も目に入るようにする。
マルシェは農産物に限らず、伝統産業、各種ワークショップ、ドッグランなど、多目的に利用できる場所とする。

4、最後に
私自身、全く事業に携わったことはありませんが、私と同じように『何かはじめたい』と思う方も多くいらっしゃると思います。
しかし、その方法手段から手探りの方に、何かしらの希望やヒントとなるような事業を行政からバックアップしてもらえたら心強いと思います。
鹿児島らしい素晴らしい桜島の景色を眺めながら、新たなスタートの一歩を踏み出せる、そんな希望のある場所になったらいいなと思います。

158

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを募集します！(アイディアを直接入力できる専用ページです。)

港湾空港課
-5.4.17
受付

受付番号:9723442
申請日:令和05年04月17日

番号	項目名	入力内容
1	応募者名(個人または団体)	[redacted]
2	応募者名(ふりがな)	[redacted]
3	住所	[redacted]
4	性別	男
5	年代	20代
6	電話番号	[redacted]
7	プレゼンテーション参加の可否	否
8	以下にアイディアを記入してください。	(ドルフィンポート跡地の利活用について) 現在、様々な議論がなされていますが、施設としては県体育館が妥当だと思います。交通アクセス、敷地面積を考慮するとこの場所が最適ではないかと思います。また、高層のものでなければ、港と桜島を望む景観の阻害にもなりません。付帯する駐車場の確保も十分できると思います。 (北埠頭の利活用について) かつては、種子屋久航路、沖縄航路が発着し、活気があった場所ですが、移転や撤退に伴い、喜界・奄美航路のみが一日一本程度の発着しかなくなり、せっかく充実した設備の半分も使っていない状況になっています。この場所こそ、桜島フェリー乗り場やかごしま水族館との回遊性を持たせた観光施設を作るべきだと思います。 施設としては、かつてのドルフィンポートに似たようなものでかつ、宿泊施設も付帯させた施設を提案致します。なお、喜界・奄美航路は北埠頭南側に発着させ、規模に見合った施設を再整備することが良いかと思います。 (住吉町15番街区について) この場所を整備するのであれば、鹿児島市が計画しているサッカースタジアムが妥当だと思います。しかしながら、スタジアムを作るほどの稼働日数と効果が期待できるのかは疑問が残ります。既存施設でも活用できるのであればその方がいいと思います。多額の建設費を割いて無駄になってしまっては全く意味がないのです。サッカースタジアムについてはもっと議論しなければならないと思います。
9	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
10	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	

11	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
12	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	

159

No.

Date



2023年4月

鹿児島県土木部港湾空港課
本港区まちづくり推進室

[redacted]

再開発のグランドデザインに対するアイデア意見について

はじめに
提案者の私は、自分の考えを文章で書いたりすることは、大変苦手でございます。
簡単すぎて、分かりにくいと思います。よろしくお願い致します。
案は、これまでの人生の中で、驚いたり、感動しましたことが、基となっております。
意見をするにあたり、市立図書館の港湾図や雑誌などを参考に、致しました。

(例)
・若いとき初めて東京空港の通路で、水平型エスカレーターに乗り移動したとき
・瀬戸大橋をバスで渡っているときに・地元の人より「300年もつ橋」と知らされたとき

しかし、大変驚いたり、感動したりしました、一方、同時に文明の利器の差も感じてしまいました。

さらに、提案の発端としましては、県政、市政がこの課題に対しまして、長年、御苦労されているとの思いが、あるからです。

No. 1

Date

グランドデザインに対するアイデアについて

1. 年間365日見飽きない視点の形成について
当県は、東京や海外にない持ち味に新しい物を組み合わせては、いかがでしょうか。

・リゾートアイランドパーク（人工島）宿泊施設など

・スポットライトライター（モノレール）など

別紙
簡単なアイデアの図を書きました。

2. 景観への配慮について
見える形で景観への配慮が必要だと思います。

3. 中心市街地と連携について
モノレール的な乗り物の開拓が必要に思います。

中央駅から人工島まで、数分、そしてドルフィンポート、天門館
中央駅を左回りで、40分程度で周回するとしますと
4便で約10分おきに、中央駅を発車することが
できるように思います。

No. 3

Date

の利用
スタジアムについて
・エナイテッドのホーム試合を行う
その他の競技
・女子 ソフトボール 2面
・スノーボード
・ソフトテニス、硬式テニス 18面以上
・ラグビー
・クライミング

などの県大会、国内リーグ、国際大会（親善大会を含む）

プラザパビリオン的なビルのレストラン最上階と足湯について

まず最上階のレストランは、フロアを2つに分けたら、4つになります。
東西南北の地域によるブランド品で活躍される場所になるのではないでしょうか。
予約制で、ランチとディナーを2回転づつ4回は、できると思います。

足湯のフロアーについて
・4つのフロア
・コーヒーやケーキ、スイーツなどの店あり
・お湯の高さ足首まで
・1人用、2人用、4~6人用1つのフロア200程度
・すべて予約制

倉庫について
・ソフトボール・スノーボード テニスなどの必要な道具入れ
・フラワーガーデンやその他の備品の収納

No. 4

Date

運営も・合わ技の一つになると思います。

1、専用駐車場は作らない。専用駐車場はありませんとはっきりした方が良いと思います。

2、入場者は、予約制によって、管理調整されるべきと思っております。

3、予約は、県民枠、県外枠、海外枠によって調整され団体様や修学旅行、パッケージツアーなどは、最優先されるべきものと、思っております。

4、県民の入場料は、年1～2回無料にされても良いのでは、と思います。

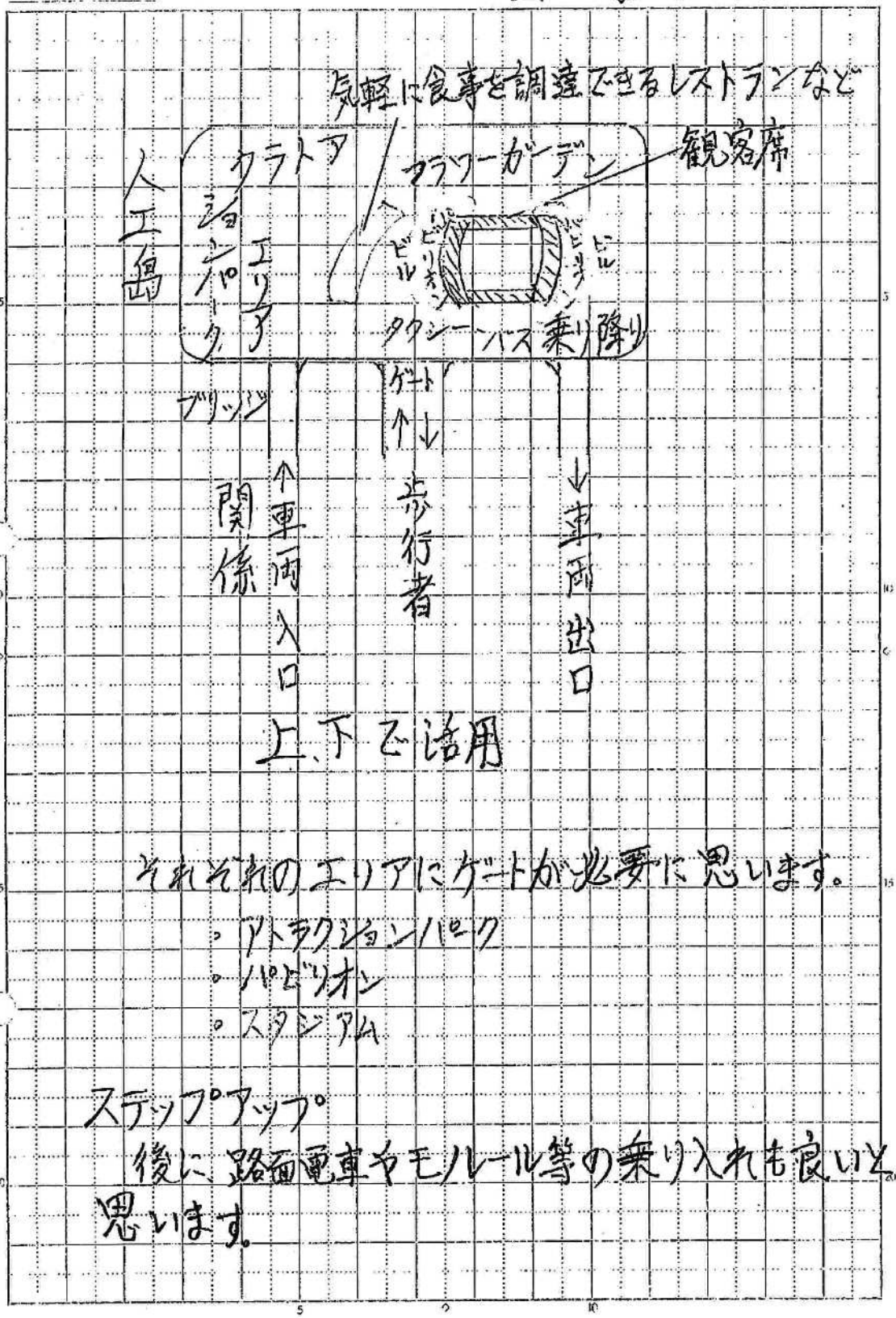
その他
ほぼ、すべての階に50～100人の会議室が必要と思います。

合わせ技に
アミューズメントパークは、必要不可欠と思います。
・アトラクションは、本県の景観に合うもの
・子供達の乗り物、アトラクション
、家族愛が、深まるようなアトラクション など

おわりに、
鹿児島大学は、暮らしや経済に必要な学部が
全てそろうと思っております。
鹿大も含めた施工　管理、運営に関われる
体制が継続した発展に寄与するのではと思って
おります。
甲南卒の赤崎勇さんや鹿大卒の稲森和夫さんの
ような方が、多くさん育つような思いがします。
簡単なアイデアまた、乱文に、なってしまいました。

2人上

アイデアに対するイメージ図を書き添えました。 6



港湾空港課
-5.4.17
受付

受付No.（事務局記載欄）	160

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」

応募申請書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（ [redacted] ）		住所	[redacted]	
性別	女	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・30代・40代・ 50代・60代・70代・ 80代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名　　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			可　・　否		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム(e(いー)申請)」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付 No.（事務局記載欄）	

「鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア」

応募様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

ドルフィンポート跡地には、複合型の県立美術館を建てることが必要だと考えます。私は現在高校生です。高校生の立場から言うと、鹿児島県に来た修学旅行生を見かけると、鹿児島に何しに来たんだろうと思います。しかしよく考えてみると歴史的建造物や場所を見て学ぶという価値の大切さ、景色の美しさ、澄んだ空気は他では味わうことができないと思います。自分が思っているよりも鹿児島は魅力に溢れていると感じました。

私は桜島を描くためにドルフィンポート跡地付近に行き、桜島を描写しました。そこには桜島よりも何よりも涙が出てくる光景がありました。草が茂っていて、緑がいっぱいになっていて、そこには、疲れ果てたサラリーマンが黒い革の鞄を地面に置き、空を見ながら座っていたり、母がベビーカーを押しながら笑いあう親子の姿や追いかけあう娘と父、犬の散歩をする人などたくさんの人が集い自分の時間を楽しんでいました。どこよりも平和があふれていました。私はこの光景を見て、この緑と笑顔と場所を守りたいと強く思いました。

ドルフィンポートは複合型施設でしたが、デッキのようなデザインになっており広く開けていて景観が一望できました。あの場所はまさに私たちがひと息つける場所、疲れた時に行きたい場所でした。そこに景観と私たちの本当に求めるものを妨げる建物ができていいのか。そこで自分の時間を過ごしていたあの人たちは行き場を失います。

ドルフィンポート跡地は何より交通の便がいいです。バスでも市電でも立ち寄ることができます。本旗館のついでやマクドナルドでご飯を食べたついでにも行き立ち寄れます。そこからバスで中央駅にもいけます。

私は提案します。託児所があり、ドルフィンポートのようにカフェや個々の店が複合され、イベント用にも使えるスペースがあったりして、公園が周りに広がる県立美術館を建てることをです。自分が周りの人を気にかけながら過ごすことは心苦しいことでそれを無くしたいです。また、美術館では静かにしなければならないという風潮を無くしたいです。美術館は美術品を飾る、展示するという目的だけではありません。人とものそして周りの人を繋ぎ、その素晴らしさも感じ、自分にしか感じられない美を感じ自分のものにすることができます。私たちの生活にヒントを与えてくれます。前に修学旅行で金沢21世紀美術館を訪れたことがあります。そこはまさに公園とカフェと店と開けた美術館とが複合され、老若男女問わず集い、自分の時間を楽しんでいました。

①

※任意様式に記載して頂いても構いません。

若者は決して広くて大きなショッピングモールや遊戯場は求めていません。
(あったら楽しいですが) 何にも目的なしに行って楽しい場所が欲しいのです。
例えば、デートどこ行く？じゃあドルフィンポート跡地(仮)にとりあえず行って
決めるかみたいな感じの場所が欲しいのです。あの場所にしかできないこと
は、とりあえずを作ることができることです。バスに乗って電車に乗って行き、
公園もあれば美術館で企画展や美術に触れてその人との思い出ブラス
その時見た美術品を自分の思い出にでき、個々のちょっとした店があり、
開けた景色を一望し、見慣れた桜島を見て今日もいつもと変わらないと思う
それはとっておきの場所です。金沢21世紀美術館もとりあえずそこに集合して
ぶらぶら歩いて中の企画展も見ようということができる場所でした。
以上のことを要約すると鹿児島には歴史的建造物が多くあり、自然も豊かで、
多くの人が暮らし、多くの人が観光に来ます。そのいつもと変わらない鹿児島の
暮らしの中にあの場所に美術館を建てることはより生活を豊かにし、私たち
の心も豊かになります。
鹿児島には県立美術館が存在しません。他の県は存在しています。なぜないのでしょうか。
必要としている人はたくさんいます。美術は世代を超えます。美術は私たちの心を
救います。私たちは誰かに何かに助けて欲しいのです。それを満たしてくれるのが
美術という存在です。
県立美術館が必要なのです。
わたしたちが本当にあの場所に必要とするものはなんでしょうか。

②

港湾空港課
-5.4.17
受付

受付No.（事務局記載欄）	161

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」
応募申請書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（[redacted]） [redacted]		住所	[redacted]	
性別	男	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・30代・40代・ 50代・60代・70代・ 80代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名　　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）	可　・　否				

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム(e(いー)申請)」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付No.（事務局記載欄）	

「鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア」
応募用紙

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

（※この提案はいち市民が理想だけを羅列しております。都市計画などの法令等は考慮しておりません。ご了承ください。）

○鹿児島県内はもとより全国そして世界から集まる交通の拠点「ハブ」としての本港区
人はもともと集まる場所　本港区全体を大きな駅として考える

現状の本港区は新港を含め県内県外各島へ行く、フェリーのターミナルが数か所ある。世界遺産屋久島や種子島、奄美ほか魅力ある島への観光のために各乗り場にめがけ天文館方面からキャリーケースをゴロゴロ引っ張りながら歩いてくる人々や外国の方も多く見かけます。

○「海の玄関」としてここにもう一つ中央駅をつくるイメージ
桜島と海岸というロケーションを最大限に生かす

インバウンドを含め、ひとが集まる環境は充分あると考えるので、後はひとが留まる、そして時間を有効に使える施設をつくったらよいかと考えます。例えば中央駅とその界隈のようなイメージかと思います。各船乗り場水族館などに続くコンコース、鹿児島の特産など販売する店舗、地元の人々も利用できる地場中心のレストラン街、ホテルも併設すればお酒を提供する店も複数あってもよいかとおもいます。桜島の風景を織り交ぜた噴水ショーなどイベントスペースが人がより集まるかと。
ウォーターフロントパークはそのままいかす。タータンゴムトラックなど設置してスポーツと憩いの場として利用できるようにする。（スポーツコンベンションセンターは、かんまちあとベイサイドの店々の土地を開発されてみては…）
範囲を拡大してサイクリングロードの整備もできたらよいと思います。(仙厳園～鴨池とか）県内もとより県外、海外からも遊びに来てもらえるようなワクワクすような設備づくりを。

※任意様式に記載して頂いても構いません。

受付No.（事務局記載欄）	

『鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア』
応募用紙

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

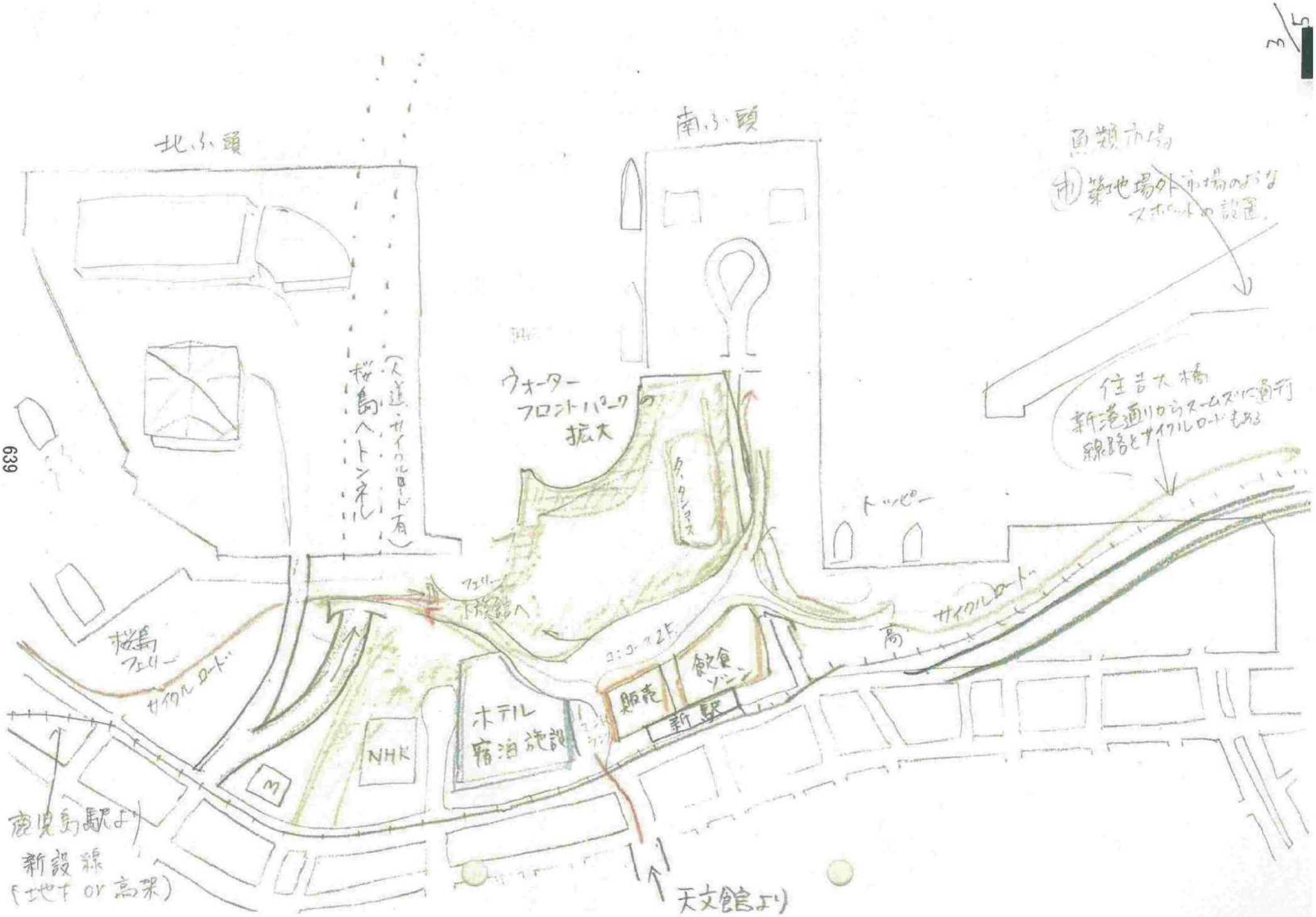
○大きな意味で交通の拠点に

インバウンドや県外からは多くの人が飛行機で鹿児島空港を利用するのだと思いますが、鹿児島市へはバスが頻繁に運行しているとはいえ、交通状況など不安になる場合が少なからずあると思います。
空港から直通の鉄道が通っていると利便性が違うかと思います。素人のイメージですが、JR肥薩線、日豊本線を利用して空港鉄道を新設できないでしょうか。空港駅から日当山駅に線路を接続、隼人、加治木、姶良を経由して鹿児島駅に、鹿児島駅から線路新設して本港区駅、その先に新港駅など…利便性は全く違うと思います。利用したひとが評価してより利用者、観光者か増えると想像します。
（鹿児島駅から市電を水族館→本港区→新港→与次郎→鴨池に繋げるのもあるのか）

○本港区から始まる桜島トンネル

桜島フェリーとの兼ね合いを考えながらも本港区から桜島への海底トンネルの考えていただきたいです。桜島側、大隅側の施設にももっと気軽に行けるよう、観光にもより便利になるとおもいます。災害時の避難経路を増やすという意味でも有意義だとかんがえます。
東西道路から湾岸の道路を接続、さらにこの桜島トンネルと接続すれば市内の交通はよりスムーズになると思います。

※任意様式に記載して頂いても構いません。

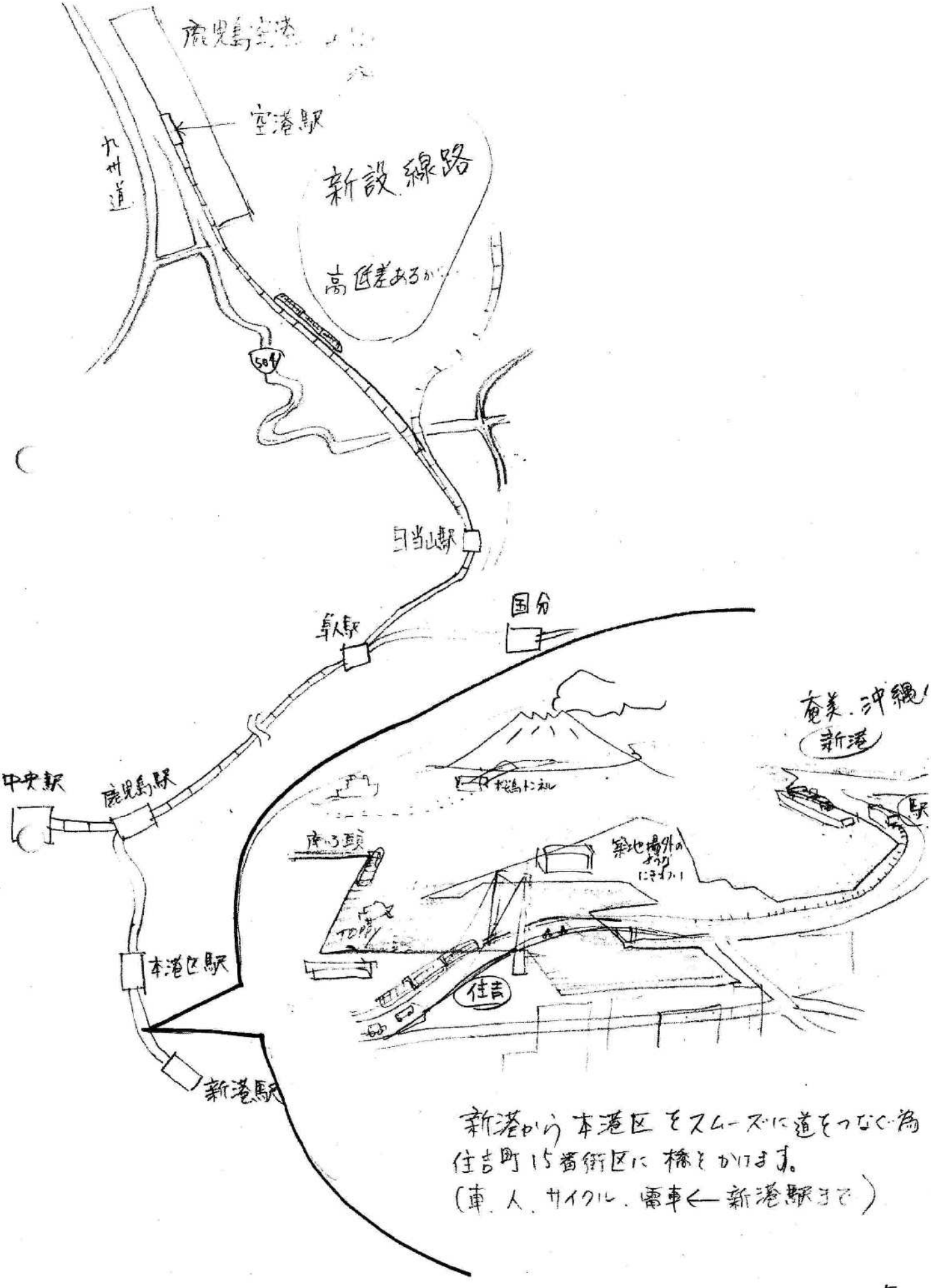

北ふ頭
南ふ頭
魚類市場
(仮)築地場外市場のような
スポットの設置
桜島へトンネル
(人道・サイクルロード有)
ウォーター
フロントパーク
拡大
住吉大橋
新港通りからスムーズに通行
線路とサイクルロードもある
トッピー
フェリー
下船路へ
桜島
フェリー
サイクルロード
サイクルロード
高
販売
飲食
ゾーン
新駅
ホテル
宿泊施設
NHK
M
鹿児島駅より
新設線
(地下 or 高架)
天文館より



↑エントランスより 桜島をのぞむ

桜島フェリーより のぞむ

4/5



新港から本港区をスムーズに道をつなぐ為
住吉町15番街区に橋をかけます。
(車、人、サイクル、電車←新港駅まで)

5/5

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを募集します！(アイディアを直接入力できる専用ページです。)

受付番号:9724233
申請日:令和05年04月17日

番号	項目名	入力内容
1	応募者名(個人または団体)	[redacted]
2	応募者名(ふりがな)	[redacted]
3	住所	[redacted]
4	性別	男
5	年代	30代
6	電話番号	[redacted]
7	プレゼンテーション参加の可否	可
8	以下にアイディアを記入してください。	是非とも考えて頂きたいことです。 子育て中の親として、個人事業主として、本当に買い物や遊びに行く所がありません。他県を見て頂きたいです。本港区はこれ以上ないロケーション、福岡のマリノアや沖縄のあしびな―アウトレットのように、規模が大きくなくても、アウトレットなら鹿児島に有りません！。 もうすでに有るものを作っても 絶対集客できません。体育館は建て直しで充分です。スポーツできる所は他にたくさん有ります。2.3万人入る施設でなければ有名なアーティストは呼べません。中途半端な建物を作った所で赤字は免れられません。 それなら色んなジャンルを持った 複合施設、高さの要らない、ロケーションを活かしたショップ、フードコート、カフェ、観光客も呼べる 離島便へのアクセス。水族館も繋がり行ける道、フェリー乗り場も繋げて。 目的を沢山持たせた施設でなければ人がたえてしまいます。
9	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
10	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
11	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
12	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	

港湾空港課
-5.4.17
受付

受付 No.（事務局記載欄）	163

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」
応募申請書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（[redacted]） [redacted]		住所	[redacted]	
性別	男	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・30代・40代・ 50代・60代・70代・ 80代以上	電話 番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名　　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			（可）・否		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム(e(いー)申請)」
URL：https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

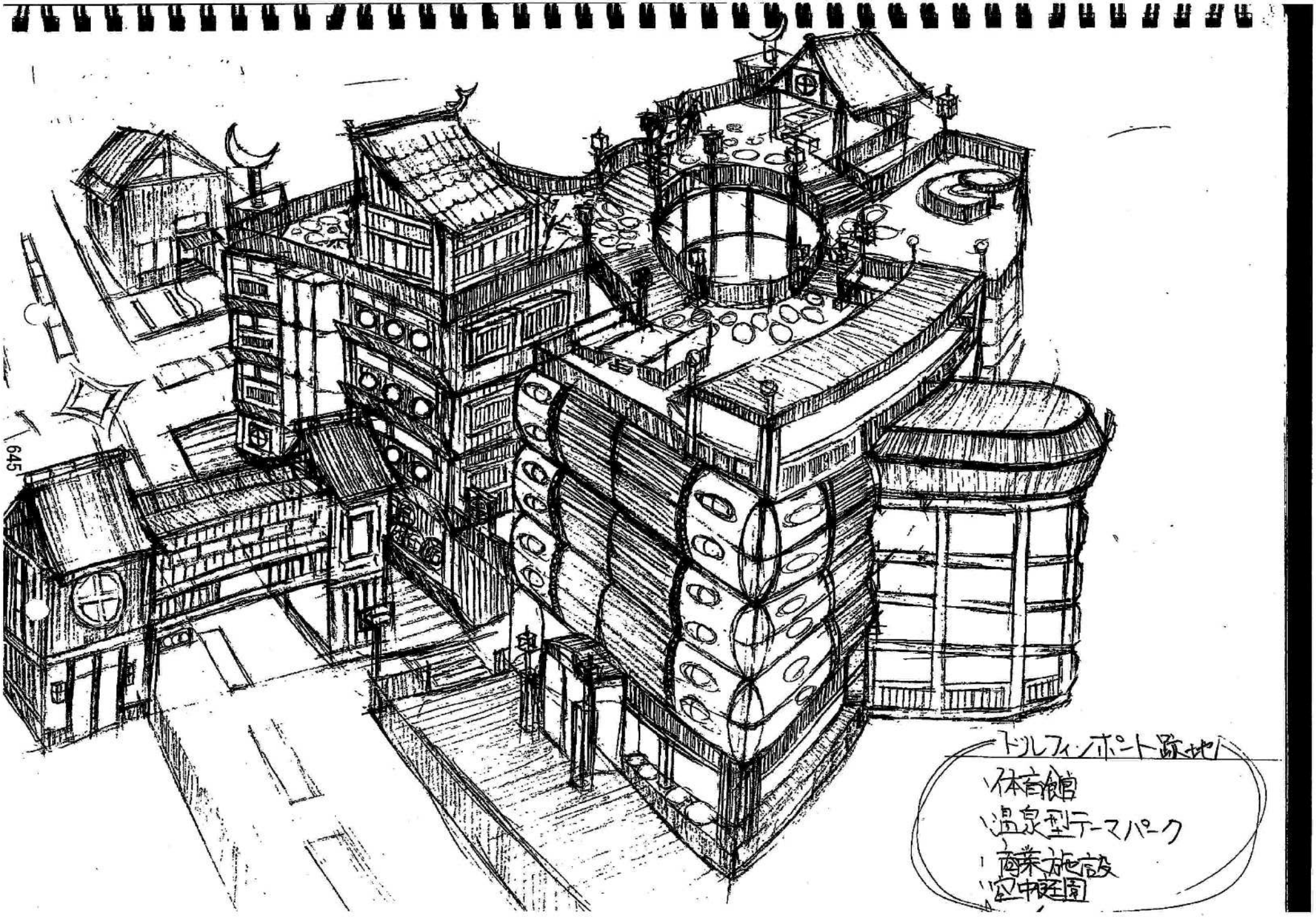
受付No.（事務局記載欄）	163

[redacted]

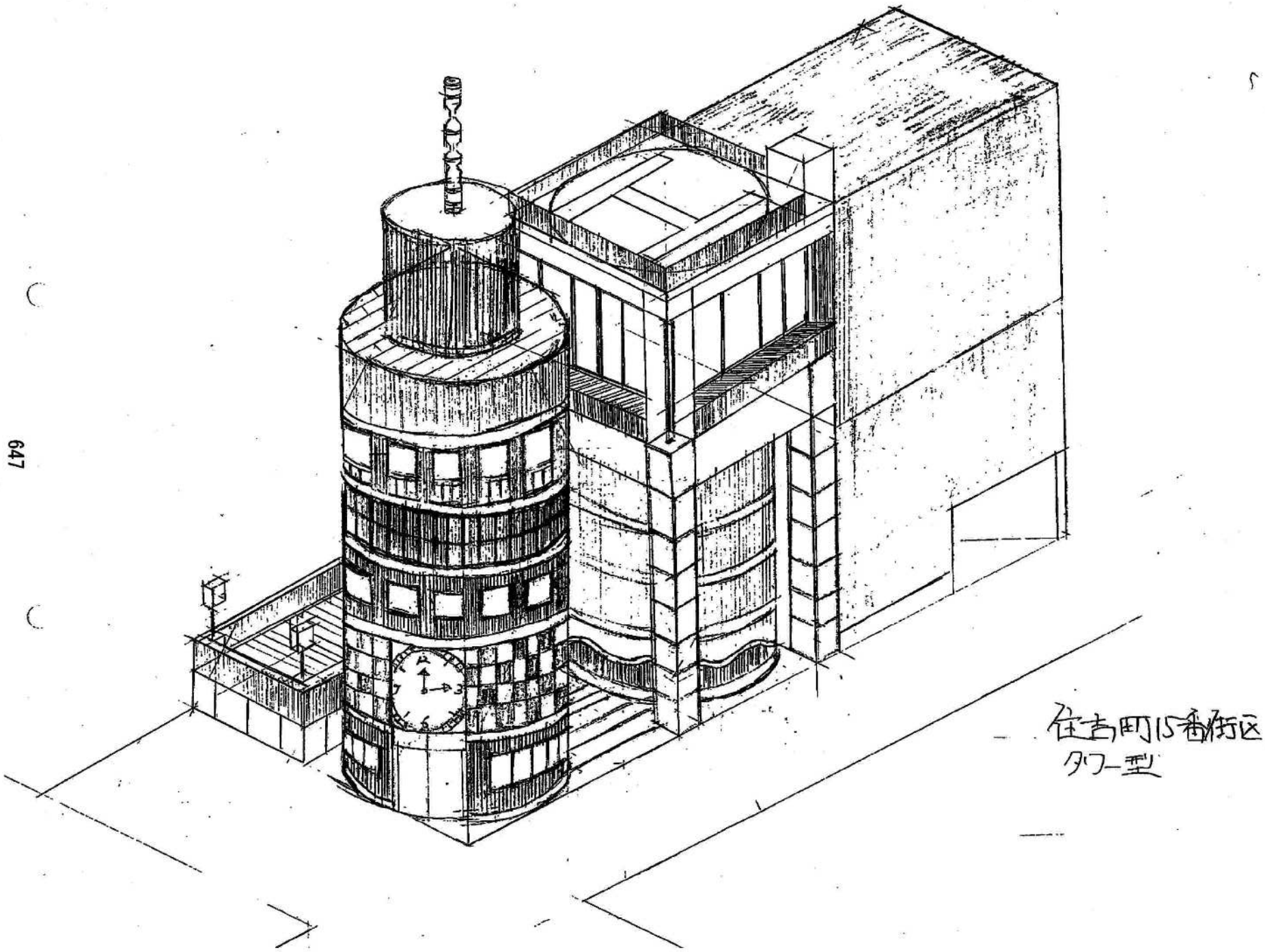
鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

・ドルフィンポート跡地 概要 ・体育館 ・温泉型テーマパーク ・商業施設 ・空中庭園	<メリット> ・体育館と温泉を組み合わせることにより新たな価値ができる ・交通に関しても立地的条件もよく集客ができる。
住吉町15番街区 ・日帰り温泉 ・ホテル・レストラン（複合施設） ・会議場 最上階は展望台の設置	<メリット> ・ドルフィンポート跡地から近く回遊性が見込めること ・中央駅からもアクセスが良い。 ・日帰りの温泉を設けることにより周辺住民も利用しやすくなる。

※任意様式に記載して頂いても構いません。


645
ドルフィンポート跡地
体育館
温泉型テーマパーク
商業施設
空中庭園


在吉町1番街区
・ホテル・温泉
・会議場
ホテル
温泉
会議場
HOTEL



住吉町15番街区
タワー型

港湾空港課
-5.4.17
受付

受付 No.（事務局記載欄）	16

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」
応募申請書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（[redacted]）		住所	[redacted]	
性別	男	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・30代・40代・ 50代・60代・70代・ 80代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名　　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			可　・　否		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム（e(いー)申請）」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付 No.（事務局記載欄）	

「鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア」
応募様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

別紙参照

※任意様式に記載して頂いても構いません。

別　紙

テーマ：鹿児島本港区エリアの利活用の検討に当たっての留意点

【提案概要】

□第３回検討委員会資料　４「検討委員会で出された意見の概要」の３「中心市街地との連携」や４「公共機能の確保（港湾や交通など）」において、施設による集客や（天文館等との）回遊性の向上のため、駐車場や公共交通網の確保を期待する意見がある一方で、混雑や渋滞による港湾機能への影響を懸念する声が上がっていることから、検討委員会におけるゾーニングのとりまとめにおいては、必要な交通機能を整理し、具体的な設計とセットで行う必要があると考えることから、これまでの検討委員会の議論を踏まえた本港区における具体的な交通施設のあり方に加え、ブランド力の強化について提案を行いたい。

【ポイント】別添図１、２参照

１）中央駅や天文館との回遊性向上に資する交通施設のあり方

回遊性向上には、複数の交通モードによるスムースでシームレスな移動が不可欠であるため以下を検討。

①徒歩動線の確保

・中央駅から天文館までは、市電、バスでの移動が可能であるとともに、広幅員歩道も整備されており、動線はおおむね確保されていることから、＋αとしてサイネージ（案内）遊歩道、自転車通行空間等、更なる充実を図る。

・天文館から本港区の集客施設については、徒歩での移動に限定されることから、以下の交通施設が必要であると考える。

○市電延伸（バス含む）、バスターミナルの設置
○交通量の多い臨港道路等を横断するマイアミ通りの立体横断施設（ペデストリアンデッキ等）整備
○ＤＰやＷＦＰ、北ふ頭や南ふ頭内における歩道整備　等

②自動車利用者のアクセス確保

・自動車でのアクセスも相当数見込まれることから、駐車場（立体含む）、車寄せ整備は不可欠。※交通集中による渋滞対策も併せて実施する必要。

③離島航路利用者の利便性改善

・点在している離島航路フェリーターミナルの利便性向上のために集約化等を実施。

・ターミナル集約化等に伴う、バス・タクシー等公共交通とのアクセス改善。

④シームレスな移動の確保

・Maas を活用（一括決済、自動運転等）し、移動性を向上させるとともに、データ収集等行い生産性向上にも寄与。

2）集客施設整備に伴う交通集中及び誘発交通へ対応する交通施設のあり方

施設への交通集中は基より、新たな需要に伴う誘発交通も見込まれることから、周辺及び基幹アクセス道路（北：国道 10 号、西：鹿児島インターから市内向き（竹岡トンネル、中洲通り）、南：国道 225 号、産業道路）の交通量増加が予想されるため、渋滞対策として以下を検討。

①施設周辺交通

・施設整備に伴う駐車需要を考慮した、駐車場の規模、配置計画（回遊性も考慮し天文館も含める）、アクセス路（入庫待ちを考慮した延長、車線数）を検討。

・事前案内を含めた駐車場案内（満空表示）等のサイネージの充実（最適な配置計画含む）

・現在、対面通行で運用している臨港道路および並行する県道を一方通行化（臨港道路を上り線、県道を下り線とし、一路線として運用）することにより、交差点等における交通制御が容易となり、交通容量のアップが期待できる。

②広域交通（基幹アクセス道路を利用し、施設へ向かう車両）

・市内への交通流入増加に伴う抜本的な対策として、北側については、現在整備が進められている鹿児島北ＢＰが有効。

・西側については、交通の要所となっている鹿児島インターからの車両を円滑に市内に流入させるための東西道路の整備、また、物流・工業エリアへの大型車両への誘導については、指宿有料道路の機能強化を図り対応することにより、機能分担を図る。

・南側については、商業施設等が集積し、一般交通が卓越していることから、港湾交通との分離を図るため、南北幹線を臨港道路とは別線で整備することが望ましい。

・さらに、これら３路線（東西道路、指宿有料道路、南北幹線）をネットワーク化し、環状道路として機能させることで、市内への流入交通の分散・導入、緊急時・災害時におけるリダンダンシーの確保が図られると考える。

3）本港区のブランド力強化に資する北埠頭の交通機能の再編

北埠頭は既に岸壁が整備されていることから、クルーズ船など船舶よる観光客の受入れが可能であることを踏まえ、ブランド力強化に資する以下を取り組みについて検討。
※喜界航路の受け皿としての新港を再整備することが前提

①東側(桜島側)岸壁の有効活用

・世界の富裕層をターゲットにした、中・小型の国際クルーズ船を接岸させ、ブランド力の強化を図る。

・また岸壁背後には、入国手続きを行う CIQ ターミナルや乗船前日や下船日に宿泊できる施設を CIQ ターミナルに併設させ利便性の向上図る。

②南側岸壁の有効活用

・東側同様、ブランド力を高めるため、富裕層向けに大型クルーザー(スーパーヨット)が数日停泊できるよう専用岸壁化。

③北側のボードウォーク

・錦江湾を楽しむ小型船の湾内クルーズの発着場所として小型桟橋を整備。

④北埠頭の中心部

・クルーズ船向けの観光バス駐車場やタクシープール、一般来訪者向けの駐車場を整備。

⑤埠頭内の徒歩動線の確保

・埠頭内の各施設等を結ぶ歩道等を整備。

別添図１


鹿児島北Bp
N
3
10
九州縦貫道
シームレスな人の移動
中央駅
天文館
本港区
鹿児島中央駅
本港区エリア
西回り道
鹿児島インター
天文館
東西道路
桜島
指宿有料道路
環状道路
市内道路渋滞の緩和
南北幹線
225
鹿児島湾
物流・工業エリア

別添図2


富裕層向け　中・小型クルーズ船
クルーズ船対応エリア
防波堤
・クルーズ受入施設
（出入国対応）
・鹿児島発着を見
据えた宿泊施設
誘客施設
錦江湾内クルーズ対応エリア
緑地エリア
駐車場
バスプール
駐車場
駐車場
誘客施設
水族館
誘客施設
スーパーヨット対応エリア
富裕層が所有するスーパーヨット
イルカ水路
イベントスペース
車寄せなど
立体駐車場
スポーツコンベンションセンター
一方通行化
一方通行化
本港区シンボル
Google
地図の詳細
路線図
交通状況
自転車
地形
ストリートビュー
山火事
大気質
地図の種類
デフォルト
航空写真
地球表示
ラベル

165

2023/04/17 13:48:13

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを募集します！(アイディアを直接入力できる専用ページです。)

港湾空港課
-5.4.17
受付

受付番号:9725888
申請日:令和05年04月17日

番号	項目名	入力内容
1	応募者名(個人または団体)	[redacted]
2	応募者名(ふりがな)	[redacted]
3	住所	[redacted]
4	性別	男
5	年代	40代
6	電話番号	[redacted]
7	プレゼンテーション参加の可否	可
8	以下にアイディアを記入してください。	【エリアコンセプト】鹿児島の海と陸の汽水域 【概要】離島を含む鹿児島県内から集められた植物・花が楽しめる「植物園」をベースに、点在するサテライト(現代美術館・レストラン・カフェ・ステージなど)をきっかけに周遊・滞在を促し、ベイサイドの価値を感じられる、憩いと交流のエリアとする 【意図】 ・離島と本土の「交流」エリアとして ・桜島を望む最高のロケーションで「憩いの場」として ・自然遺産やジオパークを持つ鹿児島の自然の魅力がつまった玉手箱として ・アートや音楽などが楽しめる、鹿児島の「新しい文化ゾーン」として ・鹿児島湾(錦江湾)のブランド価値・情報発信基地として ・誰もが自由に使える遊び場として 【発案者の想い】 本エリアが、離島を含む鹿児島の「自然の中で豊かに暮らす」シンボルになってほしい。 ※イメージイラストおよび補足資料は添付に示します。
9	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	イメージ゛イラスト.jpg
10	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	ウォーターフロント案.pdf
11	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	

12	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	

エリアのイメージイラスト



illustration: [redacted]

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイデア応募

鹿児島ウォーターフロント計画案

「鹿児島の海と陸の汽水域」

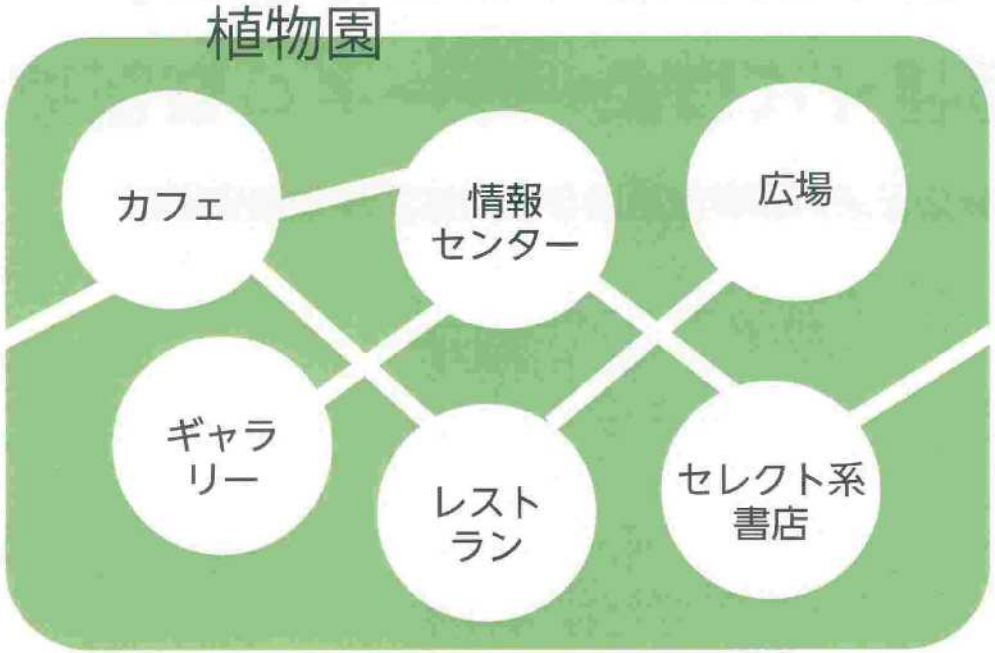
[redacted]（イラストレーター）

2023.4.15

エリアコンセプト

「鹿児島の海と陸の汽水域」

**離島を含む鹿児島県内から集められた植物・花が楽しめる「植物園」をベースに、
点在するサテライト（現代美術館・レストラン・カフェ・ステージ）を
きっかけに周遊・滞在を促し、ベイサイドの価値を感じられる、
憩いと交流のエリアとする**



イメージ図

エリアのイメージイラスト



Illustration :

エリアのイメージイラスト＜補足＞

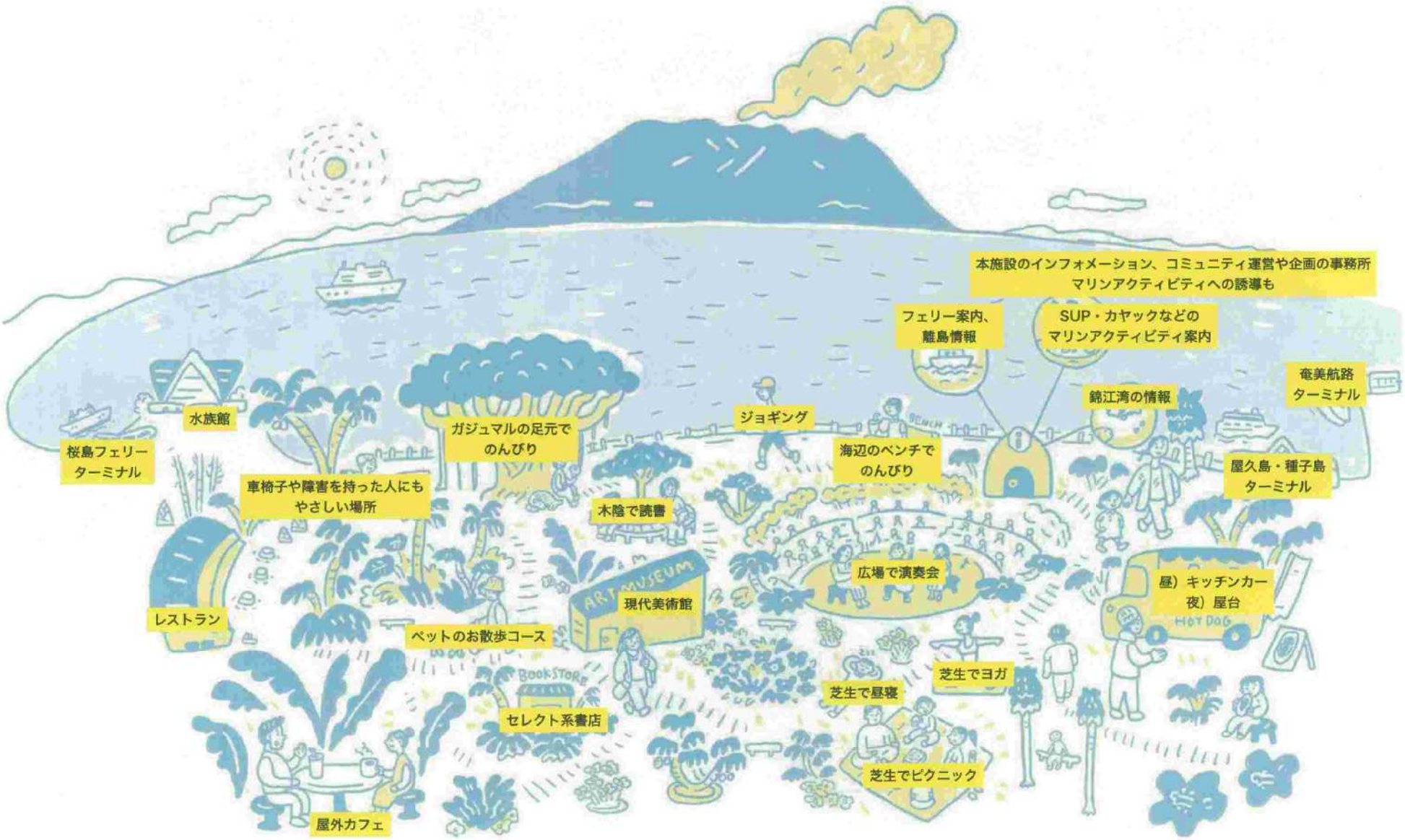


Illustration : [redacted]

アイデアの意図①



●離島と本土の交流エリアとして

本ウォーターフロントエリアは、桜島フェリー、種子島・屋久島フェリーターミナルに徒歩圏内であり、
奄美航路とのアクセスも良好な場所である。
「汽水域」のように、離島と本土の「ヒト・モノ・コト」が混ざり合い、新しい「鹿児島ならでは」の
価値を生まれることを期待して、特産品イベントを開いたり、アーティストとの交流イベントを積極的に開催する。

●桜島を望む最高のロケーションで憩いの場として

世界的にみても貴重な「活火山を望むロケーション」を生かし、住民や観光客がのんびりと過ごせる場としたい。
旅のスタイルも、短期で観光名所をめぐるスタイルから、中長期に居心地の良く「生活する」スタイルの旅へと移行している。
このエリアを鹿児島の代表的な憩いのエリアとすることで、鹿児島全域の「ベイサイドの価値」の波及効果も期待したい。
ベンチを多く設置し、昼は「キッチンカー」夜は「屋台」が出店できるようにして、人が集まる憩いの場所とする。
芝生や木陰では、ピクニックや昼寝を楽しめる。ペットも立ち入り可能とする。



●自然遺産やジオパークを持つ鹿児島の自然の魅力がつまった玉手箱として

ハコモノは年を重ねる毎に劣化していき、数年おきに大きな改修費が必要となるが、
年を重ねて植物は育つごとに場の価値は高まっていく。100年後、500年後にはさらに価値が大きくなるはず。
シンガポールの「Gardens by the Bay」やシドニー の「Royal botanic garden」など海辺の植物園は、観光地としても人気である。
南北600kmにおよぶ鹿児島県内各地から集められた植物は、見応えのある空間になることは間違いありません。
世界自然遺産「屋久島」「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」、
ジオパーク「霧島ジオパーク」「桜島・錦江湾ジオパーク」「三島村・鬼界カルデラジオパーク」など、
鹿児島県＝「自然の価値」が高いことをこの場で象徴的に示すコトで、それらのエリアへの波及効果もあるはずです。
また、自然の中で過ごすことでメンタルヘルスやウェルネスにも効果的です。



アイデアの意図②

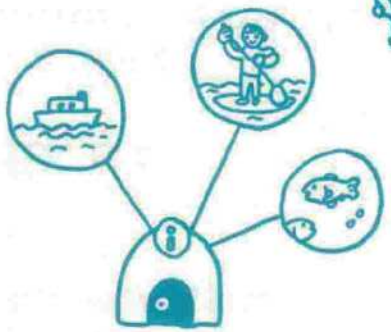
●アートや音楽などが楽しめる、鹿児島の新しい文化ゾーンとして

エリア内は極力人工建築物は持たせないものの、サテライトとして「現代美術館」「小規模の屋外ステージ/イベントスペース」を設ける。
ここでは県内の若手アーティストの発表の場として、足を運ぶきっかけとして機能させる。美術館は平日も足を運びやすい
数少ない箱モノである。クラシックな作品を取り扱う「城山エリア」とは差別化し、若手発掘していく場としたい。
運営団体が適切にキュレーションを行い、アーティストを育てる場、市民がアートを活用できる補助役としても機能させる。
セレクト系書店をサテライトとして設置し、エリア内の木陰のベンチで読書も楽しむことを促す。



●鹿児島湾（錦江湾）のブランド価値・情報発信基地として

インフォーメーションセンターでは、このエリアだけでなく
「鹿児島湾で楽しめるアクテビティやイベント」「離島で楽しめるマリンアクティビティ」
「錦江湾一周サイクリングルート」の情報についても取り扱いお客さんがそれらを知り、
セレクトすることができるようにする。
民間事業者の情報を集めるだけでなく、利用が促進されるようサポートも行う。
近隣のフェリー乗り場や水族館とも連携する。



●自由に使える遊び場

広場やフリースペースでは、申請すれば誰でも「ヨガ」や「マーケットイベント」「演劇祭」「音楽祭」を行うことができる
利用用途・客層が固定されるスタジアムや体育館よりも、誰でもアイデア次第で遊び場になる場所のほうが
これからの公共空間として望ましいと考える。

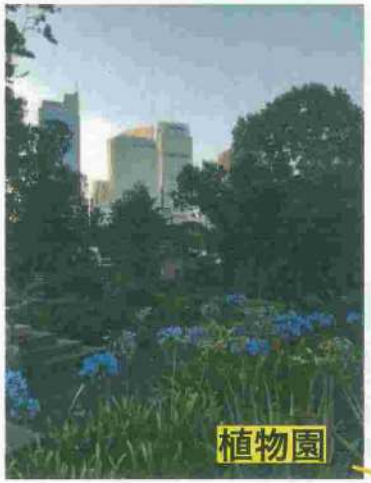


発案者の想い

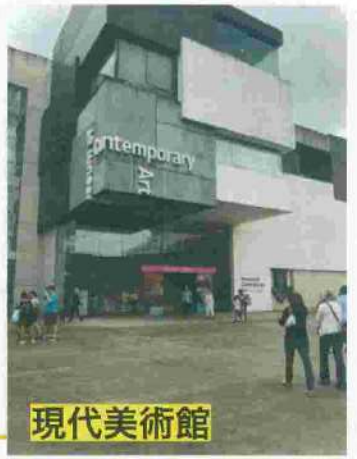
▶本エリアが、離島を含む鹿児島の「自然の中で豊かに暮らす」シンボルになってほしい。

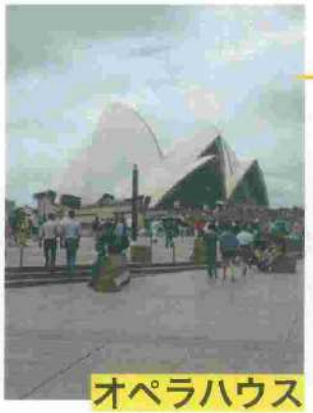
エリアのヒント①

オペラハウスをモチーフとした「かごしま水族館」が存在することもあり、
シドニーのシーサイドエリア「サーキュラーキー」をヒントとしたい。











(google earthより)

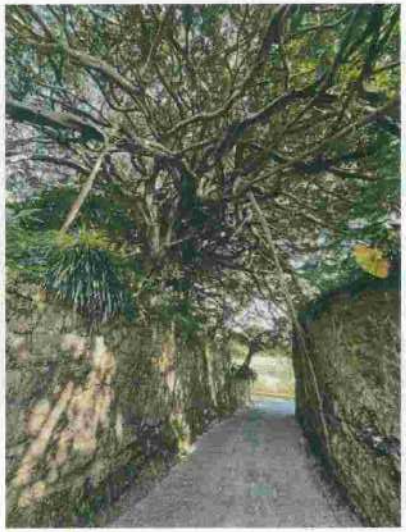
ベイサイドエリアは
・フェリー乗り場
・ホテル
・クルーズ船寄港地
・歴史スポット
なども点在している。
オペラハウスがシンボルとした人気の観光エリアであるが周遊する楽しさ、のんびりと滞在できる雰囲気がある。

エリアのヒント②

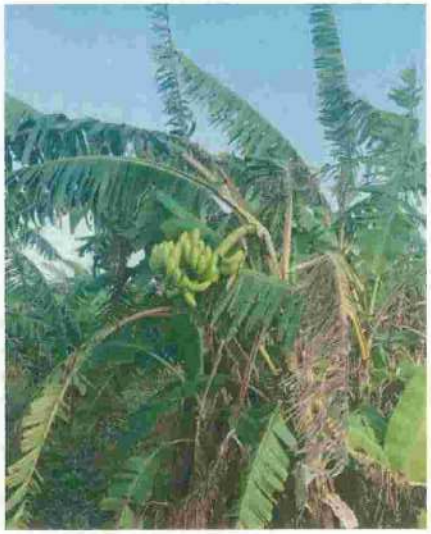
鹿児島の離島の魅力の１つは「南国の多様な植生」である。
特に南国の野生味溢れる植生は強烈に「旅」のイメージを想起させつつも
居心地の良く過ごせるスポットとなるはずである。
※これができるのは日本では鹿児島県しかないと思っている。



















港湾空港課
-5.4.17
受付

受付No.（事務局記載欄）	166

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」
応募申請書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（[redacted]）		住所	[redacted]	
性別	男	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・(30代)・40代・ 50代・60代・70代・ 80代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名　　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			(可)　・　否		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム(e(いー)申請)」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付 No.（事務局記載欄）	

「鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア」
応募様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

別紙資料の通り

※任意様式に記載して頂いても構いません。

施設名：さ ku ラ

鹿児島のシンボルである活火山【桜島】は、四季折々の顔を見せてくれる。活発で変化する桜島にちなんで施設名（プロジェクト名をさkuラ）としたい。

コンセプト①
県民のニーズにこたえる
「変化」するサービスであること

コンセプト②
多くの県民が安価でサービスを
「享受」する仕組み創り

コンセプト③
県内事業者が競争・協業することで
「成長」する仕組み創り

コンセプト④
県内事業者が自身で鹿児島の良いところを
「自己PR」する仕組み創り

«概略»

・Phase1～Phase3までの段階を設け、各種サービスを提供する。Phase1・2は、スポーツコンベンションセンターの建設途中（箱をつくった後）に以下のサービス提供し、Phase3は、スポーツコンベンションセンターを完成させ、運用を開始する。

Phase1：スポーツコンベンションの外側を建築し、中は飲食が提供できる設備を整え、食品のアウトレット品や飲食ができる場を、公共施設として、**県内**の事業者・個人事業主等に無料(or安価)でその場所を短期間(3か月程度)貸しだす。

中の設備は、SDGｓの観点から、廃校になった机や椅子の利活用や、コロナ渦で営業ができなくなった業者から業務用設備を集める。

Phase2：**県外**の事業者・個人事業主等にも無料(安価)でその場所を短期間(1～3か月)貸しだす。

Phase3：スポーツコンベンションセンターを最後まで建設し、運用を開始する

Phase1

①事業主・個人事業主は、当該施設を借りる趣旨は、【広告】を主として借りることとする。
　利益を出すことが目的ではなく、あくまでも多くの方に知ってもらう機会として、当該施設を利用することにする。
②提供するモノの販売価格は通常価格よりも必ず安価に設定し、提供する。
　（販売価格を土地・建物代の費用がほとんどかからないことを考慮して安価に設定することで消費者は安価で飲食・購入が可能）
　→多くの県民が安価でサービスを**「享受」する仕組み創り**
③同じタイミングで当該施設を利用する事業主・個人事業主同士が集まり、自分達がもっているもの（サービスや技術等）で協力しあって
　何か新しいサービスが提供できなかを検討する。（例．協業・協創によるコラボ商品の開発、新事業など）
　→県内事業者が競争・協業することで「成長」する仕組み創り
④新事業や協業・協創に関する研修を受講する。（講師派遣は、商工会議所や銀行などから協力を得る）
⑤賃料は、売上〇〇%の定額制とし、賃料から水道光熱費等の運営費をまかなう。
⑥ランキング（票）をつけ、上位となった事業主・個人事業主は、代表として東京や大阪等に店舗を借りて鹿児島をアピールする。
　費用は、上記より一部負担する。
　→**県内事業者が自身で鹿児島の良いところを「自己PR」する仕組み創り**

Phase 2

〈県外の事業主・個人事業主〉
①県外の事業主・個人事業主にも、上記①～⑤と同様の考え方で貸し出す。ただし、⑥は鹿児島県内の事業主・個人事業主のみ対象。
②県外の事業主・個人事業主は、店舗スタッフが必要であるが、基本的には鹿児島の短期アルバイトを雇用することにする。

〈県内の事業主・個人事業主〉
①基本的にはPhase1と同様。
②宗教上の理由で食べられない外国人向けの『食』に力をいれる。
　熊本（ＴＳＭＣ）や立命館アジア太平洋大学などの学生とタイアップした食づくりができないかを検討する

2023/04/17 14:33:39

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを募集します！(アイディアを直接入力できる専用ページです。)

港湾空港課
-5.4.17
受付

受付番号:9726672
申請日:令和05年04月17日

番号	項目名	入力内容
1	応募者名(個人または団体)	[redacted]
2	応募者名(ふりがな)	[redacted]
3	住所	[redacted]
4	性別	男
5	年代	30代
6	電話番号	[redacted]
7	プレゼンテーション参加の可否	否
8	以下にアイディアを記入してください。	アイデア: 富士急ハイランドの「FUJIYAMAタワー」のような展望台＋アトラクション機能(滑り台等)を持つアミューズメント施設の設置 ※体育館やスタジアムとの併設が理想 スタジアム等を作ることで「桜島の景観を遮る」というご意見を拝見しますが、一県民・市民としては、全くもって気になりません。他にも桜島が綺麗に見える所はたくさんありますし、何かを作れば、それなりに桜島の景観を遮ることは当然かと思います。桜島の景観を理由に何かができないということであれば、「桜島の景観を守るために、本港区には何も作らない」という結論を出していただいた方が、まだ納得感があります。 今回、アイデアとして展望台＋滑り台と書かせていただきましたが、先述の内容も含めて、「桜島を、今まで以上に、素晴らしく見える場所」「誰も見たことがない、桜島の景色」を作ることが大事なのではないかと思います。 FUJIYAMAタワーは、メディア等での露出も多々見受けられます。富士山が綺麗に見えることが売りの1つですが、桜島が綺麗に見えることもそれと同等かそれ以上の話題性を持つのではないでしょうか。 もちろん、ただの展望台ではなく、滑り台などのアトラクション性を持たせていることが重要になりますが、実際に富士急ハイランドが作っている事例があるので、応用の難易度もそこまでは高くないのではないかと、勝手ながら考えています。(むしろ「富士急ハイランド監修」などとして、最初のうちからブランドアップをさせることも1つの手かと考えます) ----以下はアイディアではなく、意見も含まれ申し訳ございません---- 議事録等を拝見する限りでは、大変失礼ながら一県民・一市民としては、今のような議論の流れや構成で、本港区エリアが価値ある場所になるとは

9	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	fujiyamatower_main_650 (1).jpg
10	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	fujiyama_skydeck_650.jpg
11	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	sliderimage.jpg
12	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	

アイデア：
富士急ハイランドの「FUJIYAMA タワー」のような展望台＋アトラクション機能（滑り台等）を持つアミューズメント施設の設置
※体育館やスタジアムとの併設が理想

スタジアム等を作ることで「桜島の景観を遮る」というご意見を拝見しますが、一県民・市民としては、全くもって気になりません。他にも桜島が綺麗に見える所はたくさんありますし、何かを作れば、それなりに桜島の景観を遮ることは当然かと思います。桜島の景観を理由に何かができないということであれば、「桜島の景観を守るために、本港区には何も作らない」という結論を出していただいた方が、まだ納得感があります。

今回、アイデアとして展望台＋滑り台と書かせていただきましたが、先述の内容も含めて、「桜島を、今まで以上に、素晴らしく見える場所」「誰も見たことがない、桜島の景色」を作ることが大事なのではないかと思います。

FUJIYAMA タワーは、メディア等での露出も多々見受けられます。富士山が綺麗に見えることが売りの１つですが、桜島が綺麗に見えることもそれと同等かそれ以上の話題性を持つのではないでしょうか。

もちろん、ただの展望台ではなく、滑り台などのアトラクション性を持たせていることが重要になりますが、実際に富士急ハイランドが作っている事例があるので、応用の難易度もそこまでは高くないのではないかと、勝手ながら考えています。（むしろ「富士急ハイランド監修」などとして、最初のうちからブランドアップをさせることも１つの手かと考えます）

---以下はアイディアではなく、意見も含まれ申し訳ございません---
議事録等を拝見する限りでは、大変失礼ながら一県民・一市民としては、今のような議論の流れや構成で、本港区エリアが価値ある場所になるとは到底思えません。また、「30 年、50 年継続して・・・」のようなご意見もありましたが、変化が激しいこの時代にその考え方だと、逆に中途半端な打ち手になるのではと思います。もちろん大切な税金ということを考えつつも、あまりに遠い未来の話をするよりは、まだ、現時点で実在する「鹿児島ユナイテッドＦＣ」や「鹿児島レブナイズ」といったプロスポーツクラブを活かすことを考えた方が、圧倒的に良い施策かと感じます。実際にプロスポーツクラブは、今までの鹿児島になかった新しい可能性を見せつつあると思います。

それも踏まえると、個人的には体育館もスタジアムも、どちらも賛成ですし、作るべきだと思います。予算や敷地面積の問題は当然あるかと思いますが、「人を呼び込んだり、誰かを楽しませたり、その実現可能性が高いものは、全部やる」というくらいの気概で検討された方が良いのではないかと感じています。
一意見ですが、よろしくお願いします。

2023/04/17 14:49:05

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを募集します！(アイディアを直接入力できる専用ページです。)

港湾空港課
-5.4.17
受付

受付番号:9726849
申請日:令和05年04月17日

番号	項目名	入力内容
1	応募者名(個人または団体)	[redacted]
2	応募者名(ふりがな)	[redacted]
3	住所	[redacted]
4	性別	男性
5	年代	40代
6	電話番号	[redacted]
7	プレゼンテーション参加の可否	否
8	以下にアイディアを記入してください。	鹿児島本港区の利用について □まず、スタジアムはウォーターフロントパークをつぶすことが前提なので反対 □県体育館は、災害の拠点にもなるべきなので、鴨池与次郎地区で建て替えを検討いただきたい。もしくは姶良国分ではいかがでしょうか。どうしても作るときは、景観を損ねないように地下を利用して高さ10メートル以下で。体育館の機能だけでいい。 □現状のウォーターフロントパークの芝生を極力生かし、なるべく建物を作らない。観光客も県民も等しく楽しめる公園(仮称・ドルフィンパーク)、というコンセプトで以下提案します。 ・1階建ての低層の建物を建設、カフェ・レストランやショップ・書店なども入れる。鹿児島の特産・焼酎などを販売。 島々への航路も近いので、各島の土産や特産品も販売。 県内の新鮮な農畜産物海産物も販売。 ・手ぶらで行けるバーベキュー場を開設。上記ショップで買った肉野菜海産物も焼いて食べられる。 ・きれいで使いやすい水場とトイレ(特に子連れ、ハンデのある方が使いやすいように) ・木陰で休めるように木も増やしていい ・県内の木材を使って地元業者が施工するベンチ(寝っ転がれるやつ。いわゆる意地悪なベンチじゃないもの)や遊具

9	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
10	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
11	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
12	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	

鹿児島本港区の利用について

□まず、スタジアムはウォーターフロントパークをつぶすことが前提なので反対

□県体育館は、災害の拠点にもなるべきなので、鴨池与次郎地区で建て替えを検討いただきたい。もしくは姶良国分ではいかがでしょうか。どうしても作るときは、景観を損ねないように地下を利用して高さ10メートル以下で。体育館の機能だけでいい。

□現状のウォーターフロントパークの芝生を極力生かし、なるべく建物を作らない。観光客も県民も等しく楽しめる公園（仮称・ドルフィンパーク）、というコンセプトで以下提案します。

・1階建ての低層の建物を建設、カフェ・レストランやショップ・書店なども入れる。鹿児島の特産・焼酎などを販売。
島々への航路も近いので、各島の土産や特産品も販売。
県内の新鮮な農畜産物海産物も販売。

・手ぶらで行けるバーベキュー場を開設。上記ショップで買った肉野菜海産物も焼いて食べられる。

・きれいで使いやすい水場とトイレ（特に子連れ、ハンデのある方が使いやすいように）

・木陰で休めるように木も増やしていい

・県内の木材を使って地元業者が施工するベンチ（寝っ転がれるやつ。いわゆる意地悪なベンチじゃないもの）や遊具

・雨・灰などの時に逃げられる半屋根の場所

・釣り場を設置。

・広場の一部をキャンプ場にする。桜島の目の前でキャンプができたら全国からキャンパーが来ます！

・気球に乗れるサービス。桜島・姶良カルデラを上から見れるとか

・城山展望台から上記のショップまでロープウェーを設置

・小規模の遊覧船やボート、SUPなどで楽しめる

・県内で現代アートが楽しめる空間が少ないのでギャラリーを開設。全国・県内の優秀な作家の作品が常に見られるように。専門のキュレーターも常駐。

・現在開催されているイベント、ラーメン王やオーガニックフェスタ（22 年のオーガニックフェスタは塩田知事も視察されてました）など、大変な人気です。ドルフィンポートに行けば毎週何かがやっている、となれば利用者も増える。行政としても積極的に支援していただきたいです。

・体育館を建設したら 200 億円。建物・整備費を 20 億円程度で抑えて、残りをドルフィンパークの運営費や人件費にされるのはいかがでしょうか。

以上です。

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを募集します！(アイディアを直接入力できる専用ページです。)

港湾空港課
-5.4.17
受付

受付番号:9727082
申請日:令和05年04月17日

番号	項目名	入力内容
1	応募者名(個人または団体)	[redacted]
2	応募者名(ふりがな)	[redacted]
3	住所	[redacted]
4	性別	女
5	年代	30代
6	電話番号	[redacted]
7	プレゼンテーション参加の可否	可
8	以下にアイディアを記入してください。	鹿児島の豊かな自然環境を、観光や地域づくりにつなげる一等地として、鹿児島県立の自然環境博物館をつくる。 専門機関として専属の学芸員を配置し、県内各地域の自然史、生物の研究をすすめ、それを公開し誰もが楽しめるようにする。 2階以上に収蔵庫を整備し、貴重な標本類を保管する。 霧島錦江湾国立公園、桜島錦江湾ジオパークの総合ビジターセンターを整備し自然体験ガイドツアーのエントランスとする。 海の自然観察をできる親水海岸、散歩道、ボートが接岸できる桟橋の整備をする。 きっと全国、世界各地からの観光客が立ち寄る場所となります。
9	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
10	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
11	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
12	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	

港湾空港課
-5.4.17
受付

受付No.（事務局記載欄）	170

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」
応募申請書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（[redacted]） 個人		住所	[redacted]	
性別	男	年代 （○で囲む）	20代	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名　　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）	否				

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム(e(いー)申請)」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

本港区の利活用における諸提案

鹿児島市本港区は鹿児島のシンボルである桜島や錦江湾を望める場所でありながら、繁華街である天文館にも近接した土地である。しかし、現状の本港区は目的地となるような魅力的な場所となっていない。
そこで、本港区の活性化のためのいくつかの提案をしたい。

1, 体験型の施設

繁華街である天文館には、飲食店やショッピングモールといった商業機能が十分にあると言える。天文館から少し錦江湾側へ出ると、雄大な自然の側で体を動かして遊んだり、鹿児島の伝統工芸を体験出来たり、水族館や美術館で心癒やされたりと、体で感じて楽しむことのできる施設を計画すべきであると考えた。
これらの施設の配置を右図に示したが、これらの施設をぐるっと歩いて周ることで満足感のある体験をすることが出来るのではないだろうか。今後、本港区側にも鹿児島市電を延伸するという話もあり、親和性もあるのではないだろうか。(右図の黒太線で市電の延伸候補ルートを示している。)

2, 天文館地区との繋がり

下画像にもある通り、天文館地区と本港区エリアは多車線道路によって隔てられている。本港区エリア内も幅の広い道路が通っている。このことは天文館地区との距離を遠く感じさせ、エリア内においても回遊性を低下させている要因の一つであると考えられる。道路の計画・デザインの再考によっても活性化を促せるのではないだろうか。



現状の本港区と天文館地区の隔たり





車線を減らすことや、車道を地下に設けること、また、歩道橋を設けることなどによって歩車の距離をとり、歩いて楽しい街へ

3, 桜島を見失わないまちづくり

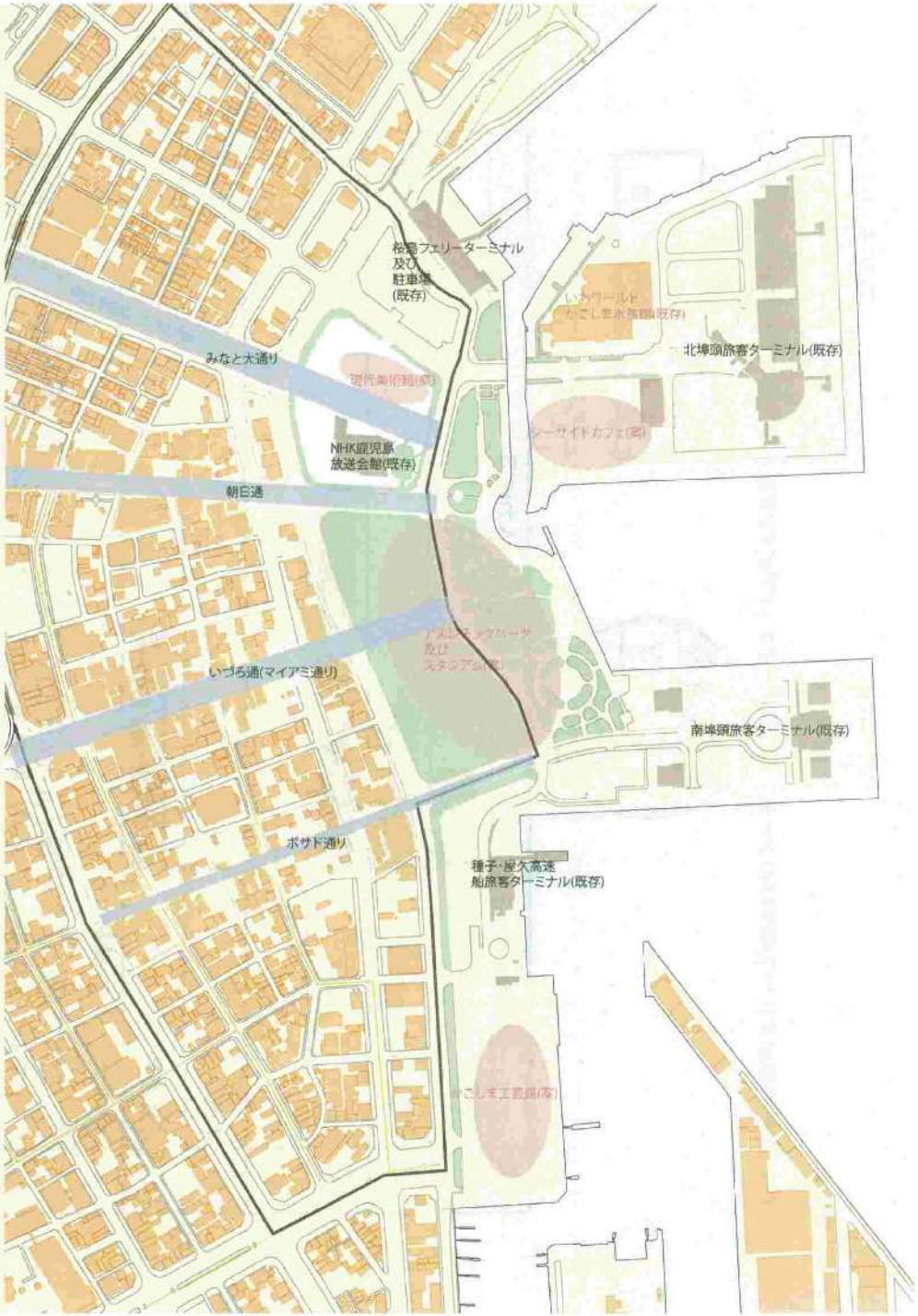
鹿児島にとって桜島は誇れるシンボルである。鹿児島市には多くの通りが伸び、その通りの奥に桜島が佇んでいる。本港区は雄大な自然を独占できるような場所であるが、鹿児島市全体の人々の生活から桜島を隠してはならない。そのための建築物の工夫が必要である。特に現在検討が行われているスタジアムのような大規模の建築物においては重要であると考えられる。



柱や梁といったものを基調とした建築を造り背景に向けた視線の抜けを創る。



スタジアムの外壁に傾斜を付け、また、開口やカーテンウォールを設けることなどによって圧迫感を減らす。



171

2023/04/17 15:25:16

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを募集します！(アイディアを直接入力できる専用ページです。)

港湾空港課
-5.4.17
受付

受付番号:9727372
申請日:令和05年04月17日

番号	項目名	入力内容
1	応募者名(個人または団体)	[redacted]
2	応募者名(ふりがな)	[redacted]
3	住所	[redacted]
4	性別	女性
5	年代	40代
6	電話番号	[redacted]
7	プレゼンテーション参加の可否	可
8	以下にアイディアを記入してください。	「海と山、さらに活火山が身近にある」という、鹿児島最大とも思える利点を活かし、将来「国立公園」となることも視野に入れつつ、ルールが有りながらも自由に過ごせる「公園」＝「park」として活用する方向でのディスカッションを、ぜひお願い申し上げます。
9	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
10	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
11	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
12	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	

2023/04/17 15:27:24

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを募集します！(アイディアを直接入力できる専用ページです。)

港湾空港課
-5.4.17
受付

受付番号:9727414
申請日:令和05年04月17日

番号	項目名	入力内容
1	応募者名(個人または団体)	[redacted]
2	応募者名(ふりがな)	[redacted]
3	住所	[redacted]
4	性別	男
5	年代	20代
6	電話番号	[redacted]
7	プレゼンテーション参加の可否	可
8	以下にアイディアを記入してください。	アイデア 「鹿児島中央駅から鹿児島港本港区エリアまでの包括的開発」 自己紹介 [redacted] 幼少期を奄美大島で過ごしたのち鹿児島市内で学生時代を過ごし現在は福岡在住の大学生 現状 鹿児島港本港区エリア ・ドルフィンポート跡地 ・鹿児島本港 ・WFパーク(イベント開催) ・イオワールド →独立したエリアとしての印象 県外の友人から言われるのは「観光しにくい」 車がないと観光できない、歩ける範囲に観光地がない。 提案 「新たなシンボルを設立し鹿児島中央駅に次ぐ第二の交通の要所を目指す」 シンボル ・サッカースタジアムの設立 新しいランドマーク設立ということで、現在鹿児島でもっとも盛り上がっていると考えられるプロスポーツの専用スタジアムの設立を提案する。「鹿児島

9	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	スクリーンショット 2023-04-17 13.16.09.png
10	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	スクリーンショット 2023-04-17 15.21.05.png
11	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	アイテ゛ア.pdf
12	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	

アイデア

「鹿児島中央駅から鹿児島港本港区エリアまでの包括的開発」

自己紹介

[redacted]

幼少期を奄美大島で過ごしたのち鹿児島市内で学生時代を過ごし現在は福岡在住の大学生

現状

鹿児島港本港区エリア

・ドルフィンポート跡地

・鹿児島本港

・WF パーク（イベント開催）

・イオワールド

→独立したエリアとしての印象

県外の友人から言われるのは「観光しにくい」

車がないと観光できない、歩ける範囲に観光地がない。

提案

「新たなシンボルを設立し鹿児島中央駅に次ぐ第二の交通の要所を目指す」

シンボル

・サッカースタジアムの設立

新しいランドマーク設立ということで、現在鹿児島でもっとも盛り上がっていると考えられるプロスポーツの専用スタジアムの設立を提案する。「鹿児島県」として盛り上がるトピックの創出。鹿児島港本港区エリアは鹿児島県の地理的にも中心に位置し、交通の面からも鹿児島本港があり離島とのつながりが強く鹿児島の新たなシンボルを設立するにはとても良い。もちろん用途はサッカーだけでなくイベントや大会など多岐にわたるだろう。そこにスタジアムがあることによってチームは多くの県民から親しまれるし、県民の交流の場になるだろうと見込める。

・スタジアム周辺に県内外からの人をもてなすような施設の設立

試合の際は相応の人の流入が県内外から見込める。鹿児島県を知ってもらう、足を伸ばしてもらう。本港エリアだからこそ実現できる離島とのコネクト。ロールモデルとして考えるの

は鹿児島中央駅の屋台村。

交通の要所
・現在の鹿児島本港は継続
離島とのつながり。県民の移動。観光客の思いがけない離島観光の機会の創出。クルーズ船の誘致。
・鹿児島市電の延長
本港エリアの孤立を防ぐ。天文館、鹿児島中央駅エリアとのコネクト。

最終的なゴール
「鹿児島中央駅から鹿児島港本港区エリアまでの包括的開発」

鹿児島中央駅→天文館→本港エリア　といった観光の確立
鹿児島中央駅から本港エリアは2キロほどの歩ける距離。3つのエリアを連結した開発により「歩いて鹿児島を観光する」を実現する。ロールモデルとして福岡の博多、中洲、天神の関係性をあげる。別途資料 9,10
サッカーのホームゲームの際は県外からの観光客が多く見込める。その際、多くの人は鹿児島中央駅を利用するだろう。そこから観光もかねて歩いてスタジアムにいくという流れを生み出す。あわよくば本港エリアから離島まで足を運んでもらいたい。

最後に
本港エリアは鹿児島県にとって地理的にも交通的にも中心と言える場所だから、それに相応しい開発が進めるべきだ。ここを拠点に県内の活動が活発になり鹿児島の魅力が発信される拠点になればいいなと思う。

28 分（2.1 km）

県道21号 経由

ほぼ平坦なルート

⚠ 徒歩ルートは実際の状況を反映していない場合がありますので、ご注意ください。

鹿児島中央駅前

〒890-0053 鹿児島県鹿児島市中央町

↑ 東に進んで県道24号に向かう

16 m

↰ 左折して県道24号に入る

130 m

↱ 鹿児島中央駅東口（交差点） を右折して ナポリ通り に入る

16 m

↰ 鹿児島中央駅東口（交差点） を左折して 県道24号 に入る

85 m

↑ 県道21号を進む

1.4 km



29 分（2.2 km）

はかた駅前通り と 明治通り 経由
ほぼ平坦なルート

⚠ 徒歩ルートは実際の状況を反映していない場合がありますので、ご注意ください。

博多駅

〒812-0012 福岡県福岡市博多区博多駅中央街１−１

690

↑ 南方向に住吉通り/市道博多駅前線を進んで博多駅前54号線に向かう

85 m

↱ 右折してはかた駅前通りに入る

850 m

↰ 左折して国体道路/国道202号に入る

260 m

↗ 斜め右方向に曲がり那珂川通りに入る

77 m

↰ 左折してそのまま 那珂川通り を進む

350 m



2023/04/17 15:44:57

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを募集します！(アイディアを直接入力できる専用ページです。)

港湾空港課
-5.4.17
受付

受付番号:9727660
申請日:令和05年04月17日

番号	項目名	入力内容
1	応募者名(個人または団体)	[redacted]
2	応募者名(ふりがな)	[redacted]
3	住所	[redacted]
4	性別	男
5	年代	40代
6	電話番号	[redacted]
7	プレゼンテーション参加の可否	可
8	以下にアイディアを記入してください。	市民県民や鹿児島市に訪れるたくさんの方々が喜べる施設となるよう、地域活性化・憩いの場・健康増進の場としてのコミュニティ機能を持ち、鹿児島の新たなランドマークとなる施設を是非とも鹿児島本港区に作って欲しい。 現在、鹿児島市にある県のスポーツ施設は老朽化や使用者・利用者による飽和状態が起きている。 世界でも珍しい活火山を見渡せるスタジアムだったり、景観を生かしたスポーツ施設がある事によって、シドニーのオペラハウスのように世界中から一度は行ってみたい施設になると考える。 またスポーツツーリズムを通して来鹿する観光客も見込めると思う。 そういう意味で、新スタジアムと新体育館は本港区内に必要。 人が集まり易いところに、人が集まる施設を作るのは地元民にも観光客にも親切。 繁華街も近いので、天文館を中心に県内全域にお金が落ちる施策や施設を本港区に創設して欲しい。 本港区は市民県民はもちろん、ツーリストが喜ぶエリアにして欲しい。
9	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
10	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	

11	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
12	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	

湾空港課
-5.4.17
受付

受付 No.（事務局記載欄）	17

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」
応募申請書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（かごしまだいがくけんちくがっかよねん） 鹿児島大学建築学科４年 団体 [redacted]			住所	[redacted]
性別	男	年代 （○で囲む）	10 歳未満・10 代・20 代・30 代・40 代・50 代・60 代・70 代・80 代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名 [redacted]）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			可 ・ 否		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。

※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。

※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。

※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。

※　提出された資料については，返却いたしません。

※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。

※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。

※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町 10 番 1 号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム（e（いー）申請）」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付 No.（事務局記載欄）	

「鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア」
応募様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

港湾に賑わいを

- **コンセプト**

  今後市電が通ると、敷地前のマイアミ通りは、中央駅、天文館、マリンポートをつなぐ重要な役割を担う大通りとなることが予想される。そこで、マイアミ通りの由来である鹿児島市とマイアミ市の姉妹都市盟約から、マリンポート周辺の敷地一帯は、マイアミ市の観光エリアに似た街並み、自然を生かした健康的な街並みにしたいと思った。

- **利活用案（スケッチアイディアによる）**

  - ウォーターフロントパーク活用案

    ベイサイドマーケットプレイスのプログラムを参考に、桜島と錦江湾を眺望しながら人が賑わうスペースの創出を提案する。ホワイトボックスをウォーターフロントパーク跡地に散りばめ、緑化された小道を海岸に沿わせる。程よくできたたまり場にストリートカルチャーが生まれ、休日には移動販売車の店が立ち並ぶ。文化的で人の賑わう空間となる。また低層にすることが可能となるため、今のウォーターフロントの景観を損なうことなく開発ができる。

  - ドルフィンポート跡地活用案

    グランピング、公園・広場の機能を掛け合わせる。ドルフィンポート跡地が非日常と日常の人がともに憩うサードプライスになり多くの人にとって開かれた場所になることを期待する。さらに、計画する遊歩道や広大な緑広場を活用し、地元の祭り（おはら祭など）などの発展を促す場所になる。

※任意様式に記載して頂いても構いません。

港湾に賑わいを



コンセプト

今後市電が通ると、敷地前のマイアミ通りは、中央駅、天文館、マリンポートをつなぐ重要な役割を担う大通りとなることが予想される。そこで、マイアミ通りの由来である鹿児島市とマイアミ市の姉妹都市盟約から、マリンポート周辺の敷地一帯は、マイアミ市の観光エリアに似た街並み、自然を生かした健康的な街並みにしたいと思った。



ベイサイドマーケットプレイスのプログラムを参考に、桜島と錦江湾を眺望しながら人が賑わうスペースの創出を提案する。ホワイトボックスをウォーターフロントパーク跡地に散りばめ、緑化された小道を海岸に沿わせる。程よくできたたまり場にストリートカルチャーが生まれ、休日には移動販売車の店が立ち並ぶ。文化的で人の賑わう空間となる。また低層にすることが可能となるため、今のウォーターフロントの景観を損なうことなく開発ができる。



グランピング、公園・広場の機能を掛け合わせる。ドルフィンポート跡地が非日常と日常の人がともに憩うサードプライスになり多くの人にとって開かれた場所になることを期待する。さらに、計画する遊歩道や広大な緑広場を活用し、地元の祭り（おはら祭など）などの発展を促す場所になる。

港湾空港課
-5.4.17
受付

受付No.（事務局記載欄）	175

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」
応募申請書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（ [redacted] ）		住所	[redacted]	
性別	女	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・30代・40代・ 50代・60代・70代・ 80代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名　　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			可　・　否		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム（e（いー）申請）」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

自遊空間

— 流れる、連なる —

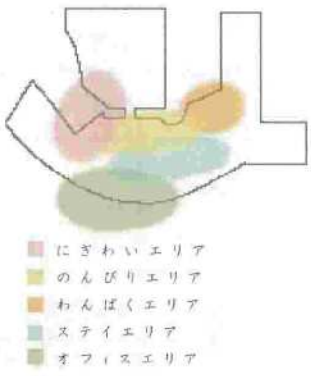


どうしたら鹿児島がもっと活気づくのか？
- 親子、おじいちゃんおばあちゃんと孫、友人、ひとり。
- 散歩、旅行・観光、待ち合わせ。

公園は自由空間。フリマやバザー、お花見もできる公園は様々な人が集まる。交流が生まれる。

年間およそ60万人が訪れる水族館からもっと奥まで足を運んでもらう、桜島とともに生きる、自然と触れ合い遊ぶ。

本港区が人と人、人と自然に繋がりを見出す。出会いと安らぎを創る場所になる。
あらゆる状況であらゆる発見が冒険ができる、ふとした一期一会に胸がときめく。
ワクワクを感じて求めあう空間を創りたい。



のんびりエリア — 四季で変わる味わう —



【フラワーロード】
春には上から藤の花が咲き乱れ、自然を感じながら散歩や昼寝、読書を楽しめる空間。
お花見にも最適 木陰が気持ちいい



【レインボーロード】
花が散った頃、虹色のシェード幕がかかる。
虹を歩いているような気分
フリーマーケットやオープンカフェにぴったり



【キラメキロード】
花も葉もなくなり、枝だけになった頃イルミネーションがアーチを彩る。光が自然と人々を集める。
上から降り注ぐ光は藤棚を連想させ、胸をときめかせる。

ステイエリア — 桜島グランピング —



【まちなか非日常】
街なかで非日常なひとときをお手軽に、、♪
桜島の目の前で日帰りバーベキューを楽しむもよし、天文館や水族館で目いっぱい遊んだ後にグランピングとしての利用もよし。
普段見慣れてる景色でも新たな発見ができるかも？
大人になっても子供の頃の好奇心を思い出せる、一緒に楽しめる空間を。

わんぱくエリア — 自遊に遊び隊 —



【ジャンピングパーク】
スケートボード片手に公園に訪れる少年たちは？
スケートボードはしたいけど親子ずれで訪れることの多い公園。
子供だけではなく、大人一歩手前の若者にも公園を利用してほしい！
オリンピックなどから注目が増え始めたスポーツ競技をする場所をつくりたい。
本気で遊びを楽しめる、何歳になっても本気になれるものができる空間を。

2023/04/17 16:33:10

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを募集します！(アイディアを直接入力できる専用ページです。)

港湾空港課
-5.4.17
受付

受付番号:9728309
申請日:令和05年04月17日

番号	項目名	入力内容
1	応募者名(個人または団体)	[redacted]
2	応募者名(ふりがな)	[redacted]
3	住所	[redacted]
4	性別	女性
5	年代	20代
6	電話番号	[redacted]
7	プレゼンテーション参加の可否	否
8	以下にアイディアを記入してください。	植物をたくさん植えた公園
9	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
10	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
11	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
12	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	

177

2023/04/17 16:52:03

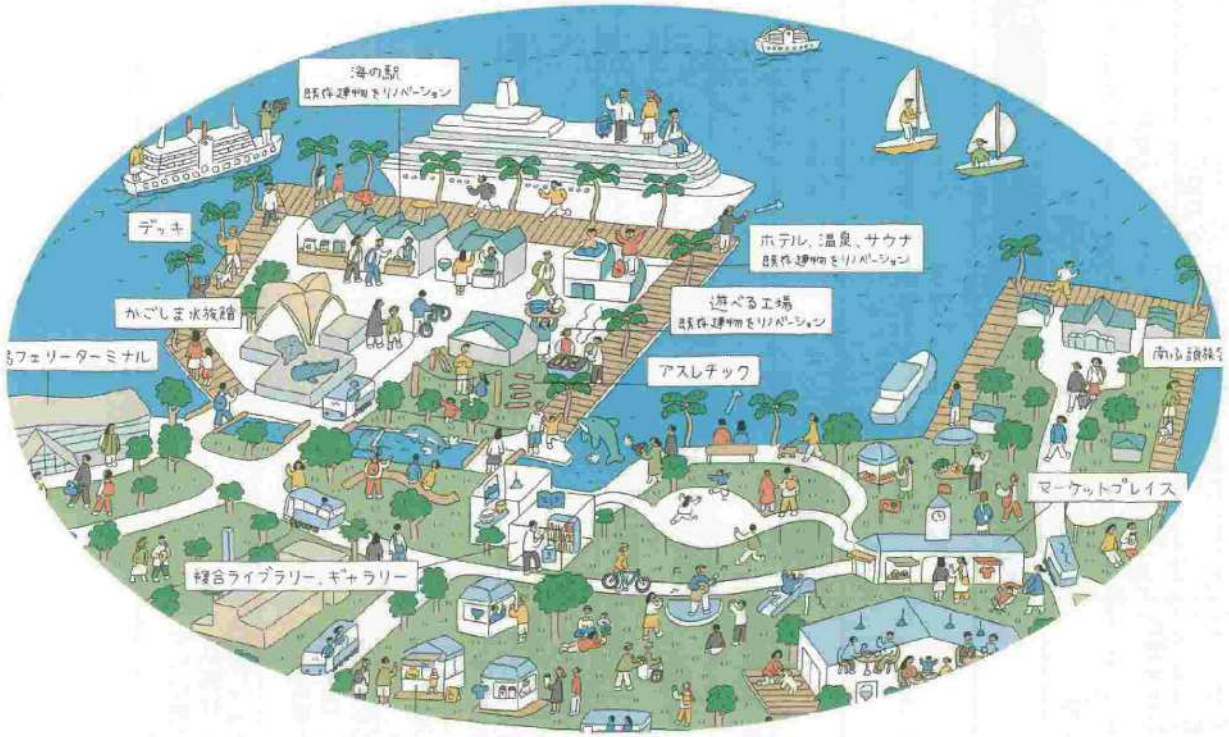
鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを募集します！(アイディアを直接入力できる専用ページです。)



受付番号:9728620
申請日:令和05年04月17日

番号	項目名	入力内容
1	応募者名(個人または団体)	NPO法人薩摩リーダーシップフォーラム SELF
2	応募者名(ふりがな)	さつまりーだーしっぷふぉーらむせるふ
3	住所	[redacted]
4	性別	男性＆女性
5	年代	40代
6	電話番号	[redacted]
7	プレゼンテーション参加の可否	可
8	以下にアイディアを記入してください。	添付のデータに記しておきますね。 後ほど、追加の資料を送付します。
9	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	01.jpg
10	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	02.jpg
11	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	03.jpg
12	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	

鹿児島市中心市街地及びウォーターフロントを中心としたまちづくりビジョンに関わるアイデア



美しい海辺の風景を

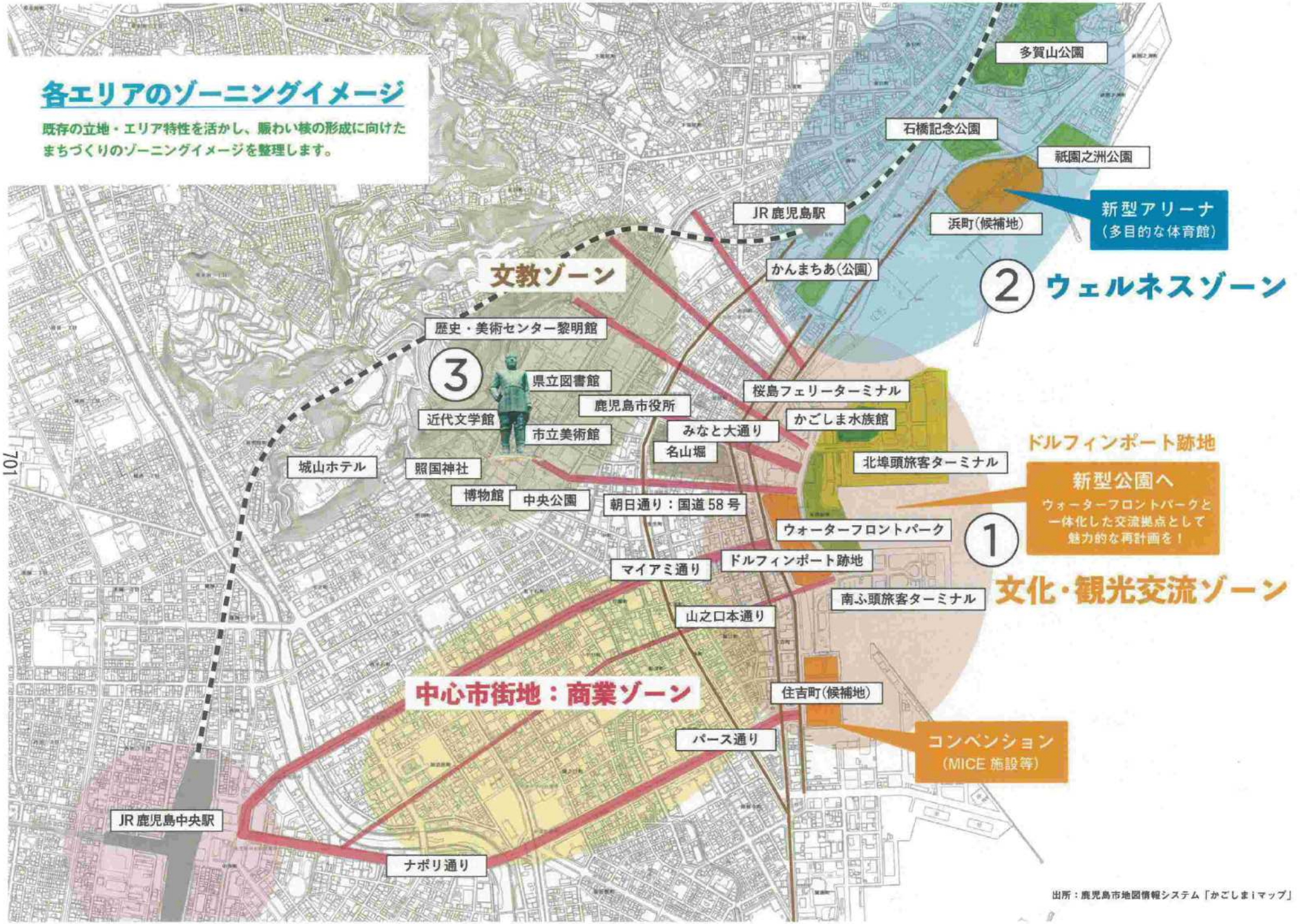
未来の鹿児島の子どもたちへ

ReVision [Dolphin Port] かごしまグランドビジョン協議会

SELF SATSUMA EMERGING LEADERSHIP FORUM
transforming our SELF, transforming our world.

各エリアのゾーニングイメージ

既存の立地・エリア特性を活かし、賑わい核の形成に向けた
まちづくりのゾーニングイメージを整理します。



出所：鹿児島市地図情報システム「かごしまｉマップ」


海へとひらく、未来の鹿児島へ。
Gateway To The World, Kagoshima Port city
ReVision
[Dolphin Port]
桜島
多賀山公園
石橋記念公園
体育館
海の駅
既存建物をリノベーション
デッキ
ホテル、温泉、サウナ
既存建物をリノベーション
遊べる工場
既存建物をリノベーション
JR鹿児島駅
かんまちあ
かごしま水族館
桜島フェリーターミナル
アスレチック
南ふ頭旅客ターミナル
マーケットプレイス
種子・屋久高速船
旅客ターミナル
ホテル、コンベンションホール
複合ライブラリー、ギャラリー
みなと大通り
スローモビリティ
チャレンジショップ
キオスク
レストラン、カフェ
朝日通り
(国道58号線)
マイアミ大通り
山之口本通り
フィッシャーマン
パース通り
天文館

今回提案したい５つのアイデア！！

1── 日本一長い国道 58 号線など、海へつづく軸線を活かした
海へとひらくまちづくりで魅力的なポートタウンに！

2── ドルフィンポート跡地は、ウォータフロントパークと
合わせて新型公園へと再計画を（民間事業者公募へ）！

3── 多目的な新型アリーナ（体育館）は、浜町の候補地へ！

4── 先進的な体育館計画に向けて、4 の方々を選考委員とした、
世界的建築家など参加できる設計公募の仕組みづくりを！

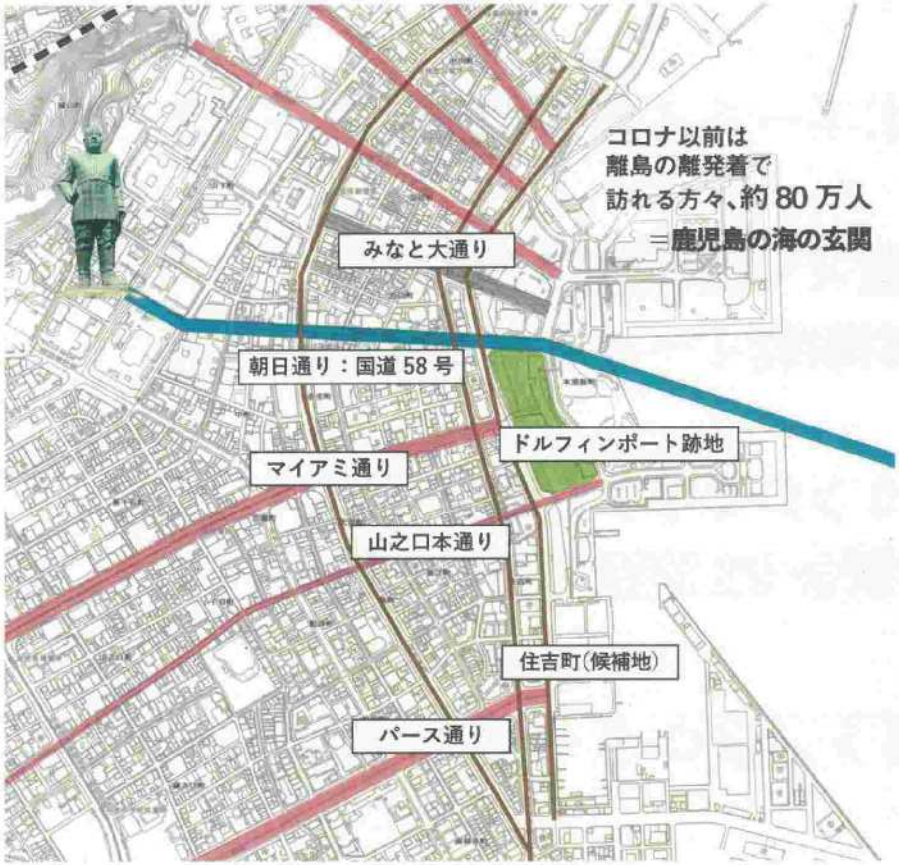
5── 建築家や都市デザインの専門家を招いて、鹿児島県の
都市計画・景観のアドバイザリー委員会設立を！

昔の人がつくった都市計画はすばらしい

国道58号 西郷どんが見守る、朝日通りは海へとつづく

ドルフィンポート跡地、種子島、奄美大島、そして沖縄まで…
西郷さんを起点とする 58 号線は、なんと「日本最長」の国道でした。

鹿児島の中心市街地を構成する主要な道路は本港区から放射状に伸び、
その主要な軸線を横断しつなぐ道路は本港区を取り巻くように構成されています。
鹿児島の街は港を起点に桜島と錦江湾にむけて開かれ、世界遺産の島々とつながるような構造になっているのです。
かつての先人達がつくったこの街の文脈を受け継ぎ、未来に渡していくためにいまできることはなんでしょうか。



コロナ以前は
離島の離発着で
訪れる方々、約 80 万人
＝鹿児島の海の玄関

先人の都市計画の方々のメッセージを読み解く

- みなと大通り
- 朝日通り(58 号線)
- マイアミ通り
- 山之口本通り
- パース通り

鹿児島の大切な軸となる道は、
ドルフィンポート跡地、
そして、本港区エリアに向かって
放射状の軸線が美しく計画されている。

↓

鹿児島の軸が集まるドルフィンポート跡地

**大きな公共施設で、
塞ぐのではなく
海にひらく場所へ**

鹿児島の海の玄関口である本港区エリアは
「すべて」の県民と旅人が 365 日交流できる場所へ！

体育館は、浜町へ。
ドルフィンポート跡地は、
鹿児島の魅力を最大限に活かす
ビジョンを計画する！！！



海と鹿児島が誇る島々へつながる起点となる本港区エリアは、すべての県民と旅人が交流する場所へ！

ドルフィンポート跡地×ウォーターフロントパーク＝再計画で世界に誇る魅力的なポートタウン新型公園へ

①

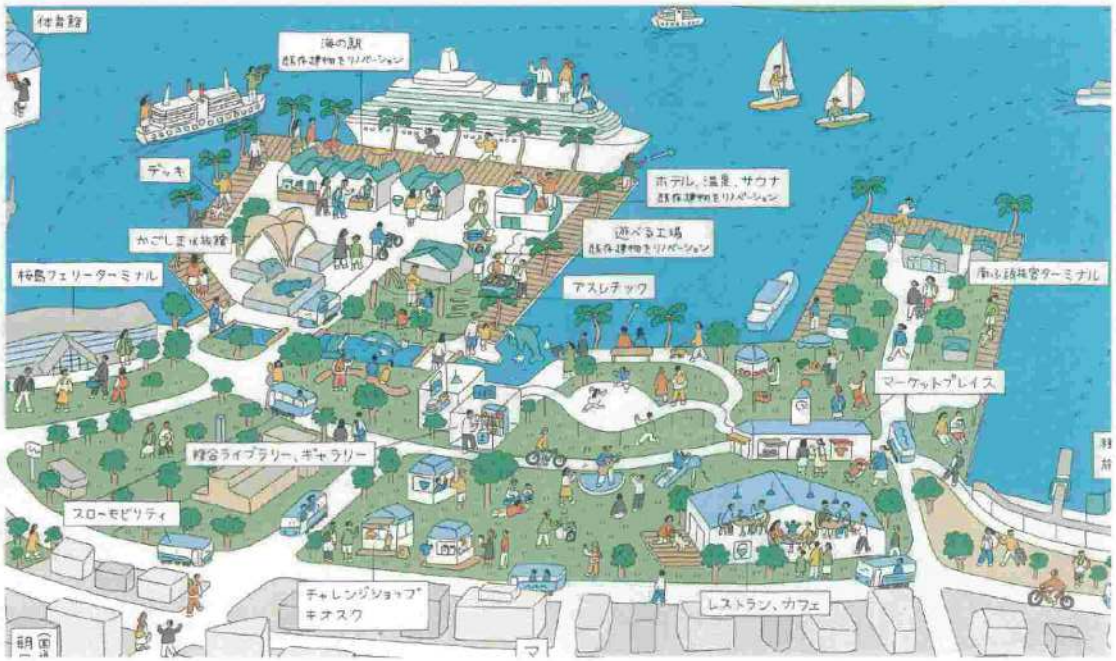
県民誰もが、365日利用できる鹿児島のシンボリックな海辺の公園（コモンズ）へ＝シビックプライドの醸成
居心地の良いパークマネジメントするために、民官事業者公募へ。ビジョンのある、計画を官民で育てていく。

鹿児島中央駅から天文館をつらぬく中心市街地の商業ゾーンや文教ゾーンと回遊性のある第３のにぎわいの核として、
本港区エリアを位置づけ、海外からのインバウンドや国内～県内の観光客が足を運びたくなるコンテンツを
ドルフィンポート跡地～ウォーターフロントパーク一帯に再整備することを提案します。



□ スタートアップ支援型チャレンジショップ　□ ギャラリー機能も備えたライブラリー
□ レストラン／カフェとも連動するマーケットプレイス　□ 半屋外フードコート
□ 鹿児島の豊かな農水産物を購入できる「海の駅」
□ さつまあげなどの郷土料理をつくる体験ができる遊べる工場
□ 温泉／サウナなどを備えた宿泊施設　□ 他

コト消費を促す体験型のコンテンツを遊休施設をリノベーションして設置。



● 参考事例の紹介

小さな低層の施設が点在する計画は、時代や外部環境の変化に応じて フレキシブルに新陳代謝ができる。景観に配慮したジオパークに相応しいものに。



鹿児島と同じく日差しの強い、シンガポールにおけ先進事例「ガーデンフードパビリオン」

このガーデンフードパビリオンはシンガポールのマリーナベイに位置する。周囲はマリーナベイに新しく作られた公園で、他にもいくつかの建築があるが、
このフードパビリオンにはトロピカルな木が植えられた海沿いの歩道や、人口池に沿った歩道などからアクセスできる。大きな屋根がかかっており、
その屋根はシンガポールの強い日射しを遮り、突然のスコールから客や働く人を守る。屋根の高さが周辺に広がるオープンさを保つ。
所々に設けられたガラスの明かり取りが、大きな屋根の内部にも光をもたらす。そしてその屋根全体は植物で覆われている。

自由に好きな店から食べ物を買い、好きな場所に座る。蓮の花やそこを飛び回るトンボがよく見える池に面した席でもいいし、
シェードを作る大きなシダ系植物の下でもいい。ここで働く人達もこの大きな屋根の下の自然に近い環境の中で、料理を炒め、皿を洗う。
ここには食べ物の煙と匂い、湾からの風、木や花の香りがある。

世界で唯一、ここ鹿児島にしかない風景を作って 訪れる全ての人と共有できる場に！





参照；architecturephoto

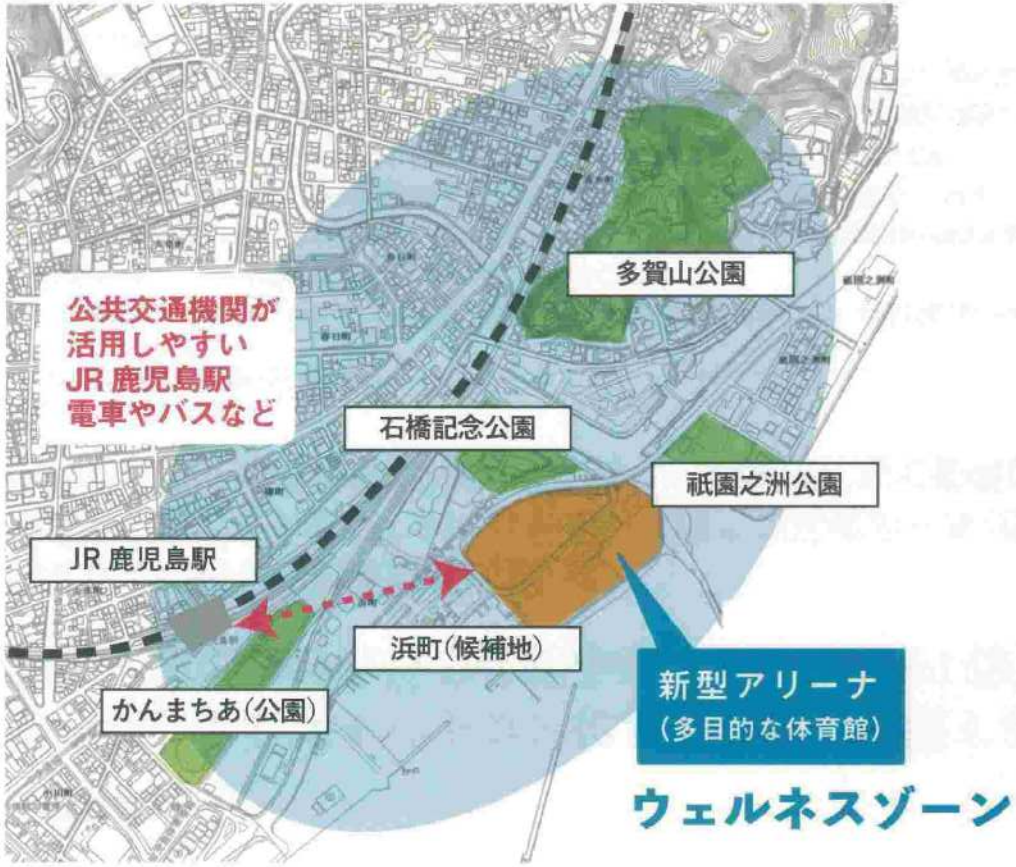
せっかく作る公共施設なら、錦江湾の景観に合わせた「世界にも誇れる」公共建築の計画に！

②

体育館は、浜町へ。先進事例となる海辺の新型アリーナを！！

世界的な建築家や、次世代の都市計画家と一緒に、世界に誇るジオパーク桜島の景観に似合った計画を。

250 億以上の予算を投じて作られる新型アリーナは、50 年後のスポーツやエンターテインメントの姿を踏まえ、
建築自体が集客の核となるような先進的なデザインを採用。
世界的な建築家に参画してもらうことで桜島と一帯となって市民のシビックプライドを醸成する世界に誇れる施設としての建造計画を。
新型アリーナ周辺は浜町周辺の既存パブリックスペース／公園とも連動した、
新たなウェルネスゾーンとして一帯開発することで本港区とも連動した大きなにぎわいの核を作り出します。



浜町での体育館建設のメリット

- 「かんまちあ」や「多賀山公園」や「石橋記念公園」と公園の多い地域。
  ウェルネスという観点から体育館建設に、親和性の高いエリアである。
- 体育館の建設において、駐車場や渋滞などの課題となるが、
  JR 鹿児島駅から徒歩圏内なので、アクセスも 3 つの候補地で一番良い。
- ドルフィンポート跡地と比べて、景観への配慮が低減される。
  また、周辺の公園とも連携した海辺の体育館として可能性が高い。


参考イメージ：SAGA アリーナ

● 参考事例の紹介

世界的な建築家＋ゼネコンによる計画を実現する新たな建築設計公募の仕組みを！（2段階 PFI 等）

鹿児島県の体育館建築設計において

徳島県における awa アワー project（徳島文化芸術ホール（仮称）整備事業）は、優れた公共施設を作るために、先進的な公募事例として参考になる仕組みである。



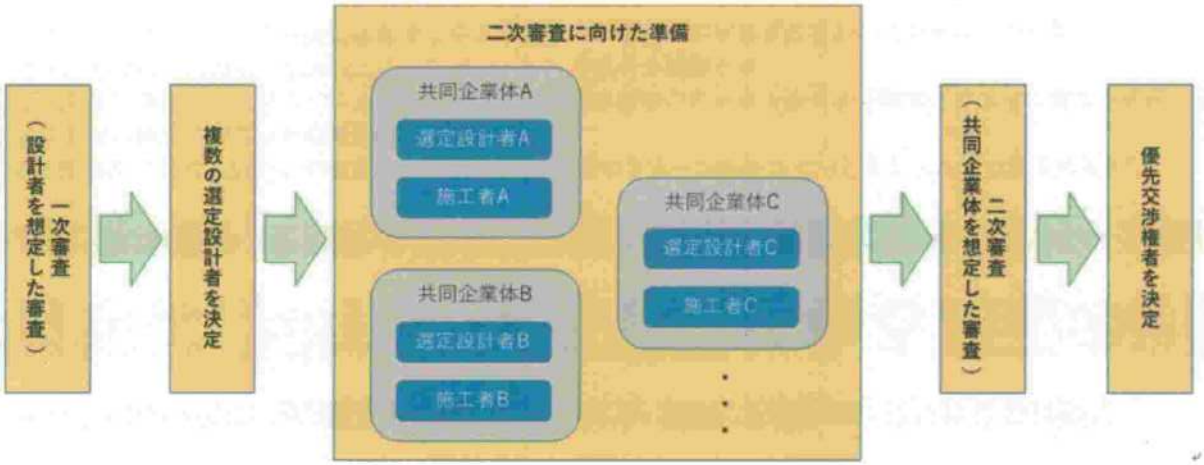
徳島文化芸術ホール（仮称）整備事業

2. 「工夫した審査方法」について

プロポーザルの実施に当たっては、できるだけ多くの設計提案を得つつ、かつ、実現可能性の高い施工提案を求めるため、次の二段階方式での審査を行うことといたします。

・一次審査においては、提案者として設計者を想定（施工を担う事業者との共同企業体の構成準備を妨げるものではありません。）し、基本構想を示した技術提案書に基づく審査（提案者名は匿名とします。）を行い、二次審査の対象者となる複数の提案者（以下「選定設計者」といいます。）を決定いたします。

・二次審査においては、提案者として設計及び施工を担う共同企業体（選定設計者を含む企業体に限る。）を想定し、より具体的な施工計画・コスト管理計画等を含む技術提案書に基づく審査を行い、優先交渉権者を決定いたします。



参照；徳島県 web サイト

178

2023/04/17 16:53:04

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを募集します！(アイディアを直接入力できる専用ページです。)



受付番号:9728621
申請日:令和05年04月17日

番号	項目名	入力内容
1	応募者名(個人または団体)	[redacted]
2	応募者名(ふりがな)	[redacted]
3	住所	[redacted]
4	性別	女
5	年代	20代
6	電話番号	[redacted]
7	プレゼンテーション参加の可否	否
8	以下にアイディアを記入してください。	琉球貿易が盛んだったという歴史から、香港のクルーズ船のように、琉球船や昇平丸モデルの観光船に乗れるように整備をする。また、ジオパークを活かして、「たぎり」を観察するクルージングができるようにしたり、気軽に船で釣りにいけるような仕組みをつくる。釣った魚を本港区でさばいてもらえたり、バーベキューができたりする仕組みをつくる。地元の方はもちろん、海外の富裕層にリピーターになってもらえるよう、日本一の和牛や焼酎を桜島を見ながら味わえるような高めのお店をつくり、大島紬や白薩摩、薩摩切子などを購入してもらいたくなるような仕組みをつくる。(料理を切子や薩摩焼で提供、その場で購入できるように飲食店内で販売する。大島紬を試着する体験をして、桜島バックに記念撮影ができる、紬もその場で購入できるなど。)色んなイベントに活用できるように、広場をつくる。
9	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
10	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
11	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
12	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	

2023/04/17 17:01:33

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを募集します！(アイディアを直接入力できる専用ページです。)



受付番号:9728764
申請日:令和05年04月17日

番号	項目名	入力内容
1	応募者名(個人または団体)	[redacted]
2	応募者名(ふりがな)	[redacted]
3	住所	[redacted]
4	性別	男
5	年代	70代
6	電話番号	[redacted]
7	プレゼンテーション参加の可否	可
8	以下にアイディアを記入してください。	県民最高のロケーションです　錦江湾内の海上交通をうまく利活用したい クルーズ船 空港 新幹線 からの観光客を錦江湾と桜島の見えるドルフィンへ案内 鹿児島でなければ味わえないもの、魚 焼酎 肉 野菜 県民でおもてなし出来るような 一般 プロ アマ 高校生たちが参加して料理 ダンス 演奏など 県民 観光客皆で参加して楽しめる 喫茶 ビールなどを提供できる場所つくり 降灰対策も出来るオープンテラスの提供　マリンポート 桜島 城山 仙巌園 天文館 中央駅への 巡回交通の利活用 定期 臨時的な陸上 海上交通の設定など 国分 隼人 加治木 谷山 指宿(錦江湾海上交通) 交通の利便性 将来的に宮崎 熊本方面へも足を 伸ばせるように 鹿児島の農業 畜産 漁業キビナゴ 果物などの提供 スポーツなど箱ものは場所が狭すぎる 駐車場など 良く考えて頑張りましょう
9	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
10	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
11	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
12	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	

港湾空港課
-5.4.17
受付

受付No.（事務局記載欄）	180

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」
応募申請書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（[redacted]） [redacted] 個人		住所	[redacted]	
性別	男	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ ㉐代・30代・40代・ 50代・60代・70代・ 80代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名　　）
プレゼンテーションの可否（○で囲む）			可　・　㊎		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム(e(い一)申請)」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付 No.（事務局記載欄）	

「鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア」
応募様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

ドルフィンポート跡地再開発

現在ドルフィンポート跡地に新総合体育館が計画されている。イベントコンベーション施設としての機能も持ち、天文館を抜けた街のにぎわいの施設と大きな期待ができる。新総合体育館は、メインアリーナ、サブアリーナ、柔道場、弓道場が施設構成としてあり、競技者以外に向けた空間の機能も備えている。そのため、建築物の規模は大きく、通常のような箱型建築をドルフィンポート敷地においてしまうと、景観を遮るだけでなく、天文館から抜けて出た港本港区に壁のような存在が立つことになる。それはあの開けた敷地において負の要因だと考える。よってあの敷地には従来の箱型のアリーナではない形態が求められる。また、住吉町にアリーナの用の大きな駐車場が置かれる予定だが、アリーナに向かうまでに駐車場からアリーナがどう見えるのかも考慮する必要がある。

提案案

○アリーナの構造

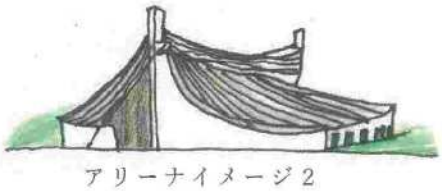
アリーナの構造は、吊り構造を考える。吊り構造にすることでアリーナに必要な高さを確保しつつ、箱型建築とは異なる緩やかな屋根の形態から、高さを持った壁のような印象を与えない。またゆるやかな傾斜から桜島の景観を覗くことができると考える。景観問題は桜島だけでなく、その敷地周りにも及ぶため、もともとの利用者たちの生活の中に馴染むような高さ設計する。アリーナは半地下にし、地上レベルに観客席をもってくる。

○敷地周辺の複合機能について

新体育館ができることで敷地周辺のスポーツ活動は活発になると期待できるので、訪れた人の活動の追い風になる機能を与えたい。アリーナの半地下建設で出る土を活用しクロスカントリーコースの作成を挙げる。ドルフィンポート跡地の広場、またウォーターフロントパークに傾斜をつけ、ランニングする人の練習ロード、子ども達の新たな遊び場となるようにする。



アリーナイメージ1



アリーナイメージ2

港湾空港課
-5.4.17
受付

受付 No.（事務局記載欄）	181

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」
応募申請書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（かごしまだいがくだいがくいん りこうがくけんきゅうか けんちくがくこーす きかたけんきゅうしつ） 鹿児島大学大学院理工学研究科 建築学コース　木方研究室 （団体）		住所	鹿児島県鹿児島市郡元 1-21-40 工学部建築学科棟	
性別	男 2 人 女 3 人	年代 （○で囲む）	10 歳未満・10 代・ （20 代）・30 代・40 代・ （50 代）・60 代・70 代・ 80 代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名[redacted]）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			（可）　・　否		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町 10 番 1 号
TEL：099-286-3665　FAX：099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム（e（いー）申請）」
URL：https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

1，現状・課題

1-1，港湾計画と体育館配置

現在の港湾計画ではドルフィンポート跡地は「交流厚生用地」とされているため、新体育館は図のように配置される計画です。しかしこの配置ではマイアミ通りからの桜島の景観が損なわれてしまいます。更に多目的広場とウォーターフロントパークをより一体的に利用できるように再考する必要があります。



■ 埠頭用地 ■ 交流厚生用地 ■ 緑地 ■ 港湾関連用地

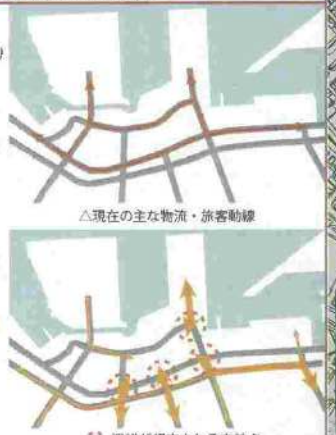
△港湾計画と現在の計画案

1-2，交通動線について

「鹿児島本港区エリアまちづくりグランドデザイン」※1 において、ウォーターフロントパークやドルフィンポート跡地など既存機能を含めた本港区全体を一体的に活用することが提案されています。

しかし本港区全体を一体的に活用し賑わい創出を図れば、もともとあった物流・旅客動線に支障が出ることが予想されます。

※1　2019年2月、鹿児島県作成



△現在の主な物流・旅客動線

混雑が想定される交差点

△想定される新体育館への動線

1-3，本港区北ふ頭について

「鹿児島本港区エリアまちづくりグランドデザイン」※1 によれば、北ふ頭旅客ターミナルには奄美・喜界航路のみが発着しており、十分な活用がなされていません。さらに、1・4号上屋と4号上屋の西側及び東側の敷地も低未利用になっています。

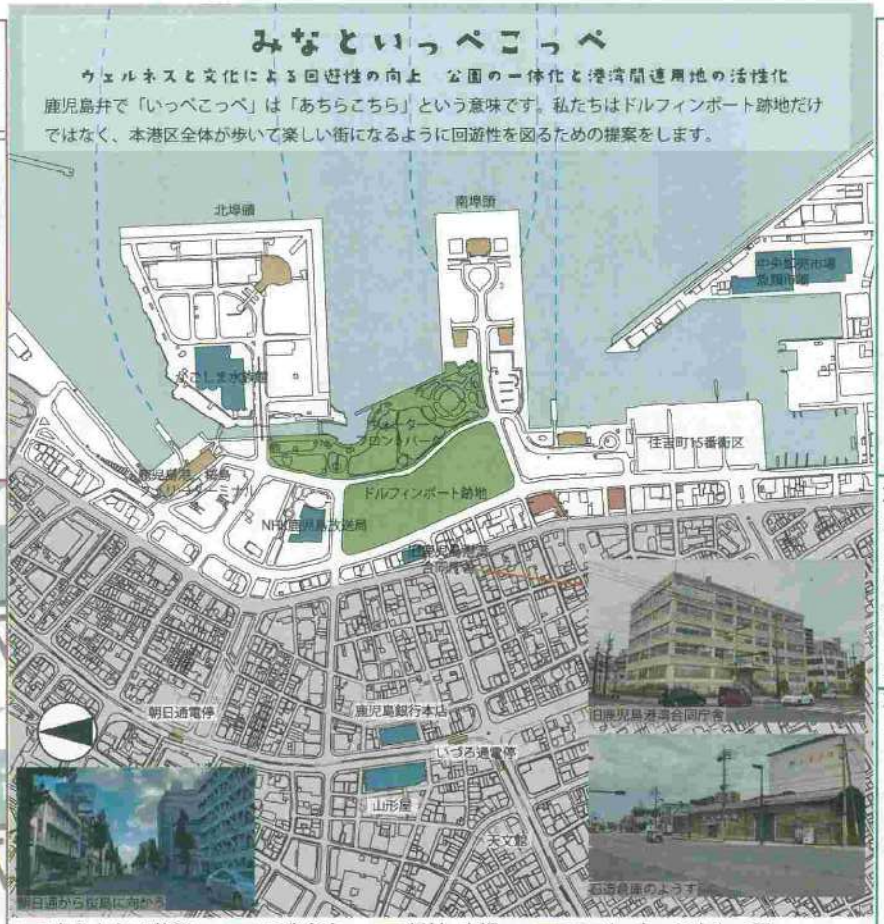


△北ふ頭発着の航路と港湾施設

みなといっぺこっぺ

ウェルネスと文化による回遊性の向上　公園の一体化と港湾関連用地の活性化

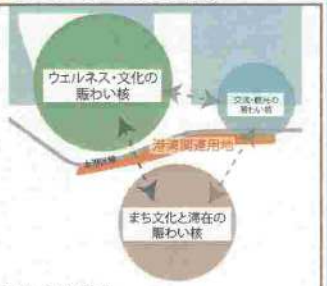
鹿児島弁で「いっぺこっぺ」は「あちらこちら」という意味です。私たちはドルフィンポート跡地だけではなく、本港区全体が歩いて楽しい街になるように回遊性を図るための提案をします。



■ 中心となる施設 ■ 石造倉庫 ■ 緑地・広場 ■ フェリーターミナル、駅

1-4，まちづくりビジョン（鹿児島商工会議所）の方向性

まちづくりの方向性のなかでドルフィンポート跡地ゾーンと天文館ゾーンをつなぐ誘導空間（←――→）は、「天文館ゾーンの賑わいをウォーターフロントパークへとつなげるよう、ウォーターフロントパーク方向へ賑わい機能の滲みだしを誘導する」としています。しかし、港湾関連用地の未開発や臨港道路が賑わいのつながりを妨げています。またウェルネス・文化の賑わい核のなかで具体的に文化をキーワードとした空間の提案がありません。



1-5，港湾関連用地の現状と課題

ⅰ．旧鹿児島港湾合同庁舎

老朽化した空きビルが景観を損ねています。鹿児島商工会議所の案では、官民一体の再開発が検討されていますが、まだその具体的な利活用のアイデアが出ていません。

ⅱ．石造倉庫群と隣地建物

歴史的倉庫群は少数現存してはいるものの、隣地建物との景観が統一されていません。

2，方針

2-1，港湾計画と体育館配置



1. 港湾計画の変更

港湾計画の一部を変更します。ウォーターフロントパークの一部とほぼ同面積のドルフィンポート跡地の一部の土地利用を入れ替えます。

2. 体育館配置

桜島の景観を配慮して交流厚生用地に体育館を配置します。

↓

ウォーターフロントパークと多目的広場が一体的に利用できます。桜島の眺望を確保した、緑地に開く体育館を実現します。



2-2，交通動線について

新体育館建設により、複数の交差点や道路で混雑することが想定されます。物流・旅客動線と新体育館に向かう動線を分離するため、これら動線を整理する必要があります。



△物流・旅客動線と新体育館への動線

2-3，北ふ頭について

低未利用となっている北ふ頭の港湾機能（ターミナルと航路、上屋）を南ふ頭に集約し、旅客・物流動線と新体育館に向かう動線を整理します。

さらに移転後の北ふ頭はエンターテイメント空間として活用します。



△北ふ頭・南ふ頭の配置計画

2-4，ウォーターフロントパークを盛り上げる周辺空間の提案

ウォーターフロントパークとドルフィンポート跡地はウェルネスゾーンとして、港湾関連用地は文化ゾーンとして再構成します。

・旧鹿児島港湾合同庁舎は文化の発展を担う施設として再生します。ここを中心に文化の輪を広げます。

・石造倉庫に調和した街並みを形成し、文化の活動拠点を散りばめます。



3-1,緑地保全と体育館の計画方針

3-1-1, 港湾計画と体育館配置

鹿児島県本港区の港湾計画を図のように変更し、体育館を南ふ頭側に配置します。またウォーターフロントパークとドルフィンポート跡地のそれぞれ一部を合わせて一つの緑地とします。



△港湾計画の変更

3-1-2, 緑地と体育館のあり方

緑地を今回の計画の中心として位置づけ、桜島への眺望を確保します。

体育館は緑地南側に配置し、緑地との一体的な利用が可能な計画とします。

広場をつなぐランニングコースをつくり、ウォーターフロントパークやドルフィンポート跡地の広場は、オープンスペースとしてキッチンカーやコンテナ等、仮設のものを用い、新たな広場として利用します。

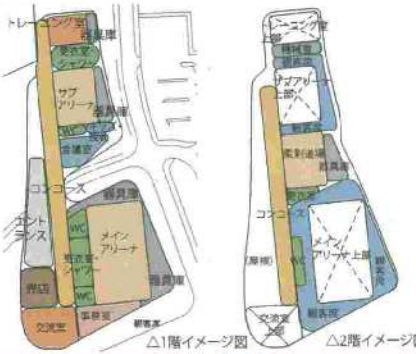


△緑地と体育館の関係

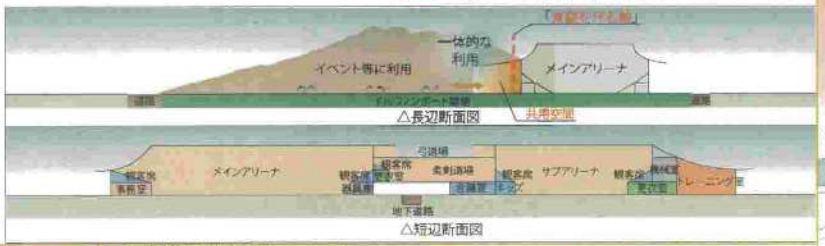
3-1-3, 体育館・柔剣道場等について

体育館・柔剣道場等の配置について、まず「景観を守る軸」を設定します。この軸は現在の「みしまフェリーのりば」の建物に合わせて東西方向に設定します。そしてメインのボリューム（アリーナ部分等）は軸より南側に配置します。

また各施設と緑地をつなぐ役割を担うエントランスなどの共用空間は、公園側に計画可能とし、緑地や周辺と一体的な活用を目指します。



△1階イメージ図　△2階イメージ図



△長辺断面図　△短辺断面図



3-2, 交通動線について

物流・旅客動線（⟷）を本港区線に、新体育館に向かう動線（⟷）を県道鹿児島港線以西に、それぞれ集約し区分けします。そのために以下のような手法を提案します。

3-2-1, 地下駐車場

新体育館を含め本港区にアクセスする一般用駐車場を地下に配備します。下図の部分に地下駐車場を設けることで、2つの動線が交錯することを避けます。

3-2-2, 立体交差

現在のウォーターフロントパークとドルフィンポート跡地をより一体的に活用するために臨港道路南北ふ頭線の一部を地下道路とし、立体交差にします。


△物流・旅客動線と新体育館への動線



△地下駐車場と入口の分布



△地下道路とする範囲（- - -）

3-3, 本港区北ふ頭について

低未利用となっている北ふ頭のターミナルや上屋といった港湾機能を南ふ頭に集約させます。

3-3-1, 北ふ頭の港湾施設の活用

北ふ頭フェリーターミナル及び1・2・4号上屋は、エンターテイメント空間としてコンバージョンします。また4号上屋の西・東両側の空地には桜島を望むような配置で、既存の4号上屋の外観に合わせるように建物を計画します。



△北ふ頭・南ふ頭の配置計画



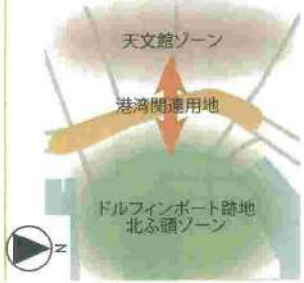
△北ふ頭の現在の港湾機能配置



△北ふ頭の配置計画

3-4, 港湾関連用地について

港湾関連用地が、天文館ゾーンとドルフィンポート跡地・北ふ頭ゾーンを繋ぐ役割を担う区域と位置づけます。そのためにこの区域を右図のように再構成します。



3-4-1, 既存倉庫と新設倉庫の商業施設

既存の倉庫群周辺に同じ規模の倉庫を新設します。新設倉庫群の中に賑わいスペースをつくり、イベントスペースとします。

3-4-2, マンションなどの既存建物

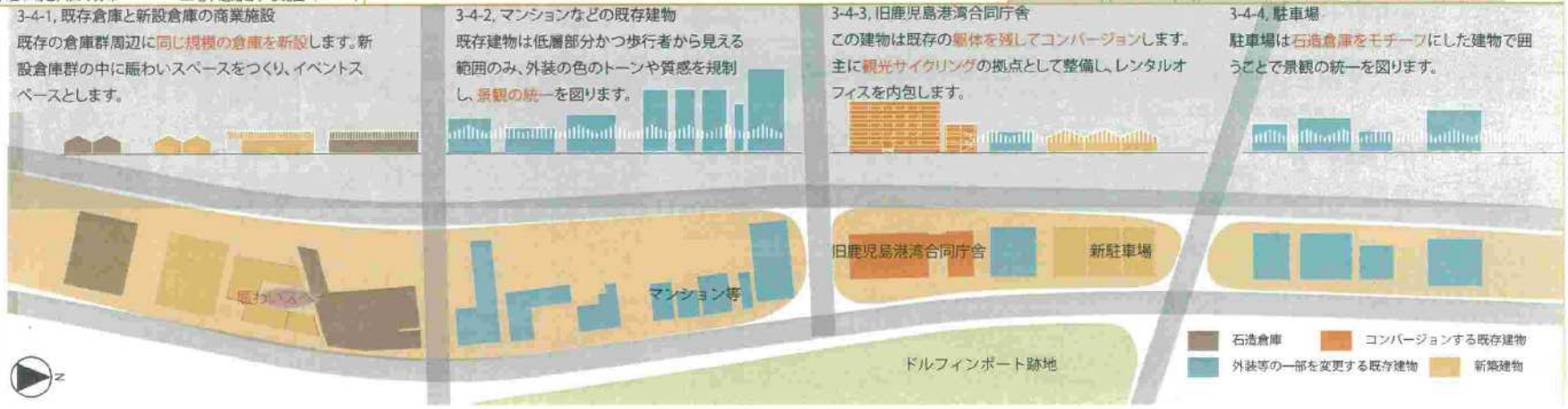
既存建物は低層部分かつ歩行者から見える範囲のみ、外装の色のトーンや質感を規制し、景観の統一を図ります。

3-4-3, 旧鹿児島港湾合同庁舎

この建物は既存の躯体を残してコンバージョンします。主に観光サイクリングの拠点として整備し、レンタルオフィスを内包します。

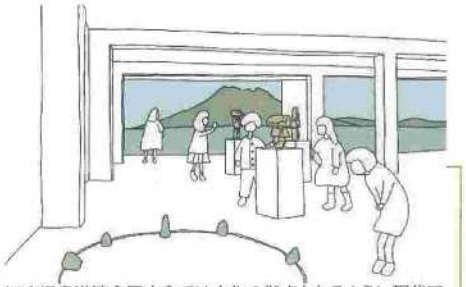
3-4-4, 駐車場

駐車場は石造倉庫をモチーフにした建物で囲うことで景観の統一を図ります。



本港区の未来予想図

私たちの考えた方針を元に具体的な計画をしました。緑地を中心に賑わう本港区を実現するためにドルフィンポート跡地だけでなく、北埠頭や港湾関連用地の活用案も考えました。



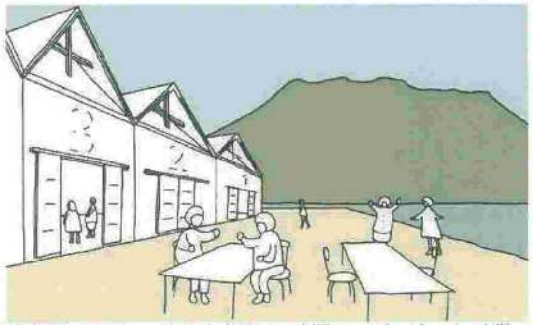
旧鹿児島港湾合同庁舎では文化の拠点となるように現代アートを展示するギャラリーを設けます。



また旧合同庁舎では観光客向けに自転車の貸し出しを行い市民はレンタルオフィスとして利用できます。

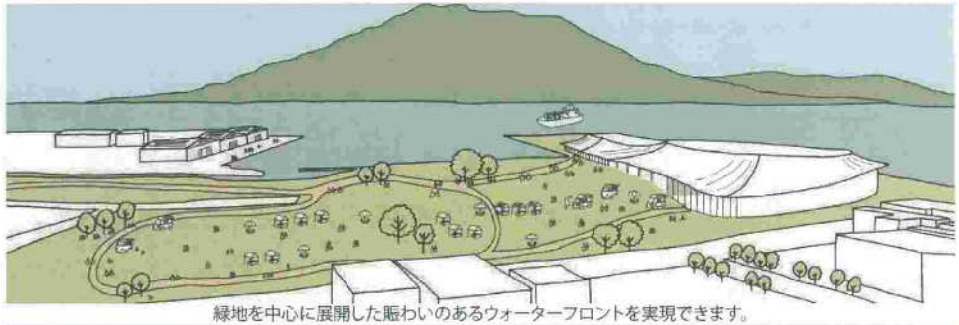


新設の倉庫群は広場やギャラリー、音楽スタジオなどを設け賑わいスペースとなります。

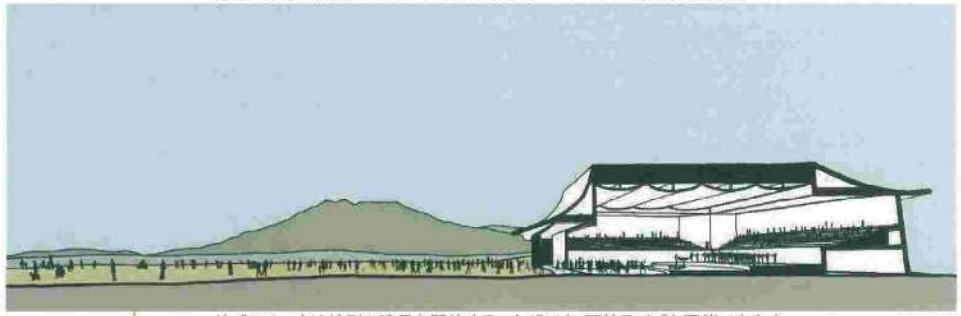


北埠頭はエンターテイメント空間として新設・コンバージョンし、商業施設を入れることで賑わいを取り戻します。





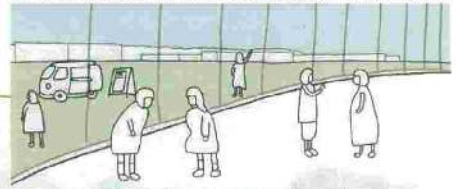
緑地を中心に展開した賑わいのあるウォーターフロントを実現できます。



サブアリーナは外側の建具を開放することができ、野外ライブも開催できます。

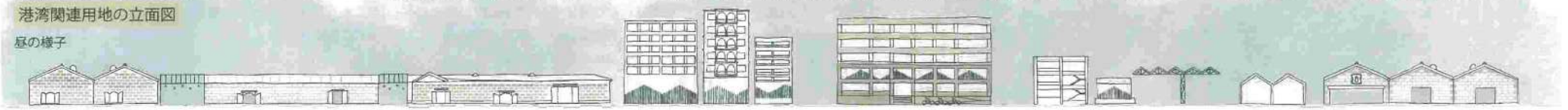


軸上に体育館を配置することで桜島の景観が確保されます。



開放的なコンコースで観客を迎え入れます。

港湾関連用地の立面図





182

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを募集します！(アイディアを直接入力できる専用ページです。)

港湾空港課
-5.4.17
受付

受付番号:9729148
申請日:令和05年04月17日

番号	項目名	入力内容
1	応募者名(個人または団体)	[redacted]
2	応募者名(ふりがな)	[redacted]
3	住所	[redacted]
4	性別	女性
5	年代	50代
6	電話番号	[redacted]
7	プレゼンテーション参加の可否	否
8	以下にアイディアを記入してください。	神奈川県で東日本大震災に遭った者です。その際、建物の無い空き地の必要性を強く感じました。 建物内では、どのような被害(倒壊、火災、避難時の人災等)が起こるか予想できないからです。震災当時、震度7程度耐用の建物内にいましたが、室内のガラスドアの破損等が生じました。 故に、繁華街からほど近いこのエリアが、防災の面から、空き地であることを望みます。 なお、地下駐車場のある公園、広場は地下火災等の可能性があるため、防災避難所としては疑問を持っております。 何もないから、誰もが、いつでも、どこででも、何かができる。 そんな場所を設けていただきたいです。
9	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
10	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
11	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
12	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	

港湾空港課
-5.4.17
受付

受付No.（事務局記載欄）	183

[redacted]

（ふりがな）応募者名（個人・団体）	（[redacted]）[redacted]		住所	[redacted]	
性別	女性 [redacted]	年代（○で囲む）	10歳未満・10代・20代・30代・40代・50代・60代・70代・80代以上	電話番号（団体の場合は担当者名も記載）	[redacted]（担当者名　　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）	可　・　否				

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。

※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。

※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。

※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。

※　提出された資料については，返却いたしません。

※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。

※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。

※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム（e（い一）申請）」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

[redacted]

受付No（事務局記載）

[redacted]

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

北ふ頭地区エリア …元々ある建物（倉庫）を活かし、レンタルアトリエ・催事場・トラックコンサート等を行える屋外コンサートホール（有償）を設置。
水族館近くの建物は、親子やカップルなど、水族館利用者を取り込める様な屋内遊戯施設（ボルダリング、VR体験、プロジェクションマッピング等）として活用。

南ふ頭地区エリア …市街居住エリアと離れている強みを活かして、弾き語りや路上ライブを行えるスポットを複数箇所設置（利用を県もしくは市の登録制として管理）。
有償利用できるコンテナ（もしくはプレハブ型）レンタルスペースを設け、機材リスト及び希望者に機材レンタルの仕組みも作る。
（公園入口にタクシー待ち場・コミュニティーバス乗り場を設置）
そして、ライブスポット先の間に屋台設置区画も設け、エリア内に屋台保管場も作り、保管スペース＋1ヶ月の屋台営業使用料を市街地飲食テナント使用料より格安で提供する事で、鹿児島の若い世代の芸術活動・飲食業の支援の両立を計る。



その他（ウォーターフロントパーク・ドルフィンポート跡地・住吉町15番街区等） …東京都の豊洲市場を参考にした鹿児島大複合施設を建設。
建物上部（屋上部）はウォーターフロントパークの様な緑を残したり、太陽光パネル設置で施設内電力を補填できる仕組みを作り、地元の人達に寄り添った建築物をデザイン。
内部（建物内）は、漁連やJA・地元農家と連携を計り地元民も観光客も取り込める様な賑わい場や土産物屋、また地産地消の飲食店、鹿児島独自の芸術・伝統（食学用）文化を伝えられる様な一画を設け、県外や国外の観光客がこの施設周囲だけでも楽しめるエリアを目指す。

※任意様式に記載して頂いても構いません。

港湾空港課
-5.4.17
受付

受付No.（事務局記載欄）	188

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」
応募申請書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（[redacted]） [redacted]		住所	[redacted]	
性別	男	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・20代・30代・40代・50代・60代・70代・80代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] －　－ （担当者名　　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			可　・　否		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。

※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム(e(いー)申請)」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付 No.（事務局記載欄）	

「鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア」
応募様式

私は鹿児島市本港区エリアを

『鹿児島のイベントの中心地』

として整備すべきと考えます。

本港区はこれまでもサマーナイト花火大会、ラーメン王決定戦など
10万人を越えるイベントを開催してきたダ規模イベント開催地としての
実績を誇ります。
19年にラーメン王決定戦が三反園前知事の本港区再開発計画の煽りを受け
代替会場を確保できずに大会自体の休止に追い込まれたように
本港区は鹿児島県で数万人を集める大規模イベント会場として
非常に稀有で魅力的な地域です。
それ故、各種大規模イベントに対応できる会場、アクセス等を整備して
既存のイベントをより大規模にし、また新規大規模イベントを立ち上げ
県外や国外の方々を新たに呼び込む『きっかけ』を作り
県外からの来訪者増加を図って鹿児島県の経済の活性化を狙います。

本港区各地区の構成

ドルフィンポート跡地
・・・県体育館（スポーツコンベンションセンター）

ウォーターフロントパーク・・・現状維持
住吉町15番街区・・・サッカー等専用スタジアム
北ふ頭及び南ふ頭・・・現状維持
県営駐車場・・・一部を除いて立体駐車場化、バスターミナルの新設

いかにして本港区を「鹿児島のイベントの中心地」とするか？

●県体育館の近くのウォーターフロントパーク、スタジアムを
活用すること、また互いの施設を同時使用することで
今まで以上の大規模なイベント開催を可能とする。

開催参考例

① サマーナイト花火大会

会場を今までのウォーターフロントパークに加え
スタジアムを有料席として使用し、
スタジアムのオーロラビジョン、音響装置を使った演出で
より花火大会を今まで以上に魅力的なイベントとして
強化して県外からの観光客を今まで以上に呼び込む。
スタジアムの観客席で会場での長時間の滞在が
可能になることから
スタジアムにて花火大会の開催時間前に
プレイベント等で、花火大会入場者が
スタジアム内の飲食店で買い物をするなど、
より経済効果が見込める。

② ラーメン王決定戦

2019年の第5回大会では県内外から18万人が訪れた
ラーメン王決定戦ですが、会場をスタジアムとすることで
今までのウォーターフロントパークと違い
雨天時でも安定したイベント運営が可能となります。
屋台はスタジアム内のコンコース（通路）に設置。
来場者はラーメンを食べられる際は今までのテント内の
パイプ椅子ではなくスタジアム内の
観客席にて屋根のある環境で安心して
お召し上がりになっていただきます。
（下記画像は豊田スタジアムのコンコースでの
イベントイメージ図）



③ THE GREAT SATSUMANIAN HESTIVAL

2018年、19年にそれぞれ3万人、3万3000人と
動員してきた鹿児島の音楽フェスティバルの会場を
桜島の麓からアクセスが優れ、集客能力のある
桜島を臨む本港区に会場を移す。
メイン会場をスタジアム、サブ会場を県体育館、
物販、屋台等はウォーターフロントパークに設置。
アクセスが優れ、天候にも大して左右されない会場にて
観客がより安心して楽しめるイベントとして
さらなる県外からの来訪者を獲得し、
イベント後の夜の飲食も含め天文館を始めとする
地域の経済効果が期待できる。
（音楽フェスの経済効果として規模はともかく
ロッキンジャパンは77億円超、
フジロックは151億円超、
そして身近なものとしては沖縄県宮古島の
宮古アイランドロックフェスは4億円超とも言われてます。）

引用元【インバウンド獲得の切り札？】音楽フェスが地方に与える経済効果とは



●新規大規模イベントの助成及び補助

イベントの開催に対し新たに市や県の補助、助成及び既存の国の補助金、助成金の制度の紹介をし、県内各事業者、団体が新たにイベントを開催、もしくは既存のイベントをより大きく出来るようサポートし
県外からの来訪者をより招き入れるような魅力的なイベントを
官民一体となって育てていく。
（例としては鹿児島ぎょうざ協議会さんであったり
首都圏で行われてる「さつまいも博」をさつまいもの本場である
鹿児島でも似たような形態で行う等）

●本港区のアクセスの改善

△鹿児島市が現在計画されている市電の延伸
△鹿児島市の「かごりん」の利用促進。
　鹿児島駅、鹿児島中央駅の台数を増やし、30分以内であれば
　無料とし、利用回転数を上げる、ナポリ通り、パース通り、
　県道214号線に自転車専用レーンを整備、
　本港区のサイクルポートも強化
△本港区第6駐車場をバスターミナルとして整備。
　イベント開催時のピストン運行に対応するため
△旧鹿児島港湾合同庁舎を自転車及び2輪車の立体駐車場として整備
　本港区利用者の自転車及び2輪車での利用をしやすくし
　マイカー利用を減らすことで本港区周辺の渋滞の減少を狙う。
△第2、第3県営駐車場の立体駐車場化
　3階建て程度の立体駐車場化によってバスターミナルとして
　整備する第6県営駐車場の駐車台数の減少をカバーし
　むしろ、これまでの本港区の駐車台数を約3割増やす。
　第2、第3県営駐車場が面する名山桟橋通りは元々
桜島の方を向いていない為、第2、第3県営駐車場の立体駐車場化は
通りからの桜島の景観は損なわない。

第2、第3県営駐車場の立体駐車場化が与える
名山桟橋通りの景観の変化予測





旧鹿児島港湾合同庁舎の位置及び画像





まとめ

本港区にスポーツコンベンションセンターとなる県体育館を
整備するのであれば、近くに整備する施設は県体育館とと相互利用しあえる
施設がベストだと考えます。
そうした意味では鹿児島市が提唱されるサッカー等専用スタジアムが
住吉町15番街区に適切です。
県体育館もスタジアムもスポーツイベント以外の大規模イベントに
利用されることが今では当たり前となっていますが
残念ながら、鹿児島では体育館やスタジアム、野球場が
72年の太陽国体以前に作られた2世代前の旧態依然とした
施設という事もあり大規模イベント等に充分利用されていません。
県内でも有数の大規模イベント開催の実績がある
ウォーターフロントパーク、そして8000人収容予定の県体育館、
15000人から20000人の集客能力が見込まれるサッカー等専用スタジアムと
それぞれの施設を活かし多彩なイベントを開催し
（スタジアムにおいては当然鹿児島ユナイテッドの試合
県体育館においてはレブナイズの試合を含む）
またイベントが開催されていないときでも県体育館、スタジアムに
予定される飲食店や観光ショップ、展望スペース等で
グランドデザインにある『年間３６５日，国内外の幅広い観光客や県民で賑わい，
国際的な観光都市にふさわしい「来て見て感動する観光拠点」を目指します。
県体育館やスタジアム内の施設としては
同じ九州で今年完成した佐賀アリーナや北海道のエスコンフィールドの
施設と同じ方向性の施設が観光拠点となる施設には望ましいと考えます。

私の考える本港区再開発の全体イメージ図



分析事例 II　イベント開催に伴う消費支出の波及効果測定

県内において開催されるイベントの来場者による消費支出が県経済に与える影響(波及効果)の測定

来場者見込み数　100,000人

1 はじめに

イベント開催による経済波及効果については,その形態や規模により内容も様々ですが,大規模なものになると以下のような投資,消費支出が考えられ大きな波及効果が期待できます。

(1) 会場施設建設等関連投資額
(2) 主催者の運営経費
(3) 来場者による消費支出額

実際に波及効果の測定を行う際は,(1)から(3)の県内需要額,品目別最終需要額を個別に算出したうえで測定を行うことになりますが,(1)及び(2)の事務局運営経費については,主催者側からの資料等により比較的容易に把握できます。

本事例では,対象となる県内需要額を,別途推計する必要のある(3)の来場者による消費支出に限定して測定することとします。

(1)については,分析事例Ⅰで建設投資のモデル分析とほぼ同じ手順で測定します。

(2)については,県内需要額の把握以降(ステップ2,3)は,同じ手順で測定します。

2 事例のポイント

(1) 消費支出額の測定

通常,消費支出額は「来場者数×1人1泊(回)当たり経費」で算出します。

来場者数については,イベントの開催前であれば主催者による見込み数を,開催後であれば実績により把握できますが,「1人1泊(回)当たり経費」となると簡単にはいきません。

また,消費支出額全てが「県内需要増加額」として波及効果測定の対象となるとは限りません。

(2) 消費支出額の産業連関表への格付け

消費支出としては,「宿泊費」,「交通費」及び「土産物購入費」に飲食代や施設入場料などの含まれる「その他経費」が考えられます。

しかし,「宿泊費」を除く経費については,複数の財・サービスの集合した結果であって,単一の財・サービスを指しているわけではありません。

また,「宿泊費」,「交通費」,「土産物購入費」,「その他経費」の構成ですら把握できない場合も多いと考えられます。

波及効果の測定を行う際には,これらの経費を何らかの方法により産業連関表の各部門へ格付ける必要があります。

(3)「生産者価格」への変換

来場者による消費支出額は，流通コストである「商業マージン」と「貨物運賃額」の上乗せされた，産業連関表で言う「購入者価格」となっています。

しかし，本県産業連関表は，流通コストが個々の取引額には含まれない「出荷価格」で記録され，別途，「商業」，「運輸・郵便」の部門に一括計上される「生産者価格」により作成されています。

したがって，波及効果の測定を行う際には，「購入者価格」から「商業マージン」と「貨物運賃額」相当額を控除した後，各控除額を「商業」，「運輸・郵便」部門へ加算することにより「生産者価格」へ変換する作業が必要です。(この作業を「運賃・マージンの皮ハギ」と呼びます。)

(4) 自給率の調整

直接効果は「県内需要増加額」に対して「自給率」を乗じることにより測定しますが，「県内需要増加額」を県内で生産された財・サービスに特定して測定した場合などは「自給率」を調整する必要があります。

(5) 分析目的に応じた部門表の設定

本県産業連関表の部門表は187部門，106部門，39部門，15部門が設定されています。

しかし，本事例の測定を行う際に39部門表を用いるとすれば，「宿泊費」及び「飲食代」は共に「67 対個人サービス」に格付けられ，それぞれの投入構造の差異は打ち消されてしまい，逆に106部門表を用いるとなると，部門数の多さにより測定結果が非常に読みにくくなるといった問題が生じます。

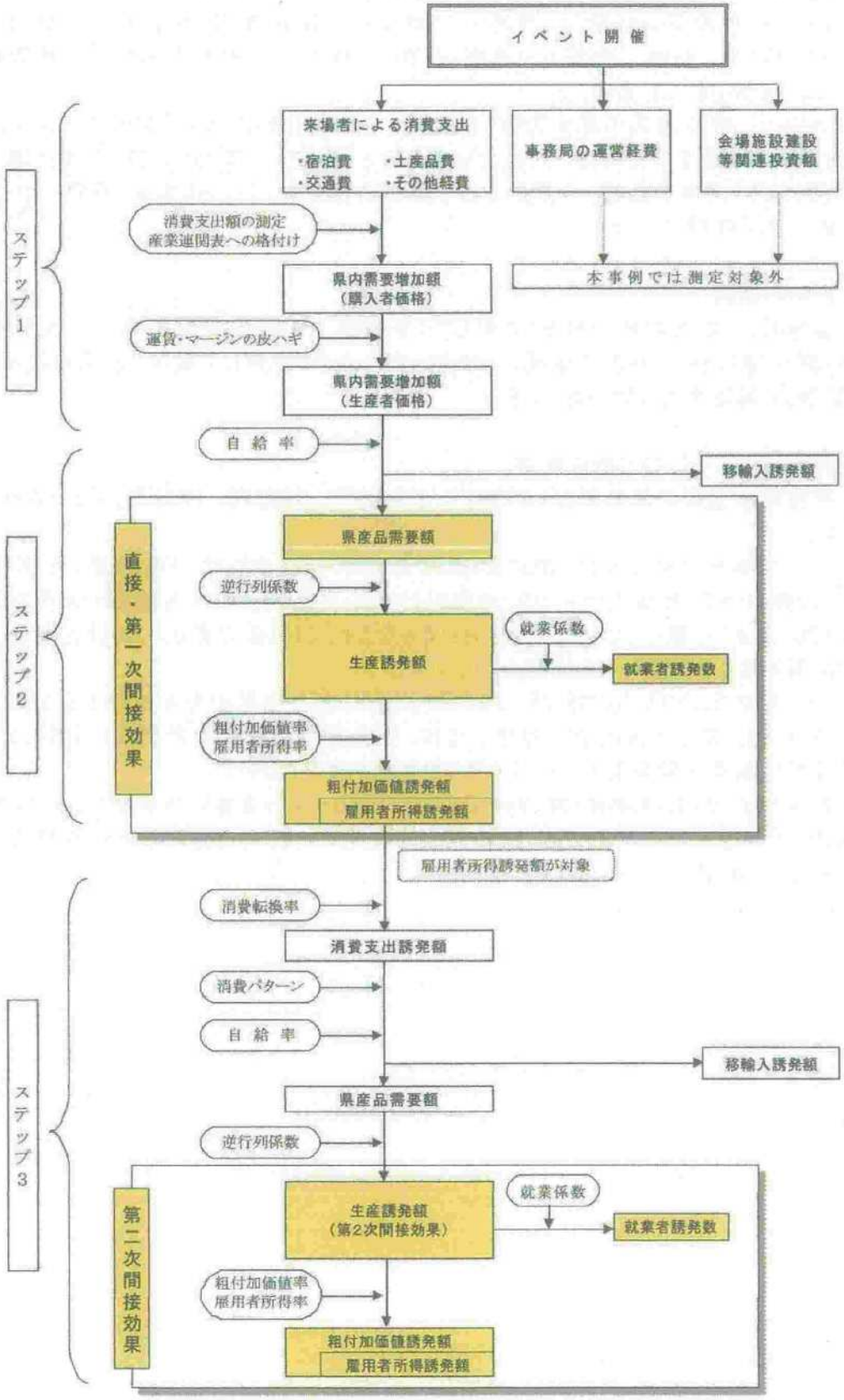
そこで，対応としては，106部門，187部門など詳細な部門表を再統合することにより，分析目的に応じた部門表の設定，又は，効果測定は詳細な部門表により行い，分析は測定結果を統合することにより行うなどの方法があります。

本事例では，産業連関表・部門分類表を元に106部門表を再統合することで，39部門表の「対個人サービス」から「宿泊業」と「飲食サービス」を分離した41部門表の設定を行い，測定に利用することとします。

3 波及効果分析の作業フローチャート

モデル分析:イベント開催に伴う消費支出の波及効果

県内でイベントが開催された場合の来場者による消費支出が県経済に与える影響（波及効果）の測定



4 波及効果の測定

ステップ1【県内需要増加の把握】

県内需要増加額は，基本的には次の式で求めます。

県内需要増加額	＝	1人あたりの県内消費額	×	来場者数

(1) 来場者数の測定

開催前 → 主催者側の見込み数
開催後 → 実績数

※ 通常，イベント等を開催する場合，主催者は来場者の見込みをたて，開催後に来場者数の実績を把握しています。
※ 本事例は特定のイベントを対象としたものではありませんので，あくまでも仮定の数字です。

来場者の中には，「宿泊」と「日帰り」あるいは，「県外客」と「県内客」などの形態により，消費の形態も異なります。
主催者が公表する，見込みや実績数にこれらの形態別の数字が示されれば，その数値を使用します。
本事例では，来場者見込みの総数が公表されたものとしてありますので，この数値を，県観光課が公表する観光統計の年間の観光客数の比率で振り分けました。
※ イベントの内容によっては，県外観光客を呼び込むためのイベントなどもありますので，その内容によって，振り分け方法を工夫する必要があります。

表4－2－1 県外宿泊者，県内宿泊者，日帰り別の来場者内訳の推計

(人)

主催者の来場者見込み数 a	100,000

来場者数の内訳

(単位：人，%)

	観光客数	宿泊観光客数			日帰り観光客数		
			県外宿泊観光客数	県内宿泊観光客数		県外日帰り観光客数	県内日帰り観光客数
平成27年観光客数 b(千人)	13,955	3,246	2,267	979	10,709	1,670	9,039
bの構成比 c	100.0	23.3	16.2	7.0	76.7	12.0	64.8
来場者の見込み数 d=a*c/100	100,000	23,260	16,245	7,015	76,740	11,967	64,773

【平成27年観光客数】
観光庁ホーム > 統計情報・白書 > 統計情報 > 共通基準による観光入込客統計
【年間値：平成27年】(集計済：43/46都道府県 ※R2.3.31更新)Excelファイル
鹿児島県への観光入込客数(日本人・観光目的) ※観光入込客数は実人数

(2) 来場者の1人1泊(回)当たり消費額の測定

『主な測定方法』 A:来場者を対象としたアンケート結果
B:他の同様なイベントによる分析事例
C:観光客の標準的な消費額・消費構成の推計結果を利用

1人1泊(回)当たり消費額を設定する方法としては上記の方法があり,もっとも有効なのはAのアンケート結果です。

アンケートを実施することにより,当該イベントへの来場者がどの程度の消費支出を行ったか,調査内容によっては,消費額を産業連関表へ格付ける際の参考となるデータ(消費支出の大まかな構成)も得ることができます。

しかし,アンケートが実際に行われるか否か,実施された場合でもその回収率,さらに,当然のことながらイベントの開催前に効果測定はできないという問題があります。

B 及び C の方法による場合もそれなりに有効ですが,イベントの性格上その形態,規模などは様々であり,測定対象となるイベントの特色が出にくくなってしまいます。

現実の事例では,B 又は C のデータを主催者側資料での調整が必要です。

表4−2−2 1人1回(1泊)当たりの観光旅行に掛かる費用(推計値) (単位:円)

行ラベル		県外観光客(宿泊)①	県内観光客(宿泊)②	県外観光客(日帰り)③	県内観光客(日帰り)④
1 宿泊費		14,290	8,083	0	0
6711011	宿泊業	14,290	8,083	0	0
2 交通費		8,246	4,664	2,291	873
2111011	ガソリン	468	265	94	36
5711011	鉄道旅客輸送	2,117	1,198	559	213
5721011	バス	322	182	66	25
5721021	ハイヤー・タクシー	292	165	65	25
5742011	沿海・内水面旅客輸送	755	427	136	52
5751012	国内航空旅客輸送	2,579	1,458	1,014	386
5789011	道路輸送施設提供	764	432	145	55
6612011	貸自動車業	949	537	212	81
3 土産品		9,464	5,353	2,630	1,003
1111099	その他の畜産食料品	400	226	94	36
1112011	冷凍魚介類	618	349	122	46
1112099	その他の水産食料品	437	247	94	36
1114031	菓子類	477	270	90	34
1115011	農産保存食料品	308	174	74	28
1119099	その他の食料品	346	196	65	25
1512021	繭・人絹繊物(合繊長繊維繊物を含む。)	1,096	620	310	118
1619099	他に分類されない木製品	320	181	132	51
2071011	医薬品	102	58	36	14
2082011	化粧品・歯磨	237	134	83	32
2089021	写真感光材料	174	98	76	29
2229091	ゴム製・プラスチック製履物	0	0	0	0
2312012	かばん・袋物・その他の革製品	1,700	962	586	224
2611099	他に分類されないガラス製品	78	44	16	6
2599099	その他の窯業・土石製品	601	340	126	48
3116011	光学機械・レンズ	0	0	0	0
3299099	その他の電子部品	1,318	745	307	117
3919021	時計	281	159	110	42
3919099	その他の製造工業製品	701	397	253	96
5951031	出版	270	153	56	21
4 その他		14,852	8,401	4,127	1,573
0131021	農業サービス(獣医業を除く。)	418	237	98	37
5761011	貨物利用運送	447	253	313	119
5791011	郵便・信書便	25	14	7	3
5911021	移動電気通信	148	84	41	16
6312011	社会教育(国公立)★★	299	169	79	30
6312021	社会教育(非営利)★	48	27	13	5
6721011	飲食店	1,526	863	207	79
6731041	浴場業	277	157	86	33
6731099	その他の洗濯・理容・美容・浴場業	1,202	680	597	228
6741021	興行場(映画館を除く。)・興行団	1,443	816	440	168
6741041	スポーツ施設提供業・公園・遊園地	3,357	1,899	1,016	387
6741099	その他の娯楽	1,667	943	601	229
6789011	写真業	382	216	103	39
6789099	その他の対個人サービス	3,613	2,043	526	200
総計		46,852	26,501	9,048	3,449

1人当たり旅行消費額は,観光庁の「旅行・観光産業の経済効果に関する調査研究 2015 年1月～12月期 確報」の T18 表の旅行消費額を T16 表の延べ購入者数で除して得た全国平均値です(県内観光客の場合,旅行前及び旅行後も県内での消費が発生すると考えられますが,本分析では便宜上,県外旅行客と同様,旅行中の消費支出額のみを計上しています)。

実際に旅行者が購入した品目全てについて,計算上得られた購入者1人当たりの平均であり,旅行者が左の表の品目全てを購入するという前提となっています。

現実のイベントでは,開催会場の立地条件,周辺環境,自然・交通条件,開催内容等により旅行者の消費パターンは様々に変化するので,来場者の消費支出額は,客観的で合理的な消費パターンを推計します。

(3) 消費支出額の産業連関表への格付け

事例のポイントでも述べましたように，来場者の消費支出額としては「宿泊費」，「交通費」，「土産物購入費」及び「その他経費」が考えられ，「宿泊費」を除く各経費は複数の財・サービスの集合したものとなっています。

波及効果の測定を行うには，これらの経費を分割し，産業連関表の各部門へ格付ける必要がありますが，これは，来場者へのアンケートが実施できた場合でも，経費の詳細（土産物，その他経費の内訳，金額など）まで把握することは困難です。

そこで，来場者による消費支出額の財・サービス別構成を推計し産業連関表へ格付ける作業が必要になります。

『格付けの方法』

A　産業連関表「民間消費支出」より，消費支出として考えられない項目に0を置いて構成比を算出し分割する。

B　家計調査の「1世帯当たり年間品目別支出金額」より，Aと同様に，消費支出として考えられない項目を0に置いて構成比を算出し，消費支出額を分割したうえで，産業連関表へ格付ける。

C　各種統計データより観光客の一般的な消費構成を推計し来場者の消費構成として適用する。

表４－２－３　県内最終需要増加額の推計結果（購入者価格）

（単位：人）

	県外から（宿泊） a	県内から（宿泊） b	県外から（日帰り） c	県内から（日帰り） d	計 a＋b＋c＋d
来場者構成	16,245	7,015	11,967	64,773	100,000

注）　県外来場者数計は，仮定による数値です。

		県外宿泊来場者				県内宿泊来場者			
		1人1回当り経費（控除前）（円） e	（控除）交通費（円） f	1人1回当り経費（控除後）（円） g=e+f	県内需要増加額（万円） h=g*a	1人1回当り経費（控除前）（円） i	（控除）食料費（円） j	1人1回当り経費（控除後）（円） k=i+j	県内需要増加額（万円） l=k*b
宿泊費	671 宿泊業	14,290		14,290	23,214	8,083		8,083	5,670
交通費	21 石油・石炭製品	468	-234	234	380	265		265	186
	57 運輸・郵便	6,829	-3,415	3,414	5,546	3,862		3,862	2,709
	66 対事業所サービス	949	-475	474	770	537		537	377
	交通費計	8,246	-4,124	4,122	6,696	4,664	0	4,664	3,272
土産物購入費	11 飲食料品	2,586		2,586	4,201	1,462		1,462	1,026
	15 繊維製品	1,096		1,096	1,780	620		620	435
	16 パルプ・紙・木製品	320		320	520	181		181	127
	20 化学製品	513		513	833	290		290	203
	22 プラスチック・ゴム製品	0		0	0	0		0	0
	25 窯業・土石製品	679		679	1,103	384		384	269
	31 業務用機械	0		0	0	0		0	0
	32 電子部品	1,318		1,318	2,141	745		745	523
	39 その他の製造工業製品	2,682		2,682	4,357	1,518		1,518	1,065
	59 情報通信	270		270	439	153		153	107
	土産品費計	9,464	0	9,464	15,374	5,353	0	5,353	3,755
その他経費	01 農業	418		418	679	237		237	166
	57 運輸・郵便	472		472	767	267		267	187
	59 情報通信	148		148	240	84		84	59
	63 教育・研究	347		347	564	196		196	137
	672 飲食サービス	1,526		1,526	2,479	863	-432	432	303
	67 対個人サービス	11,941		11,941	19,398	6,754		6,754	4,738
	その他経費計	14,852	0	14,852	24,127	8,401	-432	7,970	5,590
合計		46,852	-4,124	42,728	69,411	26,501	-432	26,070	18,287

注）　1人1泊（回）当たり経費」は平成27年を対象とした観光庁「共通基準による観光入込客統計」及び「県観光統計」，「鹿児島市観光統計」等による推計値です。推計方法の考え方は，Ｐ８２をご覧ください。

※ A, Bの方法については，何らデータの得られない場合は利用も考えられますが，イベントへの来場者における消費構成としては精度の低いものになってしまいます。

また，C の方法は適切な統計データが得られるかが問題となります。

そこで，本事例では，B, C の方法を組み合わせることで，本県への観光客における一般的な消費構成を推計し，その結果を来場者における消費構成として適用することとします。

『消費支出額の調整』

来場者の消費支出額は，あくまでも来場に要した経費の総額であり，その全てが測定対象となる「県内需要増加額」となるわけではありません。

つまり，県内需要の増加分とはならない，「県外来場者の交通費で出発地域への需要分」及び「県内来場者の飲食費で通常の生活においても消費されたであろう相当額」が含まれているからです。

そこで，県外来場者の交通費については片道分を「県内需要増加額」として測定し，県内来場者の飲食費は通常の2倍消費されるとして，その２分の１を控除して測定することとします。

推計結果は下表のとおりです。

	県外日帰り来場者				県内日帰り来場者				県内需要増加額計
	1人1回当り経費(控除前)(円) m	(控除)食料費(円) n	1人1回当り経費(控除後)(円) o=m+n	県内需要増加額(万円) p=o*c	1人1回当り経費(控除前)(円) q	(控除)食料費(円) r	1人1回当り経費(控除後)(円) s=q+r	県内需要増加額(万円) t=s*d	(万円) q=h+l+p+t
671 宿泊業	0		0	0	0		0	0	28,884
21 石油・石炭製品	94	-47	47	56	36		36	233	855
57 運輸・郵便	1,985	-993	992	1,187	756		756	4,897	14,339
66 対事業所サービス	212	-106	106	127	81		81	525	1,799
交通費計	2,291	-1,146	1,145	1,370	873	0	873	5,655	16,993
11 飲食料品	539		539	645	205		205	1,328	7,200
15 繊維製品	310		310	371	118		118	764	3,350
16 パルプ・紙・木製品	132		132	158	51		51	330	1,135
20 化学製品	195		195	233	75		75	486	1,755
22 プラスチック・ゴム製品	0		0	0	0		0	0	0
25 窯業・土石製品	142		142	170	54		54	350	1,892
31 業務用機械	0		0	0	0		0	0	0
32 電子部品	307		307	367	117		117	758	3,789
39 その他の製造工業製品	949		949	1,136	362		362	2,345	8,903
59 情報通信	56		56	67	21		21	136	749
土産品費計	2,630	0	2,630	3,147	1,003	0	1,003	6,497	28,773
01 農業	98		98	117	37		37	240	1,202
57 運輸・郵便	320		320	383	122		122	790	2,127
59 情報通信	41		41	49	16		16	104	452
63 教育・研究	92		92	110	35		35	227	1,038
672 飲食サービス	207		207	248	79	-40	39	253	3,283
67 対個人サービス	3,369		3,369	4,032	1,284		1,284	8,317	36,485
その他経費計	4,127	0	4,127	4,939	1,573	-40	1,533	9,931	44,587
合計	9,048	-1,146	7,902	9,456	3,449	-40	3,409	22,083	119,237

57 運輸・郵便 16,466

59 情報通信 1,201

イベント来場者の消費支出額を推計するには，消費支出額を産業連関表の部門分類に割り振る（格付け）ことが必要です。
そのためには，イベント来場者の消費支出額について，宿泊・日帰り別に産業連関表の部門分類に沿った経費内訳を積算する必要があります。

イベント来場者の事例では，国や県などのインターネットに公表されている観光統計資料を利用して，次のとおり積算しています。

1 鹿児島市観光統計（平成27年）から観光消費額の構成比を得る。

鹿児島市ホームページ＞文化・スポーツ＞観光＞観光統計・調査
平成27年 鹿児島市観光統計 P10

観光消費額の構成比

項目	宿泊費	交通費	土産	雑費	合計
宿泊	30.50%	17.60%	20.20%	31.70%	100.00%
日帰り	－	25.32%	29.06%	45.61%	100.00%

「平成27年 鹿児島県の観光の動向 ～鹿児島県観光統計～」では観光消費の項目内訳が不明であるので，鹿児島市の観光消費率単価を用いた。

2 1人当たり観光消費額（単位：円）を宿泊・日帰り別，内訳を算定する。

出典：観光庁「全国観光入込客統計に関する共通基準　集計表」（平成27年）鹿児島県の値
「費用内訳」：鹿児島市観光統計(H27年)の観光消費額の構成比を用いた。日帰りは，宿泊費を除いた率

「鹿児島県観光統計」（平成２７年）

項　目	費用総額	宿泊費	交通費	土産の費用	観光行動費
県外観光客(宿泊)	46,852	14,290	8,246	9,464	14,852
県内観光客(宿泊)	26,501	8,083	4,664	5,353	8,401
県外観光客(日帰り)	9,048	－	2,291	2,630	4,127
県内観光客(日帰り)	3,449	－	873	1,002	1,573

≒

項　目	費用総額
県外観光客(宿泊)	37,183
県内観光客(宿泊)	20,963
県外観光客(日帰り)	8,444
県内観光客(日帰り)	3,450

3 観光庁「旅行・観光産業の経済波及効果に関する調査研究2015年版」（単位：円）から1人当たりの消費額を推計する。

観光庁ホーム ＞ 統計情報・白書 ＞ 統計情報 ＞ 旅行・観光消費動向調査　2010年度以降調査結果（調査拡充後）
「2015年1月～12月期（確報）」集計表

同調査のT16表の延べ購入者数とT18表の旅行消費額から１人当たりの消費額を算出。

4 3の1人当たりの消費額を宿泊・日帰り別に内訳（宿泊費・交通費・土産の費用・観光行動費）を整理する。

3の集計結果（全国平均）

項　目	費用総額	宿泊費	交通費	土産の費用	観光行動費
宿泊	271,312	17,219	93,837	79,562	80,694
日帰り	216,257	－	82,044	72,882	61,331

費用総額は統計処理上，現実より過大となりますが，集計した品目別の消費額は，実際に観光消費された全ての品目を網羅して全国平均として利用できます。

5 4の1人当たりの消費額の構成比を用いて，2の鹿児島県分の消費支出額を宿泊・日帰り別に内訳を比例配分する。

4の全国平均の品目別消費額は，実際に観光消費された品目の全てを網羅した額であり，この全ての品目の消費額を用いて，そのまま構成比とするは，観光消費支出は，全ての品目を購入したということになり，現実的ではありません。
しかし，観光客の消費支出パターンは，宿泊，日帰り，県内客，県外客，目的地の自然・交通条件，立地，環境等により異なり，様々な消費支出のパターンとなります。
経済波及効果を分析するには，消費支出のパターンを品目別に漏れなく網羅する必要があります。

そこで，このイベント事例では，それぞれのイベントにあった品目を適宜抽出できるように便宜上，購入があり得る品目全てを網羅するものとします。
そのうえで，公表されている鹿児島県の観光消費額の土産の費用等の内訳に合うように2の鹿児島県分の消費支出額を産業連関表の分類毎に4で得られた品目別の構成比で比例配分し，P79の表4－2－2の「1人1回（1泊）当たりの観光旅行に掛かる費用（推計値）」を算出しています。

(4) 生産者価格への変換(運賃・マージンの皮ハギ)

(3)で推計した各部門別の消費支出額には,流通コストである「商業マージン」と「貨物運賃額」の含まれた「購入者価格」となっています。

しかし,本県産業連関表は,流通コストが個々の取引額には含まれない「出荷価格」で記録され流通コストは別途「商業」,「運輸・郵便」の部門に一括計上される「生産者価格」により作成されているため(3)の各部門別消費支出額をそのまま利用して波及効果を測定することはできません。

そこで,現在「購入者価格」となっている消費支出額を「生産者価格」へ変換する作業が必要になってきます。(この作業を「運賃・マージンの皮ハギ」と呼びます)

「購入者価格」から「生産者価格」への変換(運賃・マージンの皮ハギ)イメージ

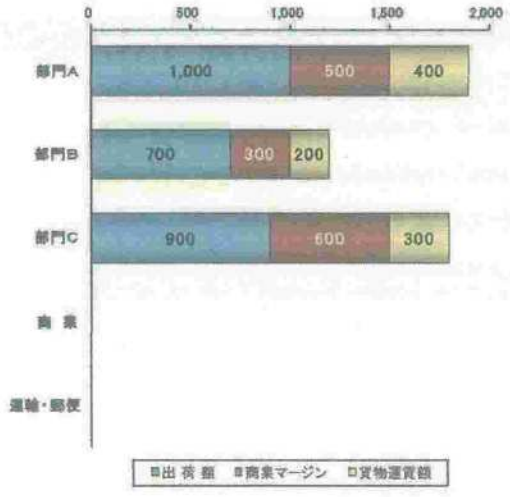
「購入者価格」には,「部門A」から「部門C」までの各部門に「商業マージン」と「貨物運賃額」が含まれた形で計上されています。

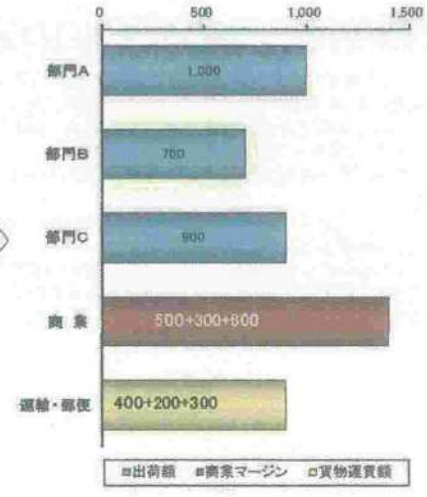
「生産者価格」への変換とは,この「購入者価格」の各部門に含まれる「商業マージン」と「貨物運賃額」をはがし「商業」と「運輸」にそれぞれ格付けることをいいます。

つまり,「購入者価格」の「商業マージン」と「貨物運賃額」相当額は控除されるわけではありませんので内生部門計の増減はありません。

	購入者価格			
	計	出荷額	商業マージン	貨物運賃額
部門A	1,900 百万円	1,000 百万円	500 百万円	400 百万円
部門B	1,200 百万円	700 百万円	300 百万円	200 百万円
部門C	1,800 百万円	900 百万円	600 百万円	300 百万円
商業	0 百万円			
運輸・郵便	0 百万円			
内生部門計	4,900 百万円	2,600 百万円	1,400 百万円	900 百万円

	生産者価格			
	計	出荷額	商業マージン	貨物運賃額
	1,000 百万円	1,000 百万円		
	700 百万円	700 百万円		
	900 百万円	900 百万円		
	1,400 百万円		1,400 百万円	
	900 百万円			900 百万円
	4,900 百万円	2,600 百万円	1,400 百万円	900 百万円





『マージン・貨物運賃表』

「運賃・マージンの皮ハギ」には，「購入者価格」にどの程度の「商業マージン」，「貨物運賃額」が含まれているかを表す「商業マージン率」，「貨物運賃率」を用いますが，ここでは，全国表*1 の「需要合計」にかかる「商業マージン率」，「貨物運賃率」を参考に算出した係数を利用します。

通常，イベント分析等における関連消費額の波及効果を測定する際に，関連消費額が購入者価格で与えられた場合，分析する部門表に合わせた全国表の商業マージン率・貨物運賃率（分析を 106部門表で行うときは，全国 107 部門表の商業マージン・貨物運賃率）を利用して生産者価格に変換後，与件データとしています。

下表は，本県と全国表の中分類表をベースに 41 部門表に再統合し，「商業マージン率」，「貨物運賃率」を算出したものです。

表4－2－4 平成27年 商業マージン・貨物運賃 41分類（需要合計）　（単位：百万円）

		需要合計（商業マージン額or貨物運賃額÷購入者価格）					
行コード	部門名	全国生産者価格需要合計	全国購入者価格 商業マージン	全国購入者価格 貨物運賃	全国購入者価格	商業マージン率	貨物運賃率
		a	b	c	d＝a＋b＋c	e＝b／d	f＝c／d
01	農業	12,899,874	4,818,043	754,200	18,472,117	0.2608279	0.0408291
02	林業	949,897	275,994	40,270	1,266,161	0.2179770	0.0318048
03	漁業	1,845,751	641,416	85,698	2,572,865	0.2493003	0.0333084
06	鉱業	21,141,252	522,764	1,540,876	23,204,892	0.0225282	0.0664031
11	飲食料品	46,146,938	23,069,758	2,300,814	71,517,510	0.3225750	0.0321713
15	繊維製品	8,740,521	7,166,041	400,310	16,306,872	0.4394491	0.0246485
16	パルプ・紙・木製品	14,520,071	4,785,314	1,188,740	20,494,125	0.2334969	0.0580039
20	化学製品	35,733,020	9,261,724	1,245,678	46,240,422	0.2002950	0.0269392
21	石油・石炭製品	20,186,314	5,066,181	547,462	25,799,957	0.1963639	0.0212195
22	プラスチック・ゴム製品	15,950,988	3,686,551	615,789	20,253,328	0.1820220	0.0304043
25	窯業・土石製品	7,050,793	1,590,716	479,349	9,120,858	0.1744042	0.0525553
26	鉄鋼	28,387,891	1,837,641	841,231	31,066,763	0.0591514	0.0270782
27	非鉄金属	12,460,361	1,457,178	421,742	14,339,281	0.1016214	0.0294117
28	金属製品	12,981,805	2,094,105	691,088	15,766,998	0.1328157	0.0438313
29	はん用機械	11,997,250	1,395,896	179,084	13,572,230	0.1028494	0.0131949
30	生産用機械	18,731,092	2,648,839	251,687	21,631,618	0.1224522	0.0116351
31	業務用機械	9,012,394	1,954,066	154,137	11,120,597	0.1757159	0.0138605
32	電子部品	17,710,236	1,120,479	180,831	19,011,546	0.0589368	0.0095116
33	電気機械	20,785,749	4,410,384	231,756	25,427,889	0.1734467	0.0091142
34	情報通信機器	11,868,904	2,593,955	115,301	14,578,160	0.1779343	0.0079092
35	輸送機械	59,966,175	5,788,348	1,051,807	66,806,330	0.0866437	0.0157441
39	その他の製造工業製品	13,368,083	6,525,089	735,829	20,629,001	0.3163066	0.0356696
41	建設	60,836,569	0	0	60,836,569		
46	電力・ガス・熱供給	24,635,462	0	0	24,635,462		
47	水道	4,547,124	0	0	4,547,124		
48	廃棄物処理	4,902,286	0	0	4,902,286		
51	商業	95,668,381	−95,118,672	0	549,709		
53	金融・保険	36,847,628	0	0	36,847,628		
55	不動産	80,720,730	0	0	80,720,730		
57	運輸・郵便	58,618,784	0	−14,430,703	44,188,081		
59	情報通信	52,296,176	2,289,385	225,182	54,810,743	0.0417689	0.0041084
61	公務	39,739,035	0	0	39,739,035		
63	教育・研究	45,728,258	0	631	45,728,889		0.0000138
64	医療・福祉	67,590,374	0	0	67,590,374		
65	他に分類されない会員制団体	4,560,137	0	0	4,560,137		
66	対事業所サービス	78,571,900	0	0	78,571,900		
67	対個人サービス	22,406,460	990	351	22,407,801	0.0000442	0.0000157
671	宿泊業	5,673,474	0	0	5,673,474		
672	飲食サービス	28,001,339	0	0	28,001,339		
68	事務用品	1,463,403	0	0	1,463,403		
69	分類不明	4,743,636	117,815	150,860	5,012,311	0.0235051	0.0300979
		1,119,986,515	0	0	1,119,986,515		

注）　部分は，概念上「商業マージン・貨物運賃額」の発生しない部門です。

注）この「商業マージン額・貨物運賃額」は，全国表107部門表の「商業マージン率・貨物運賃率」の需要合計をもとに算出し，41部門表に統合したものです。

全国生産者価格評価表などは，

e－Statトップページ＞統計データを探す＞主要な統計から探す＞提供統計一覧＞最新結果一覧＞統計表一覧

からダウンロード

*1 全国表では，「生産者価格評価表」の他に「購入者価格評価表」が作成されているため，「貨物運賃率」，「商業マージン率」を算出することが可能です。

『生産者価格への変換(運賃・マージンの皮ハギ)』

具体的には,全国表を参考に算出した部門別「商業マージン率」,「貨物運賃率」(表4－2－4)を(3)(P80～P81)で推計した「県内需要増加額(購入者価格)」の対応する部門にそれぞれ乗じることにより,「商業マージン額」,「貨物運賃額」を算出します。

また,各部門の「商業マージン額」の計(8,315 万円)を「51 商業」へ,「貨物運賃額」の計(953 万円)を「57 運輸・郵便」へそれぞれ負数に変えて計上します。

次に,「県内需要増加額(購入者価格)」から「商業マージン額」,「貨物運賃額」を控除することにより,「県内需要増加額(生産者価格)」を算出します。(「51 商業」及び「57 運輸・郵便」については負数を控除しますので結果的には加算されることになります。)(表4－2－5)

商業マージンの合計(8,315 万円)が生産者価格で表した県内需要額の商業部門の額となります。

また,運輸・郵便部門については,観光客の直接の交通費(1 億 6,466 万円)と各土産品などに含まれていた運賃(953 万円)を加えた 1 億 7,419 万円が生産者価格で表した県内需要額の運輸・郵便部門の額となります。

表4－2－5 生産者価格への変換(運賃・マージンの皮はぎ) (単位:百万円)

行ｺｰﾄﾞ	部門名	県内需要増加額(購入者価格) a	商業マージン率 b	貨物運賃率 c	商業マージン額 d=a*b	貨物運賃額 e=a*c	県内需要額(生産者価格) f=a-d-e
01	農業	1,202	0.2608279	0.0408291	314	49	839
02	林業	0	0.2179770	0.0318048	0	0	0
03	漁業	0	0.2493003	0.0333084	0	0	0
06	鉱業	0	0.0225282	0.0664031	0	0	0
11	飲食料品	7,200	0.3225750	0.0321713	2,323	232	4,645
15	繊維製品	3,350	0.4394491	0.0245485	1,472	82	1,796
16	パルプ・紙・木製品	1,135	0.2334969	0.0580039	265	66	804
20	化学製品	1,755	0.2002950	0.0269392	352	47	1,356
21	石油・石炭製品	855	0.1963639	0.0212195	168	18	669
22	プラスチック・ゴム製品	0	0.1820220	0.0304043	0	0	0
25	窯業・土石製品	1,892	0.1744042	0.0525553	330	99	1,463
26	鉄鋼	0	0.0591514	0.0270782	0	0	0
27	非鉄金属	0	0.1016214	0.0294117	0	0	0
28	金属製品	0	0.1328157	0.0438313	0	0	0
29	はん用機械	0	0.1028494	0.0131949	0	0	0
30	生産用機械	0	0.1224522	0.0116351	0	0	0
31	業務用機械	0	0.1757159	0.0138605	0	0	0
32	電子部品	3,789	0.0589368	0.0095116	223	36	3,530
33	電気機械	0	0.1734467	0.0091142	0	0	0
34	情報通信機器	0	0.1779343	0.0079092	0	0	0
35	輸送機械	0	0.0866437	0.0157441	0	0	0
39	その他の製造工業製品	8,903	0.3163066	0.0356696	2,816	318	5,769
41	建設	0	0.0000000	0.0000000	0	0	0
46	電力・ガス・熱供給	0	0.0000000	0.0000000	0	0	0
47	水道	0	0.0000000	0.0000000	0	0	0
48	廃棄物処理	0	0.0000000	0.0000000	0	0	0
51	商業	0	0.0000000	0.0000000	-8,315	0	8,315
53	金融・保険	0	0.0000000	0.0000000	0	0	0
55	不動産	0	0.0000000	0.0000000	0	0	0
57	運輸・郵便	16,466	0.0000000	0.0000000	0	-953	17,419
59	情報通信	1,201	0.0417689	0.0041084	50	5	1,146
61	公務	0	0.0000000	0.0000000	0	0	0
63	教育・研究	1,038	0.0000000	0.0000138	0	0	1,038
64	医療・福祉	0	0.0000000	0.0000000	0	0	0
65	他に分類されない会員制団体	0	0.0000000	0.0000000	0	0	0
66	対事業所サービス	1,799	0.0000000	0.0000000	0	0	1,799
67	対個人サービス	36,485	0.0000442	0.0000157	2	1	36,482
671	宿泊業	28,884	0.0000000	0.0000000	0	0	28,884
672	飲食サービス	3,283	0.0000000	0.0000000	0	0	3,283
68	事務用品	0	0.0000000	0.0000000	0	0	0
69	分類不明	0	0.0235051	0.0300979	0	0	0
		119,237			0	0	119,237

『分析に必要な道具の準備』

① 産業連関表(取引基本表)41部門表

「2 事例のポイント」で触れたとおり，本事例では部門を再統合して「67 対個人サービス」の内「671宿泊業」と「672飲食サービス」の2部門を「39部門表」の部門分類に追加した「41部門表」を使用します。

※ 部門の再統合は，EXCEL で行うことも出来ます。

② 自給率，粗付加価値率，雇用者所得率及び消費パターンの計算方法は，39部門表で計算した方法と同じです。

③ 就業者係数についても雇用表の中分類表を「671宿泊業」と「672飲食サービス」を特掲して41部門に再集計して数値を作成します。

④ 逆行列係数表については，再統合した41部門表で再計算して作成する必要があります。

※ 実際の分析で作成が困難な場合は，統計課に相談してください。

ここまでが，本事例のステップ1になります。波及効果測定においては，県内需要増加額をいかにして推計するかが，大変重要な作業になります。その後の生産誘発額の測定は，2～3パターンの定型的な作業です。

表4－2－6

波及効果測定に使う道具（係数等）

	逆行列係数(開放経済型) A	自給率 B	粗付加価値率 C	雇用者所得率 D	就業係数 人/万円 E	消費パターン U
01 農業	41行×41列の行列	0.601276	0.398209	0.130813	0.001451	0.010285
02 林業		0.933095	0.500792	0.126480	0.001052	0.000552
03 漁業		0.773396	0.494537	0.113807	0.000677	0.001133
06 鉱業		0.292048	0.576759	0.090940	0.000218	0.000000
11 飲食料品		0.446760	0.294237	0.082667	0.000293	0.095425
15 繊維製品		0.059452	0.402107	0.238006	0.001694	0.014773
16 パルプ・紙・木製品		0.267190	0.319315	0.097852	0.000561	0.001138
20 化学製品		0.063193	0.356280	0.079703	0.000222	0.008782
21 石油・石炭製品		0.023125	0.367470	0.057081	0.000174	0.020641
22 プラスチック・ゴム製品		0.124054	0.360598	0.182975	0.000639	0.003080
25 窯業・土石製品		0.419481	0.477153	0.212508	0.000481	0.000450
26 鉄鋼		0.027499	0.268027	0.059422	0.000332	
27 非鉄金属		0.022549	0.360624	0.031466	0.000055	0.000622
28 金属製品		0.156201	0.462275	0.246233	0.000726	0.000949
29 はん用機械		0.034094	0.440424	0.220343	0.000915	0.000049
30 生産用機械		0.340533	0.498195	0.177685	0.000467	0.000040
31 業務用機械		0.063354	0.453495	0.191461	0.000394	0.000365
32 電子部品		0.516490	0.375841	0.231168	0.000449	0.000535
33 電気機械		0.175563	0.352115	0.194769	0.000367	0.011036
34 情報通信機器		0.175967	0.324625	0.209581	0.000345	0.010997
35 輸送機械		0.053286	0.294894	0.138566	0.000589	0.025344
39 その他の製造工業製品		0.221894	0.444887	0.202380	0.000966	0.009883
41 建設		0.999854	0.487474	0.262988	0.000879	0.000000
46 電力・ガス・熱供給		0.950858	0.408096	0.088870	0.000142	0.013281
47 水道		0.999024	0.517145	0.157049	0.000330	0.006539
48 廃棄物処理		0.999526	0.681509	0.495881	0.001055	0.000807
51 商業		0.669011	0.741049	0.296991	0.001520	0.154730
53 金融・保険		0.886040	0.707409	0.242021	0.000505	0.049684
55 不動産		0.999915	0.855632	0.028339	0.000078	0.202567
57 運輸・郵便		0.615047	0.544930	0.265753	0.000532	0.048693
59 情報通信		0.533316	0.531271	0.135998	0.000202	0.050877
61 公務		1.000000	0.770840	0.495601	0.000638	0.004009
63 教育・研究		0.947382	0.838569	0.617917	0.001053	0.024790
64 医療・福祉		0.999987	0.625813	0.513098	0.001238	0.061596
65 他に分類されない会員制団体		0.981867	0.573778	0.493068	0.001250	0.010151
66 対事業所サービス		0.613045	0.642968	0.344736	0.001044	0.021344
67 対個人サービス		0.803264	0.711578	0.278604	0.003148	0.064759
671 宿泊業		0.104217	0.452765	0.150242	0.000959	0.008646
672 飲食サービス		0.758133	0.453964	0.248321	0.000390	0.061298
68 事務用品		1.000000	0.000000	0.000000	0.000000	0.000000
69 分類不明		0.511978	0.462071	0.022516	0.000091	0.000037
計		0.672928	0.573206	0.266184	0.000804	1.000000

消費転換率 G	0.70278834

ステップ2 【直接・1次効果の測定】

分析事例Ⅰでは，公共事業の工事種類別による波及効果を測定するために，「建設Ⅰ－O」を用いて，直接効果と第1次間接効果を分割して測定しましたが，本事例では分割することなく測定*2 します。

ただし，県産品需要額の算出を行う際に用いる自給率については，次のとおり調整を行う必要があります。

(1) 自給率の調整

県産品需要額は，県内需要増加額に自給率を乗じることによって算出しますが，県内需要増加額を県内分に特定して測定している部門などは自給率を調整する必要があります。

本事例では自給率を表4－2－7のとおり調整します。

表4－2－7　自給率の調整

調整部門	調整後自給率	調整理由
21　石油・石炭製品	0％	来場者の交通費（ガソリン代）ですが，本県では揮発油，軽油の生産は行っていないためです。
57　運輸・郵便	100％	来場者の交通費（ガソリン代を除く）ですが，県内需要増加額測定の際，県外分として片道分を控除したことによります。 ただし，「P83(4) 生産者価格への変換」で格付けられた「貨物運賃」相当額を除きます。
66　対事業所サービス	100％	県内サービスの提供となることによります。
67　対個人サービス	100％	
671　宿泊業	100％	
672　飲食サービス	100％	

注）本事例で調整は行いませんでしたが，イベントが県の特産品振興のために開かれるなど，来場者の「土産物購入費」が全て県産品に向けられるとした場合は，土産物にかかる部門及びその支出に伴う小売マージン(卸売マージンを除く)の自給率を100％にします。
その際には，「商業」部門を「卸売」，「小売」部門に分割した部門表を設定する必要があります。

*2 「直接効果」と「第1次間接効果」を個別に分析する場合は，県内需要の発生している部門の投入係数を用いて原材料等誘発額を算出し，第1次間接効果を分割して測定しますが，分析事例Ⅰとは異なり直接効果の原材料等投入構造を変化させるわけではありませんので測定結果に差は生じません。

(2)県産品需要額の測定

ステップ1で計測した県内需要増加額に自給率を乗じて県産品需要増加額(10 億 1,347 万円)を測定します。

自給率は，前ページの説明のとおり調整を加えます。

(3)直接・第1次間接効果の生産誘発額測定

41行×41列の逆行列係数($[I-(I-\hat{M})A]^{-1}$型)に県産品需要増加額(41 行×1 列)を乗じて(行列のかけ算)県内生産誘発額(合計 13 億 3,670 万円)が測定されます。

この額が，県産品需要額(10 億 1,347 万円)に対する直接及び第1次間接効果額になります。

	県産品需要額の算出					生産誘発額の測定					
	県内需要増加額 a		自給率 B'		県産品需要額 c=a*B'		逆行列係数表 $[I-(I-M)A]^{-1}$型 A		県産品需要額 c		生産誘発額 d=A*c
01 農業	839	×	0.601276	=	504	1			504		1,852
02 林業	0	×	0.933095	=	0	2			0		81
03 漁業	0	×	0.773396	=	0	3			0		214
06 鉱業	0	×	0.292048	=	0	6			0		121
11 飲食料品	4,645	×	0.446760	=	2,075	11			2,075		4,044
15 繊維製品	1,796	×	0.059452	=	107	15			107		154
16 パルプ・紙・木製品	804	×	0.267190	=	215	16			215		528
20 化学製品	1,356	×	0.053193	=	72	20			72		119
21 石油・石炭製品	669	×	0.000000	=	0	21			0		76
22 プラスチック・ゴム製品	0	×	0.124054	=	0	22			0		101
25 窯業・土石製品	1,463	×	0.419481	=	614	25			614		743
26 鉄鋼	0	×	0.027499	=	0	26			0		2
27 非鉄金属	0	×	0.022549	=	0	27			0		5
28 金属製品	0	×	0.156201	=	0	28			0		51
29 はん用機械	0	×	0.034094	=	0	29			0		2
30 生産用機械	0	×	0.340533	=	0	30			0		22
31 業務用機械	0	×	0.063354	=	0	31			0		10
32 電子部品	3,530	×	0.516490	=	1,823	32			1,823		2,184
33 電気機械	0	×	0.175563	=	0	33	41行×41列		0		20
34 情報通信機器	0	×	0.175967	=	0	34	の行列		0		4
35 輸送機械	0	×	0.053286	=	0	35		×	0	=	34
39 その他の製造工業製品	5,769	×	0.221894	=	1,280	39			1,280		1,519
41 建設	0	×	0.999854	=	0	41			0		462
46 電力・ガス・熱供給	0	×	0.950858	=	0	46			0		2,368
47 水道	0	×	0.999024	=	0	47			0		969
48 廃棄物処理	0	×	0.999626	=	0	48			0		1,497
51 商業	8,315	×	0.669011	=	5,563	51			5,563		8,941
53 金融・保険	0	×	0.886040	=	0	53			0		1,699
55 不動産	0	×	0.999915	=	0	55			0		748
57 運輸・郵便	17,419				17,052	57			17,052		23,534
再掲 来場者交通費分	16,466	×	1.000000	=	16,466	59			611		2,505
再掲 貨物運賃額	953	×	0.615047	=	586	61			0		73
59 情報通信	1,146	×	0.533315	=	611	63			983		1,041
61 公務	0	×	1.000000	=	0	64			0		49
63 教育・研究	1,038	×	0.947382	=	983	65			0		595
64 医療・福祉	0	×	0.999987	=	0	66			1,799		6,783
65 他に分類されない会員制団体	0	×	0.981867	=	0	67			36,482		37,365
66 対事業所サービス	1,799	×	1.000000	=	1,799	671			28,884		28,884
67 対個人サービス	36,482	×	1.000000	=	36,482	672			3,283		3,669
671 宿泊業	28,884	×	1.000000	=	28,884	68			0		286
672 飲食サービス	3,283	×	1.000000	=	3,283	69			0		314
68 事務用品	0	×	1.000000	=	0				101,347		133,670
69 分類不明	0	×	0.511978	=	0						
計	119,237		0.672928		101,347						

□は，自給率を調整した部門です。

(4)直接・第1次間接効果の粗付加価値誘発額測定

各産業の直接・第1次間接効果の生産誘発額にそれぞれ各産業の粗付加価値率を乗じることにより粗付加価値誘発額(合計 7 億 6,868 万円)が測定されます。

(5)直接・第1次間接効果の雇用者所得誘発額測定

各産業の直接・第1次間接効果生産誘発額にそれぞれ各産業の雇用者所得率を乗じることにより雇用者所得誘発額(合計 3 億 1,652 万円)が測定されます。

表４－２－９　粗付加価値誘発額・雇用者所得誘発額の測定

		粗付加価値誘発額の測定					雇用者所得誘発額の測定				
		生産誘発額		粗付加価値率		粗付加価値誘発額	生産誘発額		雇用者所得率		雇用者所得誘発額
		d		C		e=d*C	d		D		f=d*D
01	農業	1,852	×	0.398209	=	738	1,852	×	0.130813	=	242
02	林業	81	×	0.500792	=	40	81	×	0.126480	=	10
03	漁業	214	×	0.494537	=	106	214	×	0.113807	=	24
06	鉱業	121	×	0.576759	=	70	121	×	0.090940	=	11
11	飲食料品	4,044	×	0.294237	=	1,190	4,044	×	0.082667	=	334
15	繊維製品	154	×	0.402107	=	62	154	×	0.238006	=	37
16	パルプ・紙・木製品	528	×	0.319315	=	169	528	×	0.097852	=	52
20	化学製品	119	×	0.355280	=	42	119	×	0.079703	=	9
21	石油・石炭製品	76	×	0.367470	=	28	76	×	0.057081	=	4
22	プラスチック・ゴム製品	101	×	0.360598	=	36	101	×	0.182975	=	19
25	窯業・土石製品	743	×	0.477153	=	355	743	×	0.212508	=	158
26	鉄鋼	2	×	0.268027	=	0	2	×	0.059422	=	0
27	非鉄金属	5	×	0.360624	=	2	5	×	0.031466	=	0
28	金属製品	51	×	0.462275	=	24	51	×	0.246233	=	13
29	はん用機械	2	×	0.440424	=	1	2	×	0.220343	=	0
30	生産用機械	22	×	0.498195	=	11	22	×	0.177685	=	4
31	業務用機械	10	×	0.453495	=	5	10	×	0.191461	=	2
32	電子部品	2,184	×	0.375841	=	821	2,184	×	0.231168	=	505
33	電気機械	20	×	0.352115	=	7	20	×	0.194769	=	4
34	情報通信機器	4	×	0.324625	=	1	4	×	0.209581	=	1
35	輸送機械	34	×	0.294694	=	10	34	×	0.138566	=	5
39	その他の製造工業製品	1,519	×	0.444887	=	676	1,519	×	0.202380	=	307
41	建設	462	×	0.487474	=	225	462	×	0.262988	=	122
46	電力・ガス・熱供給	2,368	×	0.408096	=	966	2,368	×	0.088870	=	210
47	水道	969	×	0.517145	=	501	969	×	0.157049	=	152
48	廃棄物処理	1,497	×	0.681509	=	1,020	1,497	×	0.495881	=	742
51	商業	8,941	×	0.741049	=	6,626	8,941	×	0.296991	=	2,655
53	金融・保険	1,699	×	0.707409	=	1,202	1,699	×	0.242021	=	411
55	不動産	748	×	0.855632	=	640	748	×	0.028339	=	21
57	運輸・郵便	23,534	×	0.544930	=	12,824	23,534	×	0.265753	=	6,254
59	情報通信	2,505	×	0.531271	=	1,331	2,505	×	0.135998	=	341
61	公務	73	×	0.770840	=	56	73	×	0.495601	=	36
63	教育・研究	1,041	×	0.838569	=	873	1,041	×	0.617917	=	643
64	医療・福祉	49	×	0.625813	=	31	49	×	0.513098	=	25
65	他に分類されない会員制団体	595	×	0.573778	=	341	595	×	0.493068	=	293
66	対事業所サービス	6,783	×	0.642968	=	4,361	6,783	×	0.344736	=	2,338
67	対個人サービス	37,365	×	0.711578	=	26,588	37,365	×	0.278604	=	10,410
671	宿泊業	28,884	×	0.452765	=	13,078	28,884	×	0.150242	=	4,340
672	飲食サービス	3,669	×	0.453964	=	1,666	3,669	×	0.248321	=	911
68	事務用品	286	×	0.000000	=	0	286	×	0.000000	=	0
69	分類不明	314	×	0.462071	=	145	314	×	0.022515	=	7
	計	133,670		0.573206		76,868	133,670				31,652

(6)直接・第1次間接効果の就業者誘発数測定

各産業の直接・第1次間接効果の生産誘発額にそれぞれ各産業の就業者係数を乗じることにより就業者誘発数(合計 193 人)が測定されます。

表4－2－10　就業者誘発数

		就業者誘発額の測定				
		生産誘発額 d		就業者係数 E		就業者誘発数 g=d*E
01	農業	1,852	×	0.001461	=	3
02	林業	81	×	0.001052	=	0
03	漁業	214	×	0.000677	=	0
06	鉱業	121	×	0.000218	=	0
11	飲食料品	4,044	×	0.000293	=	1
15	繊維製品	154	×	0.001694	=	0
16	パルプ・紙・木製品	528	×	0.000561	=	0
20	化学製品	119	×	0.000222	=	0
21	石油・石炭製品	76	×	0.000174	=	0
22	プラスチック・ゴム製品	101	×	0.000639	=	0
25	窯業・土石製品	743	×	0.000481	=	0
26	鉄鋼	2	×	0.000332	=	0
27	非鉄金属	5	×	0.000055	=	0
28	金属製品	51	×	0.000726	=	0
29	はん用機械	2	×	0.000915	=	0
30	生産用機械	22	×	0.000467	=	0
31	業務用機械	10	×	0.000394	=	0
32	電子部品	2,184	×	0.000449	=	1
33	電気機械	20	×	0.000367	=	0
34	情報通信機器	4	×	0.000345	=	0
35	輸送機械	34	×	0.000589	=	0
39	その他の製造工業製品	1,519	×	0.000966	=	1
41	建設	462	×	0.000879	=	0
46	電力・ガス・熱供給	2,368	×	0.000142	=	0
47	水道	969	×	0.000330	=	0
48	廃棄物処理	1,497	×	0.001055	=	2
51	商業	8,941	×	0.001520	=	14
53	金融・保険	1,699	×	0.000505	=	1
55	不動産	748	×	0.000078	=	0
57	運輸・郵便	23,534	×	0.000532	=	13
59	情報通信	2,505	×	0.000202	=	1
61	公務	73	×	0.000638	=	0
63	教育・研究	1,041	×	0.001053	=	1
64	医療・福祉	49	×	0.001238	=	0
65	他に分類されない会員制団体	595	×	0.001250	=	1
66	対事業所サービス	6,783	×	0.001044	=	7
67	対個人サービス	37,365	×	0.003148	=	118
671	宿泊業	28,884	×	0.000959	=	28
672	飲食サービス	3,669	×	0.000390	=	1
68	事務用品	286	×	0.000000	=	0
69	分類不明	314	×	0.000091	=	0
	計	133,670				193

ステップ3【第2次間接効果の測定】

(1)県産品需要額の算出

第2次間接効果は，直接効果及び第1次間接効果により誘発された雇用者所得が消費に振り向けられることにより，再び県内産業の生産が誘発される効果を測定するものです。

① 消費支出誘発額の測定

直接効果及び第1次間接効果により誘発された雇用者所得 3 億 1,652 万円のうち消費に転換される割合である消費転換率を乗じ消費支出誘発額 2 億 2,245 万円を算出します。

② 消費支出誘発額の各産業への格付け

①の消費支出誘発額を消費パターン(産業連関表の民間消費支出における商品別構成比)で割り振り，県内需要増加額を測定します。

※ 算出された消費支出誘発額がどのように消費されるか消費パターンを捉え，産業連関表の各産業部門に格付ける必要がありますが，現実には，既存の統計資料を用いてこの消費パターンを把握するのは非常に困難です。

そこで，消費パターンは，産業連関表の民間消費支出における商品別構成比と同一とみなして測定するのが一般的な方法となっています。

表4－2－11

消費支出誘発額の測定		
直接・第1次間接効果雇用者所得誘発額	f	31,652
消費転換比率(H27～R1)	G	0.702788
消費支出誘発額	h=f*G	22,245

		県内需要増加額の測定		
		消費支出誘発額 h	消費パターン H	県内需要増加額 i=hをHで分割
01	農業		0.010285	229
02	林業		0.000562	13
03	漁業		0.001133	25
06	鉱業		0.000000	0
11	飲食料品		0.095425	2,123
15	繊維製品		0.014773	329
16	パルプ・紙・木製品		0.001138	25
20	化学製品		0.008782	195
21	石油・石炭製品		0.020641	459
22	プラスチック・ゴム製品		0.003080	69
25	窯業・土石製品		0.000450	10
26	鉄鋼		0.000000	0
27	非鉄金属		0.000622	14
28	金属製品		0.000949	21
29	はん用機械		0.000049	1
30	生産用機械		0.000040	1
31	業務用機械		0.000365	8
32	電子部品		0.000535	12
33	電気機械		0.011036	245
34	情報通信機器		0.010997	245
35	輸送機械		0.025344	564
39	その他の製造工業製品		0.009883	220
41	建設		0.000000	0
46	電力・ガス・熱供給		0.013281	295
47	水道		0.006539	145
48	廃棄物処理		0.000807	18
51	商業		0.154730	3,442
53	金融・保険		0.049684	1,105
55	不動産		0.202667	4,508
57	運輸・郵便		0.048693	1,083
59	情報通信		0.050877	1,132
61	公務		0.004009	89
63	教育・研究		0.024790	551
64	医療・福祉		0.061596	1,370
65	他に分類されない会員制団体		0.010151	226
66	対事業所サービス		0.021344	475
67	対個人サービス		0.064759	1,441
671	宿泊業		0.008646	192
672	飲食サービス		0.061298	1,364
68	事務用品		0.000000	0
69	分類不明		0.000037	1
計		22,245	1.000000	22,245

③ 県産品需要額の測定

②で各産業に割り振られた額に各産業の自給率を乗じることで県産品需要額(1億5,564万円)が測定されます。

(2)第2次間接効果の生産誘発額の測定

直接・第1次間接効果の測定と同じ手順により，逆行列係数(41行×41列)と県産品需要額(41行×1列)の行列積，つまり生産誘発額(合計額1億9,384万円)を測定します。

表4－2－12

	県産品需要額の測定					生産誘発額の測定				
	県内需要増加額 i		自給率 B		県産品需要額 j = i *B	逆行列係数表 [I-(I-M)A]$^{-1}$型 A		県産品需要額 j		生産誘発額 k=A* j
01 農業	229	×	0.601276	=	138			138		441
02 林業	13	×	0.933095	=	12			12		20
03 漁業	25	×	0.773396	=	19			19		51
06 鉱業	0	×	0.292048	=	0			0		21
11 飲食料品	2,123	×	0.446760	=	948			948		1,197
15 繊維製品	329	×	0.059452	=	20			20		23
16 パルプ・紙・木製品	25	×	0.267190	=	7			7		43
20 化学製品	195	×	0.053193	=	10			10		23
21 石油・石炭製品	459	×	0.023125	=	11			11		15
22 プラスチック・ゴム製品	69	×	0.124054	=	9			9		20
25 窯業・土石製品	10	×	0.419481	=	4			4		13
26 鉄鋼	0	×	0.027499	=	0			0		0
27 非鉄金属	14	×	0.022549	=	0			0		0
28 金属製品	21	×	0.156201	=	3			3		10
29 はん用機械	1	×	0.034094	=	0			0		0
30 生産用機械	1	×	0.340533	=	0			0		3
31 業務用機械	8	×	0.063354	=	1			1		3
32 電子部品	12	×	0.516490	=	6			6		26
33 電気機械	245	×	0.175563	=	43	41行×41列		43		46
34 情報通信機器	245	×	0.175967	=	43	の行列		43		44
35 輸送機械	564	×	0.053286	=	30		×	30	=	34
39 その他の製造工業製品	220	×	0.221894	=	49			49		77
41 建設	0	×	0.999854	=	0			0		107
46 電力・ガス・熱供給	295	×	0.950858	=	281			281		456
47 水道	145	×	0.999024	=	145			145		211
48 廃棄物処理	18	×	0.999626	=	18			18		69
51 商業	3,442	×	0.669011	=	2,303			2,303		2,640
53 金融・保険	1,105	×	0.886040	=	979			979		1,527
55 不動産	4,508	×	0.999915	=	4,508			4,508		4,624
57 運輸・郵便	1,083	×	0.615047	=	666			666		1,104
59 情報通信	1,132	×	0.533315	=	604			604		913
61 公務	89	×	1.000000	=	89			89		100
63 教育・研究	551	×	0.947382	=	522			522		530
64 医療・福祉	1,370	×	0.999987	=	1,370			1,370		1,399
65 他に分類されない会員制団体	226	×	0.981867	=	222			222		269
66 対事業所サービス	475	×	0.613045	=	291			291		983
67 対個人サービス	1,441	×	0.803264	=	1,158			1,158		1,199
671 宿泊業	192	×	0.104217	=	20			20		20
672 飲食サービス	1,364	×	0.758133	=	1,034			1,034		1,043
68 事務用品	0	×	1.000000	=	0			0		30
69 分類不明	1	×	0.511978	=	1			1		47
計	22,245		0.672928		15,564			15,564		19,384

(3)第2次間接効果の粗付加価値誘発額測定

各産業の第2次間接効果の生産誘発額にそれぞれ各産業の粗付加価値率を乗じることにより粗付加価値誘発額(合計額 1 億 2,731 万円)が測定されます。

(4)第2次間接効果の雇用者所得誘発額測定

各産業の第2次間接効果生産誘発額にそれぞれ各産業の雇用者所得率を乗じることにより雇用者所得誘発額(合計額 4,235 万円)が測定されます。

表4－2－13

	粗付加価値誘発額の測定					雇用者所得誘発額の測定				
	生産誘発額 k		粗付加価値率 C		粗付加価値誘発額 l=k*C	生産誘発額 k		雇用者所得率 D		雇用者所得誘発額 m=k*D
01 農業	441	×	0.398209	=	176	441	×	0.130813	=	58
02 林業	20	×	0.500792	=	10	20	×	0.126480	=	2
03 漁業	51	×	0.494537	=	25	51	×	0.113807	=	6
06 鉱業	21	×	0.576759	=	12	21	×	0.090940	=	2
11 飲食料品	1,197	×	0.294237	=	352	1,197	×	0.082667	=	99
15 繊維製品	23	×	0.402107	=	9	23	×	0.238006	=	5
16 パルプ・紙・木製品	43	×	0.319315	=	14	43	×	0.097852	=	4
20 化学製品	23	×	0.355280	=	8	23	×	0.079703	=	2
21 石油・石炭製品	15	×	0.367470	=	6	15	×	0.057081	=	1
22 プラスチック・ゴム製品	20	×	0.360598	=	7	20	×	0.182975	=	4
25 窯業・土石製品	13	×	0.477153	=	6	13	×	0.212508	=	3
26 鉄鋼	0	×	0.268027	=	0	0	×	0.059422	=	0
27 非鉄金属	0	×	0.360624	=	0	0	×	0.031466	=	0
28 金属製品	10	×	0.462275	=	4	10	×	0.246233	=	2
29 はん用機械	0	×	0.440424	=	0	0	×	0.220343	=	0
30 生産用機械	3	×	0.498195	=	1	3	×	0.177685	=	0
31 業務用機械	3	×	0.453495	=	1	3	×	0.191461	=	1
32 電子部品	26	×	0.375841	=	10	26	×	0.231168	=	6
33 電気機械	46	×	0.352115	=	16	46	×	0.194769	=	9
34 情報通信機器	44	×	0.324625	=	14	44	×	0.209581	=	9
35 輸送機械	34	×	0.294694	=	10	34	×	0.138566	=	5
39 その他の製造工業製品	77	×	0.444887	=	34	77	×	0.202380	=	16
41 建設	107	×	0.487474	=	52	107	×	0.262988	=	28
46 電力・ガス・熱供給	456	×	0.408096	=	186	456	×	0.088870	=	40
47 水道	211	×	0.517145	=	109	211	×	0.157049	=	33
48 廃棄物処理	69	×	0.681509	=	47	69	×	0.495881	=	34
51 商業	2,640	×	0.741049	=	1,957	2,640	×	0.296991	=	784
53 金融・保険	1,527	×	0.707409	=	1,080	1,527	×	0.242021	=	370
55 不動産	4,624	×	0.855632	=	3,956	4,624	×	0.028339	=	131
57 運輸・郵便	1,104	×	0.544930	=	602	1,104	×	0.265753	=	294
59 情報通信	913	×	0.531271	=	485	913	×	0.135998	=	124
61 公務	100	×	0.770840	=	77	100	×	0.495601	=	49
63 教育・研究	530	×	0.838569	=	444	530	×	0.617917	=	327
64 医療・福祉	1,399	×	0.625813	=	876	1,399	×	0.513098	=	718
65 他に分類されない会員制団体	269	×	0.573778	=	155	269	×	0.493068	=	133
66 対事業所サービス	983	×	0.642968	=	632	983	×	0.344736	=	339
67 対個人サービス	1,199	×	0.711578	=	853	1,199	×	0.278604	=	334
671 宿泊業	20	×	0.452765	=	9	20	×	0.150242	=	3
672 飲食サービス	1,043	×	0.453964	=	474	1,043	×	0.248321	=	259
68 事務用品	30	×	0.000000	=	0	30	×	0.000000	=	0
69 分類不明	47	×	0.462071	=	22	47	×	0.022515	=	1
計	19,384		0.573206		12,731	19,384		0.266184		4,235

(5)第2次間接効果の就業者誘発数測定

各産業の第2次間接効果の生産誘発額にそれぞれ各産業の就業者係数を乗じることにより就業者誘発数(合計 15 人)が測定されます。

表4－2－14

		就業者誘発数の測定				
		生産誘発額 k		就業者係数 E		就業者誘発数 n=k*E
01	農業	441	×	0.001461	=	1
02	林業	20	×	0.001052	=	0
03	漁業	51	×	0.000677	=	0
06	鉱業	21	×	0.000218	=	0
11	飲食料品	1,197	×	0.000293	=	0
15	繊維製品	23	×	0.001694	=	0
16	パルプ・紙・木製品	43	×	0.000561	=	0
20	化学製品	23	×	0.000222	=	0
21	石油・石炭製品	15	×	0.000174	=	0
22	プラスチック・ゴム製品	20	×	0.000639	=	0
25	窯業・土石製品	13	×	0.000481	=	0
26	鉄鋼	0	×	0.000332	=	0
27	非鉄金属	0	×	0.000055	=	0
28	金属製品	10	×	0.000726	=	0
29	はん用機械	0	×	0.000915	=	0
30	生産用機械	3	×	0.000467	=	0
31	業務用機械	3	×	0.000394	=	0
32	電子部品	26	×	0.000449	=	0
33	電気機械	46	×	0.000367	=	0
34	情報通信機器	44	×	0.000345	=	0
35	輸送機械	34	×	0.000589	=	0
39	その他の製造工業製品	77	×	0.000966	=	0
41	建設	107	×	0.000879	=	0
46	電力・ガス・熱供給	456	×	0.000142	=	0
47	水道	211	×	0.000330	=	0
48	廃棄物処理	69	×	0.001055	=	0
51	商業	2,640	×	0.001520	=	4
53	金融・保険	1,527	×	0.000505	=	1
55	不動産	4,624	×	0.000078	=	0
57	運輸・郵便	1,104	×	0.000532	=	1
59	情報通信	913	×	0.000202	=	0
61	公務	100	×	0.000638	=	0
63	教育・研究	530	×	0.001053	=	1
64	医療・福祉	1,399	×	0.001238	=	2
65	他に分類されない会員制団体	269	×	0.001250	=	0
66	対事業所サービス	983	×	0.001044	=	1
67	対個人サービス	1,199	×	0.003148	=	4
671	宿泊業	20	×	0.000959	=	0
672	飲食サービス	1,043	×	0.000390	=	0
68	事務用品	30	×	0.000000	=	0
69	分類不明	47	×	0.000091	=	0
	計	19,384				15

(6)測定結果(イベント開催に伴う来場者の消費支出による波及効果測定結果)

直接・第1次間接効果，第2次間接効果まで合計した総合効果生産誘発額は15億3,054 万円となり，ステップ1で求めた，イベント開催に伴う来場者の消費による県内需要増加額11億9,237万円に対して，約1.28倍の波及効果があることが測定されます。

表4－2－15　測定結果
(イベント開催に伴う来場者の消費支出による波及効果測定結果)

(単位：万円)

	直接・第1次間接効果	第2次間接効果	総合効果
生産誘発額	133,670	19,384	153,054
うち粗付加価値誘発額	76,868	12,731	89,599
うち雇用者所得誘発額	31,652	4,235	35,887
就業者誘発数	193	15	208

注)　四捨五入の関係で内訳の計と総合効果は一致しない場合がある。

(単位：万円，倍)

総合効果生産誘発額 a	新規需要額 b	波及効果倍率 a/b
153,054	119,237	1.28

(単位：万円，人)

	直接・第1次間接効果				第2次間接効果			
	生産誘発額	粗付加価値誘発額	雇用者所得誘発額	就業者誘発数	生産誘発額	粗付加価値誘発額	雇用者所得誘発額	就業者誘発数
01 農業	1,852	738	242	3	441	176	58	1
02 林業	81	40	10	0	20	10	2	0
03 漁業	214	106	24	0	51	25	6	0
06 鉱業	121	70	11	0	21	12	2	0
11 飲食料品	4,044	1,190	334	1	1,197	352	99	0
15 繊維製品	154	62	37	0	23	9	5	0
16 パルプ・紙・木製品	628	169	52	0	43	14	4	0
20 化学製品	119	42	9	0	23	8	2	0
21 石油・石炭製品	76	28	4	0	15	6	1	0
22 プラスチック・ゴム製品	101	36	19	0	20	7	4	0
25 窯業・土石製品	743	355	158	0	13	6	3	0
26 鉄鋼	2	0	0	0	0	0	0	0
27 非鉄金属	5	2	0	0	0	0	0	0
28 金属製品	51	24	13	0	10	4	2	0
29 はん用機械	2	1	0	0	0	0	0	0
30 生産用機械	22	11	4	0	3	1	0	0
31 業務用機械	10	5	2	0	3	1	1	0
32 電子部品	2,184	821	505	1	26	10	6	0
33 電気機械	20	7	4	0	46	16	9	0
34 情報通信機器	4	1	1	0	44	14	9	0
35 輸送機械	34	10	5	0	34	10	5	0
39 その他の製造工業製品	1,519	676	307	1	77	34	16	0
41 建設	462	225	122	0	107	52	28	0
46 電力・ガス・熱供給	2,368	966	210	0	456	186	40	0
47 水道	969	501	152	0	211	109	33	0
48 廃棄物処理	1,497	1,020	742	2	69	47	34	0
51 商業	8,941	6,626	2,655	14	2,640	1,957	784	4
53 金融・保険	1,699	1,202	411	1	1,527	1,080	370	1
55 不動産	748	640	21	0	4,624	3,956	131	0
57 運輸・郵便	23,534	12,824	6,254	13	1,104	602	294	1
59 情報通信	2,505	1,331	341	1	913	485	124	0
61 公務	73	56	36	0	100	77	49	0
63 教育・研究	1,041	873	643	1	530	444	327	1
64 医療・福祉	49	31	25	0	1,399	876	718	2
65 他に分類されない会員制団体	595	341	293	1	269	155	133	0
66 対事業所サービス	6,783	4,361	2,338	7	983	632	339	1
67 対個人サービス	37,365	26,588	10,410	118	1,199	853	334	4
671 宿泊業	28,884	13,078	4,340	28	20	9	3	0
672 飲食サービス	3,669	1,666	911	1	1,043	474	259	0
68 事務用品	286	0	0	0	30	0	0	0
69 分類不明	314	145	7	0	47	22	1	0
計	133,670	76,868	31,652	193	19,384	12,731	4,235	15

図4－2－1　イベント開催に伴う来場者の消費支出による経済波及効果

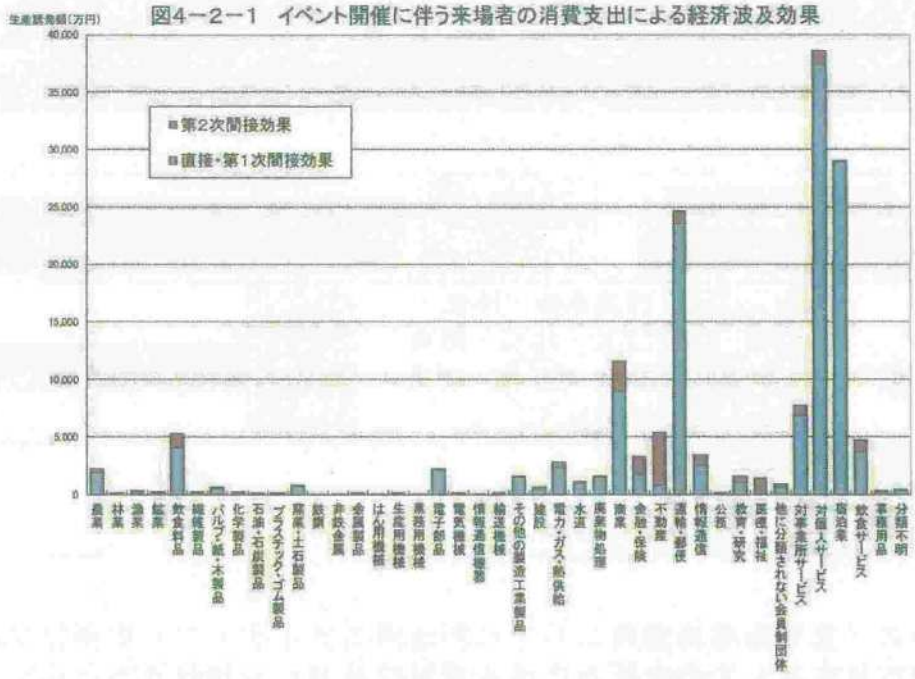


表4－2－16　（単位：万円，人）

		総合効果			
		生産誘発額			就業者誘発数
			粗付加価値誘発額		
				雇用者所得誘発額	
01	農業	2,294	914	300	4
02	林業	100	50	12	0
03	漁業	265	131	30	0
06	鉱業	142	82	13	0
11	飲食料品	5,242	1,542	433	1
15	繊維製品	177	71	42	0
16	パルプ・紙・木製品	571	183	56	0
20	化学製品	142	50	11	0
21	石油・石炭製品	92	34	5	0
22	プラスチック・ゴム製品	122	43	23	0
25	窯業・土石製品	756	361	161	0
26	鉄鋼	2	0	0	0
27	非鉄金属	5	2	0	0
28	金属製品	61	28	15	0
29	はん用機械	3	1	0	0
30	生産用機械	25	12	4	0
31	業務用機械	13	6	3	0
32	電子部品	2,210	831	511	1
33	電気機械	67	23	13	0
34	情報通信機器	48	15	10	0
35	輸送機械	67	20	10	0
39	その他の製造工業製品	1,596	710	323	1
41	建設	569	277	150	0
46	電力・ガス・熱供給	2,824	1,152	250	0
47	水道	1,180	610	185	0
48	廃棄物処理	1,566	1,067	776	2
51	商業	11,581	8,583	3,439	18
53	金融・保険	3,226	2,282	781	2
55	不動産	5,372	4,596	152	0
57	運輸・郵便	24,639	13,426	6,548	14
59	情報通信	3,418	1,816	465	1
61	公務	173	133	85	0
63	教育・研究	1,571	1,317	970	2
64	医療・福祉	1,448	907	743	2
65	他に分類されない会員制団体	865	496	426	1
66	対事業所サービス	7,766	4,993	2,677	8
67	対個人サービス	38,564	27,441	10,744	122
671	宿泊業	28,904	13,087	4,343	28
672	飲食サービス	4,713	2,140	1,170	1
68	事務用品	317	0	0	0
69	分類不明	361	167	8	0
	計	153,054	89,599	35,887	208

185

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式

氏名（ふりがな）	（[redacted]） [redacted]	住所	[redacted]
性別	女	年代（○で囲む）	10歳未満・10代・20代・30代・40代・50代・(60代)・70代・80代以上
電話番号	[redacted]		
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）	可 ・ (否)		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，氏名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。

※　氏名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。

※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。

※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。

※　提出された資料については，返却いたしません。

※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。

※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。

※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

港湾空港課
-5.4.17
受付

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム(e(いー)申請)」
URL:　【P（後日確定）】

2005. 4. 17 15:54 P. 1

都市型緑地公園として整備する

本港区にある錦江湾と桜島の雄大な景観は、何物にも代えがたい鹿児島の財産である。脈々と流れる郷土の歴史、先人の想いがエネルギッシュに伝わってく桜島の景観。この自然景観を保全し、市民の誇り、心の拠り所、憩いの場として緑地公園を整備し、後世にいつまでも大切に残してほしい。

① 都市型公園

現在、郊外には自然公園がいくつかあるが(吉野公園、健康の森公園など)、いずれも公共交通機関では便数が少ないなど訪れるのに不便であり、自家用車で行くのがほとんどである。本港区は鹿児島市中心部の繁華街に隣接し、交通の便が良い。車の運転や車の乗り入れなしに、公共交通機関を使い歩いて訪れることのできる公園は、これからの環境保全省エネ社会のニーズに合致する。

青少年、子育て世代、高齢者などが、世代を問わず、日常生活の中で気軽に、車無しに訪れることのできる、広々とした都市型自然公園森林公園として整備してほしい。

緑地公園内には自然と調和した、いわゆる箱モノでなく、景観を邪魔しない諸設備を備える。ミニコンサートや演劇の小さい野外ステージ、市民が自由に論壇に立ち話し合いができるスピーカーズコーナー、アーバンスポーツのスペース、鹿児島の歴史・地理・文化などを解説する案内掲示板、他、カフェ、キッチンカーコーナー、レストラン、屋台村など飲食施設がほしい。

② 観光名所としても世界に誇れる公園

市民の憩いの場、当地の誇りはそのまま、県外者、国外者など観光客に対してもアピールでき、観光名所として価値高く、通用すると考える。新観光名所、観光拠点となるよう、適切な施設を加えて、経済効果を生むことができる。

鹿児島の海産物、農産物、工芸品、芸術芸能、食文化などを紹介、体験できる施設、屋台村などの飲食店、景観を壊さない規模なら緑地公園の中や隣接地に、もっと本格的な観光施設、複合施設、宿泊施設などは住吉町15番街区エリアなどに一体感を持って作り、緑地公園をメインとした観光エリアにしてほしい。

③ 海上観光交通拠点として整備

もとより本港区は離島航路の発着場であり、重要な物流人流を担う海上交通の要所である。従来航路に加えて、水際発着場をさらに有効活用し、マリンスポーツやレジャー、錦江湾内

クルーズやアドベンチャー体験等の窓口、発着場としても利用し、錦江湾の海上観光交通の拠点とする。
また、例えば、マリンポートと本港区を小型船舶で結ぶ新航路を運航すれば、大型クルーズ船の観光客を、本港区にいくらかでも直接呼び集めることができる。
現在の離島航路や、桜島航路も、生活航路であるとともに、天然の観光魅力にあふれた航路であるから、離着岸施設の工夫や海の観光PRに力を入れ、収益の道を探ってほしい。

④ 市電・バスなど公共交通機関の延伸による海、陸、空を結ぶ交通センター
本港区は海の玄関口であるだけでなく、陸、空の人流物流を結ぶ拠点機能を要請期待される場所。海と陸と空を結ぶ交通センターになれるよう、現在の公共交通機関の延伸、停車場の増設、ルート循環バス、シャトルバスの導入等によって、便利を図ってほしい。車を乗り入れなくてもよい都市中心部交通センターにしてほしい。

⑤ 体育館建設について
「本港区エリアの利活用」や「鹿児島の街作りデザイン」など鹿児島の街の在り方の構想プランができていない段階で、一等地のドル跡地を先に切り取って、体育館建設を先行決定するというのは、順序が違いますし、鹿児島の将来にはマイナスになるように思います。

体育館にコンベンションを付加するという基本構想だそうですが、当該地でなかったら、中心市街地との回遊性とか、経済効果など配慮する必要もなく、純粋にスポーツをするための体育館、アスリートファーストの体育館を造れるはずです。
港湾の人流物流システムを大きく阻害するかもしれない体育館来場者の車の乗り入れ、駐車場問題、市内中心部のさらなる渋滞発生の問題もあります。
当該地の持つ港湾機能や、鹿児島の経済発展を担う観光戦略とは直接関係のない体育館に一等地に座られると、本港区の発展可能性が阻害されるように思えます。

そもそも、桜島の自然景観を壊す大きな箱物造作物を、景勝地のドル跡に造ってほしくないという県民の少なくない声、切なる心を大切にして頂きたいものです。
コンベンション機能と体育館機能は切り離し、体育館は別の適所に造った方がいいと思います。スポーツ振興は適地を選んで、多くの人に喜ばれて行ってほしいと、心から願います。
体育館は、本港区に立地しなくても、代替地がありえます。
本港区を一番生かす施設が何かという視点で、まだまだ十分な話し合いが必要だと思います。どうぞ、当該地での体育館建設は慎重を期し、再考して頂きたくお願いします。

以上

港湾空港課
-5.4.17
受付

受付No.（事務局記載欄）	186

『鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア』
応募申請書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（まんどころ けんご） 政所 顕吾 MANDOKORO ARCHITECTURE & DESIGN		住所	[redacted]	
性別	男	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・(30代)・40代・ 50代・60代・70代・ 80代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted]
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			(可) ・ 否		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム(e(いー)申請)」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付 No.（事務局記載欄）	

「鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア」
応募様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

CONVENTION CITY
住吉町15番街区/県営第6駐車場
ーアリーナ/VIPホテルを兼ね備えたコンベンションシティー

住吉町15番街区にアリーナ/コンベンションセンターを、県営第6駐車場/高速船ターミナルエリアにVIPホテルを配置し、
ドルフィンポート跡地にはウォーターフロントパークと一体となる"森"を創出します。

アリーナ/コンベンションセンターを住吉町15番街区ののびやかやな敷地に計画することで、メインアリーナ/サブアリーナ/柔剣道場に加え、海に開いた広々としたエントランスホールや開放感のある吹き抜け空間、ラウンジ、カフェ/レストランを併設し、ミーティングルームや多目的ホール等の充実したMICE機能を兼ね備えたコンベンションセンターを実現します。
さらに、住吉町15番街区に隣接する県営第6駐車場/高速船ターミナルエリアには、2つの大きなバンケットホールを併せ持つ、VIPが滞在可能なホテルを計画することで、当該敷地の一帯が様々な規模のイベント/国際会議/展示会等を国内外問わず誘致することが可能な、スポーツ/コンベンション/文化複合施設の街として機能します。

ドルフィンポート跡地には、広大な緑地帯を計画することで、既存のウォーターフロントパークと一体となった水と緑に囲まれた自然豊かな都市公園を実現します。
県民の日々の憩いの場として、各種イベント時には屋外催し物会場として、その時々の場面や季節に応じた多様な使い方のできる場所です。
また、緑地帯周辺には小規模かつ低層のレストハウスやカフェ等のみを配置することで、当該敷地や周辺一帯の各通りからの桜島や錦江湾の眺望を最大限ひきだします。

ENTERTAINMENT ISLAND
北埠頭
ー湾岸エンターテインメントの島ー

北埠頭東側/南側一帯の敷地に、クルーズ船ターミナル/マリーナ/サッカースタジアム/スパリゾートが一体となった、湾岸エンターテインメント複合施設を計画します。

当該敷地の湾岸には大型クルーズ船ターミナルやマリーナを配置し、数多くの船が日々往来する錦江湾に、"港町"鹿児島を世界へ発信する新たな海の玄関口を創出します。
東側にはサッカースタジアムやスパリゾート等のレジャー施設を、その周囲に小中規模の様々な商業施設やカフェ/レストラン等を分散配置し、隣接する水族館と一体となった、海に臨む鹿児島の新たなエンターテインメント/アミューズメントの中核地を形成します。

各施設やペデストリアンデッキを高低差をつけて丘陵状に配置することで、様々な高度や角度から桜島と錦江湾の眺望を臨む場を創出するとともに、地上階の大半はデッキに覆われた広大な駐車場として活用することができるため、当該敷地やアリーナ/コンベンションセンターで行われる様々なイベント開催時の臨時駐車場としても大いに活用できます。

また、当該敷地外周一帯の湾岸部は緑豊かな遊歩道とすることで、北埠頭一帯を既存の遊歩道とひとつながりとなった回遊性のある親水プロムナード空間とします。

BAYSIDE FOREST
ドルフィンポート跡地
ー桜島と錦江湾を眼前に臨む県民憩いの森ー

TRANSPORTATION ISLAND
南埠頭
ー旅客フェリーターミナル/港湾施設の島ー

FUNCTIONS / PEDESIRIAN DECK
各機能の明快な分散配置/ペデストリアンデッキと湾岸遊歩道再整備による、回遊性歩行者空間計画

PARKING / CIRCULATION SYSTEM
ペデストリアンデッキに覆われた地上階を最大限に活用した、本港区エリア一帯に広がる駐車場整備計画

MASTERPLAN

ENTERTAINMENT ISLAND
北埠頭
－海岸エンターテインメントの島－

BAYSIDE FOREST
トルフィンポート跡地
－桜島と錦江湾を眺望に臨む都民憩いの森－

TRANPORTATION ISLAND
南埠頭
－旅客フェリーターミナル/港湾施設の島－

CONVENTION CITY
住吉町15番街区/県営第6駐車場
－アリーナ/VIPホテルを兼ね備えたコンベンションシティー－



SITE PLAN 1:2,500

SITE ELEVATION / SITE CROSSED SECTION



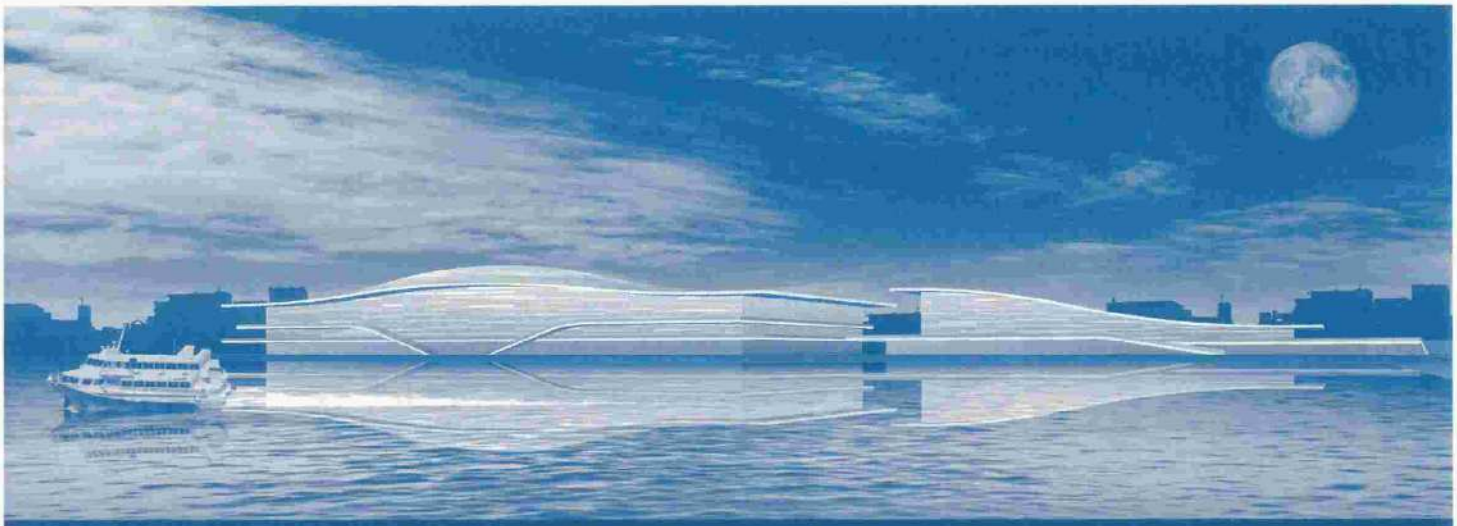
SITE ELEVATION 1:2,000



SITE-CROSSED SECTION 1:2,000

PERSPECTIVE



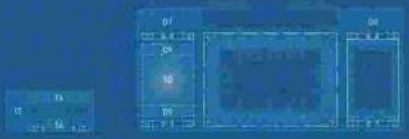


ARENA / CONVENTION / HOTEL / FOREST

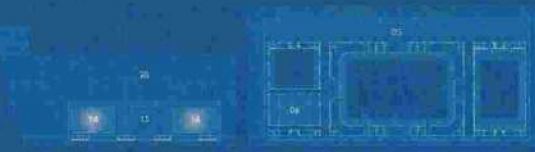
住吉町15番街区にアリーナ/コンベンションセンターを、照宮第6駐車場/高速船ターミナルエリアにVIPホテルを配置し、
ドルフィンポート跡地はウォーターフロントパークと一体となる"森"を創出します

アリーナ/コンベンションセンターを住吉町15番街区のひかやかな敷地に計画することで、メインアリーナ/サブアリーナを新道路に並び、海に開いた広々としたエントランスホールや開放感のある吹き抜け空間、ラウンジ、カフェレストランを併設したミーティングルームや多目的ホール等の充実したMICE機能を兼ね備えたコンベンションセンターを実現します。
さらに、住吉町15番街区に隣接する照宮第6駐車場/高速船ターミナルエリアには、3つの大きなバンケットホールを併せ持つ、約千人規模可能なホテルを計画することで、地区最大の一泊以上の宿泊者が滞在・集客を期待でき、地域全体の賑わいを創出するイベント誘致拠点施設として機能します。

ドルフィンポート跡地には、広々とした緑地帯を計画することで、既存のウォーターフロントパークと一体となった水と緑に満ちた自然豊かな都市公園を実現します。
街区の日々の憩いの場として、また様々イベント時には屋外催し物会場として、その時々の用途や季節に応じた多様な使い方のできる場所です。
また、緑地帯周辺には小規模なカフェやカフェレストランやカフェの立地を配置することで、公園利用者の一層の賑わいや回遊性の向上、及び公園の魅力を最大限いただします。



3RD FLOOR PLAN +10.80 M 1:2,000



2ND FLOOR PLAN +05.40 M 1:2,000

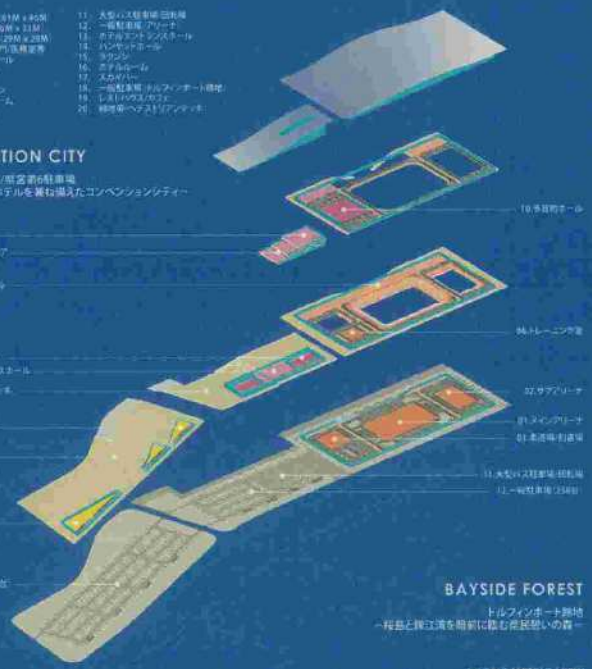


GROUND FLOOR PLAN +00.00 M 1:2,000

01. メインアリーナ（61M x 46M）
02. サブアリーナ（46M x 31M）
03. 柔道場/剣道場（29M x 28M）
04. 照明室/管理部門/医務室等
05. エントランスホール
06. トレーニング室
07. ラウンジ
08. カフェレストラン
09. ミーティングルーム
10. 多目的ホール
11. 大型バス駐車場（団体用）
12. 一般駐車場（アリーナ）
13. ホテルエントランスホール
14. バンケットホール
15. ラウンジ
16. ホテルルーム
17. スカイバー
18. 一般駐車場（ドルフィンポート跡地）
19. レストハウス/カフェ
20. 照明室/ヘリストリアンデッキ

CONVENTION CITY

住吉町15番街区/照宮第6駐車場
－アリーナ/VIPホテルを兼ね備えたコンベンションシティー－



AXONOMETRIC VIEW

BAYSIDE FOREST

トルフィンポート跡地
－桜島と錦江湾を眼前に臨む憩居想いの森－



EAST ELEVATION 1:1,000



A-A' SECTION 1:1,000



B-B' SECTION 1:1,000

MANDOKORO
ARCHITECTURE & DESIGN

鹿児島県「鹿児島本港区エリアの利活用アイディア」募集における都市計画提案書
令和5年4月17日

DRAWING no. 02



CRUISE TERNINAL / MARINA / STADIUM / SPA RESORT

北埠頭東側（南側一帯の整地）にクルーズ船ターミナル（マリーナ）サッカースタジアム（スパリゾート）が一体となった、海浜エンターテインメント複合施設を計画します

当該敷地の背後には大型クルーズ船ターミナルやマリーナを配置し、訪れる人の船から日々を過ごす鉄工流に、"非日"体験を世界へ発信する新たな海の玄関口を創出します。
敷地には「サッカースタジアム・ヤスパリゾート等のレジャー施設を、その周囲に小中規模の様々な商業施設やカフェ・レストラン等を分散的に配し、時間する余裕都と一体となった、海に開く複合的で新たなエンターテインメント・アミューズメントの中枢機能を形成します

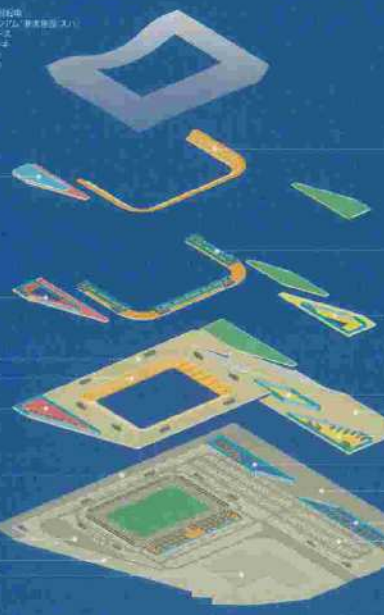
各施設やヘデストリアンデッキを効果的に配置することで、様々な視点や角度から船舶と鉄工流の眺望を楽しめる場を創出するとともに、他土地の大半ほぼ一体に整われた広大な駐車場として活用することができるため、当該敷地がリゾートコンベンションセンターで行われる様々なイベント開催時の駐車場としても大いに活用できます

また、当該敷地外周一帯の海岸沿は緑豊かな遊歩道とすることで、北埠頭一帯を都市の憩い空とひとつながりとなった回遊性のある観光プロムナード空間とします

01. スタジアムエントランス
02. 要点案ノボティ（交流・情報）部門施
03. スタジアムスタンド
04. VIPルーム/スカイボックス
05. ヒューランズ
06. クルーズ船ターミナル
07. マリーナ関連施設
08. カフェ/レストラン
09. 商業施設
10. スパリゾート
11. 大型バス駐車場（回転）
12. 一般駐車場（スタジアム・東末埠頭・スパ）
13. スタジアムコンコース
14. ヘデストリアンデッキ
15. 海岸遊歩道（新設）
16. 海岸遊歩道（既存）
17. 水辺緑（既存）

ENTERTAINMENT ISLAND

北埠頭
－海浜エンターテインメントの島－



AXONOMETRIC VIEW



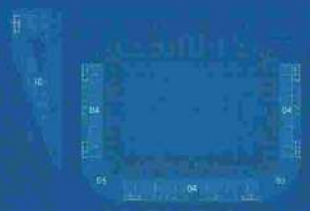
EAST ELEVATION 1:1,000



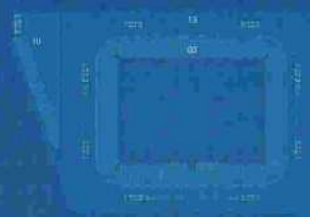
A-A SECTION 1:1,000



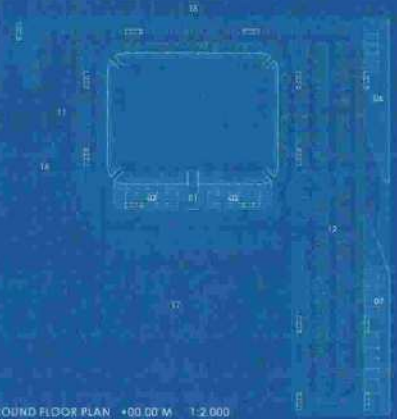
B-B SECTION 1:1,000



3RD FLOOR PLAN +12.60 M 1:2,000



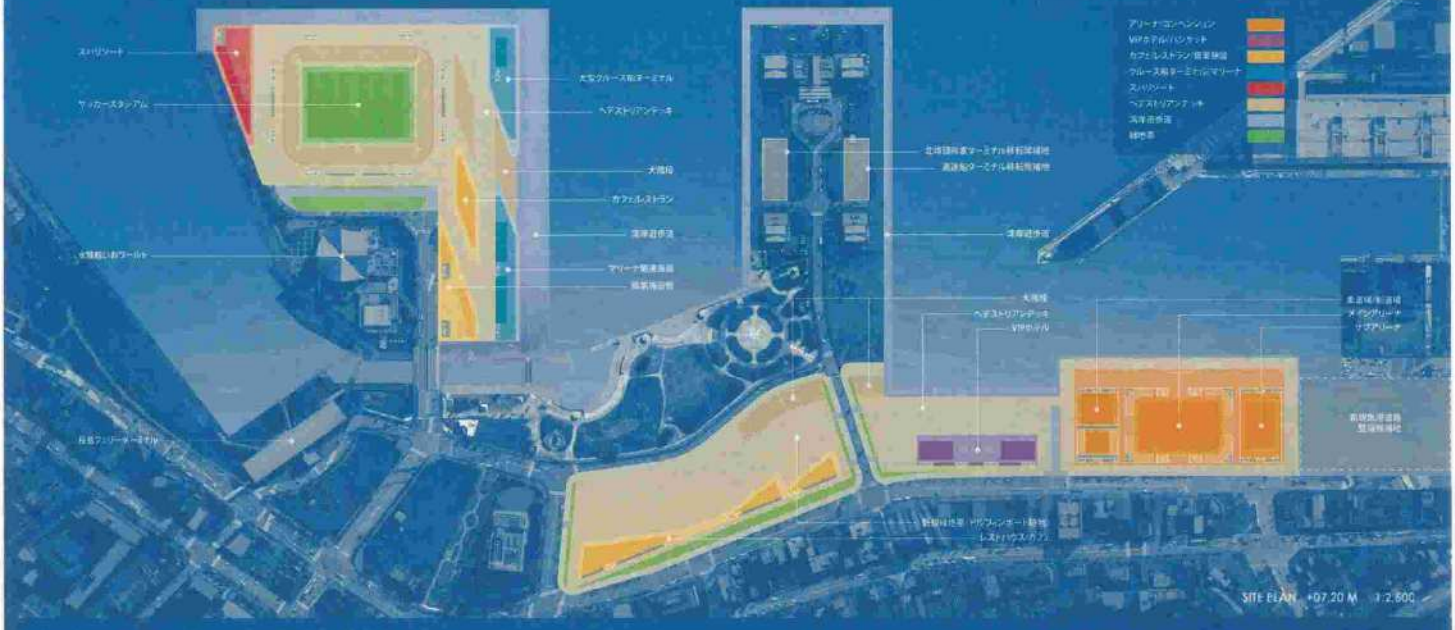
2ND FLOOR PLAN +07.20 M 1:2,000



GROUND FLOOR PLAN +00.00 M 1:2,000

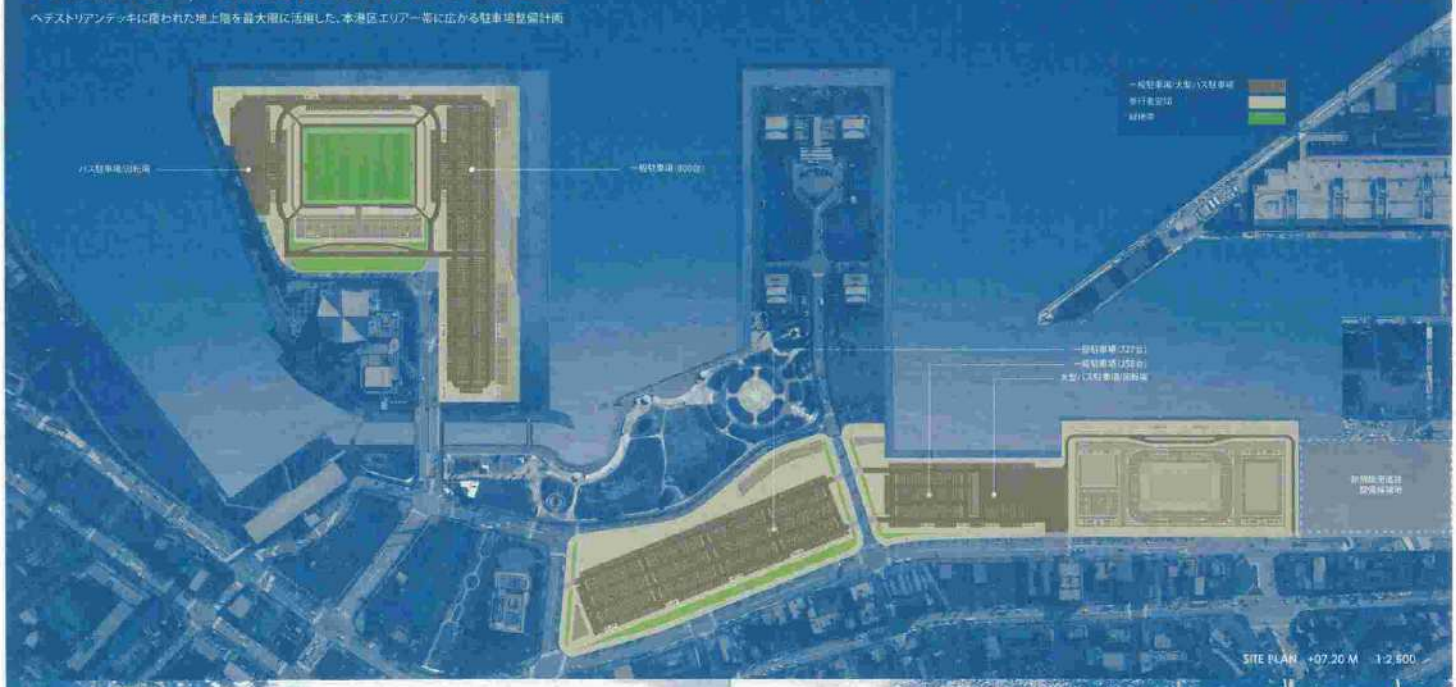
FUNCTIONS / PEDESIRIAN DECK

各機能の明快な分散配置/ペデストリアンデッキと海岸遊歩道再整備による、回遊性歩行者空間計画



PARKING / CIRCULATION SYSTEM

ペデストリアンデッキに覆われた地上階を最大限に活用した、本港区エリア一帯に広がる駐車場整備計画











鹿児島県によるスポーツコンベンションセンター基本構想に即した
施設配置の際、既存のウォーターフロントパークにかかる１年間の影の様子









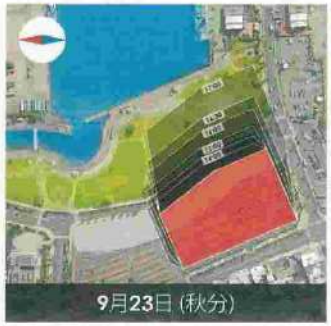


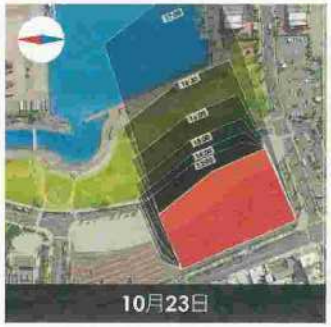




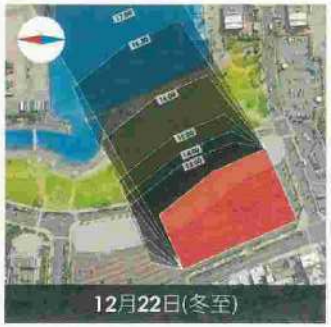












187

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを募集します！(アイディアを直接入力できる専用ページです。)

港湾空港課
-5.4.17
受付

受付番号:9729603
申請日:令和05年04月17日

番号	項目名	入力内容
1	応募者名(個人または団体)	[redacted]
2	応募者名(ふりがな)	[redacted]
3	住所	[redacted]
4	性別	男
5	年代	50代
6	電話番号	[redacted]
7	プレゼンテーション参加の可否	否
8	以下にアイディアを記入してください。	長崎出島ワーフのようにしてください. https://www.at-nagasaki.jp/spot/255 観光の目玉にもなりますし、市民の憩いの場になります.
9	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
10	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
11	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
12	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	

188

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを募集します！(アイディアを直接入力できる専用ページです。)

港湾空港課
-5.4.17
受付

受付番号:9729658
申請日:令和05年04月17日

番号	項目名	入力内容
1	応募者名(個人または団体)	[redacted]
2	応募者名(ふりがな)	[redacted]
3	住所	[redacted]
4	性別	女
5	年代	20代
6	電話番号	[redacted]
7	プレゼンテーション参加の可否	可
8	以下にアイディアを記入してください。	大人や子供が遊べる遊園地。 雨や火山灰が降っても遊べるように 屋根付きで室内。 桜島も見える位置なので外国人もたくさん来ると思われる。 絶叫系から大人がゆっくりいれるカフェまで作る。
9	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
10	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
11	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
12	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	

189

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを募集します！(アイディアを直接入力できる専用ページです。)

港湾空港課
-5.4.17
受付

受付番号:9729712
申請日:令和05年04月17日

番号	項目名	入力内容
1	応募者名(個人または団体)	鹿児島県民です
2	応募者名(ふりがな)	かごしまけんみん です
3	住所	鹿児島県鹿児島市
4	性別	男
5	年代	60代
6	電話番号	(固定電話)0000-00-0000または(携帯)000-0000-0000
7	プレゼンテーション参加の可否	否
8	以下にアイディアを記入してください。	大変期待をしています。 付属施設として、ビーチ関連競技施設も作ってほしい。 砂場、ビーチサッカー場、ビーチバレーボールコートなど。 あればきっと使うはず、楽しんでもらえるはずです。 ないから作ってほしい。 どうぞよろしくお願いします♪
9	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
10	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
11	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
12	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	

190

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを募集します！(アイディアを直接入力できる専用ページです。)

港湾空港課
-5.4.17
受付

受付番号:9729757
申請日:令和05年04月17日

番号	項目名	入力内容
1	応募者名(個人または団体)	[redacted]
2	応募者名(ふりがな)	[redacted]
3	住所	[redacted]
4	性別	男
5	年代	50代
6	電話番号	[redacted]
7	プレゼンテーション参加の可否	可
8	以下にアイディアを記入してください。	まずドルフィンポート跡地に開放型のサッカースタジアムを造る。 スタジアムは観客席東側を低くつくることによって桜島を望みながら、また花火大会も観賞できるようにする。 つぎにかんまちあのあるところに鹿児島駅直結のアリーナを鹿児島市が建てます。 かんまちあの施設をドルフィンポート跡地東側　サッカースタジアム横に建てるのはどうでしょうか？
9	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
10	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
11	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
12	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	

港湾空港課
-5.4.17
受付

受付 No.（事務局記載欄） 19

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」
応募申請書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（[redacted]）		住所	[redacted]	
性別	男	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・30代・(40代)・ 50代・60代・70代・ 80代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名　　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			(可)　・　否		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム(e(い一)申請)」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付 No.（事務局記載欄）	

「鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア」
応募様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

海に囲まれた鹿児島の魅力・全世代の遊び場　～最高のロケーション～

海に囲まれた鹿児島・離島の魅力を発信

海に囲まれた鹿児島・離島は宮崎に負けないぐらい日本でも屈指のサーフィンが非常に一年中をとおして活発です。又、オリンピック競技にもなり、世界でも競技人口が多いスポーツです。そこで、離島へのアクセスも可能な本港エリアでサーフィンを入口とした観光客の獲得や鹿児島の魅力の発信が出来るのではないかと思います。

人口波のプール

人口波のプールは今日、世界でも注目されている施設です。既に小規模ながら行政との提携のもと日本でも複数存在しています。韓国でも 2020 年に大規模な施設がオープン致しました。添付資料のサイズはまだ、日本には存在せず、日本初となれば、日本ならず、世界でも多いに注目される施設になるのではないかと思います。世界大会の誘致、日本国内大会の誘致など、観光資源としての可能性があります。又、一番重要な部分としてビーチを併設しファミリー層・ハンディキャップの方も含め全世代利用できるプール施設にもなります。プール施設としての娯楽だけではなく、海辺などでの水遊びや、波の力（脅威）などの教育方面でも充分活用できます。

他競技としてビーチバレー・ビーチサッカーなどにも使用でき、国内外大会の誘致も可能になります。

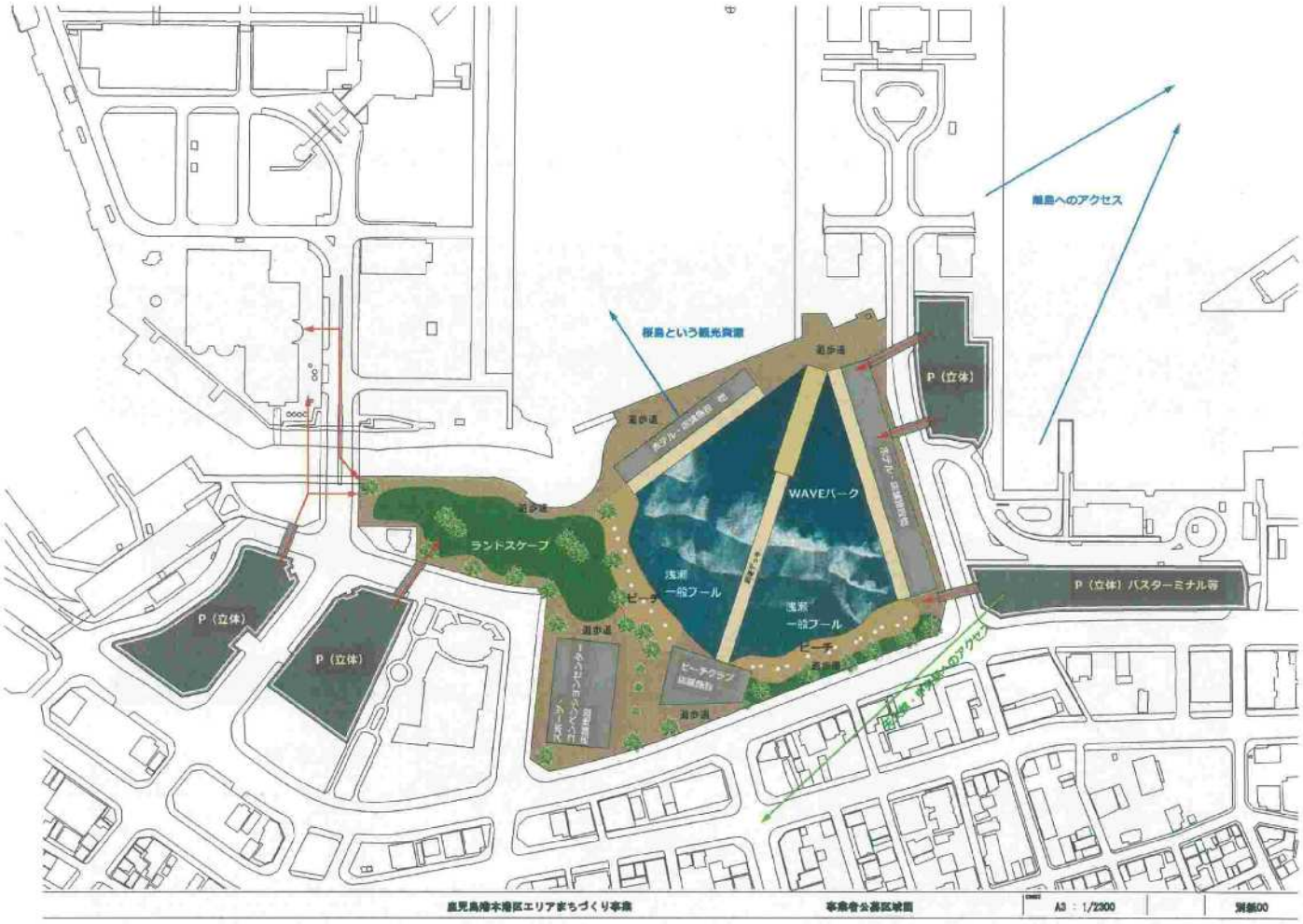
周辺施設

周辺施設では、桜島の眺望という類をみない観光資源を軸にホテル・店舗等を併設しリゾート施設として世界に発信していけます。又、既設駐車場は立体駐車場とし駐車場不足の問題の解決、バスセンターを併設し現在では少ない天文館・中央駅方面へのバスでのアクセスも望めるのではないかと思います。

コンベションセンターでは、この上ないロケーションでのイベント・文化の発信・各スポーツのバックアップもできるかと思います。勿論、遊歩道・ランドスケープもあり、日々の散歩や憩いの場として活用できます。

最後に　何よりロケーションが大事かと思います。桜島という観光資源、離島という観光資源、鹿児島の魅力の発信としては最高の場所でありこれを活用しない手は無いかと思います。

※任意様式に記載して頂いても構いません。





ブラジル　ホテル・商業施設他併設したプール



韓国　ホテル・商業施設他併設したプール







ウェーブプールでのプロサーファーの大会の様子

港湾空港課
-5.4.17
受付

受付No.（事務局記載欄）	192

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」
応募申請書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（マスモト　ヒロミ） 増元　弘美 ㈱城山ストアー		住所	[redacted]	
性別	男	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・30代・40代・ 50代・60代・(70代)・ 80代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名　　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			(可)　・　否		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム(e(いー)申請)」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

付 No.（事務局記載欄）	

「鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア」
応募様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

「鹿児島の旅」観光ターミナル
＆　シンボルタワー「錦江湾マリンタワー」の建設

鹿児島本港区は江戸時代から琉球貿易、中国（台湾）国内の主要港との交易により発展し、また錦江湾内の各地区の港を結ぶ生活港として重要な港として発展してきています。
そして本港区エリアの観光拠点としての最適な場所として、鹿児島県が平成31年2月に作成した「鹿児島港本港区エリアまちづくりグランドデザイン」でまとめられてる通り、鹿児島観光の始点・終点と思います。

当方は平成25年から錦江湾のクルーズ船「クイーンズしろやま」のクルーズ事業に携わってきました。
その中で、基本的な鹿児島本港→仙厳園→桜島港→神瀬灯台→与次郎沖→鹿児島本港を中心に観光、ランチ、ディナークルーズを行い、そして県内及び国内の旅行会社、団体の希望に即したクルーズ、また錦江湾・桜島を関連した「海遊び」シーカヤック、ジオサルク、黒酢レストラン、鹿屋バラ園等組み合わせた**「バス」とコラボ**したクルーズツアーを企画実施してきました。
これらの事業を展開してきた中で、乗船されたお客様の満足度、交通手段、と接続、また鹿児島を訪れていただく提案手段等々考えた場合、鹿児島の観光産業に最適な場所に位置する本港エリアにそのような施設が無いということです。
このような背景から是非本港区エリアに作っていただき施設は次の3つです。

１．「錦江湾マリンタワー」の建設
２．「鹿児島の旅」の出発・終点として「観光ターミナル」の建設
３．「小型船舶の浮桟橋」の設置

１．「錦江湾マリンタワー」

錦江湾・桜島のジオパークの自然・景観、そして江戸時代。明治維新を中心とした歴史的人物、建造物及び産業革命の遺産、また火山で形成された温泉と風土・土地で育った農畜産物の生産地、錦江湾の「海遊び」の現場、さらに南九州一の繁華街「天文館」等が一望できる「展望所」で旅の思いを大き

く振らませる場所の提供も必要かと思います。
併せて東洋のナポリと言われている「みなと街」鹿児島港の凄さ、沖縄を含む離島便6航路の船、日本の港でもなかなか見ることのできない「ジェットフォイル」、帆船、潜水艦、一本釣りカツオ船、世界一の菱刈鉱山の金鉱石の運搬船そしてマリンポートの外国クルーズ船等船のデパートを体感できればと思います。

＊鹿児島市内の小学校、中学生の鹿児島の自然の成り立ち、歴史、農業、漁業、物流等の産業構造も知ることができる学習の場としても活用できればと考えます。

2．「観光ターミナル」

鹿児島観光は櫻島・錦江湾及び離島との観光ルートを考えた場合、本港区エリアは各観光ラインの交わる地点で各交通機関を接続する最適な場所とも言えます。その地点に各地域の観光案内所、名物料理店、お土産店等を設置し観光客の旅先の選択と憩いの場を提供する。

＊「錦江湾マリンタワー」は「観光ターミナル」と同じ建物になります

3．「小型船舶の浮桟橋」の設置

現在鹿児島県が推進している本港区水族館側に「浮桟橋」が設置される予定ですが、今後更に発展していく錦江湾内の小型船舶による海上交通量の増加、及びマリポート　クルーズ船の入港増に伴う小型船舶により対応等を考えた場合浮桟橋の増設も現時点で検討いただけばと思います。

以上簡単ですが、鹿児島経済発展のために本港区エリアの利活用を宜しくご検討下さい。

添付書類　・観光ターミナル・錦江湾マリンタワー構想図
及び小型船舶用浮桟橋設置場所
・本港区エリアが鹿児島観光の始点・終点の最適地

錦江湾マリンタワーからの展望

マリンタワーから鹿児島県観光地全体の方向を確認展望する。



錦江湾マリンタワーからの展望

鹿児島港を起点とした近隣の展望



193

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを募集します！(アイディアを直接入力できる専用ページです。)

港課
-5.4.17
受付

受付番号:9729863
申請日:令和05年04月17日

番号	項目名	入力内容
1	応募者名(個人または団体)	[redacted]
2	応募者名(ふりがな)	[redacted]
3	住所	[redacted]
4	性別	女性
5	年代	60代
6	電話番号	[redacted]
7	プレゼンテーション参加の可否	否
8	以下にアイディアを記入してください。	ドルフィンポート跡地は最高にロケーションの良い所です。県民だけでなく観光客もワクワクするようなショッピングセンター(市場)を建設してほしいと思います。県内各地から特産品が集まりお土産はもちろん、すぐ近くの市場から新鮮な魚介類が並びます。 ロケーションを楽しみながら休憩を兼ねて食事もできるとにぎやかな地域になり全国的にも観光地の一つとして鹿児島県が更に有名になると思います。 トッピー発着所や種子屋久航路を利用される島民の方々も帰りにお買い物もできますし通院などで来られる方々も楽しみにできます。高齢になると県内の各地に行くのは大変。市場に県内の特産品が並べばタクシーを利用してでもお買い物に足を運ぶと思います。 体育館を使用する方々は一部ですしお弁当や水筒持参で景色を見るのは駐車場のみです。 税金をできる限り多くの県民のために大切に使って頂きたいと切に願います。観光地の一つとして大きな役目を果たすことでしょう。県内産業の活性化につながりますし経済効果もかなり期待できます。元気な鹿児島をアピールできるように跡地を活用して下さいますようどうぞ宜しくお願い申し上げます。
9	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
10	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
11	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	

12	別途資料を添付する場合にご利用ください。（各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで）	

194

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを募集します！(アイディアを直接入力できる専用ページです。)

港湾空港課
-5.4.17
受付

受付番号:9729872
申請日:令和05年04月17日

番号	項目名	入力内容
1	応募者名(個人または団体)	[redacted]
2	応募者名(ふりがな)	[redacted]
3	住所	[redacted]
4	性別	男
5	年代	40代
6	電話番号	[redacted]
7	プレゼンテーション参加の可否	可
8	以下にアイディアを記入してください。	まず最初に アイディアでは、ありません。 申し訳ありません。 現状に対しての意見です。 スポーツコンベンションセンターと呼んでいる その施設は、鹿児島港本港区エリアじゃなくてもいいのではないかなと。 そのエリアは県内にて これ以上はないような 好立地だと思います。 なので スポーツコンベンションセンター と呼んでいる その施設が、どうしても必要であれば、 他の場所では何か不都合かあるのかかなと思いました。 当初、体育館を と、候補地がいくつかあったと思います。 その候補地でもいいのではないかなと。 スポーツコンベンションセンター とゆう施設ができたら 県内県外問わず たくさんの方に利用してもらえる もらいたい施設である事は間違いありません。 本港区ではない場所に そのセンターがあっても 皆、利用すると思います。 鹿児島港本港区ではない場所に できたスポーツコンベンションセンター

9	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
10	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
11	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
12	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	

まず最初にアイディアでは、ありません。
申し訳ありません。現状に対しての意見です。

スポーツコンベンションセンターと呼んでいる
その施設は、鹿児島港本港区エリアじゃなくてもいいのではないかなと。
そのエリアは県内にてこれ以上はないような好立地だと思います。

なのでスポーツコンベンションセンターと呼んでいるその施設が、どうしても必要であれば、他の場所では何か不都合かあるのかかなと思いました。
当初、体育館をと、候補地がいくつかあったと思います。
その候補地でもいいのではないかなと。

スポーツコンベンションセンターとゆう施設ができたら県内県外問わずたくさんの方に利用してもらえるもらいたい施設である事は間違いありません。
本港区ではない場所にそのセンターがあっても皆、利用すると思います。
鹿児島港本港区ではない場所にできたスポーツコンベンションセンターを訪れた県外の方などが(スポーツコンベンションセンターに用事がない方も勿論ではございます)
県内の方は勿論ですが県外から来鹿した方にも用事ついでに寄って帰りたいなと思われるような施設があれば最高だなと思います。
スポーツコンベンションセンターに用事のない方は、いっぱいいると思います。
たくさんの方々がその施設メインで、訪れたいと思うような施設であって欲しいです。

港湾空港課
-5.4.17
受付

受付No.（事務局記載欄）	195

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」
応募申請書

（ふりがな） 応募者名 （個人）	（[redacted]） [redacted]		住所	[redacted]	
性別	男	年代 （○で囲む）	50代	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名　　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）	可				

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL：099-286-3665　FAX：099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム（e（いー）申請）」
URL：https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付 No.（事務局記載欄）	

「鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア」
応募様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

フェーズ１．当該エリアに発電所建設（ベスト地熱、ベター石炭火力、×太陽光）

→日本一安い電力供給県を目指し、海外進出企業の国内回帰（特に自動車メーカー）を促し、法人税収増と雇用増を狙います
→比較的居住地近隣に建設することで送電ロスを低減し発電効率を向上します
→発電所で発生する温水を有効活用します。一般家庭に供給することで安い水光熱費でくらすことができる県をアピールし、他府県からの人口流入を促進、住民税数増を狙います

フェーズ２．温泉テーマパークの建設

→フェーズ１で県財政を著しく向上し、強力なインバウンド促進策として複合型（温泉、宿泊、巨大観覧車）テーマパーク建設に投資します。ただでさえ海を隔てて見える活火山という世界唯一の眺望ですが、そこに強力なランドマーク施設をプラスαします。海にせり出した観覧車から見える桜島はド派手そのもの。間違いなく世界随一の眺望スポットとなり、国内外から超多数の観光客が訪れることを期待します。

鹿児島港本港区エリアの利活用について

2023/4/17 [redacted]

Phase1

都市近郊型発電所の建設

- ベスト地熱　ベター石炭火力
- 日本一安い電力供給県を目指す。海外進出企業の県内回帰（特に自動車産業）、ＩＴ企業の誘致を促進し、法人税収増と雇用増を狙う
- 居住地近隣に建設することで送電ロスを低減し発電効率を向上
- 発電所で発生する温水を有効活用。一般家庭に供給し安い水光熱費の県アピール。他府県からの人口流入を促進、住民税収増を狙う
- テーマパーク施設への温水供給も視野に入れる



豊かで生活付加価値の高い県へ


Phase2
温泉テーマパークの建設
間近で火山を望める鹿児島の真骨頂。世界でただ一つの付加価値型ランドマーク

港湾空港課
-5.4.17
受付

受付No.（事務局記載欄）	196

『鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア』応募申込書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（[redacted]） [redacted]	住所	[redacted]

性別	男	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・20代・30代・40代・50代・（60代）・70代・80代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名　　）

プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）	可　・　否

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。

※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。

※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。

※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。

※　提出された資料については，返却いたしません。

※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。

※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。

※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム（e（いー）申請）」
URL：https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付 No.（事務局記載欄）	

「鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア」
応募様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

別紙をご参照ください。

※任意様式に記載して頂いても構いません。



鹿児島本港区エリアの利活用について

◆ 意見提出の前提として
- ・本港区エリアのグランドデザインは鹿児島港の港湾計画と密接に関係している
- ・ウォーターフロントは守る （シビックプライドとしての景観資源（桜島・錦江湾）
- ・本港区エリア利活用はスポーツ・コンベンションセンターの基本構想に基づいたもので、サッカー等スタジアムは対象外
- ・ゾーニング案（含む景観に配慮したデザイン、MICE機能・PFI活用等）は検討委員会が提出

検討委員会での活発な意見交換、調査に基づいたアウトプットを期待しております。
また、サスティナブルツーリズム（UNWTO定義）のご議論もよろしくお願いします。

☞ 提案:

専門的な知見はありませんが、下記の点について意見をのべさせて



1. 港湾計画の抜本的な改定と臨港道路の整備

2. 中心市街地と本港区エリアの回遊性創成のためのｲﾝﾌﾗ整備

3. エコツーリズムとしての緑のある環境づくり

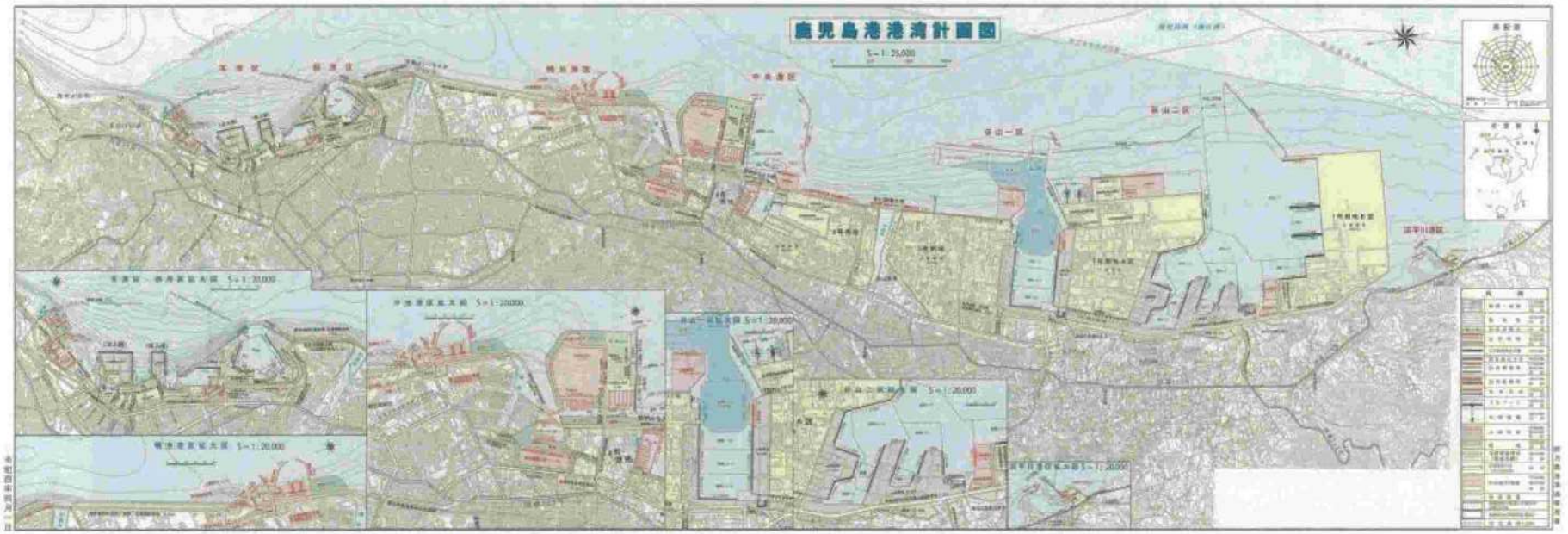
1．港湾計画の抜本的な改定と臨港道路の整備　　（下図：県HPから抜粋）



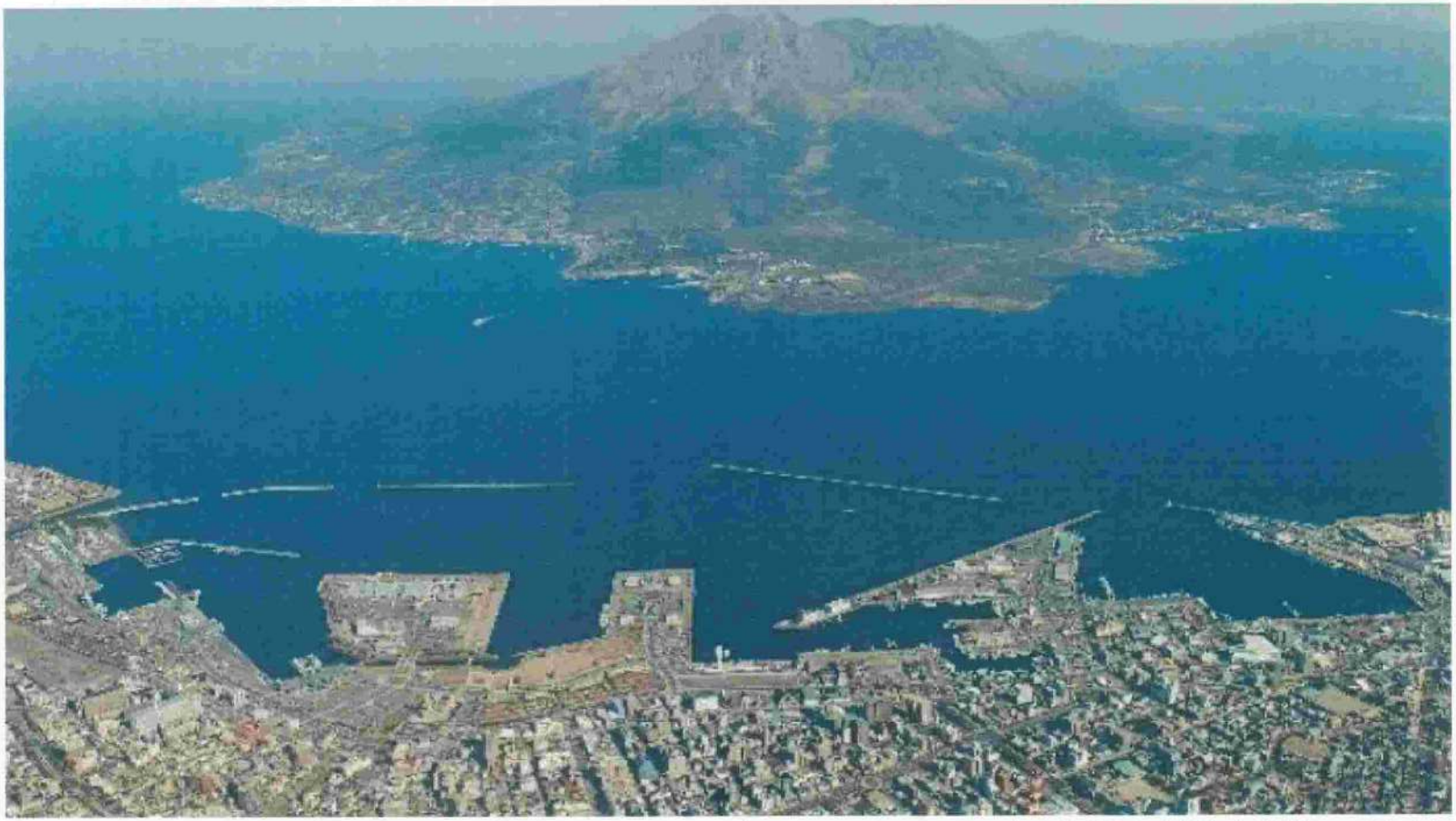
７港区からなる鹿児島港は，離島や大隅半島との貨客定期船ターミナル、国内・海外貨物物流港湾、及び漁業・レクレーションなどの機能整備のために、平成5年(1993年)に鹿児島港の港湾計画が策定されて以降、今日に至っています。港湾の物流・インフラの整備は防災も含めて、行政の重要課題として各自治体が積極的取り組んでいるところかと思いますが、残念ながら、鹿児島港においての港湾行政はうまく機能していないと言わざるを得ません。とりわけ、南北を直線的に繋ぐ臨港道路構想については、策定後３０年経つ現在においても、継接ぎだらけで、かつ幅員も一定ではなく、ジグザグで、失礼ながら物流基幹道路の体はないしていません。その他、＊負の遺産となった北ふ頭旅客ターミナル倉庫群　＊各港区へ繋ぐ東西アクセスの整備　＊本港区と新港区の間にある水産卸市場辺りの環境整備　＊ﾏﾘﾝﾎﾟｰﾄについてクルーズ船以外での抜本的な利活用（将来像）＊志布志港を重要国際港湾として整備する方針に対しての谷山港の利活用　＊祇園之洲から磯海水浴場までの道路整備の目途　等々の問題山積かと思います。　これらを踏まえて、下記提言します。

☞　本改訂から30年経った今、海運・物流・流通モードの技術革新も含めて、当時は全く予測できなかった部分も多々あるかと思いますので、当該　鹿児島本港区エリアの利活用検討において、密接にかかわる問題と思いますので、まずは、自治体所管におきましては、検証を行って、改訂のプロセスに移行していただきたい。

（下図： 県HPから抜粋）



2. 中心市街地と本港区エリアの回遊性創成のためのｲﾝﾌﾗ整備　　（下図： 県HPから抜粋）



☞桜島も望むウォーターフロントウォーキング（含むサイクリング）エリアとしては、東は仙厳園（磯海水浴場）～祇園之洲（多賀山公園含む）～石橋公園～桜島フェリー～水族館～北ふ頭ターミナル（展望台）**～スポーツコンベンションエリア（含むウォーターフロントパーク）**～南ふ頭～高速船埠頭～新港水産卸市場辺りが散策できるためのｲﾝﾌﾗ整備。
☞スポーツコンベンションエリアと水族館水族館口に新たなバスストップを設けて、中央駅、天文館から直行周回する電気バスを配備。（注：市電の乗り入れについては、慎重に検討すべき。高速船旅客並びに南ふ頭旅客のアクセス配慮）
☞中心市街地からウォーターフロントにアプローチする主たる東西道路（マイアミ通り、ボサド通り、朝日通、名山桟橋通、桟橋通、滑川通等）の導線、回遊性としての賑わい整備。特に、マイアミ通り（メイン）とボサド通り（高速船、南ふ頭の導線）

790

3. エコツーリズムとしての緑のある環境づくり

仕事で、国内外を転々とした中で、都会のイメージとして街路樹、花木が非常に重要な役割を果たしていると感じました。特に東京は樹木の多い緑豊かな公園が多いのを実感しました。一方、鹿児島市は緑が少ない気がしました。
緑の多さを指標として都市緑地面積（緑化面積）があります。 これは植物や木々により緑化した土地の広さを示す値です。 ウェブ事業を展開するLBBのGraphToChart(グラフとチャート)によると、東京の都市緑地面積は2021年時点で1210haとなっており、北海道と兵庫県に次いで全国第3位にあたります。残念ながら、鹿児島はデータ上では45位となっております

☞ **当然、予算、維持管理上の問題もあると思いますが、前述 周辺環境、ウォーターフロントウォーキングアリア等の緑化等についてもご検討いただければと思います。**

（添付資料を参照）

2006年には、国土交通省が「観光立国推進基本法」をつくり、条文の中に
・持続可能な開発
・地域住民を中心とした観光地づくり
という概念を取り入れています。そして2007年になると、環境省が「**エコツーリズム推進法**」を制定しました。
このように、エコツーリズムの歴史の背景には、地球環境・自然の保護と、観光地やローカルの振興が大きな柱になっていることが伺えます。

☞ **エコツーリズムは、SDGs目標 8, 11, 12, 14 & 15と 深い関りを持っていると思いますので、それらのポイントにおいて議論を深めていただければと思います。**

追記:
DPが無くなって、既に相当の時間が経過しており、また、今後、意見・構想の集約に困窮する場合、そのままで、いたずらに時間が経過すること、時機を逸することを懸念しています。
現状では、中心市街地からのアクセスもよくないので、残念ながら、犬の散策の方がメインで、憩いの場、賑わい、ワクワクとは程遠い現状です。水族館、桜島フェリー、天文館、離島航路利用客との回遊性、導線が全く感じられません。唯一無二の素晴らしい景観資源です。 本格着工まではまだまだ時間を要するものと思いますので、その間に、トライアル的な暫定利活用の指針、具体策等を示していただければと思います。また、無人で老朽化している旧港湾合庁についても対応いただければありがたいです。

資料

日本でエコツーリズム誕生

日本ではじめて「エコツーリズム」という言葉が登場したのは、1990年のこと。環境庁が「**熱帯地域生態系保全に関する取り組み**」の中で、正式に提唱しました。
1993年には、屋久島と白神山地が世界自然遺産に登録されたことで、自然を資源とした観光形態が増加。一気にエコツーリズムへの熱が高まっていきました。
2006年には、国土交通省が「観光立国推進基本法」をつくり、条文の中に
・持続可能な開発
・地域住民を中心とした観光地づくり
という概念を取り入れています。そして2007年になると、環境省が「**エコツーリズム推進法**」を制定しました。
このように、エコツーリズムの歴史の背景には、地球環境・自然の保護と、観光地やローカルの振興が大きな柱になっていることが伺えます。
そのためには、個人や企業ではなく、政府がエコツーリズムの仕組みを整えることが求められているのです。
そこで環境省は、幅広くエコツーリズムを知ってもらうために「**エコツーリズム大賞**」を開始しました。次ではその取り組みをチェックしてみましょう。

今回は、エコツーリズムの定義から、世界と日本の現状・取り組みについて紹介しました。
国や地域に関係なく「その地の自然・文化を、より多くの人に知ってもらう」点は、エコツーリズムの最も重要なポイントです。
私たちがどこへ訪れるにしても、このポイントを意識することで持続可能な観光の形が、今後さらに当たり前になっていくことが見込まれます。
誰もが、**環境と地域コミュニティに配慮**しながら楽めるエコツーリズムを通じて、SDGs目標を実践でき、地球の未来を考えるきっかけになりうるのです。

では具体的に、SDGsとエコツーリズムにはどのような関係があるのでしょうか。
SDGsとは、Sustainbale Development Goalsの略。日本語では「持続可能な開発目標」と訳され、2015年に国連で採択された世界全体で行う取り組みです。
SDGsには、
•環境
•社会
•経済
の3つの軸があり、そのバランスを保ちつつ、現在も将来もみんなが**安心して住みつづけられる社会づくり**を目指しています。
ここでは、特にエコツーリズムとの関わりが深いSDGs目標を4つ確認しておきましょう。

SDGs目標8「働きがいも経済成長も」との関係

SGDs目標8は、みんなが安定した暮らしを送るために、**労働条件・環境に配慮**した雇用の促進と、経済的な豊かさを手に入れられるように目指しています。
エコツーリズムが発展することで、地域に住む人々の雇用が生まれるだけでなく、地域の資源でお金を生み出せます。
地元の事業や個人・行政が連携してエコツーリズムを行い、**地域の雇用と経済発展**の両方に貢献できる点がメリットです。

SDGs目標11「みんなが住みつづけられるまちづくりを」との関係

SDGs目標11は、誰もが安心して長く暮らせる町づくりを掲げています。
エコツーリズムによって生まれた財源は、そのまま住みよい地域の整備に当てることができ、住人だけでなく訪問者にとっても過ごしやすい町づくりに繋がります。
自然・文化の保全を行う取り組みは、
ターゲット11.4 世界の文化遺産及び自然遺産の保護・保全の努力を強化する。
に当てはまりますね。

SDGs目標12「つくる責任、つかう責任」との関係

SDGs目標12は、地球の環境に配慮した活動を意識し、**生産者と消費者がともに責任を持つ**ことを示しています。
•ツアーやアクティビティ内でゴミを出さない努力
•地域の自然を守るために有害な物質を使用しない取り組み
などは、**環境への配慮**を前提としたエコツーリズムのポイントに共通しています。

SDGs目標15「陸の豊かさも守ろう」との関係

SGDs目標15は、**陸の生態系**を壊さず、将来も維持できるような取り組みを呼びかけています。
SDGs14「海の豊かさを守ろう」と並び、地域の立地や特色に応じて、水陸どちらにも配慮したエコツーリズムの実践が求められます。
環境の保全活動を通じて、自然や生態系の保持に繋がる取り組みは、エコツーリズムとSDGsが深い関わりを持っているといえるポイントです。

資料　（下図：HPから抜粋）

日本全国都道府県別の都市緑地面積が広いランキング一覧表(2020年度)

順位	都道府県名	都市緑地面積 (ha)
1	北海道	3,055.12
2	兵庫県	
3	東京都	
4	埼玉県	
5	宮城県	
6	千葉県	
7	愛知県	
8	大阪府	
9	静岡県	
10	神奈川県	
36	石川県	94.73
37	香川県	87.15
38	鳥取県	81.07
39	徳島県	78.53
40	沖縄県	75.33
41	佐賀県	53.96
42	福井県	45.86
43	山口県	41.84
44	高知県	39.83
45	鹿児島県	24.67
46	長崎県	20.04
47	島根県	6.04

資料

街路樹の役割

1.景観
まちなみに統一感を与え，沿道景観に彩り・季節感・うるおいをもたらす。

2.環境
緑陰を形成し夏の日差しを和らげ，周囲の気温上昇を抑えることでヒートアイランド現象の緩和，CO2を吸収することで地球温暖化防止に役立つ。

3.交通安全
車と歩行者の分離，並木効果による視線誘導，ヘッドライトの防眩効果等の交通安全性の向上に役立つ。

4.防災
火災時の熱吸収・低減による延焼防止効果，地震時の家屋倒壊防止等の防災機能がある。

5.健康づくり・レクリエーション
散歩やジョギングを促進し，健康増進や精神的な充実感を与えてくれる。

○街路樹の特性

街路樹は車や人が通行する道路という限られた環境の中に植えられるため，次のような特性のある樹木が選ばれています。
1.樹形が美しく，均整のとれた樹木として生育する。
2.新緑・花・実・紅葉と四季の変化があり，夏の間には緑陰をつくる。
3.風雪等の自然災害に強く，都市の厳しい環境（乾燥・排気ガス等）に耐える。
4.病気になりにくく，害虫の被害も少ない。
5.移植が容易で繁殖しやすく剪定に耐える。

街路樹のない風景とある風景

林業試験場で作成した樹木画像データベースを用いてシミュレーションしてみました
街路樹があると街路景観が向上し、運転者や通行人にやすらぎを与えます





街路樹として使われている主な樹種

針葉樹：アカマツ　クロマツ　ストローブマツ　チョウセンゴヨウ　バンクスマツ
ヨーロッパアカマツ　ヨーロッパクロマツ　イチイ　メタセコイア　など

広葉樹：アオダモ　アズキナシ　イタヤカエデ　エゾヤマザクラ　ソメイヨシノ
サトザクラ　カツラ　ハシドイ　ナツツバキ　ニセアカシア　ハシドイ
ヤチダモ　ヤマモミジ　ヤマボウシ　ヨーロッパカエデ　ポプラ　など





トチノキとシラカンバを植えた事例





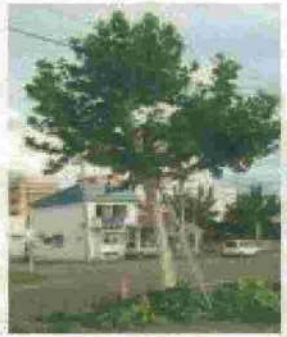
ナナカマドとブンゲンストウヒを植えた事例

資料

街路樹の問題点と対策

住民から寄せられる街路樹に対する苦情

1 枝や葉で日陰になる
2 葉がゴミになる
3 落ち葉でスリップしやすくなる
4 虫が発生する
5 カラスが巣を作る
6 根で家が壊される(動く)
7 根で歩道が盛り上がる
（全道20都市へのアンケート結果から）





改善方法

1)枝や葉で日陰になる
→ 歩道や路面の温度上昇を防ぐ、室内が暑くなるのを防ぐなどの緑陰効果の説明、適切な剪定を行う

2)葉がゴミになる
→ 落葉前の夏剪定、葉を回収して肥料化し資源の有効利用化をはかる、住民の協力で処理

3)落ち葉でスリップしやすくなる → 落葉前の夏剪定、葉の小さな樹種に変換

4)虫が発生する → 害虫が発生しにくい樹種を植栽、住民と連携してきめ細やかな防除

5)カラスが巣を作る → 人を襲う可能性があるので、速やかに撤去する

6)根で家が壊される(動く) → 確認されていない

7)根で歩道が盛り上がる → 植え桝を大きくし、根張り空間を確保する

＊沿線住民の方々と連携し、協力しあいながら街路樹の維持管理を行い、住民が自慢できる立派な街路樹造りを目指しましょう

このようなことから

街路樹の長所(効用)＞街路樹の短所(苦情)

（HPから抜粋）

街路樹は、景観やCO2対策だけではなく、街路樹にはもっと様々な理由や狙いがあり全部で20個ほどあります。そこで今回はその20の理由を環境省の資料を元に挙げてみます。

景観のメリット

1.景観の形成（この理由が一番わかり易いですね）
2.並木道などの装飾機能（大学の正門前なんかがよくやってますね）
3.ランドマーク（奇跡の一本松とか、この一きなんのき♪の日立の樹とか・・・あれはハワイか）
4.目隠し効果（喧しい建物や看板を遮って運転手の目線を道路に集中させる）

環境保全のメリット

5.騒音低減（硬い構造物だらけで止まない反射音を街路樹が吸音してくれます）
6.大気浄化（植物といえば光合成ですね）
7.ヒートアイランド緩和（蒸散して周囲の気温上昇や乾燥を抑えてくれる全自動大自然エアコン）

緑陰形成のメリット

8.直射日光の遮断（西日とかいやらしいですよね）
9.日陰効果で暑さを防ぐ（熱中症には気をつけましょう）
10.降雪予防（ある程度までなら樹が受け止めてくれますが頭上注意）
11.強風の緩和（折れるまで身を挺して防ぐ健気さ）
12.砂塵予防（これもそうで風向きを変えるためだったり）
13.雨を防ぐ（これまたそう）

交通のメリット

14.対向車ライトなどの眩しさを遮る（高速なんかに多いですね）
15.前照灯の影響を防ぐ（屋内まで照らされちゃたまったもんじゃないですよね）
16.ガードレール効果（ただのガードレールと違って自然治癒能力持ち）

自然環境と防災のメリット

17.土壌の侵食を防ぐ（樹が根を張り雨を自身に集めてくれるおかげ）
18.飛砂を防ぐ（これも根を張ってくれてるおかげ）
19.吹雪を防ぐ（ほんと身体張ってますよね）
20.火事の延焼を防ぐ（イチョウなどは燃えにくいんですね）

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665 FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム(e(い一)申請)」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

2/2

② 2-2

港湾空港課 -5.4.17 受付

※アイデアを飲み会の席などで言うと、たくさんの人から、ぜひ声を上げてほしいと言われるので、ぎりぎりになりましたが応募させていただきます。

受付No.（事務局記載欄） 197

[redacted]

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

○県内の人はもちろん、県外・国外の人々からお金を落としてもらう為に、人が集まる観光地にするべきだと思います。

◎本港のドルフィンポート跡地から桜島周遊クルーズ船（周りを一週など）
（桜島もひなびているので、入口だけでも活性化させてほしい）

◎ドルフィンポート跡地に、大きなハートのオブジェを置き、（南大隅根占のような）



背に桜島を入れて、写真スポットできる。

◎大きな2人掛けのブランコが、来ると桜島へ飛び出すようにこげるブランコ。

※県外の人へ鹿児島とは…と聞くと、「天文館」と答えが返って来るので天文館を活性化させたい。
アミュから天文館いろうまで、その日のレシートなどあれば市電は無料にして、天文館へ足を運んでもらい、本港区まで流れを作る。

※任意様式に記載して頂いても構いません。

※とり急ぎ応答します
乱筆乱文にて失礼致します。

① 2-1

受付No.（事務局記載欄） 197

[redacted]

（ふりがな）応募者名（個人・団体）	（[redacted]）		住所	[redacted]	
性別	女	年代（10で囲む）	10歳未満・10代・20代・30代・40代・50代・60代・70代・80代以上	電話番号（携帯番号 自宅番号 ※も記載）	[redacted]（担当者名 ）
プレゼンテーション参加の可否（10で囲む）			可		否

※ 次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は、「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として、公表する場合があります。ただし、応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※ 応募者名・住所・電話番号の個人情報については、本事業の目的以外には使用しません。
※ 応募内容に機密事項がある場合には、応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※ 応募内容の展示、公表に関する権利は、主催者が優先保持します。
※ 提出された資料については、返却いたしません。
※ プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から、プレゼンテーション参加者として選定された方には、後日、事務局より連絡します。
※ 次ページの応募様式については、任意様式に記載して頂いても構いません。
※ 募集に関する詳細については、「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665 FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム(e(い一)申請)」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

港湾空港課
-5.4.17
受付

受付No.（事務局記載欄）	198

[redacted]

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（かごしましりつほしがみねにしょうがっこう） 鹿児島市立星峯西小学校6年1組 （団体）		住所	鹿児島市星ヶ峯4丁目9番1号	
性別	男：19名 女：21名	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・30代・40代・ 50代・60代・70代・ 80代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	099－265－3956 （担当者名 [redacted]）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			可　・　否		

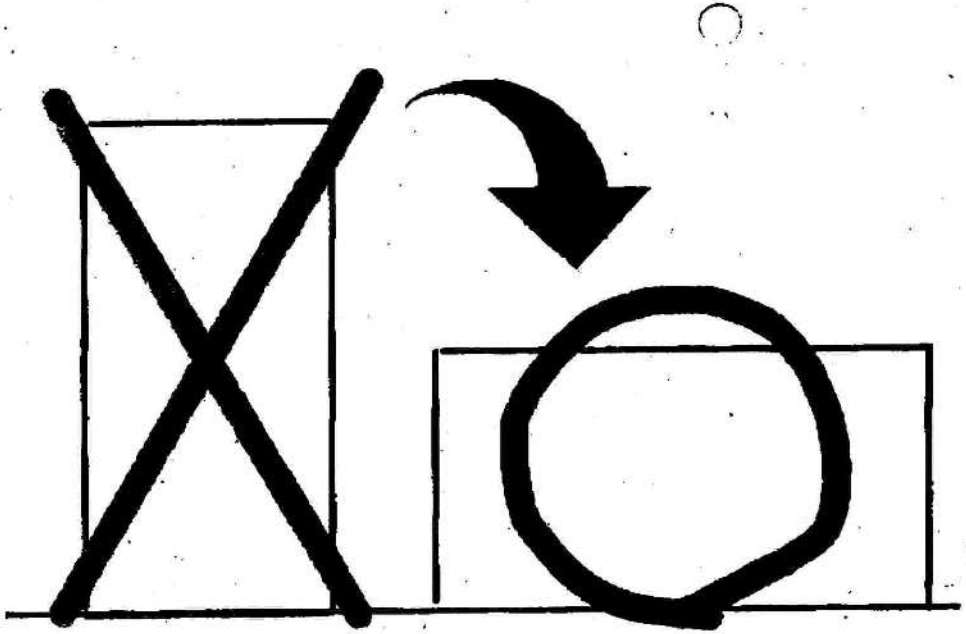
子供たちが一生懸命考えました。検討していただけると嬉しいです。

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL：099-286-3665　FAX：099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム（e(いー)申請）」
URL：https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

海を楽しめて、さらに桜島も楽
しむ事ができる、テーマパーク
の施設を提案します

2つの案を提案します!





803

いろんな競技で盛り上がる、地下付きスタジアムの建設を提案します!!



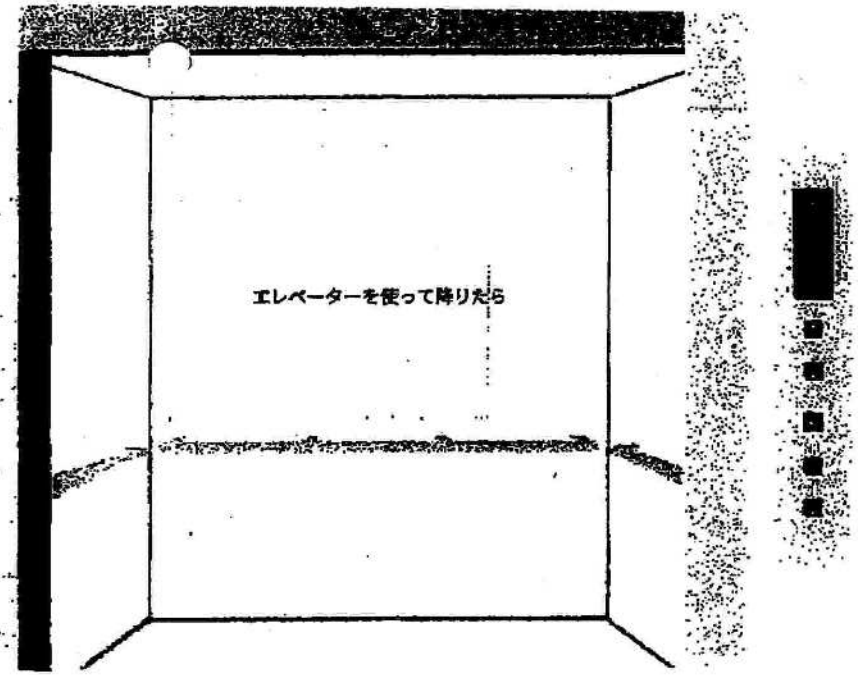


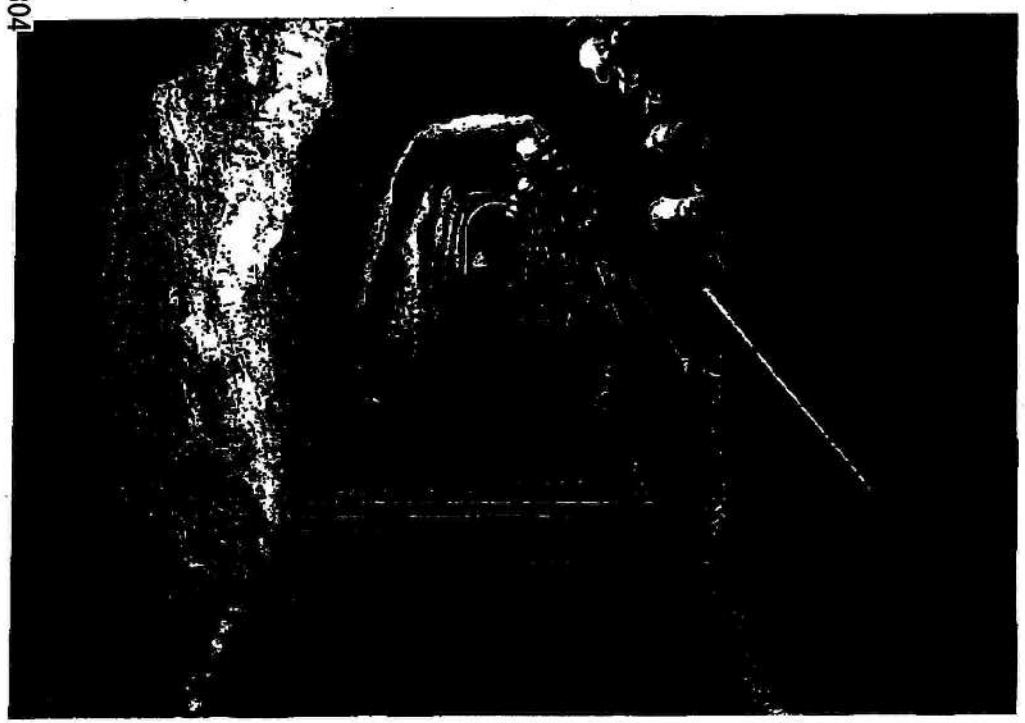
サッカーだけではなく……



野球などの競技でも、スタジアムは使うことができます。




エレベーターを使って降りたら




室内でできる朝技用の施設を整えます！



室内なので……



バスケットボールや卓球などの
スポーツもできます。



屋外競技に興味はないけれど、
室内競技には興味がある
という人にもおすすめです！





桜島や海などの鹿児島の特色を生かした建物を通して、
鹿児島の良さにふれましょう!!

199

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを募集します！(アイディアを直接入力できる専用ページです。)



受付番号:9730388
申請日:令和05年04月17日

番号	項目名	入力内容
1	応募者名(個人または団体)	国立病院機構　鹿児島医療センター
2	応募者名(ふりがな)	田中康博
3	住所	鹿児島市城山町8-1
4	性別	男性
5	年代	60代
6	電話番号	(固定電話)099-223-1151
7	プレゼンテーション参加の可否	可
8	以下にアイディアを記入してください。	少子高齢化、人口減少が進む鹿児島の10年後、20年後を見据え、安心して生活できる医療環境整備が必要と考える。今、鹿児島市の開発はショッピングモールとマンション建設が殆どだが、医療福祉の中心となるエリアが必要ではないだろうか。。現在の鹿児島医療センターの敷地とwaterfront areaを交換し、国立病院機構側は、機能的な病院の再建ができ、鹿児島市のみならず、鹿児島市以外の広範な地域の受け入れが可能となり、鹿児島県の住民の方々の期待に応えることが可能となる。一方、現鹿児島医療センター跡地(私学校跡)に記念館やコンベンションセンターを作り、旧鶴丸城を活用した観光と文化、歴史ゾーンを構築し鹿児島県の名所の一つになるのではないでしょうか。ドルフィンポート跡地活用のみならず、歴史ある鹿児島のアピールのため鶴丸城周辺の開発も同時に考え、鹿児島を文化都市にしてみてはどうでしょうか。
9	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
10	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
11	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
12	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	

200

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを募集します！(アイディアを直接入力できる専用ページです。)



受付番号:9730451
申請日:令和05年04月17日

番号	項目名	入力内容
1	応募者名(個人または団体)	[redacted]
2	応募者名(ふりがな)	[redacted]
3	住所	[redacted]
4	性別	男性
5	年代	60代
6	電話番号	[redacted]
7	プレゼンテーション参加の可否	否
8	以下にアイディアを記入してください。	子供たちの楽しそうな笑い声が聞こえるような遊園地を含むテーマパークを 子供たちのアイディアを広く募って作ってください。 身体に不自由がある方達も分け隔てなく楽しめるよう必ず障害者対応設備設置で。 裕福で無い家庭の子も楽しめるよう低料金で。 鹿児島のすべての子供たちがワクワクして思い出に残るような 有意義な施設を是非よろしくお願いします。
9	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
10	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
11	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
12	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	

2023/04/17 20:29:51

20/

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを募集します！(アイディアを直接入力できる専用ページです。)

港湾空港課
-5.4.17
受付

受付番号:9730478
申請日:令和05年04月17日

番号	項目名	入力内容
1	応募者名(個人または団体)	[redacted]
2	応募者名(ふりがな)	[redacted]
3	住所	[redacted]
4	性別	男性
5	年代	30代
6	電話番号	[redacted]
7	プレゼンテーション参加の可否	否
8	以下にアイディアを記入してください。	スケートボードやBMXなどが自由に楽しめるアーバンスポーツパークになったらいいと思う。
9	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
10	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
11	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
12	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	

202

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを募集します！(アイディアを直接入力できる専用ページです。)

港湾空港課 -5.4.17 受付

受付番号:9730522
申請日:令和05年04月17日

番号	項目名	入力内容
1	応募者名(個人または団体)	[redacted]
2	応募者名(ふりがな)	[redacted]
3	住所	[redacted]
4	性別	男
5	年代	20代
6	電話番号	[redacted]
7	プレゼンテーション参加の可否	否
8	以下にアイディアを記入してください。	前提として、鹿児島県の案(ウォーターフロントパークを残す)を採用したものとする。 ドルフィンポート跡地、各フェリーターミナルおよび周辺の道路・敷地を一体的に整備する。 現状周辺の敷地は、駐車場として使われているものの余分な隙間があり、道路が複雑にひかれているため敷地が乱雑に配置されている。 私の提案としては、フェリーターミナルの機能を北埠頭にまとめ、空いたスペースの広範囲を駐車場として整備する計画である。 この計画によって、現在のドルフィンポートの駐車場としての役割を引き継ぎつつ県総合体育館の利便性を高めることができる。 機能が一元化された北埠頭については、鉄道のターミナル駅のように整備する。待合室にはデジタルサイネージを用いて観光客に分かりやすく案内する。(例:種子島方面は東側岸壁、奄美方面は南側岸壁) なお、桜島フェリーについても乗り場を統合する方が渋滞緩和などの観点から望ましいと考える。 上述により南埠頭のスペースが空くため、サッカースタジアムを建てる場合はそのスペースに建てることができる他、建てない場合は新港の旅客機能を移設し、新港を漁業などの貨物専用とすることもできる。 種子屋久高速船ターミナル付近は大規模な駐車場として整備することと想定するが、計画によっては種子屋久高速船ターミナル付近をサッカースタジアムにすることもできる上、サッカースタジアムと県総合体育館の立地を逆にしても良いと考える。 以上を踏まえると、ウォーターフロントパークは市民共通の財物であるため原則残しつつ、広範囲に広がっているフェリー乗り場を集約し、空き地にスポーツコンベンション施設や駐車場を整備するべきである。 市では錦江湾サマーナイト大花火大会が毎年夏に開催されているが、私はドルフィンポートから楽しんでいた観覧車が多かったことが印象に残っている。コロナ禍を経て再び同じ構図で誰もが楽しめるように、少なくともウォーターフロントパークは残すべきである。この再開発が将来に便益をもたらすことを強く望んでいる。

9	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
10	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
11	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
12	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	

203

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを募集します！（アイディアを直接入力できる専用ページです。）

港湾空港課
−5.4.17
受付

受付番号：9730577
申請日：令和05年04月17日

番号	項目名	入力内容
1	応募者名（個人または団体）	[redacted]
2	応募者名（ふりがな）	[redacted]
3	住所	[redacted]
4	性別	男性
5	年代	30代
6	電話番号	[redacted]
7	プレゼンテーション参加の可否	可
8	以下にアイディアを記入してください。	各種災害による被災体験が可能な体験型防災教育施設 【提案理由】 私自身が熊本市の職員として熊本地震を経験した際に、市民を援助する行政側・受援する市民側それぞれの被災時対応力不足を痛感した。 これはそれぞれの立場における事前防災知識及び災害発生時に起こる行政インフラ環境崩壊への適応力の不足、そしてそれらを事前に習得していなかった根本には、各種被災経験の不足による日ごろからの災害に対する危機感の欠如が原因であったと振り返っている。 そこで、この被災経験に基づく学びを広く市民、県民、特に次世代を担う若年層へ還元するため上記防災教育施設の設立を提言するもの。 【提案者経歴】 [redacted] 【提案者連絡先】 [redacted]
9	別途資料を添付する場合にご利用ください。（各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで）	
10	別途資料を添付する場合にご利用ください。（各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで）	

11	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
12	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	

204

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを募集します！(アイディアを直接入力できる専用ページです。)



受付番号:9730661
申請日:令和05年04月17日

番号	項目名	入力内容
1	応募者名(個人または団体)	[redacted]
2	応募者名(ふりがな)	[redacted]
3	住所	[redacted]
4	性別	男
5	年代	50代
6	電話番号	[redacted]
7	プレゼンテーション参加の可否	可
8	以下にアイディアを記入してください。	私は本港地区の将来計画について、交通渋滞を緩和するための新規の臨海高速鉄道に関する車両基地および車両整備施設を確保するための用地として整備・開発していくことを提案します。 現在鹿児島市では、臨海地区などへの市電の延伸などについて協議されてきたとされていますが、幹線道路と平面交差したり道路の一部占有が必要となるような市電の延伸には県や市の道路行政の理解が得られにくく、また市電側にとっても分岐箇所が増えることで市電の交差点での進行待ち時間の延長や支線となる区間では運行間隔が間引きされることによる運転頻度の減少など、市電利用者にとっても必ずしもメリットが多くはないと思われることから一向に進展を見ない現状となっています。 一方では鹿児島港の各埠頭は最も北の桜島埠頭から南端の鴨池埠頭(あるいは七ツ島の離島航路のターミナル)方面別に点々と分散しており、航路同士の乗り継ぎの際や中央駅など市街中心へ向かう為の交通手段が必ずしも分かり易くて利便性が高いとは言えない状況にあります。 そこで、南北に分散している離島ターミナルを数珠繋ぎにするようにモノレールまたは新交通システムによる高架主体の新しい交通システム(大都市の臨海高速鉄道などに準ずるもの)を将来的に構築していくことは離島航路の利用促進はもちろん、途中の陸上競技場や白波スタジアムへのサッカー観客輸送、市役所および県庁エリアへの市・県民の移動やこれらへの通勤輸送、鴨池ニュータウン地区からの住勤近接輸送など、新設の臨海高速鉄道が鹿児島のウォーターフロント地区の将来像を大きく変えていく可能性があります。建設費用についても他の大都市圏の臨海高速鉄道と同様に国家や県・市との調整で港湾開発予算が活用できる可能性があります。市電での延伸計画では最大のネックとなっている道路行政からの難色についても、新路線計画では港湾行政が主体となって港湾用地を中心に路線計画を行うことでその懸念を排除することも可能と思われます。 本県では近年自動車の利便のみに重点を置いた都市計画が進められていますが、いずれこうした道路依存に重点を置いた政策では限界もあり行

9	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
10	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
11	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
12	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	

私は本港地区の将来計画について、交通渋滞を緩和するための新規の臨海高速鉄道に関する車両基地および車両整備施設を確保するための用地として整備・開発していくことを提案します。

現在鹿児島市では、臨海地区などへの市電の延伸などについて協議されてきたとされていますが、幹線道路と平面交差したり道路の一部占有が必要となるような市電の延伸には県や市の道路行政の理解が得られにくく、また市電側にとっても分岐箇所が増えることで市電の交差点での進行待ち時間の延長や支線となる区間では運行間隔が間引きされることによる運転頻度の減少など、市電利用者にとっても必ずしもメリットが多くはないと思われることから一向に進展を見ない現状となっています。

一方では鹿児島港の各埠頭は最も北の桜島埠頭から南端の鴨池埠頭（あるいは七ツ島の離島航路のターミナル）方面別に点々と分散しており、航路同士の乗り継ぎの際や中央駅など市街中心へ向かう為の交通手段が必ずしも分かり易くて利便性が高いとは言えない状況にあります。

そこで、南北に分散している離島ターミナルを数珠繋ぎにするようにモノレールまたは新交通システムによる高架主体の新しい交通システム（大都市の臨海高速鉄道などに準ずるもの）を将来的に構築していくことは離島航路の利用促進はもちろん、途中の陸上競技場や白波スタジアムへのサッカー観客輸送、市役所および県庁エリアへの市・県民の移動やこれらへの通勤輸送、鴨池ニュータウン地区からの住勤近接輸送など、新設の臨海高速鉄道が鹿児島のウォーターフロント地区の将来像を大きく変えていく可能性があります。建設費用についても他の大都市圏の臨海高速鉄道と同様に国家や県・市との調整で港湾開発予算が活用できる可能性があります。市電での延伸計画では最大のネックとなっている道路行政からの難色についても、新路線計画では港湾行政が主体となって港湾用地を中心に路線計画を行うことでその懸念を排除することも可能と思われます。

本県では近年自動車の利便のみに重点を置いた都市計画が進められていますが、いずれこうした道路依存に重点を置いた政策では限界もあり行き詰まりの可能性もあります。近隣他県に目を移しますと、沖縄県には空港からの都市モノレールがすでに存在し、さらなる延伸や別の新線構想があるほか、熊本県でも空港連絡鉄道がルート選定の段階に進んでいること、同じく熊本市での都市高速道路の構想もあることなどを踏まえれば、これまで本県での新規臨海高速鉄道などが検討されていなかったことが不思議でなりません。

こうした新規の高速鉄道を開設する際に、課題となることが予想されるのが車両基地や整備工場の確保です。こうした設備を置くには当然一定規模の敷地面積が必要とされますが、本港地区はこうした用途に極めて適しており、単なる集客目的の施設を建設するのではなく、臨海地区全体に高い利便性をもたらすことが予想される上記の新規臨海高速鉄道関連の用地として活用されることを提案いたします。

205

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを募集します！(アイディアを直接入力できる専用ページです。)

港湾空港課
-5.4.17
受付

受付番号:9730688
申請日:令和05年04月17日

番号	項目名	入力内容
1	応募者名(個人または団体)	[redacted]
2	応募者名(ふりがな)	[redacted]
3	住所	[redacted]
4	性別	男性
5	年代	30代
6	電話番号	[redacted]
7	プレゼンテーション参加の可否	可
8	以下にアイディアを記入してください。	鹿児島県は全国でも素晴らしい観光地となっているのに対し、 全国の方にその良さすべてが伝わり切っていないのではないか？(行ったことがある人も含め)と県外の人と話していてよく思うことがあります。 その原因の1つが各観光地の距離だと思います。 例えば霧島、桜島、指宿の砂蒸し温泉、天文館や屋台村など全て巡るのは 1日の休みではゆっくりと巡れる距離ではありません。 そこで、この桜島の目の前にある鹿児島港本港区の利活用して 鹿児島全土の良さが詰まった施設を作るのがいいと考えます。 その施設には足湯や、砂蒸し温泉の体験、黒豚や鶏のお店、各鹿児島の焼酎が飲めるエリア、長島のぶりの養殖や枕崎のカツオが体験できるエリア、薩摩の歴史ができるエリアなどが1か所に集まるテーマパークのような施設となります。 そこでは毎日決まった時間におはら祭りのような踊りが見たり踊ったりできるようなエリアがあってもいいと思います。 これは沖縄に旅行に行った際、沖縄の人は太鼓をたたいたり歌ったり県外の人が思う沖縄のイメージをそのまま全力で取り組んでいるのを見て思いました。 この施設だけは、焼酎が出てくる蛇口や西郷さんみたいな格好の人が歩いていたり 黒豚が当たり前のように歩いていたりそんな場所になってもいいと思います。 そこで来た観光客が各観光地を体験して本場の砂蒸し温泉を体験する為に指宿に行こうかなとかお土産に枕崎のカツオを買っていこうかなとか、そ

9	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
10	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
11	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
12	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	

鹿児島県は全国でも素晴らしい観光地となっているのに対し、全国の方にその良さすべてが伝わり切っていないのではないか？（行ったことがある人も含め）と県外の人と話していてよく思うことがあります。

その原因の１つが各観光地の距離だと思います。
例えば霧島、桜島、指宿の砂蒸し温泉、天文館や屋台村など全て巡るのは１日の休みではゆっくりと巡れる距離ではありません。

そこで、この桜島の目の前にある鹿児島港本港区の利活用して鹿児島全土の良さが詰まった施設を作るのがいいと考えます。

その施設には足湯や、砂蒸し温泉の体験、黒豚や鶏のお店、各鹿児島の焼酎が飲めるエリア、長島のぶりの養殖や枕崎のカツオが体験できるエリア、薩摩の歴史ができるエリアなどが１か所に集まるテーマパークのような施設となります。

そこでは毎日決まった時間におはら祭りのような踊りが見たり踊ったりできるようなエリアがあってもいいと思います。
これは沖縄に旅行に行った際、沖縄の人は太鼓をたたいたり歌ったり県外の人が思う沖縄のイメージをそのまま全力で取り組んでいるのを見て思いました。

この施設だけは、焼酎が出てくる蛇口や西郷さんみたいな格好の人が歩いていたり黒豚が当たり前のように歩いていたりそんな場所になってもいいと思います。

そこで来た観光客が各観光地を体験して本場の砂蒸し温泉を体験する為に指宿に行こうかなとかお土産に枕崎のカツオを買っていこうかなとか、そういう風になれば鹿児島市街の観光地にもメリットがあると思います。

観光客が気軽に行きやすいテーマパークがいいと思います。

港湾空港課
-5.4.17
受付

受付No.（事務局記載欄） 206

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」
応募申請書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（[redacted]）		住所	[redacted]	
性別	男	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・30代・40代・ 50代・60代・70代・ 80代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名　　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			可 ・ 否		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム（e（いー）申請）」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付 No.（事務局記載欄）	

「鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア」
応募様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

私個人が考える、当区の発展再開発計画について下記の通り提案致します。県民が誇れる、賑わいのあるエリアになればと思います。
イメージは別添のイラストを参照頂けますと幸いです。

【北埠頭】
現在利用率の高くない港湾施設を撤去し、元々水族館があることにより持っている集客力をさらに高める商業施設を設置（参考：神戸のモザイク、サンフランシスコのフェリービルディング）。
国際都市として各姉妹都市を意識した町を作るのも一手。本港地区の一大観光拠点として整備する。
施設は景観、夜景も意識した外観、配置に。

【南埠頭】
港湾施設の役割を担うべく整備。これまで船を使わない人には正直縁のない地区であったため、上述の北埠頭の夜景を一望できる展望デッキや、ホールなどを整備し人の交流や観光拠点としても活用（参考：横浜の大桟橋）し土地を最大限利用する。

【WFP】
現在でも市民の憩いの場として活用されており、抜群の景観を持つことから保全が望ましい。
小規模のカフェを設置しくつろぎの場としても利用できると良い（参考：横浜の象の鼻パーク）。

【DP跡】
新体育館と位置付けるコンベンションセンターを設置。体育館のほかにイベント開催等の機能をつけることは必須。
また北側に多目的広場と宿泊施設を設置し、本港地区の宿泊需要を満たす。

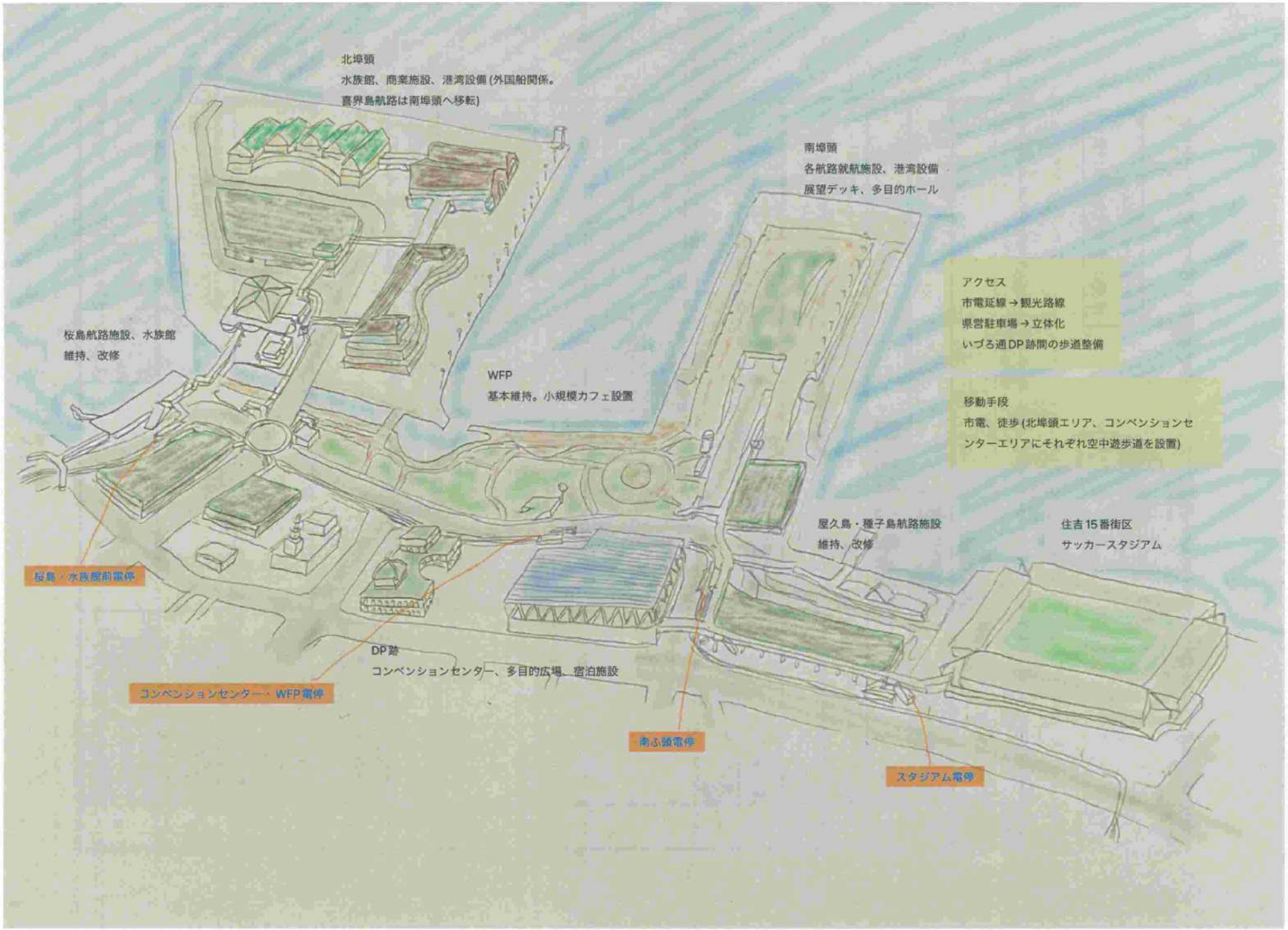
【住吉15番街区】
市の構想にあるサッカースタジアムを本港地区に新設するのは困難と考えられるが、設置するならばこの区域しか残っていないと考える。
港湾関係の調整、土地拡張など難点もあるが、集客力向上などメリットもある為一考の余地あり。

【既存施設】
桜島フェリー、いおワールドかごしま水族館、種子島･屋久島航路の施設は維持、改修。
また県営駐車場は収容台数増のため景観に配慮した形で立体化。

【市電延線】
鹿児島駅、鹿児島中央駅、天文館、本港地区の周遊性と利便性向上のため、市電を延線する。
電停は北から「桜島・水族館前」「コンベンションセンター・WFP」「南ふ頭」「スタジアム前」。
土地に限りがある為、場合に応じて一方通行や単線と複線の両立も視野。

【歩道整備】
回遊性向上のため、北埠頭エリアとコンベンションセンターエリアに空中歩道を設置。
また現状で天文館地区と本港地区に実際の距離以上の心理的距離があると感じるため、
いづろ通-DP跡の歩道整備も合わせて実施。

※任意様式に記載して頂いても構いません。


北埠頭
水族館、商業施設、港湾設備(外国船関係。
喜界島航路は南埠頭へ移転)
南埠頭
各航路就航施設、港湾設備
展望デッキ、多目的ホール
アクセス
市電延線→観光路線
県営駐車場→立体化
いづろ通DP跡間の歩道整備
桜島航路施設、水族館
維持、改修
WFP
基本維持。小規模カフェ設置
移動手段
市電、徒歩(北埠頭エリア、コンベンションセ
ンターエリアにそれぞれ空中遊歩道を設置)
屋久島・種子島航路施設
維持、改修
住吉15番街区
サッカースタジアム
桜島・水族館前電停
DP跡
コンベンションセンター、多目的広場、宿泊施設
コンベンションセンター・WFP電停
南ふ頭電停
スタジアム電停

207

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを募集します！(アイディアを直接入力できる専用ページです。)

港湾空港課
-5.4.17
受付

受付番号:9730852
申請日:令和05年04月17日

番号	項目名	入力内容
1	応募者名(個人または団体)	[redacted]
2	応募者名(ふりがな)	[redacted]
3	住所	[redacted]
4	性別	男
5	年代	40代
6	電話番号	[redacted]
7	プレゼンテーション参加の可否	否
8	以下にアイディアを記入してください。	サッカースタジアムは緑地帯を潰し、桜島が見える景観も悪くなるので不要と考えます。伊藤知事のドルフィンポート跡アリーナ構想も、景観が悪くなると住民や地元マスコミから大バッシングを受けたという実例もあります。緑地帯マリンポートは、サマーナイトや鹿児島ラーメン王決定戦など、人が集まる重要拠点です。 そのうえで、マリンポート利用者にはドルフィンポートのように雨宿りできる場所が必要なので、新体育館には豊田スタジアムのように通り抜け出来る通路として外周部分を利用できるようにすべきと考えます。アミュ鹿児島、東急による渋谷の再開発、道玄坂通など、通り抜けできる通路がある建築物は、人の流れを生み出す事が出来るという大きな利点があり、流行っている商業施設はどこも積極的に取り入れています。 新体育館屋上の海側には、サマーナイトが見えるよう展望デッキのような場所を設置すべきと考えます。 土地の一角には、東市来にある「Hamapoke(ハマポケ)」のようなシェア用カフェを設置するのが良いと考えます。ハマポケには、県の様々な場所にある流行りの店も、今まで数多く出店しております。固定の店や固定の施設だけで構成するよりも、リスクが少なく話題性があり、人を呼び込む目玉になり得ます。
9	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
10	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
11	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
12	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	

208

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを募集します！(アイディアを直接入力できる専用ページです。)

港湾空港課
-5.4.17
受付

受付番号:9730881
申請日:令和05年04月17日

番号	項目名	入力内容
1	応募者名(個人または団体)	[redacted]
2	応募者名(ふりがな)	[redacted]
3	住所	[redacted]
4	性別	男性
5	年代	40代
6	電話番号	[redacted]
7	プレゼンテーション参加の可否	否
8	以下にアイディアを記入してください。	グランドデザイン・「色々な道が集まる縁日広場」 芝生の道や土の道、石の道、水たまりのできるアスファルトの道があったり、田んぼのあぜ道があったりしながら中心の広場へと道がつながる。それぞれの道の両側や片側では、ハンドメイドやキッチンカー、露天、フリーマーケット、鹿児島県内の地域のふるさとの特産品を販売するお店などが週を違ったりして出店する。普段は受けて(お客様)だった方が、出して(販売員)になったりできる。 縁日をイメージするような広場。 中心の広場では、音楽の演奏や舞台、鬼火焚き、少し小さな火を囲んで輪になって踊ったり、お笑いなど、みんなが一体になれるようなお祭り、青空や星空が見える舞台装置にする。 色々な道が集まる縁日広場から、またそれぞれの道へ戻っていく。この縁日広場で完結するのではなく、集まっては戻る、相乗効果を生むような広場にする。
9	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
10	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
11	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
12	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	

209

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを募集します！(アイディアを直接入力できる専用ページです。)

港湾空港課
-5.4.17
受付

受付番号:9730899
申請日:令和05年04月17日

番号	項目名	入力内容
1	応募者名(個人または団体)	[redacted]
2	応募者名(ふりがな)	[redacted]
3	住所	[redacted]
4	性別	女
5	年代	40代
6	電話番号	[redacted]
7	プレゼンテーション参加の可否	否
8	以下にアイディアを記入してください。	国分城山公園のような、自然や眺望がありながらも、遊具や観覧車・ゴーカート等の子どもが楽しめる施設もある公園ができるといいなと思います。屋内施設も併設させ、火山灰を活用した砂場やアート体験、錦江湾のくらげを幻想的に楽しめ暗闇ミュージアムなどもあれば、雨の日でも楽しめるのではないでしょうか。 また、例えば、水陸両用バスで桜島や街並みを観光しながら磯海岸・磯庭園まで行けたり、暑い季節はパラセーリングができたり(空から桜島を見てみたい！)、常時停泊させたフェリーでゆっくり食事や写真撮影(外観だけでなく操縦室なども)ができたりといった、市民だけでなく、観光客の方が[かごんま体験]をメインとすることができる、そんな場所があったらいいのになと思います。 マリンポートへの豪華客船の寄港も帰ってきました。 外国の方には市電から鹿児島本港区へ足をのばしていただくような観光コースをご提案できるのではないでしょうか？
9	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
10	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
11	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
12	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	

210

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを募集します！(アイディアを直接入力できる専用ページです。)

港湾空港課
-5.4.17
受付

受付番号:9730918
申請日:令和05年04月17日

番号	項目名	入力内容
1	応募者名(個人または団体)	[redacted]
2	応募者名(ふりがな)	[redacted]
3	住所	[redacted]
4	性別	男性
5	年代	20代
6	電話番号	[redacted]
7	プレゼンテーション参加の可否	否
8	以下にアイディアを記入してください。	大学生です。単なる若者の意見にはなりますが、パブリックコメントの一助になれば幸いです。 私のアイデア・意見は以下の通りです。 (一)ドルフィンポート跡地には複合施設としてのスタジアムを (二)住吉町15番街区には総合体育館を (三)神戸ポートアイランドのような観光商業区域としての再開発には反対 (四)ウォーターフロントパークを保全する必要性は感じない (五)中途半端な物を造るくらいなら公園整備に留めて再開発予算を別事業に充てるべき (一) 本港区のエリアの利活用について、私はドルフィンポート跡地に何かを建てるのであれば、汎用的で芸術性のあるスタジアム施設が良いと思います。モデルとしては、シカゴ・カブスのリグレー・フィールドや、シアトル・シーホークスのルーメン・フィールドの様な、一方向に客席が大きく開けたスタジアムを、桜島が一望できる形で、一流の建築家にデザインして貰いたい次第です。 鹿児島ユナイテッドFCのホームスタジアムとして建設することになるとは思いますが、スタジアム内に飲食店や展覧スペースといった施設を複合すれば、ユナイテッドサポーターの為だけの場所ではなく、多くの人々が利用できるコンベンション施設として、そして鹿児島を代表する一大観光地として、県の財産となることを疑いません。先日、日本ハムファイターズが北海道ボールパークを開業しましたが、野球場以外にも様々な形で利用できるテーマパーク的な施設として、内外の人々から大いに歓迎されている様子が伺えます。同様の規模のスタジアムは無理でも、同じ様な複合的機能を有した施設は建設できると思います。サマーナイト花火大会の際には有料席としても使えますし、夜には桜島側にスクリーンを張って野外シアターとして運用するのも面白いと思います。活火山を背景にライブをやりたいと思う有名アーティストが来鹿する機運も生じるはずです。鹿児島県全体の財産となる、他所にはない壮大なスタジアムを建設するプロジェクトを示してもら

9	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
10	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
11	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
12	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	

大学生です。単なる若者の意見にはなりますが、パブリックコメントの一助になれば幸いです。

私のアイデア・意見は以下の通りです。

（一）ドルフィンポート跡地には複合施設としてのスタジアムを

（二）住吉町15番街区には総合体育館を

（三）神戸ポートアイランドのような観光商業区域としての再開発には反対

（四）ウォーターフロントパークを保全する必要性は感じない

（五）中途半端な物を造るくらいなら公園整備に留めて再開発予算を別事業に充てるべき

（一） 本港区のエリアの利活用について、私はドルフィンポート跡地に何かを建てるのであれば、汎用的で芸術性のあるスタジアム施設が良いと思います。モデルとしては、シカゴ・カブスのリグレー・フィールドや、シアトル・シーホークスのルーメン・フィールドの様な、一方向に客席が大きく開けたスタジアムを、桜島が一望できる形で、一流の建築家にデザインして貰いたい次第です。

鹿児島ユナイテッドFCのホームスタジアムとして建設することになるとは思いますが、スタジアム内に飲食店や展覧スペースといった施設を複合すれば、ユナイテッドサポーターの為だけの場所ではなく、多くの人々が利用できるコンベンション施設として、そして鹿児島を代表する一大観光地として、県の財産となることを疑いません。先日、日本ハムファイターズが北海道ボールパークを開業しましたが、野球場以外にも様々な形で利用できるテーマパーク的な施設として、内外の人々から大いに歓迎されている様子が伺えます。同様の規模のスタジアムは無理でも、同じ様な複合的機能を有した施設は建設できると思います。サマーナイト花火大会の際には有料席としても使えますし、夜には桜島側にスクリーンを張って野外シアターとして運用するのも面白いと思います。活火山を背景にライブをやりたいと思う有名アーティストが来鹿する機運も生じるはずです。鹿児島県全体の財産となる、他所にはない壮大なスタジアムを建設するプロジェクトを示してもらえれば、こちらとしても心が躍るというものです。

（二） 総合体育館は住吉町15番街区に建てるのが良いと思います。体育館施設はどうしても外観がのっぺりとしがちですし、そもそも屋内スポーツに景観は関係ありません。ドルフィンポート跡地のアクセス性と景観資源を最大限に活用する手段としては、体育館は不向きです。Bリーグでレブナイズが盛り上がっている事情は存じていますが、やはり総合体育館の主な利用者は学生のスポーツマンになるかと思われます。こういった層は必ず保護者の車で現地入りしますし、得てして飲食店で打ち上げなどをして帰るのが通例ですから、若干離れた場所であっても経済効果や利便性が問題になることは少ないはずです。近くにはかつてドルフィンポートで家族連れに大盛況を誇った某寿司チェーンもありますし、種子屋久からの旅客船ターミナルが近いというのも、諸島から遠征してくる学生にとって非常にアクセスしやすい立地であると思います。いづろ通りよりもパース通りの方が、渋滞緩和策についても検討しやすいはずです。総合体育館はこのような事情からも、住吉

町15番街区の方が利点は多いと思います。

（三） コンベンションセンターを軸とした観光商業区域としての展開案について聞き及んでいますが、こういった再開発案には反対です。私は機会があって、香川県のサンポート高松と、兵庫県の神戸ポートアイランドを今春望んできたのですが、共に一般の利用者が多いとは言えない状態にありました。

鹿児島の再開発と最も事情が似ているサンポート高松ですが、シンボルタワーは閑散としており、周囲の飲食店にはシャッターが降りているところもありました。小豆島からのフェリーを降りた乗客は逆方向に流れていきましたし、とても綺麗なのに箱物感が凄まじいと、そういった印象を受けた次第です。神戸ポートアイランドは観光地として一定の賑わいも見られましたが、やはり行き交うのは、同地にある病院と空港を利用する人たちがほとんどでした。そもそも、モノレールという交通手段があってあの程度の利用量ですから、微妙にアクセスのしづらい本港区が、同様の賑わいを見せるとは思えません。こういったポートサイドを意図しても、本港区ではこれらの下位互換となるのが必定だと思います。ホテル等を基軸としたウォーターフロント開発は各県に先例がありますが、共通して言えるのは市民が日常的に集まるような場所にはなっていないということです。イベントやレジャー施設が余程の魅力を持っていなければ、人の足が港まで向かうことは少なく、まずもって平日は人の少ない地区に終わることでしょう。

（四） ウォーターフロントパークは、日頃利用している一部の人以外にとっては、はっきり言って利用しづらく微妙な場所です。市民ランナーは天保山大橋の付近を走っている人の方が多いですし、最もあの場所を欲しているであろうスケボー少年と釣り人は、治安の関係上、締め出されています。そもそも観光客はわざわざあの場所からの桜島を目当てに足など運びませんし、スポーツの憩いの場としてはマリンポートがあり、イベント広場としてはかんまちあがあります。天文館と接続するにしたって、ロマンチックな空間としてはみなと大通り公園、死屍累々が夜風を浴びる避難所としては天文館公園が既にあります。第一に、夜は桜島なんか満足に見えません。昼の主な利用者であるティックトッカーと近隣のお年寄りには申し訳ない限りですが、私はウォーターフロントパークの保全には余り関心が有りませんし、どの程度の県民が思い入れを持っているのか疑問です。多くの県民はウォーターフロントパークそれ自体ではなく、桜島の景観でもなく、サマーナイト花火大会の観覧場所として利用できなくなることを危惧しているのではないでしょうか。とにかく、スタジアムや体育館をウォーターフロントパーク周辺の保全のために、中途半端な形で建てることのほうが問題だと思います。

（五） この再開発に対する不満の根源は、ドルフィンポートが、十分な弔いの手続きを踏まずに終わった点にあると私は感じています。利用頻度はともかくとして、私も含めて多くの人が、ドルフィンポートには愛着を持っていました。それが気づいたら更地になっていて、さらにはそこに自分たちがほとんど利用しないような、もっと言うと特定の人間だけが利用するような施設を、どこから出るかわからない大金を叩いて建てると言われれば、そりゃ気に食わないとなるのが当然だと思います。

サマーナイト花火大会の観覧場所でもある同地は、間に合わせでなにかを建てるには、鹿児島の人々にとって思い出が有りすぎる場所です。宿泊施設など建てた日には、今までパレードを拝めていた場所に、新たなホテルミラコスタを建てられるようなものですから、不満はいっそう激しいものになるでしょう。つまらない箱物を造るくらいなら、その予算で別の場所に、スケボー練習場や釣り場をつくった方がよほど喜ばれると思います。経済云々というのならまずは、閑散としているフェリー乗り場に、おいどん市場的な小さい物産館でも作ってはいかがでしょうか。半端な建物より、その方がよほど人を呼ぶと思います。こうした多くの思い入れが渦巻く場所である以上、他の地区の再開発とは、やはり勝手が違います。議論があらぬ方向に向かって余計なものを造るくらいなら、おとなしく公園として整備したほうがずっとマシです。鹿児島なのに鹿がいないのもアレですから、いっそ公園にふれあい動物園でもつくって、ほんわか観光名所にでもすれば良いのではないでしょうか。

しかし、鹿児島生まれ鹿児島育ちのいち若者として望むらくは、そういった多くの人々の思い出を越えて、鹿児島全体の財産になるような、誇れる一大施設が誕生してほしいと、そういう未来を思っています。

港湾空港課
-5.4.17
受付

受付No.（事務局記載欄）	／／

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」
応募申請書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（ [redacted] ）		住所	[redacted]	
性別	男	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・20代・30代・40代・ [50代]・60代・70代・80代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名　　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			[可] ・ 否		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム(e(いー)申請)」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付 No.（事務局記載欄）	

「鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア」
応募様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

任意様式にて作成。
別添ワードファイル（文章）、ＰＤＦファイル（概念地図）をご覧ください。

※任意様式に記載して頂いても構いません。

鹿児島港本港区エリアについての意見（要約版）

[redacted]

令和５年４月17日(月)

１．現計画（新体育館）に対する疑問

（１） 県民不在での土地利用決定への疑問

・ 天文館、金生町など中心市街地に近く、また鹿児島の誇る桜島・錦江湾の眺望がすばらしく、県民にとっても非常に重要な場所。トップダウンではなく、県民の意見も拾い上げながら、もっと丁寧に計画を進めていくべき。

（２） 大型スポーツ施設（新体育館）がこの地にふさわしいか？

・ 現計画（新体育館など大型スポーツ施設）は、イベント等開催時の一番よい時のイメージしか捉えられていない。
・ とくに以下の理由から、現計画には反対の立場

【理由①】巨大な建造物が中心市街地の面積・空間を浪費してしまう

・ 大型スポーツ施設は、イベント等が入っていない日・時間帯（施設の非稼働日）はかなりの割合にのぼると思われる。施設の非稼働日は、巨大な建物や附属の駐車場が、貴重な中心市街地の一角を占めるだけの状態となってしまう（むしろ郊外（鴨池、与次郎、谷山など）に向いているのではないか）。

【理由②】鹿児島が誇る唯一無二のすばらしい景観を阻害

・ 大きな構造物（新体育館など大型スポーツ施設）は、その大きさから、桜島や錦江湾という鹿児島が誇る景観を、物理的に阻害する。
・ 併せて、大きな構造物の存在自体が、桜島や錦江湾の景観を望む海辺とのアクセスを、心理的にも阻害する。イベント等のない施設の非稼働日には、物陰が多く人気も少ないさびしいエリアとなってしまう。
・ 事実上、大型スポーツ施設がくさびを打ってしまうかたちで、現在の中心市街地と当エリアとの間を隔てる“大きな壁”となる可能性を懸念。

【理由③】大型スポーツ施設に付帯するクルマ利用の弊害

・ 大型スポーツ施設に付帯する駐車場が、貴重な土地のうち広い面積・空間を占有してしまう点。
・ イベント開催等の際には大量の車両交通が短時間のうちに発生し、それが隣接する天文館や金生町などにあふれ出すことは必至。

【理由④】その他もろもろの事項について

- 利用者層の限定：大型スポーツ施設に入場できるのは、無料イベントを除き、施設利用料を支払った人、イベントのチケットを購入した人など一定層に限定される。
- 利用日・利用時間帯の限定：イベント等が開催されない日・時間帯に立入・利用ができない。
- エリア内移動ルートの限定：大型スポーツ施設建設により区画が大きくなることで、移動ルートの選択肢が限定され、当エリアを散策する楽しみが減衰。
- まちの安心安全・治安上の問題：施設の非稼働日や利用時間外は、大きな建物や附属の駐車場は人気の少ない物陰を作り、人目の行き届かないエリアとなってしまう可能性。

（3） 「アスリート・ファースト」という視座への疑問・違和感

- これまでの議論に、「まちづくり全体からみて当エリアの土地利用がどうあるべきか」という視点が欠落。「アスリート・ファースト」の前に、まず「県民ファースト」「まちづくりファースト」ではないか。
- 当エリアは、中心市街地の一角にありまちづくり上重要性のきわめて高い場所。大型スポーツ施設以外にも、当エリアの性格に照らし、どのような土地利用がふさわしいか優先順位を考え、土地利用を決定するのが本来の筋のはず。鹿児島のまちづくり全体の視点で「大型スポーツ施設がそもそも中心市街地の一角である当エリアにふさわしいのか？」という議論が必要。

2．鹿児島港本港区エリアの特徴

（1） 結節点としての機能

当エリアの特徴は、以下のように様々なものを結びつける、優れた「結節点」機能ではないだろうか。

① 陸と海との結節点：陸上交通と海上交通とが結びつく場所
② 都市景観と自然景観との結節点：鹿児島市街地と桜島・錦江湾とが出会う場所
③ 過去と現在との結節点：歴史ある上町地区、鉄道発祥地・鹿児島駅も近い
④ 公園と公園との結節点：近隣に点在する公園施設（仙巌園、東郷公園、祇園之洲公園、石橋記念公園、かんまちあ、かごしま水族館、ウォーターフロントパーク等）をつなぐ場所

（2） 中心市街地の一角を構成

天文館や金生町など中心市街地から徒歩圏であり、結節点としての機能を活かしながら、中心市街地の一角としての発展が期待できる場所。

【中心市街地に求められる機能・特徴とは？】

① 多様性：多様な人々が、多様な時間帯に、多様な目的で訪れ、過ごし、交流できる空間。⇒まちの活気に。
② 人が主人公・ヒューマンスケール：人間にとって居心地よいという状態が、物理的にも心理的にも、また安全面でも保たれている空間であること

③ その他中心市街地を支える条件：

【条件①】商業を中心にさまざまな施設が連坦。空き地・空き店舗、駐車場など、直接の目的地とならない場所がない、あるいは少ない状態。

【条件②】小区画・路地などが多く、また一日のうち長い時間開放され、エリア内を移動する際のルート選択の多様性があること。

【条件③】移動の足となる公共交通が充実。

3．具体的な土地利用についての私案

【私案】

- 商業機能と軌道系公共交通とが併設された駅ビル施設の設置
- 駅ビル施設と周辺の港湾や公園等の施設が結びついた滞在・交流エリアの整備（臨海都市公園）

【概念】

- 南の拠点・鹿児島が持つさまざまな要素が結びつく、海に開かれた玄関地。
- 駅ビルを中心に、鹿児島らしい雰囲気が感じられる場所で、多様な人々が多様な目的で多様な時間に滞在、往来、交流できる場、およびその起点
  - ① 天文館や金生町方面など都心に向かい都市文化に触れようとする人々
  - ② 航路を介して離島や桜島など自然豊かな地に向かう人々
  - ③ 隣接する緑地ほか近隣の公園で憩う人々
  - ④ 水族館、資料館、史跡巡りなどを通じて知識を得ようとする・学習する人々
  - ⑤ ウォーキング、ランニング、サイクリングなどスポーツを楽しむ人々

※「人々」は広い意味。県民だけでなく、外国人も含めた来訪者、観光者も含めて。

【地図について】

- どのような施設をどのようなかたちで配置するべきかの考えを概念的に示すためのもの。

【地図の説明】

（1）駅ビル施設について

① 市電の延伸と商業施設の融合

- 地図は、駅ビル施設に、市電、そしてJR（新幹線と在来線）まで乗り入れた、完成形のイメージ。まずは市電延伸を優先し、市電と直結した商業施設を建設。⇒公共交通軸の設定により、中心市街地が本港区まで接続。
- 商業機能のほか、ビル一角にコンベンション機能を導入することも検討。
- 一方で、市街地からの景観を阻害しないよう、駅ビル施設は2～3階程度の高さに抑える。
- 東側の海に面した緑地は残し、人々が憩える公園機能を維持。

② 港湾など周辺施設とのアクセス確保・改善等

- 交通結節機能をより発揮できるよう、周辺の港湾の旅客ターミナルとの間を歩行者用の連絡通路で結ぶ（道路横断がなく信号待ちのない高架式のデッキを想定。また屋根付きにして天候にも左右されないよう配慮（鹿児島中央駅東口に設置された連絡通路のイメージ））。
- 利用者が多いと思われる区間（駅ビル施設～桜島フェリーターミナル・種子屋久高速船ターミナル）では、動く歩道の設置も検討。

（2） 鉄道の延伸について

① 駅本体について

- 前述の市電に加え、駅ビル施設に直接鉄道が乗り入れ、旧ドルフィンポートのあった区画に新駅「鹿児島みなと駅」を設置する内容。
- JR鹿児島中央駅（新幹線ホーム）から、高架のままナポリ通り、パース通りを経由し、駅ビル施設の屋上に乗り入れるかたちで当駅（鹿児島みなと駅）に到達。これにより、新大阪・博多・熊本方面からの新幹線が直接乗入可能とする。
- JR鹿児島中央駅～鹿児島みなと駅は、新幹線と在来線両方が走れる三線軌条（標準機＋狭軌）として、新幹線車両も在来線車両も走れるようにする（例：山形新幹線、秋田新幹線）。
- さらに当駅（鹿児島みなと駅）から先は、在来線のみ走れる狭軌のみを高架のまま北上させ、桜島フェリーターミナル北西端をかすめ、JR貨物の鹿児島貨物ターミナル駅の上を通って徐々に地上に降り、JR鹿児島駅から北上してくる現在の日豊本線と合流。合流・分岐駅として、稲荷川を渡るあたり（川の北側）の貨物引込線を利用して「清水町駅」を新設。これにより、鹿児島中央駅発着の日豊本線の列車は、既存の城山トンネル経由に加え、三線軌条⇒鹿児島みなと駅⇒清水町駅を経由して、国分、都城、宮崎方面へ向かえるようにする。

（3） より広域の公園・見学施設などとの連携

海岸線を中心により広域に目を向けると、複数の公園のほかさまざまな機能が点在。連絡通路や橋などでこれらを結び、また新しい機能も付加しながら、都市型の広域公園になることを期待。

---仙巌園・磯海水浴場（地図外）、祇園之洲公園、多賀山公園（東福寺城跡）、石橋記念公園・同記念館、かんまちあ、かごしま水族館、そしてウォーターフロントパークなどとつなぐ内容。

---ウォーキング、ランニング、サイクリングを含め、多様な目的に対応できるようなつなぎ方を。

① 清水町駅…こまめな駅設置で、人々の多様なニーズに対応。多賀山公園（東福寺城跡）、石橋記念公園・同記念館、祇園之洲公園などの最寄り駅にも。

② 鹿児島駅～石橋記念公園までの歩行者空間（連絡通路）

JR鹿児島駅の自由通路をさらに一帯に伸ばし、鹿児島貨物ターミナルの線路や道路の上をまたぎ、石橋記念公園までをつなぐことで、一帯の回遊性が向上。

③ 各種博物館施設の設置（交通関連を中心に）

鹿児島鉄道発祥の地－鹿児島の近代交通のはじまりの場所でもあることから、関係者の協力も得ながら、交通関連を中心に博物館施設を設置。

貨物列車見学スペース ・資料コーナー	【場所】鹿児島貨物ターミナルを跨ぐ場所（橋の上） 【内容】貨物列車の発着・荷捌き等の見学、またそこから見える荷捌きの内容や手順のほか鉄道貨物のメリット（CO2 低減など）など鉄道貨物について説明・案内するコーナーを設置
市営バス見学スペース ・資料コーナー	【場所】鹿児島市営バス車庫内の一角 【内容】市営バスの発着や整備などを見学できる見学スペースと簡単な資料館を設置
鹿児島交通バス見学スペース ・資料コーナー	【場所】鹿児島交通バス車庫内の一角 【内容】鹿児島交通バスの発着や整備などを見学できる見学スペースと簡単な資料館を設置
鹿児島鉄道博物館	【場所】石橋記念公園の南側 【内容】鹿児島の鉄道の歴史の説明、鉄道をはじめ公共交通の役割や効果の説明、県内で活躍した実車両を保存・展示等
その他	近くにある営林署、国道事務所、桜島フェリーターミナルなどが、日頃の事業内容などについてそれぞれ説明する見学施設

④ 新ドルフィンポート

鹿児島貨物ターミナル東側に立地する飲食店等について、旧ドルフィンポートのように建物（2F建ての横長構造）・駐車場を集約して、「新ドルフィンポート」とするもの。

4．どうしても現計画でいくのであれば…

せめて以下の条件は満たしてほしい。

（1） 緑地を残す…「海に開かれた街」が有名無実化しないよう、現在の緑地を維持

（2） 商業機能も入った複合施設としてのスポーツ施設…小売店、飲食店などが入居し、イベント等の有無にかかわらず人々が集まれる環境を確保

（3） 軌道系公共交通軸の導入…最低でも市電の導入が必要。新体育館でのイベント開催等時に発生する大量のクルマ交通に影響されない、市電など軌道系の公共交通の導入を

以上

鹿児島港本港区エリアについての意見

[redacted]

令和５年４月17日(月)

１．現計画（新体育館）に対する疑問

（１） 県民不在での土地利用決定への疑問

・ 鹿児島本港区エリア（以後「当エリア」と略す）は、天文館、金生町など中心市街地に近く、また鹿児島の誇る桜島・錦江湾の眺望がすばらしい場所。

・ 県民にとってこれほど重要な場所の土地利用なのだから、トップダウンではなく、県民の意見も拾い上げながら、もっと丁寧に計画を進めていくべき。

---その分県庁職員の皆様には、調整等の手間がかかって大変だとは思うが、「世界に誇れるすばらしい鹿児島を創っていくのだ」という気概で、どうか頑張っていただきたい。

---今回県民に自由意見・プレゼンテーションを募集したことは、今後の鹿児島のまちづくり、地域づくりにとって貴重な一歩であると、前向きに評価したい。今回出された意見が、今後どのように実際の計画に活かされていくのか、引き続き注視していきたい。なお、鹿児島市のサッカースタジアム構想に、このように市民・県民の意見を聞いてみようという姿勢がいまだにないのは、鹿児島市民のひとりとして大変残念。

---一方で、前知事時代にいくつかの新体育館候補地について県民の意見を募集したことがあったが、その結果をなぜ公表しようともしないのか。今からでも公表してはどうだろう。

---有識者集団である検討委員会には、国内や世界の潮流に精通したまちづくり・地域づくりの専門家も、できれば複数名交えた検討を望みたい。クルマ利用への配慮や建築物自体のデザインが重視されるあまり、そこに来て過ごす人の快適性が損なわれている例が、鹿児島でも多いように感ずるので、人の目線で話ができるまちづくり、地域づくりの専門家の視点がぜひ必要と考える。

---ちなみに「人の目線」との関連では、すでに打ち出されている緑地保全という方向性には深く賛同。

（2） 大型スポーツ施設（新体育館）がこの地にふさわしいか？

当エリアは、今後の開発しだいでは、中心市街地の一角としての役割を十分に担える場所。現計画（新体育館など大型スポーツ施設）は当エリアに「にぎわいをもたらす」というが、イベント等開催時の一番よい時のイメージしか捉えられていないと思う。

私はとくに以下の理由から、当エリアに新体育館など大型スポーツ施設を設置することには反対の立場である。

【理由①】巨大な建造物が中心市街地の面積・空間を浪費してしまう

・ 大型スポーツ施設は、イベント等開催時こそ多くの人々を集めるが、毎日イベントがあるわけではなく、イベント等が入っていない日・時間帯（施設の非稼働日）はかなりの割合にのぼるだろう。施設の非稼働日は、巨大な建物や附属の駐車場が、貴重な中心市街地の一角を占めるだけの状態となってしまう。

---大型スポーツ施設のように大きな面積・空間を必要とし、かつ稼働日・非稼働日の人流の差・ブレが大きい施設は、中心市街地よりもまとまった土地を得やすい郊外（鴨池、与次郎、谷山など）のほうがより向いているのではないか。

---仮に新体育館で、レディ・ガガのような大物のライブを開催できたとして、それは一過性の活気。開催の経済効果、広告効果は大きいだろうが、開催頻度はきわめて低いだろうし、またこれが長期にわたり施設の稼働率を向上させるものでもない。

---サッカースタジアムも、Ｊリーグのホームゲームは、天皇杯など加えても多くて 30 試合程度で。天皇杯、高校サッカーなどの予選を加えても、高稼働率は期待しづらい。

---ちなみに J1 サガン鳥栖のスタジアムは、JR 鳥栖駅東側に隣接する鉄道用地跡を利用しており公共交通アクセスはよいが、同駅に停車中の電車車窓から眺めた個人的印象は、試合のないスタジアム非稼働日は巨大なただの構造物。鹿児島港本港区エリアは桜島などの景観もすばらしく、また中心市街地に隣接することを十分頭に入れて検討を勧める必要があるのではないか。

---1994～1995 年に広島市で暮らした経験があるが、当時の広島市民球場の横を何度も通ったことがある。中心市街地の西の外縁部に位置していたが、カープ戦(主催試合は 60～70 試合程度)のない日は大きな構造物に過ぎない印象だった（とくに夜は、大きな物陰をつくる人気の少ないエリアと化していた)。ご存じのとおり、同球場は現在、マツダスタジアムとして市中心部からやや離れた場所（JR 広島駅の南東・約 1 ㎞の JR 貨物ヤード跡地）に移転している。

【理由②】鹿児島が誇る唯一無二のすばらしい景観を阻害

- 大きな構造物（新体育館など大型スポーツ施設）は、その大きさから、桜島や錦江湾という鹿児島が誇る景観を、物理的に阻害する。
- 併せて、大きな構造物の存在自体が、桜島や錦江湾の景観を望む海辺とのアクセスを、心理的にも阻害する。イベント等のない施設の非稼働日には、物陰が多く人気も少ないさびしいエリアとなってしまう。
- 事実上、大型スポーツ施設がくさびを打ってしまうかたちで、現在の中心市街地と当エリアとの間を隔てる"大きな壁"となる可能性。「海に開かれた街・鹿児島」は有名無実化してしまうのではないだろうか。

---この点、いくつもの商業施設の入っていたかつてのドルフィンポートは、夜遅くまで明かりが灯っていて人影も見られ、人々が滞在・往来するのには比較的よい環境を保ち、人々が近づきやすい海辺空間を創り出していたと評価。また 2 階建てと低層であったので、景観を大きく阻害することもなかった。

---鹿児島市は「海に開かれた街」とも言われるが、中心市街地で実際に人々が海のすぐそばまで近づきやすいのは、本港区の緑地～水族館にかけて、および磯海岸くらい。当エリアまで海に近づきづらくなると、「海に開かれた街」はいよいよ有名無実化するように思う。

---横浜には山下公園、神戸にはメリケンパーク、サンフランシスコにはフィッシャーマンズワーフなどがあるように、海と親和性の高いまちづくりには、人が海にアクセスしやすい土地利用があると思う。鹿児島における当エリアの将来を考える際にも、参考になるのではないだろうか。

【理由③】大型スポーツ施設に付帯するクルマ利用の弊害

・ 大型スポーツ施設は、イベント開催等に併せて多くのクルマ利用が付帯することが必至。これに対応するため、当エリアにも、広い面積・空間を占有する大きな駐車場が設置されるだろう。【理由①】で述べた「空間の浪費」とも重なるが、中心市街地の一角をなす当エリアの一定部分が、人々にとって魅力ある機能ではなく、クルマを置くためだけの大型の駐車場という機能に終わってしまう。

・ また、イベント開催等の際には大量の車両交通（観戦者等のマイカー、選手・関係者用のバス、タクシーその他）が短時間のうちに発生するが、それが隣接する天文館や金生町など中心市街地にあふれ出すことは必至。結果として、中心市街地の渋滞の発生や悪化が懸念される。

---本年 4/9(日)、プロ野球・ソフトバンク－西武が平和リース球場（県立鴨池）で開催された際には、試合前（お昼頃）に与次郎地区で渋滞が発生したと聞く。仮定の話となるが、もし当エリアに野球場がありプロ野球の試合が開催されたとすれば、中心市街地は通過交通でかなりの混雑に見舞われたことだろう。

---さきに【理由①】の箇所で、大型スポーツ施設はむしろ郊外のほうが適切と述べたが、これはクルマ利用との関連でもいえることである。広い駐車場、広い道路などクルマのための面積が確保しやすく、また中心市街地にクルマ交通を溢れさせることがないといった点からである。

【理由④】その他もろもろの事項について

・ 利用者層の限定：大型スポーツ施設に入場できるのは、無料イベントを除き、施設利用料を支払った人、イベントのチケットを購入した人など一定層に限定される。不特定多数の多様な人々が集散する中心市街地の性格とは相反する（天文館地区、中央駅地区などとは対照的）。

・ 利用日・利用時間帯の限定：イベント等が開催されない日（非開催日）に立入・利用ができないのはもちろん、イベント等開催日であっても、立入や利用が可能な時間帯は「●時から■時まで」というかたちで限定される。多様な時間帯に、原則として年中無休で立入可能な中心市街地の性格とは相反する（この点も天文館地区、中央駅地区などとは対照的）。

・ エリア内移動ルートの限定：エリア内を徒歩移動する際、その時の気分次第で多様なルートを選べるのが中心市街地の良さであるのに対し、当エリアに大型スポーツ施設が建設されると、施設内部を突っ切ることはできず敷地外周を回ることしかできなくなり、移動ルートの選択肢が限定されてしまう。中心市街地を散策する楽しみは、当エリアについてはかなり減衰する。

---『アメリカ大都市の死と生』（Jane Jacobs, US, 1961）で筆者は、都市が多様性を保つ4条件のひとつとして、「街区のほとんどが短くあること・角を曲がる機会が頻繁であること」を挙げている。

---ドルフィンポートがあった頃は、比較的多様なルートを選ぶことができた。桜島在住の私の経験では、例えば桜島フェリーターミナルからいづろ方面に徒歩移動する際、ドルフィンポートの敷地外周をまわる、建物東側（海側＝各商店等の玄関に面した側）を南に下る、北館と南館の間の自由通路部分を抜ける、時間があるときには2Fを歩きウィンドーショッピングをする、など多様なルートをとることができた。

---個人的な感想では、同じ距離・時間を歩く場合でも、天文館のアーケードのように多種多様な店舗が並ぶところのほうが、駐車場やマンションが並ぶところよりも退屈しづらいと感じる。また大区画・広い道路で埋まった場所（例：県庁周辺）よりも、小区画の路地街（天文館地区、中央駅地区など）のほうが、歩きやすく退屈しづらいと感じる。

・ まちの安心安全・治安上の問題：施設の非稼働日や利用時間外は、大きな建物や附属の駐車場は人気の少ない物陰を作り、人目の行き届かないエリアとなってしまう可能性もある。人々が安心感をもって散策できる空間をつくっていくうえで課題。

（3） 「アスリート・ファースト」という視座への疑問・違和感

- これまでの議論に、「まちづくり全体からみて当エリアの土地利用がどうあるべきか」という視点が欠落していると感じる。「新体育館を建設するのに、いくつかの候補地のなかでどこが一番よいか？」だけで判断するのは片手落ち。まちづくりの総合的な観点から、大型スポーツ施設の立地場所が決定されるべき。施設をつくることの好影響とともに悪影響も十分考慮したうえで、まちづくり全体の視点でみなくては、まちづくりは失敗する。
- 当エリアは、中心市街地の一角にありまちづくり上重要性のきわめて高い場所。大型スポーツ施設以外にもさまざまな活用方策の選択肢があるはず。当エリアの性格に照らし、どのような土地利用がふさわしいか優先順位を考え、土地利用を決定するのが本来の筋のはず。鹿児島のまちづくり全体の視点で「大型スポーツ施設がそもそも中心市街地の一角である当エリアにふさわしいのか？」という議論が必要。
- 「アスリート・ファースト」という視点は一見もっともらしいが、私は強い違和感を持つ。そうではなく、まず「県民ファースト」「まちづくりファースト」ではないだろうか。
- 中心市街地へのアクセスを指向するのは、アスリート向けの施設だけではない。アスリート以外の県民向け、利用者層向けの施設のなかにも、中心市街地へのアクセスを指向するものは多いはず。利用者目線だけでとらえてしまうと、結局あらゆる施設について「中心市街地が望ましい」という答えが導き出されてしまう。
- 新体育館だけを考えるとセカンドベストの立地場所となっても、県民全体の目線で他の土地利用を選択した結果、まちづくりの利益が最大化されるのであれば、それでよいはず。逆に、新体育館単体でみると最良の立地としても、まちづくり全体の利益が損なわれるのであれば、その選択肢は選ばれるべきではない。新体育館だけを考えてまち全体をみない、いわば「木を見て森を見ず」の議論に終始してはならない。
- いざ立地場所が決まり、施設の内容自体を検討する際に「アスリート・ファースト」を最重要視することに、まったく異論はない。その段では、アスリートにとって真に使いやすい施設となるような検討を、心から望みたい。
- ただ、繰り返しになるが、まずは「県民ファースト」「まちづくりファースト」で鹿児島港本港区エリアの活用方策を議論したうえで、それを踏まえて新体育館の立地場所を決定し、そのうえで「アスリート・ファースト」で施設内容の詳細を詰めていくというのが、正しい順序ではないだろうか。

（余論）「スポーツ先進エリア」としての与次郎地区の可能性

- 野球場（県立・市立）、陸上競技場、テニスコート、市営プール等さまざまなスポーツ施設が立地する与次郎地区は、スポーツに関してすでに集積の利益を有する。これをさらに発展させるべく、新体育館やサッカースタジアムも与次郎地区での整備を模索できないか。総合的な体育大会など複数種目でのスポーツイベントがさらに開催しやすくなるなど、集積の利益はさらに強化されるだろう。
- 併せて、スポーツに関するいろいろな機能を与次郎地区に集め、一般県民の健康増進から地元住民や学生のスポーツ技術向上、プロのアスリートの練習などにも利用可能な、国内有数のスポーツ先進エリアに発展させることができないだろうか。
    - ＊ 先進的なスポーツジムなどのトレーニング設備（民間企業とも協力しながら）
    - ＊ 鹿屋体育大学のサテライト機能…具体的なイメージはないが、ただ県内に国立の体育大学があるのは、鹿児島県の強み。大学でこれまで蓄積したノウハウ（トレーニング方法、栄養学...その他についての県民向けの講座開催など）を、県民向けやアスリート向けに伝達・還元できるのであれば、サテライト機能を通じてぜひ進めてほしいと思う。なお、与次郎地区は鴨池港（垂水フェリー）からも近く、鹿屋体育大学との往来には比較的便利な場所。
- 付帯するインフラも共同利用が可能…宿泊場所、道路・駐車場等。
- 可能であれば、鹿児島が誇る天然温泉がこれに加わると、まさに鬼に金棒では？
- 与次郎地区が「アスリート・ファースト」の視点でスポーツ先進エリアとして整備・認知されることで、県外も含めたさまざまなアスリートの利用も促進され、国際大会など大きな大会の誘致にも貢献するほか、プロチーム・アマチームのキャンプ地としての地位もさらに高まるのではなろうか。

2．鹿児島港本港区エリアの特徴

（1） 結節点としての機能

当エリアの特徴は、以下のように様々なものを結びつける、優れた「結節点」機能ではないだろうか。

① 陸と海との結節点：交通結節点。当エリアでの交通結節機能を改善・強化することで、陸と海、すなわち離島（種子・屋久、三島・十島、奄美群島など）と本土との間を、心理的に近づける効果。南の島々の雰囲気や香りが感じられ、また南北600㎞の鹿児島県をより感じられる、「陸と海との結節点」としての可能性を有する地。併せて、観光地でもある桜島と中心市街地とアクセスも向上。

② 都市景観と自然景観との結節点：鹿児島市街地と桜島・錦江湾とが出会う場所。桜島、錦江湾という鹿児島が誇る景観を中心市街地に取り込み、融合してくれる場所。「海に開かれた街」をより強く実感でき、中心市街地の魅力と鹿児島らしい都市景観が、さらに増強される可能性。

③ 過去と現在との結節点：歴史ある上町地区、鉄道発祥地・鹿児島駅も近く、鹿児島の歴史の一端をいまにつなぐ場所

④ 公園と公園との結節点：近隣に点在する多数の公園施設（仙巌園、東郷公園、祇園之洲公園、石橋記念公園、かんまちあ、かごしま水族館、ウォーターフロントパーク等）をつなぐ、中心市街地側の起点となる場所。

（2） 中心市街地の一角を構成

天文館や金生町など中心市街地から徒歩圏であり、結節点としての機能を活かしながら、中心市街地の一角としての発展が期待できる場所。中央駅～天文館～鹿児島港に至る、中心市街地の移動軸の東端として、まちなかのにぎわいを海まで拡げることができるだろう。

なお、私が考える中心市街地に求められる機能・特徴は以下のとおりで、当エリアにはこれらを踏まえた土地利用が求められていると思う。

【私が考える中心市街地に求められる機能・特徴】

① 多様性

多様な人々が、多様な時間帯に、多様な目的で訪れ、過ごし、交流できる空間。それが自然に行われることで、まちのにぎわいや活気が生み出されると思う。

② 人が主人公・ヒューマンスケール

現代的なまちづくりでは、とかくクルマ利用が重要視されがちな面もあるようだが、あくまで主人公は人。そこで人が快適に過ごすことができ、徒歩・散策での移動もしやすいことが大事。「ヒューマンスケール」、つまり人間にとって居心地よいという状態が、物理的にも心理的にも、また安全面でも保たれている空間であることが、中心市街地の理想的な姿だと思う。

③ その他中心市街地を支える条件

上述の「（1）多様性」、「（2）人が主人公」といった中心市街地の特徴を維持しうるのは、以下のような条件が満たされているからだと考える。

【条件①】商業を中心にさまざまな施設が連坦。空き地・空き店舗、駐車場など、直接の目的地とならない場所がない、あるいは少ない状態。

【条件②】小区画・路地などが多く、また一日のうち長い時間開放され、エリア内を移動する際のルート選択の多様性があること。その時の気分次第で歩行者・散策者がルートを選定でき、移動しながら新しい発見や小さな気付きがあるなど、過ごしていて退屈しにくい。

【条件③】移動の足となる公共交通が充実。クルマのための用地（広い道路、大きな駐車場）の面積を抑えることができ、小売店、飲食店など来訪者にとって魅力が感じられる土地利用の面積を高い割合に維持できる。

---天文館地区や中央駅一番街を考えてみるとわかりやすいのではないか。アーケード、路地街などが多く歩きやすい天文館は、店舗、オフィス、公共施設など小規模ながら多様な機能の建物・土地が並び、目的地の異なる人々が行きかう空間となっている。中央駅一番街なども、これに似ている。

---一方鴨池地区はどうだろうか。区画は整然としていて道路も広く近代的だが、ひとつひとつの区画が大きく歩行者は目的地まで長い移動が必要で、また路地など区画を横切る路地・小路も少ないので、ルート選定も単純になりがちで、徒歩で散策する人は多くない。また、似た感じのオフィスビルが多いためか、風景も整然とはしつつもどこか無機質。

---その他、大型商業施設が立ち並ぶ郊外バイパス沿いなどの場合は、目的地間の移動はもっぱらクルマ。人々の移動エリアは店舗内に限られ、周辺まで散策する人々の姿はまれ。

（余論）中心市街地におけるスポーツ施設とは？

中心市街地の理想像を勘案すると、大型スポーツ施設よりもむしろ、まちかどの狭いスペースでもプレーあるいは観戦できる、3×3施設、クライミング施設、Eスポーツ施設など、あるいは大型ビジョンでのスポーツ中継施設を設置などのほうが、当エリアには適しているのではないか（中央駅アミュ広場でもたまに開催されているようだが）。それほど面積・空間をとらず、また通行人もちょっと足をとめて見学するなどできて、まちなかにうまくフィットすると思う。

---鹿児島港本港区エリアにはNHK鹿児島放送局がある。そこに大型ビジョンを設置し、各種スポーツ中継（W杯サッカー、高校野球、大相撲など）を放送してもよいかもしれない（NHKさんのご了解が別途必要だが）。

3．具体的な土地利用についての私案

【私案】

・ 商業機能と軌道系公共交通とが併設された駅ビル施設の設置

---旧ドルフィンポートに市電や鉄道が直結し、かつ駐車場スペースが抑えられたイメージ

・ 駅ビル施設と周辺の港湾や公園等の施設が結びついた滞在・交流エリアの整備（臨海都市公園）

【概念】

・ 南の拠点・鹿児島が持つさまざまな要素が結びつく、海に開かれた玄関地。

・ 駅ビルを中心に、鹿児島らしい雰囲気が感じられる場所で、多様な人々が多様な目的で多様な時間に滞在、往来、交流できる場、およびその起点

① 天文館や金生町方面など都心に向かい都市文化に触れようとする人々
② 航路を介して離島や桜島など自然豊かな地に向かう人々
③ 隣接する緑地ほか近隣の公園で憩う人々
④ 水族館、資料館、史跡巡りなどを通じて知識を得ようとする・学習する人々
⑤ ウォーキング、ランニング、サイクリングなど身体を動かしに来る人々　…など様々な層

※「人々」は広い意味。県民だけでなく、外国人も含めた来訪者、観光者も含めて。

---以前サンフランシスコのフィッシャーマンズワーフを訪れたがあるが、海のそばまで大小の店舗・飲食店がならび、また路面電車やケーブルカーも発着し、終日地元の人々や観光客がたくさん行き交っているのが印象的であった。鹿児島港本港区エリアもこのようになることを期待している。

【地図について】

・ 次ページ以降の説明用に、「本港区エリア_土地利用案01」という地図を作成しました。

・ 建築やデザインの専門家でないため、建築物、構築物の形状など描くことはできませんが、どのような施設をどのようなかたちで配置するべきかの考えを概念的に示すため、提出いたします。手書き部分もあり見づらくてすみませんが、次ページ以降の文章と併せてご覧いただければ幸いです。

【地図の説明】

（1）駅ビル施設について

① 市電の延伸と商業施設の融合

・ 地図は、駅ビル施設に、市電、そしてJR（新幹線と在来線）まで乗り入れた、完成形のイメージを描いたもの。

・ ただし、いきなりこの完成形を造るのは困難を伴うので、まずは市電を延伸し、市電と直結した商業施設の建設から着手。軌道系交通は、わかりやすく明確な公共交通軸を形成できるので、いづろで直角に曲がっている中心市街地の連坦（いわゆる電車通り）が、本港区まで拡がってくるものと思料。

---軌道系交通は、バスに比べずっとわかりやすく、当エリアにおける交通結節機能を最大限に発揮できると考えた。公共交通が充実することで、駐車場の量は極力抑えられる効果もあり。

---鹿児島市では、前市長時代、当エリアへの市電延伸検討した経緯もあり、ぜひ実現させてほしいという想いも込めて、本案にも取り入れた。

---市電延伸部分は仮。本案では、いづろからまっすぐマイアミ通りを経由し、直線的に当エリアに到達。その先は桜島フェリーターミナルを経由して鹿児島駅方面に抜けている。

---駅ビル施設に直接市電が乗り入れることを想定。富山市におけるJR富山駅ビルへの市内路面電車の乗り入れをイメージ。

・ 商業機能のほか、ビル一角にコンベンション機能を導入することも検討されてよい。

・ 一方で、市街地からの景観を阻害しないよう、駅ビル施設は2～3階程度の高さに抑える。

・ 東側の海に面した緑地は残し、人々が憩える公園機能を維持。

---私案（地図）では、市電延伸部分の一部を、東側緑地内を走行するイメージで地図を描いてみた。ヨーロッパのあちこちでみられるような、緑地に直接路面電車が乗り入れるイメージ。

② 港湾など周辺施設とのアクセス確保・改善等

- 交通結節機能をより発揮できるよう、周辺の港湾の旅客ターミナルとの間を歩行者用の連絡通路で結ぶ。
- 連絡通路は、道路横断がなく信号待ちのない高架式のデッキを想定。また屋根付きにして天候にも左右されないよう配慮。（鹿児島中央駅東口に設置された連絡通路のイメージ）
- 利用者が多いと思われる区間（駅ビル施設～桜島フェリーターミナル・種子屋久高速船ターミナル）では、羽田空港などにあるような動く歩道を設置するなどして、荷物持ちの歩行者の利便性を確保。
- 道路を挟んで北側にNHK鹿児島放送局との連携を模索。例えば、一角に大型ビジョンを設置し、スポーツ中継などを自由観戦できるスペースをつくるなど。

（2） 鉄道の延伸について

① 駅本体について

- 前述の市電に加え、駅ビル施設に直接鉄道が乗り入れ、旧ドルフィンポートのあった区画に新駅「鹿児島みなと駅」を設置する内容。
- JR鹿児島中央駅（新幹線ホーム）から、高架のままナポリ通り、パース通りを経由し、駅ビル施設の屋上に乗り入れるかたちで当駅（鹿児島みなと駅）に到達。これにより、新大阪・博多・熊本方面からの新幹線が直接乗入可能とする。
- JR鹿児島中央駅～鹿児島みなと駅は、新幹線と在来線両方が走れる三線軌条（標準機＋狭軌）として、新幹線車両も在来線車両も走れるようにする（例：山形新幹線、秋田新幹線）。
  ---一般論として、新幹線の中間駅の前後に新駅は建設しにくいが、末端駅であれば、その先にもうひとつ新駅ができても新幹線の所要時間は既存の途中駅間で伸びることはなく、利用者の不利益は生じない。東京駅～品川駅、東京駅～上野駅、博多駅～博多南駅などが、末端区間における新幹線の近距離駅の例。鹿児島の新幹線の特徴でもあるので、この特徴をまちづくり（交通アクセス改善）に活用できれば。
  ---離島航路利用者にとっては、鹿児島港に直結した新幹線駅の新設は、移動時間短縮の面で大きなメリットとなるだろう。
- さらに当駅（鹿児島みなと駅）から先は、在来線のみ走れる狭軌のみを高架のまま北上させ、桜島フェリーターミナル北西端をかすめ、JR貨物の鹿児島貨物ターミナル駅の上を通って徐々に地上に降り、JR鹿児島駅から北上してくる現在の日豊本線と合流。合流・分岐駅として、稲荷川を渡るあたり（川の北側）の貨物引込線を利用して「清水町駅」を新設。これにより、鹿児島中央駅発着の日豊本線の列車は、既存の城山トンネル経由に加え、三線軌条⇒鹿児島みなと駅⇒清水町駅を経由して、国分、都城、宮崎方面へ向かえるようにする。
  ---フリーゲージトレインが将来実用化した際には、博多・熊本方面から国分、都城、宮崎方面へ列車が直通可能に。宮崎・都城方面～博多などの利用者を一定割合取り込むことで、日豊本線の利用増に貢献するのではないか。

（3） より広域の公園・見学施設などとの連携

海岸線を中心により広域に目を向けると、複数の公園のほかさまざまな機能が点在。連絡通路や橋などでこれらを結び、また新しい機能も付加しながら、都市型の広域公園になることを期待。

---公園・レクリエーション施設を挙げると、仙厳園・磯海水浴場（地図外）、祇園之洲公園、多賀山公園（東福寺城跡）、石橋記念公園・同記念館、かんまちあ、かごしま水族館、そしてウォーターフロントパークと多数が点在。

---欧米では、都市内に広い面積の公園があるのが普通。例えばアメリカでは、ニューヨークシティ（セントラルパーク）、サンフランシスコ（ゴールデンゲートパーク）、ワシントンDC（モール）などがあり、緑地や池などのほか博物館、美術館なども配置され、住民の憩いの場であるとともに観光の目玉ともなっている。こうした例を見るに、鹿児島は自然豊かな地であるにもかかわらず、そのシンボルとなるような広い公園が都市内にないのを、とても残念に思ってきた。

---とはいえ、仙厳園からウォーターフロントパークに至る広大な面積を取得してひとつの公園にまとめるのは、そう簡単なことではない。そこで、地権者の理解も得ながら、点在するこれらの公園・レクリエーション施設について、歩行者が移動しやすい連絡通路・橋等でつなぎ、また必要に応じ公園・レクリエーション機能を補完していけば、事実上都市型の広い公園とみなせると考えた次第。

---施設間をつなぐ際は、ぜひウォーキング、ランニング、サイクリングのいずれにも対応できるようなつなぎ方を希望したい。

---将来的には、仙厳園・磯海水浴場。ぢゃんぼ餅屋さんの並びあたりまでの海岸道路にも広い歩道などの空間が整備されれば、散策やランニング、サイクリングでの回遊がより容易になるだろう。

以下、地図の北のほうから順に説明する。

① 清水町駅

先述の通り、日豊本線の新線を分岐させるための駅で、貨物用引込み線も活用。2025年度に磯新駅が設置されることを見越せば、この付近では鉄道駅が1㎞前後ごとに設置されることとなり、一体で散策やウォーキングを楽しむ人々にとっては、乗降地点の選択肢が増える効果もある。例えば現在では、JR鹿児島駅からウォーキングを開始した場合また同駅まで戻ってこなくてはならないが、こまめに駅があると、隣の駅から、あるいはさらにひとつ先の駅から列車に乗車でき、各人の体力に合わせてさまざまな距離でのウォーキングが可能。多賀山公園（東福寺城跡）、石橋記念公園・同記念館、祇園之洲公園などの最寄り駅ともなる。

② 鹿児島駅～石橋記念公園までの歩行者空間（連絡通路）

JR鹿児島駅には東西連絡自由通路が設置され、駅を挟んでの移動がしやすくなった。この自由通路をさらに一帯に伸ばす発想で、鹿児島貨物ターミナルの線路や道路の上をまたぎ、石橋記念公園までをつなぐことで、一帯の回遊性が向上すると思われる。

③ 各種博物館施設の設置（交通関連を中心に）

鹿児島駅は、鹿児島鉄道発祥の地。過去には機関区も設けられ、鹿児島の近代交通のはじまりの場所でもあった。この地に、事業者や土地所有者の協力も得ながら、以下のような交通博物館施設を設置できないだろうか。鹿児島には設置ない施設なので、地元の親子や交通ファンを楽しませるのではないだろうか。（門司港まで行かなくても、鉄道博物館が見られる）

貨物列車見学スペース ・資料コーナー	【場所】鹿児島貨物ターミナルを跨ぐ場所（橋の上） 【内容】貨物列車の発着・荷捌き等の見学、またそこから見える荷捌きの内容や手順のほか鉄道貨物のメリット（CO2 低減など）など鉄道貨物について説明・案内するコーナーを設置
市営バス見学スペース ・資料コーナー	【場所】鹿児島市営バス車庫内の一角 【内容】市営バスの発着や整備などを見学できる見学スペースと簡単な資料館を設置
鹿児島交通バス見学スペース ・資料コーナー	【場所】鹿児島交通バス車庫内の一角 【内容】鹿児島交通バスの発着や整備などを見学できる見学スペースと簡単な資料館を設置
鹿児島鉄道博物館	【場所】石橋記念公園の南側 【内容】鹿児島の鉄道の歴史の説明、鉄道をはじめ公共交通の役割や効果の説明、県内で活躍した実車両を保存・展示等
その他	近くにある営林署、国道事務所、桜島フェリーターミナルなどが、日頃の事業内容などについてそれぞれ説明する見学施設

④ 新ドルフィンポート

鹿児島貨物ターミナル東側に隣接する場所には、飲食店等が複数立地しているが、建物、駐車場とも個別に設置されなにか雑然とした印象。またゴルフの打ちっ放し練習場も、せっかくの海辺において景観上よいとはいえない。

そこで、一帯の土地を合わせて一定面積を確保し、旧ドルフィンポートのように建物（2F 建ての横長構造）・駐車場を集約して、「新ドルフィンポート」とするもの。鹿児島駅～石橋記念公園をつなぐ歩行者用の自由通路も新ドルフィンポートを経由させ、往来の利便性を確保。

4．どうしても現計画でいくのであれば…

どうしても現計画（新体育館設置）でいくというのであれば、せめて以下の条件は満たしてほしい。

（1） 緑地を残す

「海に開かれた街」が有名無実化しないよう、海に近接した当エリアの特徴をしっかり活かせるよう、現在の緑地はぜひとも残してもらいたい。

（2） 商業機能も入った複合施設としての新体育館を

イベント等が実施されない非稼働日は、さきにも述べたようにただの空間の浪費となってしまう。中心市街地の一角にふさわしく多様性、人々の快適性を担保できるよう、小売店、飲食店などが入居して、新体育館でのイベント等の有無にかかわらず人々が当エリアに立ち入ることができるよう、複合的な用途をもった複合施設として整備してもらいたい。

（3） 軌道系公共交通軸の導入を

最低でも市電の導入が必要。

すでに述べたが、新体育館でのイベント開催等時には、短時間に大量のクルマ交通が発生し、中心市街地も巻き込んだ渋滞が起きると懸念。公共交通がバスだけだと、渋滞に巻き込まれてしまう。

市電など軌道系の公共交通であれば、渋滞の影響をもろに受けることはなく、本港区エリア、そして中心市街地の人々の移動手段が確保される。それゆえ、市電の延伸も含めて議論を進めていただきたい。

以上

本港区エリア_土地利用案01



港湾空港課
-5.4.17
受付

受付No.（事務局記載欄）	2/2

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」
応募申請書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（ [redacted] ）		住所	[redacted]	
性別	男性	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・（30代）・40代・ 50代・60代・70代・ 80代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名 [redacted] ）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			（可）・否		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム(e(いー)申請)」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

鹿児島港本港区エリア
新世代に向けたアイデア



[redacted]

856

感　謝

この度は、鹿児島港本エリア一帯の利活用に向けて、広く県民から様々な意見の募集という非常に貴重なお時間等を頂きましてありがとうございます。

委員の皆様方にも、鹿児島に対して様々なおもいがおありかと思われます。また、県民の皆さんにも様々なおもいがあります。

この機会に、１００年先を見据えこれまで培ってきたレガシーを活かします。鹿児島の現状を様々な目線を使って整理整頓し、また既存施設などで無駄なものなら無いように、無駄のない、新しい時代に向けた「シン鹿児島」を鹿児島で生きるすべてのチカラで、南州公西郷隆盛が感動して頂けるように、維新前進できればと思います。

簡単な紹介から・・・

霧島市在住

日頃は、パソコンの修理・サポートなどを行っております。

鹿児島ユナイテッドFCを応援しており、毎回ホームゲームにボランティアとして参加し全力で後押ししております。

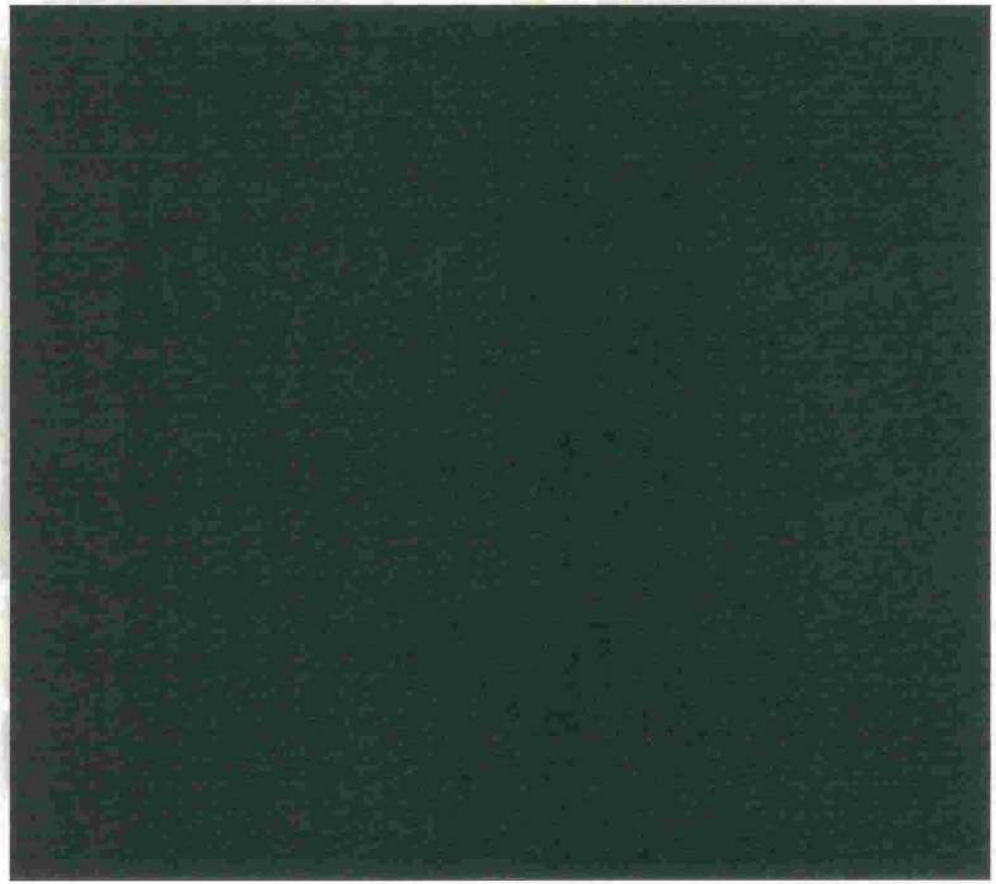
また、北九州・熊本・長崎・大分・岐阜・いわきなどのアウェイ試合応援にも参戦。

また、２０１６年に県と市にスタジアム建設お願いするため署名活動にも参加しました。

もっとスマートに！もっと便利に！

楽しい鹿児島に発展。成長のチカラに・・

私のアイデアを活かして頂ければと思います。



鹿児島港本港区のエリア



正直な、心からお願いとして・・・

是非とも、鹿児島港本港区に
サッカーやラグビーが観戦や応援など試合ができる。

スタジアムが欲しい！

もし、鹿児島港本港区にスタジアムを建設又は、ご協力頂ければ
スタジアムを核とした鹿児島の経済を動かして行きたいです。
正直、鴨池に白波スタジアムがありますが
立地アクセス面や設備面、陸上関係との協議の兼ね合い
試合前後の行動的問題があります。
解決することにより大きく成長できると思っています。

その他のスタジアムはどうなの？例として

プロのスタジアム感ない



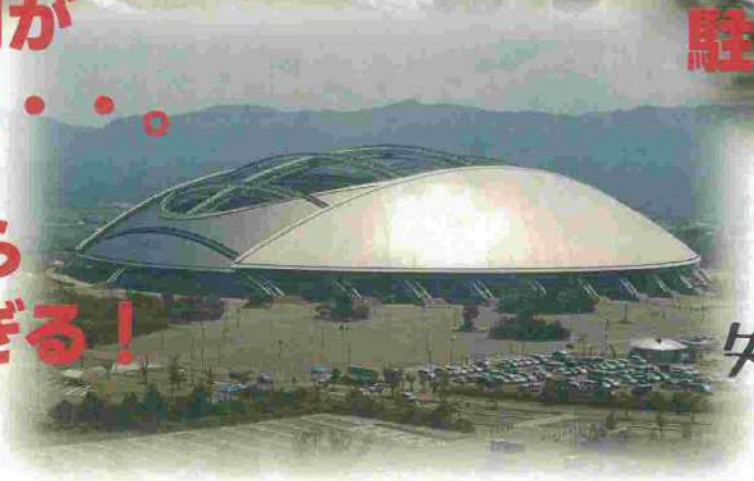
駅から遠い！！



公共交通機関が
なさすぎる・・。

駐車場が遠い！！
駐車場から出るのに
時間かかる。

繁華街から
離れすぎる！



失礼なはなし
魅力を感じない部分もある。

街ちか！海ちか！スタジアム例として

北九州市ミクニワールドスタジアム北九州



JR小倉駅から徒歩 7 分

山陽新幹線（九州新幹線直結）・鹿児島本線・日豊本線・日田彦山線・山陽本線・モノレール乗り入れ



・繁華街や小倉駅とのアクセスは抜群でした。
・都心部にあるのに駐車場も周辺に満足できるほど完備されていました。
・スタジアムの構造も非常によく、見る限り無駄な構造など見当たらなく、建設や維持費用面においてもっと無駄を削減すれば良いかと感じました。
・潮風もよく気持ち良いスタジアムであった。

街ちか！海ちか！スタジアム例として

長崎スタジアムシティプロジェクト

2024年9月開業予定



JR長崎駅から徒歩１０分
JR浦上駅から徒歩８分
西九州新幹線・長崎本線・大村線

「長崎スタジアムシティプロジェクト」とは、ジャパネットグループがサッカースタジアムを中心にアリーナ・ホテル・オフィス・商業施設を併設し、さまざまなワクワクが詰まったまちづくりを進めるプロジェクトです！

個人的に、感じたこと・・・・

シンスタイル！３６５日無駄なく楽しめる街の核

長崎市の特設ホームページを見ると・・・

サッカースタジアムを中心に、これまでなかった新たな魅力を生み出すプロジェクトが進行中。
日常に、もっと楽しさを生み出し、交流人口の増加や雇用の場も創出することで、長崎市の課題解決にもつながるビッグプロジェクト。市でもプロジェクトチームをつくり民間と力を合わせ取り組んでいます。

スポーツや音楽を楽しんだ後は、まちへ繰り出しましょう。



じゃ・・、鹿児島はどうしますか？

**鹿児島には、素晴らしい食・場所・物がたくさんあります。
そこを無駄にしない
流れのある街づくりを
していくべきだと思います。**

街に魅力がなく
県外に行くしかない

他の街には魅力度では
絶対に負けたくない！

気軽に１日楽しめる
流れに乗りたい！！

失礼なはなし
長崎に負けられない

もっと、魅力ある
街にに住みたい・・！

現状、整理していきましょう・・



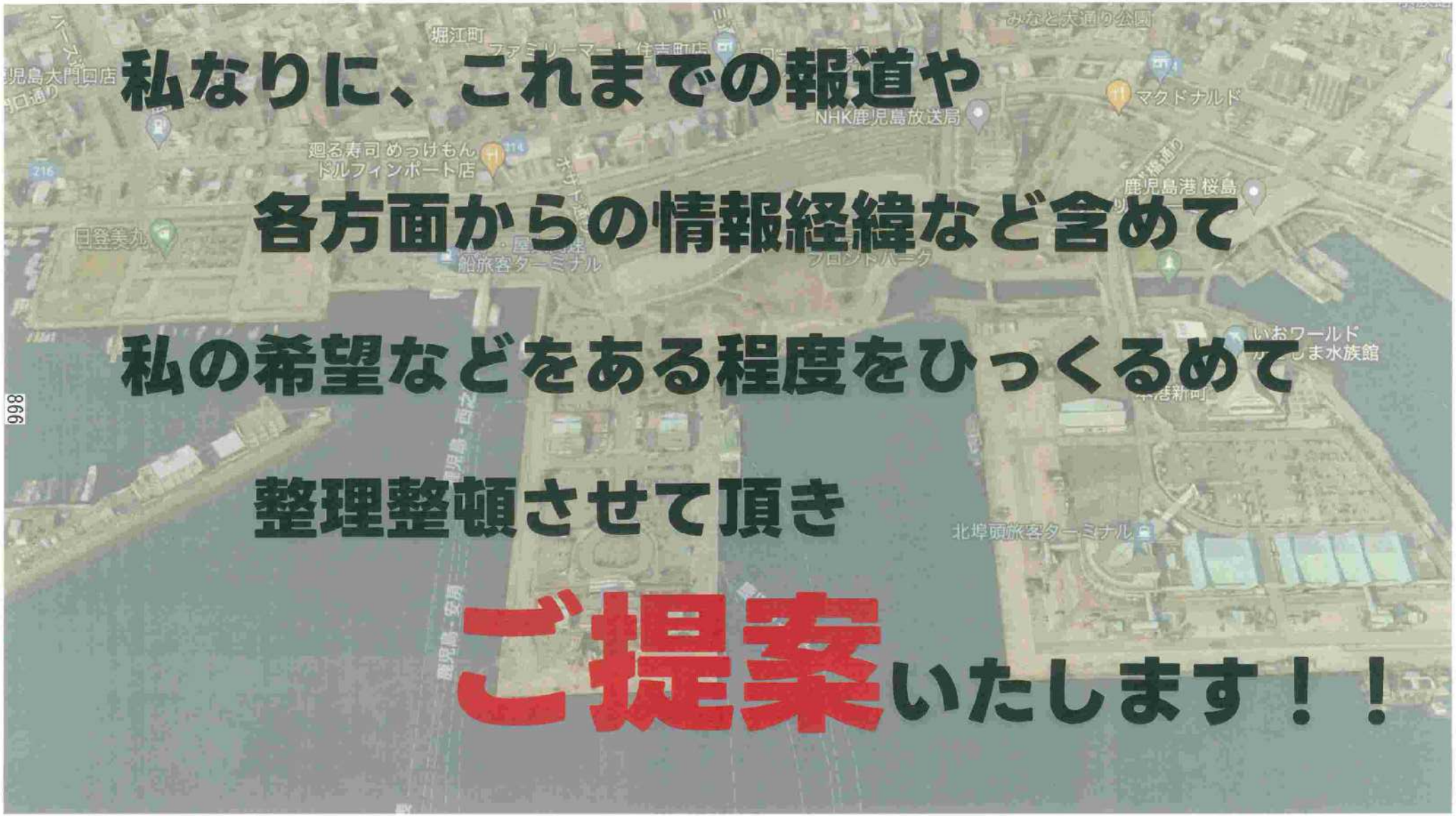
桜島フェリーターミナル

北埠頭
→鹿児島水族館
→奄美大島

ドルフィンポート跡
フォーターフロントパーク

南埠頭
→三島村・十島村
→種子島・屋久島
→高速船（種子島・屋久島）

住吉１５番街区
→空き地！？


私なりに、これまでの報道や
各方面からの情報経緯など含めて
私の希望などをある程度をひっくるめて
整理整頓させて頂き
ご提案いたします！！
堀江町
みなと大通り公園
マクドナルド
NHK鹿児島放送局
廻る寿司 めっけもん
ドルフィンポート店
鹿児島港 桜島
日登美丸
船旅客ターミナル
フロントパーク
いおワールド
北埠頭旅客ターミナル
鹿児島・安房

まずは、北埠頭エリアから・・・



北埠頭の現状は、鹿児島市水族館・奄美大島方面の旅客及び物流拠点となっており、海上自衛隊などの船もたまに寄港する場合もある。しかし、現状の北埠頭全体を見るかぎり活気を感じられずないというのが現状と感じております。
そのため北埠頭の４分の１に、鹿児島市がスタジアムを建設できるように用地の提供を行えるかと思いまします。
現状、空き地的に何も使われていない部分が多く目立つの感じるため一部用地を転用すべきかと思います。
船の寄港に関しては、ある程度余力のあるマリンポートへの寄港できるようにすべきかと思います。
桜島大噴火に備え、現状の船着場は残します。

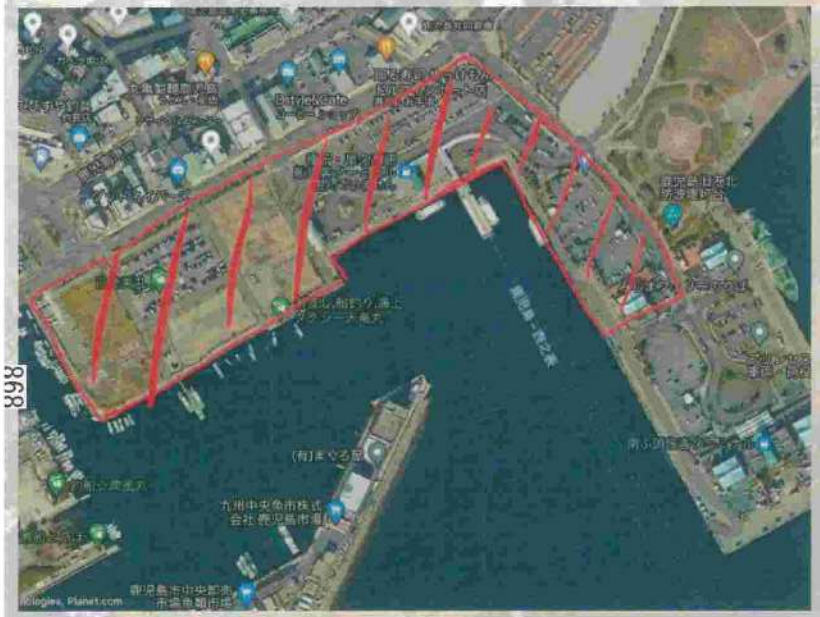
青の部分
→サッカー・ラクビーなどが利用できる複合型スタジアム

赤の部分
→奄美大島方面のターミネル機能の整理・整頓
※現状の旅客航路の機能の整理整頓のを行います。また、桜島大噴火に備え、避難機能構築します。

鹿児島市水族館
→現状を維持します。

その他寄港する船は、
マリンポート鹿児島へ

南埠頭・住吉１５番街区エリア



南埠頭に関しては、現状維持の方向で空き地化しているところは、北埠頭との調整の上移転も考えなければいけないかと思います。
住吉１５番街区から高速船乗り場、駐車場含めた再開発を実施し、ホテルや商業施設の建設、津波避難ビルとして活用を進めていけば良いのではないのか？
桜島の眺望できるレストランは、魅力的で県内外からの観光客をもてなすのにちょうど良いかと思います。
再開発に向けて、県・市・民間の共同で再開発を行うことが非常に魅力的ではないですしょうか？

南埠頭
→三島村・十島村・種子島・屋久島のターミネル機能を現状維持。
※場合によっては、機能や配置の整理の実施を行う。

赤の部分
→種子島・屋久島高速船のターミネルを元に、バスターミナルや商業型複合施設、桜島が眺望できるホテルを官民一緒になって構築します。また、規模の大きめな会議室等（ビジネス向け）の機能も同時に構築するもの面白い方思います。

本丸のドルフィンポート跡地



ドルフィンポート跡地に関しては、半分をアリーナ型体育館の建設する。残りの半分に関しては、景観的観点から残し、コンビニ程度の大きなの物産館でも設置した方が良いのかと思います。
マクドナル隣の駐車場は、立体駐車場にして北埠頭を利用される駐車場をとして、２－３階建の有料立体駐車場として利用した方が良いかと思います。
桜島フェリーは現状維持で、

青の部分
→桜島フェリーターミネルは現状維持しますが、一部を２階建の立体駐車場などにしたらどうかと思いうます。

黄の部分
→たくさんの車での利用が見込まれるため２～３階建の立体有料駐車場

赤の部分
→総合アリーナを建設。半分は景観保全のため残します。

紫の部分
→フォーターフロントパーク
現状の豊かな自然を残してほしいという声があるため現状維持していければと思うます。

緑の部分
→たくさんの駐車場利用者のための平型の駐車場として残します。景観保全のため１階建の物産館などの建物までならOK。（有料）

鹿児島市中心市街地及びウォーターフロントを 中心としたまちづくりビジョンに関わる提言

鹿児島商工会議所 2023年1月より出典

対象エリアにおけるまちづくりの方向性

まちづくりのイメージの実現に向けた各ゾーンのまちづくり方針

ゾーン	テーマ	まちづくり方針
天文館ゾーン	• 『まち文化と滞在の賑わい核』の形成	• 飲食[illegible]能を集積し、鹿児島市の賑わいの中心となっている特性を活かし、鹿児[illegible]文化[illegible]機能導入を図る • 国際観光都市の発展に向け、多様な観光客を受け入れる滞在機能（ホテル、長期滞在者用レジデンス等）の確保とともに、まちなかに活気を確保するサービス機能・居住機能の導入も図る • 建物の容積緩和を行うとともにまちなか居住の環境を整備し、定住人口の増加を図る
ドルフィンポート跡地・北ふ頭ゾーン	• 『ウェルネス・文化の賑わい核』の形成	• 鹿児島県による新総合体育館整備を踏まえ、県民を中心ターゲットとした健康・憩いの機能導入を図る • 体育館機能と親和性のある公園機能（屋外活動空間、休憩スペース、イベントスペース等）の充実とともにソフトの取り組み検討を行う • 北ふ頭では離島航路の移設を行い、新たなエンターテインメント空間を創出する
住吉町ゾーン	• 『交流・観光の賑わい核』の形成	• ビジネス観光客の誘致に向けた鹿児島に不足するコンベンション機能の導入、文化などの発信拠点となる新たな観光文化機能の導入を図る • 上記機能導入に向け用地が不足する場合には、港湾部分の埋め立ても含めた基盤整備を検討する
共通	• 回遊性の向上 • 賑わい核の滲みだし	• 賑わい核や市内の拠点（鹿児島中央駅、鹿児島駅、その他大規模施設計画地等）をつなぐ公共交通ルートを設定する • 賑わい核間を歩いて移動したくなる通り空間の形成を図る（歩行者空間の整備、沿道への商業・観光施設導入） • 賑わい核周辺部への親和性のある機能の整備促進を図る

21

「エンターテイメント空間を創出」という意味を込めて
プロサッカーの試合が最適な
最高なエンターテイメントです。

エンターテインメント（Entertainment）は、人々を楽しませる娯楽を指す。楽しみ、気分転換、気晴らし、遊び、息抜き、レジャーなどが類語とされる。類義語のアミューズメント（Amusement）も、アミューズメント施設など娯楽要素を表す。

鹿児島商工会議所様の提言を拝見して

非常に共感できる**人の流れ**や

街のエリアごとの役割整理だったりと

鹿児島県で生活してうえで

もっとも重要な提言だと感じました。




鹿児島中央駅ー天文館ー鹿児島港本港区の人の流動
鹿児島中央駅
天文館
鹿児島港本港区
鹿児島中央
鹿児島市維新ふるさと館
加治屋町
屋敷
センテラス天文館
天文館公園
山形屋
いづろ通
朝日通
城山公園
かごしま環境未来館
西原商会アリーナ
(鹿児島アリーナ)
水族館口
城南店
種子・屋久高速
船旅客ターミナル
ウォーター
フロントパーク
鹿児島港 桜島
フェリーターミナル
小川町
いおワールド
かごしま水族館
本港新町
福岡出入国在留管理
局 鹿児島出張所
鹿児島
かんまちあ
Google
対象エリア内の賑わい核などの開発方針
人が流れる場所として・・・
最も、重要なポイントです。
なので、これまで作ってきた無駄なものではなく・・
「有意義のあるシン鹿児島港本港区」
にして頂ければ県民として願います！。

県内外からの集客及び人の流れ



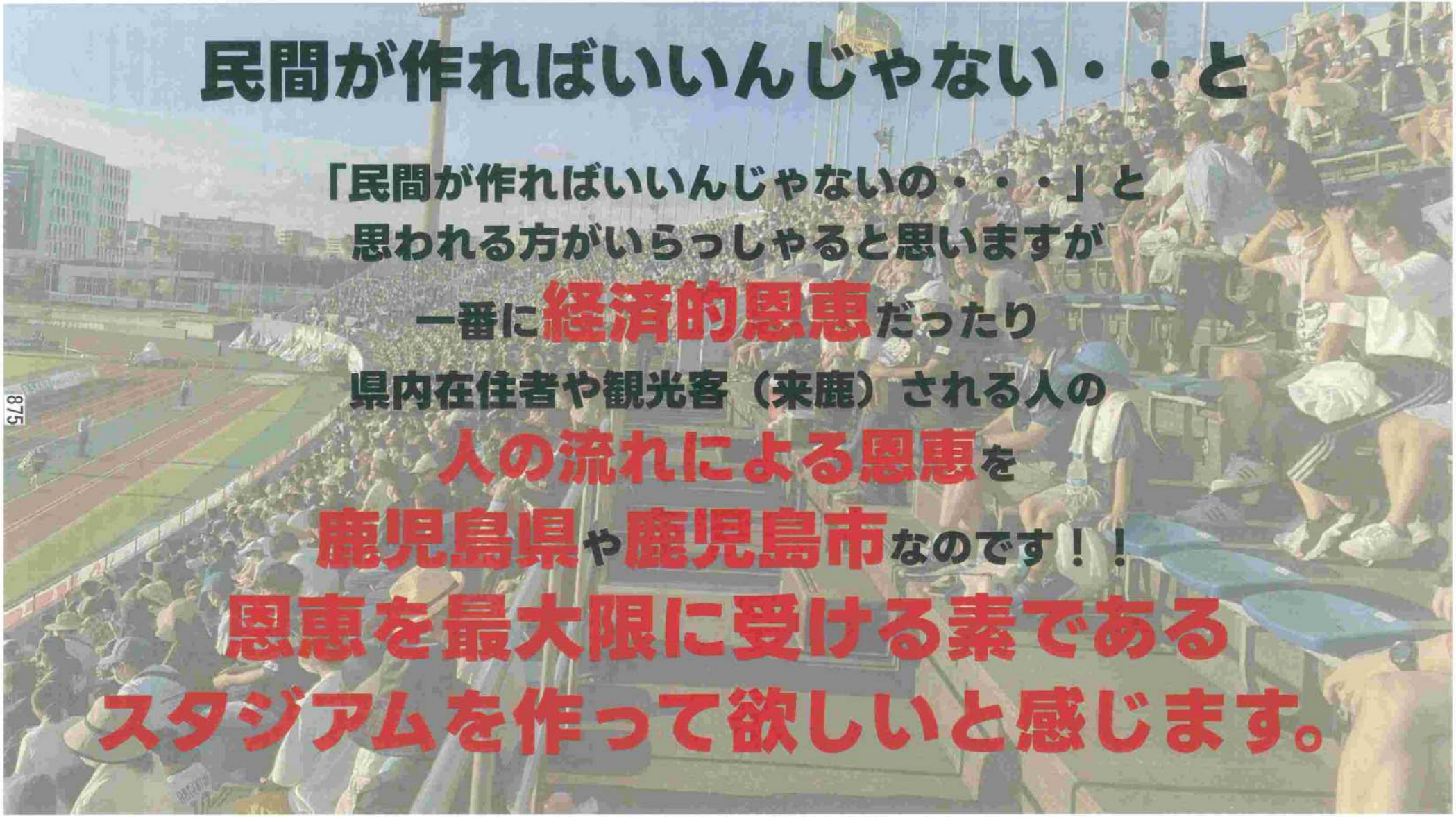
「３つのエリアの特色を活かし流れを作れる！！」

スタジアムがによる地域経済効果

鹿児島ユナイテッドFCがJ2リーグに昇格・プレイしていた

２０１９年の鹿児島の地域経済効果　約８０億円。

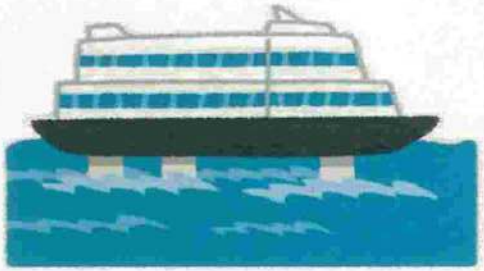
しっかりしたスタジアムを作ることによって
もっと地域経済への経済効果は増大が見込まれます。
鹿児島ユナイテッドFCのホームゲームならず
サッカー日本代表やラグビー日本代表の
キャンプ地としての誘致。
また、日本国内で開催される国際試合の
参加国の練習候補地としての誘致もできます。


民間が作ればいいんじゃない・・と
「民間が作ればいいんじゃないの・・・」と
思われる方がいらっしゃると思いますが
一番に経済的恩恵だったり
県内在住者や観光客（来鹿）される人の
人の流れによる恩恵を
鹿児島県や鹿児島市なのです！！
恩恵を最大限に受ける素である
スタジアムを作って欲しいと感じます。









みなさんの「希望」を カタチにするには 調整をすれば実現できます！









鹿児島で生きる
皆さんのチカラを一つに合わせて
また、各々の持っている得意分野を活かして・・・

「シン鹿児島」

として成長できると思います！！



ご清聴ありがとうございました。

資料出展

・Googleマップ　・ウィキペディア

・ミクニワールドスタジアム北九州ホームページ

・長崎スタジアムプロジェクトホームページ

・鹿児島商工会議所市街地及びウォーターフロントを中心としたまちづくりビジョンに関わる提言

素材

・フリー素材　・自己撮影分

港湾空港課
-5.4.17
受付

受付 No.（事務局記載欄） 2/3

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」
応募申請書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（[redacted]） [redacted] （個人）		住所	[redacted]	
性別	女	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・30代・40代・ 50代・60代・70代・ 80代以上	電話 番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted]
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			可・否　プレゼンの日時による		

応募様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

【課題】
・観光地が遠く、交通機関のみではすべてをまわり切れない
・観光客が観光場所を決めている
・県民が今、消費してくれることに力が入り、今後の県民消費の意識が不足している
つまり、鹿児島の良さを観光客にも県民（将来県民になって欲しい人）にも伝えきれていない

【ありたい姿】
鹿児島県民の利用と観光客の集客を両立～観光客の増加が、県民を育てる～

【コンセプト】
私たちの鹿児島をみんなで知る、学ぶ

【提案内容】
ミニ鹿児島県を作り、観光客は鹿児島のことを軽く体験でき、鹿児島県民は、鹿児島を学ぶことができる場をつくる。

ミニ鹿児島県はキッザニアのような街になっており、山形屋がデパートとして入っていたり、鹿児島銀行が銀行として入っていたりする。キッザニアと異なるところは、鹿児島県の企業が入っていることと、飲食店ではそのミニ鹿児島で栽培される食材が使われているところである。そして、農業・行業など鹿児島で特徴的な仕事が体験できるところである。鹿児島の街を、お客様としても、従業員側としても体験できるところが特徴だ。

ポイント
・将来鹿児島で働きたくなるような体験を取り入れる
　将来の鹿児島県民の育成
・実際にそこで生み出されたものを使って、提供する
・観光客が、鹿児島県全体をまわらなくても、軽く体験したり、知ったりすることができる
　次回行きたい場所ができることで、リピーター創出につながる
・農産業も行うことで、緑がいっぱいの場所をつくることができ、外観を損なわない
　桜島を一番綺麗に見れる場所を、壊さない

港湾空港課
-5.4.17
受付

受付No.（事務局記載欄） 2/4

[redacted]

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（[redacted]） [redacted]		住所	[redacted]	
性別	女	年代 （○で囲む）	40代	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名　　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）	可				

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム(e(い一)申請)」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付No.（事務局記載欄）	217

[redacted]

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

- 体育館やスタジアムなどの大型施設は、別の場所に。本港区エリアは、芝生の広場のまま残してほしいです。
- 裕福層向けの大型施設が並ぶような場所ではなく、ドルフィンポートのような小規模な商業施設で十分です。
- 鹿児島の海産物・農産物・お弁当などが買える物産館、鹿児島の作家による工芸品や美術品などが買えるお土産屋さんが欲しいです。ドルフィンポートにあった、ギャラリーのある工芸品のお店をまた作ってほしいです。地元の人も買いに行ける場所であってほしいです。
- 鹿児島県の文化や歴史を紹介する文化施設が、環境未来館や桜島ビジターセンターくらいの規模で良いので欲しいです。
- きれいなトイレと水場のあるキャンプサイトを作ってくれたら、イベントにも役立つし、災害時にも利用できると思います。
- オーガニックフェスタや環境未来館城西マルシェに出店するような、名山堀にあるような、センスの良い小さな店が、定期的に出店できるような場がほしいです。
- テンパークでスケボーを練習している人が多いです。公園には子どももいるので危ないです。スケボーを練習したい人が、安全に楽しく遊べる場を作ってほしいです。
- お金をかけた立派な施設を作るより、小規模で様々な活用ができる場所にしてほしいです。大切な県の予算は子育てや福祉に使ってほしいです。

※任意様式に記載して頂いても構いません。

2/5

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを募集します！(アイディアを直接入力できる専用ページです。)

港湾空港課
-5.4.17
受付

受付番号:9731029
申請日:令和05年04月17日

番号	項目名	入力内容
1	応募者名(個人または団体)	[redacted]
2	応募者名(ふりがな)	[redacted]
3	住所	[redacted]
4	性別	男性
5	年代	60代
6	電話番号	[redacted]
7	プレゼンテーション参加の可否	可
8	以下にアイディアを記入してください。	鹿児島市の設計事務所で建築せけ気を生業とするものです 今回はスポーツ・コンベンションセンターの「開かれた施設としての整備」や 「中心市街地との回遊性」,「施設のデザイン」などに関する意見として述べたいと思います 本来なら本港地区にコンベンションセンターを作るのは反対なのですが 下記の理由が解消されればこの地域にあっても良いのかな あるいはこの地域に作るのであれば、という前提で提案いたします 理由は 1)会議やスポーツイベントの稼働率から考えると それほどの経済効果が期待できないのではないか 2)体育館はビルにすると3、4階の高さに相当します それほどのものがドルフィンポート跡地にできると 鹿児島のシンボルである桜島が見えにくくなる 以上の単純なものです さらにつけ加えると他のスポーツ施設との関連性を考えると鴨池地区がベスト と考えています その上で上記理由の解消として 常時人が集まり、ウオーターフロントパークとの関連性を兼ね備え 景観を阻害しない低層のデザインの体育館を提案します 具体的には 添付のスケッチにあるように地下に埋めることで 問題点が解消されるのではないかと考えます もともと体育館は窓の不要な内向きな施設です そして球技など自然風は必要としないので 地下に埋めるデメリットはないと考えます コストや技術の問題はあるかと思いますが 県民に愛されているウオーターフロントパークとの一体利用を重視したプラ

9	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
10	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
11	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	
12	別途資料を添付する場合にご利用ください。(各資料10MBまで，添付資料の合計が20MBまで)	

鹿児島市の設計事務所で建築せけ気を生業とするものです
今回はスポーツ・コンベンションセンターの「開かれた施設としての整備」や「中心市街地との回遊性」,「施設のデザイン」などに関する意見として述べたいと思います

本来なら本港地区にコンベンションセンターを作るのは反対なのですが下記の理由が解消されればこの地域にあっても良いのかなあるいはこの地域に作るのであれば、という前提で提案いたします
理由は
1）会議やスポーツイベントの稼働率から考えるとそれほどの経済効果が期待できないのではないか
2）体育館はビルにすると3、4階の高さに相当します
　それほどのものがドルフィンポート跡地にできると鹿児島のシンボルである桜島が見えにくくなる
以上の単純なものです
さらにつけ加えると他のスポーツ施設との関連性を考えると鴨池地区がベストと考えています

その上で上記理由の解消として常時人が集まり、ウオーターフロントパークとの関連性を兼ね備え景観を阻害しない低層のデザインの体育館を提案します
具体的には添付のスケッチにあるように地下に埋めることで問題点が解消されるのではないかと考えます
もともと体育館は窓の不要な内向きな施設です
そして球技など自然風は必要としないので地下に埋めるデメリットはないと考えます
コストや技術の問題はあるかと思いますが県民に愛されているウオーターフロントパークとの一体利用を重視したプランです
市電の延伸も合わせると天文館地区との回遊性も生まれるのではないかと考えます

またこう言ったプランやデザインを実現するためには建築家選びが重要です
全国公募のコンペティションを行い広くプランを集めること、(間違っても無難に組織設計事務所数社指名の入札やプロポーザルは避けていただきたい) ことも併せて提案いたします

港湾空港課
-5.4.17
受付

受付 No.（事務局記載欄） 216

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」
応募申請書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（[redacted]） [redacted] （個人）		住所	[redacted]	
性別	男	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・30代・40代・ 50代・60代・70代・ 80代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名　　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			可　・　否		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム（e（いー）申請）」
URL：https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付 No.（事務局記載欄）	

「鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア」
応募様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

任意様式にて提出いたします。

※任意様式に記載して頂いても構いません。

本港区エリアまちづくり構想案

―鹿児島湾におけるメガフロートを中心としたまちづくりについて―

[redacted]

本提案は、志學館大学にて 2021 年度に行われた地域産業論演習に提出したレポートを基に大幅に加筆修正して作成した。なお、一部内容の構成・校閲に[redacted]氏の協力をいただいたほか、現在の鹿児島県の体育館等の状況について、複数の友人知人らに意見を求めた。協力に深く感謝するとともに、本提案に関わる一切の責任は筆者にあることを明記する。

目次

I. はじめに 1
II. 現状と課題 1
1. 鹿児島県の現状と課題 1
2. 本港区エリアの現状と課題 3
III. 提案概要 5
IV. 提案詳細 6
1. 本港区エリアにおけるメガフロート設置について 6
(1) メガフロートの特徴 6
(2) メガフロートの景観への影響について 8
(3) メガフロートの周辺環境への影響について 9
(4) メガフロートの災害による影響について 10
(5) メガフロートの「土地」としての利用について 11
2. メガフロートへのスポーツ・コンベンションセンターおよびスタジアムの整備について 13
(1) はじめに 13
(2) メガフロートへの両施設整備にかかる施設運営者の利点・欠点について 13
(3) メガフロートへの両施設整備にかかる施設利用者の利点・欠点について 14
3. メガフロートへの新総合体育館とスタジアム以外の施設建設について 16
(1) メガフロートへの観光発信や人的交流の拠点施設整備について 16
(2) メガフロートへの芸術拠点施設の整備について 18
(3) メガフロートへの交通拠点設備の整備について 19
i. 現状と課題について 19
ii. 海路による交通網について 20
iii. 空路による交通網について 24
(4) 様々な施設の整備について—まとめ— 24
4. 本港区エリアの利活用について 27
V. おわりに 28

I. はじめに

現代の社会構造そのものに大きな影響を与えた新型コロナウイルス感染症の流行から3年が経過し、社会経済活動の本格的な再開が進んでいる。本年5月には、新型インフルエンザ等感染症から5類感染症への位置づけ変更が予定されるなど、特別な感染症としての厳重な対策からの転換も行われつつある。

他方で、新型コロナウイルスへの対応が確立したとしても、それによって社会の問題が解決されるわけではない。とくに日本においては、少子化やそれに伴う人口減少が続いており、新型コロナウイルスはそれに拍車をかける結果となった。また、現代の社会が環境にかけてきた負荷の大きさがあらためて浮き彫りとなり、上述した人口問題やその他の様々な課題も含めて、未来を考えた地球全体での持続的な活動が求められている。このことは、一地方である鹿児島県も例外ではなく、むしろ世界における諸課題がもっとも進みつつある「課題先進県」として、積極的に取り組んでいくことが急務である。

本提案では、鹿児島県が今後採るべき施策として、鹿児島県鹿児島市本港区周辺エリアにおけるまちづくりについて述べる。なかでも、鹿児島湾を中心として、海や桜島といった周辺環境を引き立て、かつ鹿児島の文化・芸術の中心としての新たなシンボルともなりうる施設としての「メガフロート」建造について提案する。このメガフロートが、鹿児島県における「稼ぐ力」向上の拠点として、また、人と人が集い文化を生み出す拠点として、未来の鹿児島県の中心となることが、本提案の目指す理想であり、夢である。

なお、鹿児島県の募集している意見は本港区エリアの利活用のアイデアであるが、本提案では、本港区エリアの利活用を考えるうえで必要と思われた周辺地域での施設整備案を中心として構成している。募集内容との相違はあるが、目的に照らして合致している部分も多いと考えているため、ご一読いただければ幸いである。

II. 現状と課題

1. 鹿児島県の現状と課題

鹿児島県は日本の南西部にあり、多様で独特な環境に恵まれた県である。とくに、南北約600㎞にわたる県土には、全国で唯一の世界遺産3件につながる世界的に重要性が認められる自然環境と、そこに共生する人々による豊かな文化が根付いている。歴史的にも、地域ごとに特有の歴史とともに、日本のみならず、世界とつながる歴史を積み重ねてきている。また、神話にも登場する地名や伝説が現在でも残り、その独特の歴史・文化とともに、鹿児島県をかたちづくっている。他方で、このような自然や文化を活用した鹿児島県の主要観光地は点在しており、マスツーリズムの発展過程で地方を中心に広く普及した、周遊型の観光が中心となっている[1]。周遊型では複数の観光地を巡ることとなり、単純に考

[1] 多田治「「日本のハワイ」としての沖縄の形成：新婚旅行ブームからリゾート・パラダイスへ」『一橋社会科学』第7巻、2015年、91-104頁を参考。

えれば、各観光地での滞在時間や観光消費額の減少につながるほか、目的地の、知名度の高い地域への固定化が想定される。また現在では、観光そのものにおいても、求めるニーズの多様化や団体旅行から個人旅行へのシフトといった変化が進んでおり、その対応が求められている[2]。

また、地理的にみて鹿児島県は、経済発展が続くアジア圏に近く、さらにはアメリカや中国といった大国間の中継地点として優れた立地にある。しかし、日本の貿易の 99.5%[3]、国内貨物輸送でも 39.8%[4]を占める海運において、鹿児島の存在感は小さい。県内には国際バルク戦略港湾として選定されている志布志港もあるが[5]、九州における輸出入や移出入は福岡や大分が中心となっている[6]。多様な島々も鹿児島県の大きな魅力であるが、こうした島々へのアクセスも良好とはいいがたい。また、日本において、近年急激に拡大しているクルーズ船の寄港は、鹿児島港が寄港回数で全国 8 位[7]（2019 年）と比較的上位にある。しかし、それによって増加した観光客によって、受け入れ港周辺での交通渋滞が引き起こされるなど、受け入れ態勢が整っているとは言いがたい。

これらの現状と課題を踏まえ鹿児島県は、環境的利点や地理的利点を存分に活かすことのできるまちづくりを行う必要があると考える。とくに、鹿児島県の魅力としての自然や歴史、文化といった要素は分散しがちで、県全体として同列に発信をすることは、かえって表面的な魅力にとどまってしまう可能性がある。しかし、分散した魅力は、多様な目的・ニーズを受け入れうる潜在力も秘めている。鹿児島県にはこうした魅力を発見し、あらたなツーリズムを着地型で発信していく拠点が必要とされている。

また、今後必要な機能として、日本国内のみならず海外とのつながりを生む交流拠点が求められている。鹿児島に来た人々を受け入れることは、今後の交流人口の増加や、人と人との交流を通じてこそ生まれる文化的魅力の原点となる。高齢化が進みレジリエンスが低下しつつある社会状況のなかで、住民ら自らが魅力を見つけ、そうした魅力を通して外部の人々とつながることは、新たな地域社会の構築や、住民の QOL の向上にもつながる。そうした「つながり」をつくり、つよめていくことが、鹿児島県の未来をよりよくしていくためにもっとも重要なカギである。

---

[2] 鹿児島県 PR・観光戦略部観光課『鹿児島県観光振興基本方針』鹿児島県、2020 年、7 頁。
[3] 国土交通省海事局『海事レポート 2022』2022 年、27 頁。
[4] 同上、35 頁。
[5] 国土交通省「国際バルク戦略港湾の選定結果について」2011 年 ［https://www.mlit.go.jp/report/press/port01_hh_000076.html］2023 年 2 月 18 日閲覧。
[6] e-Stat にて提供されている国土交通省『港湾調査　港湾統計（年報）』より「第 1 部　入港船舶・船舶乗降人員及び海上出入貨物総括表　第 3 表　海上出入貨物表　（2）品種別都道府県別表（輸移出入）」の 2017 年の調査（2023 年 2 月 19 日にダウンロード）を参考。
[7] 国土交通省「2019 年の我が国のクルーズ等の動向（調査結果）」2020 年 ［https://www.mlit.go.jp/report/press/kaiji02_hh_000252.html］2023 年 2 月 23 日閲覧。

2. 本港区エリアの現状と課題

現在の本港区エリアには、北ふ頭、桜島フェリーターミナル周辺、ウォーターフロントパーク、ドルフィンポート跡地、南ふ頭、高速船ターミナル周辺、住吉町15番街区が含まれる[8]。このエリアでは、桜島や種子島、屋久島、三島、十島、奄美、喜界といった離島への航路が集中しており、海の玄関口として機能している。また、年間約60万人[9]と多くの人が訪れるいおワールドかごしま水族館や、桜島や鹿児島湾を目の前にのんびりと寝そべることもできるウォーターフロントパークといった、ここにしかない大きな魅力が存在している。さらには、所在する鹿児島市は、鹿児島県の県庁所在地である中核都市であり、行政のみならず、商業や交通などを含めた中心都市として発展を続けている。その県都にあって、南北約600㎞の広大な県土を結ぶ離島定期航路も就航する本港区は、まさに鹿児島県の中心である。また、活火山としていまも噴煙を上げ、鹿児島のシンボルとして認知されている桜島を、鹿児島湾越しに臨む恵まれた景観を有してもいる。

この桜島は、まさに鹿児島にしかない鹿児島湾を囲む地域にとってのシビックプライドであり、本港区エリアにとって、もっとも重要な要素の一つである。そのため、本港区エリアにおけるまちづくりでは、この桜島をどう活かすかが重要なポイントとなる。現在、鹿児島県や鹿児島市が検討している本港区エリアでのスポーツ・コンベンションセンターや、鹿児島市のサッカー等スタジアム構想においても、桜島の景観は重要な検討課題となっている[10]。実際、鹿児島市のスタジアムに対する意見では、鹿児島らしいスタジアムとして思い浮かべるものや、ふさわしいと思うものについて、桜島・錦江湾（鹿児島湾）の景観を挙げた回答がもっとも多くなっている[11]。

また、この本港区エリアのまちづくりでは、鹿児島県がグランドデザイン[12]（以下グランドデザイン）を策定しており、このなかで県は、本港区エリアの開発コンセプト（以下コンセプト）として以下を定めている。

① かごしまの多彩な魅力を発信する人・モノ・情報の交流拠点

② かごしまの魅力を体感できるエンターテインメント空間

---

8 鹿児島県『鹿児島港本港区エリアまちづくり事業者公募（ドルフィンポート敷地・ウォーターフロントパーク地区）公募要項（案）』2020年、1頁。

9 鹿児島県『鹿児島港本港区エリアまちづくりグランドデザイン』2019年、11頁。

10 鹿児島県「第1回　本港区エリアの利活用に係る検討委員会「議事6（3）意見交換」の議事録」『第1回検討員会』[https://www.pref.kagoshima.jp/ah15/kentouiinkai1.html]2023年2月20日閲覧。およびサッカー等スタジアム整備検討協議会「サッカー等スタジアム立地に関する報告書」

11 鹿児島市「中間報告に対する意見募集結果」『スタジアム需要予測等調査中間報告に対する意見募集（令和4年度）』2022年
［https://www.city.kagoshima.lg.jp/sports/sports/stadiumikenboshu.html］2023年2月24日閲覧を参考。選択肢として「桜島・錦江湾の景観を楽しめる」が、複数回答ではあるが90%を占めていた。

12 鹿児島県『鹿児島港本港区エリアまちづくりグランドデザイン』2019年、11頁。

③　景観資源（錦江湾や桜島、歴史的建造物）を活かした魅力ある空間

この3点を要素としたうえで、国際的な観光都市としてにぎわう「来て見て感動する観光拠点」の形成を図るとしている。

また、本港区エリアのまちづくりに関する事項としては、上記した新総合体育館とスタジアムの整備計画が大きい。鹿児島県は、老朽化し、全国や国際レベル規模での競技大会開催には手狭な現在の総合体育センター体育館の状況を踏まえ、新総合体育館（以下スポーツ・コンベンションセンター）の整備を計画している[13]。基本構想[14]では、スポーツ・コンベンションセンターの整備予定地として、本港区エリア内のドルフィンポート跡地および住吉町15番街区の一体的な利用が検討され、体育館施設本体については、ドルフィンポート跡地南側への配置が検討されている。

他方で、鹿児島市は、スポーツを通じたまちづくりとして、にぎわい創出の拠点としてのスタジアムを整備することを構想している[15]。市の案[16]では3つの候補地があげられ[17]、ドルフィンポート跡地を想定した計画では、県の案において残されていたウォーターフロントパークの大部分とドルフィンポート跡地を使用して、スタジアムとスポーツ・コンベンションセンターの両方を一体的に整備する計画が検討されている。また、住吉町15番街区を想定した計画では、敷地の拡張を検討している。ただし、これらの計画は、鹿児島県の方針との相違や収支の赤字が想定されるなど厳しい状況となっている[18]。

このように、本港区エリアでは二つの大型施設が構想されており、どちらもドルフィンポート跡地や住吉町15番街区といった本港区エリアを有力な候補地として検討している。しかし、同エリアは県都の一等地として、こうした施設以外の活用を求める声も根強い[19]。また、鹿児島県や鹿児島市といった行政以外に鹿児島商工会議所も、まちづくりとして住吉町15番街区へのMICE施設の整備を提言している[20]。

鹿児島県の未来を考えるうえで、今後も中心地としての利用が想定される本港区エリアでのまちづくりには、以上にあげた交通等の中心機能や桜島を臨む景観といった魅力を持つ都市空間の有効な活用と、そうした魅力を発信し体感できる拠点や全国規模のスポーツ大会・国際会議等を開催できる施設が必要である。

---

13 鹿児島県『スポーツ・コンベンションセンター基本構想』2022年。
14 同上。
15 鹿児島市（建設局都市計画部都市計画課）『第二次かごしま都市マスタープラン』2022年、53頁。
16 鹿児島市『スタジアム需要予測等調査・整備検討支援業務』2023年。
17 候補地のうち、浜町バス車庫については候補地から除外された（浦牛原健「浜町　候補から除外」『南日本新聞2023年2月11日付』13頁）。
18 浦牛原健、村上隼「白紙撤回　現実味増す」『南日本新聞2023年3月11日付』20頁。
19 村上隼「新体育館　整備へ本腰」『南日本新聞2023年2月16日付』1頁。
20 鹿児島商工会議所『鹿児島市中心市街地及びウォーターフロントを中心としたまちづくりビジョンに関わる提言』2023年。

III. 提案概要

本提案では、II. で述べた現状と課題を踏まえ、鹿児島県の、その地理的・環境的利点を活かした海上交通網の構築と、それに伴う交流人口の促進を目的として、本港区エリア沖合を中心とした交通・交流の拠点施設の整備を提案する。とくに、海を通じて教育・文化・インフラ・産業等の基幹的な分野の充実を図り、技術と自然の融合を通して、鹿児島県の持つ世界的にも独自な魅力を発信できるようにする。また、本港区エリアにおいて計画が進む鹿児島県のスポーツ・コンベンションセンター案や、鹿児島市のサッカー等スタジアム構想に関しても検討を行い、これらの建設が想定されている本港区エリアの利活用方針についても一部提案を行う。

第1に、本港区エリアにおける拠点施設として「メガフロート」を提案する。メガフロートとは超大型浮体式海洋構造物のことで、海上に浮かんだいわゆる人工島のことである[21]。特徴としては、埋め立てを行わずに海上に浮体として設置する施設であることから、設置に際して水深や地盤の制約を受けず、また、海中の環境への影響が少なく、地震に強いという利点がある。さらに、浮かんでいることから移動が容易で、必要に応じて拡張も行えるほか、万が一の撤去時も、実際に建造・使用した後に容易に行うことが可能である。本港区エリアでの配置については、北ふ頭沖合約 500 メートルの地点にある防波堤への、桜島側に隣接させての設置を検討する。

第2に、上述したメガフロートへのスポーツ・コンベンションセンターおよびスタジアムの建設を提案する。II. 2. においても述べたが、本港区エリアには、鹿児島県と鹿児島市によるスポーツ・コンベンションセンターとスタジアムの整備が検討されている。しかし、ドルフィンポート跡地への整備については、その景観に与える影響を中心に反対や慎重な検討を求める意見もある。ただし、スポーツ・コンベンションセンターとスタジアムの整備自体については、管見の限り反対の意見はほとんど耳にしない。こうした点を踏まえ、スポーツ・コンベンションセンターとスタジアムを沖合に設置することによって景観への影響を最小限に抑えることは、早期の両施設整備にもつながり、鹿児島県民や利用者にとっても利益となる。

第3に、メガフロートへの新総合体育館とスタジアム以外の施設建設を提案する。主な想定する施設としては、観光発信や人的交流の拠点施設、美術館機能を含めた芸術拠点施設、港湾機能を中心とした交通拠点設備・施設である。

観光発信や人的交流の拠点施設については、一般的な観光案内所としての機能も含まれるが、本稿において提案するのは、住民や観光客、観光案内の関係者といった鹿児島との関係性・居住地にかかわらず、訪れた人々同士がそれぞれの感じている魅力を伝えあい、

---

[21] 三和英一「実用化を目前にしたメガフロート研究（その 1）　第 1 章　研究の概要」『日本造船学会誌』第 822 号、1997 年、29 頁。

鹿児島県内のさまざまな地域に向かうきっかけとなりうるような施設である。とくに、広大な鹿児島県の各地に住む人々が自らの地域を伝え、その地域への興味を持てるような交流が生じる拠点が理想である。

芸術拠点施設については、当該施設が鹿児島県の芸術の集積地となり、それが文化にまで発展することが理想である。とくに、鹿児島県において伝統工芸品をはじめとした長い歴史を持つ文化と、現代のアーティストやデザイナーといった未来を創っている文化が交流しあい、ここにしかない芸術が生まれることが理想の一例として考えられる。

交通拠点設備については、フェリーやクルーズ船といった船舶のほかに、今後想定される空飛ぶ車やドローンの発着拠点となる設備とすることを提案する。本港区エリアは、鹿児島湾を囲む地域との直接の交通網となりうる可能性がある。とくに、ドローンや空飛ぶ車が普及した場合、飛行経路は海上や河川上といった水上を利用する可能性が高い。そうなった場合、海上に浮かぶメガフロートは、もっとも重要な拠点としての利用が期待される。

第4に、本港区エリアの利活用について提案する。II. 2. で述べた本港区エリアのうち、桜島フェリーターミナル周辺、南ふ頭、高速船ターミナル周辺については、グランドデザインにおいて現状のままとするとの条件[22]があるため、本提案では除外する。また、ウォーターフロントパークについては、鹿児島県の鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会において、保全する方向でいる[23]ほか、筆者自身も保全すべきと考えているため除外する。残る北ふ頭、ドルフィンポート跡地、住吉町15番街区については、IV. 4. にて詳細を述べる。

IV. 提案詳細

1. 本港区エリアにおけるメガフロート設置について

(1) メガフロートの特徴

鹿児島県は全国でも第3位の離島を有し、数多くの航路が存在する。それに伴い、それらの航路をつなぐ港湾も多数存在する。他方で、海上交通の中心は生活航路であり、観光を目的とした利用では公共交通機関が少なく、アクセスが良好とはいいがたい。マリンポートかごしまをはじめ、国際交流港湾として近年増えつつあったクルーズ船の寄港も、上陸後の観光地の固定化や渋滞の発生などの問題点が指摘されている[24]。

そうした中で離島航路が集中する本港区エリアでは、その地理的利点や景観といった多くの魅力から、さまざまな施設の検討やまちづくりの構想が行われている。しかし、周辺

---

[22] 鹿児島県『鹿児島港本港区エリアまちづくりグランドデザイン』2019年、18頁。
[23] 浦牛原健「市長「DP跡厳しい」」『南日本新聞2023年3月2日付』19頁。
[24] 「恩恵分散へ　寄港地工夫」『南日本新聞2023年3月2日付』8頁；「運転手不足、渋滞に懸念（3年ぶり外国クルーズ船　下：客の移動）」『南日本新聞2023年3月8日付』6頁を参考。

地域にはすでに多くの施設が整備されており、新たな施設を設ける余裕は少ない。そこで提案するのが、本港区エリア沖合におけるメガフロートの設置である。

まず、メガフロートについて、III. 1. でも説明したがここではより詳細に述べる。メガフロートとは超大型浮体式海洋構造物のことで、日本においては関西国際空港の建設時や羽田空港の拡張時において検討された[25]。この際は、採用こそされなかったものの、メガフロートが 4000 メートル級の浮体空港として実際に利用が可能であると判断された[26]。2000 年には、海上空港を想定して、神奈川県横須賀市沖で長さ 1000 メートル、幅 60 メートル、厚さ 3 メートルと、8.4 ヘクタール規模のメガフロートを実際に建造して、飛行機の離発着も含めた実証実験が行われた[27]。さらに、海外においては、厳密にはメガフロートとは異なるが「oceanix」として、韓国釜山市で世界初とする floating city が計画されているほか、モルディブでは、国として海上都市の建設を進めている[28]。

このように、さまざまな用途での利用が検討されているメガフロートだが、その主な特長としては以下の点があげられる。

① 海上に浮体として設置する施設であることから、水深や地盤の制約を受けない。
② 海流や潮流をほとんど妨げず、海中の環境への影響が少ない。
③ 陸地とつながっていないため、地震の影響をほとんど受けない。
④ 移動が容易で、拡張も行えるほか、万が一の撤去時も、実際に建造・使用した後に行うことが可能である。
⑤ 箱型のブロックを組み合わせて建造するため、安価かつ短期間で建造できる。
⑥ 箱型ブロック内部には広い空間があるため、様々な用途に利活用できる。

他方で、以下のようなマイナス面での特徴もある。

① 波浪により揺れる。

---

[25] 国土交通省「資料　質問事項への回答（事務局対応分）」『第 3 回羽田空港再拡張事業工法評価選定会議』[https://www.mlit.go.jp/koku/15_bf_000581.html]2023 年 3 月 4 日閲覧。

[26] 日本造船技術センター「FAQ　メガフロート Q&A」『メガフロートの紹介』[https://www.srcj.or.jp/html/megafloat/whatmega/what_index.html]；国土交通省「報告書（案）　3.結論」『第 6 回羽田空港再拡張事業工法評価選定会議』[https://www.mlit.go.jp/koku/15_bf_000630.html] いずれも 2023 年 2 月 18 日閲覧。

[27] 台木一成「メガフロートの空港利用に関する実証実験」『日本航海学会誌　NAVIGATION』第 145 巻、2000 年、57～61 頁。

[28] Oceanix USA Inc. "oceanix" [https://oceanix.com]（以下最終閲覧はすべて 2023 年 3 月 4 日）および "UN-Habitat and partners unveil OCEANIX Busan, the world's first prototype floating city," *UN HABITAT,* [https://unhabitat.org/news/27-apr-2022/un-habitat-and-partners-unveil-oceanix-busan-the-worlds-first-prototype-floating]、太田雄造「海に飲み込まれる国　モルディブ」『NHK NEWS WEB』[https://www3.nhk.or.jp/news/html/20211109/k10013338581000.html]、寺町幸枝「海の上で農業や発電も！ いま話題の「海上都市」モルディブや国連も推す韓国釜山の計画を聞いてみた」『SUUMO ジャーナル』[https://suumo.jp/journal/2022/11/22/191441] を参考。

② 台風や津波等によって漂流した場合、港湾施設や船舶への影響が懸念される。

③ 実際に利活用された前例が少ない。

④ 海上という過酷な環境下において、長期間使用できるか実証されていない。

このように、メガフロートは、周辺への影響あるいは周辺からの影響の少なさや、可逆性、コストという利点があげられる。他方で、ほとんど前例のないことが大きな課題となる。次項以降では、これらの利点、欠点から本港区エリアでの設置について検討する。

(2) メガフロートの景観への影響について

設置場所について、本稿では北ふ頭沖合約500メートルの地点にある防波堤への、桜島側に隣接させての設置を検討する。これは、本港区エリアから桜島を見た際の景観および既存インフラや設備の利用という観点から想定した。本港区エリアへの施設整備に際しては、桜島を臨む景観への影響がもっとも重要な課題となる。とくに、次節で述べるスポーツ・コンベンションセンターやスタジアムなどの整備を想定した場合、その施設規模は大きくならざるをえず、施設が景観への影響を与えることは否定できない。そのため、配置においても、景観への悪影響を少しでも減らすことが求められる。本提案では、桜島の上部3分の2が本港区エリアのどこからでも見えることを理想として検討した。

桜島の標高は1,117メートル[29]であり、その3分の2は744.667メートル[30]である。検討にあたっては、本港区エリアのすべての地点から見えることを理想とするため、同エリアで桜島にもっとも近い北ふ頭からの景観を想定する。また、計算の簡略化のため、北ふ頭から桜島頂上地点（どちらも標高ゼロメートル）までの距離は8.5キロメートルとし、桜島は5.5キロメートルの円錐状として想定する。想定設置場所である防波堤までの距離は約500メートルであり、この距離も簡略化して500メートルちょうどとする。

北ふ頭から見た際、上記条件から計算すると、桜島の上部3分の2が見える500メートル先の高さは「地理院地図」における標高ゼロメートルを基準として、38.516メートルである。この高さは、スポーツ・コンベンションセンターの25～30メートル程度[31]やスタジアム構想の27.6メートル[32]とされている施設の高さよりも高く、両施設の設置においてメガフロートは、理想とした桜島の上部3分の2が見える施設とすることが可能である。なお、メガフロートは、海面上に浮体部分が数メートル生じるため、浮体上部に両施設を計画通り整備した場合、実際の高さはその分高くなる。しかし、桜島上部3分の2が見える高さと想定施設の高さの間には浮体部分以上の余裕があることや、本項では視点を標高0

---

[29] 国土地理院「地理院地図」［https://maps.gsi.go.jp］を参考。なお、以下で使用する距離はすべて「地理院地図」を使用して算出した。

[30] 小数点以下第4位で切り下げて表記。なお本項で行う計算や表記は、同様に小数点以下第4位で切り下げて表記する。

[31] 鹿児島県『スポーツ・コンベンションセンター基本構想』2022年、28頁。

[32] 鹿児島市『スタジアム需要予測等調査・整備検討支援業務　報告書』2023年、26頁。

メートルと想定して計算したが、実際には身長や土地の標高が加わることも考えるとさらに余裕ができるため、問題はないと考えられる。

以上のことから、メガフロートの本港区エリア沖合への設置は、鹿児島市街地側からの桜島の景観への影響を最小限に抑えながら、想定されるスポーツ・コンベンションセンターおよびスタジアム施設を整備することができる。これは、本港区エリアのグランドデザインにおける「景観資源を活かした魅力ある空間」という点にも合致する。ただし、沖合に設置した場合、陸上に設置した場合に比べて桜島と施設との距離が近くなることから、桜島の全景を一切の邪魔なく眺めることのできる地点の減少につながることが想定される。この点については留意が必要である。

(3) メガフロートの周辺環境への影響について

メガフロートの周辺環境への影響について、1995年から1997年に行われた長さ300メートル、幅60メートル、深さ2メートルの浮体（以下フェーズI）と、1998年から2000年に行われた長さ1000メートル、最大幅120メートル、深さ3メートルの浮体（以下フェーズII）を使った実証実験の際、環境影響を把握する研究が行われた。それらの研究によると、メガフロートの浮体は、海洋化学・生物環境に対して局所的な影響を及ぼした[33]。他方で、その影響は浮体の周囲のみに限られることがほとんどである。

まず、海洋そのものに対しての影響では、流向や流速と水質、底質、水温について調査が行われた。流向は、浮体周辺での設置前との差異はほとんどないとされた。流速は、浮体底面1～2メートル程度で減少したが、それ以深では差はなく、周辺全体への影響はないとされた。水質は、各計測項目で、浮体外と浮体下の差異がほとんどないことから、設置による影響はないとされた。底質は、浮体下で、付着生物によるとみられる影響がみられた。他方で、海水交換と底層水への十分な酸素供給によって水質には影響ないとされた。水温は、フェーズIにおいては、浮体下と浮体外で差異がなく影響ないとされた。

次に、生物に対してでは、植物・動物プランクトンと付着生物、魚類についてである。植物・動物プランクトンでは、双方とも、浮体外と浮体下における差異は認められなかった。なお、植物プランクトンは浮体下において光合成を休止するものの、浮体を出れば活動することから、顕著な影響はないとされた。浮体への付着生物では、長期間存在する防波堤上部と生物分布が一致するとされた。魚類では、浮体下での各種衝撃による行動の調査が行われ、浮体直近以外での影響はほとんどないとされた。

以上のように、メガフロートが周辺の環境に与える影響は、浮体下の一部などを除けばほとんどないことが確認されている。他方で、底質やプランクトンへの影響がほとんどなかったことは、海流による自然浄化や移動が前提とされており、メガフロートそのものよ

---

[33] 北澤大輔、藤野正隆、多部田茂「メガフロート・フェーズII浮体の海洋生態系に与える影響に関する研究」『日本造船学会論文集』第190号、2001年。

りも、スケールの大きな海水の流動が主に影響しているとされた。そのため、交換が悪く閉鎖的とされる鹿児島湾において同様の状況となるかは、検証が必要となる[34]。

(4) メガフロートの災害による影響について

メガフロートの災害による影響について、本施設は不特定多数による使用が想定された公共施設であり、その安全性はもっとも重要な要素である。とくに、海上に設置するという特性上、漂流や沈没といった危険性も想定される。また、鹿児島湾には桜島という活火山があり、この点にも留意が必要である。こうした課題に対してメガフロートは、当初海上空港での使用が想定されていたこともあり、実証実験を含めて、さまざまな検討が行われた。

まず、地震についてだが、メガフロートは海上に浮かんでいるため、地震そのものの影響はほとんどない。地震影響として、係留を行うための設備との接続部と海震によるものがあるが、これらについても非常に小さいとされる。

次に、地震と関連して津波による影響も考えられる。波長の長い津波に関しては、静かに上昇・下降するのみであり、影響はないとされる。ただし、波長の短い極端に大きな津波が予想される海域では、設置は難しいとされる。なお、津波による影響に対しては、基本的にシミュレーションで予測し、係留設備に対策を行うなど、設計に織り込むものとしている。シミュレーションについても、近年ではメガフロートに入射する津波に関する研究も行われ、超大型浮体式構造物の津波低減効果についても研究されており、そうした成果による比較的正確な検討が可能であると考えられる。

そのほか、鹿児島県で多く想定される台風については、津波と同様、設計段階での十分な強度の確保が行われるとされる。

沈没については、浮体内部が通常船舶よりも多くの水密区画に分かれることから、意図的に沈めない限り沈むことはないとされる。主に海上空港として検討された経緯から、船舶の衝突時のみならず、航空機の墜落時における検討も行われているが、いずれの場合においても局部的な損傷にとどまるとされる。

---

[34] 以上本項は次の文献を参考に構成した。肥海昭男、加藤敏「第2章　環境影響評価技術の研究」メガフロート技術研究組合『超大型浮体式海洋構造物の研究とその成果の報告（その1）：メガフロート研究の概要, 環境影響評価技術』第838号、1999年、264～274頁；藤野正隆、経塚雄策、多部田茂、大川豊、加藤孝義、金井大、河合剛充、北澤大輔「東京湾に係留されたメガフロート浮体周囲の海洋物理環境の計測」『日本造船学会』第182号、1997年、419～433頁；藤野正隆、多部田茂、加藤孝義、北澤大輔、松岡謙介、雪浦聖子「メガフロート・フェーズII浮体周囲の海洋環境の計測」『日本造船学会』第190号、2001年、353～360頁；北澤大輔、藤野正隆、多部田茂「メガフロート・フェーズII浮体の海洋生態系に与える影響に関する研究」『日本造船学会論文集』第190号、2001年、361～371頁；日本造船技術センター「環境影響」『メガフロートの紹介』
［https://www.srcj.or.jp/html/megafloat/menu/top.html］2023年3月5日閲覧；鹿児島県環境林務部環境保全課『鹿児島湾ブルー計画』2021年。

漂流については、複数のドルフィンによって十分な余裕を有するよう設計して係留することにより、意図的に漂流させない限りは問題ないとされる。

鹿児島県特有の桜島の噴火による影響については、噴火の状況によりさまざまなパターンが想定される。1914年の大正噴火では、波高2メートルの津波が発生しているが、当時の記録で鹿児島湾内にいた船舶がすぐに桜島へと救助に向かったとされていることから、海上への影響は少なかったと考えられる。また、東京湾で行われた実証実験での浮体は、2.5メートルの津波を想定して設計されていることから、この程度であれば問題ないと考えられる。他方で、1780年に起こった安永噴火に関連しては、海底噴火によって波高十数メートルの津波が発生したとされており、こうした場合にも対応できるのか、発生した場合どのような対処法があるのかについて検討する必要がある。

以上のように、さまざまな災害に対して対策や検討が行われており、安全性をもった設計が行われるとされている。実際、羽田空港の拡張時において、国土交通省の検討委員会が安全性に問題はないと判断しており、災害による影響はある程度対応できると考えられる。また、メガフロートの用途には、災害時における避難場所も想定されており、状況によっては陸上よりも安全な場所として、避難場所としての検討も行えることが期待される[35]。

(5) メガフロートの「土地」としての利用について

メガフロートの「土地」としての利用については、いくつかの利点と欠点が想定される。利点としては、埋め立て等を行わずに広大な「土地」として利用できる点や、メガフロート内部の広大な空間を利用できる点、埋め立てや土地購入に比べた拡張性の自由といった点があげられる。欠点としては、波浪による動揺が考えられる点や、前例がほとんどなく、公共施設としての長期間利用に耐える耐久性が実証されていない点があげられる。

まず、利点については、「土地」として広大な敷地を、既存の土地区画などにとらわれることなく確保することができる。とくに、本港区エリアのような既存施設やインフラによって新たな施設整備の余裕が少ない場所とは違い、必要な面積の「土地」を建設することが可能である。また、メガフロートには上部に施設を整備するのみならず、構造が空洞となっていることから、内部においてもその広大な空間を利用することが可能である。

次に、メガフロートは、複数のユニットを組み合わせて建造するという特性上、拡張や縮小を比較的容易に行うことができる。そのため、施設規模自体にも拡張や縮小といった

---

[35] 以上本項は次の文献を参考に構成した。中平達也、柿沼太郎、山本公、山下啓、村上佳広「超大型浮体構造物の津波低減効果」『土木学会論文集B2（海岸工学）』第70巻、第2号、2014年、I_911～I_915頁；柿沼太郎、五十嵐陸、村上佳広「超大型浮体構造物の津波高さ低減効果」『土木学会論文集B2（海岸工学）』第76巻、第2号、2020年、I_661～I_666頁；日本造船技術センター「安全性」および「FAQ」『メガフロートの紹介』［https://www.srcj.or.jp/html/megafloat/menu/top.html］2023年3月5日閲覧；古垣光一『桜島大爆震記録集成』南方新社、2017年；三田和朗『大噴火に備えよ！：桜島に近い現代都市の危機』高城書房、2015年。

余裕を持たせることが可能となる。これは、実際に建造や利活用を開始したのちに行うこともできることから、利用者数や環境への影響といった点を検証したのちに計画の変更や、場合によっては完全な撤去も行える、フレキシビリティのある施設とすることが可能である。ユニットも、世界第3位の建造量を誇る日本国内の造船所によって建造可能であることから、同時に複数のユニットを建造して、工期を短縮することも可能である。未来における利活用を考えても、地球温暖化による海面上昇が続いた場合において問題なく利用できるほか、その時その場合に合わせた柔軟な規模変更が可能であり、将来に残せる資産となりうる。

他方で、欠点として、波浪による動揺があげられる。海上に浮かべる構造物である以上、この点を完全に抑えることは難しい。そのため、整備する施設に対する影響や、その施設においてスポーツ競技などを行う際には、それに対する波浪の影響があるのかといった点を検証する必要がある。ただし、メガフロートにおける波浪は、一般的な船舶における「揺れ」とは違い、極めて緩やかな上下撓みと鉛直運動といった「振動」が発生するとされる。この振れ幅は、有義波高1メートル、周期7.5秒の際、5,000メートル級メガフロート中央部において4センチメートル程度とかなり小さいものとされる。また、シンガポールでは2007年に、日本のメガフロート技術が応用されたThe Float @ Marina Bayと呼ばれる浮体式の野外ステージが完成している。海上ではないものの、この施設は実際にスポーツの試合において使用されていることから、メガフロートでのスポーツ競技の実施についても問題は少ないのではないかと考えられる。

長期間の利用については、羽田空港での採用が検討された際において、チタンクラッド鋼被覆による防食を行うことで、適切な施工、点検、維持管理が前提ではあるが、100年の長期安定性が確保されるとの結果が得られたとされる。また、実証実験で用いられたフェーズIIの浮体については、分割してさまざまな施設として転用されたが、その中の一つである兵庫県南あわじ市の「南あわじ市浮体式多目的公園」は、2023年現在でも使用されており、20年以上使用できることは実証されている。

以上のように、メガフロートの施設としての利用では、本港区エリアにおいて難しい広大な「土地」を確保することができ、計画の柔軟な変更も可能というフレキシビリティのある施設とすることが可能である。また、スポーツ競技での利用も実例上可能であると考えられる。長期間の利用や可逆的に撤去可能である点も含めてメガフロートは、持続的な利活用ができる施設として、将来世代につながる整備計画となると思われる[36]。

---

[36] 以上本項は次の文献を参考に構成した。日本造船技術センター「メガフロートの話（2）：メガフロートの流力弾性挙動特性」『SRC News』2001年、4～5頁；日本造船技術センター「メガフロート技術利用の動向調査」『SRC News』2008年、8～9頁；鳥井正志、中井幸治、臼井幹人「うずしおメガフロートなんだん「南淡町多目的公園」：メガフロートの後利用〈II〉」『日本造船学会誌』第866号、2002年、71～76頁；南あわじ市「海釣り公園（メガフロート）」『南あわじ市ホームページ』

2. メガフロートへのスポーツ・コンベンションセンターおよびスタジアムの整備について

(1) はじめに

II. 2. においても述べたが、本港区エリアには、鹿児島県によるスポーツ・コンベンションセンターや鹿児島市によるスタジアムの整備が検討されている。しかし、現在もっとも有力な候補地であるドルフィンポート跡地への整備については、その景観に与える影響を中心に反対や慎重な検討を求める意見もある。ただ、老朽化への対応や地域振興への貢献期待といった現状もあり、スポーツ・コンベンションセンターとスタジアム自体を整備することについては、反対の意見はほとんど耳にしない。こうした点を踏まえ、スポーツ・コンベンションセンターとスタジアムを沖合に設置することによって、IV. 1. (2) のように景観への影響を最小限に抑えることは、早期の両施設整備にもつながり、鹿児島県民や利用者にとっても利益となる。また、メガフロートを「土地」として、そこに施設を整備することも、IV. 1. (5) のように利点は大きい。本節では、メガフロートへのスポーツ・コンベンションセンターおよびスタジアムの整備について、鹿児島県と鹿児島市の構想との比較を中心に、その実現性を述べる。

(2) メガフロートへの両施設整備にかかる施設運営者の利点・欠点について

鹿児島県のスポーツ・コンベンションセンターの基本構想[37]では、その求める規模について、延床面積 30,000 平方メートル程度と想定している。この面積をメガフロートにて用意しようとした場合、およそ 30 億~39 億円[38]と見込まれる。これは、構想において概算された施設整備での基盤造成経費の 19 億円と比べると、かなり大きくなる。他方で、これはドルフィンポート跡地が県有地として土地購入費が必要ないためであり、次に述べる鹿児島市の構想も合わせると、コストにおいての問題はかなり軽減される。

鹿児島市のスタジアム構想[39]では、ドルフィンポート跡地 (34,800 ㎡) の土地購入費を、実勢価格から推定して 66 億 9 千 9 百万円としている。この価格は、同じ面積のメガフロー

[https://www.city.minamiawaji.hyogo.jp/soshiki/suisan/umidurikouen-mega.html] 2023 年 3 月 5 日閲覧；日本造船技術センター「メガフロートとは？」『メガフロートの紹介』[https://www.srcj.or.jp/html/megafloat/menu/top.html]2023 年 3 月 5 日閲覧；Studium Base, "The Float @ Marina Bay," [https://stadiumbase.com/listing/the-float-marina-bay]2023 年 3 月 5 日閲覧。

[37] 鹿児島県『スポーツ・コンベンションセンター基本構想』2022 年。

[38] 本項のメガフロート建造費見込みは、以下 HP に掲載されていた 1 ㎡当たり 10～13 万円で計算した。なお、この建造費は浮体本体の製作費であり、その他係留施設等に関しては考慮していない。日本造船技術センター「FAQ」『メガフロートの紹介』[https://www.srcj.or.jp/html/megafloat/menu/top.html] 2023 年 3 月 13 日閲覧。

[39] 鹿児島市『スタジアム需要予測等調査・整備検討支援業務　報告書』2023 年。

トの 33 億 6 千万~43 億 6 千 8 百万円の倍近い金額であり、造成費を含めるとさらに膨らむと考えられる。鹿児島県の県有地として無償での利用を行えたとしても、鹿児島市の構想では、緑地移設や臨港道路付け替えといった整備費に 24 億 4 百万円かかると見込んでいる。こうした点を考えると、同面積の土地よりもかなり安く、また、造成費と近い額まで抑えられるメガフロートへの両施設整備は、コスト的に見合った投資として考えることができる。また、鹿児島市の検討のように両施設を隣接させて整備することを想定した場合、60,000 ㎡もの土地が必要となるが、メガフロートを使用すれば、ドルフィンポート跡地やウォーターフロントパークを残しつつ整備することが可能である。とくに、ウォーターフロントパークは、現在でも県民・市民らに親しまれている空間であり、ドルフィンポート跡地についても、現状のまま改めて今後の利活用方法のさらなる検討を行うこともできる。

こうした点から、メガフロートへの両施設の整備検討は、適地の減少や予算といった限られた資産を活用しなければならない運営者から見て、それらの懸念を軽減する一考の価値があると思われる。また、鹿児島県と鹿児島市が協力して設置を行えば、コスト面での問題点は、大きく和らげることができると考えられる。

他方で、メガフロートへスポーツ・コンベンションセンターやスタジアムといったスポーツ関連施設を整備することには、施設運営者にとって欠点もある。それが、現在進められている施設整備計画への影響である。

鹿児島県が行っているスポーツ・コンベンションセンターの整備計画では、すでに整備での導入を検討している PFI に関連して、検討費用を 2023 年度の予算案に計上するなど、具体的な設計段階に移るとしている。こうした状況でメガフロートへの整備を検討することは、現段階での構想をいったん停止し、再検討を行うことにつながる。また、PFI にて設計や運営を行うとなると、民間事業者が多くの部分で携わることとなる。前例がないことから、収益をあげることの確実性が低いとみられた場合、運営を行う事業者が集まらない可能性もある。こうした懸念を払拭できるかが、整備にあたっての課題となる。

以上のように、メガフロートへのスポーツ・コンベンションセンターおよびスタジアム整備することについて、既存施設を変更することなく、比較的軽い負担で新たな「土地」を用意することができる。他方で、現在のかなりの段階まで進んだ計画の変更を行い、新たな施設の将来像を明確に示す必要がある。こうした前例のないチャレンジを行うことができるかが、メガフロートへの両施設整備において、運営者が直面する課題である。

(3) メガフロートへの両施設整備にかかる施設利用者の利点・欠点について

メガフロートにスポーツ・コンベンションセンターやスタジアムといったスポーツ関連施設を整備することは、施設の利用者に対して、ポジティブな効果をもたらすことができると考えられる。

まず、交通アクセスにおける利便性の向上である。海上のメガフロートへのアクセスについての詳細は後述するが、基本的には船舶によるものを中心として検討する。一般的に

は、離島に代表されるようにアクセス方法が船舶にほとんど限られた場合、利便性は悪化しがちである。実際、本提案でのスポーツ・コンベンションセンターおよびスタジアムへのアクセスは、両構想のように隣接する駐車場がないため、車から直接向かうことができず、必ず何らかの乗り換えが必要となる。それにもかかわらず利便性が向上するとしたのは、主な利用者として想定されるのが、鹿児島県全体から県大会などを目的として集まる鹿児島県民と、観戦やイベント参加を目的として集まる鹿児島県外客とされるためである。

鹿児島県は、南北約 600 kmにもおよぶ県土を持ち、県本土も、鹿児島湾を中心に取り囲むように半島が突き出す、島国のなかの「島国」である。これらの島々をつなぐ航路の県本土側の離発着場所は本港区エリアに集中しているものの、そこからあるいはそこまでの交通網は、決して充実しているとはいいがたい。とくに、公共交通機関を利用して、現在の総合体育館や交通結節点の鹿児島中央駅、国際線も就航する鹿児島空港とアクセスするとなると、徒歩やバスに乗って直接、あるいは駅まで移動する方法がほぼ唯一の手段となる。本港区エリアにスポーツ・コンベンションセンターやスタジアムを整備する構想は、鹿児島市の路面電車（以下市電）新設計画とも併せて考えると、こうした課題を一定程度解消することができる。他方で、この構想では、鹿児島市など近隣市民の利便性向上にはつながるものの、鹿児島県全体や鹿児島県外といった、もっとも不便を感じているはずの遠方からのアクセスにおいて、改善余地が大きいと感じられる。また、既存の市電では、数万人規模の観客も想定する場合、輸送可能な人数をオーバーし、かえって混雑を生む可能性もある。こうした混雑の解消と、地域による時間的・費用的な不平等を少しでもなくすためには、既存の交通網を前提としない新たな仕組みを構築することが必要である。

メガフロートの場合、前述のとおり施設へのアクセスは船舶によるものが中心となる。この、船舶による広域的な交通アクセスを構築することが、鹿児島県全体としての移動コスト平均化と、全体的な削減を図ることができるのではないかと考えられる。なお、交通システムの詳細については、IV. 3. (3) にて述べる。

次に、施設集約による利便性の向上である。メガフロートは、その巨大な「土地」としての利活用を行える特長から、複数の施設をまとめて整備することが可能である。とくに、鹿児島県や鹿児島商工会議所の構想に含まれている MICE 施設は、その特性上、関連施設や飲食施設などのアフターコンベンション機能も含めた、エリア内での一体的・複合的な施設整備がスタンダードとして求められる。会議場や展示場として必要な規模を考えると、これらに必要な敷地は広大である。

これら MICE 施設についての詳細は次節に述べるが、ここで求められるアフターコンベンション機能は、スポーツ関連の利用者においても、同じく求められるものであると想定される。すなわち、競技後の交流を目的とした利用である。スポーツ関連の施設利用では、利用者は近隣のみならず、ある程度分散した地域から参加することがほとんどである。とくに、既存の総合体育館で開催されている県大会や全国大会の開催場所として検討すると、鹿児島県全土からの参加や、場合によっては全国からの参加が想定される。その場合、飲

食店などの状況について、土地勘の少ない利用者が多くを占めることとなる。競技大会の多くが 1 日中あるいは数日にわたって開催されることを考えると、その間の食事や必要物品を購入する場所が近隣に所在することが望ましい。スポーツ・コンベンションセンターやスタジアムに隣接して、こうした飲食施設等が立地するためには、やはり広大な敷地が必要となってくる。

ここまで、メガフロートへのスポーツ・コンベンションセンターやスタジアムといったスポーツ関連施設を整備することの利点を挙げてきたが、他方で、欠点も想定される。

大きな課題が、海上に整備することで生じる揺れである。IV. 1. (5) でも述べたが、メガフロートは広大な土地として利用できる一方で、波浪による影響を排除することができない。そのため、わずかな動揺すら許されないような競技の場合、その実施は困難である。ただし、メガフロートの揺れが船舶と比してかなり小さく、「振動」程度であることも留意すれば、実際に競技を行う上で大きな支障となるとは考えにくい。また、想定している設置場所は内海で穏やかな鹿児島湾内であり、十分な検討を行うことで課題とはなりえないと想定される。

以上の点から、メガフロートにスポーツ・コンベンションセンターやスタジアムを整備することは、想定される施設規模の拡大が可能であり、施設利用者の利便性向上や利用者同士の交流といった利点が想定される。他方で、前例のない施設でスポーツを行うことに対して、利用者がどのように感じるか、現段階では想像するしかない。こうした課題をどれだけ解消できるかが、メガフロートへの両施設整備にあたって利用者を集めることができるかの鍵である。

3. メガフロートへの新総合体育館とスタジアム以外の施設建設について

(1) メガフロートへの観光発信や人的交流の拠点施設整備について

グランドデザインにおいて、本港区エリアのコンセプトとして 1 番に述べられているのが「かごしまの多彩な魅力を発信する人・モノ・情報の交流拠点」である。そして、これを含め「来て見て感動する観光拠点」の形成を図るのが、本港区エリアのまちづくり開発の未来像である。他方で、現在計画されているスポーツ・コンベンションセンターやスタジアムのみでは、この未来像と合致するか難しい部分がある。本項では、こうした点を補完する観光発信や人的交流の拠点施設について、その整備を検討する。

まず、想定される機能として、一般的な観光案内所としての機能がある。さまざまな理由で施設を訪れた利用者に対し、通常の観光案内を行う施設である。こうした施設の重要性は言わずもがなである。ただし、メガフロートは海上にあるという都合上、観光をしながら道案内として立ち寄る施設といったものではなく、鹿児島に来てから最初に訪れる場所といったような立ち位置を想定している。

次に、本提案で重要としたいのが、訪れた人々同士がそれぞれの感じた鹿児島県の魅力を伝えあい、県内のさまざまな地域に実際に向かうきっかけとなりうるような施設である。

上記した観光案内所でも、観光に向かうためのきっかけとなる案内は行われているが、ここで想定するのは、実際に居住や体験をしている人々同士が交流をして、より深いかごしまを知ってもらうための施設である。

鹿児島県には、いわゆる観光地として広く知られるような地域以外にも、それぞれの独特で多様な文化が数えきれないほど散らばっている。こうした「宝物」を探すための「地図」として、住民やその地を知る人々が自らの知る「宝物」について語り合い、それを探しに来てもらうための施設が理想である。とくに、1回では探しきれないかごしまの深さを知ってもらい、1つ宝物を見つけたらさらに新たな「宝の地図」が出てくる場所として、次の機会にもつなげることが重要である。こうしたつながりを「共創」していく拠点となることができれば、交流人口の増加や、観光目的で来ていなかった人々に対しても、次にかごしまを訪れてもらうためのきっかけとなりうる。

本港区エリアは、離島航路や桜島航路の発着点として、さらにはかごしま水族館やウォーターフロントパークといった憩いの場として、様々な地域・属性の人々が集う場所である。こうしたエリアでの交流拠点は、鹿児島県という広い県土で、交流する機会のなかった県民同士でもそれぞれの「宝物」を語り合えるような拠点となることも期待される。

交流拠点としては、人同士以外にも、モノや情報の交流もコンセプトに含まれている。繰り返しになるが、鹿児島県には様々な魅力が眠っている。このなかには、地域の住民たちでも気づいていない魅力も存在する。そうした魅力を発見するためには、違う視点や新たな情報を取り込むことが重要となる。ただし、こうした新たな魅力に気づくのはかなり難しい部分がある。そもそも観光においては、不可欠なポイントとして「場所を移動する」ことと「楽しみを目的としている」ことがあげられる。このなかでも、後者の「楽しみ」という点はもっとも重要であるが、これは人によってそれぞれ違う楽しみがある。こうした個々人にあった楽しみを見つけてもらうためには、受動的に観光に来てもらうのみならず、求めている情報を自らで見つけてもらうことも検討しなければならない。他方で、見つけてもらうからといって何もしないわけではなく、見つけるための情報を提供することが求められる。こうした情報の集積地としても、この交流拠点がその役割を担うことができる。

例えば、近年急速に発展している仮想空間技術を利用した情報発信も、モノ・情報の交流拠点として想定できる。仮想現実[40]（以下VR）や複合現実[41]（以下MR）を利用してか

---

[40] 仮想空間を現実空間のように体験できる技術のこと。Virtual Realityの略。

[41] 現実空間に仮想空間を融合させ、仮想の物体に触るような体験ができる技術のこと。Mixed Realityの略。前注も含め、KDDI株式会社「VRやARとどこが違う？ MR（複合現実）の仕組みと代表例『Microsoft HoloLens』を解説」［https://time-space.kddi.com/ict-keywords/kaisetsu/20170316/］；デジタルハリウッド大学「XR（クロスリアリティ）とは？VR・AR・MRなどの違い・活用事例など」［https://www.dhw.ac.jp/faculty/media/cross_reality/］いずれも2023年4月16日閲覧を参考。

ごしまを体験してもらうことは、そこに実際に行ってみたいという次の機会を生み出すきっかけとなる。とくに、VRにてさまざまな地域の暮らしを体験したり、MRにて伝統工芸品を実際に作るような体験や、本来触れない貴重な品を持てるような体験をしたりと、まず触れるのは仮想のものであったとしても、その次に本物に対する興味が湧くような経験をしてもらうことが想定できる。他方で、そうした機器はいまだ普及しているとはいいがたく、個人として利用するには金銭面など敷居の高いものも多い。こうした最新技術を利用した、体験・経験を行える施設を整備すれば、実際はどうなのかという興味・関心につながり、さらには、技術の実験拠点として産業育成にもつながる可能性がある。こうした施設整備は、コンセプトにある人・モノ・情報の交流拠点として、その求められる目的を果たすことができる。

また、主に想定されるスポーツに関連した施設では、施設の利用者がある程度特定の集団となりがちである。スタジアム構想では、鹿児島ユナイテッドのホームとしての利用が主眼とされている。同チームの新たなファン獲得という観点からも、他の施設、とくに交流施設を整備することは、スポーツ関係者と交流し、スポーツへの興味を持った交流拠点施設利用者がついでに試合を観戦するといったような機会を生じさせることにつながり、施設を利用する人にとっても大きな利点となる。

(2) メガフロートへの芸術拠点施設の整備について

本港区エリアのグランドデザインにおけるコンセプトでは「かごしまの魅力を体感できるエンターテインメント空間」としての要素も求められている。かごしまの魅力には様々なものが想定され、とくに地域の景観や暮らしといった魅力は、前項で述べたVRをはじめとした技術によって発信することが可能である。他方で、かごしまの魅力には、実際に移動せずとも体感できる魅力もある。その代表的なものが芸術である。本項では、こうした芸術の魅力について体感できる空間となる施設の整備を検討する。

鹿児島県には、大島紬や薩摩焼をはじめとした長く独特の歴史を持ち、他にはない魅力を備えた伝統工芸が多数存在する。こうした伝統工芸品は、その土地を代表するものとして、お土産に購入されることも多い廉価なものもあるが、美術館や博物館といった施設に展示されているような、鑑賞を目的とする技術の粋を凝らした作品も作られる。また、鹿児島県の各地域には、そうした伝統工芸を支える深く多様な文化も存在する。そのため作品は、地域の特色や文化を代表するまさしく象徴として扱われることもある。他方で、こうした伝統工芸品は、直接関わる人々は限られた職人であることがほとんどであり、文化そのものを担うことは少ない。

芸術の魅力を体感できる空間としての施設を整備するにあたっては、こうした伝統工芸品の背景となる文化や人々を知ってもらうことが重要である。文化や人々を知ってもらうという観点からは、前項の交流拠点とのつながりも考えられる。交流拠点施設における備品設備などを伝統工芸によって作られた作品として、芸術文化の交流拠点施設ともすれば、

さらなる相乗効果も期待できる。

ただし、芸術拠点施設には、伝統工芸に限らない芸術全般を含めた施設とすることがもっとも重要である。とくに、上述した備品設備を伝統工芸によって作られたものとする以外にも、壁や床といった内装、あるいは建物自体も作品として、職人やアーティストが関わって作り上げていくような徹底さが必要である。そして、現代のアーティストやデザイナーといった未来をつくっていく文化と、伝統工芸といった歴史を持つ文化が交流しあい、ここにしかない芸術が生まれることが理想の一例として考えられる。

スポーツ・コンベンションセンターやスタジアムといったスポーツ関連施設と芸術施設という、一見対象とする利用者が正反対とも感じられる施設であるが、そうした違いを含みこんで一体的に整備することが、鹿児島県という多様な文化を持った社会において受け入れられる、最大のポイントではないかと考える。

(3) メガフロートへの交通拠点設備の整備について

i. 現状と課題について

交通サービスで重要な観点は、サービス自体の利用が目的ではないという点である。これは、交通サービスはあくまで、通勤・通学といった他の目的を実現するための手段が主であるということである。手段である以上、その目的地までの移動時間は短く、コストは低く、利便性は高いほうが望ましい。ドライブや乗り鉄といった交通サービスの利用自体を目的とする場合もあるが、これはあくまで派生的需要であり、生活手段として利用される場合がほとんどである。

現状の鹿児島県における交通機関は、自家用車による移動がほとんどである。実際、2020年の国勢調査[42]によると、鹿児島県において通勤・通学を行う約70万人のうち、自家用車は約50万人と圧倒的に多い人数となっている。それに対し、鉄道・電車や乗合バスといった公共交通機関は、いずれも3万人ほどと、利用者の少なさが目立っている。こうした現状は、今後の交通網の持続性を考えると、さまざまな課題がある。

まず想定されるのが、公共交通機関の衰退による交通サービスの選択肢の減少である。公共交通機関は、高齢者や児童・生徒など、自家用車を保有して運転することのできない交通弱者にとって、唯一ともいえる交通手段である。公共交通機関を維持していくことは、そうした人々にとって、社会生活を送る上での重要な手段を維持していくことである。

他方で、現在自家用車によって移動を行っている人々にとっても、公共交通機関の維持は重要な課題である。現在において運転を行って移動を行えている人々にとって公共交通機関は、利便性の面から使用する機会が少ないと考えられる。しかし、運転を行えるのは、

---

[42] e-Statにて提供されている『令和2年国勢調査』より「従業地・通学地による人口・就業状態等集計」内「利用交通手段，常住地又は従業地・通学地別通勤者・通学者数（15歳以上）－全国，都道府県，市区町村」2023年4月12日閲覧を参考とした。

あくまで免許を保持している人々に限られるのであり、希望をしても運転を行うことができない人々も多い。また、何らかの理由によって突然に運転ができなくなることもある。とくに、認知機能等が低下していく高齢期においては、運転を自らの判断で終了させることも考えなければならない。そうした状況において、公共交通機関が衰退していた場合、移動手段の選択肢がほとんどない状態となってしまうことが想定される。こうした事態を防ぐためにも、公共交通機関への自家用車からの転換を進めなければならない。

次に想定されるのが、交通網の今後の持続的な維持発展を行う上での支障である。現在、CASE[43]をはじめとした交通サービスの変革が行われている。とくに、環境対策上重要とされる電動化は、世界中で急速に普及が進んでいる。しかし、電動化による環境対策では、電気自動車をはじめとしたインフラ設備の整備も含めた総合的な普及が必要である。こうした対策をとるためにはある程度の時間が必要であり、前述した交通弱者が利用できる公共交通機関の維持にもつながらない。自動化が進んだ場合、一部の懸念事項は解消されることも予想されるが、それでも、公共交通機関による大規模輸送の利点を考えると、自動車への完全な転換は難しい。

自動運転技術の進展は、公共交通機関に頼らない移動手段の維持を可能とすることも想定される。とくに、公共交通機関がアクセスできていない過疎地などに、新たな交通サービスとして広げることも可能である。他方で、こうしたサービスはあくまで個人や少人数による利用が主眼であり、過疎地を中心とした地方での利点が大きい。今回検討しているメガフロートの場合、県庁所在地にあり、スタジアムといった多数の利用者が集まる施設を想定していることから、自動運転の普及による利点は考えにくい。こうした点からも、自動車を中心とした交通網が形成されている現状からの転換が、まちづくりの観点から求められている[44]。

ii. 海路による交通網について

メガフロートにおいては、その特性上、船舶を中心とした海上交通が必須である。本港区エリアには、すでに離島航路や桜島航路が就航しており、海上旅客輸送の集約がなされている。本項では、メガフロートを交通網の中心として利用することで、鹿児島県全体としての移動コストの平均化と全体的な削減を図り、持続的な交通網を実現することについ

---

[43] Connected（コネクティッド）、Autonomous/Automated（自動化）、Shared（シェアリング）、Electric（電動化）の略。トヨタ自動車株式会社「CASE」［https://global.toyota/jp/mobility/case/］2023年4月12日閲覧を参考。

[44] 以上本目は次の文献を参考に構成した。島川崇「第8章　旅行会社のグローバル化」塩見英治、堀雅道、島川崇、小島克己編著『観光交通ビジネス』成山堂書店、2017年；千相哲編著『九州観光学：九州の観光を読み解く』晃洋書房、2018年；深見聡『観光と地域：エコツーリズム・世界遺産観光の現場から（南方ブックレット8）』南方新社、2019年；那須野育大「第15章　MICEと観光振興」塩見ほか『観光交通ビジネス』成山堂書店、2017年。

て検討する。

メガフロートでは、海上に設置するため、利用できる交通サービスが海路および空路に限定される。海路の場合、一般的に速度が遅いため所要時間が長くかかり、便数も少ないことが多い。ただし、コストにおいては比較的低い。空路の場合、速度は速いものの、コストが高い。このように、上述した手段としての交通サービスとしての観点から見ると両サービスとも一長一短あり、陸路による交通サービスに比べて課題点は大きい。他方で、既存の交通網にも、利用者の減少によるコスト上昇やそれに伴う利便性の低下、自家用車の利用による交通渋滞の慢性化や環境問題に対する対策取り組みの普及停滞など、限界がきているのも事実である。そうした交通サービスを、持続的な維持活用が行える強靭性を持ち、災害等困難が発生したとしても回復できる、復元力の強いサービスへと転換を行っていくためにも、新たな交通網の構築を行うことが求められている。

船舶による海路での交通網構築には、いくつかの利点が考えられる。主に考えられるのは、新たな大規模輸送網としての構築と、地理的に陸路によってアクセスすることが大変な地域からの利便性を向上させる交通アクセス手段構築、観光客への期待感やアピールとしての交通サービスである。

第１に、新たな大規模交通網としての船舶による海路交通網の構築だが、これは、公共交通機関の選択肢を増やすことが主な目的である。既存の鉄道やバスといった陸路による公共交通機関は、市民の生活圏に直接接しており、その利便性を考えると、現時点でなくすことは、自家用車を保有していない人々にとって、移動手段がなくなることと同義である。他方で、本港区エリア周辺へとアクセスする手段は、タクシーや徒歩といった個人・少人数単位を基本とするものを除くと、バスがほとんど唯一の手段である。こうした現状では、計画されているスポーツ・コンベンションセンターやスタジアムといった大人数の利用や集客を目的とする施設を整備した場合、自動車によるアクセスが集中し、渋滞や駐車場の不足といった事態となることが予想される。車社会である鹿児島県において、混雑の発生する陸路をできるだけ使わず、大隅半島や薩摩半島、離島といった県内各地や、県外・海外からもアクセスしやすい大規模輸送交通網を構築しようとすると、もはや海路しか残っていない。

船舶による海上輸送は、日本の貿易において99%を占めるなど、その大規模輸送能力やコストの低さにおいて、他の輸送手段から突出している。また、環境に対する負荷においても船舶の与える負荷は、他の交通手段に比べてかなり低い。公共交通機関として船舶による海路を活用できれば、同一人数を輸送する場合、環境負荷およびコストを低減させる効果が期待できる。

また、桜島フェリーや鴨池・垂水フェリーの一部便を寄港させるなど、メガフロートへのアクセス手段として活用できれば、現在では鹿児島市へと向かう人が利用することの多い航路であると考えられるが、人口集中地である鹿児島市からメガフロートへと利用する人々によって収益基盤の強化や、それに伴うコスト削減が見込める。コスト削減につなが

れば、同じ鹿児島市ながら、市街地までの負担が大きい桜島からの往来の負担低減が可能である。

メガフロートが海路を前提とすれば、利用者は船舶によるアクセスを行うことが当たり前となる。渋滞がなく、大隅半島からでも直接アクセスできる海路による交通網は、自動車によるアクセスが前提となっている既存交通網を転換させる契機として、導入を検討する必要がある。環境への負荷が少ない船舶へと交通手段を移行させることができれば、環境にも優しい持続可能な交通網として、未来へとつながり続けることができるはずである。

第2に、地理的に不便な場所からの交通アクセスを改善させる効果だが、これは、大隅半島や離島、鹿児島空港といった交通サービスの少ない地域からの、鹿児島市への簡易なアクセス手段の確保が目的である。

現在、大隅半島から鹿児島市の体育館へと向かう場合、陸路によって県央を通る大回りを行うか、桜島フェリー等によって鹿児島市薩摩半島側へ渡った後、自家用車や公共交通機関によって向かう2通りの方法がある。しかし、いずれの方法においても、陸路がかなりの部分を占めており、渋滞や混雑が想定される。

離島からのアクセスの場合、航路によって本港区へと来た後、陸路によって体育館へと向かう必要がある。この場合、バスやタクシーがほぼ唯一の手段であり、利便性は低い。

全国大会など、県外からを想定した場合、鉄道や航空機でのアクセスが主に想定されるが、この場合も、複数の乗り換えを前提としており、同時に多数のアクセスを行った場合、交通網の許容量を超えることが想定される。

以上のように既存交通網では、とくに遠方からのアクセスにおいて、混雑を中心とした課題点がある。海路による交通網の構築は、こうした課題に対して抜本的な解決を行うことが可能である。

まず、混雑の解消であるが、船舶の航路は比較的柔軟であり、道路や線路に限られる陸路に比べ、許容される通行量が大きい。同時に発着岸した際には、港湾施設において混雑することも想定されるが、船舶は一度に輸送できる人数・貨物が大きく、極端に混雑することは考えにくい。また、メガフロートは海上に設置することから、四方をすべて港湾施設とすることも可能である。その場合、最低でも4隻の船舶が同時に発着岸することができ、この点からも混雑の可能性は低いと考えられる。

次にアクセスの向上であるが、この点に関しては負担の平均化を主たる目的としている。つまり、鹿児島市街地をはじめとしたもともとの負担の少ない付近からの利便性は低下することも許容し、大隅半島や離島、県外や海外といった遠隔地からの利便性向上を最優先で考えるということである。

海路による交通網では、鹿児島湾を囲む県本土地域のほとんどから、直接メガフロートへと向かうことが可能である。最低限、港までは何らかの手段によってアクセスする必要性こそあるものの、それが自家用車であっても使用を最低限に抑え、駐車場所の分散により混雑を抑えることが可能である。このことは、環境への影響低減と利便性の向上をもた

らすことにつながる。また、離島や県外、海外からの利用者を想定した場合、公共交通機関によるアクセスが前提となる。その場合においても、乗り換えの必要性こそ生じるものの港まで到着すれば以降の乗り換えの必要はなく、現在の鹿児島県内の体育館やスタジアムといったスポーツ施設への公共交通機関を利用したアクセスに比べて、分かりやすさや利便性、コストといった点で優位性を持てると考えられる。

鹿児島県内の一部地域においては、鉄道が通っておらず、公共交通機関網がほとんど整っていない地域もある。しかし鹿児島県では、そうした地域にも規模の大小はあるが港湾施設は整備されていることが多い。船舶による交通網の構築は、こうした他の公共交通機関の少ない地域においても、既存設備を活用するのみで交通サービスの導入を行うことができると考えられる。また、こうした地域からメガフロートへの直接の交通アクセスが可能となれば、3.(1) の観光・交流施設において地域の人々と観光客らの交流が生じることにつながる可能性もあり、その場合、興味・関心を抱いた観光客らが施設からそうした地域へと直接向かう流れを作ることも想定できる。こうした、既存の交通からは発展を期待することが難しい状況も想定できるのが、メガフロート施設および船舶による交通網構築の大きな利点である。

第3に、観光客への期待感やアピールとしての交通サービスであるが、これは、交通サービスの利用自体を目的とする派生的需要を目的としたものである。

交通サービスで重要な観点は、IV. 3. (3) i. で挙げたように目的を実現するための手段であるという点であるが、派生的需要であるサービス自体の利用を目的とした観点が重要となる場合もある。それが、観光をはじめとした非日常としての利用を前提とした場合である。現在においても、鹿児島市電の路面電車が全国的に珍しいとして注目を集めているように、交通サービス自体を目的とした利用者も一定数存在する。また、船舶による交通を中心とした都市は少なく、水の都として世界的に知られるヴェネツィアのように、交通サービスの利用も都市を楽しむ一つの要素として重要な役割を果たすこともある。

メガフロートへの主なアクセス手段を船舶に限定することは、船という若干の特別性を持った乗り物に「乗る」という特別感を与えることができる。また、船舶の速度は、他の交通機関と比較してゆっくりであることがほとんどである。ゆっくりとメガフロートに向かうその過程は、利用する施設への期待感・わくわく感を高め、手段のみではない交通機関の在り方を提案することができると考えられる。また、帰る際においても、観戦や施設利用で高揚感を持たせることができれば、ゆっくりとメガフロートから離れる船の特性は、その余韻を感じさせる舞台としての効果が期待でき、また次も来ようと思わせることにつながる可能性もある。こうした乗り物の特別感と、メガフロートへ向かうまでの期待感・わくわく感、帰る際の余韻を醸成することができれば、交通サービスを単なる手段から、その利用を目的としたサービスとして、利用者にアピールすることができるのではないかと考えられる。

iii.　空路による交通網について

メガフロートにて設置を想定する交通拠点設備については、フェリーやクルーズ船といった船舶のほかに、今後想定される空飛ぶ車やドローンの発着拠点となる設備についても検討する。

本港区エリアは、地理的に鹿児島県本土のほぼ中心部に位置し、県庁所在地である鹿児島市の中心部でもある。こうした地理上の優位を最大限に活かせば、鹿児島湾を囲む地域との交通網を構築するハブ拠点となりうる可能性がある。とくに、ドローンや空飛ぶ車による物流や人流が普及した場合、安全性や既存交通網との兼ね合いを考えると、飛行経路は海上や河川上といった水上を利用する可能性が高い。そうなった場合、海上に浮かぶメガフロートは、もっとも重要なハブ機能を持った拠点としての利用が期待される。

また、鹿児島空港との直接の航空路を開設することができれば、現在、公共交通機関によるアクセス手段が少ない鹿児島市街地と鹿児島空港との間の交通サービスとして、新たな選択肢となりえる。近年、鹿児島空港は九州初のビジネスジェット専用施設が整備されるなど、富裕層を対象とする設備整備が行われている。空路によって中心市街地と結ぶことができれば、時間的余裕が生じた利用者が周辺への観光を検討する余裕も生じることが予想され、利用者のみならず鹿児島地域にとっても利益となる[45]。

空飛ぶ車による交通網は、現時点で構築されたものは管見の限りないが、日本国内でも2025年大阪・関西万博において実用化が目指されているほか、個人向けに発売されることが予定された機種もあるなど、すでに現実性を帯びつつある[46]。この個人向けの販売が予定される機種では、最大航続距離は10kmほどとなっているが、この範囲内にはマリンポートかごしまや鹿児島中央駅、桜島のほぼ全域が含まれており、鹿児島を訪れる人々が利用する施設・観光地が直接アクセス可能な距離である。また、ヘリコプターや今後の技術開発による航続距離の延長も考えれば、鹿児島空港や大隅半島といった場所へもアクセスが可能である。コストや一度に輸送可能な人数等を考えると、利用者はある程度限定されるとは考えられるが、今後の社会変革の重要な要素として、空路による交通網は検討を行うべきである。ドローンによる物流網も、同様に社会を変える重大な要素として検討すべきである。

(4)　様々な施設の整備について―まとめ―

現在、本港区エリアにて検討されているスポーツ・コンベンションセンターおよびスタ

---

[45] 鹿児島空港ビルディング株式会社「鹿児島空港ホームページ」［https://www.koj-ab.co.jp/service/businessjet.html］2023年4月15日閲覧。

[46] 南日本新聞社「個人向け2億円で空飛ぶクルマ販売」『南日本新聞2023年4月15日付』6頁；株式会社SkyDrive「空飛ぶクルマ「SD-05」の個人向け予約販売も開始！第一号機は千葉功太郎氏が予約購入」［https://skydrive2020.com/archives/23169］2023年4月15日閲覧を参考。

ジアム構想では、施設の利用者が、スポーツに関連したある程度特定の集団に固まってしまうことが想定されうる。グランドデザインでは、本港区エリアは「1年を通して観光客や県民で賑わい、来て見て感動する観光拠点」としていくことがコンセプトとされている。スポーツに特化した施設のみを整備するのでは、どうしても利用者が一定の層に限定され、観光客や県民によって、幅広く賑わう状況となりえない可能性がある。こうした懸念の払拭や利用者の拡大、そしてスポーツの裾野を広げるためにも、スポーツ・コンベンションセンターやスタジアム以外の施設を複合的に整備していくことが重要である。

ここまで述べたようにメガフロートでは、その広大な「土地」としての特徴を活かして、さまざまな施設を想定することができる。また、土地としての余裕は、他の必要と思われる施設を整備検討するうえで、現実性を持たせる大きな前提として働く。本項では、そうした余裕があるからこそ語れる夢について、いくつか述べる。

第 1 に、メガフロートは内部に空間があり、ここに施設を整備できることから、水産学や海洋学の教育施設および海洋技術の研究や実践を行うことができる研究施設を設置することを検討する。教育施設という人材育成拠点や研究施設の設置は、メガフロートという世界的にも珍しい海洋構造物において、その維持管理や実地での研究の実施を行うことができる。とくに、実際に稼働状態にある海洋施設での日常的研究が容易に行えることは、産学協働を行える場の日常的な提供を可能とする。なお、こうした場となる施設には、研究を目的とした設備のみならず、生産設備や修理設備といった産業利用を前提とした施設も同時に整備するべきである。鹿児島県には多数の船舶や海洋関連施設が存在しているが、ドッグなどの造船や修理設備は少なく、県内の定期航路の船舶が点検を行う際にも、長崎や広島など遠方へと向かうケースがほとんどである。施設を中心に関連産業の集積を行うことができれば、造船産業といった裾野の広い業種による産業振興や、遠方への回航に伴うコスト・期間の削減による定期航路維持への寄与も期待できる。

また、メガフロートを研究拠点として活用することは、様々な分野に関連した人々が集まるきっかけともなりうる。メガフロートを建造するにあたっては、造船業および海洋技術に対して理解のある人物が必要である。とくに、さまざまな拠点施設を想定し、それら施設が目的を達成できるよう利活用を行っていくためには、多分野の専門人材が必要となる。また、教育・研究施設としても利活用していくためには、大学や専門学校等教育機関から海洋系の人材を集中させる必要もある。メガフロートという前例のない施設実現には、こうした大規模な人材雇用や鹿児島を挙げての拠点施設への人材集中を行わなければならない。また、こうした施設を運用するにあたっては、維持管理に必要な経費を含めて収益をあげる必要がある。公共施設として利益を目的としない選択肢もあるが、長期間持続的に運用を行い、利活用していくことを目指す場合には、何らかの収益源の有無が、その存続の在り方に大きくかかわる。そのため、行政や学術分野のみならず、商業分野での人材も多く必要となる。

他方で、幸いなことに鹿児島県には、水産学校や大学の水産学部等が一定数存在する。

また、鹿児島市には複数の大学が立地しており、鹿児島湾を囲む地域として考えると全国でも唯一の国立体育大学があるなど、多くの多様な人材を確保することが見込める。こうした既存の教育施設・機関の協力を得られることができ、そうした人々がIV. 3. (1) で挙げたような交流の拠点施設を活用して交流を行えば、技術・学術的な交流のみならず、新たな角度からのアイデアや文化の発生も期待できる。とくに、学術に関連した施設は、鹿児島県の未来を考えるうえでもっとも重要な施設の一つであり、こうした施設を増やす余地が少ない鹿児島県中心部において、拡張余地があるメガフロート施設の必要性は大きいと考えられる。

第 2 に、土地としての余裕と海上にあるという特異性を活かしたレジャー施設を検討する。現在の鹿児島市には、遊園地やテーマパークといったレジャー施設はない。水族館や動物園、公園等を含めた定義であれば本港区エリアにも存在するが、遊具や商業施設も整備されたいわゆる遊園地と呼ばれるような大型複合施設としてのレジャー施設は、鹿児島県内でダグリ岬遊園地ただ一か所のみである[47]。歴史的に見ると、鹿児島市内においても遊園地は存在していたが、すでに閉園されて久しい。こうしたレジャー施設をメガフロートに整備することができれば、現在は他県や鹿児島県内でも最西部に近いダグリ岬遊園地まで行くしかない人々に対して、新しい選択肢を提供することが可能である。とくに、ダグリ岬遊園地のアトラクションは「エモい」「昭和レトロ」な施設として独自の魅力を放っており、新しく遊園地ができた場合にも、競合して共倒れとなるとは想定しにくい[48]。そのため、鹿児島県として掲げる「稼ぐ力」としての域外から稼ぎ、域内で循環させるというイメージにも沿う。また、遊園地や大型複合レジャー施設は、若者の地域への再訪に影響する要素についての調査[49]において、その再訪したいと感じる要素として「とても影響する」と評価した割合で比較的大きな割合を占めている。つまり、遊園地や大型複合レジャー施設は、若者にとって魅力的と考えられているということである。こうした施設を整備することで、未来を担い、今後の社会を作っていく若者らが集まれば、そこから地域の活性化へとつながる可能性がある。

以上のように、メガフロートの設置は、「土地」として利活用できるという特長を活かし

---

47 ダグリ岬遊園地「ダグリ岬遊園地　最新イベント情報」[https://daguri.co.jp/concept/] 2023 年 4 月 12 日閲覧。

48 ちえ「それでも“鹿児島唯一の遊園地”として続けたい。「ダグリ岬遊園地」の 40 年間が懐かしさと思い出に満ちている」『SPOT』2021 年 [https://travel.spot-app.jp/daguri/] 2023 年 4 月 12 日閲覧を参考。

49 伊豆田義人、西川友子、中川恵、渡邊彩華「若者の地域への再訪に影響する要素について」『山形県立米沢女子短期大学紀要』第 54 号、2019 年、33～40 頁を参考。その地域に何度でも訪れたいと感じるのに、要素ごとにどの程度影響するか調査し、「一日中過ごせる遊園地や大型複合レジャー施設」は「とても影響する」が比較的多かった。なおこの調査は、東北地方の短期大学・大学に在籍する 1・2 年女子学生を対象に行われ、133 名分のデータから分析された。

て、さまざまな夢を持たせることができる。こうした夢を実現させることができれば、鹿児島県は大きく発展し、可能性を持った未来を次世代へと引き継ぐことができるはずである。

4. 本港区エリアの利活用について

本港区エリアの利活用については、III. にて前提条件をまとめたが、ここでもう一度整理する。まず、桜島フェリーターミナル周辺、南ふ頭、高速船ターミナル周辺については、グランドデザインにおいて現状のままとする条件[50]があるため、検討から除外する。また、ウォーターフロントパークについては、鹿児島県の鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会において、保全する方向でいる[51]ほか、筆者自身も保全すべきと考えているため除外する。残る北ふ頭、ドルフィンポート跡地、住吉町 15 番街区についてだが、北ふ頭については、低未利用施設の活用や交通環境の整備といった観点から今後さらなる検討を行うべきではあるが、早急に結論を出して整備を行う必要もないと考えている。まずは、現在の本港区エリアの大きな魅力である景観や余裕ある緑地空間、離島や桜島航路の集積地という利点を最大限に活かすことが、もっとも重要であると考える。

ドルフィンポート跡地については、現在検討が進められている鹿児島市の路面電車（以下市電）の本港区エリアでの路線新設計画[52]において、ルート案[53]の路線隣接地に立地している。メガフロートの設置を前提とすれば、同地にはスポーツ・コンベンションセンターやスタジアムの整備を行わないため、敷地の余裕や既存施設との接続、計画されている国道 10 号鹿児島北バイパス開通による自動車交通とのすみ分けといった点から、今後検討される新設路線での路面電車停留所（以下電停）設置場所としての利用が考えられる。ドルフィンポート跡地に市電の電停を設置すれば、北ふ頭・南ふ頭に集中している離島航路の利用者の周辺とのアクセスを大きく向上させることができると考えられる。また、本港区エリアの中心部に電停を設置することで、桜島を正面に臨む唯一無二の景観を持った電停として、観光客らの利用も見込める。

住吉町 15 番街区については、メガフロートへの交通アクセス手段である船舶および空飛ぶ車、ドローンの中継拠点としての利用を提案する。住吉町 15 番街区には、周辺に漁港を

---

50 鹿児島県『鹿児島港本港区エリアまちづくりグランドデザイン』2019 年、18 頁。
51 浦牛原健「市長「DP 跡厳しい」」『南日本新聞 2023 年 3 月 2 日付』19 頁。
52 鹿児島市「路面電車観光路線検討事業」
［https://www.city.kagoshima.lg.jp/kikakuzaisei/kikaku/kotuseisaku/machizukuri/igai/kokyo/romen/jigyo.html］2023 年 4 月 12 日閲覧。
53 鹿児島市「資料 2＜複数のルート案の設定＞」『路面電車観光路線基本計画策定委員会（平成 30 年度～）：第 2 回鹿児島市路面電車観光路線基本計画策定委員会（令和 2 年 3 月 26 日開催）』
［https://www.city.kagoshima.lg.jp/kikakuzaisei/kikaku/kotuseisaku/kankourosen_kihonkeiakku/tram_masterplan.html］2023 年 4 月 12 日閲覧。

中心とした港湾設備があり、漁船や瀬渡し船をはじめとした船舶が多数停泊している。また、建物等のない広い敷地があり、駐車場として利用されている。こうした既存設備や敷地を活かして、メガフロートと鹿児島市街地側との航路発着点として利用するのが、本港区エリア利活用に関する提案である。IV. 3. (3) にて海路・空路を用いた交通網の構築について述べたが、たとえメガフロートを設置したとしても、そこまで行くための港がなければその機能を活かすことはできない。とくに、目指す交通網が遠隔地からのアクセス改善が主眼であったとしても、人口集中地である鹿児島市街地側からのある程度簡便なアクセス手段は必要である。その役割を果たすためには、公共交通機関との連携あるいは、自動車の多数収容が可能な駐車場および混雑の発生しにくい余裕を持った道路網が必要である。

住吉町 15 番街区にはすでに、広大な敷地と駐車場があり、港湾設備も整っている。市電の新設計画ルート案においても、設定された 4 ルートすべてが同地を通るルートで検討されている。敷地余裕や既存電停間の距離間隔から見ると、同地に電停を設置するのは容易であると考えられる。実際に設置されれば、メガフロートへの鹿児島市街地からのアクセスの利便性は、かなり高くなると想定される。また、交通網同士あるいは文化、スポーツ、商業といった集客施設間の接続を改善することにもつながり、回遊性の向上にも寄与することが期待される。

以上の点から、本港区エリアの利活用においては新規施設の整備による集客を目的とするのではなく、現在の本港区エリアの魅力を活かすまちづくりを行うことこそがもっとも重要であると考える。とくに、県都中心の一等地ながら日の前に桜島と鹿児島湾を一望できる素晴らしい立地にあって、ビルやホテルなどの巨大商業施設を造らず、ただただ緑の公園が広がり、市民らが思い思いに自由に過ごせる空間があり、そしてそうした穏やかな光景が日常として見られることは、本港区にしかない最大の魅力である。この今ある魅力をどのように活かし、より多くの人々が利用する本港区エリアにすることが、筆者の考える本港区エリアの目指す姿である。

V. おわりに

鹿児島県には鹿児島湾内のみならず、太平洋や日本海に面した志布志港や川内港といった大規模港湾があり、離島にもそれぞれ規模は違うが多数の港が存在している。こうした港には、国際航路が就航しているところもあれば、漁船が中心の小規模なものもある。しかし、これらの港はすべて、なくてはならない重要な港である。これらの港を今後も持続的に活用し、海と共に生活していくことは、鹿児島県ひいては海洋国家日本の重要課題である。この解決に対して鹿児島県は、重要な役割を提供していくことができる潜在能力を持っている。そして、解決につながる取り組みを行っていくことは、他に類をみない独自性を持つ鹿児島県の発展にもつながっていくはずである。

メガフロートを鹿児島県に居住する人々、鹿児島県に訪れた人々、それぞれにとっての最初の宝箱として開けてもらい、その宝箱の中から、さらに宝の地図を見つけてもらう。

そして、地図にあった宝箱のありかである鹿児島県の各地を訪れ、話し、交流し、その人だけの宝物を見つけてもらう。これこそが、本提案の夢である。

参考文献（一部脚注掲載分含む）

1) 鹿児島県総合政策部総合政策課『かごしま未来創造ビジョン』改訂版、鹿児島県、2022年
2) 鹿児島県『第2期鹿児島県まち・ひと・しごと創生総合戦略』2020年
3) 鹿児島県『鹿児島港本港区エリアまちづくりグランドデザイン』2019年
4) 鹿児島県環境林務部環境保全課『鹿児島湾ブルー計画：鹿児島湾水質環境管理計画』鹿児島県、2021年
5) 鹿児島県PR・観光戦略部観光課『鹿児島県観光振興基本方針』鹿児島県、2020年
6) 鹿児島市企画財政局企画部政策企画課『第六次鹿児島市総合計画』2022年
7) 鹿児島市建設局都市計画部都市計画課『第二次かごしま都市マスタープラン』2022年
8) 鹿児島商工会議所『鹿児島市中心市街地及びウォーターフロントを中心としたまちづくりビジョンに関わる提言』2023年
9) 国土交通省観光庁『宿泊旅行統計調査報告（令和3年1～12月）』2022年
10) 国土交通省観光庁観光戦略課観光統計調査室編集『訪日外国人の消費動向：2019年　年次報告書』2020年
11) 国土交通省海事局『海事レポート2022』2022年
12) 国土交通省「国際バルク戦略港湾の選定結果について」2011年［https://www.mlit.go.jp/report/press/port01_hh_000076.html］2023年2月18日閲覧
13) 国土交通省『港湾調査　港湾統計（年報）』「第1部　入港船舶・船舶乗降人員及び海上出入貨物総括表　第3表　海上出入貨物表　（2）品種別都道府県別表（輸移出入）」2023年2月19日閲覧
14) 千相哲編著『九州観光学：九州の観光を読み解く』晃洋書房、2018年
15) 深見聡『観光と地域：エコツーリズム・世界遺産観光の現場から（南方ブックレット8）』南方新社、2019年
16) 塩見英治、堀雅道、島川崇、小島克己編著『観光交通ビジネス』成山堂書店、2017年
17) 朝日吉太郎「ホスピタリティの観光インフラ化による異文化バリアフリーに向けて：鹿児島の観光開発のためのもう一つの視点」鹿児島県立短期大学地域研究所『研究年報』第38号、2006年、51～66頁
18) 村松美邑、後藤春彦、山村崇、林廷玟「外国人観光客が捉える「名もなき景観」の価値と景観の意味解釈の構造：韓国人リピーター観光客の語りの分析を通して」『日

本建築学会計画系論文集』第 86 巻、第 786 号、2021 年、2125～2135 頁
19) 佐藤友理子、岡本直久「国内旅行におけるリピーターの行動特性及び醸成要因に関する研究」『土木学会論文集 D3（土木計画学）』第 67 巻、第 5 号（土木計画学研究・論文集第 28 巻）、2011 年、I_455～I_464 頁
20) 深田忠徳「鹿児島県におけるスポーツツーリズムに関する事例研究：サッカーイベントに着目して」『地域総合研究』第 49 巻、第 1 号、2021 年、41～49 頁
21) 島津忠裕、鷲崎俊太郎「世界文化遺産登録に向けた鹿児島市の観光まちづくり：鹿児島駅を起点とする交通ターミナルの課題と提言」『歴史地理学』第 57 巻、第 1 号、2015 年、72～87 頁
22) 大方優子「旅行者と旅行先との関わりに関する実証研究：顧客エンゲージメントの視点から」『第 36 回日本観光研究学会全国大会学術論文集』2021 年、61～66 頁
23) 栗原剛、坂本将吾、泊尚志「訪日リピーターの観光消費に関する基礎的研究」『土木学会論文集 D3（土木計画学）』第 71 巻、第 5 号（土木計画学研究・論文集第 32 巻）、2015 年、I_387～I_396 頁
24) 萩原史朗「秋田のサッカースタジアム新設に関する経済波及効果および費用対効果の推計」『秋田大学教育文化学部研究紀要　人文科学・社会科学部門』第 74 巻、2019 年、61～70 頁
25) 伊豆田義人、西川友子、中川恵、渡邊彩華「若者の地域への再訪に影響する要素について」『山形県立米沢女子短期大学紀要』第 54 号、2019 年、33～40 頁

鹿児島港本港区エリア
利活用アイディア

姶良市 [redacted]

920

217

- 一人当たり県民所得　250万9,000円　全国44位

- 平均年収は404.9万円　全国38位

（男性：平均年収460.3万円　女性：平均年収322.8万円　男女差137.5万円）

- 子どもの貧困率　全国ワースト3位

- 透析患者数　全国ワースト6位
- 精神病床数10万人当たり、全国2位の多さ

（全国平均の２倍以上の病床数）

- 要介護、要支援者数　10万人超え

（全国平均より1.8ポイントも高い）

- ひどい頭痛持ちの人の割合２５.７％で全国1位

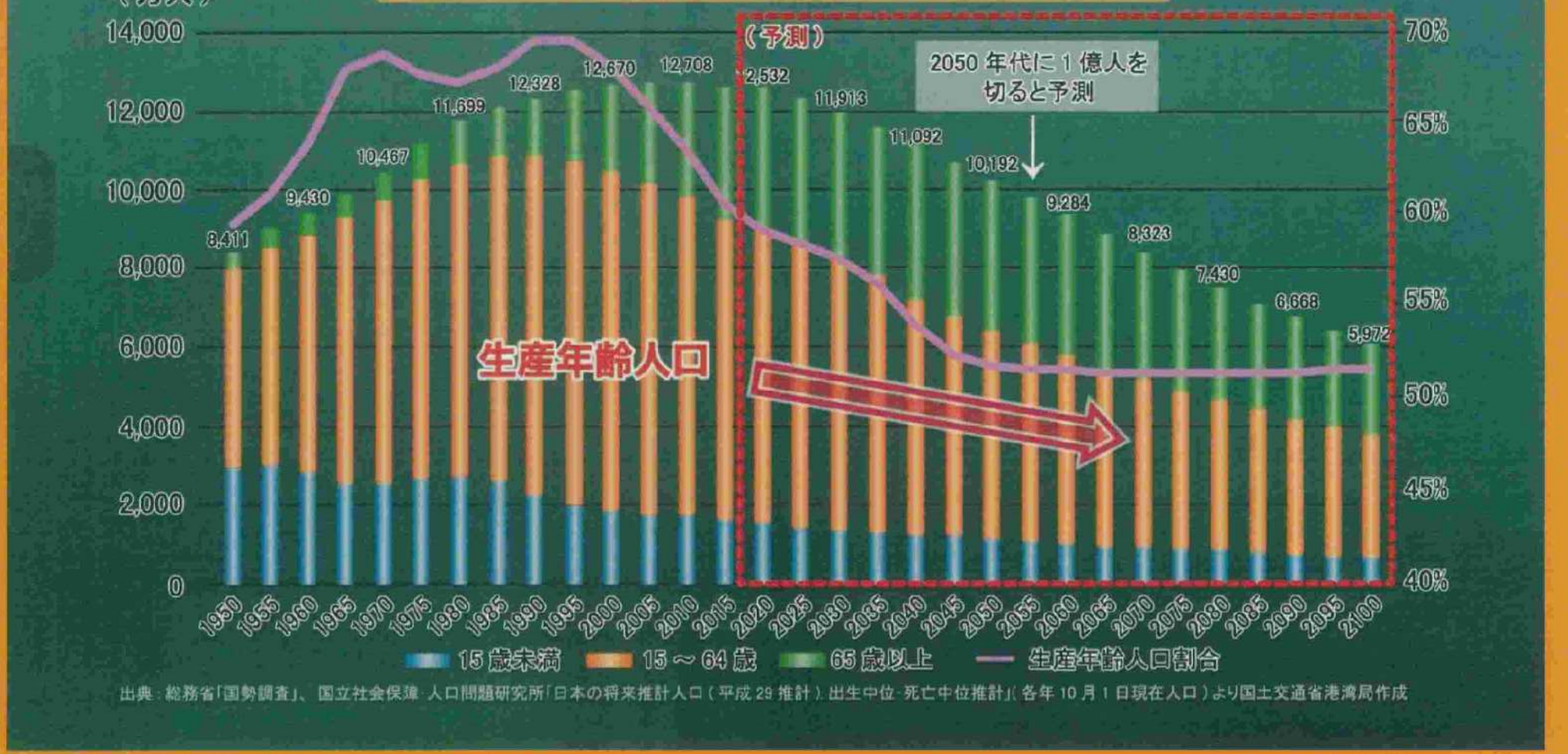
- 女子の大学進学率　全国　**最下位**

- 鹿児島市街地の**交通渋滞**　全国ワースト**１**位！

- 人口減少の加速、戦後初人口**１６０万人**を割り込む

(人口減少率３.６%全国平均0.7%を大幅に超える)

労働生産人口の減少と少子高齢化



出典：総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成 29 推計）出生中位・死亡中位推計」（各年 10 月 1 日現在人口）より国土交通省港湾局作成

鹿児島県の人口推移



【2020年】

総面積（k m²）	9,187	平均年齢（歳）	49.4	昼夜間人口比率（%）	99.9
人口密度（人/k m²）	172.9				

※昼夜間人口比率のみ2015年時点

※図中の点線は前回2013年公表の「将来人口推計」の値

© jp.gdfreak.com

データ出所：総務省 国勢調査及び国立社会保障・人口問題研究所 将来推計人口、
総務省 住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数を基にGD Freak!が作成

絶対に変わらない事実

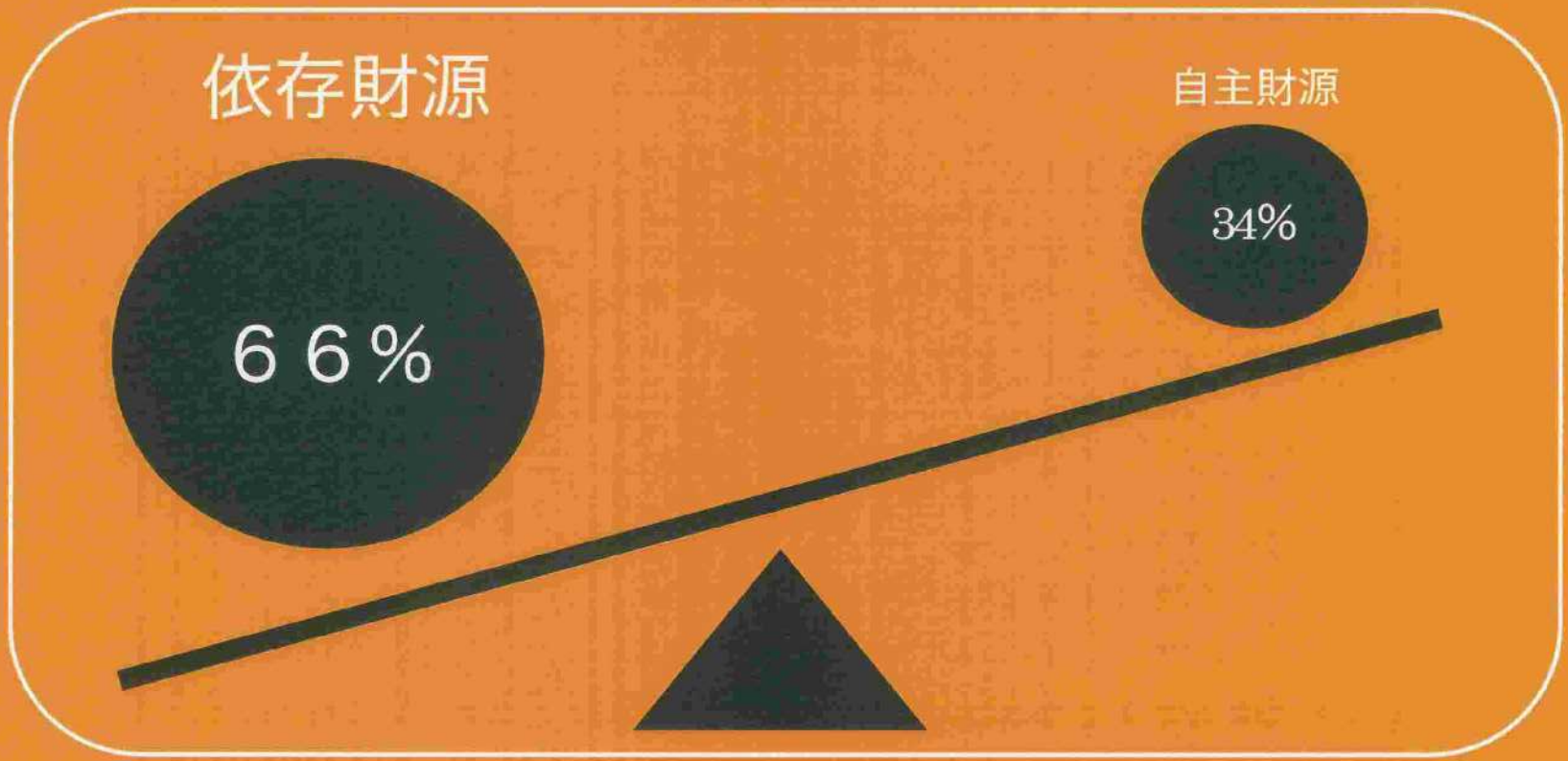
人口減少＆少子高齢化

▼

- 鹿児島県内市場の縮小＋国内市場の縮小

鹿児島県R5年度　当初予算（一般会計）

8,894億960万円



5,868億8,800万円

3,026億800万円

これの状況を
変えられるのは！

観光業

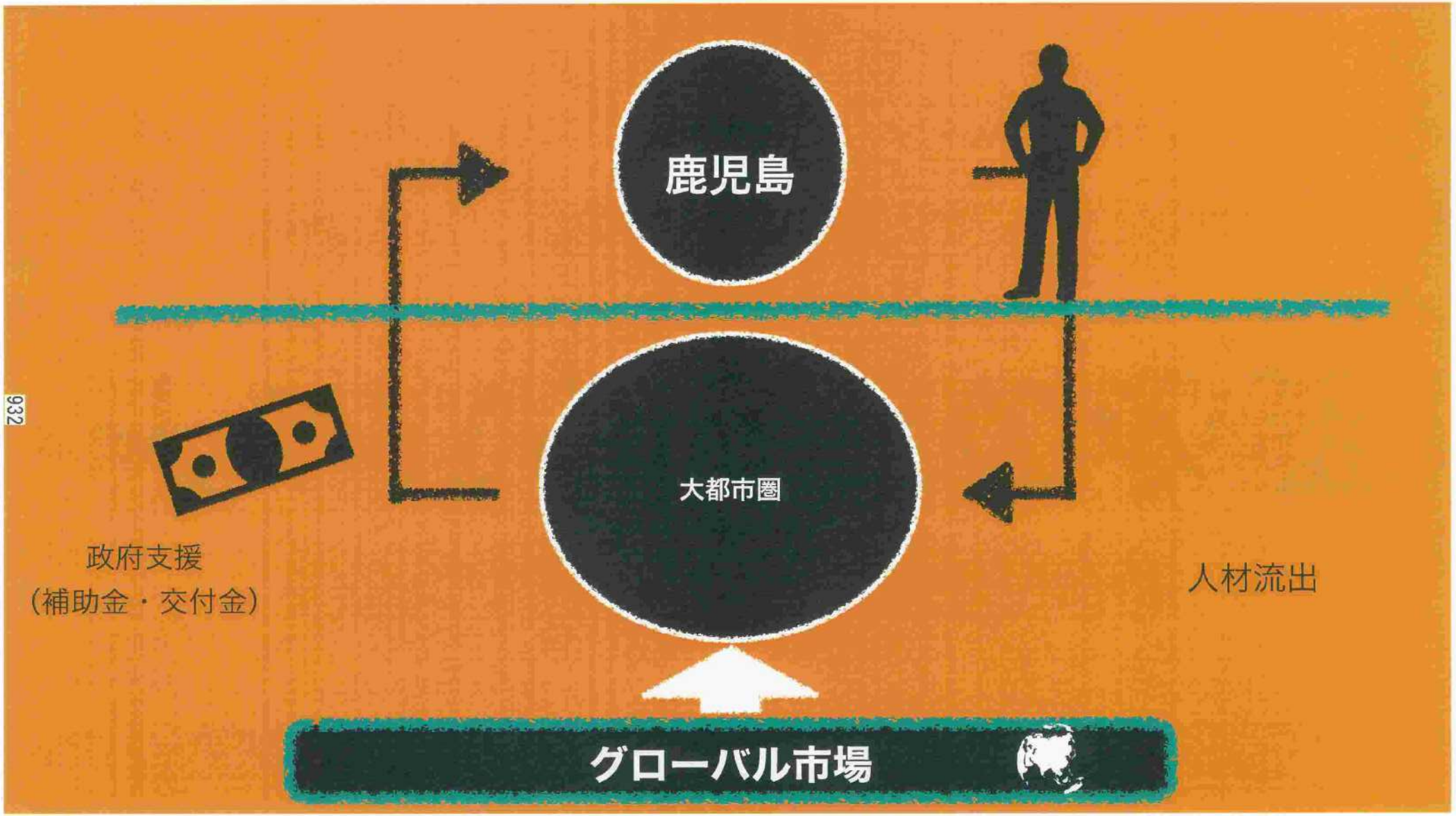
ローカル・ハブ

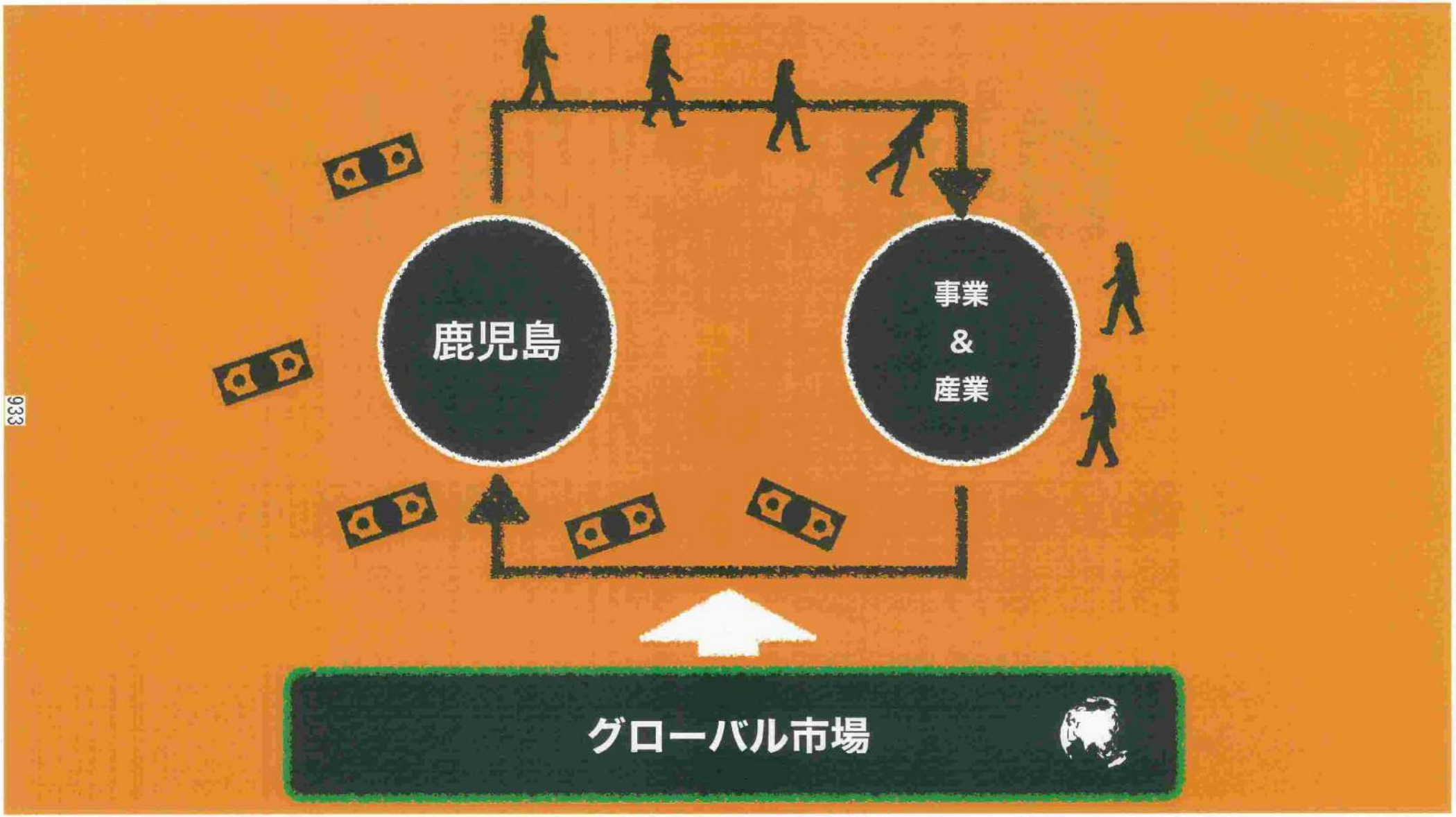


地方（ローカル）にありながら

世界中とつなぐ機能（ハブ）を有する都市

インバウンドの必要


鹿児島
大都市圏
政府支援
（補助金・交付金）
人材流出
グローバル市場


鹿児島
事業
&
産業
グローバル市場

なぜインバウンドが必要か？

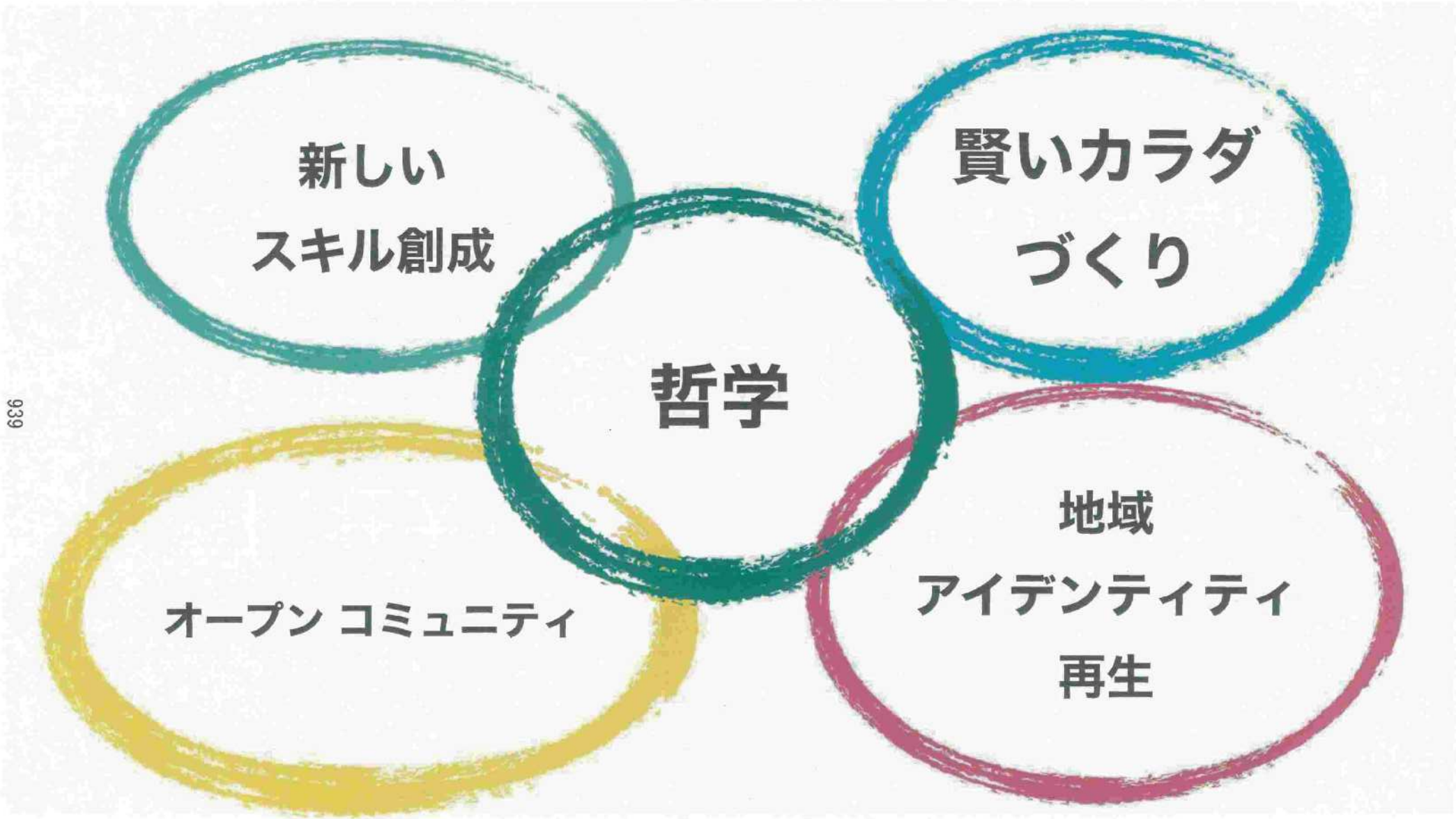
始良市内経済の縮小＋国内市場の縮小

外貨の獲得




総事業費300億円
利用者数40万人
経済波及効果
54億円
毎年１億円の赤字
本当に鹿児島にとっていいの？
① 景観・立地
②経済効果
③ 地球環境

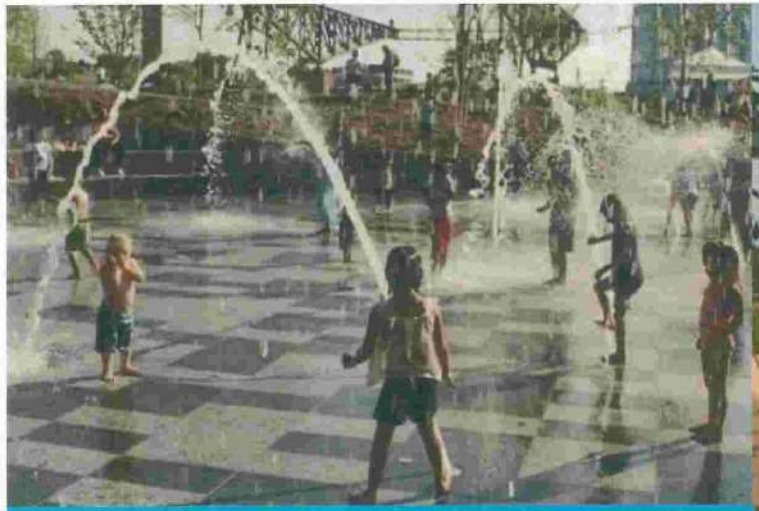
ローカルハブのシームウインドーを作るチャンス到来！


新しい
スキル創成
賢いカラダ
づくり
哲学
オープン コミュニティ
地域
アイデンティティ
再生

1.壮大な桜島をバックに
新しい環境芸術として
世界から注目される場所

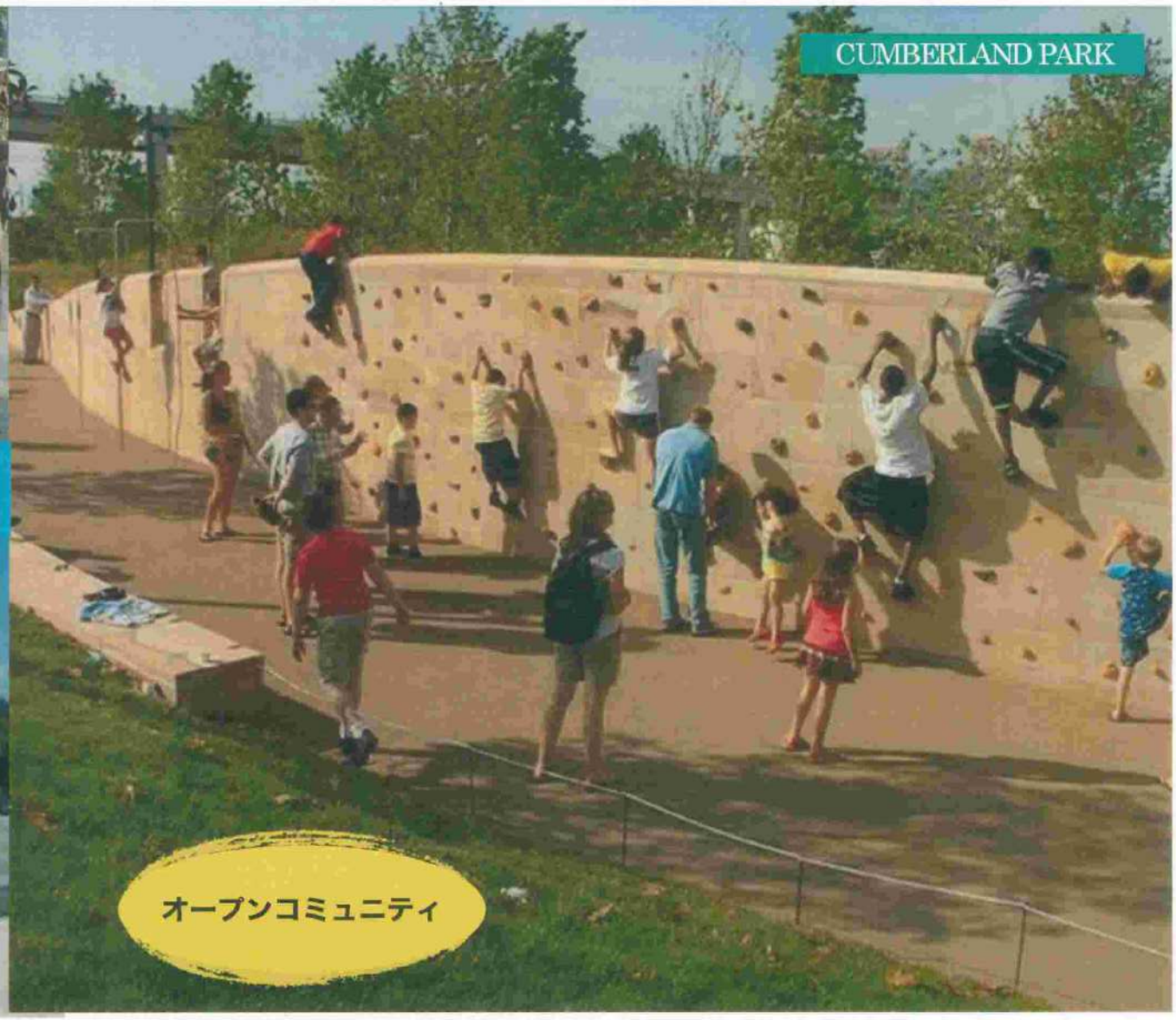
2. 自分の**好きな場所**を
見つけて
思い想いの時
を過ごせる場所

3. 偶然の出会い、発見により、インスピレーションの源泉を生み出す場所



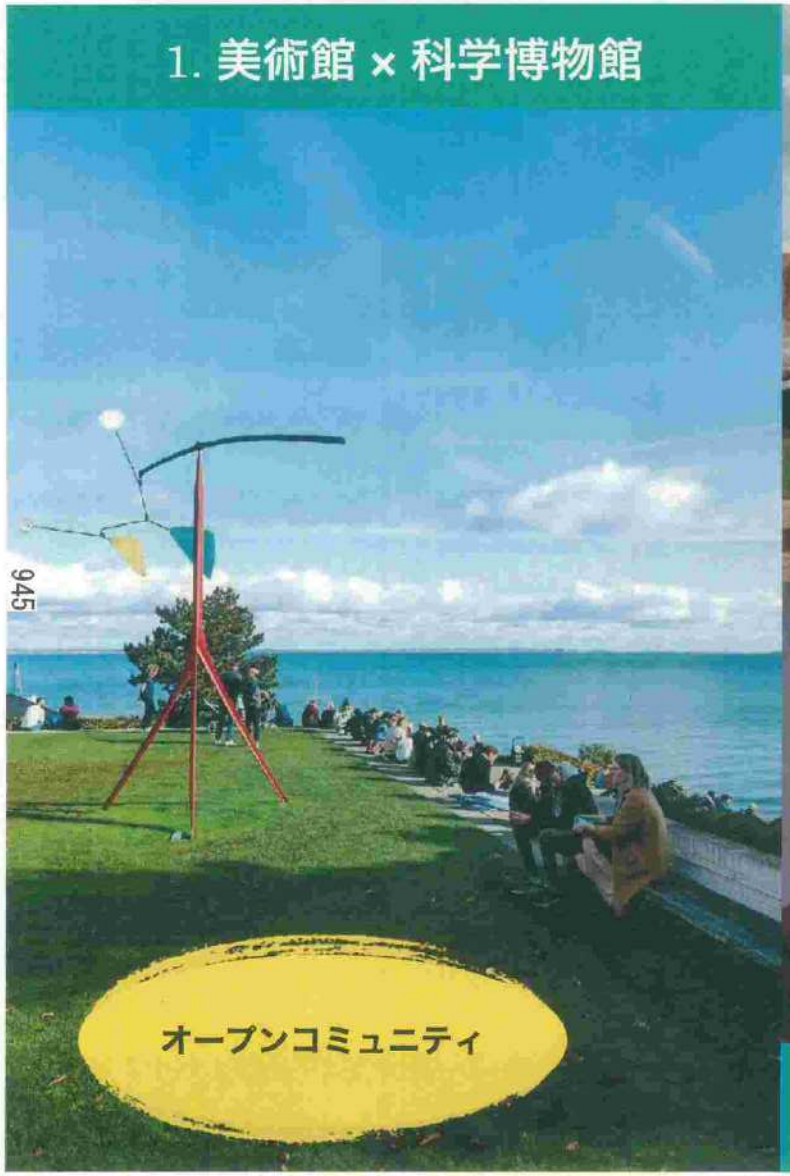
⑥スポーツエンターテインメント



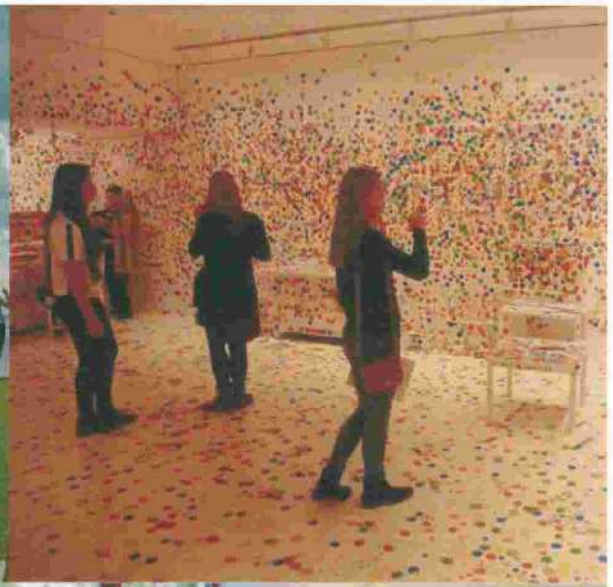


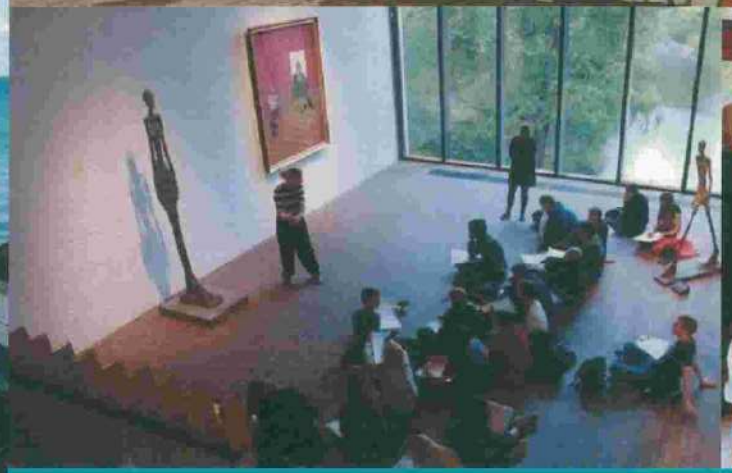

CUMBERLAND PARK
オープンコミュニティ

1. 美術館 × 科学博物館











人々は回廊で繋がれた建物を気ままに移動し、絵画、彫刻、映像などの
近代アートに触れ、カフェでひと休みし、テラスで海辺の風景を眺める。

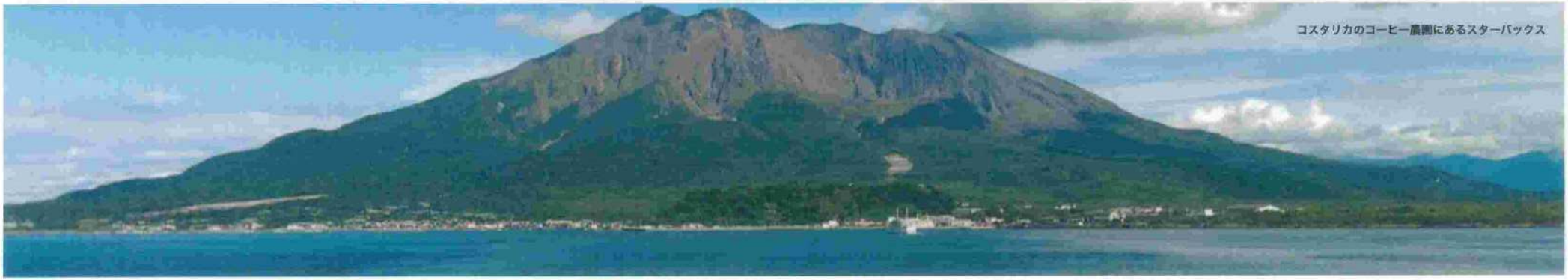
5. café

壮大な桜島

を目の前にした友人や家族との語らいの場。人と人との語らいで談をとることで、**日常の価値**に気づき、鹿児島の文化や生きる価値を**再発見**する。



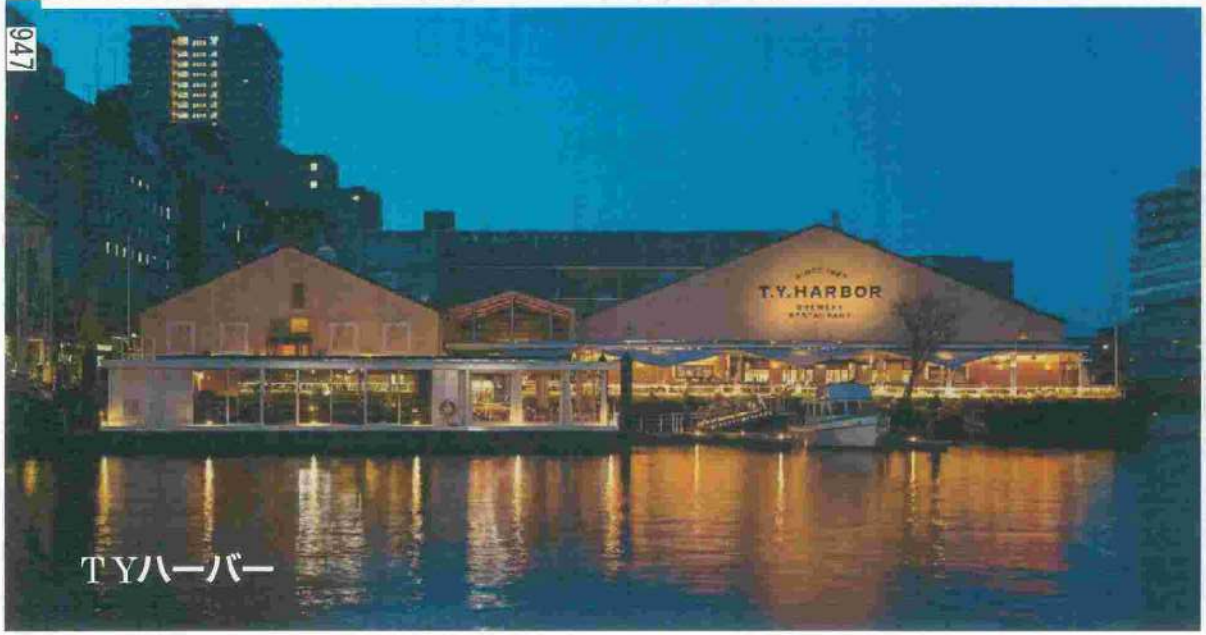



コスタリカのコーヒー農園にあるスターバックス

8. 海辺のレストラン







TYハーバー



2. イベントスペース



サタデーマーケット







スピーカーズ・コーナー

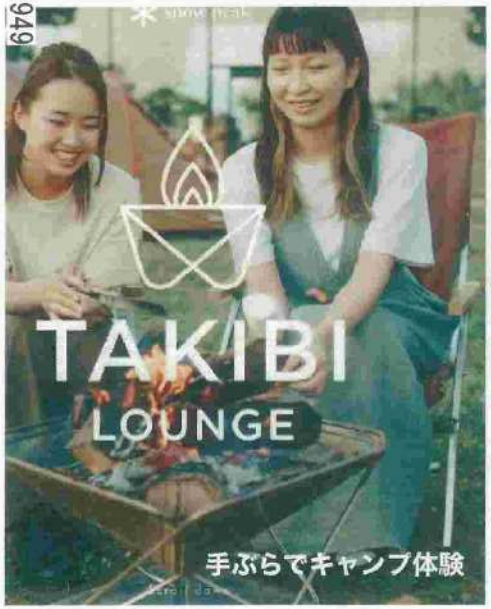


ナイトシネマ

4. アウトドア体験を通じたウェルネス＝鹿児島のショーウィンドウ

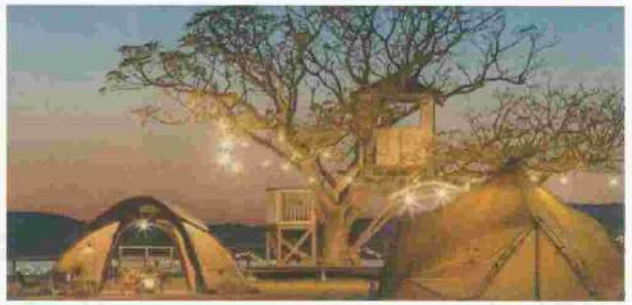








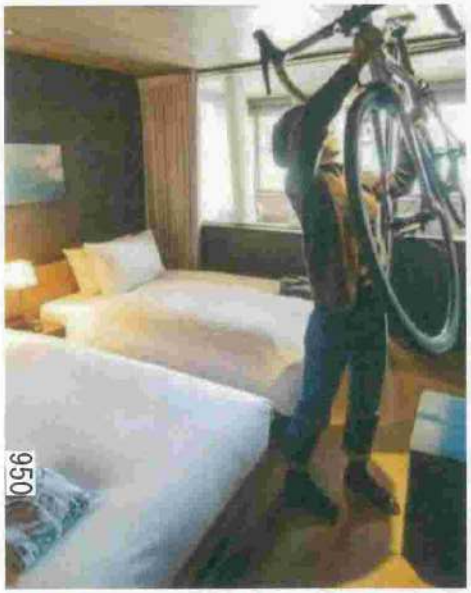
キャンプ場紹介を通じて
地方都市の紹介





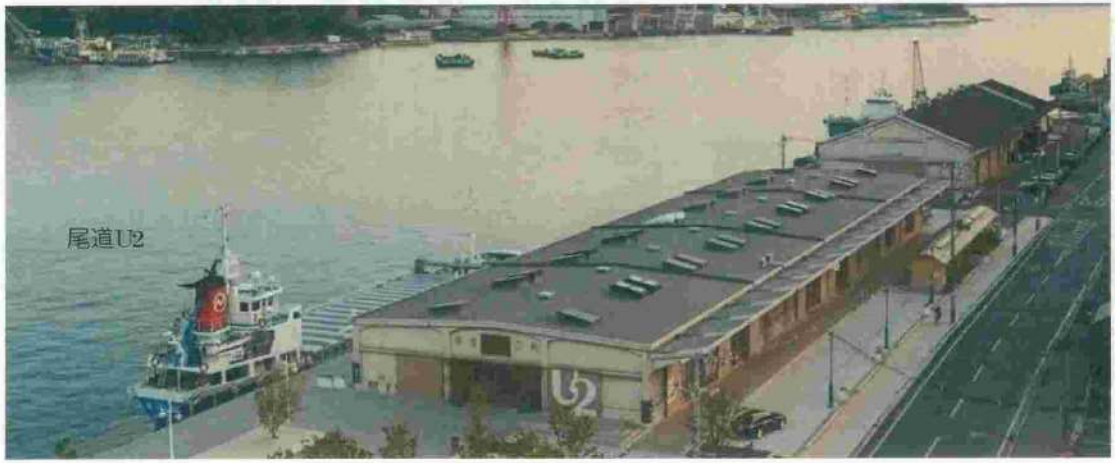


10. リノベーション ホテル





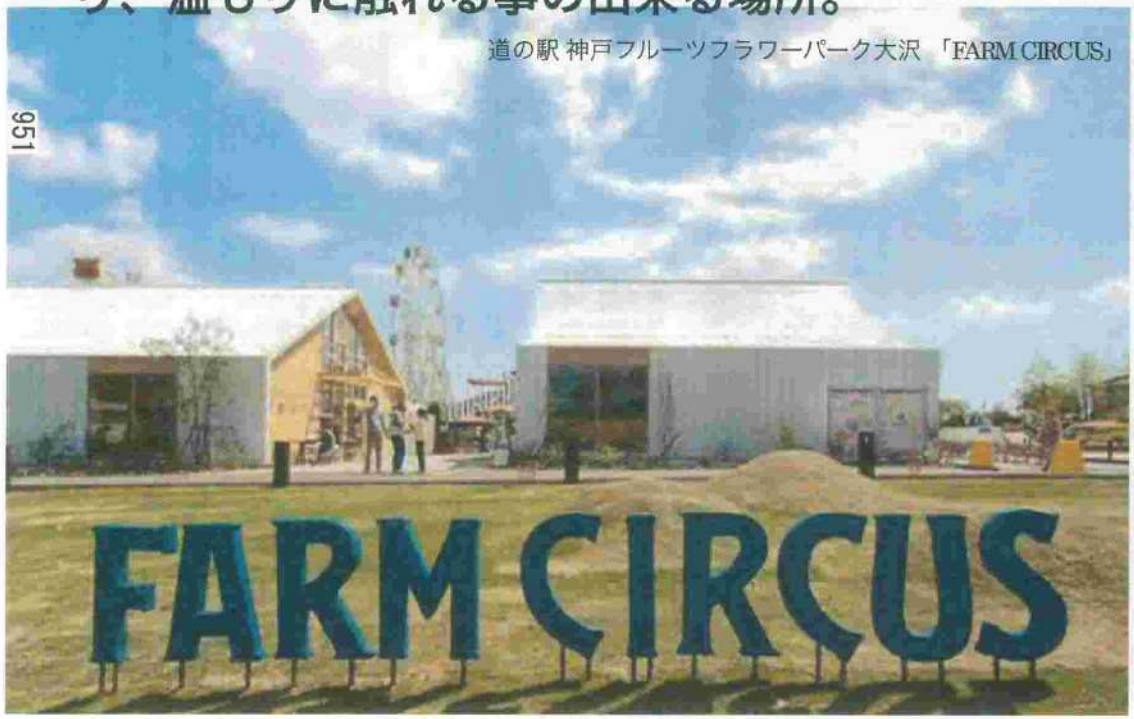






7. 都市型道の駅鹿児島のショーウィンドウ

地元の農家さんが毎日届けてくれる採れたての野菜や果物を買ったり、**鹿児島県全土から集まった良いモノ**に出会えたり、温もりに触れる事の出来る場所。



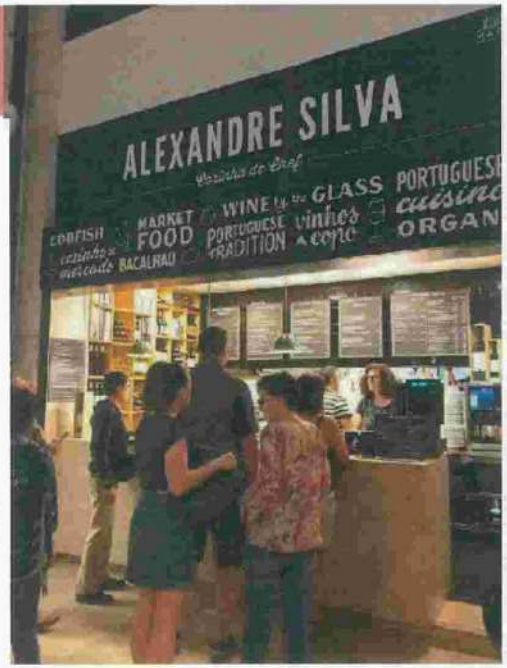
道の駅 神戸フルーツフラワーパーク大沢 「FARM CIRCUS」

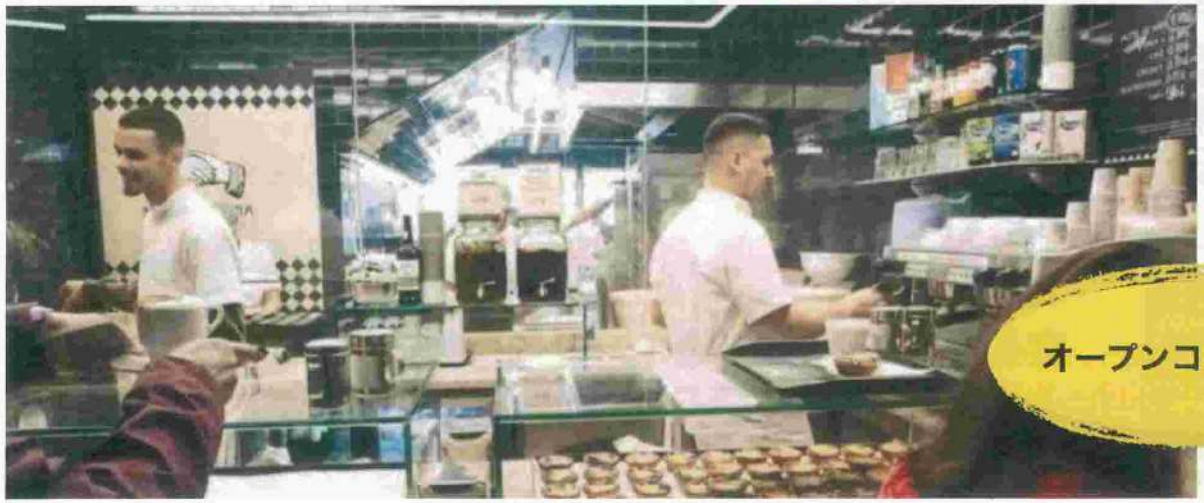


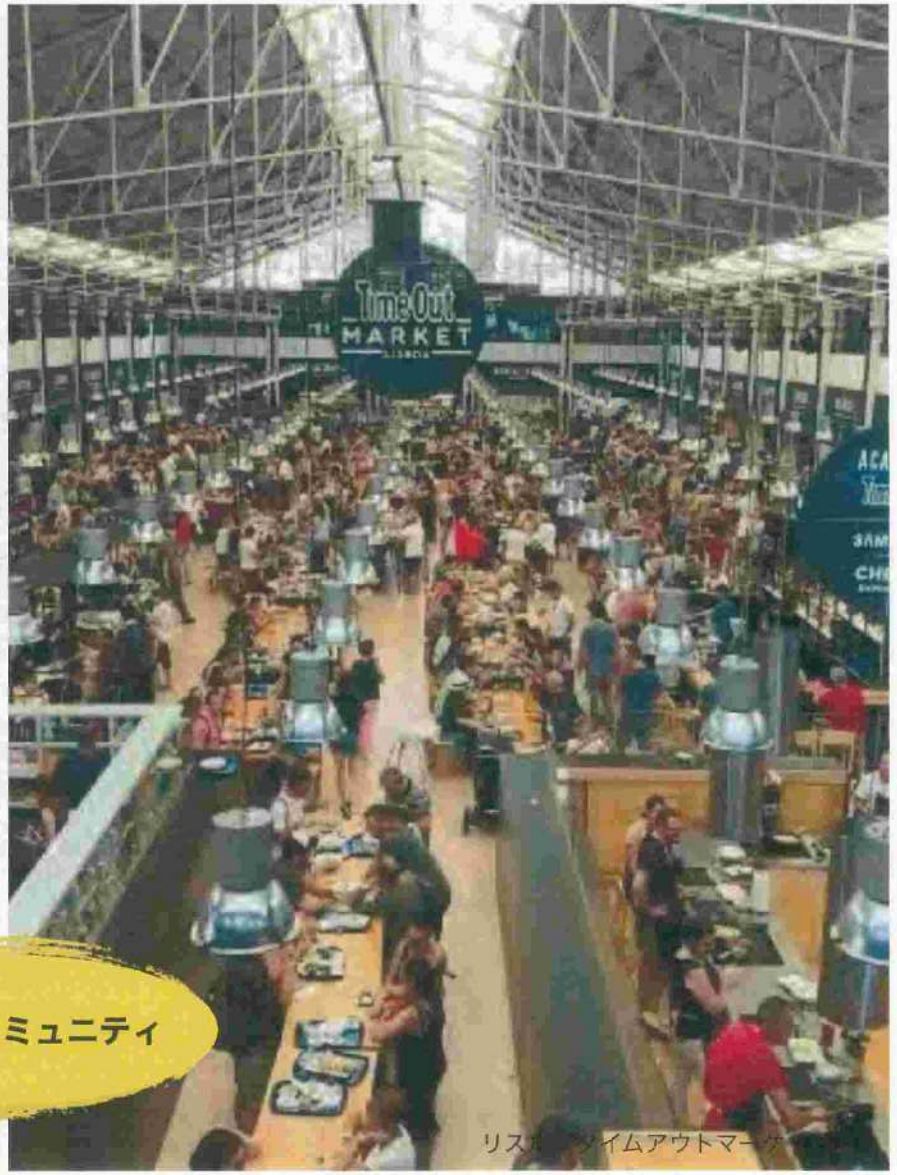


9. ローカルフードマーケット

- お洒落な空間
- ローカル感を味わえる
- 予約不要
- 一人でも気軽に行ける
- 店が多く飽きない
- 鹿児島の名店を集結
- 子どもから大人まで楽しめる







オープンコミュニティ

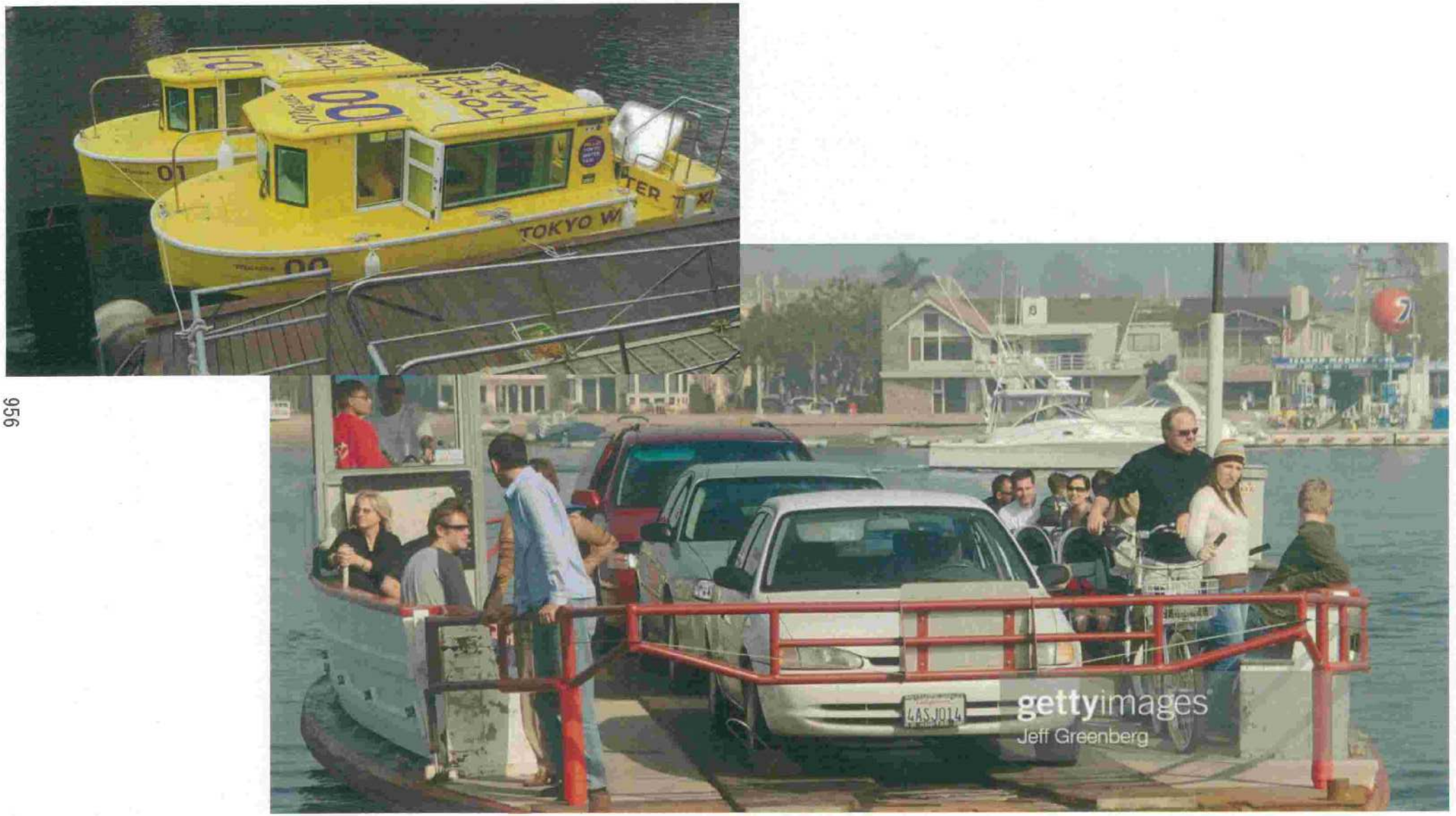
リスボン タイムアウトマーケ

海上交通


阿久根市
伊佐市
いちき串木野市
霧島市
鹿児島市
枕崎市
垂水市
指宿市
志布志市
南大隅町
鹿児島県
屋久島
種子島
奄美大島
与論島

Kagoshima Dream Team

水上タクシー


TOKYO WATER TAXI
01
00
gettyimages
Jeff Greenberg

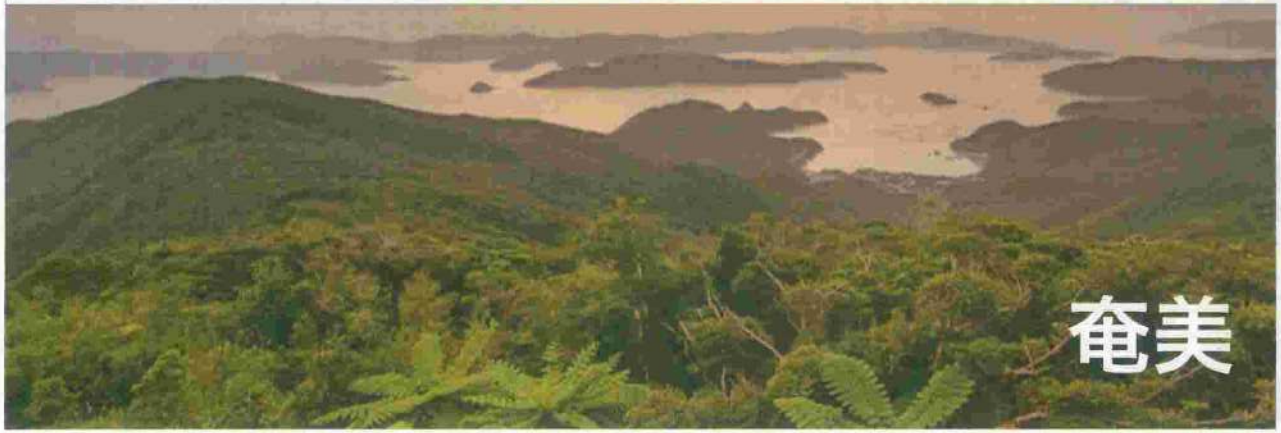

空飛ぶ水上タクシー　Sea Bubbles
957

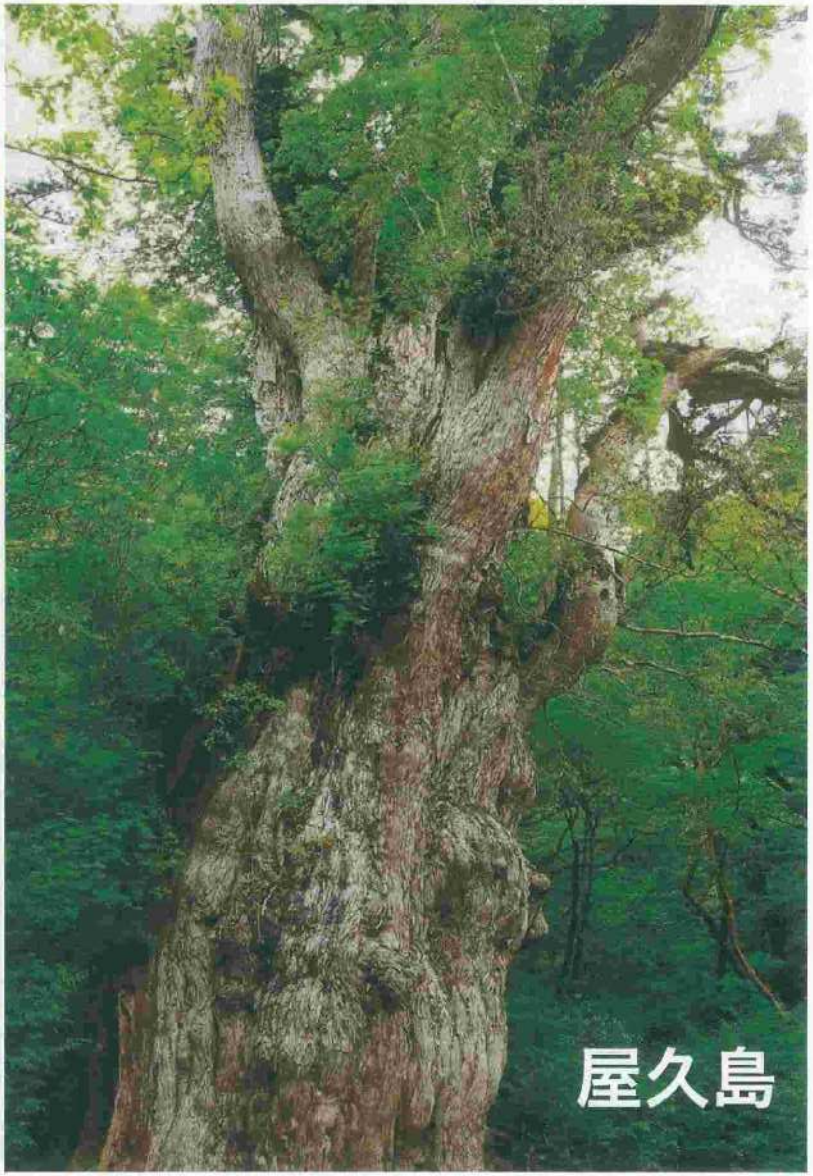
Kagoshima Dream Team

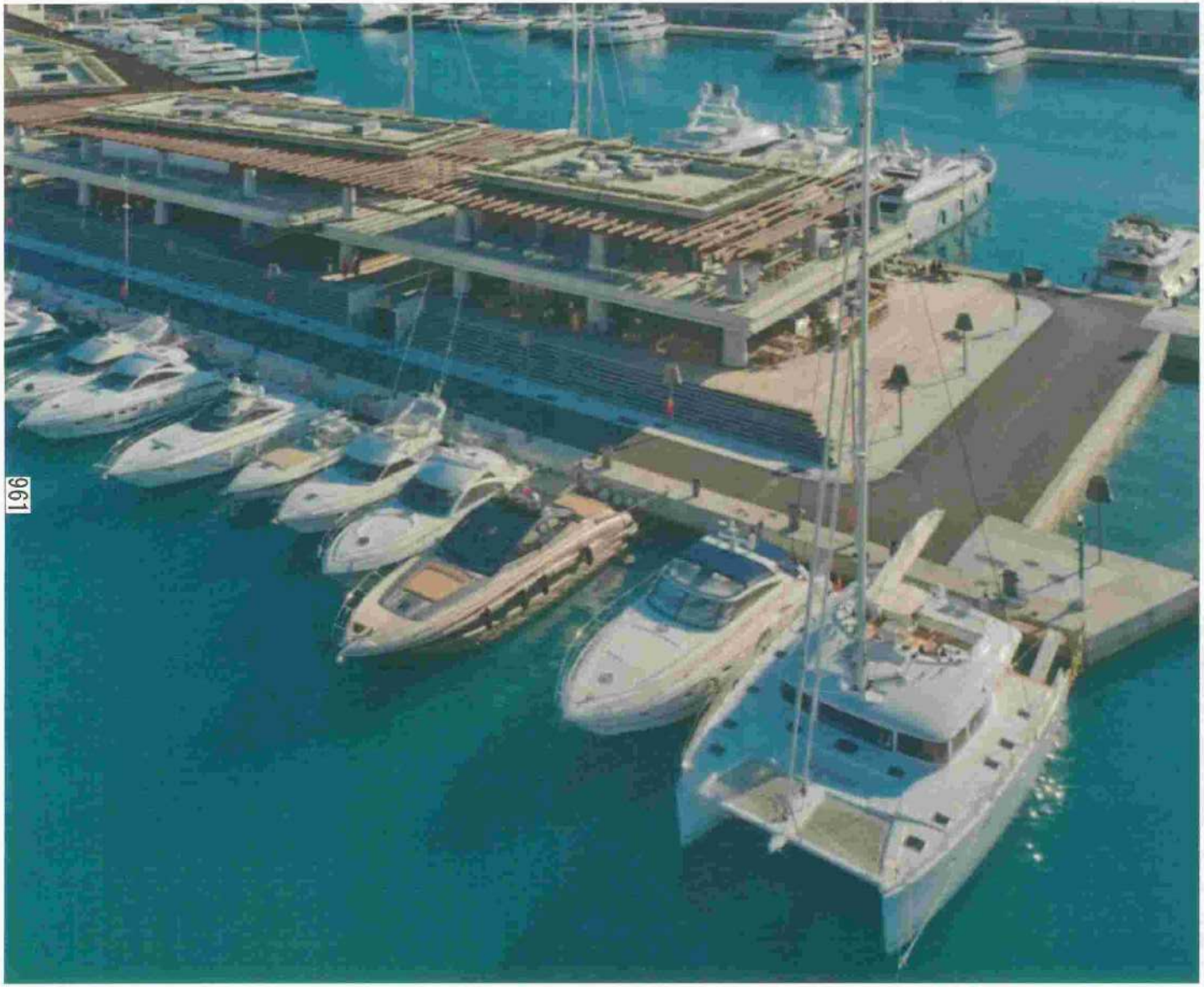
スーパーヨット


種子島

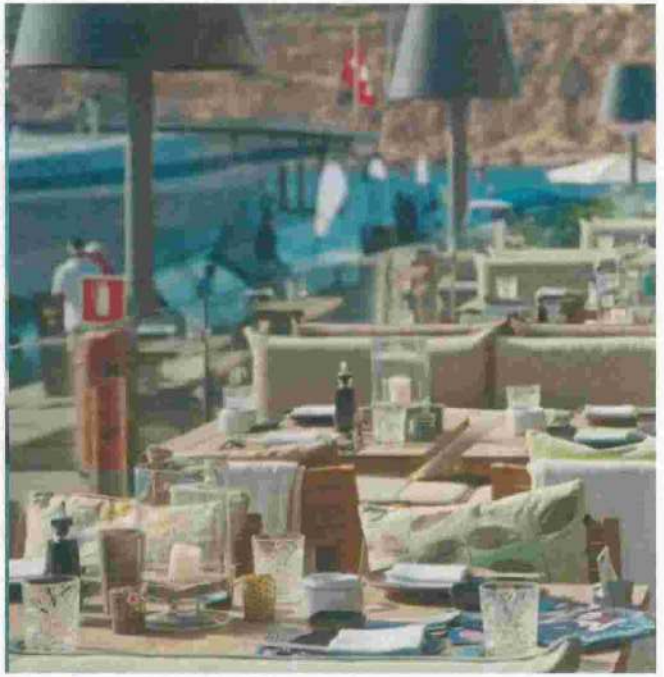
959

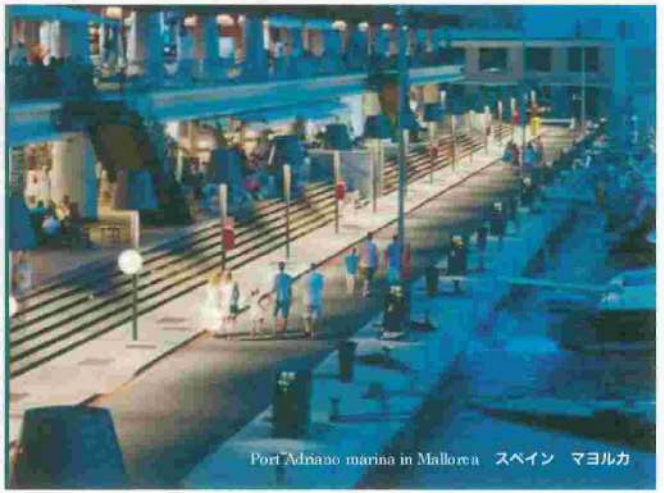

奄美


屋久島



961





Port Adriano marina in Mallorca　スペイン　マヨルカ

しん　しゅ

「進取の精神」

薩摩はかつてどこの藩よりも

外国に学んで外国のものを取り入れた。

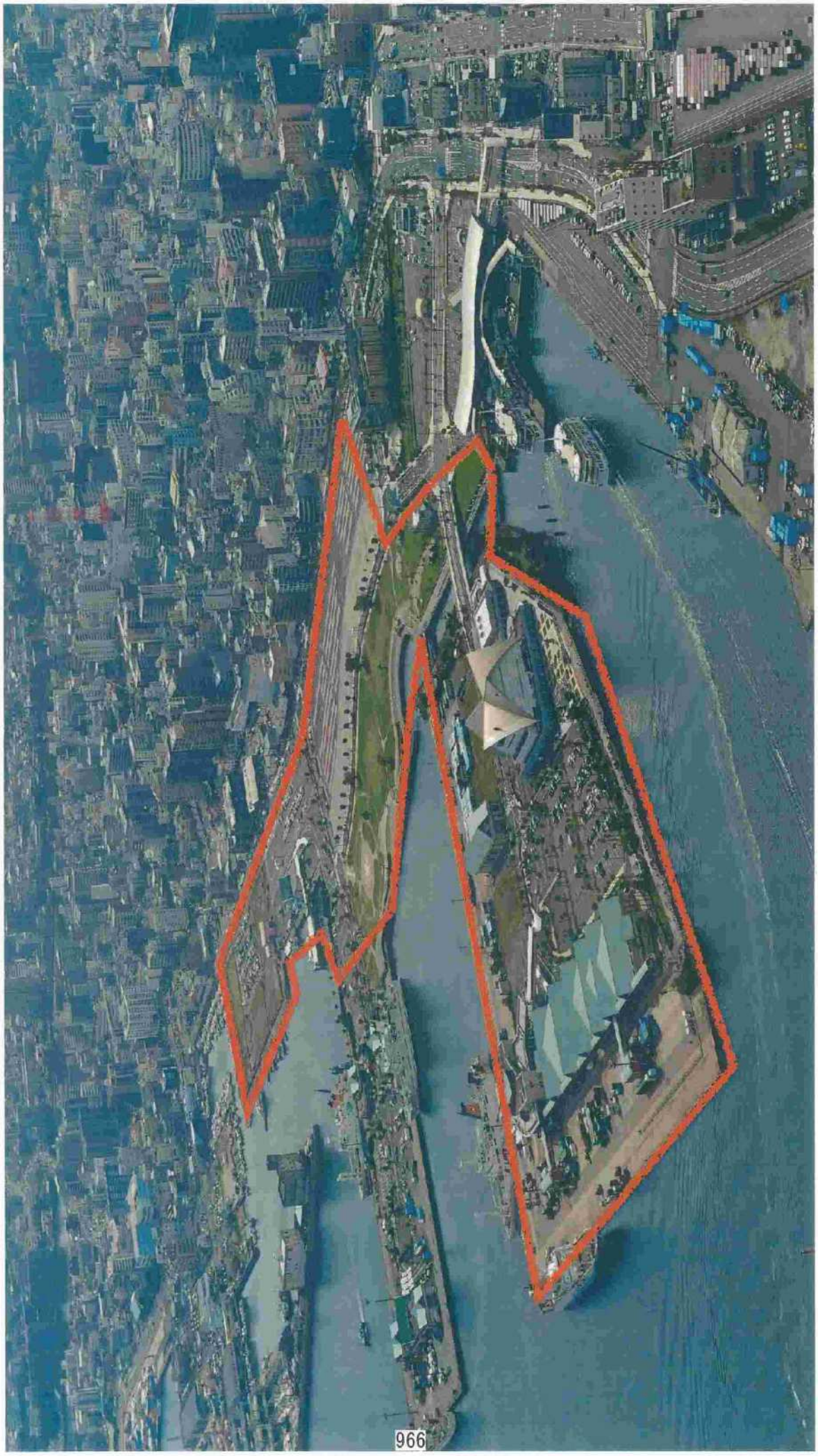
薩摩スチューデントと呼ばれた彼らは、帰国後、

日本の産業界において華々しい活躍。

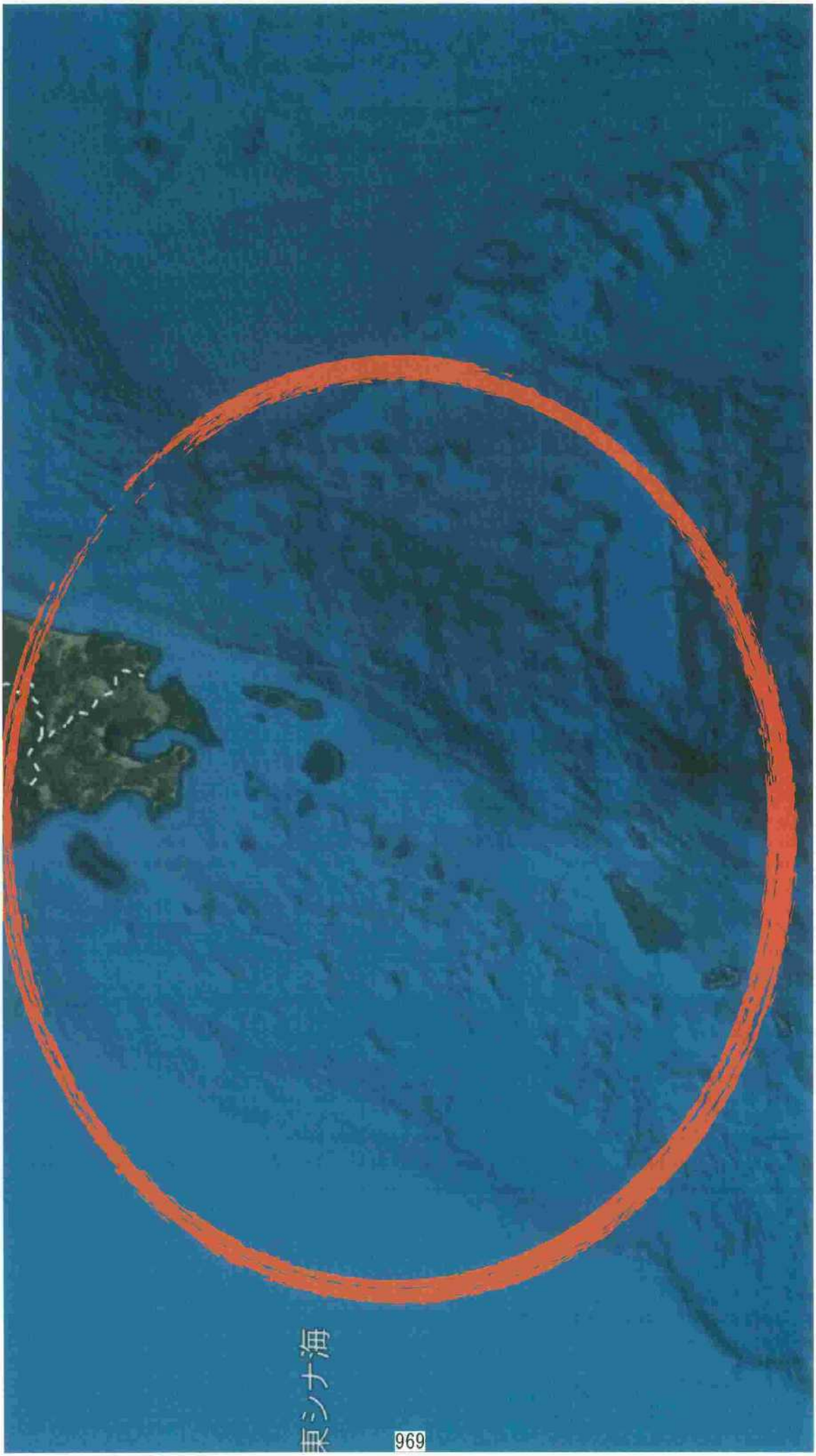
薩摩藩の維新の原動力となるエネルギーは

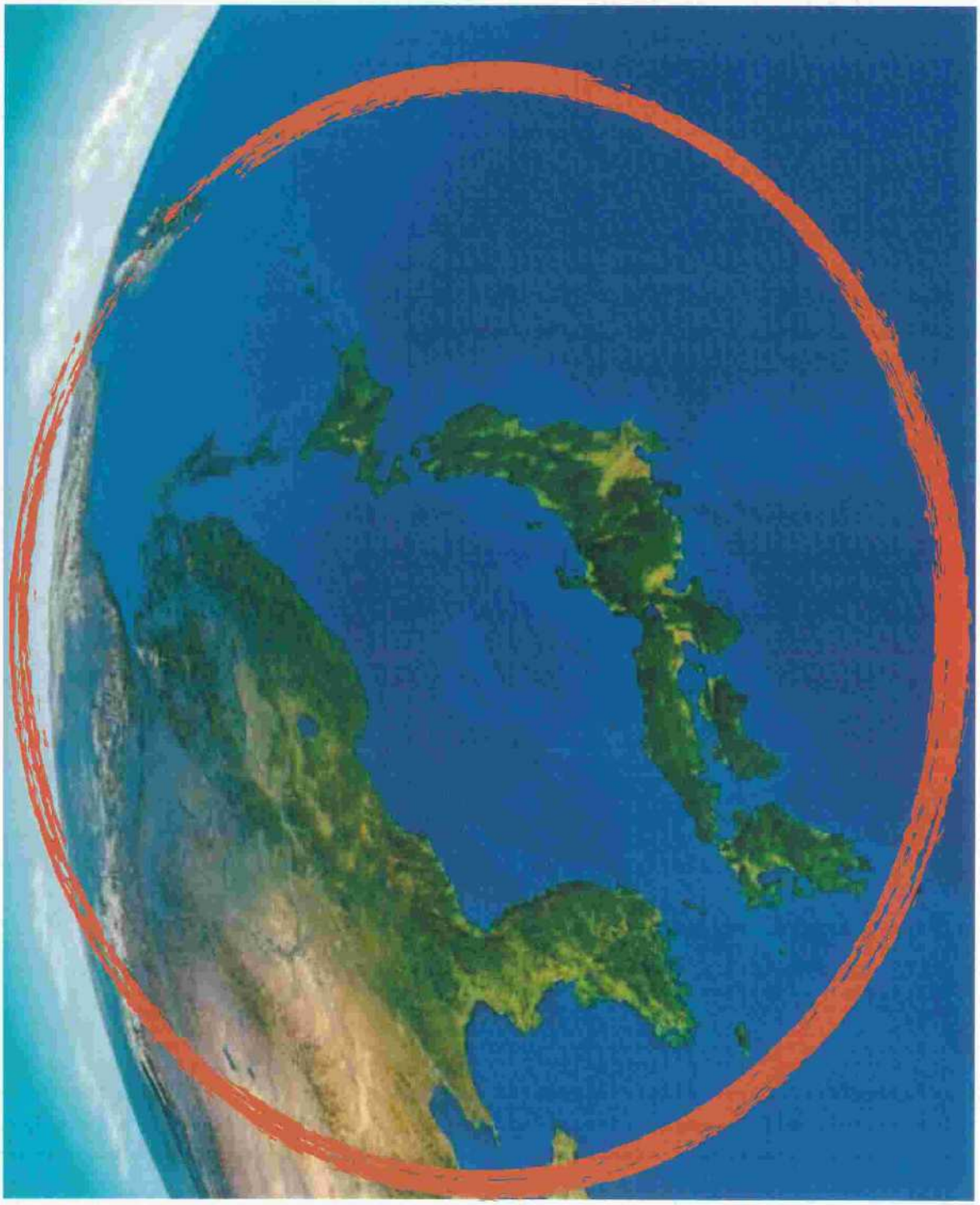
「進取（しんしゅ）の精神」に満ち溢れいた。

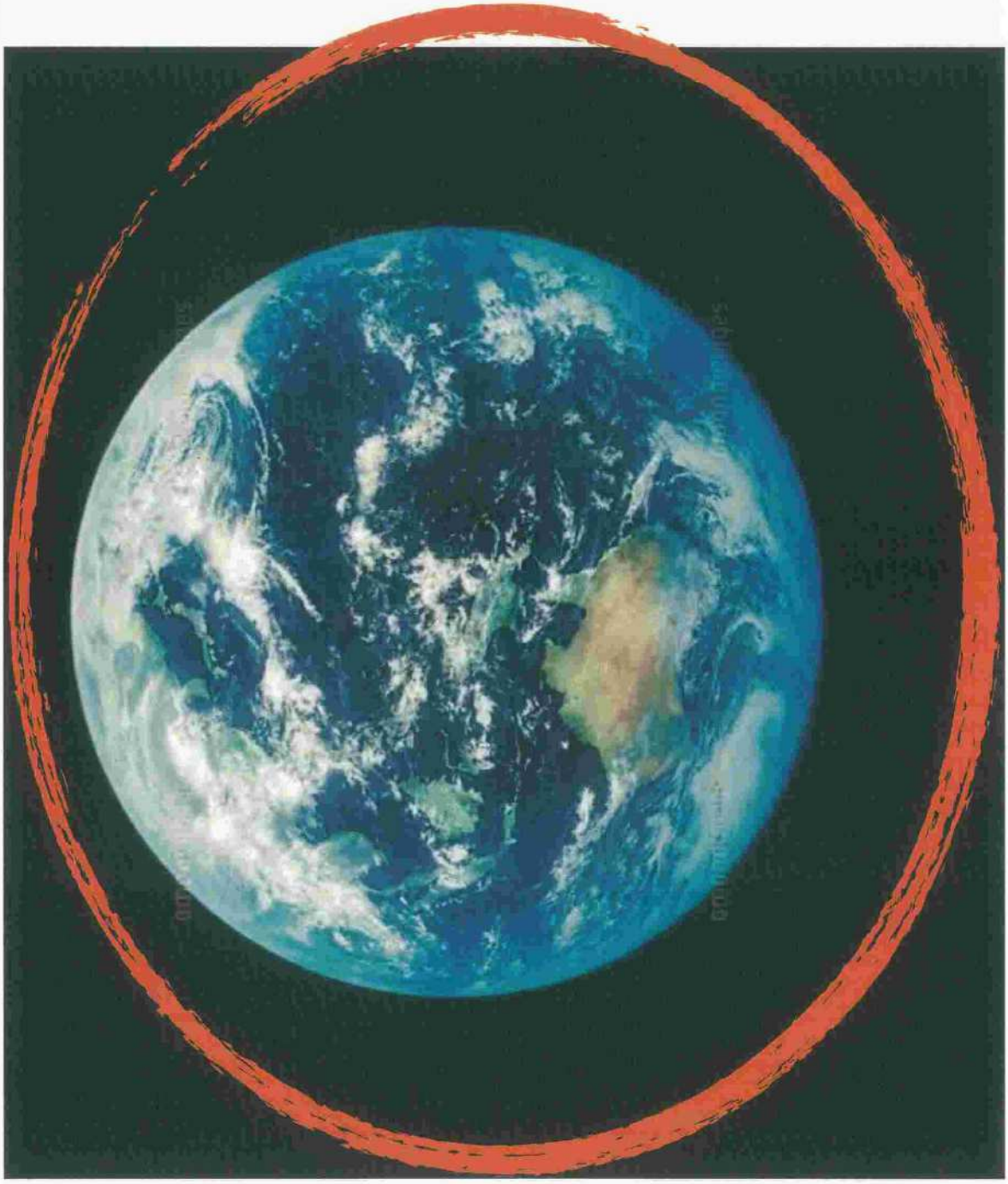
母の日ごとなく











鹿児島を未来の子供達のために

どう残すか？

港湾空港課
-5.4.17
受付

受付No.（事務局記載欄）	218

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」
応募申請書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（[redacted]）		住所	[redacted]	
性別	男	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・30代・40代・ 50代・(60)代・70代・ 80代以上	電話 番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名　　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			(可)　・　否		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム(e(いー)申請)」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付 No.（事務局記載欄）	

「鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア」
応募様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」

鹿児島県立 松陽高等学校 教諭 [redacted]

【提案】

鹿児島港本港区エリア（ドルフィンポート跡地）の利活用として、現在検討されているスポーツコンベンションセンターの隣接地に県立美術館の設置を提案する。

【提案理由】

海外で新しく美術館が建設された事が時々ニュースになって紹介される。驚くことにはその景観，展示内容で，いずれも是非行ってみたいと思わせるものばかりである。

現在の美術館は，現代美術の展示が主流になっており，絵画・彫刻などの作品展示だけでなく，企画・イベント・パフォーマンスなど様々な展示企画を行っている。そして全国から多くの美術ファンが訪れている。先日，金沢２１世紀美術館を訪ねたが，年間２５８万人の見学者が訪れ，経済効果は１０４．８億円（2015）とのことである。私が訪ねたときも県外から訪れた人々でごった返していた。

桜島を背景に，青い錦江湾，透き通った空と雲。その素晴らしいロケーションを生かすのであれば，緑地公園か文化施設。その中でも鹿児島県には未だに設立されていない県立美術館が最適だと考える。本校区のウォーターフロントに環境や景観に配慮し，世界的な建築家がデザインした美術館ができれば年間を通して，世界中から観光客が呼べるし，県民にとっても憩いの場所となることは間違いないと考える。もちろん採算も期待でき，いわゆる「かせげる施設」が実現すると考える。

県立美術館を持たない鹿児島県ではあるが，人口１万人当たりの，美術館数は，実は全国２１位である。ということは私立の美術館が多数あり，個人の文化に対する貢献が大きいと言うことである。 また，霧島アートの森は栗野町の山頂付近にあり，開館当初は公共交通機関もなく，入園者の数を心配していたが年間入園者は１０万人弱であるという。企画展を比較すると，鹿児島市立美術館をも超える入園者があり，九州各地から観覧者が訪れたとの事だった。そのため，企画展の内容だけでなく，あの天孫降臨の霧島を生かしたロケーションであるからこそ多くの人々を呼べるし，リピーターも多くなっていると考える。

本校区は交通の便がよく，良い企画ができると全国から観光客を呼べると思うし，建築次第では世界に発信できる日本を代表する様な美術館になると思う。

具体的イメージとしては，なだらかなスロープを持った屋上庭園を持ち，市内からは建築構造物は見えず，桜島を望む景観を遮らない建造物にしたい。また，オープン４年で入館者が３００万人を超えた富山県美術館の屋上スペースの「オノマトペの屋上」の様に美術作品としての遊べる遊具を配置し，緑地との一体感を図る。景観とともに吹き抜ける風は，年中活気あふれる子供から老人までの賑わいのある憩いの空間になると思う。

周辺整備では，海には大型ヨットに限ったハーバーを作り，海外からの立ち寄りを受け入れる。南仏の港のイメージである。駐車場はあえて海岸線に設置するしかも大量に止められる数で。ヨットも自動車も景観の一部として取り込むのである。位置的に示すと市内から，美術館，駐車場，ヨットハーバー，錦江湾，桜島，空となる。

美術館は海に開かれた側は全面ガラス張りとし，そこでは喫茶店，レストラン，休憩スペースが広がり，桜島に向かってのオープン展望空間となる。
また，美術館の一部に県立図書館の分館を設置して欲しいと考える。
隈研吾の設計した富山市ガラス美術館はまさに良い例で，常に市民で賑わっていた。

美術館展示施設としては，3000㎡以上の企画展示空間。県美展，南日本美術展を開催できる中企画室。個展等ができる小企画室が欲しい。さらに常設展示室は近代洋画の父と呼ばれる黒田清輝をはじめ，明治期以降に活躍した郷土出身の画家を見せるほか，「奄美コーナー」を作って田中一村作品を美術館と連携して巡回展示できればと思う。また，常設的に「こども展示室」として，県内在住の園児・児童・生徒作品がいつでも見られるようにし，子供たちにも喜ばれる展示も行いたい。また，現代の美術状況を反映し，映像を見せられる展示室をいくつか設置してもらいたい。また，観光面では「宇宙に開かれた鹿児島」，「黒潮文化に育まれた鹿児島」という宇宙と太平洋を見据えた常設展を見せ，地球規模で鹿児島を眺めることのできる美術館にしたいと思う。彫刻等については，屋内展示もうまく取り入れて欲しいが，ウォーターフロント全体を使って散策しながら鑑賞できる展示にしたい。

【あとがき】

私は現在松陽高校で３年担任をし，１４年目になった。また，自分も洋画家として活動してきている。また，田中一村記念美術館での６年間の勤務も経験した。その中で，常に未来の子供たちへ県立美術館を残したいという思いは強く持ち続けてきた。本校区の開発というテーマであるが，この企画こそ「県立美術館」を作るための良いチャンスだと思い提案してみた。美術に関わってきた１県民の思いとして伝われればと思う。

鹿児島県 コンテンツ管理システム

ページ管理 | 運用管理 | 更新管理 | CMS-8341 GLOBAL DESIGN

ログインユーザー：鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室／山下誠

アンケート設定 | FAQ管理 | フィードバック管理 | 問い合わせ管理

ヘルプ | ログアウト

2/9

港湾空港課 -5.4.17 受付

問い合わせ情報

担当組織：鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室

状態	未回答
問い合わせ内容	以下が問い合わせの内容となります。

問い合わせ日	2023年04月18日 19時20分02秒 （4.17電話受付）
問い合わせ元	ここをクリックすると確認できます。
タイトル	鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアについて
内容	鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアについて、募集していることをニュースで知りました。 締め切られたとのことで、私の考えを簡単に文章で伝えたいと思い、ご連絡させていただきました。 私の考えは、かごしま水族館の増築(又は移転)及び、水族館外に釣り堀などの施設、飲食店街を造ることです。 私は他県への旅行の際、水族館や動物園などテーマパークに行きがちです。そこでは、私だけでなく、家族連れや幅広い年齢層が訪れていることを知りました。 特に学生などの若い人はこういったテーマパークを目的に旅行することも少なくありません。 新しい水族館を造れば、地元民含め多くの観光客が訪れると考えます。 釣り堀については、横浜・八景島シーパラダイスのような形を想像してもらえると分かり易いかと思います。 飲食店街については、鹿児島ならではの飲食店や全国的なファストフード店など、テナントを募集して建設して貰えたらと考えています。 課題になるのが、市電やバスなどの公共交通機関が本港区エリアまで発展していない点です。 市などと協力し、市電電停をいづろから本港区エリアまで新しく建設、鹿児島中央駅から本港区エリアまでのバス路線をつくるなどができたら良いと考えています。 まだ思い付きのアイディアですので、分析や予算について明確にできておりません。一意見として、検討していただけたらと思います。 恐れ入りますが、宜しくお願い致します。
メールアドレス	[redacted]
氏名	[redacted]
ふりがな	[redacted]
年齢	[redacted]
職業	[redacted]
住所	[redacted]
電話番号	[redacted]

回答内容	以下が回答の内容となります。

回答日	
内容	

回答する

港湾空港課
-5.4.17
受付

受付No.（事務局記載欄）	220

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」
応募申請書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（[redacted]） [redacted]		住所	[redacted]	
性別	女	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・20代・30代・40代・ (50代)・60代・70代・80代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名　　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			可　・　(否)		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム(e(い一)申請)」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付No.（事務局記載欄）	

『鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア』

応募様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

鹿児島港本港区検討委員会の皆様、いつもお疲れ様です。
私は30年程前に結婚を機に県外から鹿児島に来た者です。
鹿児島の温厚な人柄や気候、景観、食…全てすばらしいと思っております。
その中でも鹿児島の象徴でもある桜島と錦江湾の景色は圧巻です。
仙巌園や吉野公園、城山展望台から眺める景色は誰もが認めるイチオシのスポットですが、トゥルフィルポートから間近で観る桜島は迫力があります。雄大な桜島に魅せられて、我が家はトゥルフィンポート正面のマンションに住み、この景色から日々パワーをもらっています。

前置が長くなりましたが、この自然の恵みである桜島の景色を大切にしてほしい、ここは観光スポットに大変適した場所です。県外の例でいいますと、
富山市の環水公園、兵庫県のポートアイランドやメリケンパーク、大阪の中之島周辺のような素晴らしいビューにも負けない程の観光スポットになる事と思います。トゥルフィンポートから石橋公園前～磯海水浴場、または仙巌園までの遊覧船は観光客や県内者にも大変喜ばれると思います。
又、世界的にも大人気の「スラムダンク」の著者、井上雄彦氏の出身県です。この眺望にスラムダンクのミュージアム等があるとより多くの観光客が訪れる最大のパワースポットになります。この桜島＋トゥルフィンポートの景色は莫大な観光収益にもなる場所であり財産です。生まれた時から鹿児島県に住んでいらっしゃると桜島は見慣れた普通の景色かもしれませんが、様々な表情を変える美しい山が街中にある県はそうはありません。すばらしい環境です。

※任意様式に記載して頂いても構いません。~~写真の同封もお願いします~~

港湾空港課
-5.4.17
受付

受付No.（事務局記載欄）	22

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」
応募申請書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（[redacted]）		住所	[redacted]	
性別	男	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・30代・40代・ 50代・60代・70代・ 80代以上	電話 番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名　　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）	可　・　否				

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム(e(いー)申請)」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

鹿児島県「本港湾区エリアの利活用のアイデア」について　　令和5年4月16日

[redacted]

スポーツ・コンベンションセンターの基本構想に対して、付加して欲しい機能・考え方について、意見を提出します。

(1) コンベンションセンターは、人・情報の受け入れ・発信がデジタルでできること。これは経済産業省の未来のDX構想の支援を貰えないでしょうか。

(2) 地方の特産物の展示会がオンラインでできれば、地方や島々からの参加も可能となり、コンベンションセンターの利用価値が高まり、利用者数も拡大していく。

(3) コンベンションセンターに国際学会等の国際会議ができる機能設備があると海外の観光者増にもなる。展示会には講演会がセットで行われる場合が多い。

(4) 本港湾区域は桜島の景観を損なってはいけない。少なくとも建築物は桜島との調和のとれたものにすべき（絶対条件、必要によっては建築制限が必要）

(5) 子供にも使いやすいようにする。県内外の子供交流の場として優先的に使えるようにする。

(6) 交通に関して、御殿場（富士裾野）にある、トヨタウーブン（未来都市の実証実験）を参考にして渋滞等を除去できないか検討する。

(7) 脱炭素社会、グリーントランスフォーメーション（GX）への政府の予算・考え方・方向性に沿ったコンベンションセンターにできないか検討する。政府からのノウハウと金銭面での支援が得られるものにする。

以上

[redacted]

[redacted]

港湾空港課
-5.4.17
受付

受付No.（事務局記載欄）	222

「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」

応募申請書

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（[redacted]） [redacted]	住所	[redacted]

性別	男性	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・30代・40代・ 50代 (60代)・70代・ 80代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名　　）
プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）			可　・　(否)		

※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム(e(いー)申請)」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付 No.（事務局記載欄）	

「鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア」

応募様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。

お疲れ様です。

上記案件に関して 30 ヶ国以上の欧米・アジアを旅行した経験で、鹿児島市に足りないと考えられる事を提案致します。（尚、あくまでも個人的な見解より策定した事項であり、関連する第三者に迷惑をかける行為を意図していない事を申し添えます。）

① 鹿児島市には、大型観光バスを集約出来る駐車スペースがない。
観光（国内客・国外客）に力を入れるなら、大型観光バス 100 台～200 台程度の駐車場は必要となる。

② 大型の外人観光客向け免税店がない。
大型の免税センター（県内特産品）を中心にバスターミナルを設置する。

③ 鹿児島県及び鹿児島市の最大の自然遺産と考えられる桜島を中心としたジオパークを考慮していない。
桜島（定期・観光）フェリーを利用して、世界の美港に負けない鹿児島湾クルーズ（昼夜間）・桜島周遊の食事付き観光に力を入れる。その場合、本港区の免税センターや観光センターが中心となる。

④ 鹿児島湾・鹿児島港に 15 万トン級大型クルーズ船の誘致を考える時期に来ている。
世界の多くの港湾でクルーズ船を見てきました。港湾の背景に映え、美しい光景が一生の思い出となりました。鹿児島港・鹿児島湾は、世界のどの港よりも美しいと感じています。この美しさを基軸に発展させることが最良の策と考えます。

⑤ 本港区への市電（トラム）の乗り入れを考える場合には経路を考える。
外国の方もトラムを利用される方が多いので、切符や電停は工夫した方が良いと思います。

⑥ イベント産業と異なり観光産業は持続可能な形態であるため、美しい鹿児島・歴史ある薩摩を目指す県民一体となった意識を持つべきと思います。明治維新の鹿児島ですので。

次に余計な事ではありますが、海外を旅行して見たことがない事を加えます。

① 港にスポーツ施設を造る。
旅行して、港にスポーツ施設を見たことがありません。文化施設は見たことがあります。各国の港にスポーツ施設がないのは、敢えて造るだけの意味がないためと個人的には理解しています。
イベントにより港周辺・街の交通渋滞も起きる可能性があります。
本港区は、桜島の降灰も多く火山灰に含まれる鉱物・化学物質がアスリートの呼吸機能を障害する危険性があります。公害に見られる間質性肺炎に類似した有害事象を惹起する可能性もあります。スポーツにとって呼吸機能（肺）は重要な身体機能ですので軽微な変化もスポーツ人生の命取りになる場合があると思います。さらに子供たちも利用するとなると、子供の健康・生命も問題となります。

※任意様式に記載して頂いても構いません。

港湾空港課
-5.4.17
受付

受付No.（事務局記載欄）	223

[redacted]

（ふりがな） 応募者名 （個人・団体）	（[redacted]）	住所	[redacted]

性別	男	年代 （○で囲む）	10歳未満・10代・ 20代・30代・40代・ 50代・60代・70代・ 80代以上	電話番号 （団体の場合は担当者名も記載）	[redacted] （担当者名　　）

プレゼンテーション参加の可否（○で囲む）	可　・　否

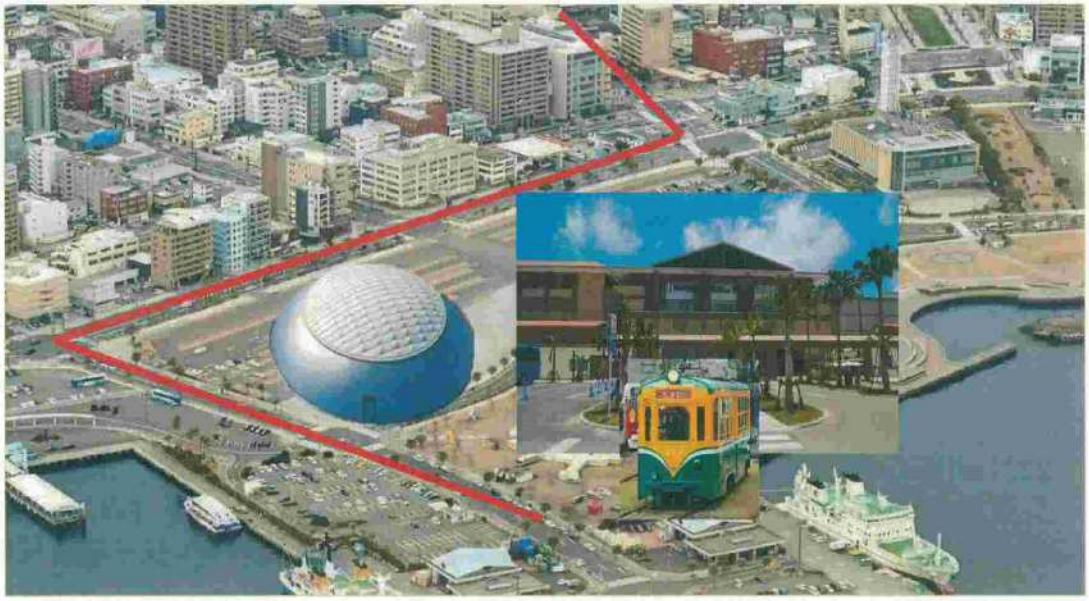
※　次ページの「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディア」応募様式は，「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」の検討資料として，公表する場合があります。ただし，応募者名・住所・電話番号の個人情報は公表しません。
※　応募者名・住所・電話番号の個人情報については，本事業の目的以外には使用しません。
※　応募内容に機密事項がある場合には，応募者の責任で権利保全をお願いいたします。
※　応募内容の展示，公表に関する権利は，主催者が優先保持します。
※　提出された資料については，返却いたしません。
※　プレゼンテーション参加を「可」として申請した方の中から，プレゼンテーション参加者として選定された方には，後日，事務局より連絡します。
※　次ページの応募様式については，任意様式に記載して頂いても構いません。
※　募集に関する詳細については，「鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集要項」をご覧下さい。

【提出先・お問い合わせ先】
鹿児島県土木部港湾空港課本港区まちづくり推進室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3665　FAX:099-286-5629
「鹿児島県電子申請共同運営システム（e（い一）申請）」
URL: https://shinsei.pref.kagoshima.jp/4K2ABecG

受付 No.（事務局記載欄）	

「鹿児島港本港区エリアの利活用アイディア」
応募様式

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアを記載してください。



無理を承知で、ドーム球場の建設。

1　野球場をメインとして、災害時の避難場所やイベント展示会場、コンサート会場として対応できる。

2　天文館方面へのアクセスが良いので、市電の新しい駅を作る。
観光客なら短い距離でも、市電に乗ることが鹿児島での思い出になる。

※任意様式に記載して頂いても構いません。

港湾空港課
-5.2.10
受付

22

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイデアに関する意見募集（電話，メール等）

日時	性別	内容
2月10日	男性	（LINEの意見募集のお知らせを見て電話した） 以前テレビで，外国人が桜島を見て感激しているインタビューをみた。富士山より素晴らしいと言っていた。 磯のところや与次郎が浜に立って桜島と対峙したことがあるか？是非やってほしい。いろんなことを考える。 桜島は，観光客はみんな見ると思うので，ジオラマや映像が見られるようにしてほしい。桜島の成り立ちを知っているか？市民も知らない人がいるが，映像にはそういうのを大迫力の音声とともに流してほしい。 他にも，海岸に椅子があって，コーヒーが飲めるようなものがいい。鹿児島港は港づくりを失敗しているので，体育館ではなく観光客が来るような場所にしてほしい。 フェリーが本港区に着くようにしてほしい。

港湾空港課
-5.2.10
受付

225

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集（電話，メール等）

日時	性別	内容
2月10日	男性	体育館を，早く作ってほしい。

226

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集（電話，メール等）



日時	性別	内容
2月10日	男性	（意見の提出が難しかったので電話で） 県は早く体育館を作れば良いのに何をしているのか。政策を反対されるはあるが，体育館は知事３代にわたって検討されている。 鹿児島の人は決断が遅いと思わないのか。パキッと決めないと，横槍が入る。桜島フェリーの国道をまっすぐに垂水に行くルートもそうだ。 やり方（パキッと決める政治の仕方）を習うべきだ。大久保のやり方ではなく，西郷のやり方をするべき。 鹿洲市場なども，反対はあったが，今は大きな町になっていてすごい。 何かと意見を聞くと言うのではいけない。 本港区エリアは，建築家に頼めば良い。意見を募集すると言っても，北ふ頭も南ふ頭についても，とっぴーの航路などがどうなるかも書いていない。具外的な材料がないと考えられない。

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集（電話，メール等）



日時	性別	内容
2月10日	男性	帰省をして初めての方々を櫻島観光にお連れする時に感じているのですが、何で市電と櫻島フェリーはつながっていなくて不便なんでしょうか？新幹線が鹿児島まで来たので、櫻島行きたいですよね。

228

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集（電話，メール等）

港湾空港課
-5.2.10
受付

日時	性別	内容
2月10日	男性	跡地は鹿児島本駅に、空港特急電車を運行し賑やかな鹿児島の新しい顔に

229

港湾空港課
-5.2.10
受付

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集（電話，メール等）

日時	性別	内容
2月10日	男性	本港区の活用について入力したがうまくいかい　なぜ？　本港区は桜島や錦江湾など素晴らしい資源が一杯なのに活用されていない　ベニスやその他の国ではヨットやクルザーなど庶民（金持ちだけか）が楽しんでいる風景が一杯　錦江湾には漁船か客船のみ　はっきり言って錦江湾が寂しすぎる 　錦江湾にヨットなど楽しいい色々な船が行きかう状況は新しい魅力となるのではないか　　観光としても　錦江湾をタイ釣り　桜島の航路にしているのはもったいない　観光資源としてもったいなさすぎる　何としても錦江湾と桜島を生かし鹿児島を盛り上げて欲しい　格安なマリーナの設置、補助が欲しい

230

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集（電話，メール等）



日時	性別	内容
2月28日	不明	ドルフィンポート活性化に提案させていただきます。 赤字続きの桜島フェリーを廃止し、桜島大橋を作るべきと強く願います。 レインボーブリッジや明石大橋など、ライトアップをすれば、人気スポットになります。 海岸沿いの10号線からの風景も絶景となります。 又、サッカースタジアムの計画もありますが、コンサートもできる多目的とすべき。 スタジアムも降灰の影響を受けない開閉式ドームにすべきと考えます。 J3のチームだけにお金をかけるのはいかがなものかと強く思います。 鹿児島の明るい将来を強く願って実現を期待します。

231

港湾空港課
-5.3.16
受付



令和5年3月16日

鹿児島県知事

塩田　康一　殿

[redacted]

鹿児島港本港区エリアの多機能複合型スタジアム構想

と　本港区エリアの利活用について

太平洋戦争後、荒廃した日本を復興して来たのは、サッカーでもない、野球でもない、他のスポーツでもない。

それは日本人の持つ勤勉さ、優秀な頭脳であった。

資源の乏しい島国で、日本の活路を開いて来たのは明治時代以来脈々と培われてきた産業立国にまい進した、日本国を思う昭和の先輩達であった。

良質で安価なメイドインジャパンの生活用品や産業機械製品を世界に提供し、見事な復興を成し遂げ、戦後復興の奇跡と世界中から称えられた。

半導体、アルカリイオン電池等世界をリードする、先端科学技術を研究開発して、多くのノーベル賞受賞者を輩出して来たが、生活が豊かになるに従い、野球　サッカー等スポーツ馬鹿が増え、優秀な人材がスポーツ面へ流れ、かって国際競争力1位であった日本が今は23位と脱落し、日本人の劣化が止まらない。

第一次ベビーブームでは210万人、第二次ベビーブームでは150万人生まれた赤ちゃんが、昨年は何んと80万人を切った。

今日本は超高齢化社会にあるが、これは政策で止める事が出来る。

しかし、超少子化は女性の結婚・子育てに関するマイナスイメージの意識の問題であり、簡単に出産増加に転ずることは出来ない。

一方　日本国の借金は1、100兆円に上り、毎年新年度予算は赤字国債の増額

で、国(国民)の借金は益々増加して行く。
借金は増え続け、若者は減り続け、将来の展望が開けない中で、300億円も掛かると言われる、新スタジアムの建設は、減り続ける若者に大きな負担(負の遺産)を残すだけであり、若者の将来への夢・希望を奪い取ってしまうだけである。

新スタジアムの建設は絶対反対である

どうしても作りたい人は、自分のお金で築け

今、日本はベトナム・中国・フィリピン・ミャンマー等から200万人程度の労働者を受け入れている。　それでも各産業界は人手不足の状態にある。
それでも、生産性が何もないプロスポーツ業界は増えている。
日本にプロスポーツは要らない。　この面からも　新スタジアムの建設に反対である。
また、鹿児島ユナイテッドのホーム整備とか、j1 クラブライセンスとかは、県や市が関わる問題ではない。
県や市が取り組まなければならない施策は多方面にわたるが、新スタジアム建設に関わる部署を廃止する事で議論は終止符を打つ。

自殺者・ヤングケアラー・シングルマザー・子供食堂に頼らざるを得ない人等々社会の底辺で、今日をどう生きるかという人々に光を当てること。
もう少し地に着いた血の通う政策を実施して貰いたい。

本港区エリアの利活用について

近い内に必ず起こる中国の台湾侵攻で、沖縄も戦場に巻き込まれ、数十万の避難民が発生する。
何時起こるか分からない桜島の大爆発時の避難民
近い将来発生が予想される、南海トラフ地震時の避難民
トルコの大地震にみられるように、災害発生時には想像を絶する多くの避難民が発生し、その収容をどうするのかが大問題である。
本港区エリアは公用地で平坦で面積も広く、緊急時の避難民の収容には最適地である。
本港区エリアは、大規模災害発生時の避難民収容施設の建設に充てるべく、恒久施設は作らず、いざという時の避難民収容施設に充てること。

以上

232



鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集（電話，メール等）

日時	性別	内容
3月29日	不明	なぜ、ドルフィンポートをなくしたのかと疑問に思います。サッカースタジアムより、子供が遊べるような所を作ってほしい。

232



鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集（電話，メール等）

日時	性別	内容
4月8日	不明	ドルフィンポーチ跡地には、体育館、サッカー場は要りません。鹿児島はお洒落なお店が少なく、新しく出来る建物には、おんなじようなショップばかり。跡地にはアウトレットモールなど、建てて、他県からも県内からもショッピング楽しめる場所を作って欲しい。山形屋で買うと、柄がかぶるから、私は皆と同じようなものは持ちたくないので。

234

港湾空港課
-5.4.17
受付

鹿児島港本港区エリアの利活用のアイディアに関する意見募集（電話，メール等）

日時	性別	内容
4月17日	女性	スポーツコンベンションセンターを前提にゾーニングを検討するのはおかしい。サッカー等スタジアムなど箱物は要らない。